

豊島区子ども・若者の実態・意識に関する調査

令和6年3月

豊 島 区

目 次

第1章 調査の実施概要	4
1 アンケート調査の実施概要	4
1-1 調査目的	4
1-2 調査期間と方法	4
1-3 調査対象	4
1-4 調査結果の見方	5
2 ヒアリングの実施概要	6
2-1 目的	6
2-2 調査期間と方法	6
2-3 調査対象	6
2-4 ヒアリング項目	6
第2章 ヒアリング結果の概要	7
1 全体の傾向	7
2 設問ごとのまとめ	10
2-1 居場所・ホッとできる場所	10
2-2 学校に関すること	10
2-3 子どもの社会参加や意見表明に関すること	10
2-4 虐待やいじめの経験に関すること	11
2-5 悩みや不安、相談に関すること	12
2-6 自己肯定感に関すること	12
2-7 区の施策に関すること	13
第3章 アンケート調査の詳細分析	15
1 家庭の社会経済的背景（SES）の最下層の困難な環境に対応する力（レジリエンス）の分析	15
1-1 分析方法	15
1-2 分析結果のまとめ	16
1-3 困難な環境に対応する力（レジリエンス）	17
2 子どもの意見は大切にされているか	24
2-1 家庭での子どもの意見について	24
2-2 学校での子どもの意見について	26
2-3 地域での子どもの意見について	29
3 支援機関や団体の連携・協力状況	31
第4章 アンケート調査結果	37
1 回答者属性	37
1-1 年齢	37
1-2 子ども・若者の家族構成	37
1-3 高校生等の状況	37
1-4 若者の状況	38
2 困難を抱える状況	40

2-1 広義のひきこもり群	40
2-2 広義のひきこもり群の定義の概要	40
2-3 生活困難について	41
3 子どもがいる世帯の状況、子どもの学力と幸福度	42
3-1 婚姻や世帯構成	42
3-2 生活困難の状況判断の項目とその関連状況	47
3-3 家庭の社会経済的背景(SES)と困難な環境に対応する力(レジリエンス)を判断する 項目とその関連状況	56
4 豊島区子どもの権利条例について	59
4-1 豊島区子どもの権利条例について	59
4-2 7つの子どもの権利が守られているか	66
4-3 子どもの意見表明について	69
5 支援者から把握した状況	76
5-1 回答者属性	76
5-2 支援者から見た子どもの状況	76
5-3 支援者の状況	81
6 子どもから把握した状況	98
6-1 ふだんの環境	98
6-2 過ごす環境の評価	108
6-3 社会的情動(非認知能力)	114
6-4 将来展望	119
6-5 外出状況、落ち込んだ経験	126
6-6 つながり	141
6-7 相談機関や施策	151
7 保護者から把握した状況	156
7-1 放課後の居場所と進学	156
7-2 子どもや地域との関わり方	159
7-3 いじめや虐待	166
7-4 支援制度や相談、子育て施策	169
7-5 就学前児童に関する相談や周囲からの支援	185
7-6 保護者の状況	190
7-7 子育て支援事業の利用状況	195
第5章 自由記述	215
1 就学前保護者	215
2 小学生保護者	253
3 中高生保護者	274
4 小中学生	289
5 高校生	294
6 若者	295
7 地域団体等	301
8 区施設職員	305

第1章 調査の実施概要

1 アンケート調査の実施概要

1-1 調査目的

「豊島区子ども・若者総合計画」（令和2年3月策定）を改定するにあたり、豊島区の子どもや若者に関する施策に役立てるため、子どもの生活実態や子育て支援に関するご意見をお伺いしました。

1-2 調査期間と方法

調査期間：令和5年11月10日（金曜日）から12月1日（金曜日）

調査方法：郵送による配布、郵送およびWEBによる回収
（区民対象調査については礼状を兼ねた督促を実施）

1-3 調査対象

調査票種類	対象者	配布数		回収数		回収率	
就学前児童保護者	0～5 歳保護者	1,500		816		54.4%	
小学生保護者	小学 1 ～ 3 年生保護者	1,500	750	657	376	43.8%	50.1%
	小学 4 ～ 6 年生保護者		750		281		37.5%
中高生保護者	中学生保護者	750		466	246	31.1%	32.8% *
	高校生保護者	750			209		27.9% *
	（無回答）	—			11		—
小中学生	小学 4 ～ 6 年生本人	750		213		28.4%	
	中学生本人	750		180		24.0%	
高校生	高校生本人	750		148		19.7%	
若者	18～29 歳若者	1,500		280		18.7%	
地域団体等		350		220		62.9%	
区施設職員		300		278		92.7%	
計		8,900		3,258		36.6%	

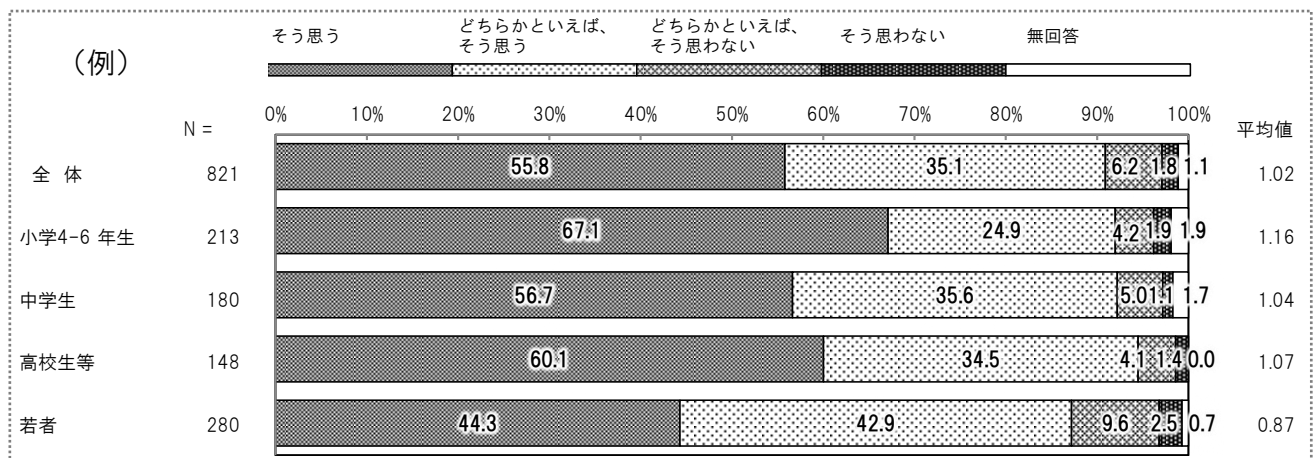
* 無回答をのぞく

1-4 調査結果の見方

- ・ 本文、図表において、調査票の設問文や選択肢は簡略化して表記することがあります。
- ・ 図・表中のN、調査数とは、調査の回答者の実数を表します。

回答はN（調査数）を100%とした百分率で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、各比率の合計値と全体の比率、図表の比率の合計値として記載した本文の比率と図表に記載された数値の合計が一致しないことがあります。

- ・ 複数回答（あてはまるものすべてに○）の比率の合計は、100%にならず、超えることもあります。
- ・ 程度を把握する設問については、集計区分間で比較しやすいよう、例えば、「そう思う」～「そう思わない」の4件法であれば、「そう思う」を1.5、「どちらかといえばそう思う」を0.5、「どちらかといえば、そう思わない」を-0.5、「そう思わない」を-1.5と、まん中の評価を0としたプラスとマイナスで点数化し、その平均値を算出してグラフ右側に掲載しました。



- ・ （複数回答）およびクロス集計については、「無回答」を掲載していません。そのため、クロス集計の調査数（N）の合計は全体と一致しないことがあります。

2 ヒアリングの実施概要

2-1 目的

「豊島区子ども・若者総合計画」（令和2年3月策定）を改定するにあたり、豊島区の子どもや若者に関する施策に役立てるため、個別の支援を要する子どもについて、各関係機関の協力を得て個別インタビュー形式のヒアリング調査をおこないました。

2-2 調査期間と方法

調査期間：令和5年12月から令和6年3月

調査方法：区職員または当該団体職員によるインタビュー形式（1人20分程度）にて聞き取りを行い、事務局職員が記録しました。

2-3 調査対象

	区分	概要
困難を抱える子ども・若者	障害児	障害児受け入れのある子どもスキップ
	不登校・ひきこもり	教育センター 柚子の木教室
	外国ルーツ	左記の子どもを支援する団体
	多様な性自認・性的指向の人々	左記の子どもを支援する団体
	虐待・DV	豊島区児童相談所一時保護所
子どもの居場所	子どもスキップ	学校の教室、校庭、体育館等を活用した、小学生の放課後の居場所
	中高生センタージャンプ	主な利用対象者を中高生等とした児童厚生施設(児童館)
	子ども食堂	運営団体
	プレーパーク	運営団体

2-4 ヒアリング項目

	概要
1	楽しいときや安心できるとき（新規）
2	悲しいとき（新規）
3	子どもの居場所・ホッとできる場所
4	学校に関すること
5	子どもの意見表明や社会参加に関すること
6	虐待やいじめの経験に関すること
7	悩みや不安、相談に関すること
8	子どもの自己肯定感に関すること
9	区の施策に関すること

第2章 ヒアリング結果の概要

全体傾向を示すとともに、ヒアリング項目ごとの回答内容を掲載しています。ヒアリング調査によって、アンケート調査では把握できない子どもの実態や要望を確認できました。

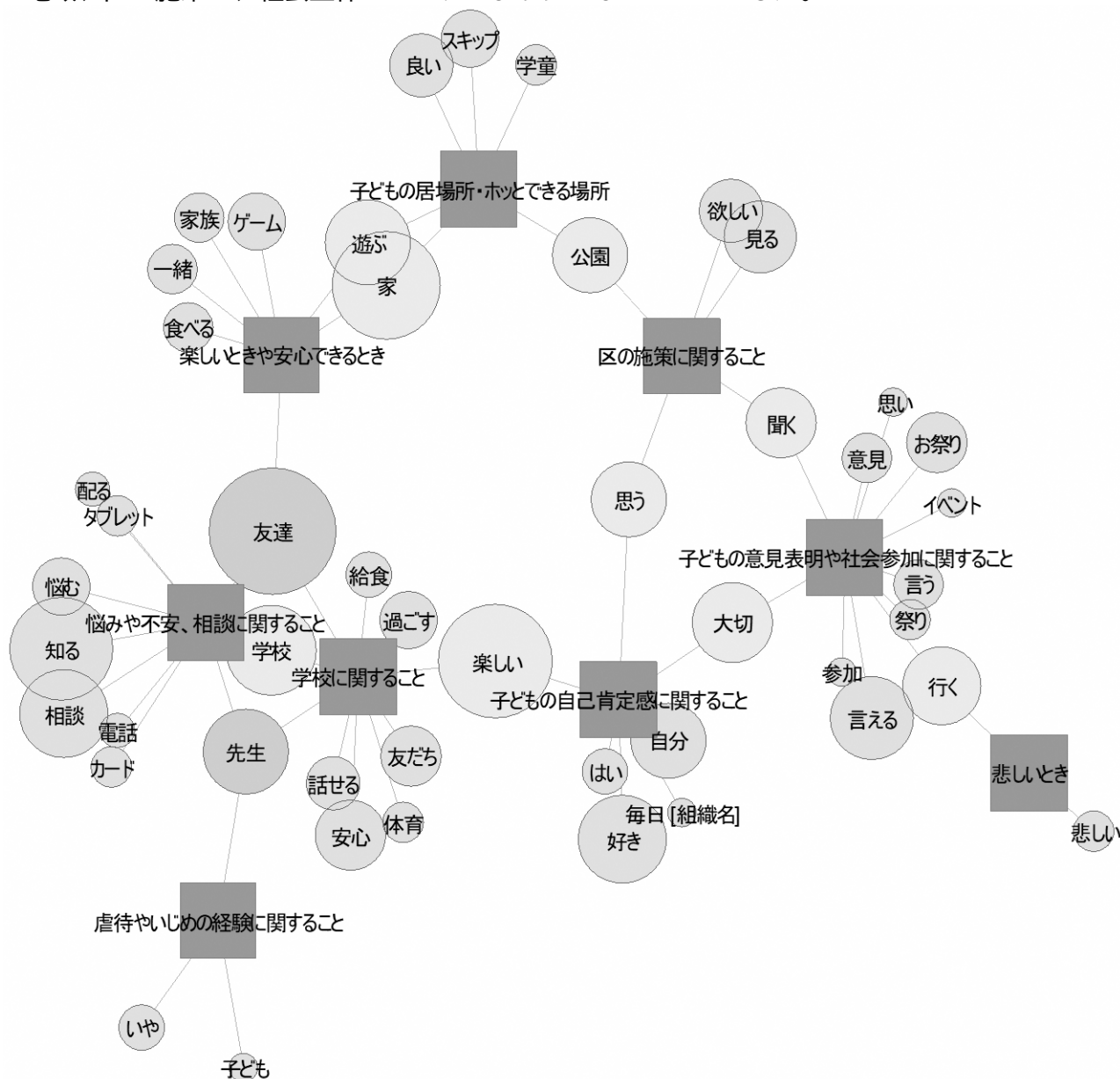
1 全体の傾向

子ども達へのヒアリングの全体傾向をテキストマイニング（KH Corder）^{*1}で、①保護者や学校との関係が良好であると思われる子どもたち、②保護者や学校との関係に課題があると思われる子どもたちについて、分析しました。

^{*1} テキストマイニングとは、自由な形式で記述された文章を自然言語処理の技術により単語や文節に分割してその出現頻度や相関関係等を分析し、有益な情報を探し出す技術のことです。

1-1 1) 保護者や学校との関係が良好であると思われる子どもたちの傾向

四角で示しているものが質問（ヒアリング）項目であり、丸で囲まれているものがそれらの質問に対する回答キーワードの分布です。「子どもの自己肯定感」は“楽しい”というキーワードで「学校」とつながり、「学校」と「悩みや不安の相談」は、“友達”や“先生”というキーワードで繋がっています。さらに、“友達”は「楽しいときや安心できるとき」と「学校」を繋ぎ、さらに“家”が「楽しいときや安心できるとき」と「子どもの居場所・ホッとできる場所」につながるといように、子ども達をいろいろな面で育成・支援している、家庭、学校、地域、区の施策が、社会全体でループのようにつながっていました。



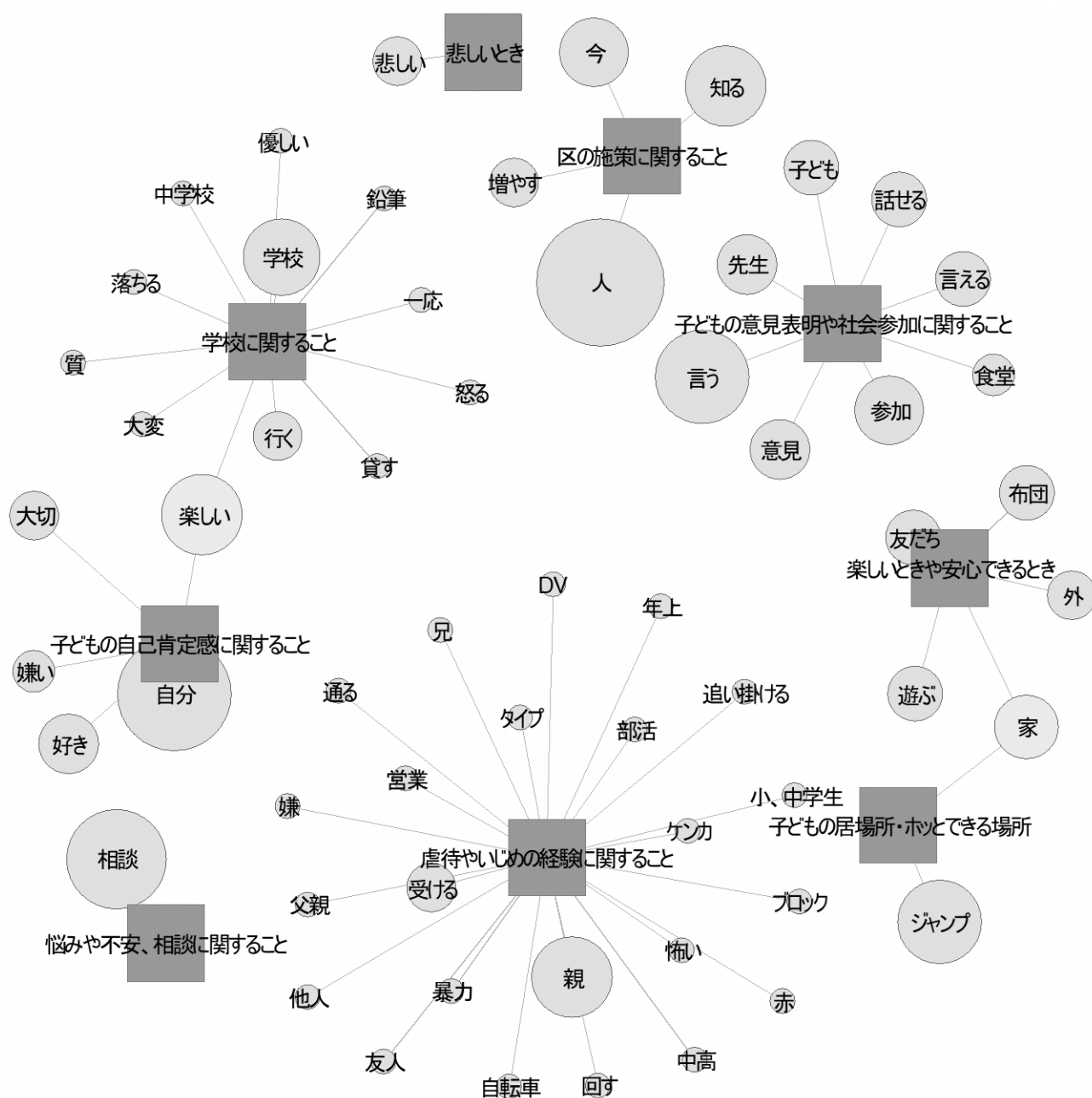
(KH Corder による分析)

1-1 2) 保護者や学校との関係に課題のあると思われる子どもたちの傾向

一番大きな特徴は、「虐待やいじめの経験」の質問に対して、多く回答がありました。

また、「自己肯定感」と「学校」が“楽しい”というキーワードで結びついていること、「楽しいことや安心できる時」と「子どもの居場所・ホッとできる場所」が“家”というキーワードで結びついていることは、保護者や学校との関係が良好であると思われる子どもたちと同じですが、「学校」と「楽しいときや安心できる時」や「悩みや不安の相談」が結びついていないなど、全体としてみるとそれぞれのテーマ間の結びつきが弱く、一つ一つが独立しているように見えました。

以下に質問項目ごとの回答内容を掲載します。課題のある子ども達も、自己肯定や意見表明・社会参加、子どもの居場所等に対して前向きにとらえる回答が多くありましたが、上記に見るとおり、社会全体との結びつきが弱いことがうかがわれました。



(KH Corder による分析)

2 設問ごとのまとめ

2-1 居場所・ホッとできる場所

2-1 1) 放課後、どこで過ごすか

ヒアリングを行った施設や、公園、サッカーやドッジボール、友人とのカードゲームの他、家で過ごすという回答が多くありました。特に、ほとんどの子どもは、ヒアリングを行った施設に対する肯定的な意見を持っていました。

前述したテキストマイニング結果にも表れていますが、保護者や学校との関係に課題のある子ども達においては、過ごす場所が家もしくは施設に限られていることがうかがわれます。

2-1 2) ホッとできる場所はどこか

自分の家やヒアリングを行った施設を挙げる回答が多くありました。家の中でも、家族のいるところを挙げる子もいれば、こたつや布団の中に一人でいることが安心できるという回答もありました。

2-2 学校に関すること

2-2 1) 学校は楽しいか

多くの子どもが学校は楽しいと回答しました。

一方で、「勉強と先生がいなければ楽しい」、「先生が女子をひいきする」「給食を残しちゃいけないと言うけど、先生は残す」「友達に鉛筆を貸しただけで先生に怒られた」等、先生の問題点を指摘する回答がありました。不登校の子どもは、「学校は楽しくない」、「大変だった」、と回答しています。

2-2 2) 学校には何でも話せる友だちや先生がいるか

多くの子どもは、何でも話せる友だちや先生がいると回答しています。「自分の気持ちを友だちに伝えるのが楽しい」という意見もありました。

一方で、「話ができる先生や友達はいない」「いじめについては相談できない」という意見もありました。

2-2 3) 学校で休み時間や放課後に安心して過ごしているか

多くの子どもは、安心して過ごしていると回答しています。「友達に暴力を振るわれたけどケンカはしなかった（やり返さなかった）」という回答をした子もいました。

2-3 子どもの社会参加や意見表明に関すること

2-3 1) 周りの大人に言いたいことを言えているか。あなたの意見や思いを大切にしてくれるか

意見を言えている子もいれば言えていない子もいます。

言えていない子の回答では、小学生の回答では、「意見を言えない。言えることはない」、「恥ずかしかったり、怖い人には言えない」、「あまり話さない、他の大人ともあまり話さない」、「あ

んまりしゃべらないから良く分からない。話をすれば話を聞いてくれる」、「心配されちゃうから言えない」、「言いにくいときもある。怒られるかもしれないって思ってしまう」など、自分から大人への意見の出し方に悩んでいる意見が多くありました。

一方で、中高生や若者では、「家族には言えないが、施設の職員には言える」、「聞いてくれる人と、聞いてくれない人がいる。だいたい聞いてくれない」、「意見を言ってもしょうがないけど、必要なことを、人を選んで聞いている」、「学校では先生とは立場が違うし、意見を言っても何にもならない。生徒会なんかでも、みんな自分の意見を言わない。言っても変わらないのが現状」と、意見表明をおこなう事については前向きにとらえていて自分なりに行動していることや、意見を聞く側の問題点を指摘する意見が出されました。

また、LGBTQ においては、約9割の子どもが保護者との関係で困難を経験しているという調査結果があるという意見もありました。

2-3 2) 地域の行事に参加しているか

参加しているという意見が多数であり、地域の神社のお祭りや各施設のイベントに参加した経験を持っている子が多くいました。おみこしを担いだり、屋台を出したり、ゴミ拾いをしたりしてより積極的に参加している子もいます。また、ボランティアとして子ども食堂の洗い物や配布の手伝いをしている子もいました。中高生センタージャンプでは、自分達で企画をしてイベントを行ったり、地域の獅子舞に参加していたりします。地域イベントのイラストやポスターを作成したりしている子もいました。

2-4 虐待やいじめの経験に関すること

2-4 1) 周りの大人から嫌なことをされたことがあるか

無い、もしくは、無回答が多数でした。

しかし中には、「父親からDVを受けていた」、「兄からいじめを受けていた」、「親やバイト先で嫌なことをされた」、「赤の他人に自転車で追い掛け回された」、「知らない人に『お金を貸して』と言われて逃げた」という意見がありました。

また、「先生は、子どもにやってはいけないということを自分はする」、「区役所に小、中学生の時、友達の親を通じて相談したけど、何もしてくれなかった」と、先生や区の対応に対する問題点を指摘する意見もありました。

2-4 2) 友だちや先輩、後輩から嫌なことをされたことがあるか

無い、もしくは、無回答が多数でした。

しかし、「小学1～3年はあった。3年生の時、校長先生への報告が多かったようで、解決した」、「小学3年生のときに学校に行けなかった」、「たまに友達に無視されたり、『ふざけるな』といわれた」、「子ども同士で殴られて先生に病院に連れていってもらった」と、小学校低学年におけるいじめについての話がありました。また、「(日本語が話せなくて)小学生の時に差別にあった」という外国ルーツの子どもの経験もありました。

中高生以上では、「中高の部活でいじめられていた」、「何回も友だちとケンカした、暴力を受けた」、「無いわけでもないけど、何とかなっている。それも人生の経験だと思っている」という意見が出されました。

2-5 悩みや不安、相談に関すること

2-5 1) 悩んでいることや不安に思っていること

無い、もしくは、無回答が多数でした。

小学生では、友達や先生との関係、「中学生になったら友達ができるか心配」という悩みがありました。また、中高生以上では、将来への不安や自分の人間性、学校がつまらない等の不安などが出されていました。また、「バスケをしていて怪我をしたが、手術をすると1年間休まなければならなくなるので、コーチや友達と相談している」と具体的な悩みを話してくれる子もいました。

2-5 2) 悩んでいるとき誰に相談するか

親や兄弟、仲の良い友達、先生に相談するという意見が多数ありました。また、ヒアリングを実施している施設の職員に話をするという意見もありました。

一方で、「誰にも相談しない」、「解決できそうな悩みは相談している」、「アンケートみたいなものはあったけど、特に回答はしなかった」、「言えない」等の意見も出されています。

LGBTQ の子どもは、「悩みを言っても理解してもらえない」と感じており、「親にも相談できず、誰にも相談できる状況ではない。親や学校に対する LGBTQ への理解促進が必要である」という意見がありました。

2-5 3) 子どもの相談を受け付ける区の施設や窓口で、知っているところはありますか

アシス等を実際に利用したことがあるわずかな子ども以外は、相談窓口を知っている子どもはいませんでした。ただ、半数ぐらいの子どもは、(中身は良く分からないけれど) なやミミカードやパンフレットを見たことがあると答えています。特に、なやミミが訪問する施設においては、なやミミに会えることをとても楽しみにしている子どもがいました。「すいトリちゃんにも会いたい」という意見がありました。

2-5 4) 悩みや不安を相談する場合、どのようなところなら利用しやすいか

家や学校、家に近い喫茶店など身近なところで相談をしたいという反面、「悩んでいる子は親に携帯を止められたり、管理されているので使えないから、親などに絶対に言わないで欲しい」という意見も出されています。

区の相談窓口に対しては、「アシスとおはなしに相談したことがある。ニックネームで安心して相談できた」、「役所の執務室(机にパソコンあるところの隣の小部屋)は仰々しい。外に出てきてほしい」、「アウトリーチしてほしい。相談できる人が利用者の近くに来てほしい」、「児相の機能を区役所に入れてほしい」と多様な意見が出されました。

ネットの利用については、「電話は使わない」、「匿名で対面が良い」という反面、「ネットでその人の意見が出されていて、どんな人がちゃんと分かっていると相談しやすい」という意見もありました。

2-6 自己肯定感に関すること

2-6 1) 自分のことは好きか

ほとんどの子どもは自分の事を好きと答えています。

嫌いだという子どもからは、「自分のことは嫌い」、「自分は嫌い。自分に自信を持てない」、「他人と比較すると劣等感しかないから、比較しない」、「出来ないことがあると自分にムカつく。友達が出来て自分が出来ない時にムカつく」という意見が出されています。

2-6 2) 毎日は楽しいか

楽しいと答えている子が、多数でした。楽しくないという子からは、「あまりよくない、自分は厳しい」、「『楽しい』の意味はわからない」、「毎日は楽しくない」という意見が出されています。

2-6 3) 親や友だちなど、周りから大切にされていると思うか

大切にされているという意見が多数でした。大切にされていないという子からは、「親からはされていない。友だちからはされている」、「片方の親からはされていない。もう一方からはされている」、「施設のスタッフからは大切にされているが、自分がそれに応えられていない」という意見が出されています。

2-7 区の施策に関すること

2-7 1) 「豊島区子どもの権利条例」を知っているか、子どもの権利が守られていると思うか

子どもの権利条例を知っているかの問に対しては、知らない、なやミミやパンフレットを見たことはあるが権利については良く知らないという意見が多数でした。

子どもの権利が守られているかどうかについては、多くの子どもが守られていると答えていて、具体的には、「ホールを使おうとした時に場所を譲ってもらった」、「自分の住んでいた国(シンガポール)に比べて豊島区は楽しい場所だと思っている」という意見がありました。

一方で、権利が守られていないという子ども達からは、「髪を伸ばしたいと中学の先生に相談して、校長も対応してくれたけど、ダメだった」、「若い世代(平成 25~30 年生まれ)は権利について理解があるけど、自分の親の世代(40~50 歳)は無理だと思う」、「教職や役所の人は知っているだろうが、他の人は知らないのではないか」という意見が出されました。

2-7 2) 区役所にやって欲しいことは何か

まず、公園に対する要望が多く出され、特に「野球やサッカーができる公園を増やして欲しい」が複数出されています。さらに、「室内プレーパークを作って欲しい」、「サバイバルゲームを公園でやりたい」、「おもちゃを増やして欲しい」、「区役所の自然のあるところに、魚の種類を増やして欲しい」などという意見が出されています。

また、自分が利用している施設(ヒアリング実施施設)をもっと増やして欲しい、子ども食堂を増やして欲しいなどの意見が多く出ました。

一方で、区役所に対する意見として、「正直、役所はポンコツ。話を聞いて『そうなんですね〜』。『早く動いて欲しい』と伝えたけど、何もしてくれなかった。三年前の高校生の時に中学生の妹のことを相談した」、「今、ストレス多く、人と話したいが、中身のない役所の人と話したくはない。心理師さんと話ができるならいいが、常時いるわけではない」、「子ども若者課の人は話しやすい人が多いが、他の課の人の対応がかなり事務的で流れ作業になっている」と、区の対応に対する意見が出ています。

また、LGBTQ に対しては、LGBTQ の子ども・若者も安全な環境で大人になるために、学校だけでなく、各課の計画に LGBTQ の施策を取り入れて欲しい。海外ルーツや障害と同じように、区の施策の柱立てにして全庁的に取り組んで欲しいという意見が出されています。

2-7 3) やってみたいことはなにか

それぞれの子ども達が、自分の趣味や将来の夢について話をしてくれました。「プレーパークを作りたい」、「ちゃんとしたごみ拾いをしたい」、「この世のものを買い取って貧しい人にあげる」、「中学生が外と交流できる機会が欲しい」、「人間性を否定されてきたが、これまで散々言われてきたけど、それを何とかして、言ってきた人たちの鼻をへし折ってやりたい」等の意見が出されました。

第3章 アンケート調査の詳細分析

第4章のアンケート結果のうち、豊島区の子どもや若者に関する施策に役立てるため、次の3つについて、詳細分析をしました。

- 1 家庭の社会経済的背景（SES）の最下層の困難な環境に対応する力（レジリエンス）の分析
- 2 子ども意見は大切にされているか
- 3 支援機関や団体の連携・協力状況

1 家庭の社会経済的背景（SES）の最下層の困難な環境に対応する力（レジリエンス）の分析

1-1 分析方法

家庭の社会経済的背景（SES: Social-Economic Status）は学力などに強い影響があると言われています。家庭の社会経済的背景（SES）最下層の家庭の子どものうち、学校の成績が高い、あるいは幸福度が高い子どもについて、保護者とのかかわりや子どもの社会的情動（自己肯定感などの非認知脳力）を把握することで、困難な環境に対応する柔軟さ・回復力（レジリエンス）となる要因を分析しました。

分析にあたっては、国際比較学力調査(PISA)、平成25,29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究（文部科学省調査、国立大学法人お茶の水女子大学「平成25年度全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した 学力に影響を与える要因分析に関する 調査研究」「保護者に対する調査の結果と学力等との関係の専門的な分析に関する調査研究」）で採用された方法を参考としました。

区分基準	SES 4 区分		レジリエンス区分			
			成績		幸福度	
家庭の社会経済的背景(SES)	最上層 Highest SES	等価世帯収入※2と両親の学歴（教育年数、例：大学卒業は16年間）を標準化した上で平均値を算出し、その高低で4区分した。 なお、社会学において家庭環境（社会経済的背景）は、所得、学歴、職業の3つの要素からなるとされており、数値に変換することが難しい職業以外の所得、学歴を区分対象とした。（平成25,29年文部科学省調査より）	SES 上位 3/4 でまん中以上	成績が「上のほう」「やや上のほう」「まん中あたり」	SES 上位 3/4 でとても幸福	「しあわせだと思いますか」の間に、「とても幸福」
	準上層 Upper SES		SES 上位 3/4 で下のほう	成績が「下のほう」「やや下のほう」	SES 上位 3/4 でまあ幸福か幸福でない	「しあわせだと思いますか」の間に、「まあ幸福か幸福でない」
	準下層 Lower SES		SES 最下層でまん中以上	成績が「上のほう」「やや上のほう」「まん中あたり」	SES 最下層でとても幸福	「しあわせだと思いますか」の間に、「とても幸福」
	社会的経済背景に対する回復力		SES 最下層で下のほう	成績が「下のほう」「やや下のほう」	SES 最下層でまあ幸福か幸福でない	「しあわせだと思いますか」の間に、「まあ幸福か幸福でない」

レジリエンスがある子どもの特長を分析

※2 世帯収入を世帯人数の平方根で割ってひとりあたりの世帯収入として調整したもの。光熱水費や住居費などの世帯ごとに要する生活費は、世帯人数が多くなるにつれて割安となる傾向があるため、世帯人数の平方根で割って調整する。相対的貧困率の算出と同じ計算方法。

子どもの成長を測る指標は、学校の成績だけではないことから、本調査におけるレジリエンスを測る指標は、学校の成績と幸福度としました。区分（判断）した設問については、「第4章 3-3 家庭の社会経済的背景(SES)とレジリエンス判断の項目とその関連状況を参照してください。

また、この分析は、「第4章 2-3 生活困難について」で示した生活困難層が抱える困難に、どのように対応するとよいかの示唆をえるため、生活困難層と一般層との差が有意であった項目（第4章6，7に結果を記載）を対象としました。

1-2 分析結果のまとめ

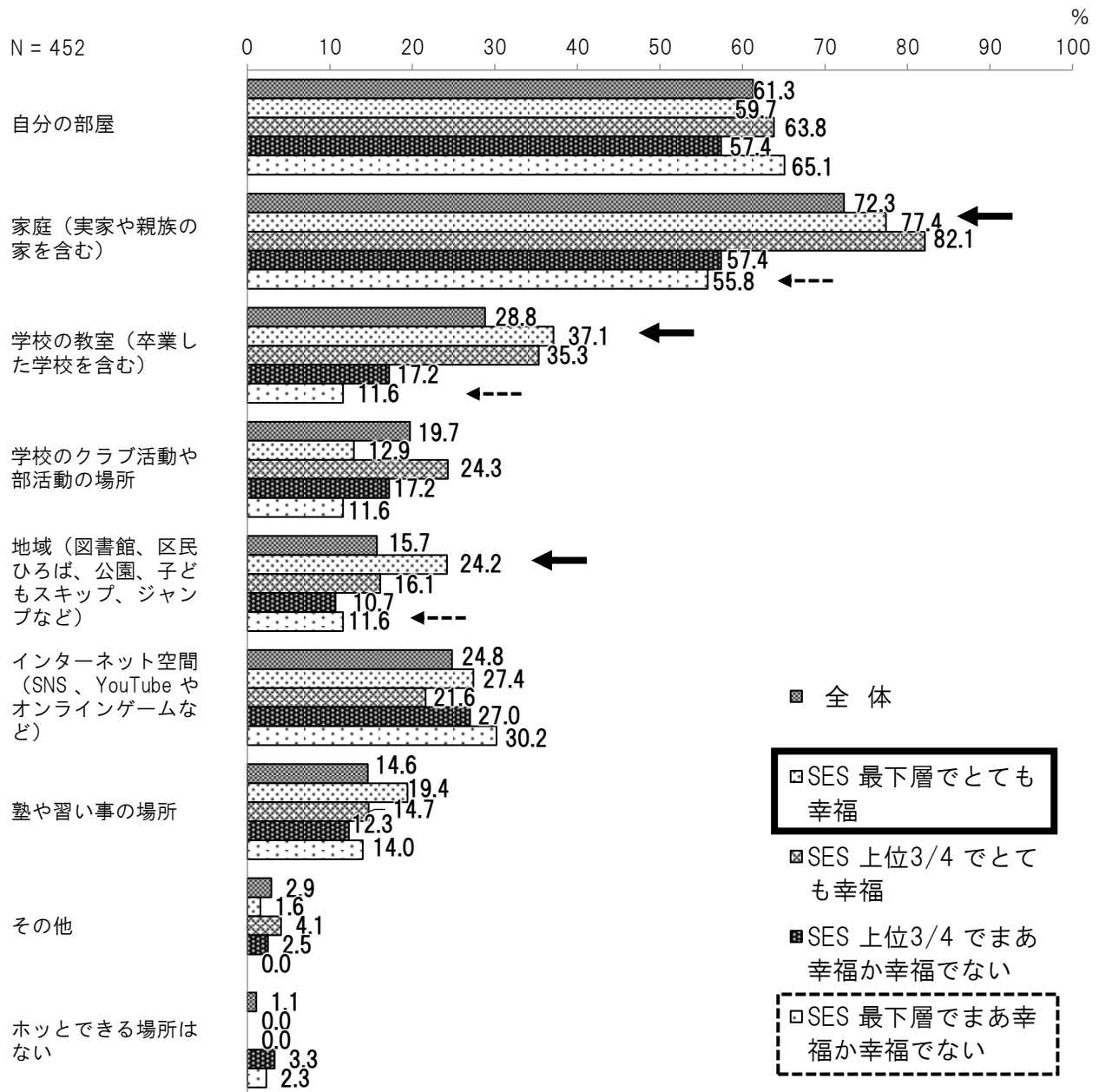
SES 最下層で学校の成績がよい、あるいは幸せと感じている（レジリエンスがある）子どもとその保護者は、次のような傾向があることがわかりました。

分析項目	対象	傾 向	
成績と幸福感	子ども	・ 先生が自分の意見や気持ちを聞いてくれている ・ 学校で自分のペースで過ごすことができている ・ 20 年後には子どもを育てていると思っている ・ 担任の先生と毎日やりとりしている	
	幸福感	子ども	・ 家庭（実家や親族の家を含む）、学校の教室（卒業した学校を含む）、地域（図書館、区民ひろば、公園、子どもスキップ、中高生センタージャンプなど）でホッとできている
	成績	子ども	・ 子どもが親と毎日やりとりしている
	保護者	・ 子育ての相談、重要な事柄の相談、いざという時のお金の援助で頼れる人がいる	

1-3 困難な環境に対応する力(レジリエンス)

■ 1-3-1) あなたにとってホッとできる場所はどこですか (複数回答)

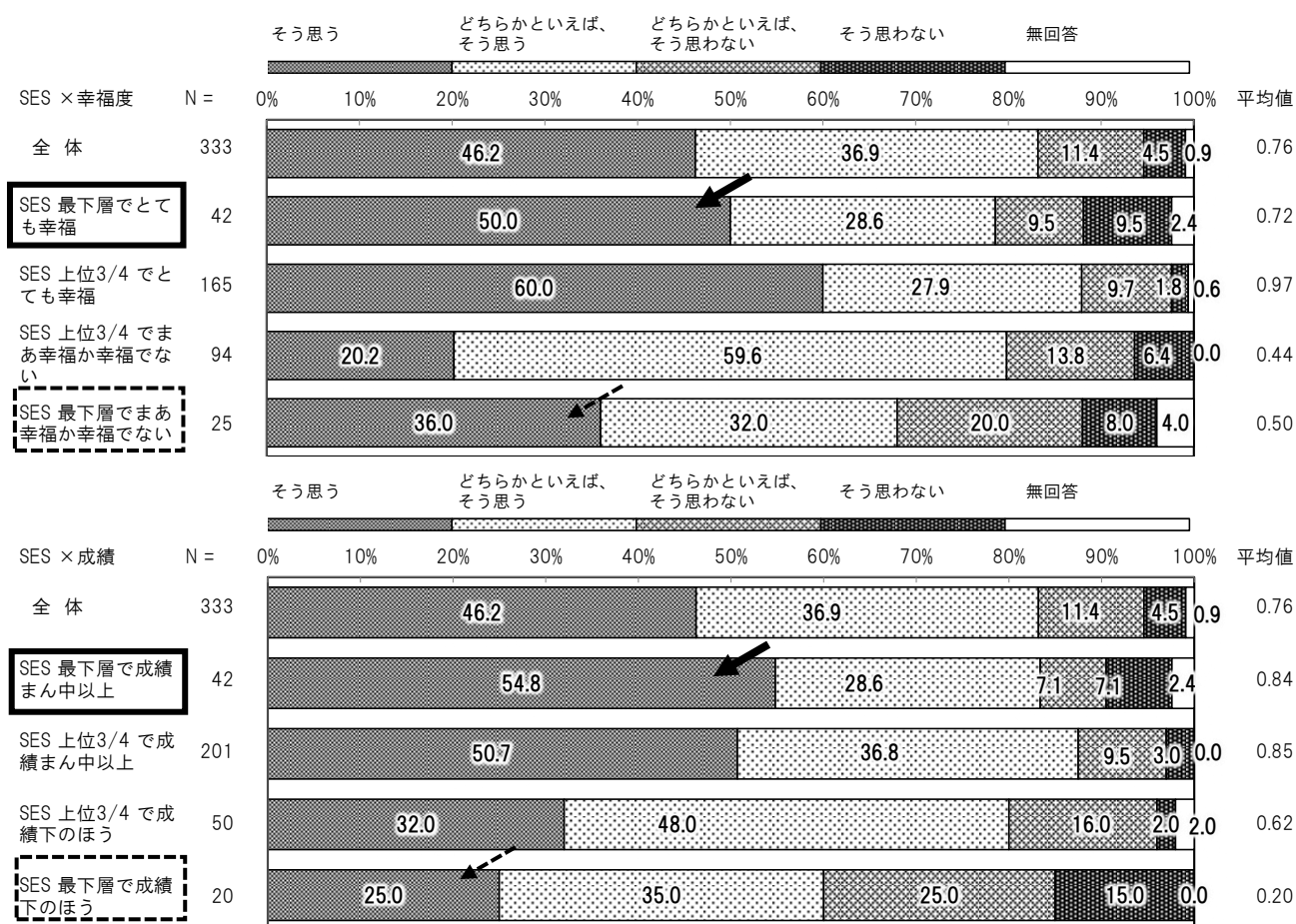
- ・『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「家庭（実家や親族の家を含む）」が 77.4%、「学校の教室（卒業した学校を含む）」が 37.1%、「地域（図書館、区民ひろば、公園、子どもスキップ、ジャンプなど）」が 24.2%で、『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子どもより多く、また『SES 上位 3/4 でとても幸福』な子どもと比べると次に多いか上回りました。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、家庭、学校の教室、地域でホッとできる場所があることと幸福と感ずることには、関連がある可能性があります。



小中1 高2)

■ 1-3-2) 学校生活について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：イ 先生はあなたの意見や気持ちを聞いてくれる SA

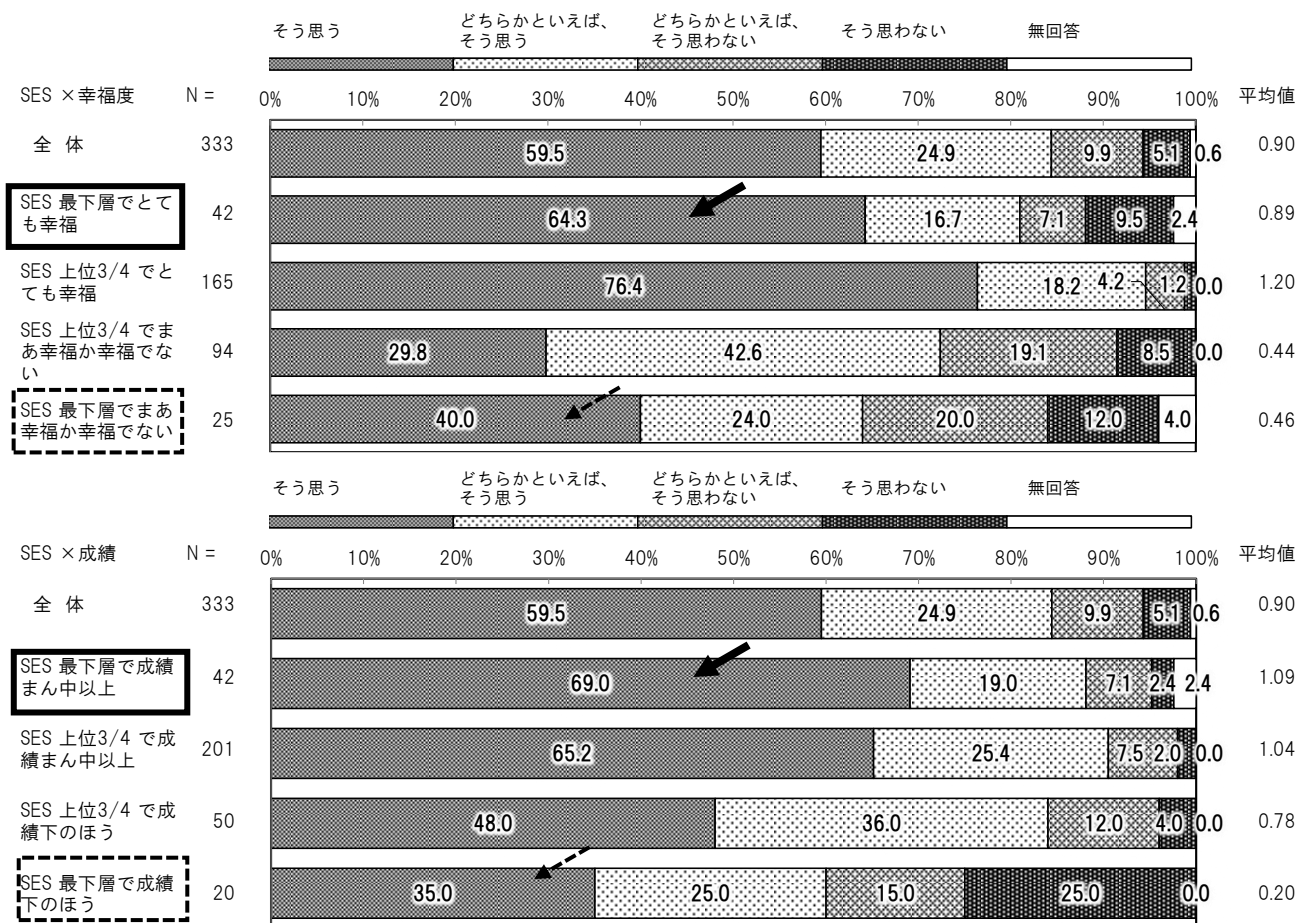
- ・『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「そう思う」が 50.0%で『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子どもの 36.0%より多く、『SES 上位 3/4 でとても幸福』な子どもの 60.0%の次に多い結果でした。
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「そう思う」が 54.8%で『SES 最下層で成績下のほう』の子どもの 25.0%より多く、『SES 上位 3/4 で成績まん中以上』の子どもの 50.7%より上回りました。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、先生が自分の意見や気持ちを聞いてくれることと、幸福と感ずることや学校の成績には、関連がある可能性があります。



小中 12)

■ 1-3-3) 学校生活について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：オ 自分のペースで過ごすことができる SA

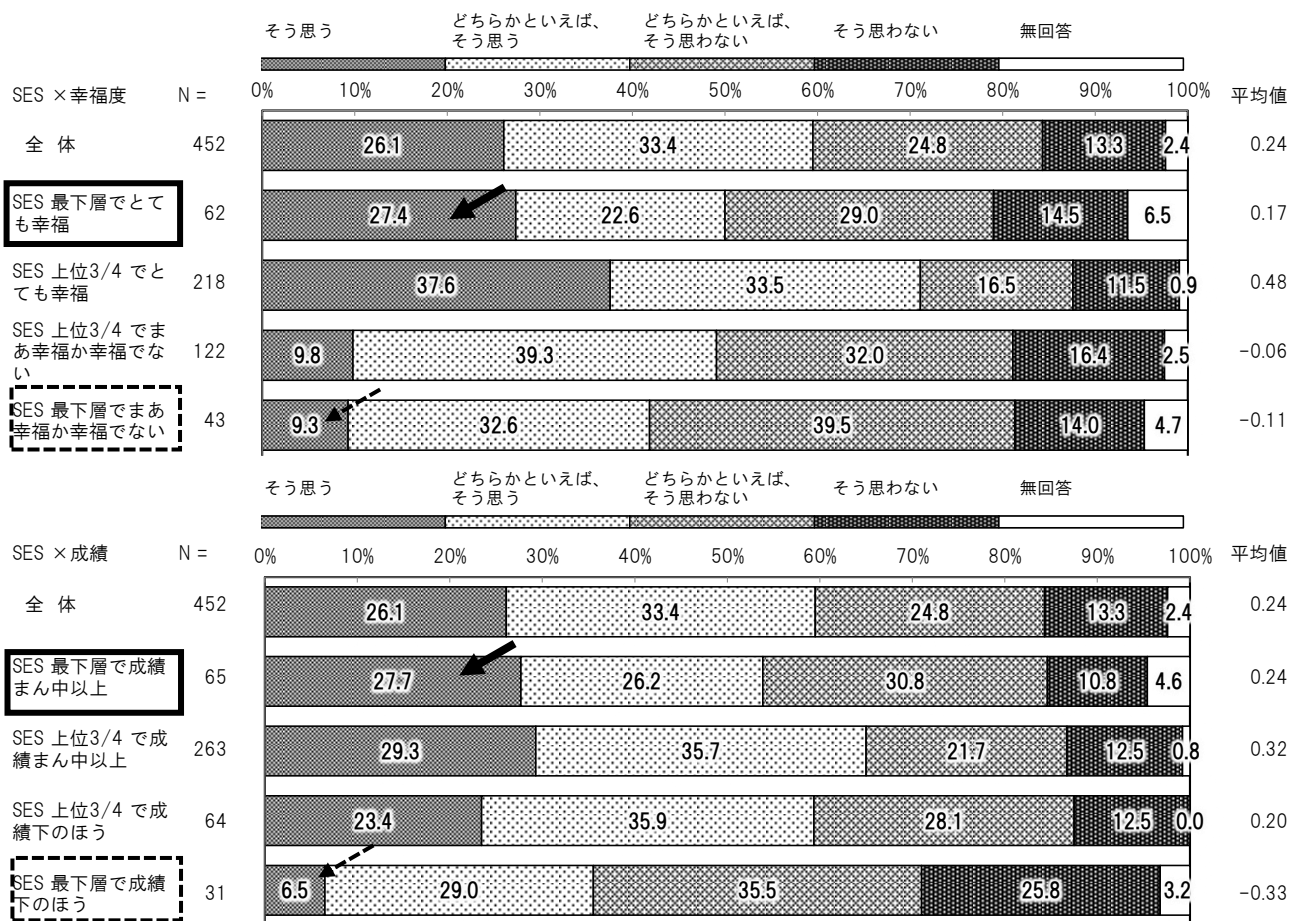
- ・『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「そう思う」が 64.3%で『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子どもの 40.0%より多く、『SES 上位 3/4 でとても幸福』な子どもの 76.4%の次に多い結果でした。
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「そう思う」が 69.0%で『SES 最下層で成績下のほう』の子ども 35.0%より多く、『SES 上位 3/4 で成績まん中以上』の子ども 65.2%より上回りました。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、自分のペースで過ごすことができることと、幸福と感ずることや学校の成績には、関連がある可能性があります。



小中 12)

■ 1-3-4) あなたは、20 年後、どのようになっていると思いますか。：エ 子どもを育てている SA

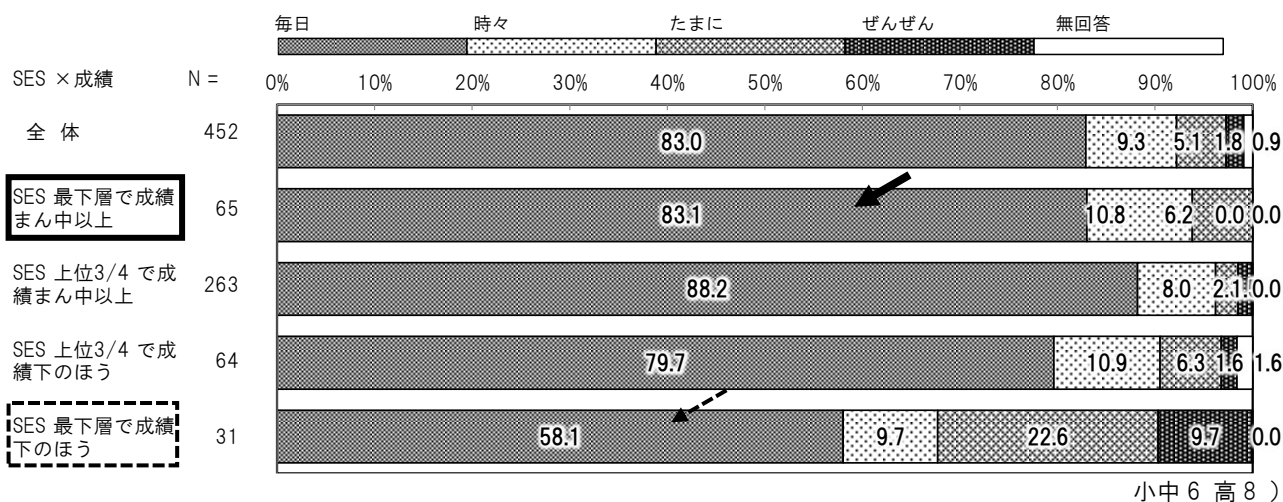
- ・『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「そう思う」が 27.4%で『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子どもの 9.3%より多く、『SES 上位 3/4 でとても幸福』な子どもの 37.6%の次に多い結果でした。
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「そう思う」が 27.7%で『SES 最下層で成績下のほう』の子ども 6.5%より多く、『SES 上位 3/4 で成績まん中以上』の子ども 29.3%の次に多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、20 年後には子どもを育てていると思うことと、幸福と感ずることや学校の成績には、関連がある可能性があります。



小中 13 高 14)

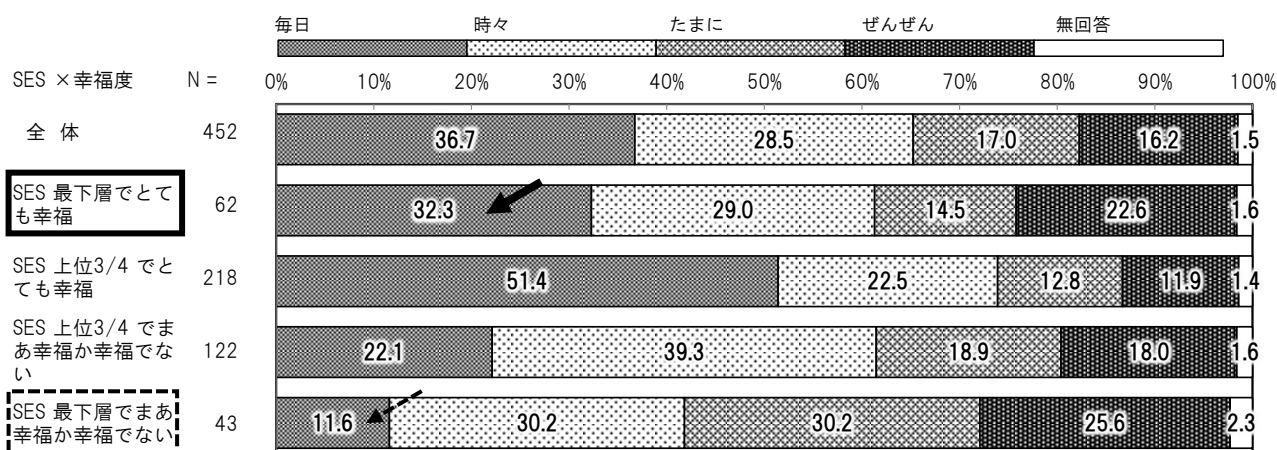
■ 1-3-5) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：ア 親 SA

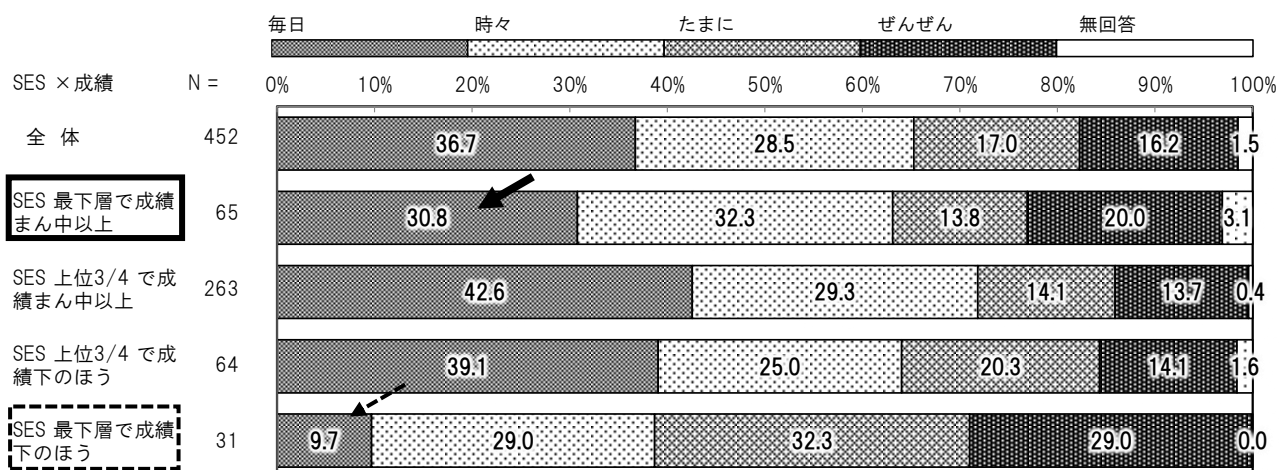
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「毎日」が 83.1%で『SES 最下層で成績下のほう』の子ども 58.1%より多く、『SES 上位 3/4 で成績まん中以上』の子ども 88.2%の次に多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、親と毎日やりとりする関係と学校の成績には、関連がある可能性があります。



■ 1-3-6) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：エ 担任の先生 SA

- ・『SES 最下層でとても幸福』な子どもは、「毎日」が 32.3%で『SES 最下層でまあ幸福か幸福でない』子どもの 11.6%より多く、『SES 上位 3/4 でとても幸福』な子どもの 51.4%の次に多い結果でした。
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の子どもは、「毎日」が 30.8%で『SES 最下層で成績下のほう』の子ども 9.7%より多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、担任の先生と毎日やりとりする関係と、幸福と感ずることや学校の成績には、関連がある可能性があります。

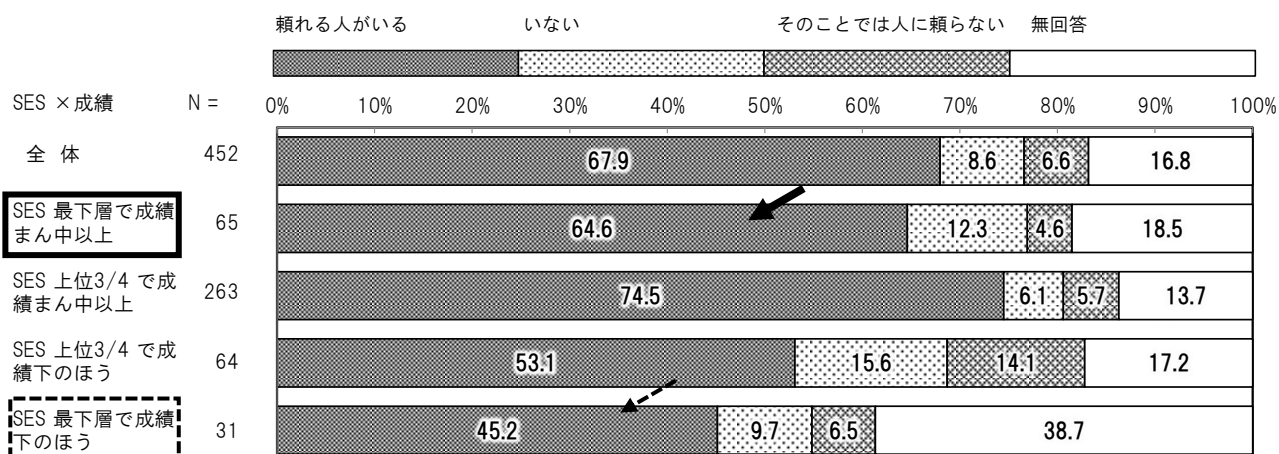




小中6 高8)

■ 1-3-7) あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。：ア 子育てに関する相談 SA

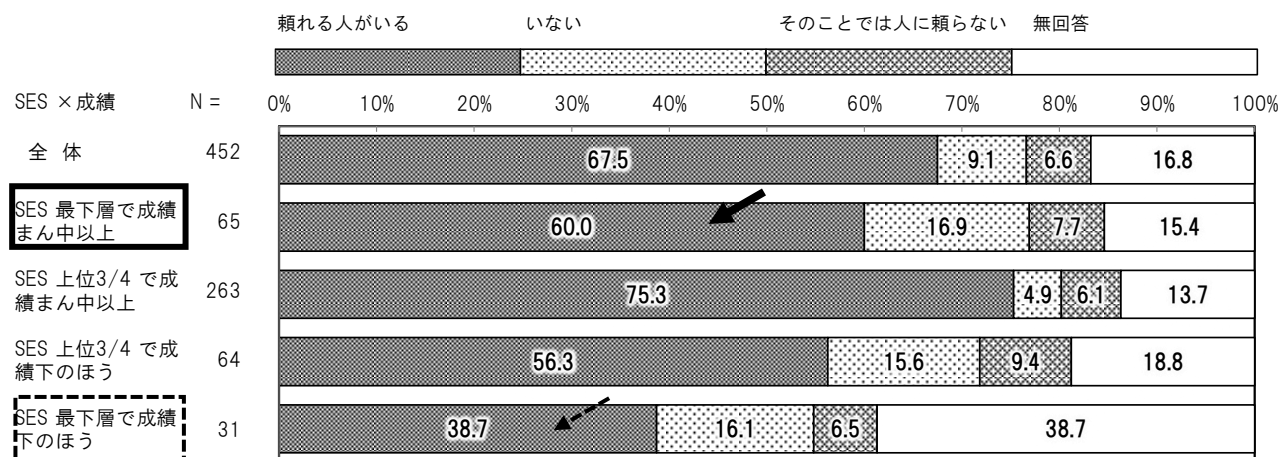
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の保護者は、「頼れる人がいる」が64.6%で『SES 最下層で成績下のほう』の保護者の45.2%より多く、『SES 上位3/4で成績まん中以上』の子どもの74.5%の次に多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、保護者に子育ての相談ができる人がいることと子どもの学校の成績には、関連がある可能性があります。



小保13 中高保10)

■ 1-3-8) あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。：イ 重要な事柄の相談 SA

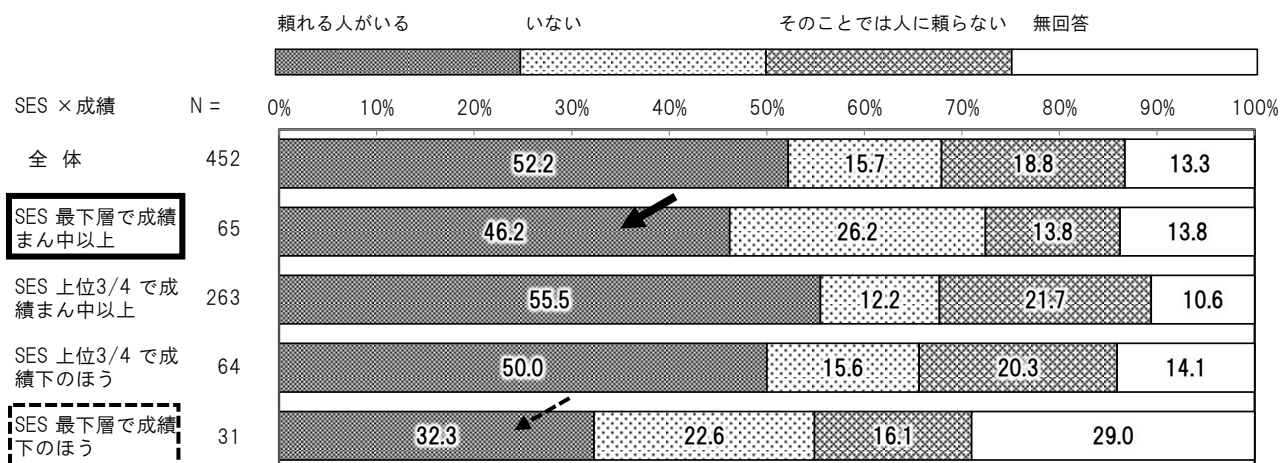
- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の保護者は、「頼れる人がいる」が 60.0%で『SES 最下層で成績下のほう』の保護者の 38.7%より多く、『SES 上位 3/4 で成績まん中以上』の子どもの 75.3%の次に多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、重要な事柄の相談ができる人がいることと子どもの学校の成績には、関連がある可能性があります。



小保 13 中高保 10)

■ 1-3-9) あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。：ウ いざという時のお金の援助 SA

- ・『SES 最下層で成績まん中以上』の保護者は、「頼れる人がいる」が 46.2%で『SES 最下層で成績下のほう』の保護者の 32.3%より多い結果でした。
- ・家庭の経済社会環境が厳しいなかで、いざという時のお金の援助で頼れる人がいることと子どもの学校の成績には、関連がある可能性があります。



小保 13 中高保 10)

2 子どもの意見は大切にされているか

今回のアンケートでは、子どもの意見が大切にされているかについて、「家庭」「学校」「地域社会」の3つのステージで、子どもからの視点と、保護者や大人からの視点で聞いています。それぞれのステージごとのアンケート結果について示します。

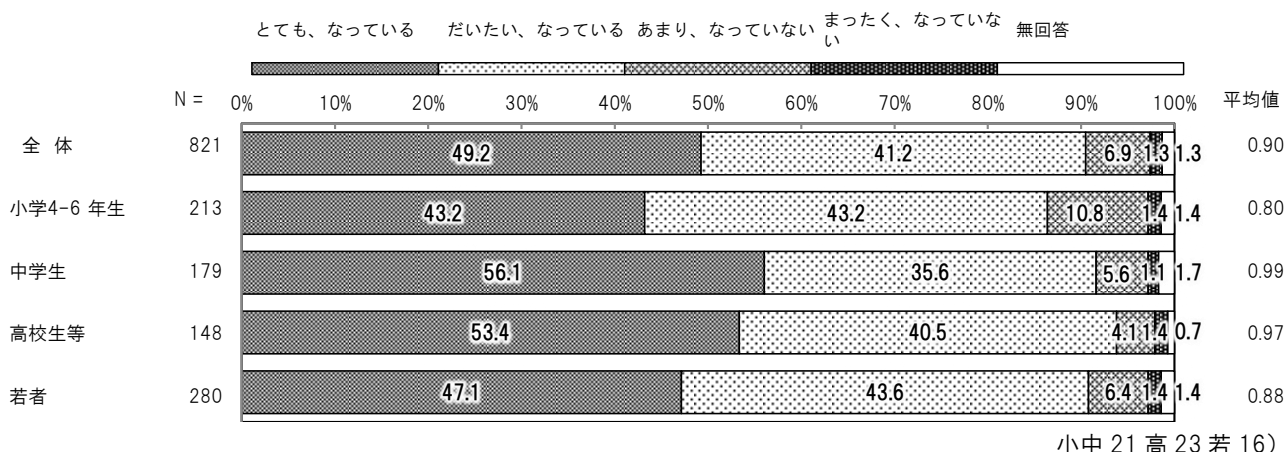
2-1 家庭での子どもの意見について

2-1-1)と2-1-2)は子どもの視点で見た家庭での意見の扱われ方です。2-1-1)では、家で何かを決める時に、小学4-6年生では86.4%が、高校生等で93.9%が意見を言えるようになっていてと答えています。また、2-1-2)では、全体の95.3%が家で意見を大切にされていると感じています。

一方で、2-1-3)～2-1-5)は、保護者から見た子どもの意見の取り扱われ方です。2-1-3)を見ると、子どもからの視点と異なり、小学生の保護者は97.7%が意見を聞いていると答えており、特に小学生において、子どもと親の認識に、少し違いがあるようです。意見を大切にしているかどうかについては、子どもと保護者の認識に大きな違いはありませんでした。

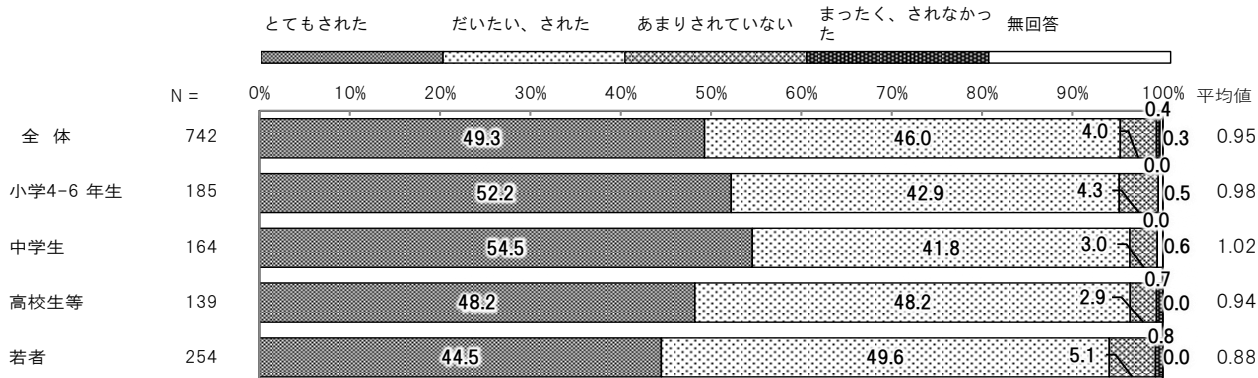
■2-1-1) 家で何かを決めるとき、あなたは意見を言えるようになっていきますか。 SA

- すべての対象で、「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計が「あまり、なっていない」「まったく、なっていない」の合計より多く、最も低い小学4-6年生で86.4%、最も高い高校生等で93.9%でした。



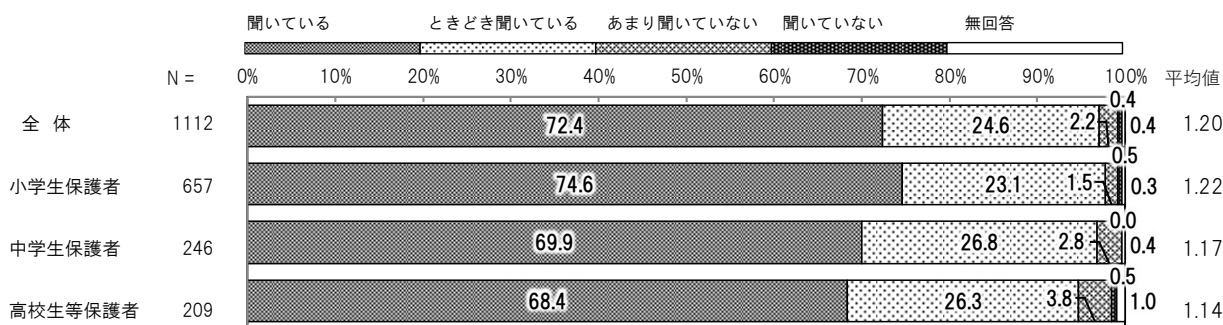
■2-1-2) 家であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い若者で94.1%、最も高い高校生等で96.4%でした。



■ 2-1-3) あなたは、ふだん家で子どもの話をよく聞いていますか。 SA

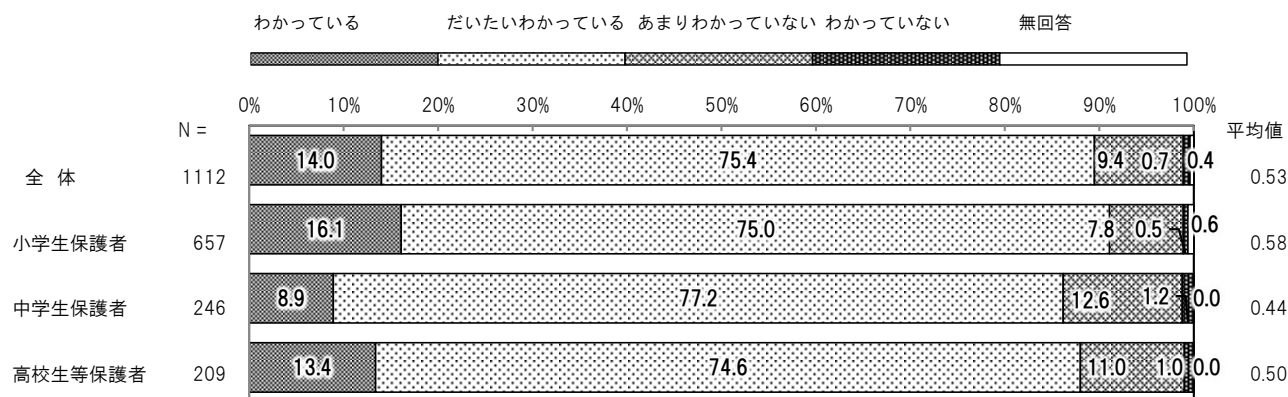
- すべての対象で、「聞いている」「ときどき聞いている」の合計が「あまり聞いていない」「聞いていない」の合計より多く、最も低い高校生等保護者で 94.7%、最も高い小学生保護者で 97.7%でした。



小保 17 中高保 14)

■ 2-1-4) あなたは、子どものことをわかっていると思いますか。 SA

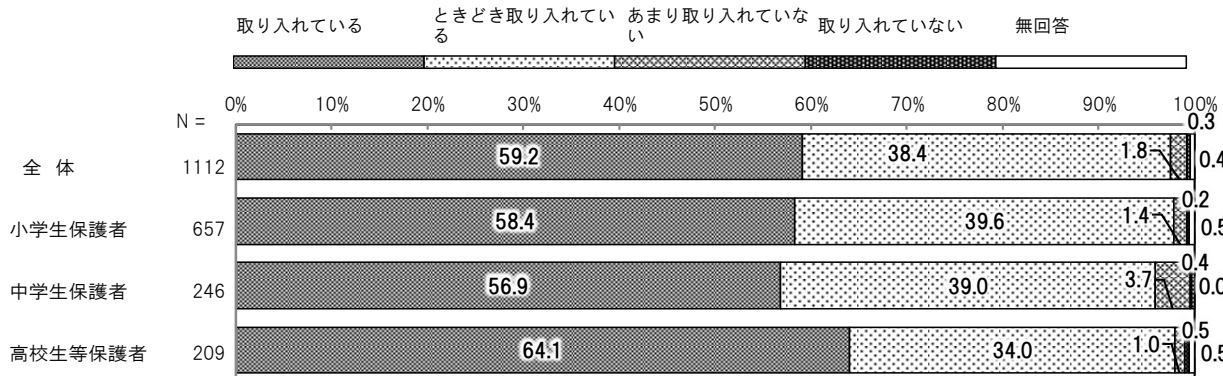
- すべての対象で、「わかっている」「だいたいわかっている」の合計が「あまりわかっている」「わかっている」の合計より多く、最も低い中学生保護者で 86.1%、最も高い小学生保護者で 91.1%でした。



小保 19 中高保 16)

■ 2-1-5) あなたは、家で何かを決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れていますか。 SA

- すべての対象で、「取り入れている」「ときどき取り入れている」の合計が「あまり取り入れている」「取り入れている」の合計より多く、最も低い中学生保護者で 95.9%、最も高い高校生等保護者で 98.1%でした。



小保 20 中高保 17)

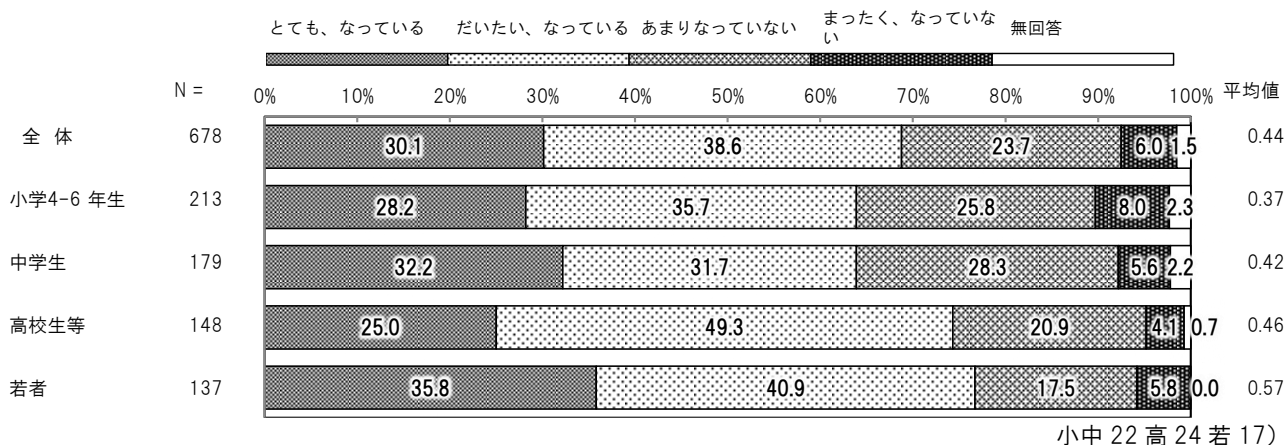
2-2 学校での子どもの意見について

2-2-1)と2-2-2)は子どもの視点で見た、学校での意見の扱われ方です。2-2-1)では、学校で何かを決める時に、意見を言えるようになっていないと答えた割合は、全体で68.7%でした。

一方で、2-2-3)～2-2-8)は、地域団体や区施設職員から見た子どもの意見の取り扱われ方です。5-1-2)を見ると区施設職員のうち75.9%が、保育所や小学校・中学校の先生です。区施設職員の結果には、およそ、保育所や学校の先生の視点が反映されていると考えられます。2-2-4)では、子どもからの視点と異なり、区施設職員の94.3%が子どもの意見や気持ちを聞く(受け止めること)が出来ていると答えており、2-2-1)での子どもとの認識と比べて25.6ポイントの差がありました。ただし、2-2-2)で子どもの視点を見ると、出した意見の94.2%が大切にされていると答えているのに対し、区施設職員では子どもの意見を実現したり反映できたりしたのが2-2-8)では79.9%となっています。つまり、子どもの意見を反映できていると考える区施設職員より、出した意見が大切にされた子どもが多く、適切に意見が扱われている状況でした。

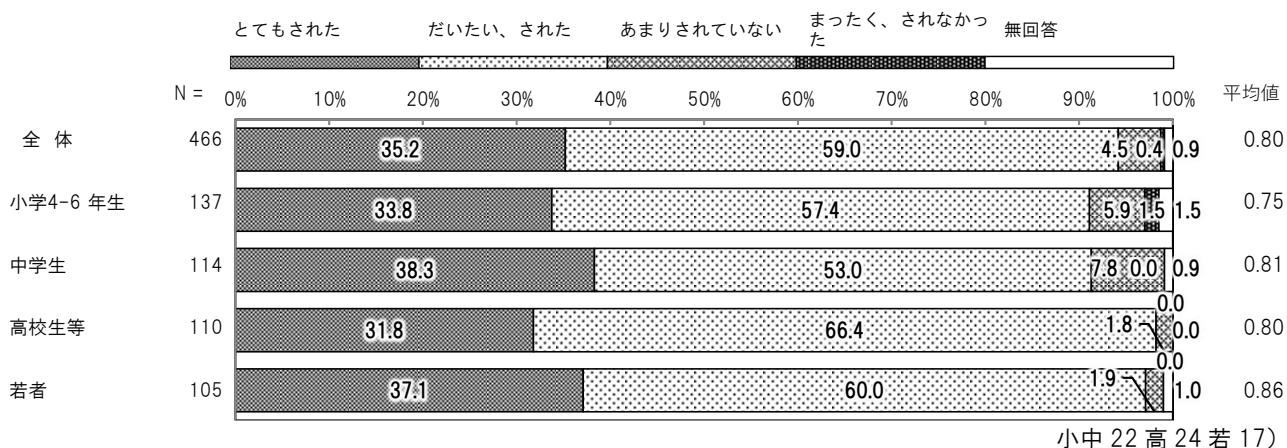
■2-2-1) 学校で何かを決めるとき、あなたは意見を言えるようになっていますか。 SA

- すべての対象で、「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計が「あまりなっていない」「まったく、なっていない」の合計より多く、全体で68.7%でした。



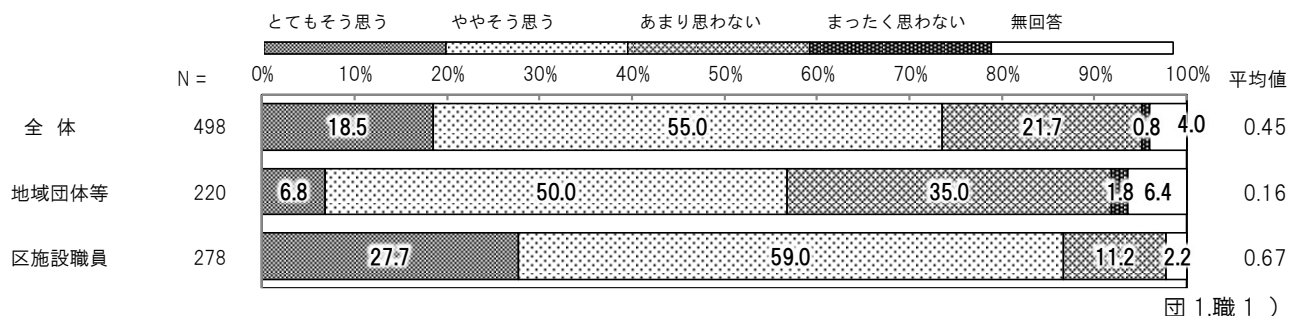
■2-2-2) 学校でああなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い小学4-6 年生で91.2%、最も高い高校生等で98.2%でした。



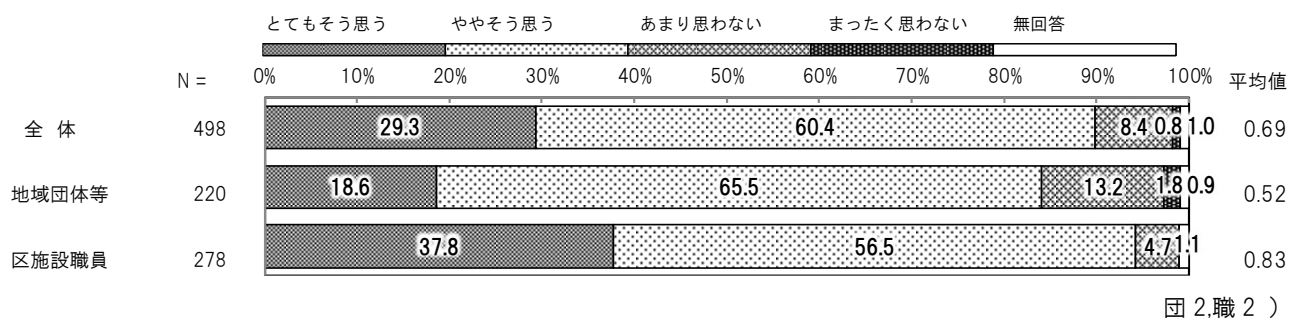
■ 2-2-3) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて イ 安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいる SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 56.8%、区施設職員で 86.7%でした。



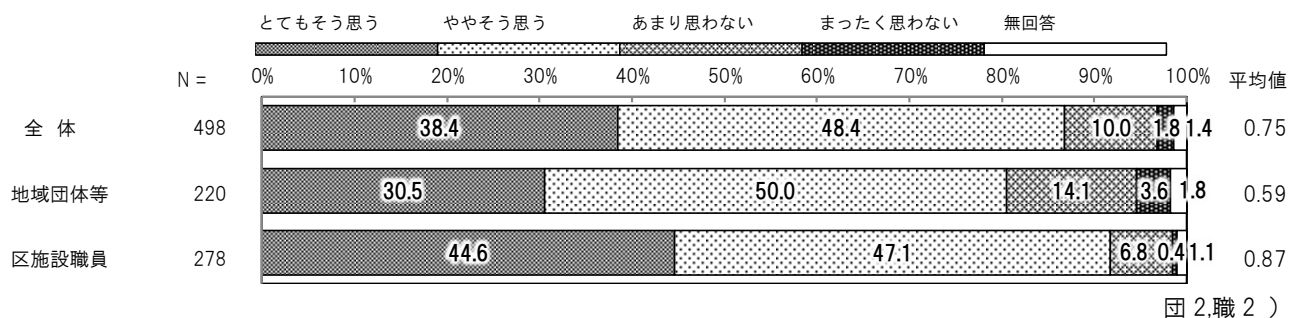
■ 2-2-4) あなたの子どもへの対応方法について ア 子どもの気持ちや意見を聞くこと（受け止めること）ができています SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 84.1%、区施設職員で 94.3%でした。



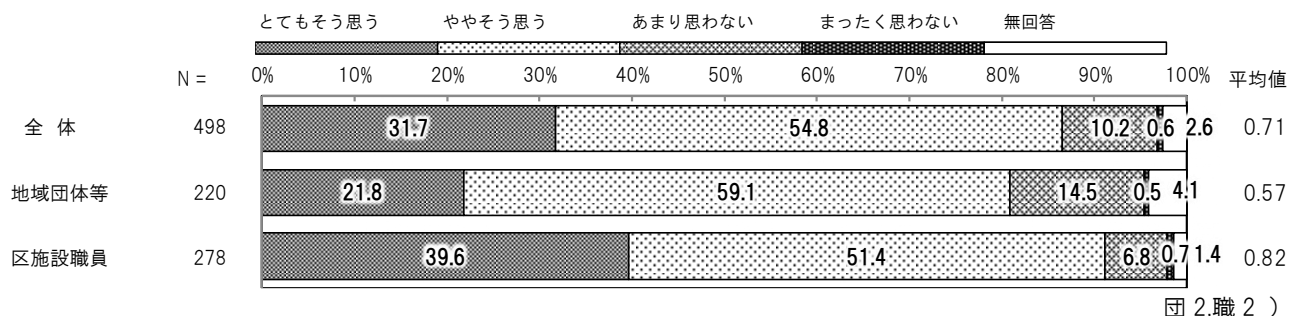
■ 2-2-5) あなたの子どもへの対応方法について イ 地域や、団体で子どもに関わること（運営方針、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 80.5%、区施設職員で 91.7%でした。



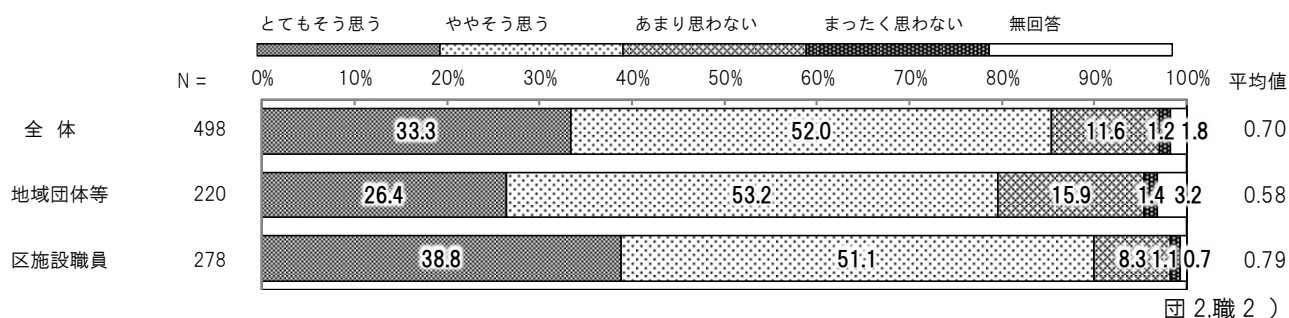
■ 2-2-6) あなたの子どもへの対応方法について ウ 地域や団体で接する子どもたちには可能な限り自由な時間や自主性を持たせている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 80.9%、区施設職員で 91.0%でした。



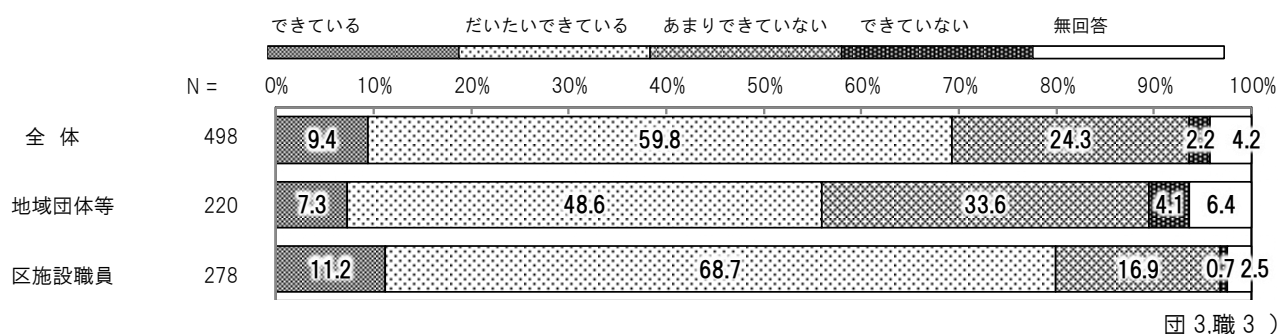
■ 2-2-7) あなたの子どもへの対応方法について エ 団地で子どもに関わること（運営方針、行事等）を決めるとき、自分の思いや考えを自由に言えるようにしている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 79.6%、区施設職員で 89.9%でした。



■ 2-2-8) あなたは、子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現させたりすることができていますか。 SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「できている」「だいたいできている」の合計が「あまりできていない」「できていない」の合計より多く、地域団体等で 55.9%、区施設職員で 79.9%でした。

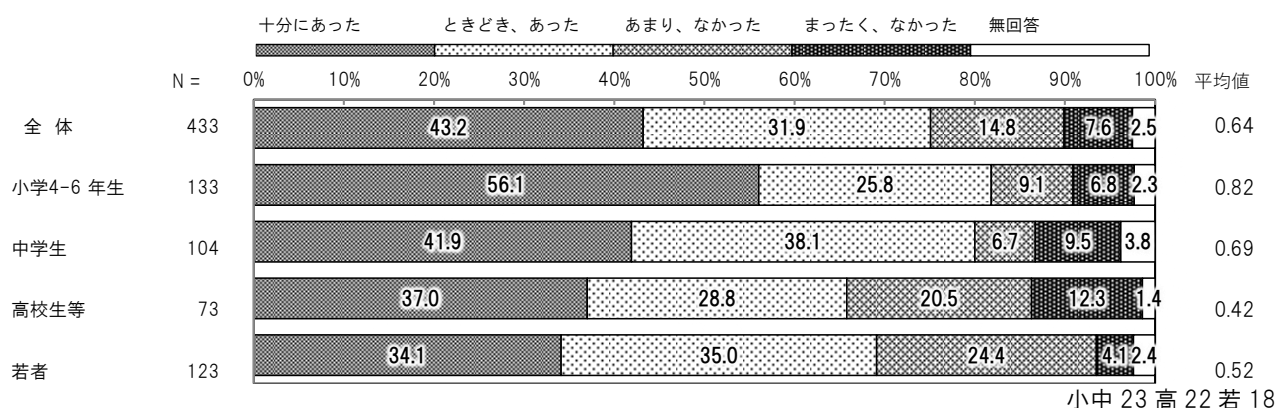


2-3 地域での子どもの意見について

2-3-1)～2-3-3)は、地域で子どもが活動する場合の、子どもの意見の取り扱われ方を示したものです。2-3-2)で見る通り、地域で意見を言えるようになっていないと答えた子どもは、全体で36.7%でした。特に高校生等の割合が低く24.7%でした。一方で、地域の大人の意見は、2-2-3)～2-2-8)の地域団体等に反映されていると考えられますが、2-2-4)で、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受け止めること）ができていると答えている割合が84.1%と答えており、2-3-2)の子どもの回答と違いが出ています。2-2-8)では、子どもからの意見を反映させることができている割合が55.9%となっており、子どもの意見を単に聞くだけでなく、子どもが意見を言いやすい環境を作ることが必要と考えられます。

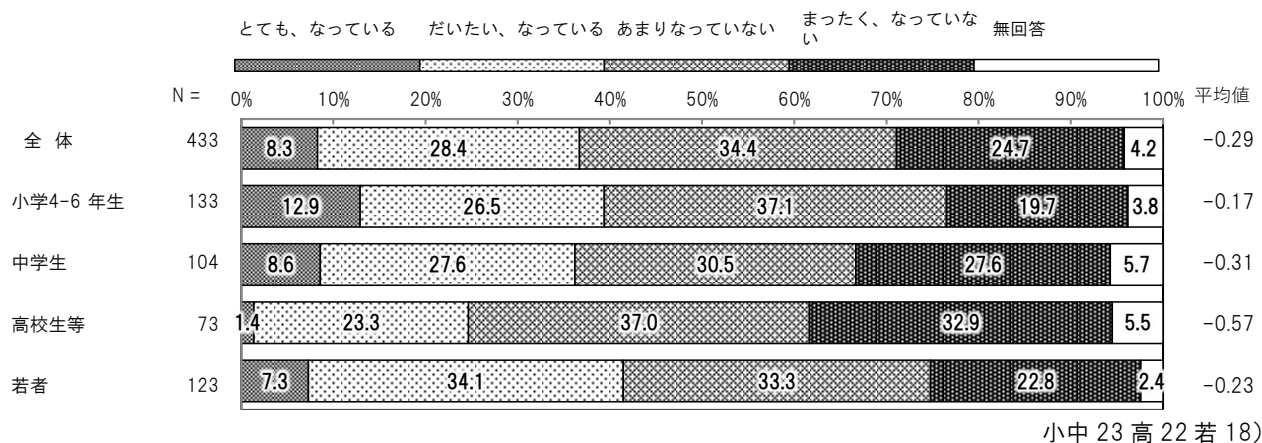
■2-3-1) 地域で何かをしたり、決めたりするとき、大人から事前の説明がありましたか。 SA

- すべての対象で、「十分にあった」「ときどき、あった」の合計が「あまり、なかった」「まったく、なかった」の合計より多く、最も低い高校生等で65.8%、最も高い小学4-6年生で81.9%でした。



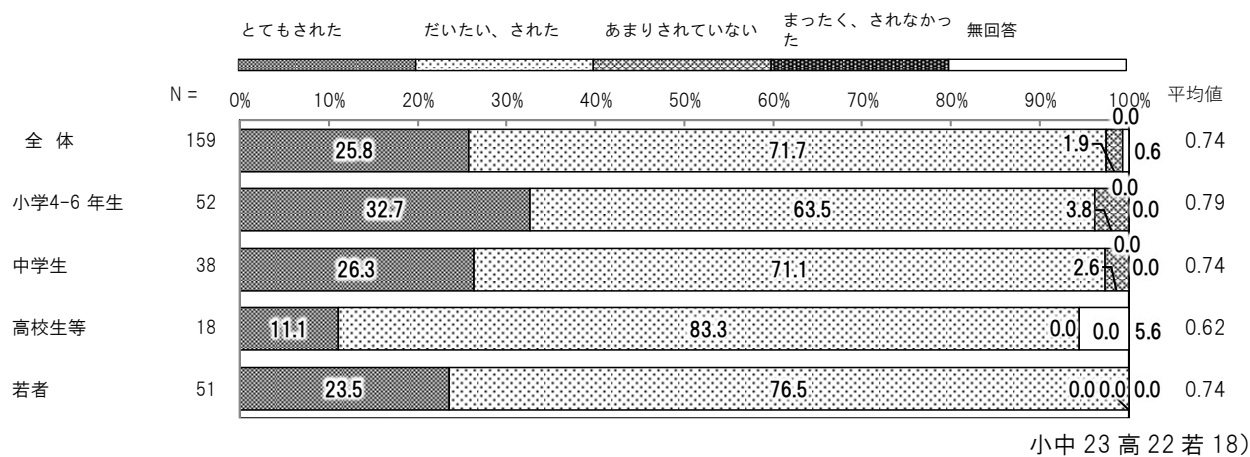
■2-3-2) 地域で何かをしたり、決めたりするとき、あなたは意見を言えるようになっていますか。 SA

- すべての対象で、「あまりなっていない」「まったく、なっていない」の合計が「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計より多く、最も低い若者で56.1%、最も高い高校生等で69.9%でした。



■ 2-3-3) 地域であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- ・ すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い高校生等で 94.4%、最も高い若者で 100.0%でした。



3 支援機関や団体の連携・協力状況

3-1-1)を見ると、地域団体等、区施設職員いずれも「小学校・中学校」と日常的に連携しており、「町会・自治会」、「民生委員・児童委員」、「子どもスキップ」とも連携をしていました。

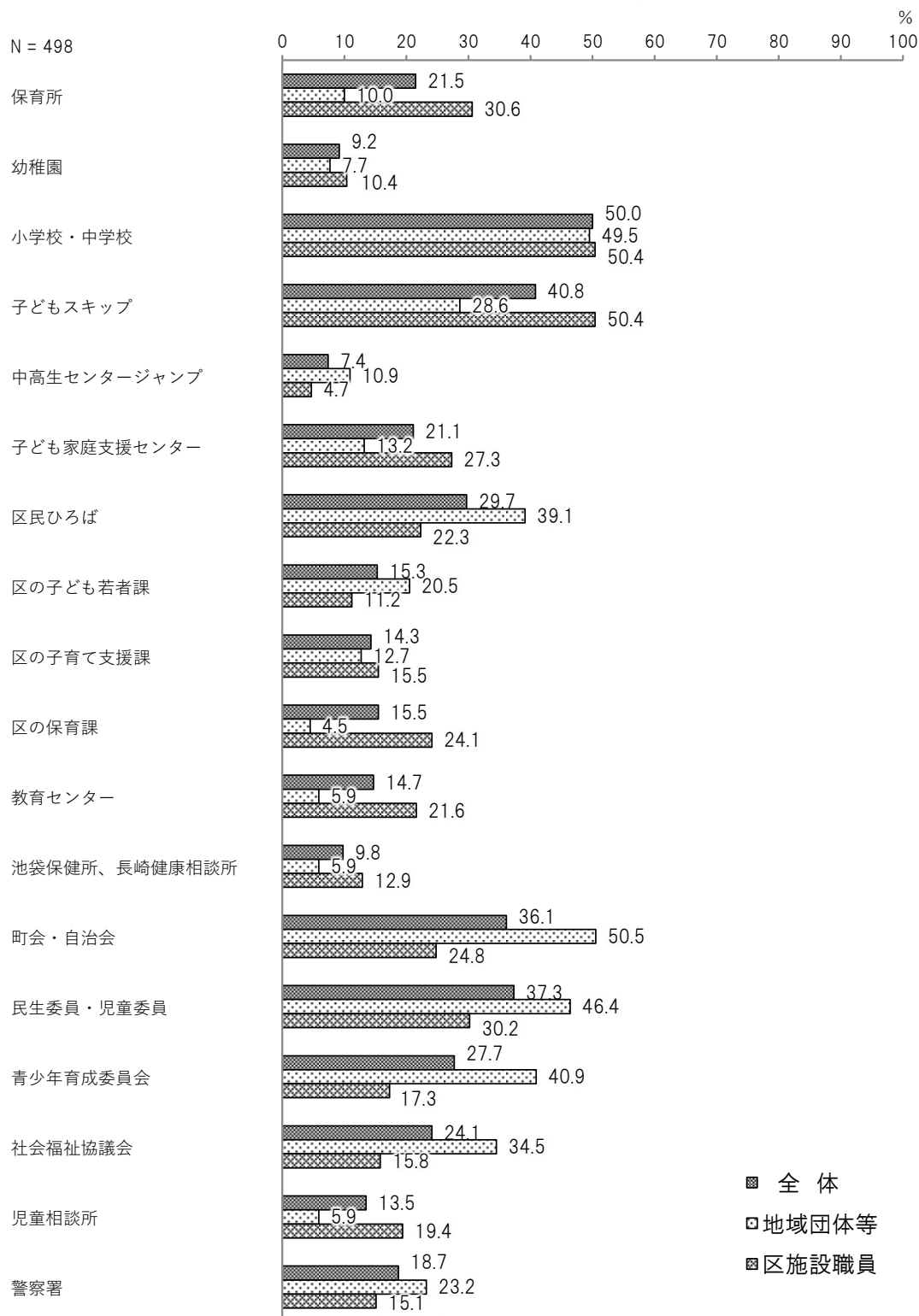
3-1-4)のイベントの企画運営では、地域団体等、区施設職員いずれも「区民ひろば」、「町会・自治会」、「小学校・中学校」、「青少年育成委員会」、「子どもスキップ」、「民生委員・児童委員」と連携していました。

3-1-2)では、地域団体等、区施設職員いずれも「区の子ども若者課」と「社会福祉協議会」に困ったときに相談先としてあげる一方で、地域団体等は区施設職員ほど「子ども家庭支援センター」、「教育センター」、「児童相談所」、「警察署」は少ない結果でした。

3-1-3)の結果を踏まえると、地域団体等は、一部の地域団体等がカンファレンスに参加している「児童相談所」や、「子ども家庭支援センター」、「教育センター」に困ったときに相談できるようになると、より効果的な連携が進む可能性があります。

■ 3-1-1) あなたの団体や職場で、日常的に連携する機関や地域団体 (複数回答)

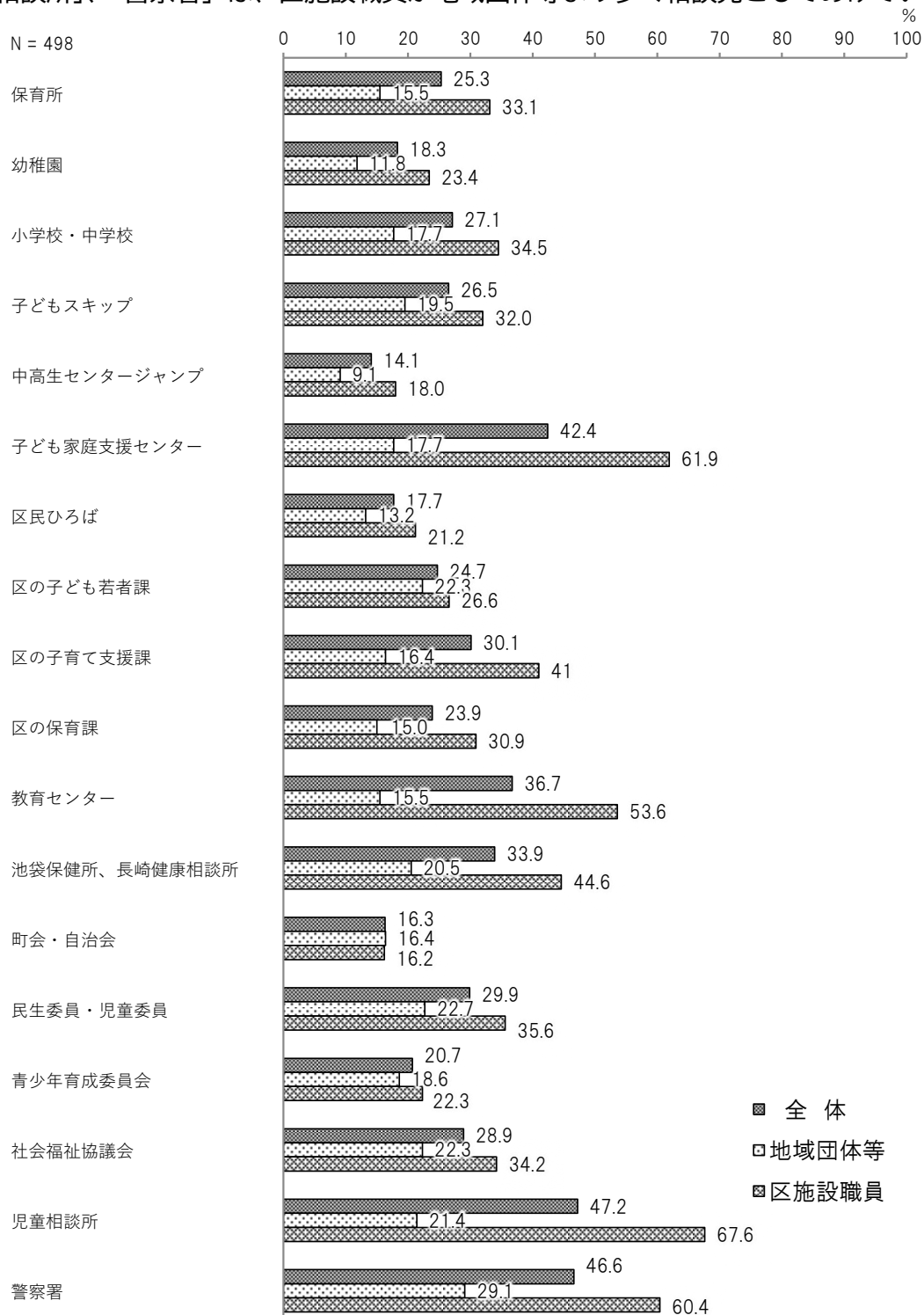
- ・ 地域団体等は、「町会・自治会」が最も多く 50.5%、次いで「小学校・中学校」が 49.5%、「民生委員・児童委員」が 46.4%でした。
- ・ 区施設職員は、「小学校・中学校」と「子どもスキップ」が最も多く 50.4%でした。
- ・ 地域団体等、区施設職員いずれも「小学校・中学校」と日常的に連携しており、「町会・自治会」、「民生委員・児童委員」、「子どもスキップ」とも連携をしています。



団 8,職 10)

■ 3-1-2) あなたの団体や職場で、困った時に相談する機関や地域団体 (複数回答)

- ・ 地域団体等は、「警察署」が最も多く 29.1%、次いで「民生委員・児童委員」が 22.7%でした。
- ・ 区施設職員は、「児童相談所」が最も多く 67.6%、次いで「子ども家庭支援センター」が 61.9%、「警察署」が 60.4%、「教育センター」が 53.6%でした。
- ・ 地域団体等、区施設職員いずれも「区の子ども若者課」と「社会福祉協議会」を困ったときに相談先として同程度にあげる一方で、「子ども家庭支援センター」、「教育センター」、「児童相談所」、「警察署」は、区施設職員が地域団体等より多く相談先としてあげています。



■ 3-1-3) あなたの団体や職場で、困難事例のカンファレンスをする機関や地域団体 (複数回答)

- ・ 地域団体等は、実施機会が少なく、「警察署」が最も多く 4.5%、次いで「児童相談所」が 3.6%でした。
- ・ 区施設職員は、「子ども家庭支援センター」が最も多く 32.7%、次いで「児童相談所」が 28.1%、「教育センター」が 20.5%でした。

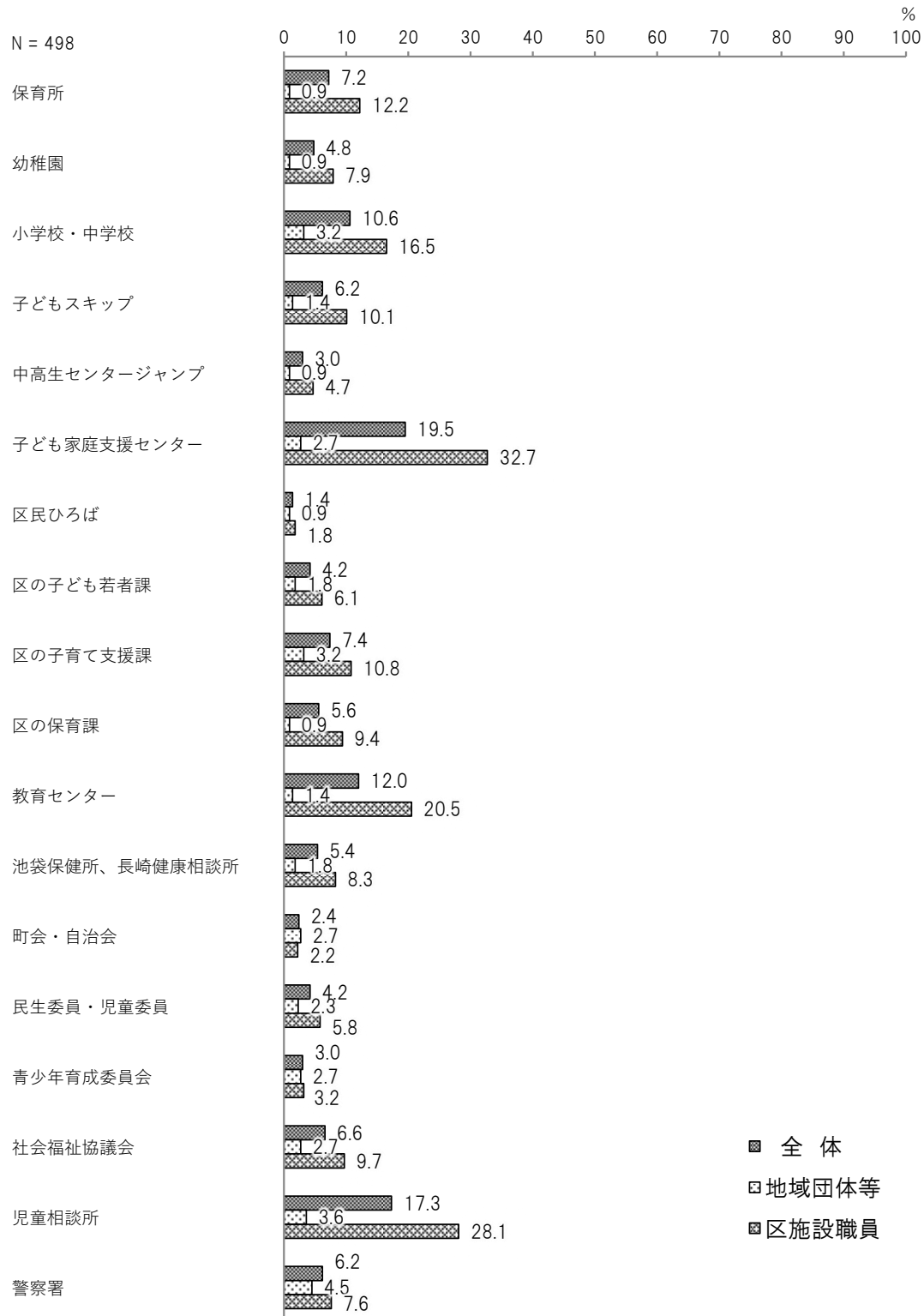
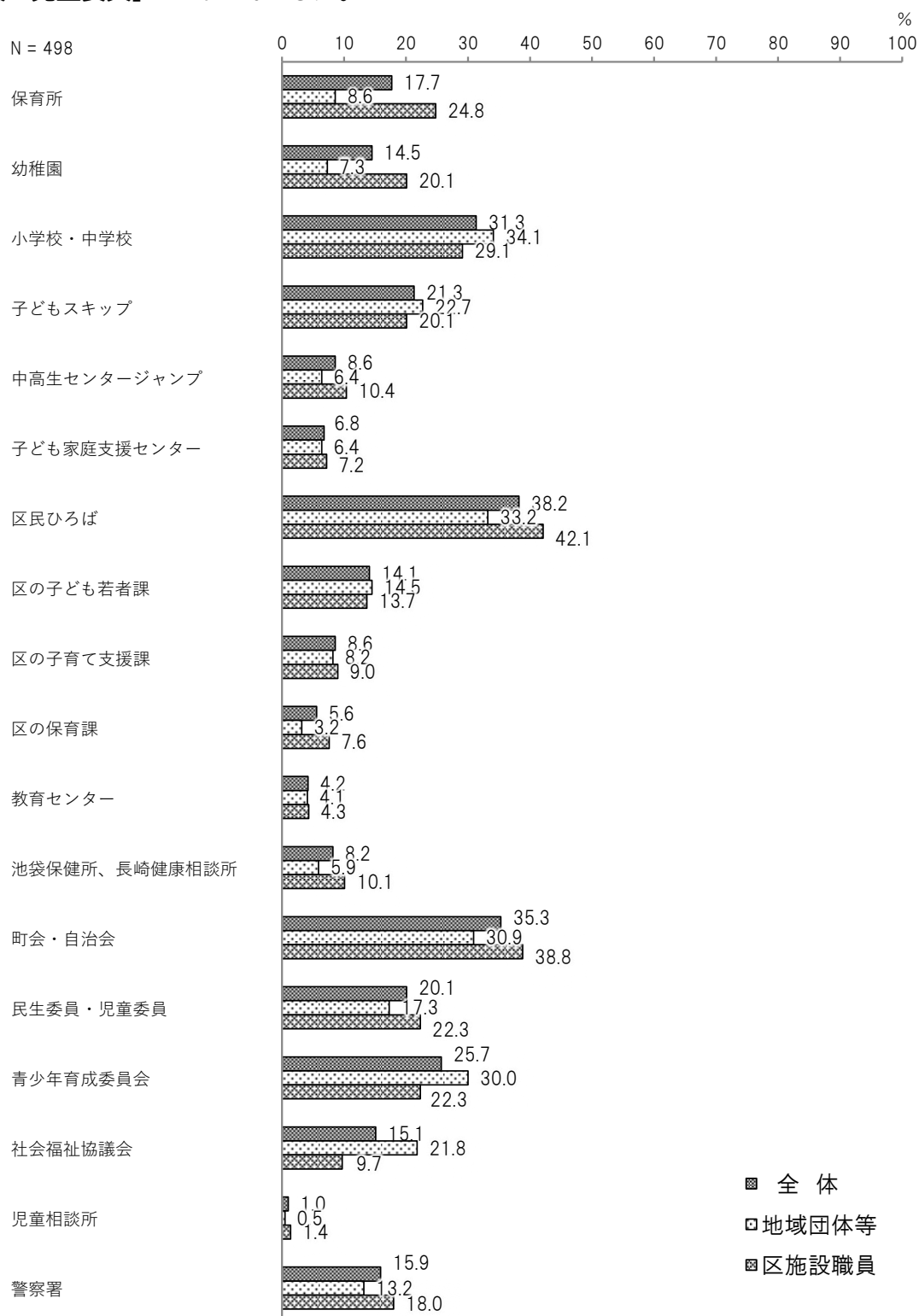


図 8.職 10)

■ 3-1-4) あなたの団体や職場で、プログラムやイベントの企画運営をする機関や地域団体
(複数回答)

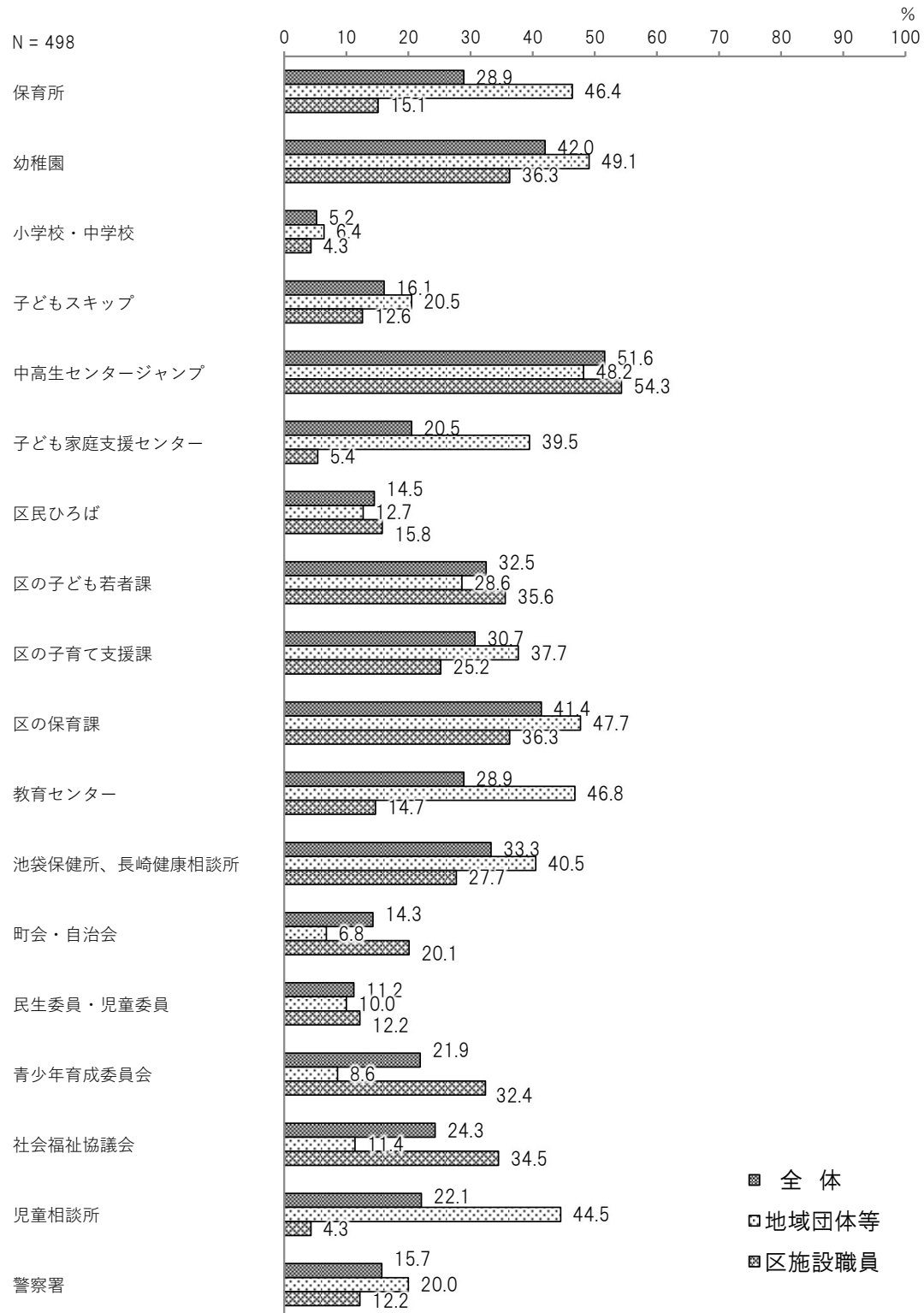
- ・ 全体は、「区民ひろば」が最も多く 38.2%、次いで「町会・自治会」が 35.3%、「小学校・中学校」が 31.3%、「青少年育成委員会」が 25.7%、「子どもスキップ」が 21.3%、「民生委員・児童委員」が 20.1%でした。



団 8,職 10)

■ 3-1-5) あなたの団体や職場で、連携・協力していない機関や地域団体 (複数回答)

- ・ 地域団体等は「幼稚園」が最も多く 49.1%、次いで「中高生センタージャンプ」が 48.2%、「区の保育課」が 47.7%、「教育センター」が 46.8%、「保育所」が 46.4%でした。
- ・ 区施設職員は、「中高生センタージャンプ」が最も多く 54.3%、次いで「幼稚園」と「区の保育課」が 36.3%でした。



団 8,職 10)

第4章 アンケート調査結果

1 回答者属性

1-1 年齢

1-1-1) 子どもの年齢階層

- ・子どもの回答者数は合計で821となり、小学4-6年生が25.9%、中学生が21.9%、高校生等が18.0%となりました。若者について年齢階層を区分すると、「18-19歳」が5.4%、「20-24歳」が13.5%、「25-30歳」が15.2%でした。

調査数	年齢階層 上段：実数、下段：%					
	小学4-6年生	中学生	高校生等	18-19歳	20-24歳	25-30歳
821	213	180	148	44	111	125
100.0	25.9	21.9	18.0	5.4	13.5	15.2

1-1-2) 保護者回答による子どもの年齢

- ・保護者の回答者数は合計で1939となり、小学3年生以下の保護者については、年齢・学年あたり100票以上の回答を得られました。

調査数	年齢・学年 上段：実数、下段：%																		
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生年齢	高校2年生年齢	高校3年生年齢	無回答
1939	143	137	128	139	135	127	115	128	125	90	98	89	82	65	60	75	58	39	106
100.0	7.4	7.1	6.6	7.2	7.0	6.5	5.9	6.6	6.4	4.6	5.1	4.6	4.2	3.4	3.1	3.9	3.0	2.0	5.5

1-2 子ども・若者の家族構成

- ・子どもから見た家族構成は、「ふたり親と子」が63.8%、「ひとり親と子」が10.2%、「三世代」が5.1%、単身が12.4%でした。

調査数	家族構成 上段：実数、下段：%						
	ふたり親と子	ひとり親と子	三世代	単身	パートナーと自分	その他	無回答
821	524	84	42	102	47	15	7
100.0	63.8	10.2	5.1	12.4	5.7	1.8	0.9

小中 F3 高 F3) 若 F5)

1-3 高校生等の状況

1-3-1) 通学

- ・「高等学校」と「高等専門学校や専修学校」の合計は95.3%でした。

	調査数	あなたは、現在、学校に在籍していますか。 上段：実数、下段：%				
		高等学校	高等専門学校や専修学校	左記の学校のいずれかに在籍したが中途退学した	左記の学校のいずれかに在籍したことがない	無回答
高校生等	148	139	2	1	1	5
	100.0	93.9	1.4	0.7	0.7	3.4

高 11)

1-4 若者の状況

1-4 1) 学歴

- ・「4年制大学・大学院」が最も多く74.6%でした。

調査数	最後に卒業（中退を含む）した、または現在在学している学校 上段：実数、下段：%							
	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制・通信制・サポート校）	専門学校	4年制大学・大学院	高等専門学校・短期大学	その他	無回答
280	2	19	5	33	209	6	5	1
100.0	0.7	6.8	1.8	11.8	74.6	2.1	1.8	0.4

若 F3)

1-4 2) 就学・就労状況

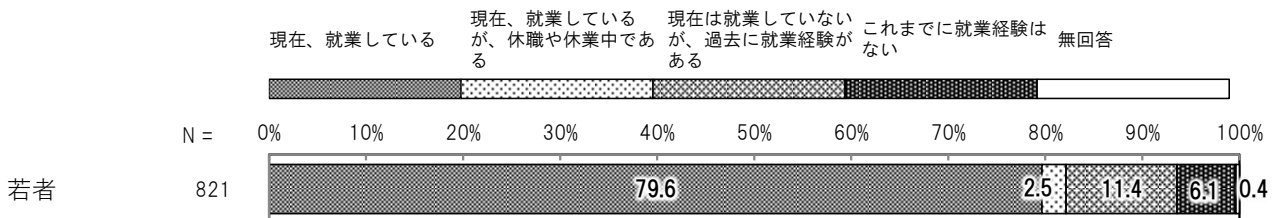
- ・「正規の社員・職員・従業員」が最も多く48.9%で、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」が33.6%でした。

調査数	あなたの就学・就業状況 上段：実数、下段：%													
	学生・生徒（予備校生などを含む）	パート・アルバイト（学生除く）	派遣社員	契約社員・嘱託	正規の社員・職員・従業員	会社などの役員	自営業・自由業	家族従業者・内職	専業主婦・主夫	家事手伝い	無職（仕事を探している）	無職（仕事を探していない）	その他	無回答
280	94	20	2	5	137	3	5	0	4	2	5	2	1	0
100.0	33.6	7.1	0.7	1.8	48.9	1.1	1.8	0.0	1.4	0.7	1.8	0.7	0.4	0.0

若 F9)

1-4 3) 就業経験

- ・「現在、就業している」が最も多く79.6%、次いで「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」が11.4%でした。



若 F10)

1-4 4) 婚姻

- ・「結婚していない」が最も多く87.1%でした。

調査数	あなたの現在の婚姻状況 上段：実数、下段：%			
	結婚している（事実婚を含む）	結婚したことはあるが、今はしていない	結婚していない	無回答
280	35	1	244	0
100.0	12.5	0.4	87.1	0.0

若 F4)

1-4 5) 生計

- ・ 生計を支えている人は、「あなた自身」が最も多く 46.1%、次いで「父親」が 33.6%でした。

調査数	生計を支えている方仕送りの方で生計を立てている方は、その仕送りをしている方 上段：実数、下段：%							
	あなた自身	父親	母親	配偶者・パートナー	兄弟姉妹	他の家族や親せき	わからない、答えられない	無回答
280	129	94	27	21	0	1	3	5
100.0	46.1	33.6	9.6	7.5	0.0	0.4	1.1	1.8

若 F6)

- ・ 生計を支えている人の主な収入源は、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が 95.4%でした。

調査数	主に生計を支えている方の主な収入源 上段：実数、下段：%						
	就労、事業による収入（農業収入を含む）	預金やその利息、財産からの収入（株の配当や不動産賃料など）	年金	生活保護	その他	わからない、答えられない	無回答
280	267	0	3	1	6	3	0
100.0	95.4	0.0	1.1	0.4	2.1	1.1	0.0

若 F7)

- ・ 暮らし向きは、「普通」が 48.9%で、「どちらかという低い」「低い」の合計は 12.9%でした。

調査数	あなたの暮らし向きは、世間一般と比べてみて、どれにあたると思われますか。 上段：実数、下段：%					
	高い	どちらかという高い	普通	どちらかという低い	低い	無回答
280	31	76	137	29	7	0
100.0	11.1	27.1	48.9	10.4	2.5	0.0

若 F8)

2 困難を抱える状況

2-1 広義のひきこもり群

本調査では、「こども・若者の意識と生活に関する調査」（令和5年3月内閣府）の定義による「広義のひきこもり群」を算出しました。

2-2 広義のひきこもり群の定義の概要

- ・ 普段の外出状況の問で「趣味の用事のときだけ」、「近所のコンビニなど」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答し、かつ、その状況が6か月以上と回答した者
- ・ かつ、下記①～④以外の者
①病気、②「妊娠、介護の担い手、出産育児を理由に現在の状況になった、仕事が専業主婦や家事手伝い、普段自宅で家事、育児、介護・看護をしている」かつ「家族以外の人と会話した」、③仕事が会社役員、自営業・自由業、④「家族従業者・内職、仕事がパート・アルバイトや正社員、自宅で仕事をしていることを理由に現在の状況になった、普段自宅で仕事をする」かつ「現在、就業している」
- ・ 「狭義のひきこもり群」は0%で、「準ひきこもり群」は2.4%、「狭義のひきこもり群」と「準ひきこもり群」である「広義の引きこもり群」は2.4%でした。

調査数	ひきこもり細区分 上段：実数、下段：%				
	広義のひきこもり群			広義のひきこもり群以外	無回答
		狭義のひきこもり群	準ひきこもり群		
452	11	0	11	431	10
100.0	2.4	0.0	2.4	95.4	2.2

2-3 生活困難について

本調査では、子育て世帯の困難状況を把握するため、所得と家計圧迫による生活困難度で区分し、経済的な背景による生活困難を抱えていると考えられる家庭の状況を分析しました。

生活困難度区分は、東京都子供の生活実態調査報告書【小中高校生等調査】の方法を参考にしました。生活困難層と一般層でクロス集計し、有意な差があった項目について、「第4章 6 子どもから把握した状況、7 保護者から把握した状況」で（クロス集計）分析しました。

区分基準	目的・根拠	細区分		区分方法
生活困難	経済面での困難の状況を把握する 東京都子供の生活実態調査（平成29年3月）を参考	一般層		下記以外
		生活困難層	周辺層	困窮層の①～③のいずれかにあてはまる世帯
		困窮層		以下の2つ以上にあてはまる世帯 ①等価可処分所得 ^{※3} が厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」 ^{※4} による2021（令和3）年の貧困線「127万円」未満 ②家計の圧迫（電気料金、ガス料金、水道料金、食料、衣服が払えない状況） ③子どもの体験や所有物に関する15項目 ^{※5} のうち経済的な理由で欠如しているのが3項目以上

区分（判断）した設問については、「第4章 3-2 生活困難の状況判断の項目とその関連状況」を参照してください。

- ・「困窮層」は6.9%、「周辺層」は13.1%、「困窮層」と「周辺層」である「生活困難層」は19.9%でした。

調査数	生活困難層区分 上段：実数、下段：%			
	生活困難層			一般層
		困窮層	周辺層	
452	90	31	59	362
100.0	19.9	6.9	13.1	80.1

※3 収入のうち、税金や社会保険料などを除いた所得で、自分で自由に使える手取り収入のこと。給与所得者の場合は、「給与収入金額－（社会保険料＋所得税・住民税の額）」がこれに当たる。

※4 保健、医療、福祉、年金、所得など国民生活の基礎的な事柄について調査することを目的として、1986年（昭和61年）から厚生労働省が毎年実施している。相対的貧困率については3年ごとに算出されている。

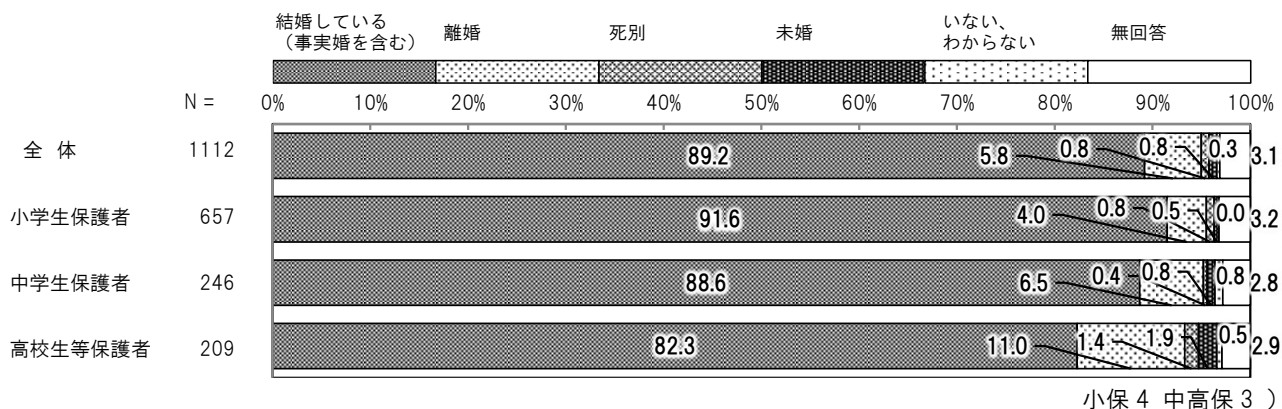
※5 子どもの体験や所有物に関する15項目：1)海水浴に行く、2)博物館・科学館・美術館などに行く、3)キャンプやバーベキューに行く、4)スポーツ観戦や劇場に行く、5)遊園地やテーマパークに行く、6)毎月お小遣いを渡す、7)毎年新しい（お古でない）洋服・靴を買う、8)習い事（音楽、スポーツ、習字（しゅうじ）等）に通わせる、9)学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンライン含む）、10)お誕生日のお祝いをする、11)年に1回くらい家族旅行に行く、12)クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる、13)修学旅行などお金がかかる学校の活動、14)パソコンかタブレットを与える、15)スマートフォンを与える

3 子どもがいる世帯の状況、子どもの学力と幸福度

3-1 婚姻や世帯構成

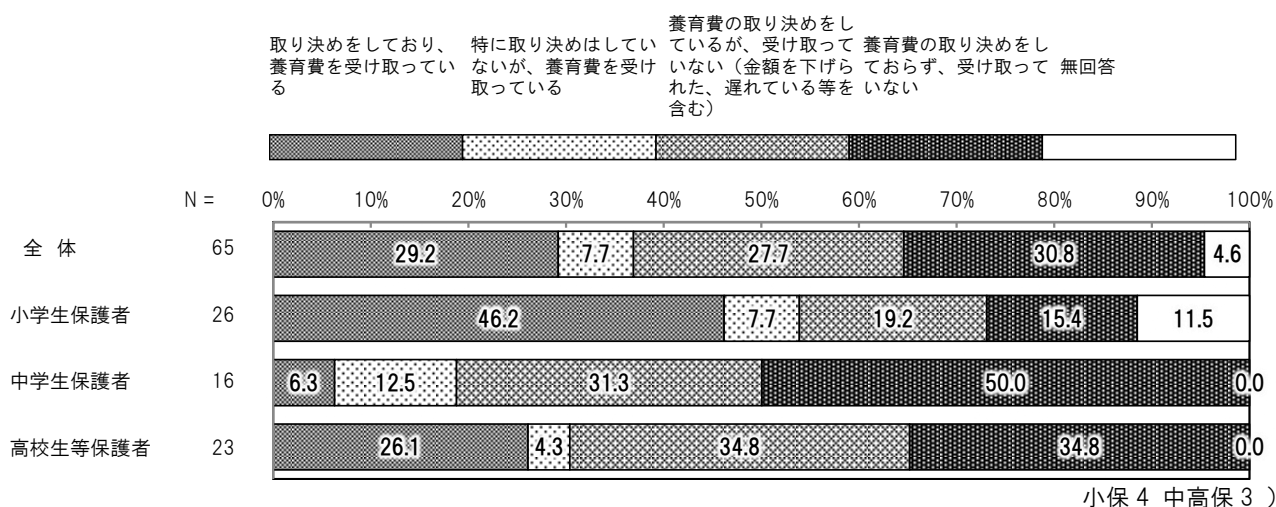
■3-1-1) お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。 SA

- ・小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「結婚している（事実婚を含む）」が最も多く、小学生保護者で91.6%、中学生保護者で88.6%、高校生等保護者で82.3%でした。いずれも次いで「離婚」が多く小学生保護者で4.0%、中学生保護者で6.5%、高校生等保護者で11.0%でした。



■3-1-2) 離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。 SA

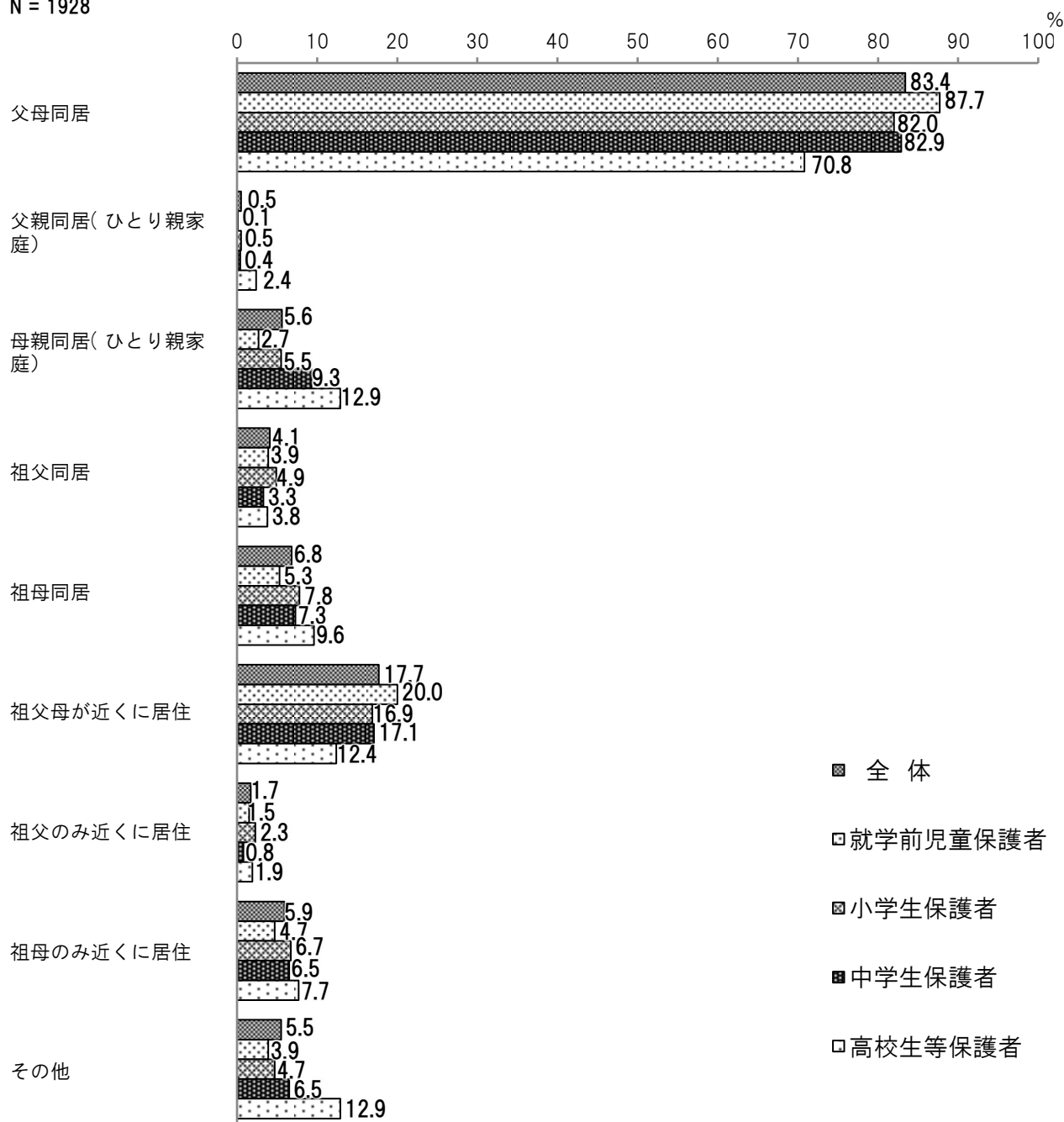
- ・小学生保護者は「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が最も多く46.2%、次いで「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない（金額を下げられた、遅れている等を含む）」が19.2%でした。
- ・中学生保護者は「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が最も多く50.0%、次いで「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない（金額を下げられた、遅れている等を含む）」が31.3%でした。
- ・高校生等保護者は「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない（金額を下げられた、遅れている等を含む）」と「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が最も多く34.8%でした。



■ 3-1-3) お子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について。（複数回答）

- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者、中学生保護者はいずれも「父母同居」が最も多く、就学前児童保護者で 87.7%、小学生保護者で 82.0%、中学生保護者で 82.9%、高校生等保護者で 70.8%でした。
- ・ 「祖父母が近くに居住」は、就学前児童保護者で 20.0%、小学生保護者で 16.9%、中学生保護者で 17.1%、高校生等保護者で 12.4%でした。

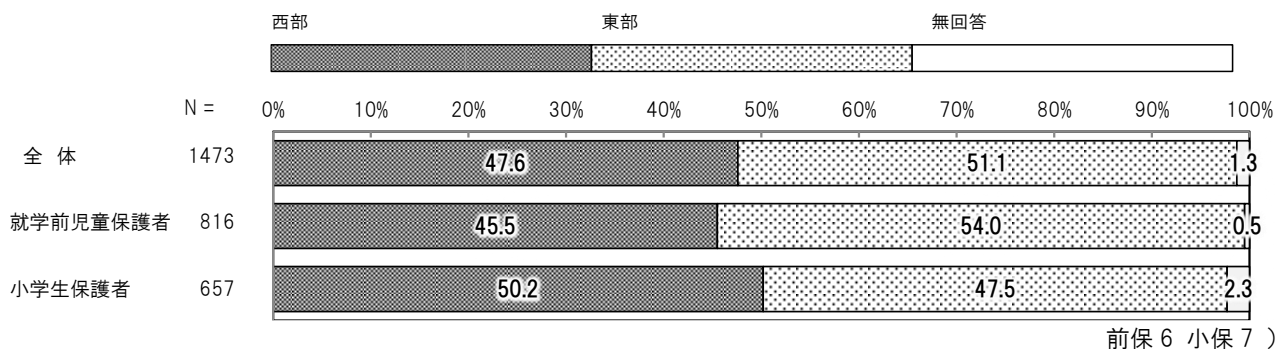
N = 1928



前保 5 小保 6 中高保 5)

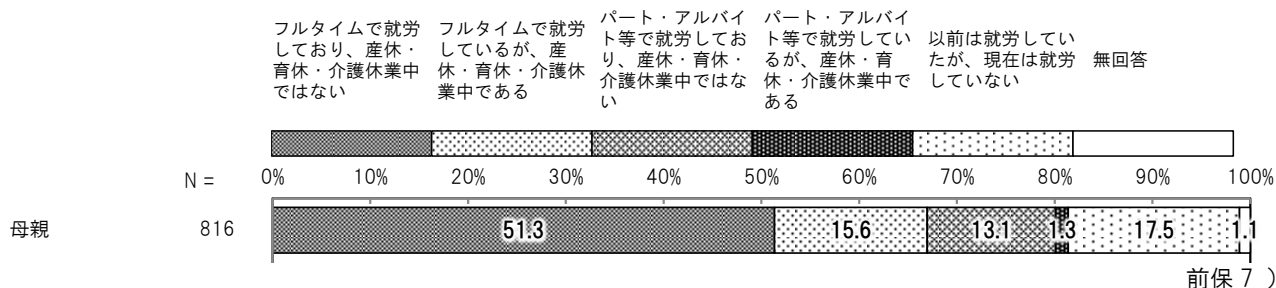
■ 3-1-4) お住まいのまちはどちらですか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「西部」が 45.5%、「東部」が 54.0%で、小学生保護者は「西部」が 50.2%、「東部」が 47.5%でした。



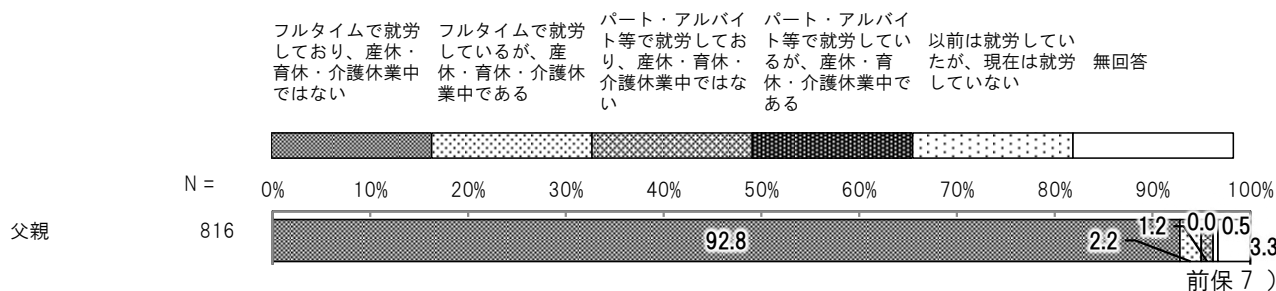
■ 3-1-5) お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。：母親 SA

- ・ 母親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 51.3%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 17.5%でした。



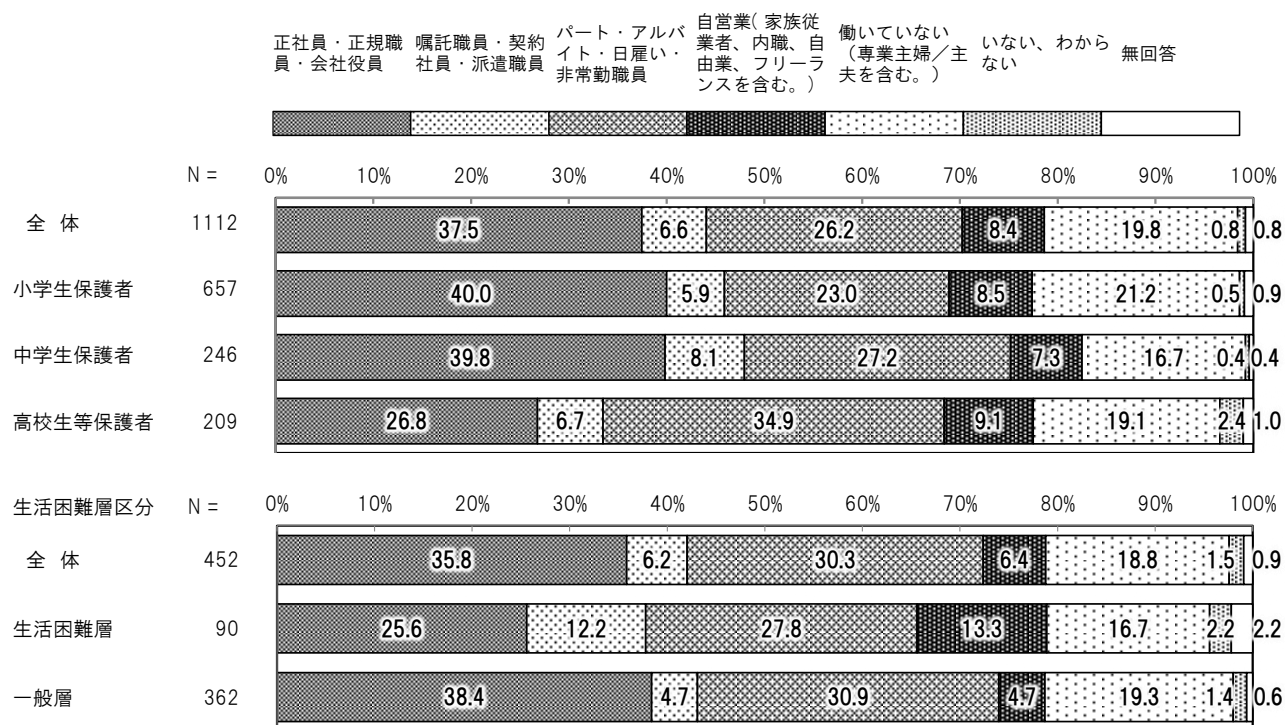
■ 3-1-6) お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。：父親 SA

- ・ 父親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 92.8%でした。



■ 3-1-7) お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。：ア 母親 SA

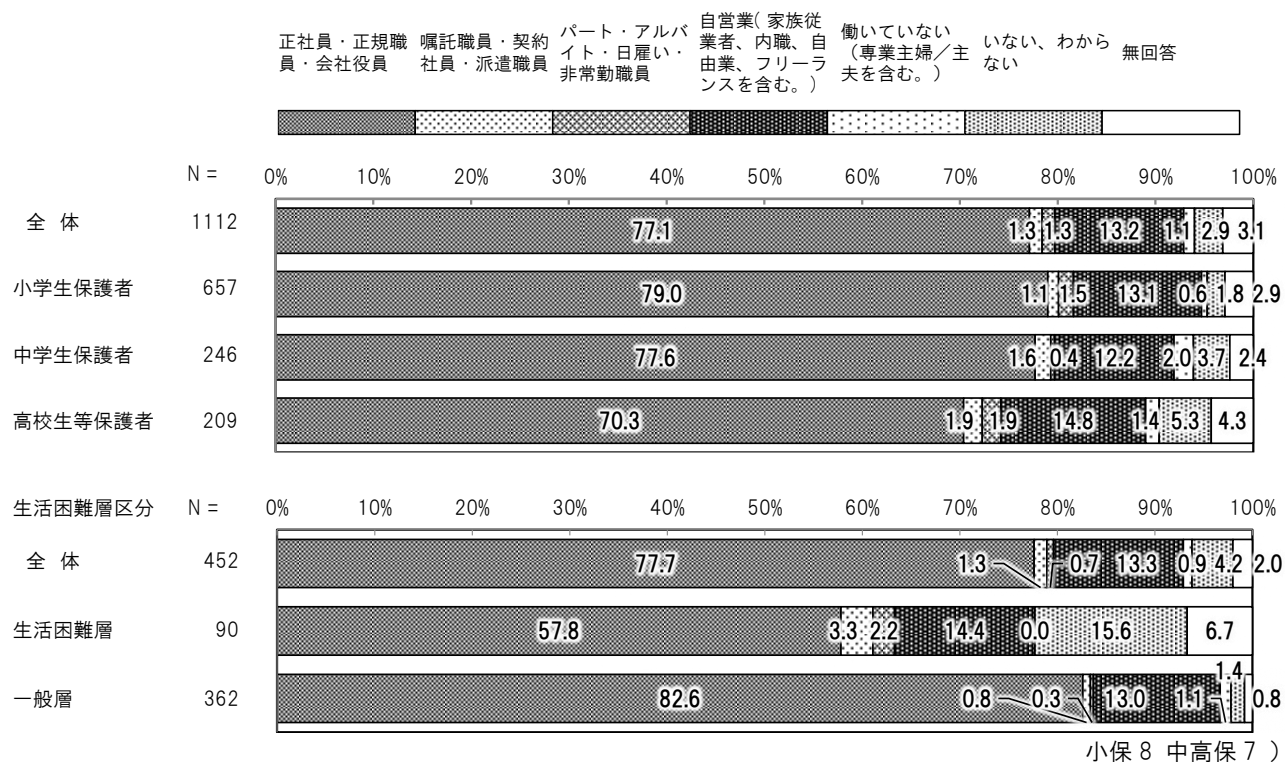
- ・ 母親のうち、小学生保護者と中学生保護者は「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く小学生保護者で 40.0%、中学生保護者で 39.8%、高校生等保護者は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が最も多く 34.9%でした。
- ・ 生活困難層は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が最も多く 27.8%、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が 25.6%でした。
- ・ 一般層は「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く 38.4%、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 30.9%でした。



小保 8 中高保 7)

■ 3-1-8) お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。：イ 父親 SA

- ・ 父親のうち、小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く小学生保護者で 79.0%、中学生保護者で 77.6%、高校生等保護者で 70.3%でした。いずれも次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が多く小学生保護者で 13.1%、中学生保護者で 12.2%、高校生等保護者で 14.8%でした。
- ・ 生活困難層と一般層はいずれも「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く、生活困難層で 57.8%、一般層で 82.6%、次いで生活困難層で「いない、わからない」が 15.6%、一般層で「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が 13.0%でした。



3-2 生活困難の状況判断の項目とその関連状況

子育て世帯の生活困難状況判断した項目は、次の通りでした。

■3-2-1) 2022年(令和4年1月から令和4年12月)の世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。SA

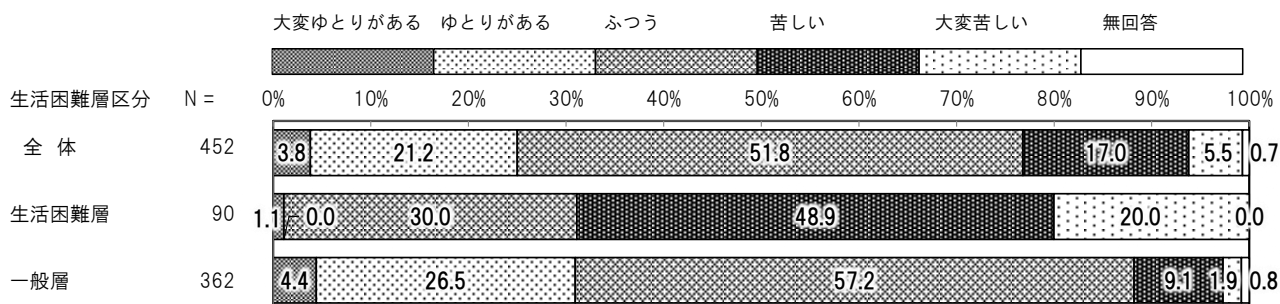
- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「1000万円以上」が最も多く小学生保護者で41.3%、中学生保護者で50.4%、高校生等保護者で45.9%でした。次いで「900～1000万円未満」が多く、小学生保護者で13.2%、中学生保護者で8.5%、高校生等保護者で7.2%でした。

		調査数	2022年（令和4 年1月から令和4 年12月）の世帯全体のおおよその年間収入(税込) はいくらですか 上段：実数、下段：％																
			50万 円未満	50～ 100 万 円未満	100 ～ 150 万 円未満	150 ～ 200 万 円未満	200 ～ 250 万 円未満	250 ～ 300 万 円未満	300 ～ 350 万 円未満	350 ～ 400 万 円未満	400 ～ 450 万 円未満	450 ～ 500 万 円未満	500 ～ 600 万 円未満	600 ～ 700 万 円未満	700 ～ 800 万 円未満	800 ～ 900 万 円未満	900 ～ 1000 万円未 満	1000 万円以 上	無回答
全 体		736	9	9	5	9	7	9	19	19	21	14	50	42	52	45	73	336	17
		100.0	1.2	1.2	0.7	1.2	1	1.2	2.6	2.6	2.9	1.9	6.8	5.7	7.1	6.1	9.9	45.7	2.3
対 象	小学4～6年生保護者	281	2	1	2	3	3	0	7	7	7	7	19	19	22	20	37	116	9
		100.0	0.7	0.4	0.7	1.1	1.1	0	2.5	2.5	2.5	2.5	6.8	6.8	7.8	7.1	13.2	41.3	3.2
	中学生保護者	246	4	3	1	1	1	4	3	3	8	4	14	12	20	17	21	124	6
		100.0	1.6	1.2	0.4	0.4	0.4	1.6	1.2	1.2	3.3	1.6	5.7	4.9	8.1	6.9	8.5	50.4	2.4
	高校生等保護者	209	3	5	2	5	3	5	9	9	6	3	17	11	10	8	15	96	2
		100.0	1.4	2.4	1	2.4	1.4	2.4	4.3	4.3	2.9	1.4	8.1	5.3	4.8	3.8	7.2	45.9	1

小保 29 中高保 8)

■3-2-2) あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。SA

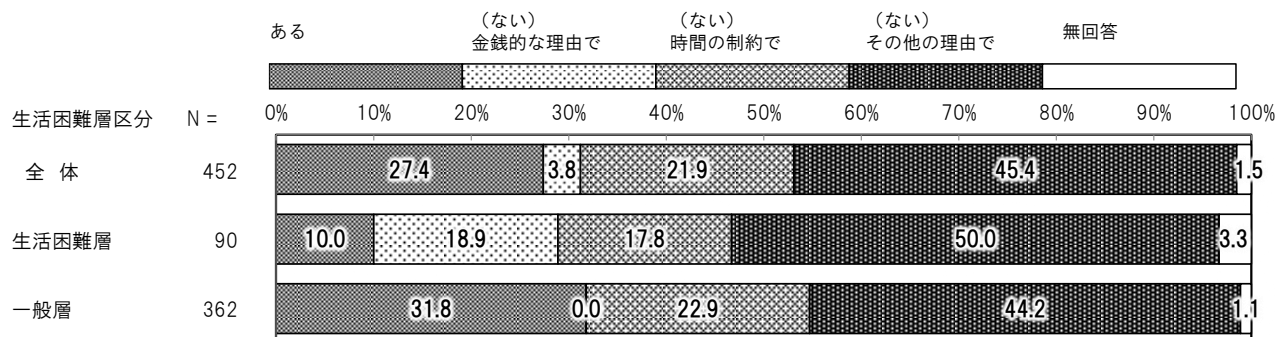
- ・生活困難層は「苦しい」が最も多く48.9%、次いで「ふつう」が30.0%でした。
- ・一般層は「ふつう」が最も多く57.2%、次いで「ゆとりがある」が26.5%でした。



小保 31 中高保 19)

■ 3-2-3) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：ア 海水浴に行く SA

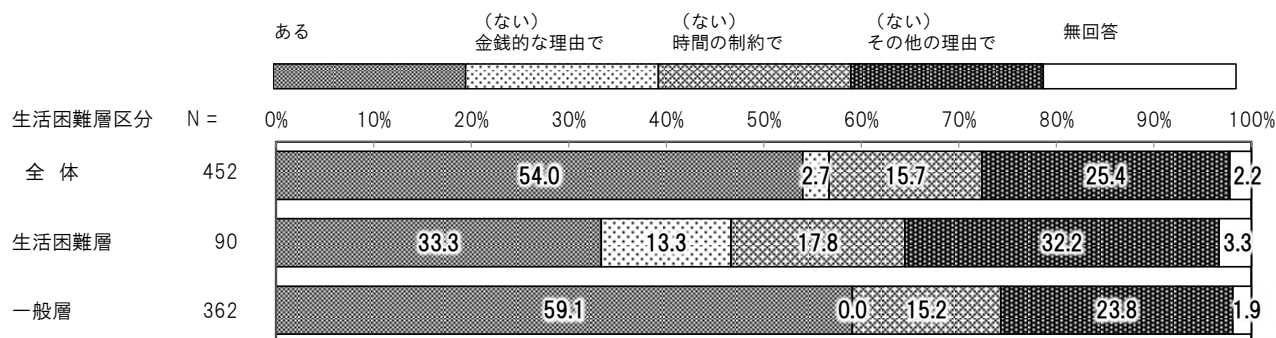
- ・生活困難層は「(ない) その他の理由で」が最も多く50.0%、次いで「(ない) 金銭的な理由で」が18.9%でした。
- ・一般層は「(ない) その他の理由で」が最も多く44.2%、次いで「ある」が31.8%でした。



小保 32 中高保 20)

■ 3-2-4) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：イ 博物館・科学館・美術館などに行く SA

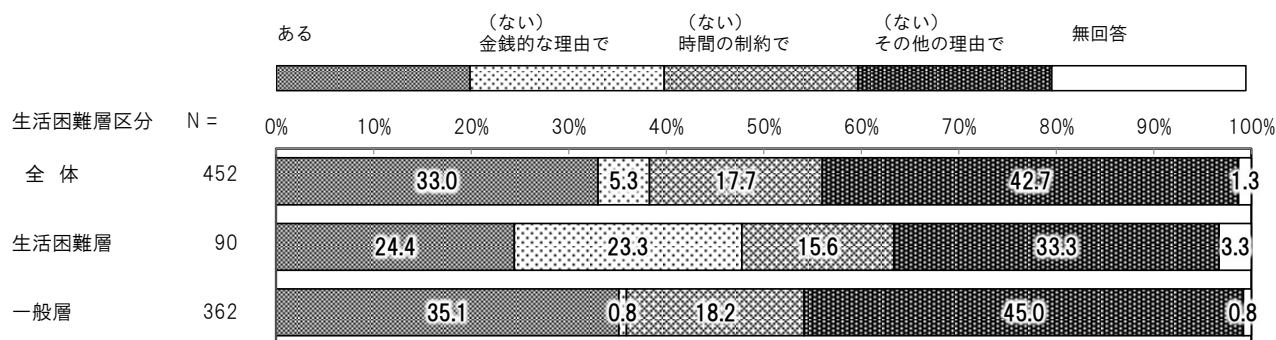
- ・生活困難層と一般層は「ある」が最も多く生活困難層で33.3%、一般層で59.1%、次いで「(ない) その他の理由で」が多く生活困難層で32.2%、一般層で23.8%でした。



小保 32 中高保 20)

■ 3-2-5) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：ウ キャンプやバーベキューに行く SA

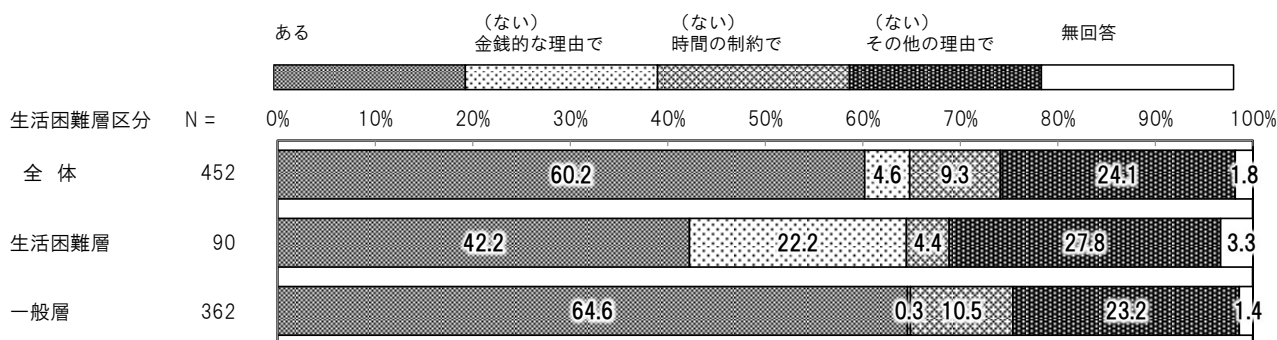
- ・生活困難層と一般層は「(ない) その他の理由で」が最も多く生活困難層で33.3%、一般層で45.0%、次いで「ある」が多く生活困難層で24.4%、一般層で35.1%でした。



小保 32 中高保 20)

■ 3-2-6) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：エ スポーツ観戦や劇場に行く SA

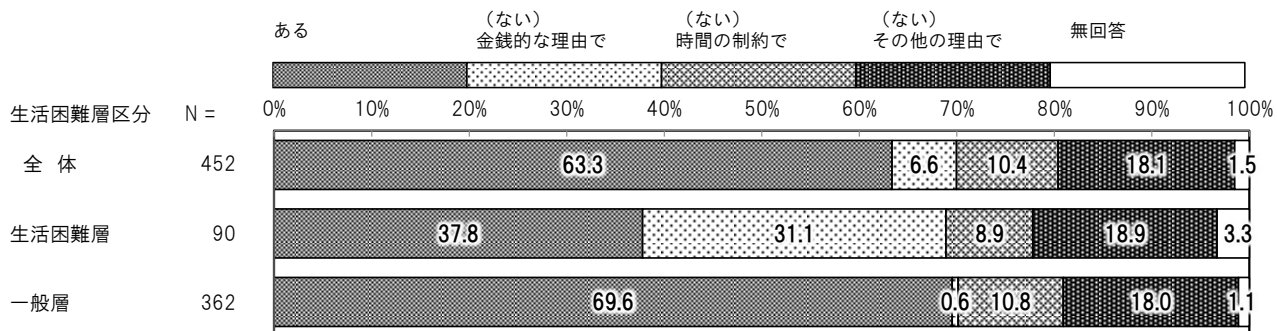
- ・生活困難層と一般層は「ある」が最も多く生活困難層で42.2%、一般層で64.6%、次いで「(ない) その他の理由で」が多く生活困難層で27.8%、一般層で23.2%でした。



小保 32 中高保 20)

■ 3-2-7) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：オ 遊園地やテーマパークに行く SA

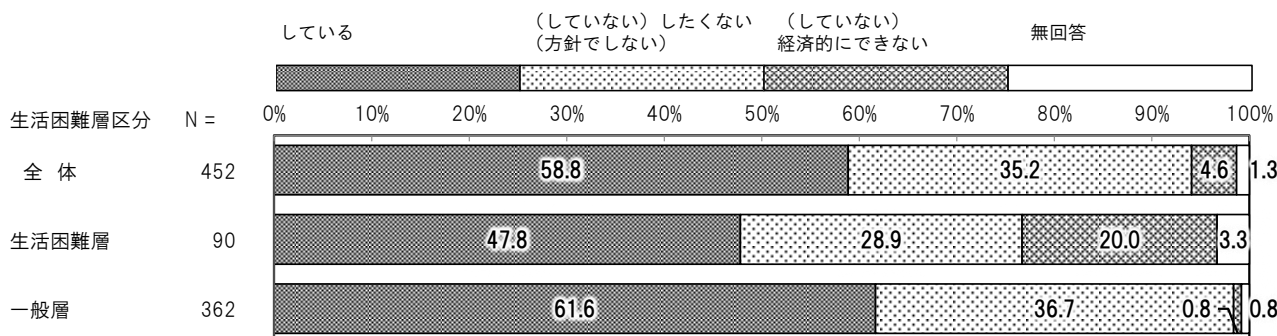
- ・生活困難層は「ある」が最も多く37.8%、次いで「(ない) 金銭的な理由で」が31.1%でした。
- ・一般層は「ある」が最も多く69.6%、次いで「(ない) その他の理由で」が18.0%でした。



小保 32 中高保 20)

■ 3-2-8) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：ア 毎月お小遣いを渡す SA

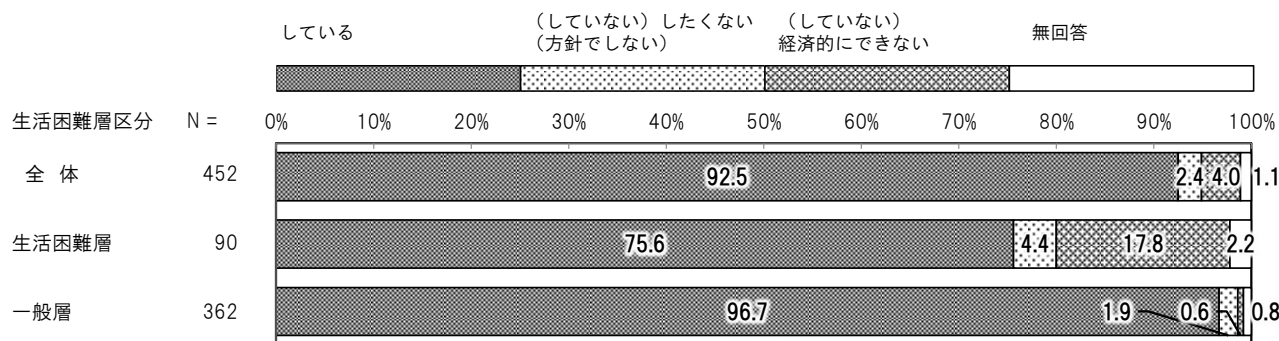
- ・生活困難層と一般層は「している」が最も多く生活困難層で47.8%、一般層で61.6%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が生活困難層で28.9%、一般層で36.7%でした。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-9) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：イ 毎年新しい（お古でない）洋服・靴を買う SA

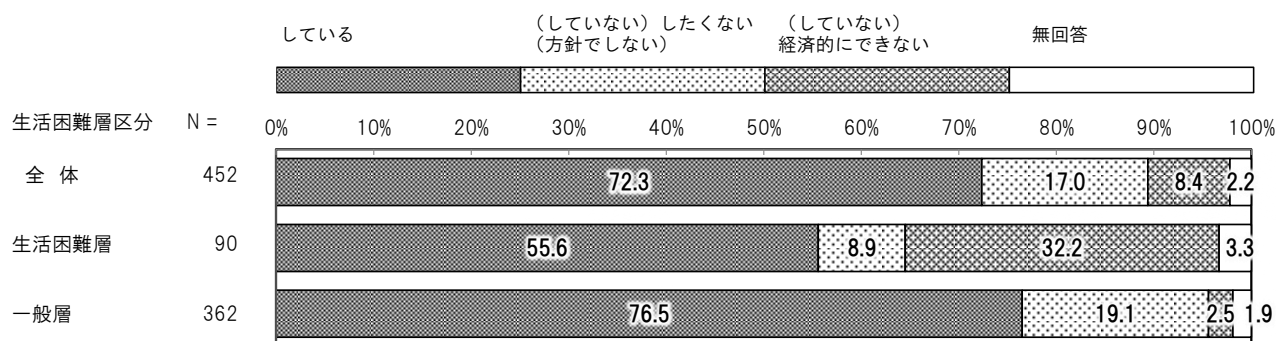
- ・生活困難層は「している」が最も多く 75.6%、次いで「(していない) 経済的にできない」が 17.8%でした。一般層は「している」が最も多く 96.7%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 1.9%でした。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-10) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：ウ 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる SA

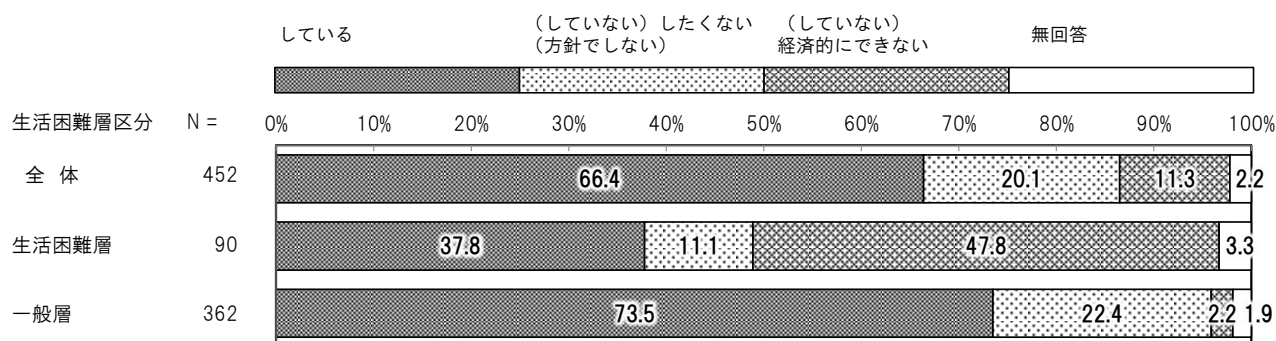
- ・生活困難層は「している」が最も多く 55.6%、次いで「(していない) 経済的にできない」が 32.2%でした。一般層は「している」が最も多く 76.5%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 19.1%でした。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-11) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：エ 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンライン含む） SA

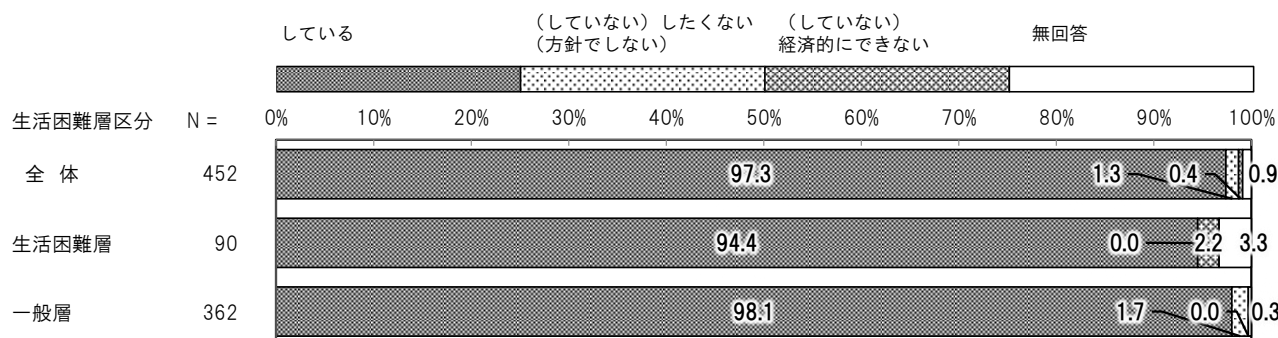
- ・生活困難層は「(していない) 経済的にできない」が最も多く 47.8%、次いで「している」が 37.8%でした。
- ・一般層は「している」が最も多く 73.5%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 22.4%でした。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-1 2) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：オ お誕生日のお祝いをする SA

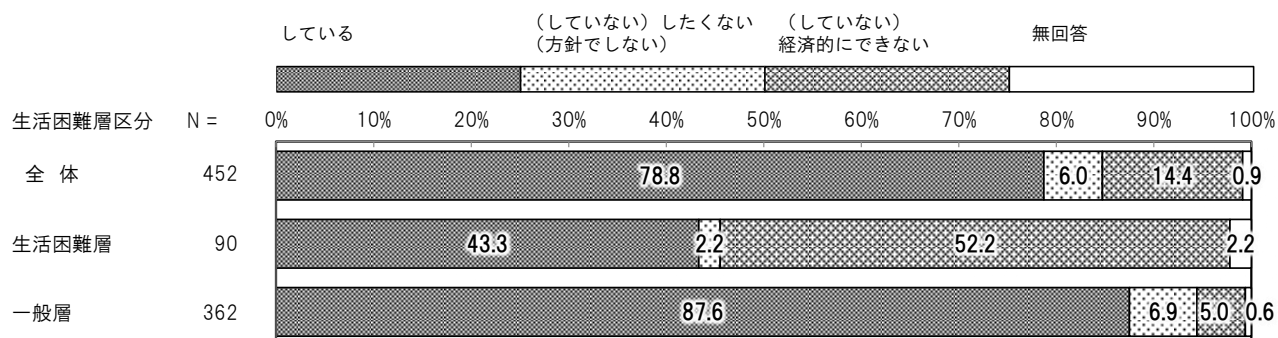
- ・生活困難層と一般層は「している」が最も多く生活困難層で 94.4%、一般層で 98.1%した。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-1 3) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：カ 1年に1回くらい家族旅行に行く SA

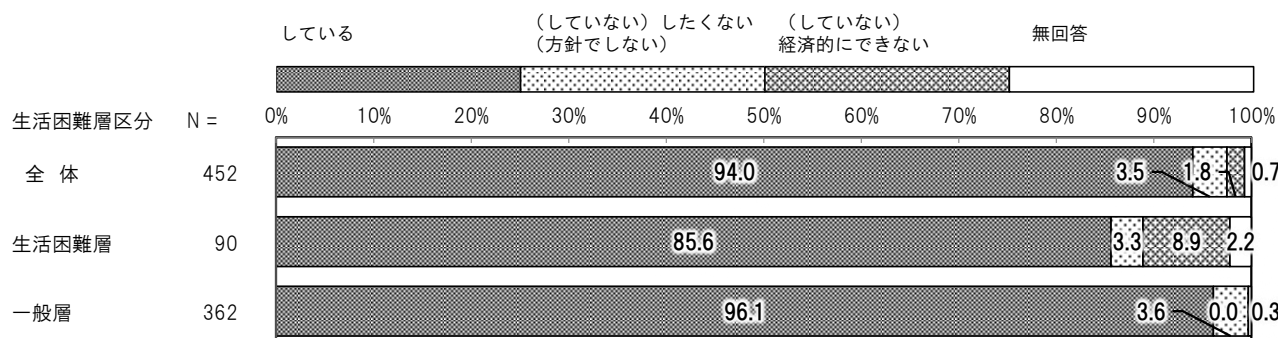
- ・生活困難層は「(していない) 経済的にできない」が最も多く 52.2%、次いで「している」が 43.3%でした。
- ・一般層は「している」が最も多く 87.6%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 6.9%でした。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-1 4) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：キ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる SA

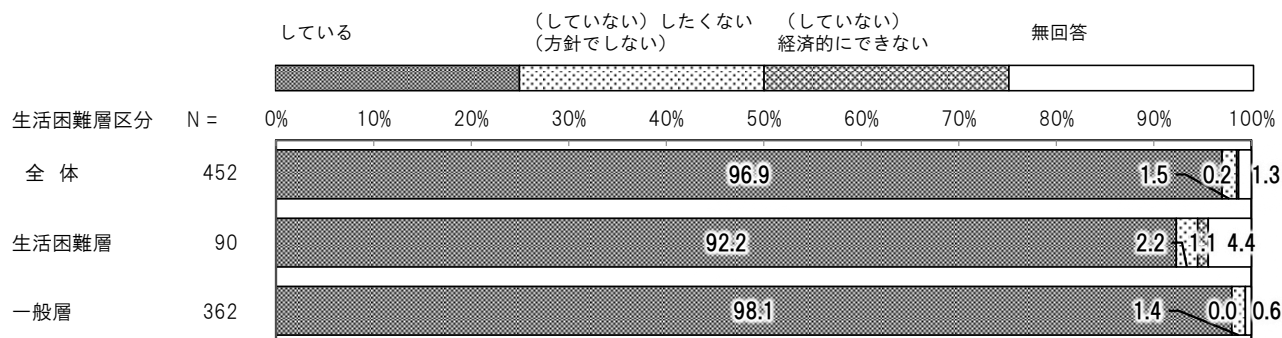
- ・生活困難層は「している」が最も多く 85.6%、次いで「(していない) 経済的にできない」が 8.9%でした。
- ・一般層は「している」が最も多く 96.1%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 3.6%でした。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-1 5) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：ク 修学旅行などお金がかかる学校の活動 SA

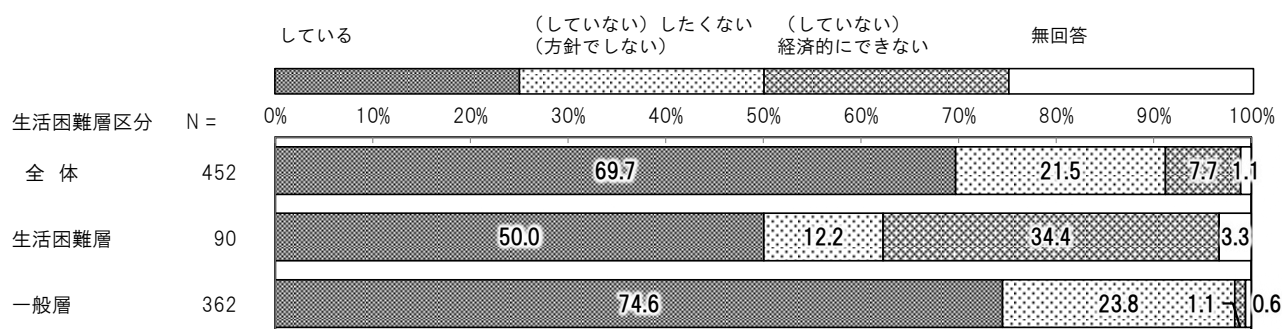
- ・生活困難層は「している」が最も多く 92.2%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 2.2%でした。
- ・一般層は「している」が最も多く 98.1%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 1.4%でした。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-1 6) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：ケ パソコンかタブレットを与える SA

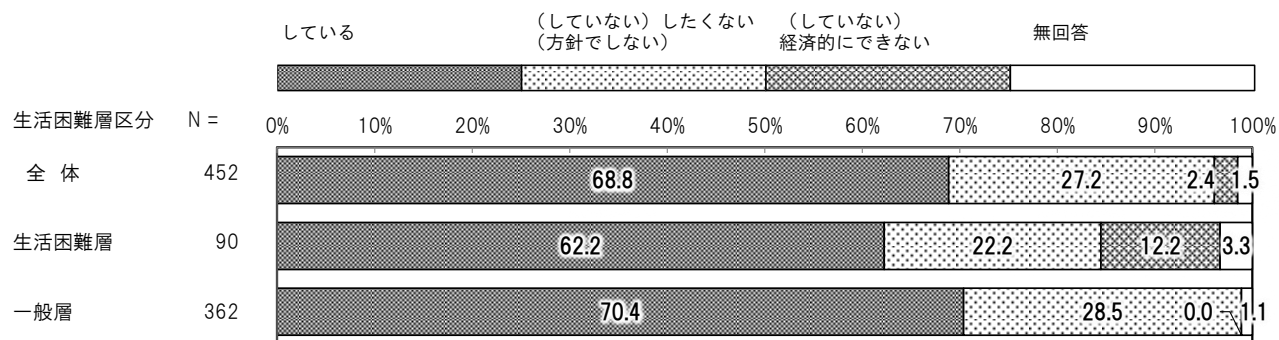
- ・生活困難層は「している」が最も多く 50.0%、次いで「(していない) 経済的にできない」が 34.4%でした。
- ・一般層は「している」が最も多く 74.6%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 23.8%でした。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-1 7) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：コ スマートフォン
を与える SA

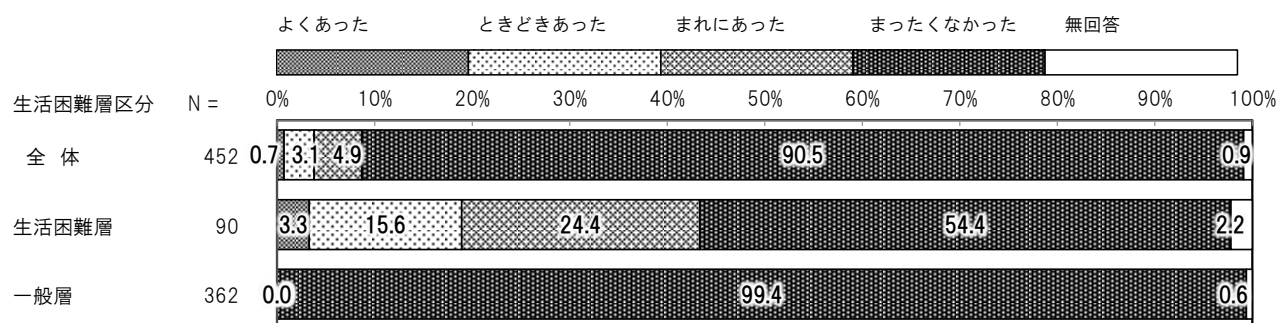
- ・生活困難層は「している」が最も多く 62.2%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 22.2%でした。
- ・一般層は「している」が最も多く 70.4%、次いで「(していない) したくない (方針でしない)」が 28.5%でした。



小保 33 中高保 21)

■ 3-2-1 8) あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。 SA

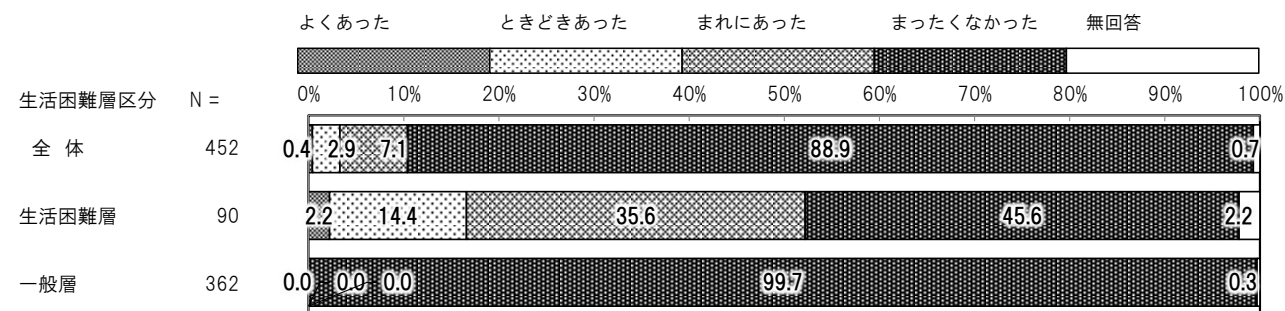
- ・生活困難層は「まったくなかった」が最も多く 54.4%、次いで「まれにあった」が 24.4%でした。一般層は「まったくなかった」が最も多く 99.4%でした。



小保 34 中高保 23)

■ 3-2-1 9) あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。 SA

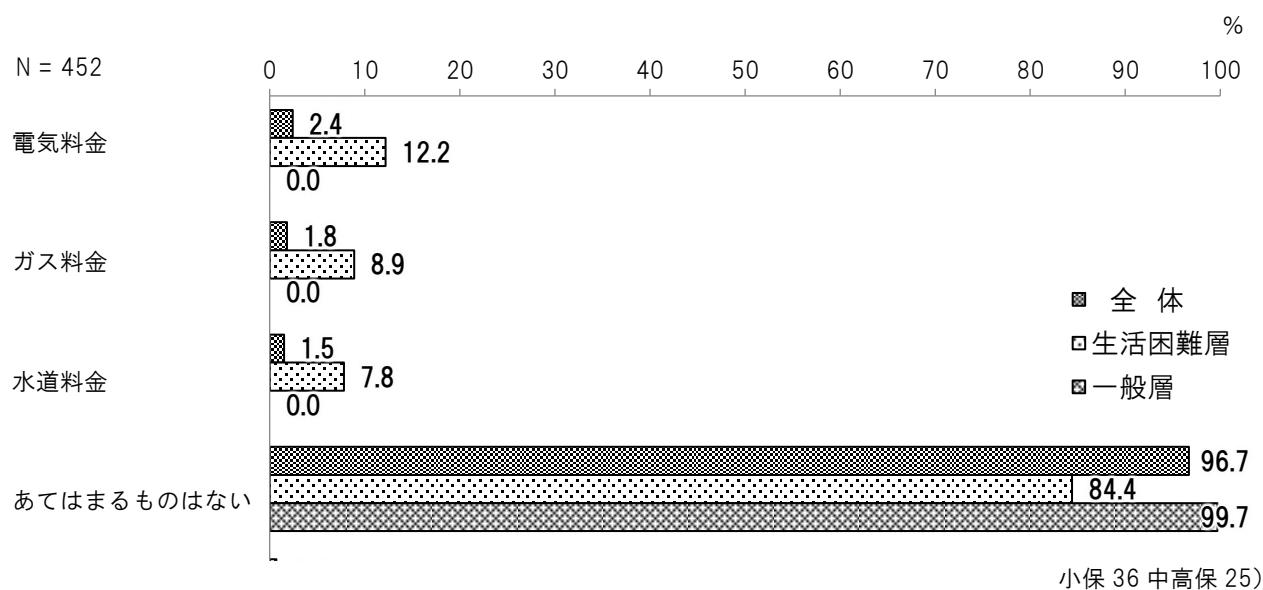
- ・生活困難層は「まったくなかった」が最も多く 45.6%、次いで「まれにあった」が 35.6%でした。一般層は「まったくなかった」が最も多く 99.7%でした。



小保 35 中高保 24)

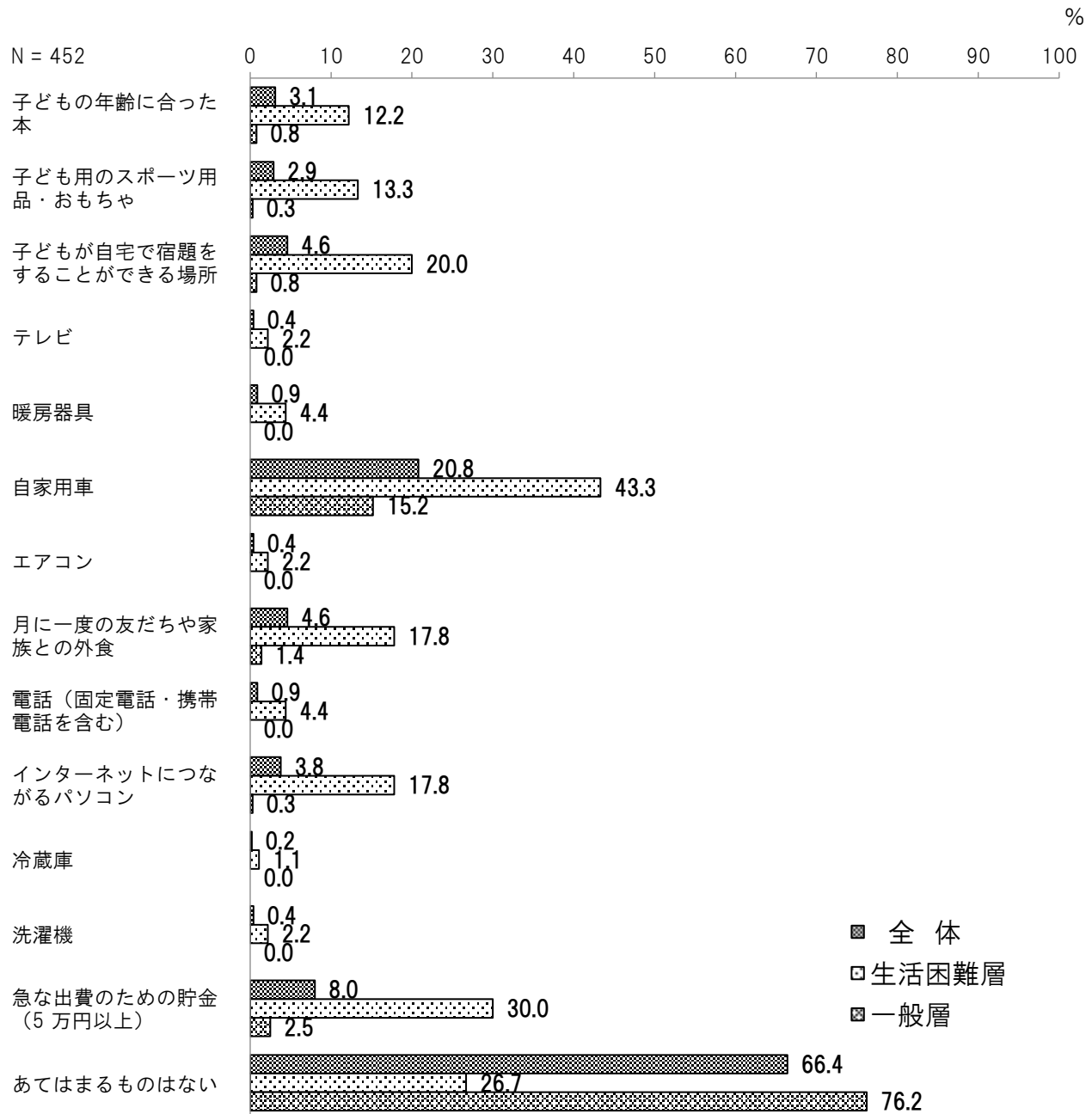
■ 3-2-20) あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。（複数回答）

- ・生活困難層は「あてはまるものはない」が最も多く 84.4%、次いで「電気料金」が 12.2% でした。一般層は「あてはまるものはない」が最も多く 99.7% でした。



■ 3-2-2 1) 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはどれですか。
(複数回答)

- ・生活困難層は「自家用車」が最も多く 43.3%、次いで「急な出費のための貯金（5 万円以上）」が 30%でした。一般層は「あてはまるものはない」が最も多く 76.2%、次いで「自家用車」が 15.2%でした。



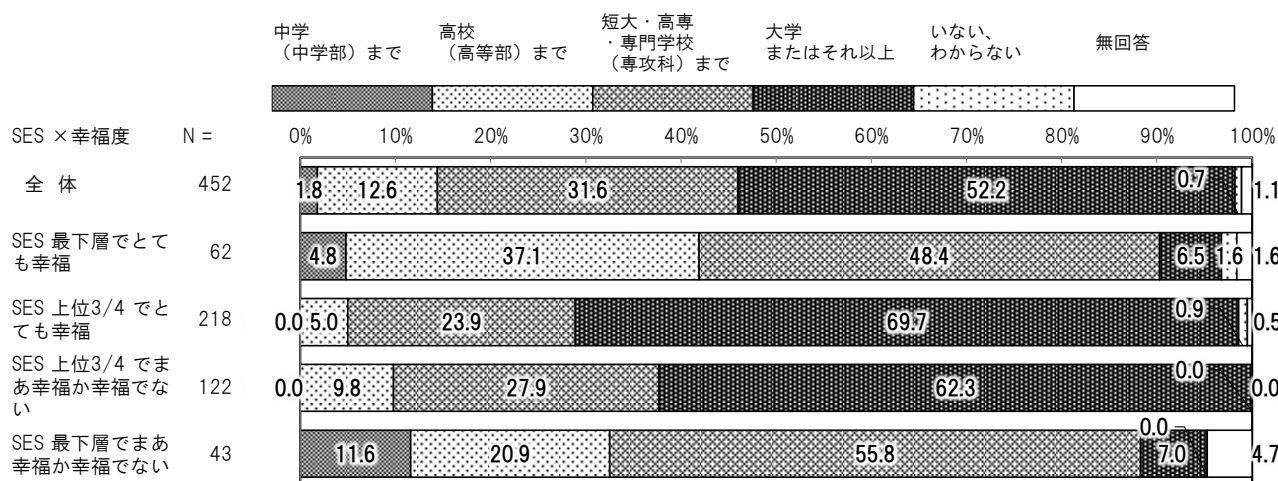
小保 37 中高保 22)

3-3 家庭の社会経済的背景(SES)と困難な環境に対応する力(レジリエンス)を判断する項目とその関連状況

家庭の社会経済的背景(SES)の最下層の困難な環境に対応する力(レジリエンス)を判断した項目は、次のとおりでした。

■3-3-1) お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。：ア 母親 SA

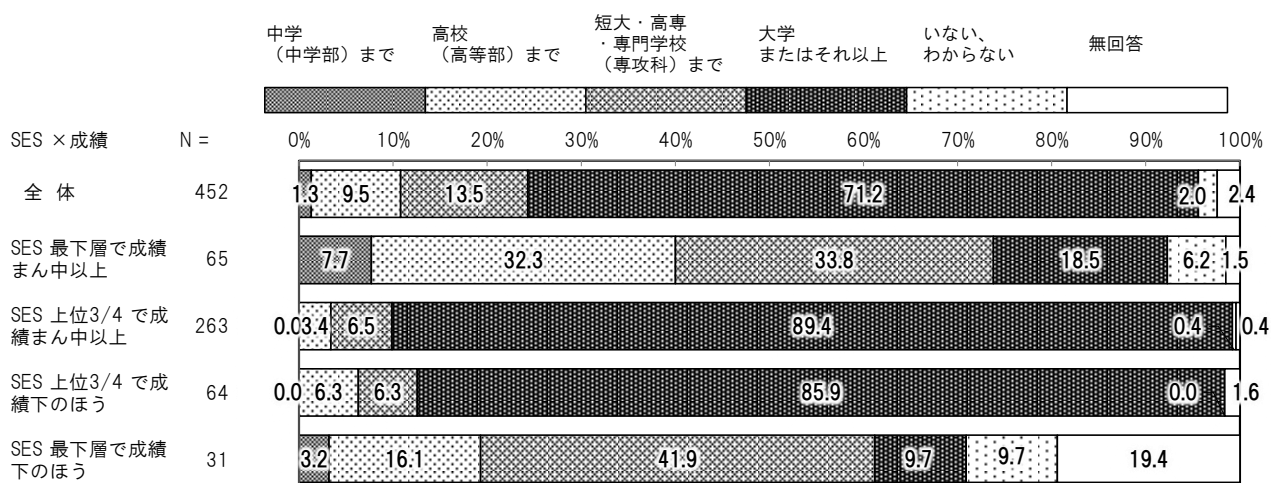
- ・ SES 最下層でとても幸福は「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が最も多く 48.4%でした。
- ・ SES 上位 3/4 でとても幸福は「大学またはそれ以上」が最も多く 69.7%でした。



小保 38 中高保 6)

■3-3-2) お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。：イ 父親 SA

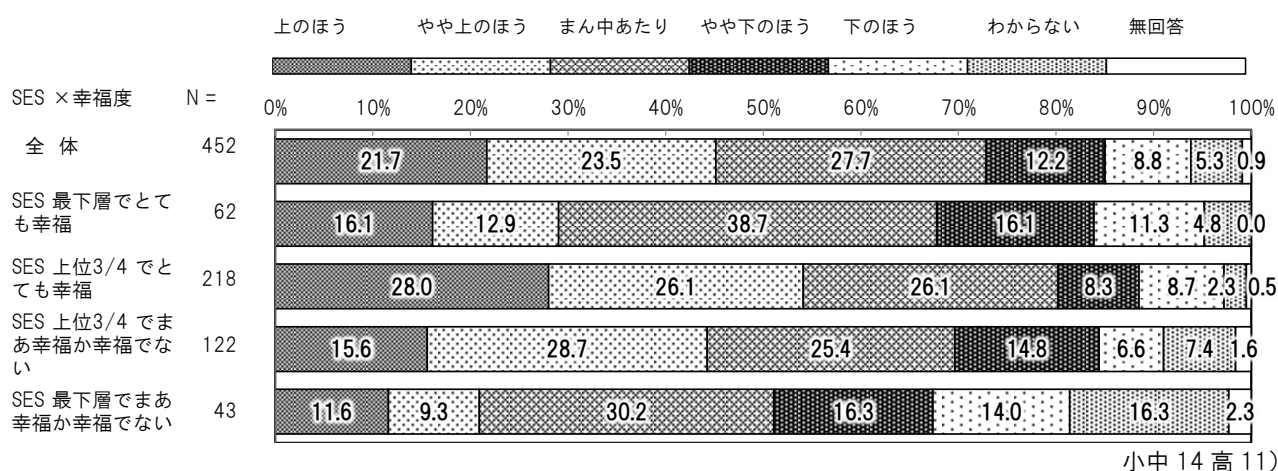
- ・ SES 最下層で成績まん中以上は「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が最も多く 33.8%でした。
- ・ SES 上位 3/4 で成績まん中以上は「大学またはそれ以上」が最も多く 89.4%でした。



小保 38 中高保 6)

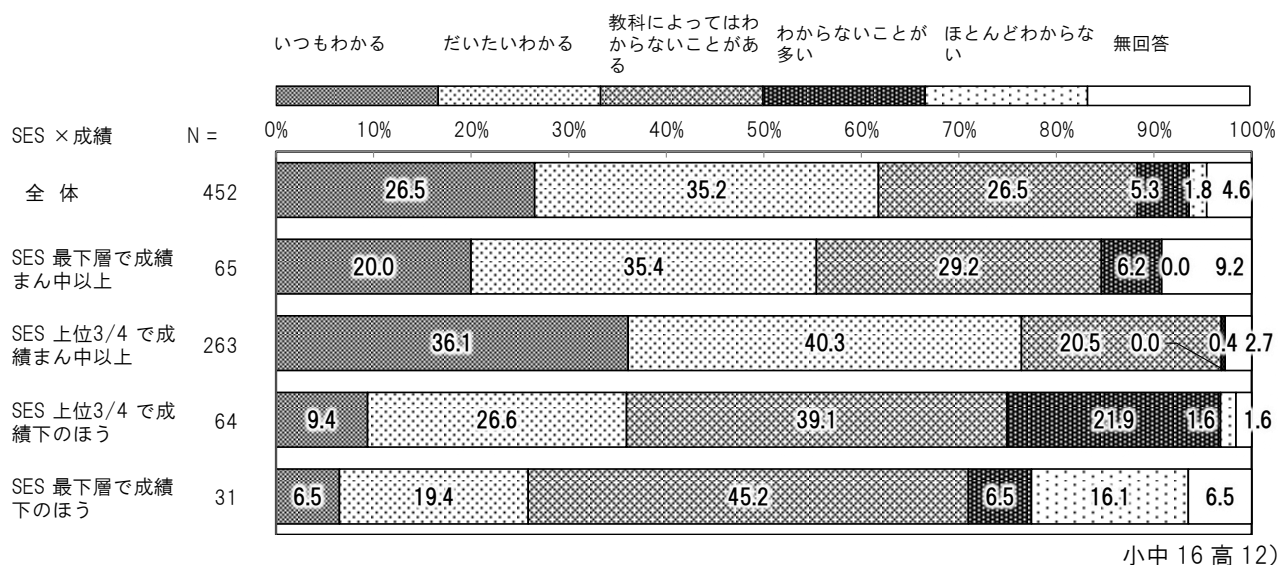
■ 3-3-3) あなたの成績は、クラスでどのくらいだと思いますか。 SA

- ・ SES 最下層でとても幸福は「まん中あたり」が最も多く 38.7%でした。
- ・ SES 上位 3/4 でとても幸福は「上のほう」が最も多く 28.0%でした。



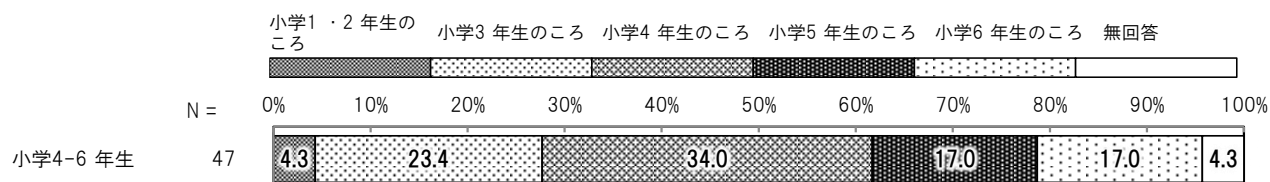
■ 3-3-4) あなたは学校の授業がわからないことがありますか。 SA

- ・ 「いつもわかる」は、SES 最下層で成績まん中以上が 20.0%、SES 上位 3/4 で成績まん中以上が 36.1%でした。

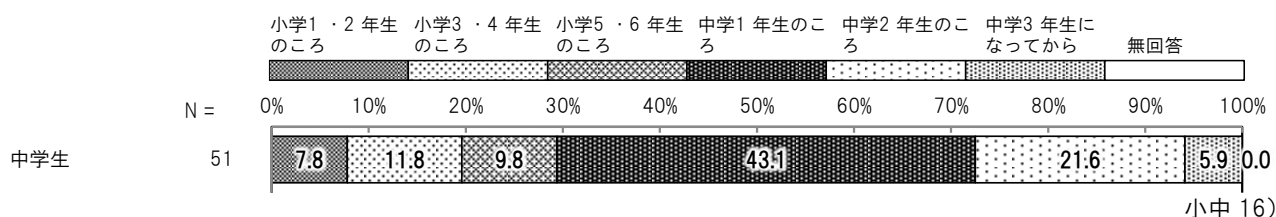


■ 3-3-5) いつごろから、授業がわからなくなりましたか。 SA

- ・ 小学 4-6 年生は「小学 4 年生のころ」が最も多く 34.0%、次いで「小学 3 年生のころ」が 23.4%でした。

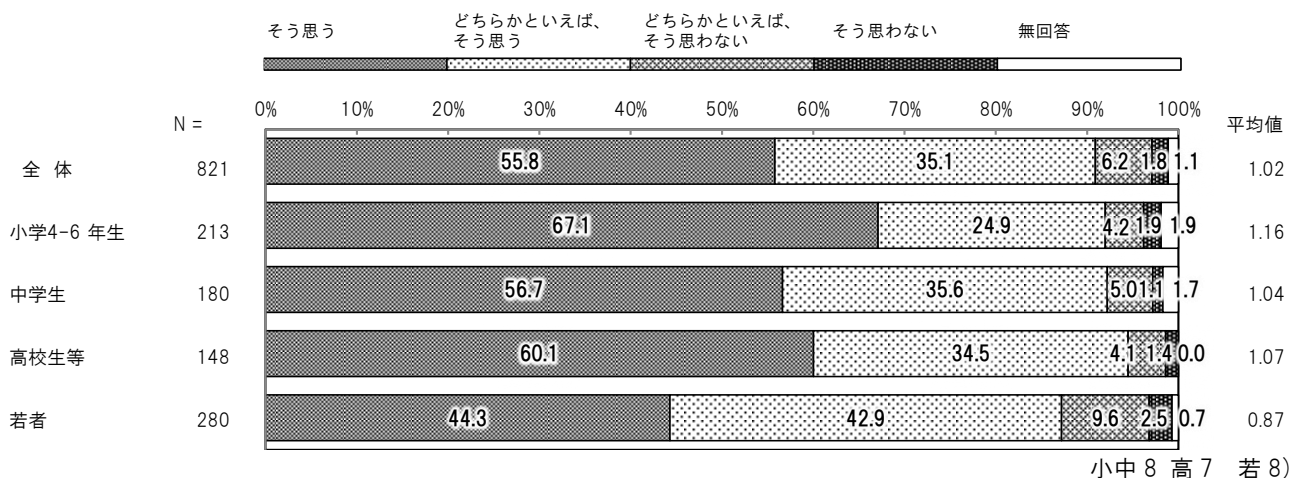


- ・中学生は「中学1年生のころ」が最も多く43.1%、次いで「中学2年生のころ」が21.6%でした。

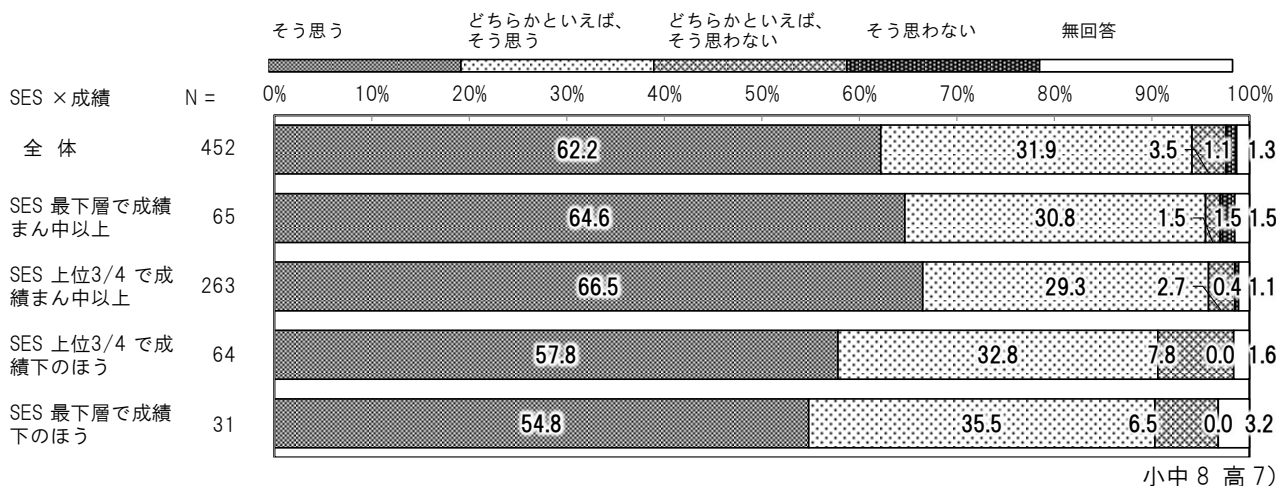


■ 3-3-6) あなたは今、しあわせだと思いますか SA

- ・小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で92.0%、中学生で92.3%、高校生等で94.6%、若者で87.2%でした。



- ・「そう思う」は、SES 最下層で成績まん中以上が64.6%、SES 上位3/4で成績まん中以上が66.5%でした。

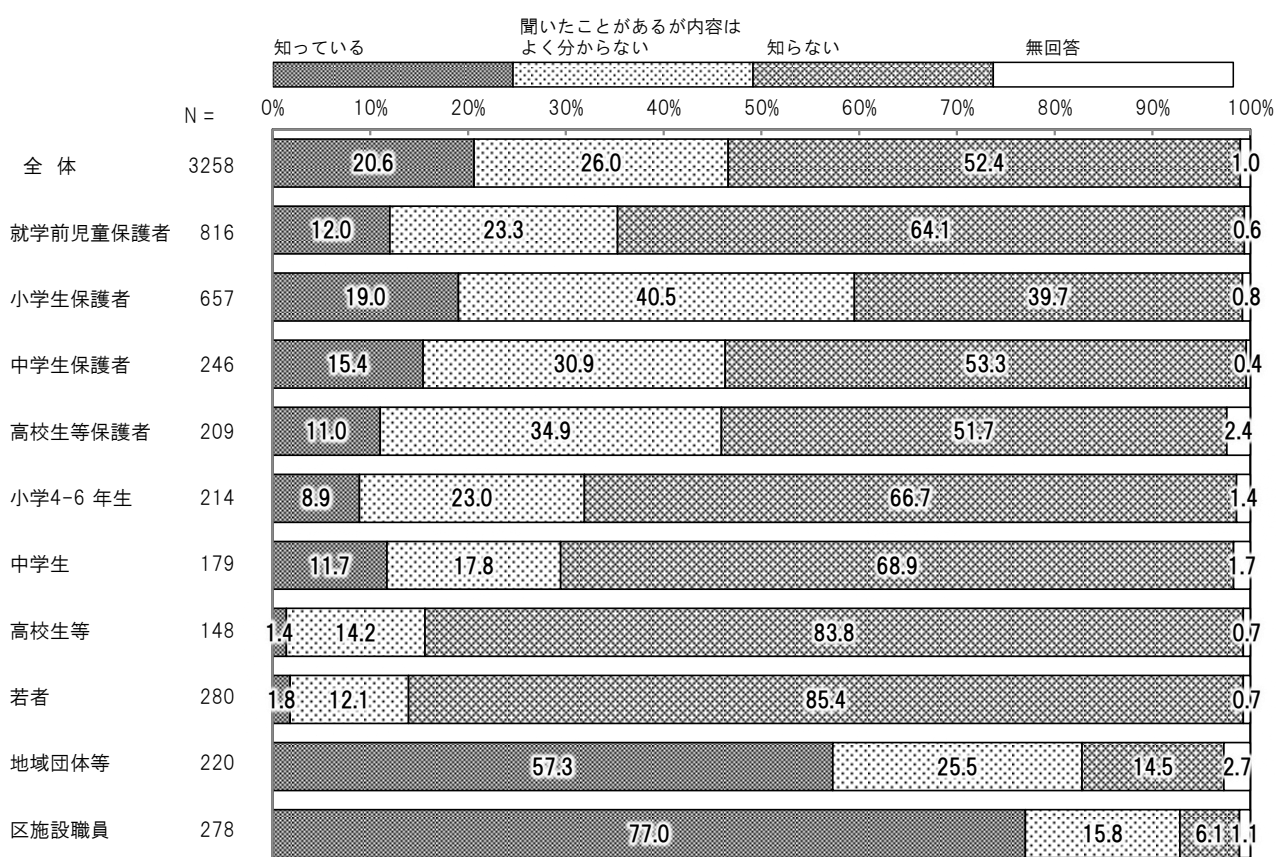


4 豊島区子どもの権利条例について

4-1 豊島区子どもの権利条例について

■ 4-1-1) 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。 SA

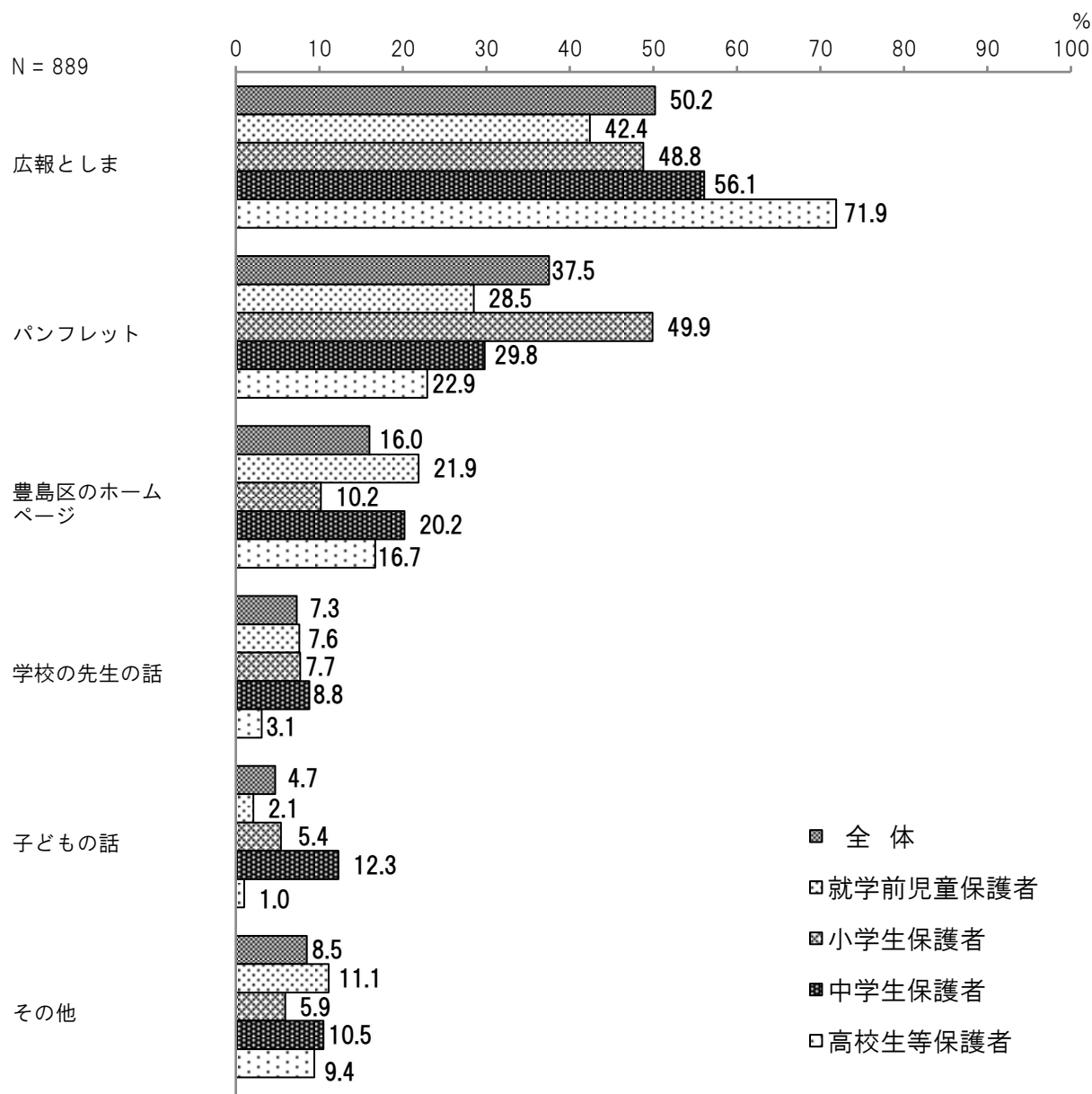
- ・ 全体は「知らない」が最も多く 52.4%、次いで「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が 26.0%でした。
- ・ 小学生保護者は「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が最も多く 40.5%、次いで「知らない」が 39.7%でした。
- ・ 就学前児童保護者、中学生保護者、高校生等保護者、小学4-6年生、中学生、高校生等、若者は「知らない」が最も多く、就学前児童保護者で 64.1%、中学生保護者で 53.3%、高校生等保護者で 51.7%、小学4-6年生で 66.7%、中学生で 68.9%、高校生等で 83.8%、若者で 85.4%と、地域団体等、区施設職員は「知っている」が最も多く、地域団体等で 57.3%、区施設職員で 77.0%でした。



団 10 職 12 前保 32 小保 22 中高保 28 小中 24 高 25 若 19)

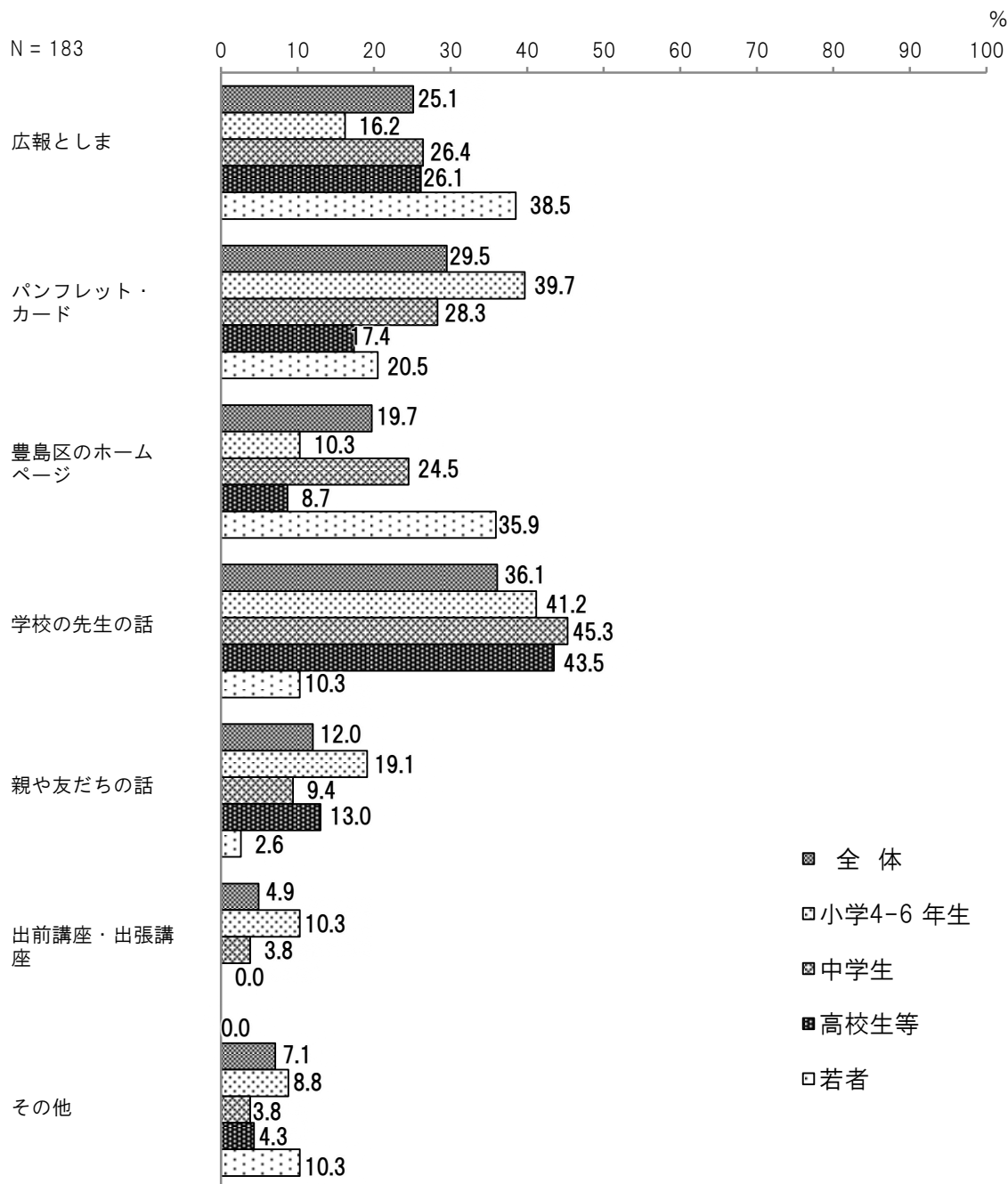
■ 4-1-2) どのように知りましたか。 (複数回答)

- ・ 就学前児童保護者、中学生保護者、高校生等保護者は「広報としま」が最も多く、就学前児童保護者で 42.4%、中学生保護者で 56.1%、高校生等保護者で 71.9%でした。
- ・ 小学生保護者は「パンフレット」が最も多く 49.9%、次いで「広報としま」が 48.8%でした。



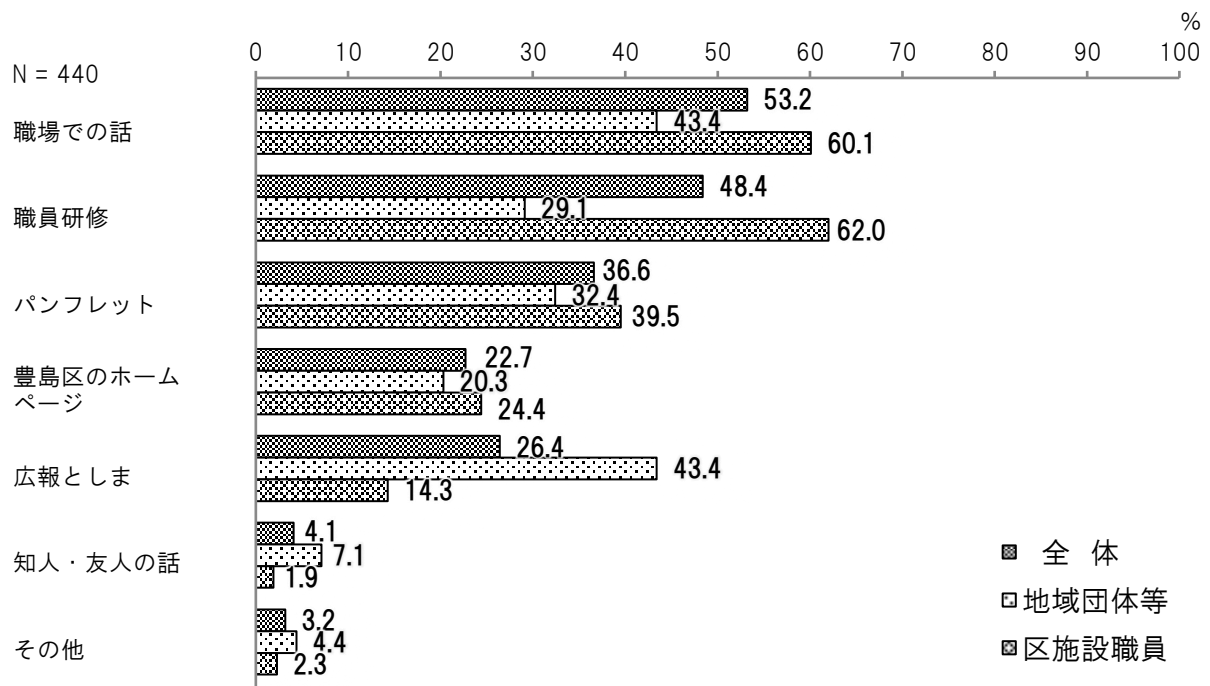
前保 32 小保 22 中高保 28)

- ・ 小学 4-6 年生、中学生、高校生等は「学校の先生の話」が最も多く、小学 4-6 年生で 41.2%、中学生で 45.3%、高校生等で 43.5%、小学 4-6 年生は「パンフレット・カード」も多く、39.7%でした。
- ・ 若者は「広報としま」が最も多く 38.5%、次いで「豊島区のホームページ」が 35.9%でした。



小中 24 高 25 若 19)

- ・ 地域団体等は「広報としま」「職場での話」が43.4%でした。
- ・ 区施設職員は「職員研修」が最も多く62.0%、次いで「職場での話」が60.1%でした。



団 10 職 12)

■4-1-3) 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。 (複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「知っているものはない」が最も多く 62.0%、次いで「豊島区児童相談所」が 30.5%でした。
- ・ 小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者は「豊島区児童相談所」が最も多く、小学生保護者で 46.1%、中学生保護者で 49.2%、高校生等保護者で 49.3%でした。
- ・ 小学 4-6 年生、中学生、高校生等、若者は「知っているものはない」が最も多く、小学 4-6 年生で 56.3%、中学生で 57.8%、高校生等で 66.2%、若者で 70.0%でした。
- ・ 地域団体等、区施設職員は「豊島区児童相談所」が最も多く、地域団体等で 89.5%、区施設職員で 86.7%、次に多い回答は、地域団体等は「子どもの権利擁護委員」で 37.7%、区施設職員は「としま子ども会議」で 57.6%でした。

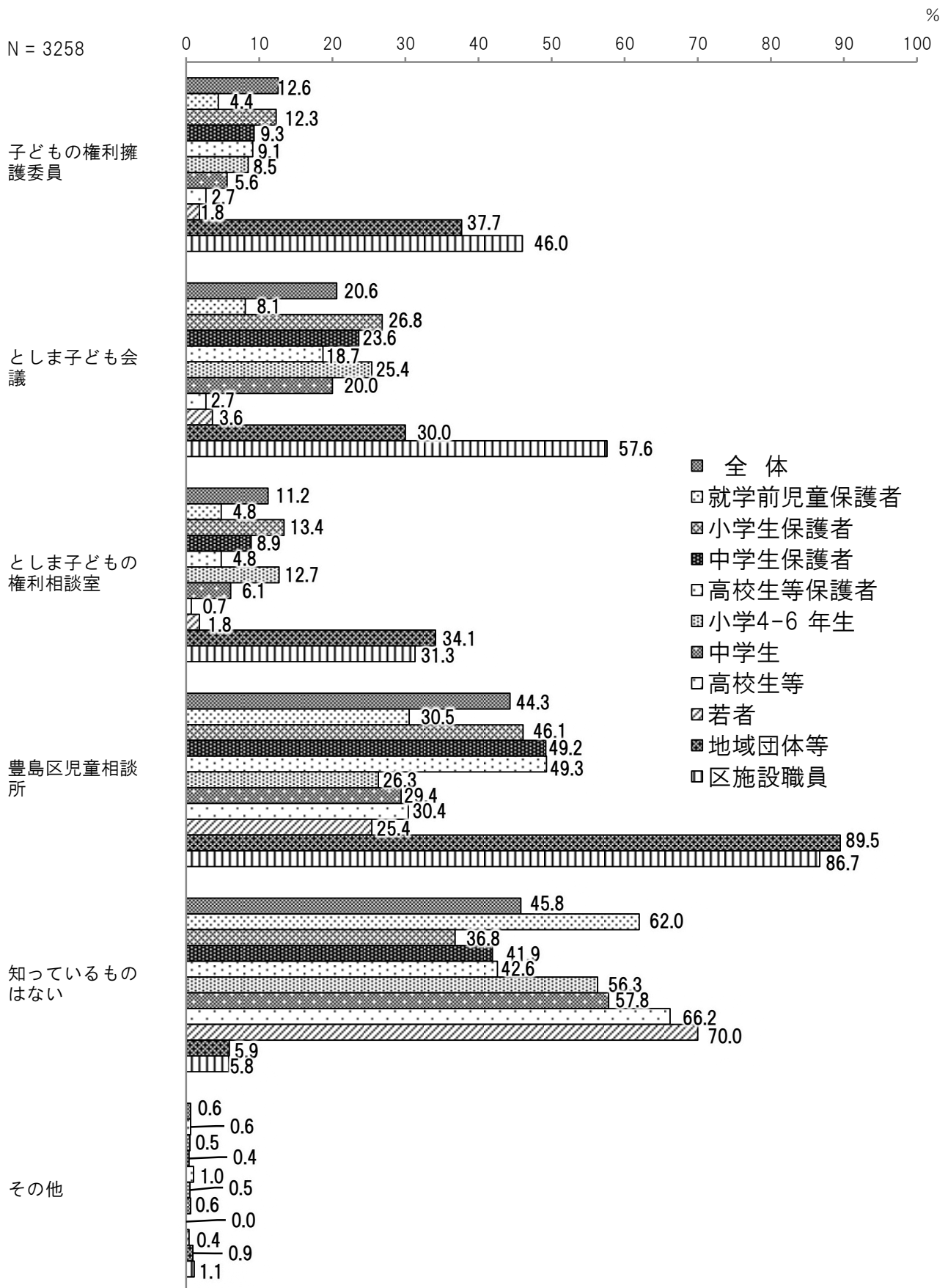
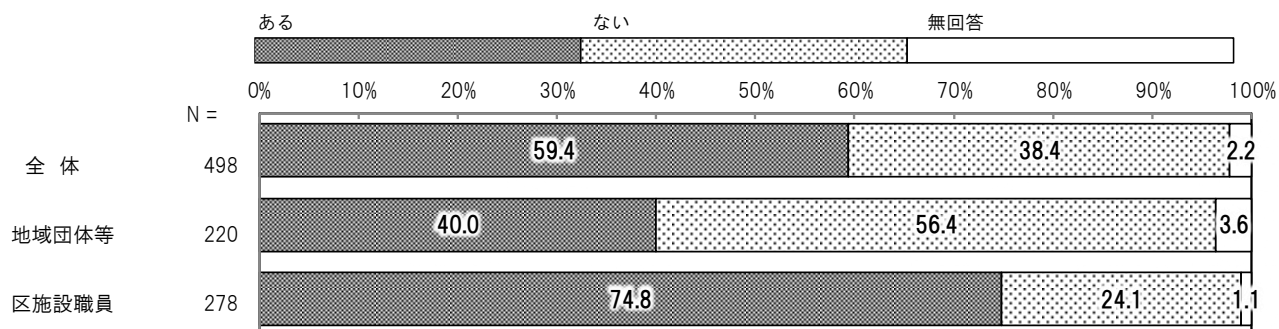


図 12 職 14 前保 33 小保 23 中高保 29 小中 25 高 26 若 20)

■4-1-4) あなたの地域や団体では、あなたが「子どもの権利」を学ぶ機会がありますか。
SA

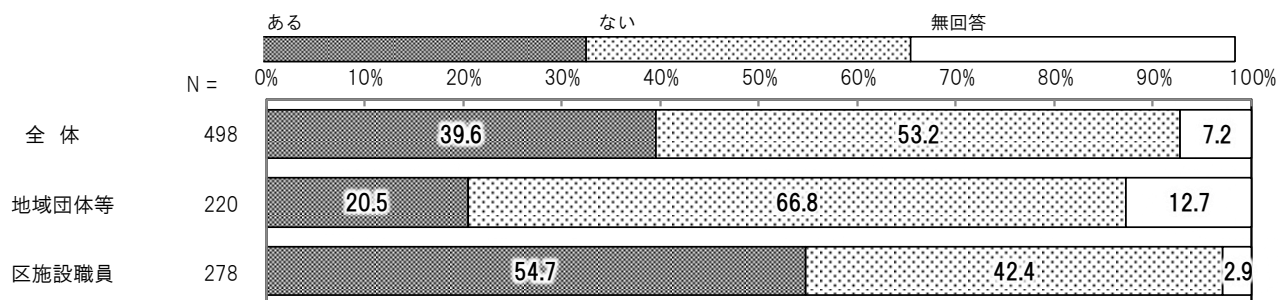
- ・ 地域団体等は「ない」が56.4%、区施設職員は「ある」が74.8%でした。



団 13 職 15)

■4-1-5) あなたの地域や団体では、子どもが「子どもの権利」を学ぶ機会がありますか。
SA

- ・ 地域団体等は「ない」が66.8%、区施設職員は「ある」が54.7%でした。



団 14 職 16)

4-2 7つの子どもの権利が守られているか

■4-2-1) 愛情と理解をもって育まれ、差別を受けずに安心・安全な環境で生活でき、虐待や体罰、いじめを受けない。 SA

- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い就学前児童保護者で86.2%、最も高い高校生等で98.7%でした。

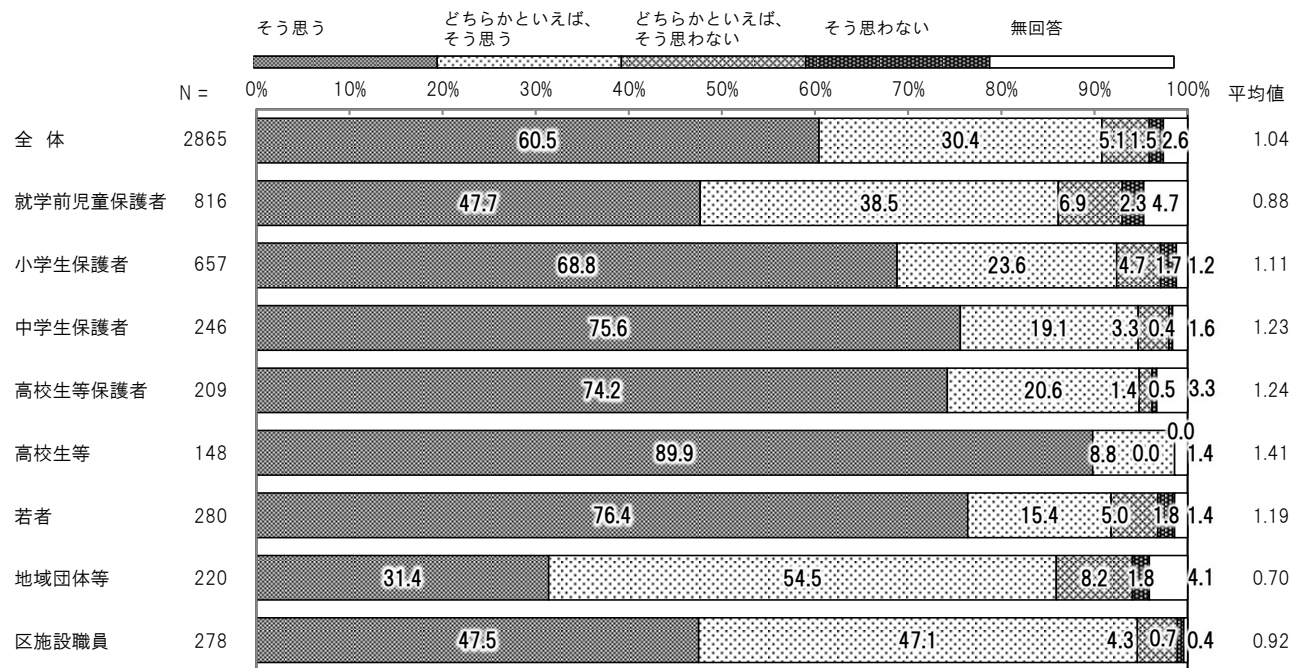


図 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-2) 一人ひとりの違いが認められ、自分らしさを大切にしながら成長することができる。プライバシーが尊重される。 SA

- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で80.0%、最も高い高校生等で97.3%でした。

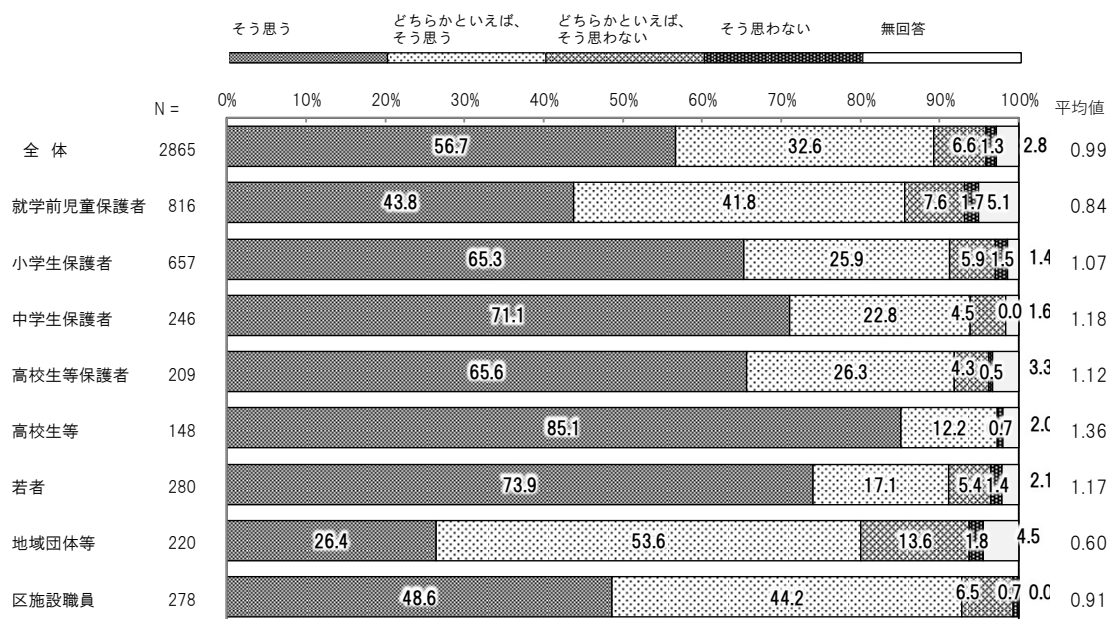
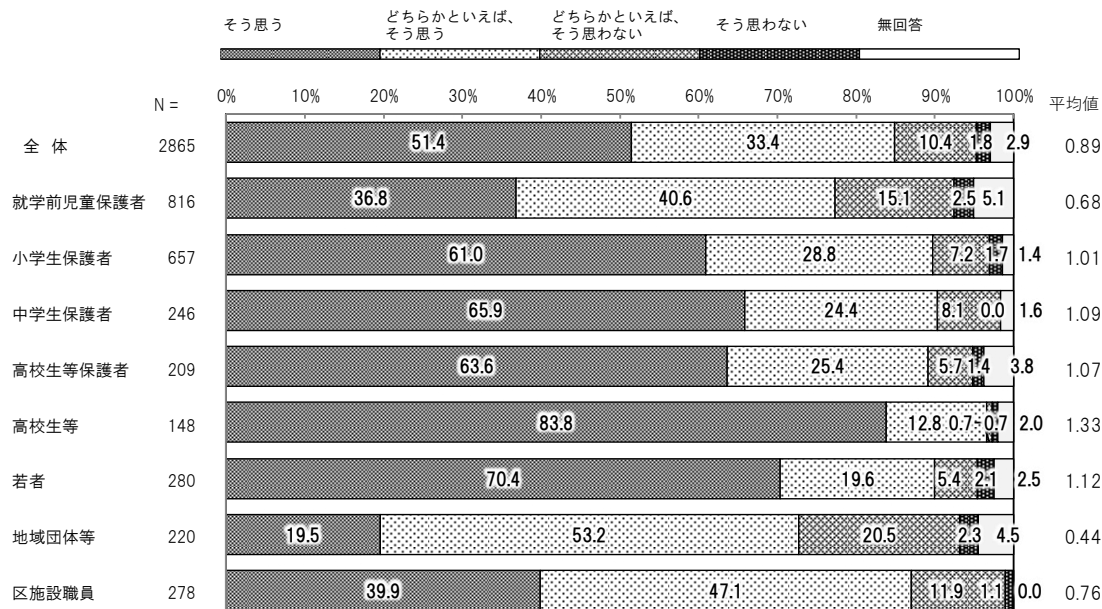


図 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-3) 自分の成長に合わせて、自分のことを決められる。必要な情報は周りの人から分かりやすく説明してもらえる。 SA

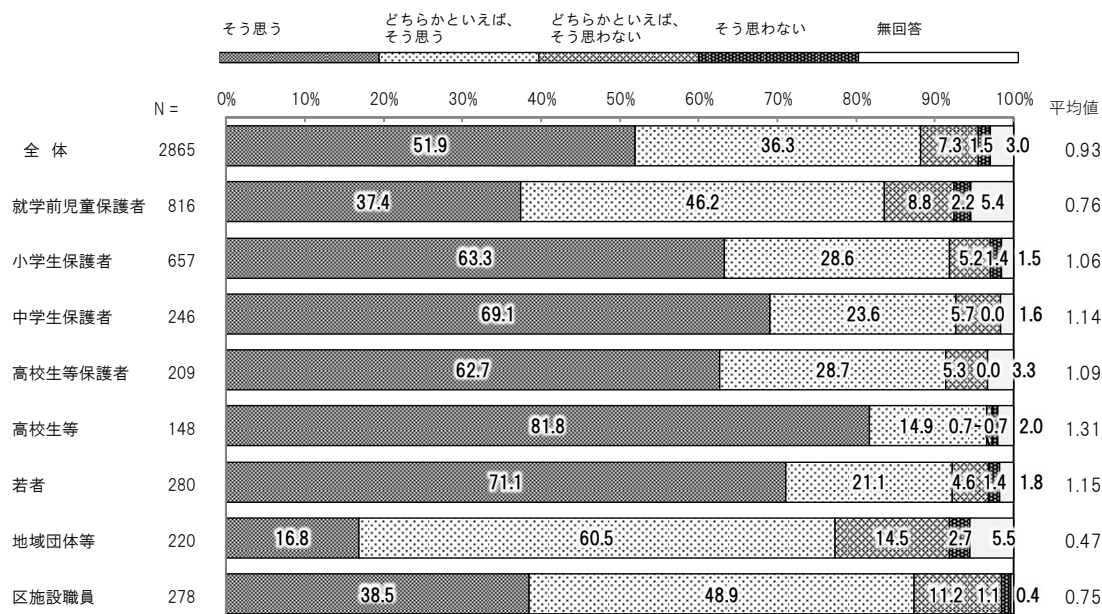
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で 72.7%、最も高い高校生等で 96.6%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-4) 自分の思っていることを人に伝えることができ、家や学校で何かを決めるときに意見が尊重される。 SA

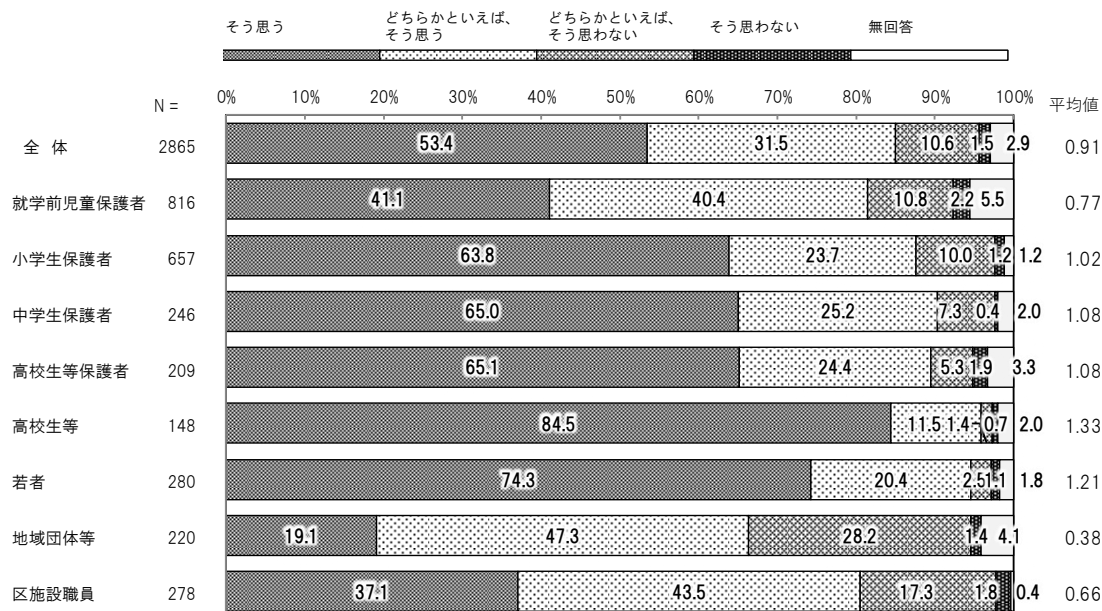
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で 77.3%、最も高い高校生等で 96.7%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-5) 自分の成長に合わせて遊んだり、学んだり、仲間と集まることができる。休んだり自由な時間を過ごすことができる。 SA

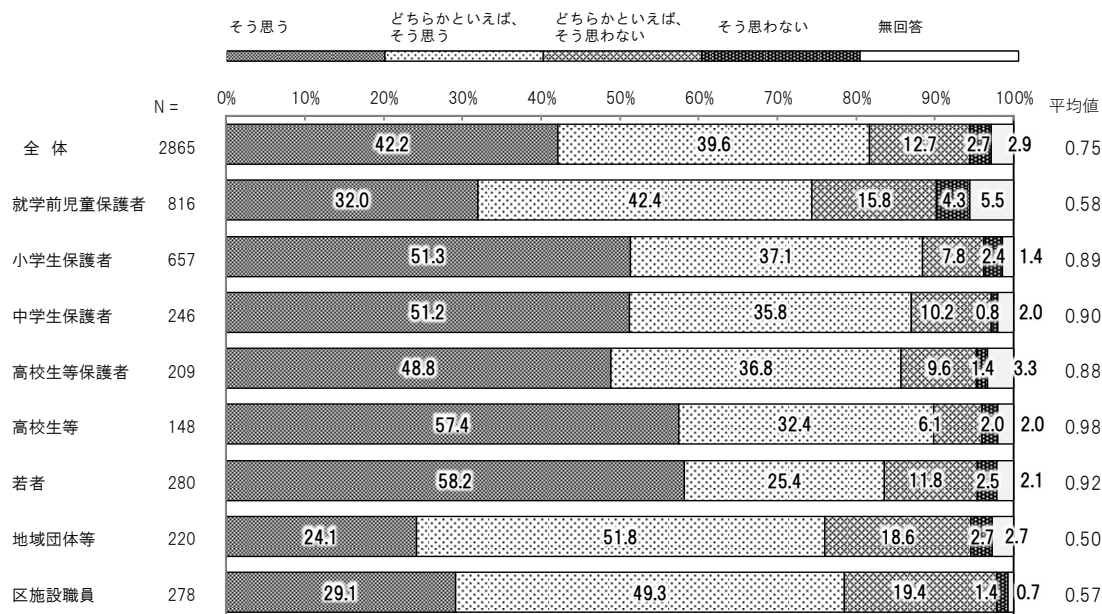
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で 66.4%、最も高い高校生等で 96.0%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-6) 大切な地域の一員として地域活動に参加することができる。地域の文化や伝統を学び、地域をよく知ることができる。 SA

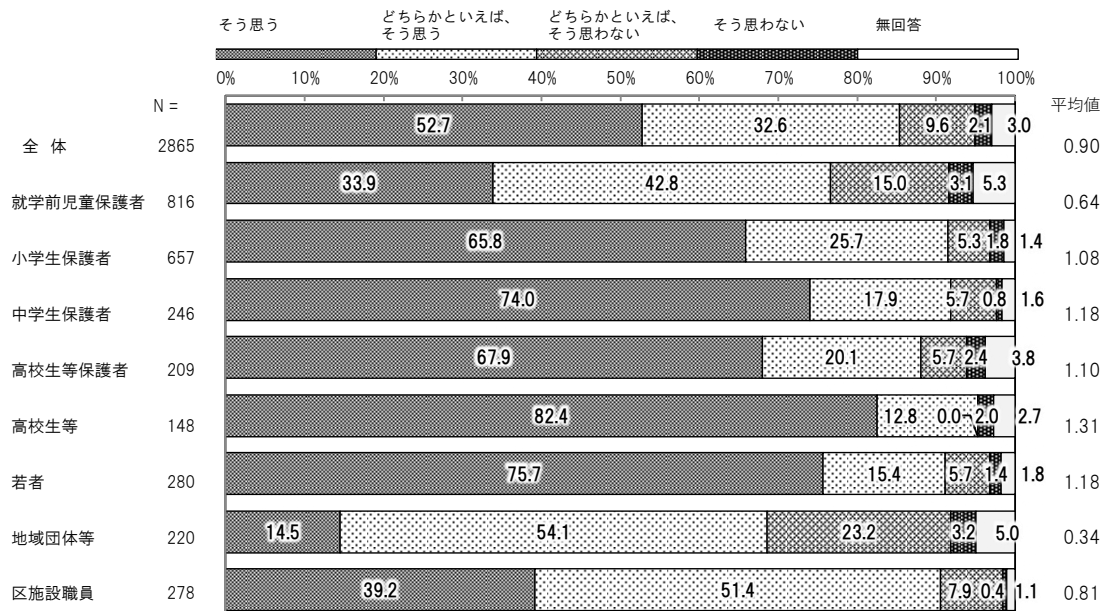
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い就学前児童保護者で 74.4%、最も高い高校生等で 89.8%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-7) 不安に思うことや困っていることを相談でき、虐待や体罰、いじめなどにあったときは助けを求める事ができる。 SA

- ・すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で 68.6%、最も高い高校生等で 95.2%でした。

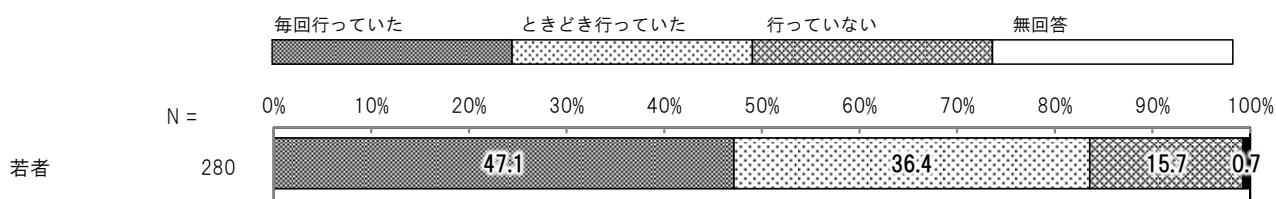


団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

4-3 子どもの意見表明について

■4-3-1) これまでに国政選挙や地方選挙に行っていますか。 SA

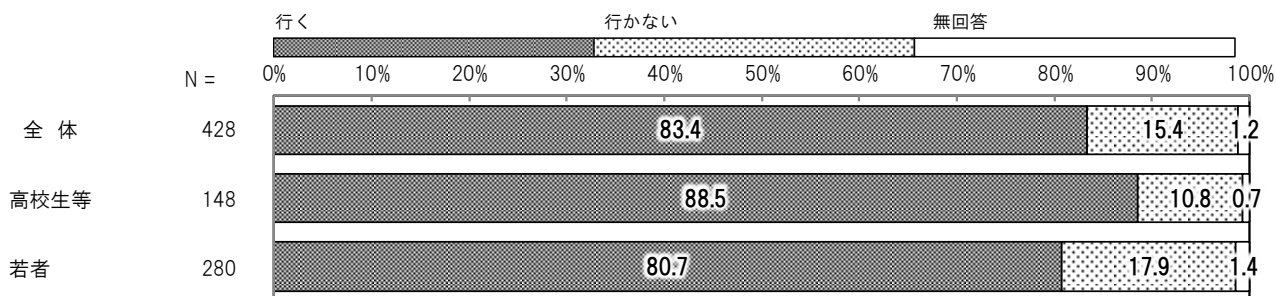
- ・若者は「毎回行っていた」が最も多く 47.1%、次いで「ときどき行っていた」が 36.4%でした。



若 15)

■4-3-2) 今後、国政選挙や地方選挙に行きますか。 SA

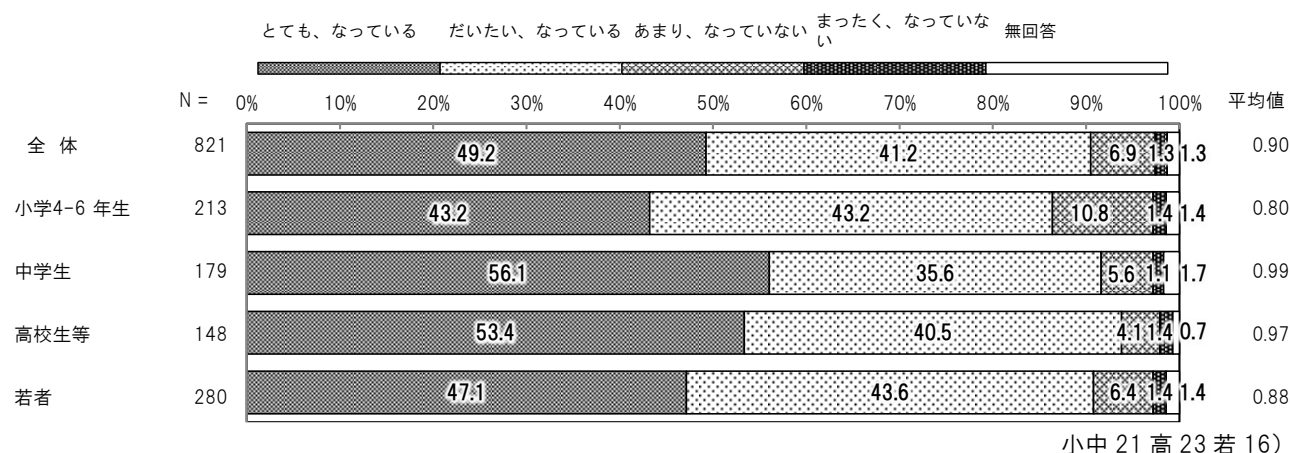
- ・高校生等、若者は「行く」が最も多く、高校生等で 88.5%、若者で 80.7%でした。



高 21 若 15)

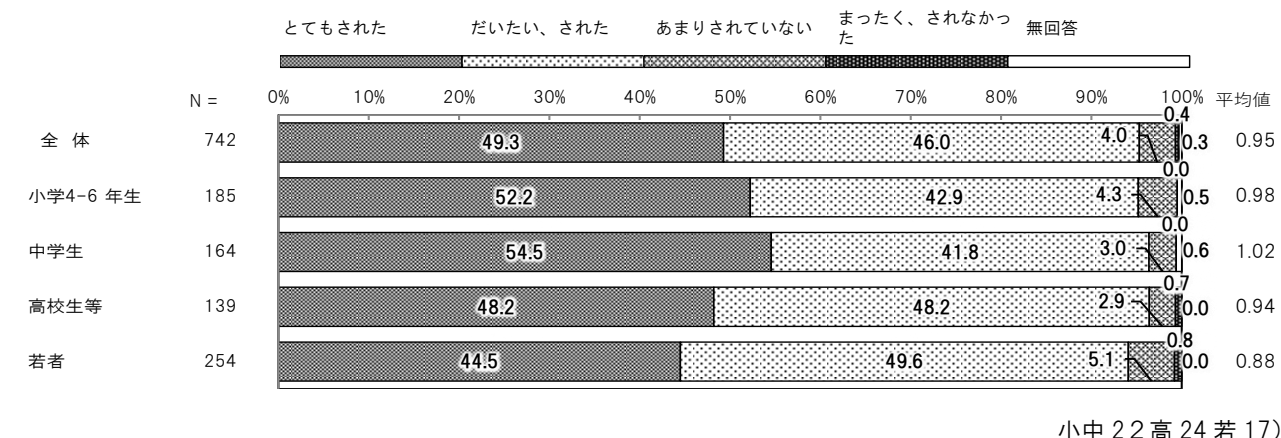
■4-3-3) 家で何かを決めるとき、あなたは意見を言えるようになっていきますか。 SA

- すべての対象で、「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計が「あまり、なっていない」「まったく、なっていない」の合計より多く、最も低い小学4-6年生で86.4%、最も高い高校生等で93.9%でした。



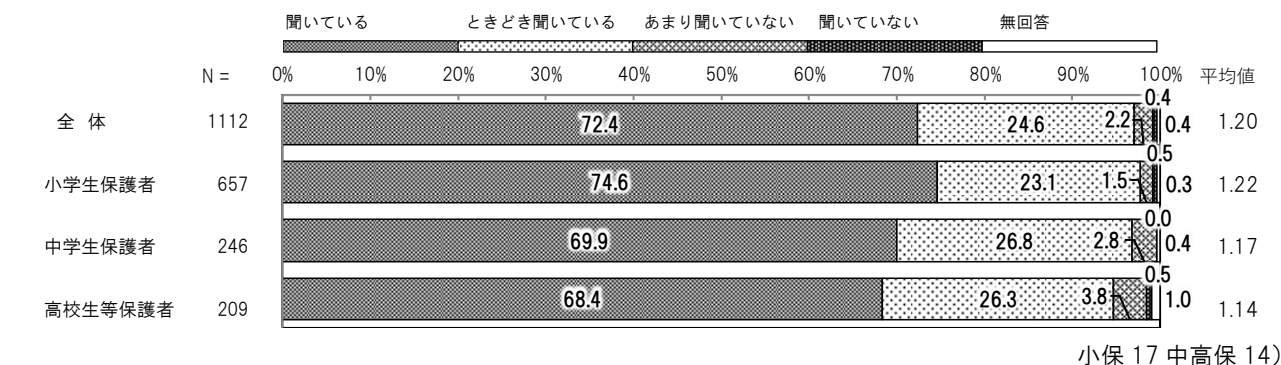
■4-3-4) 家であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い若者で94.1%、最も高い高校生等で96.4%でした。



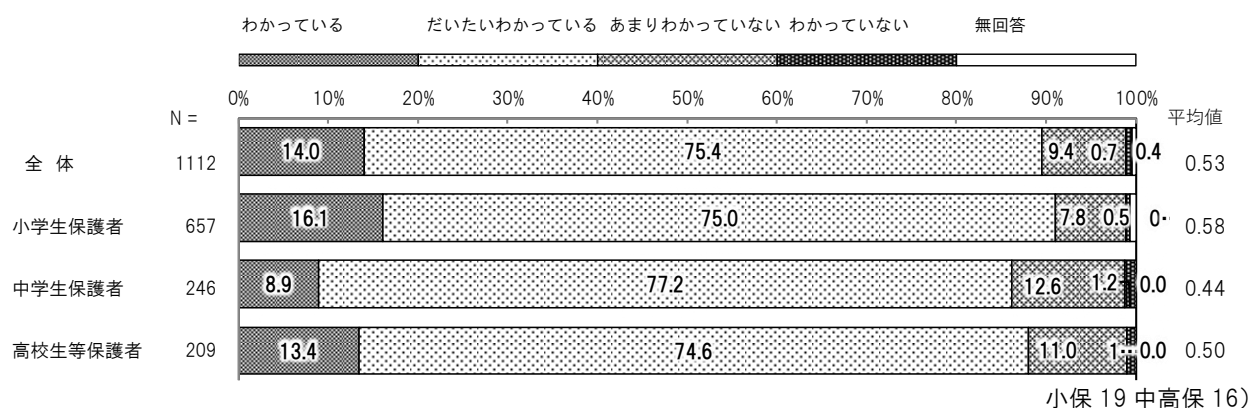
■4-3-5) あなたは、ふだん家で子どもの話をよく聞いていますか。 SA

- 「聞いている」「ときどき聞いている」の合計が、小学生保護者で97.7%、中学生保護者で96.7%、高校生等保護者で94.7%でした。



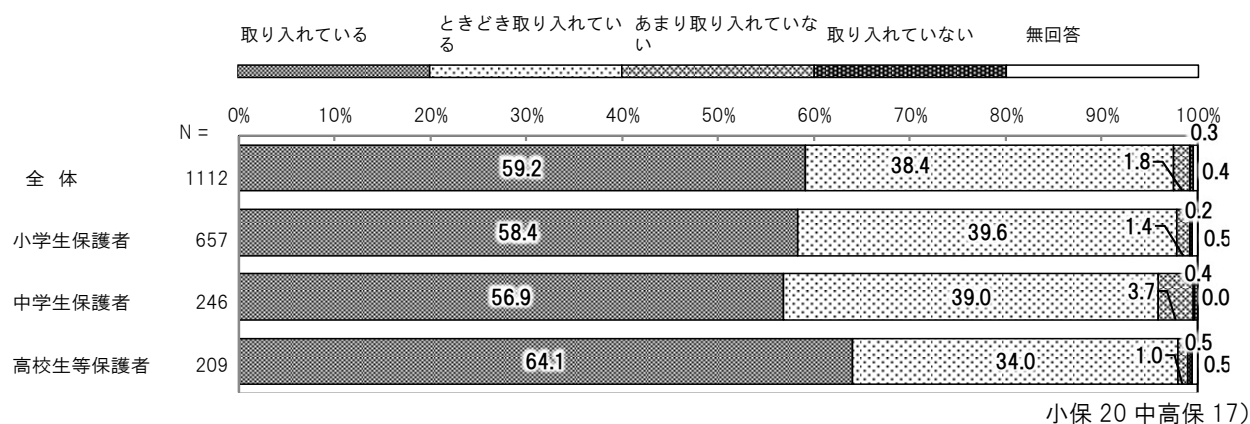
■4-3-6) あなたは、子どものことをわかっていると思いますか。 SA

- ・「わかっている」「だいたいわかっている」の合計が小学生保護者で91.1%、中学生保護者で86.1%、高校生等保護者で88.0%でした。



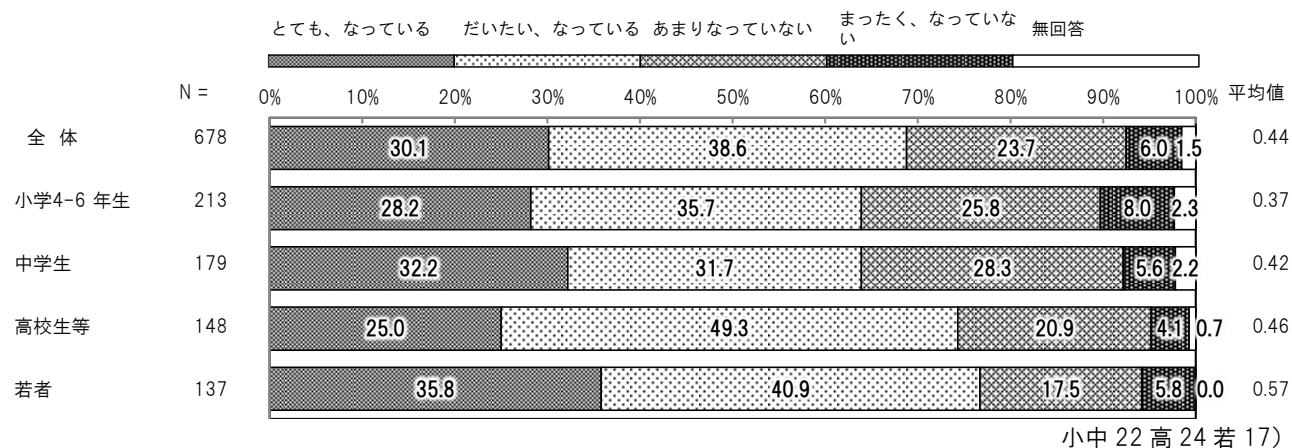
■4-3-7) あなたは、家で何かを決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れていますか。 SA

- ・「取り入れている」「ときどき取り入れている」の合計が小学生保護者で98.0%、中学生保護者で95.9%、高校生等保護者で98.1%でした。



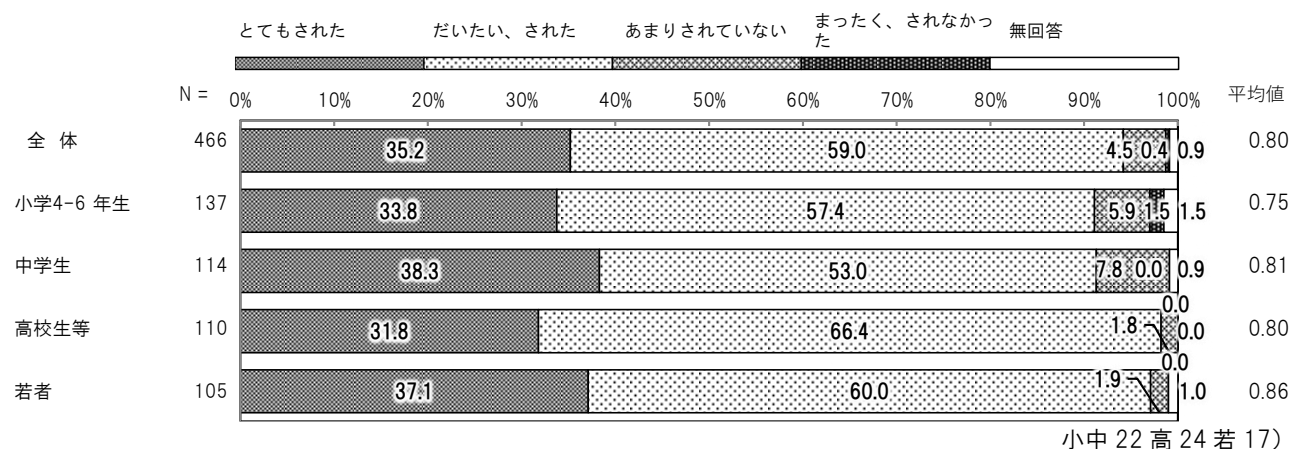
■4-3-8) 学校で何かを決めるとき、あなたは意見を言えるようになっていきますか。 SA

- ・すべての対象で、「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計が「あまりなっていない」「まったく、なっていない」の合計より多く、全体で68.7%でした。



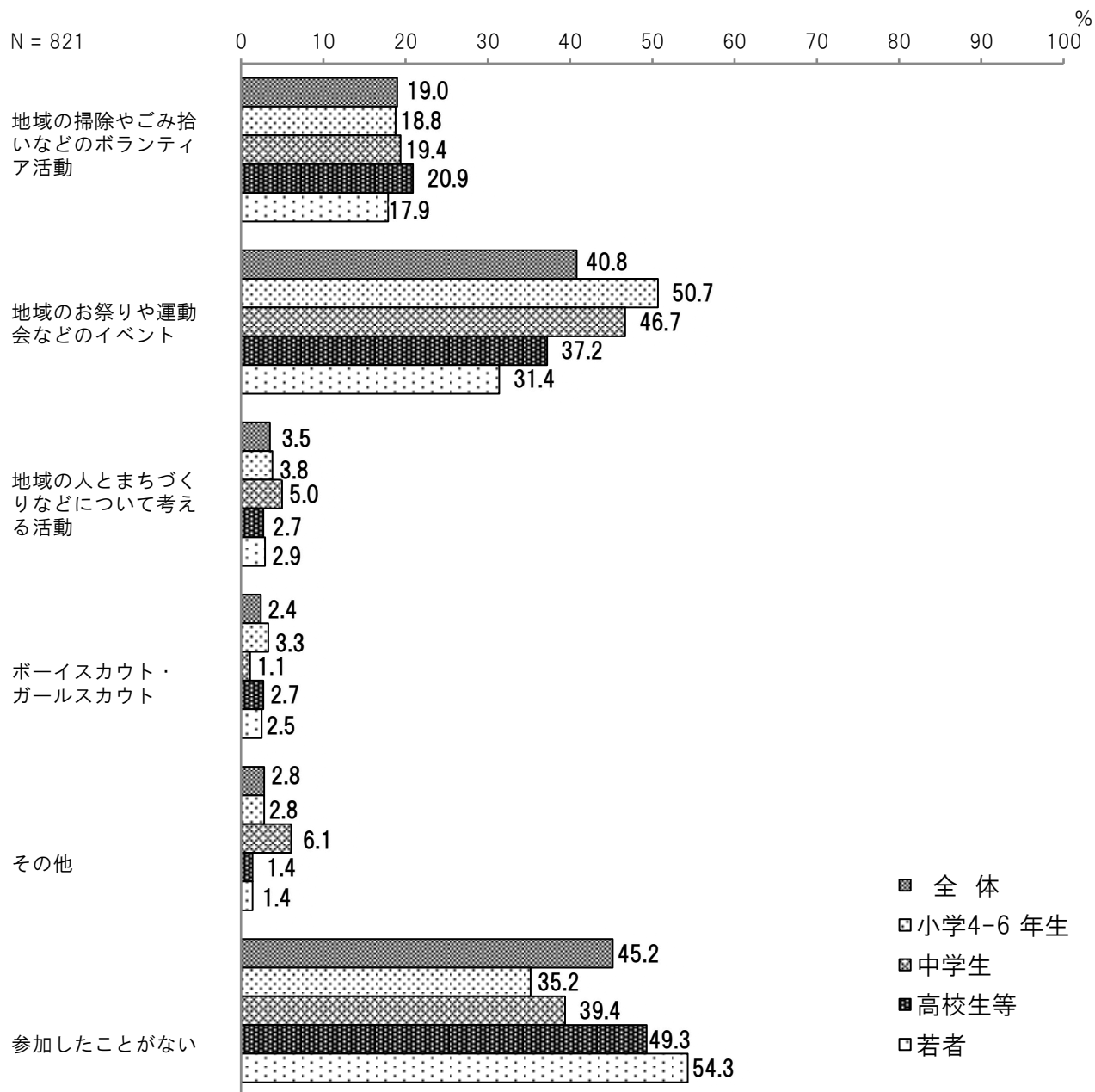
■4-3-9) 学校であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- ・すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い小学4-6年生で91.2%、最も高い高校生等で98.2%でした。



■4-3-10) あなたは、地域の活動・イベント・ボランティア等に参加したことがありますか。 (複数回答)

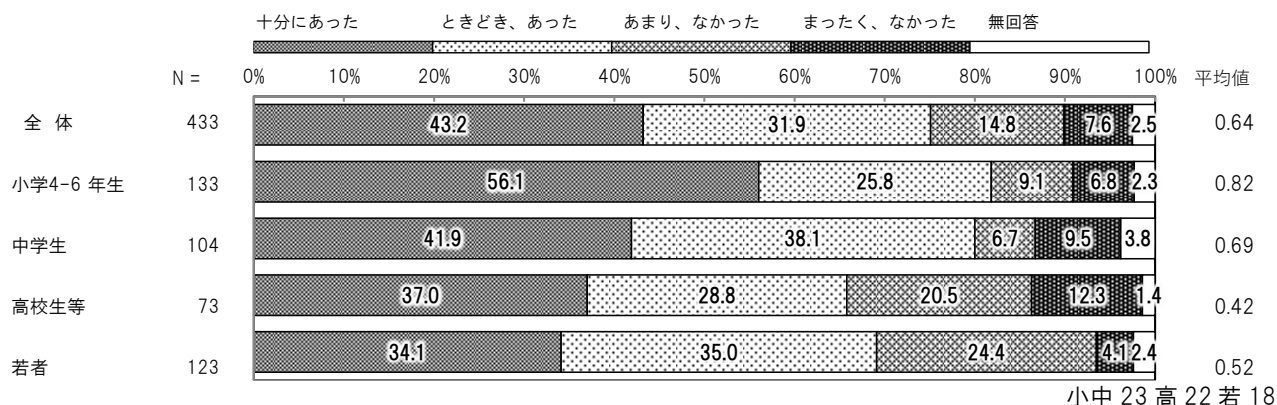
- ・ 高校生等、若者は「参加したことがない」が最も多く、高校生等で 49.3%、若者で 54.3% でした。小学 4-6 年生、中学生は「地域のお祭りや運動会などのイベント」が最も多く、小学 4-6 年生で 50.7%、中学生で 46.7% でした。



小中 23 高 22 若 18)

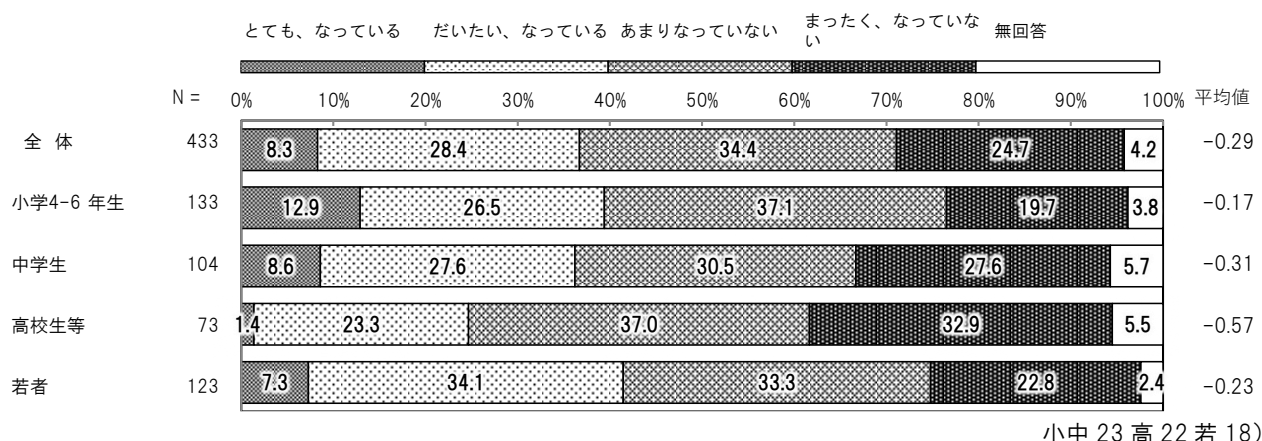
■4-3-1 1) 地域で何かをしたり、決めたりするとき、大人から事前の説明がありましたか。
SA

- すべての対象で、「十分にあった」「ときどき、あった」の合計が「あまり、なかった」「まったく、なかった」の合計より多く、最も低い高校生等で 65.8%、最も高い小学 4-6 年生で 81.9%でした。



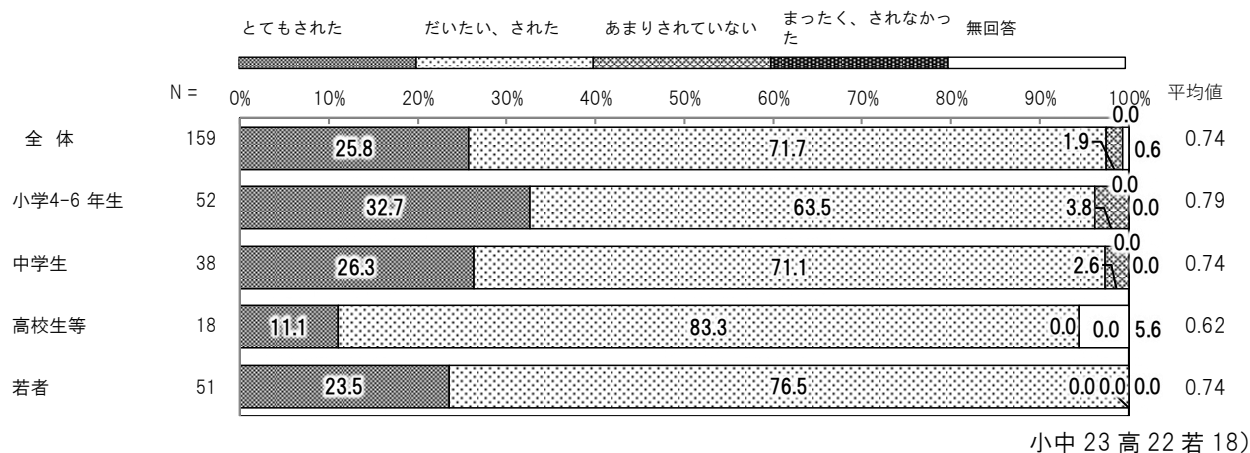
■4-3-1 2) 地域で何かをしたり、決めたりするとき、あなたは意見を言えるようになっていきますか。 SA

- すべての対象で、「あまりなっていない」「まったく、なっていない」の合計が「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計より多く、最も低い若者で 56.1%、最も高い高校生等で 69.9%でした。



■ 4-3-1 3) 地域であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- ・すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い高校生等で94.4%、最も高い若者で100.0%でした。

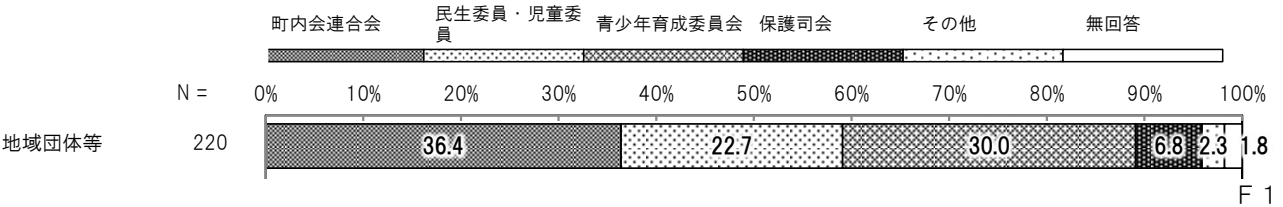


5 支援者から把握した状況

5-1 回答者属性

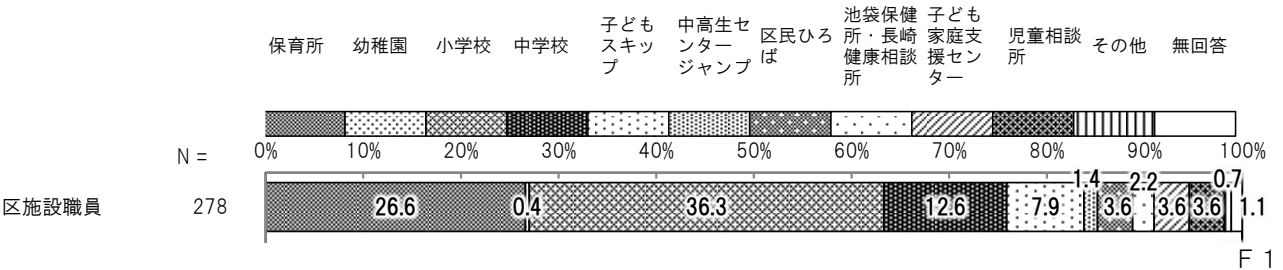
■ 5-1-1) はじめにあなたご本人のことについてお聞きします。 SA

- ・ 地域団体等は「町内会連合会」が最も多く 36.4%、次いで「青少年育成委員会」が 30.0% でした。



■ 5-1-2) はじめにあなたご本人のことについてお聞きします。 SA

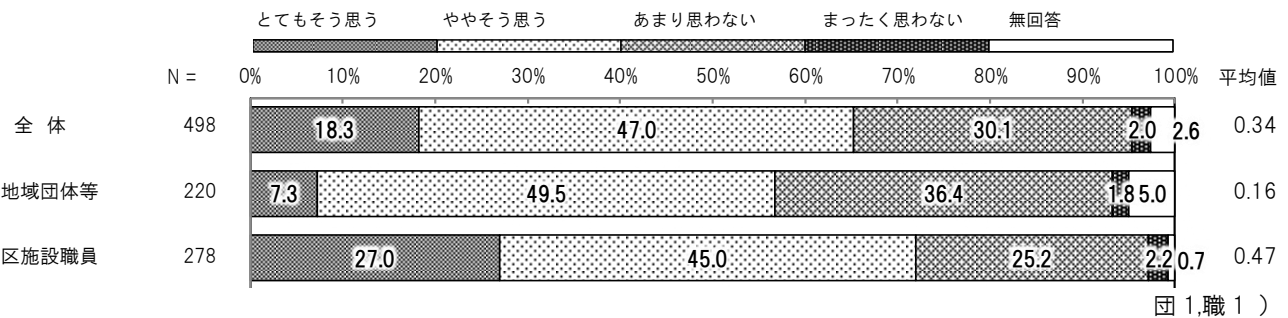
- ・ 区施設職員は「小学校」が最も多く 36.3%、次いで「保育所」が 26.6% でした。



5-2 支援者から見た子どもの状況

■ 5-2-1) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて ア 遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にある SA

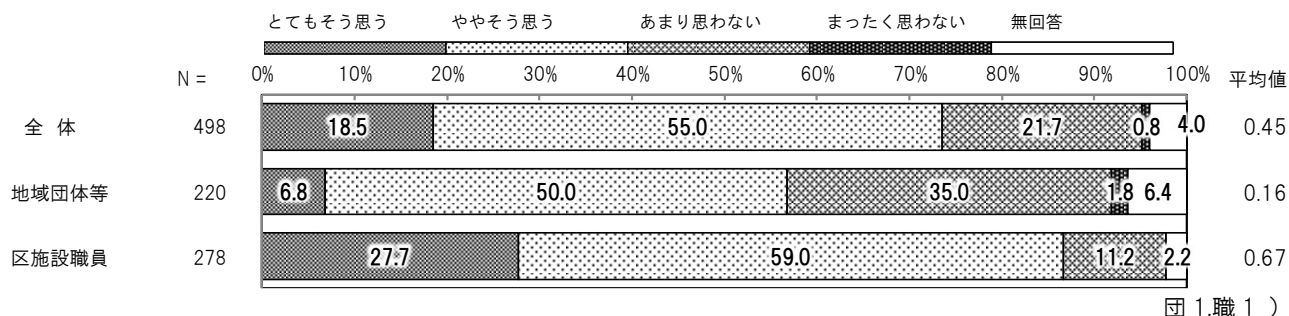
- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 56.8%、区施設職員で 72.0% でした。



団 1,職 1)

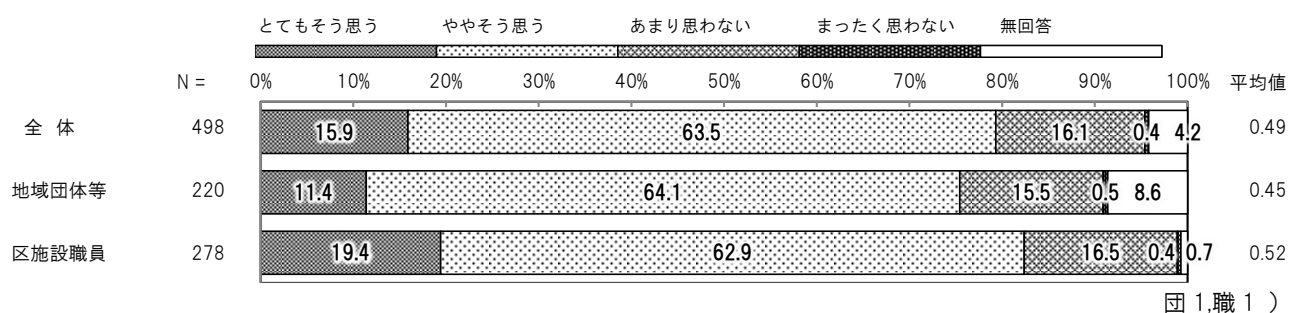
■ 5-2-2) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて イ 安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいる SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 56.8%、区施設職員で 86.7%でした。



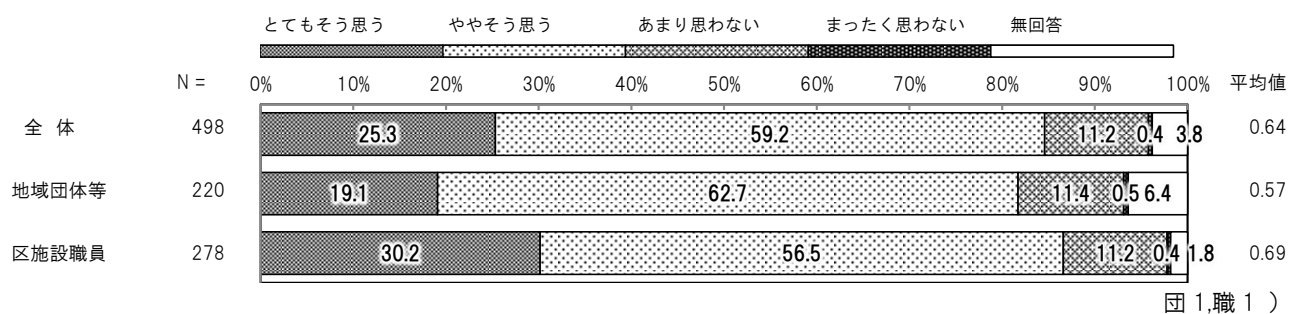
■ 5-2-3) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて ウ 自分のことを好きだと思っている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 75.5%、区施設職員で 82.3%でした。



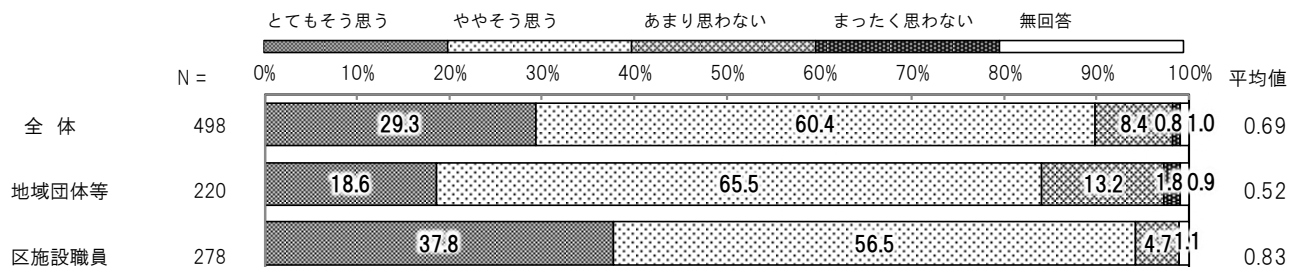
■ 5-2-4) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて エ 地域に、一緒に遊んだり、話したりする友達がいる SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 81.8%、区施設職員で 86.7%でした。



■ 5-2-5) あなたの子どもへの対応方法について ア 子どもの気持ちや意見を聞くこと（受け止めること）ができている SA

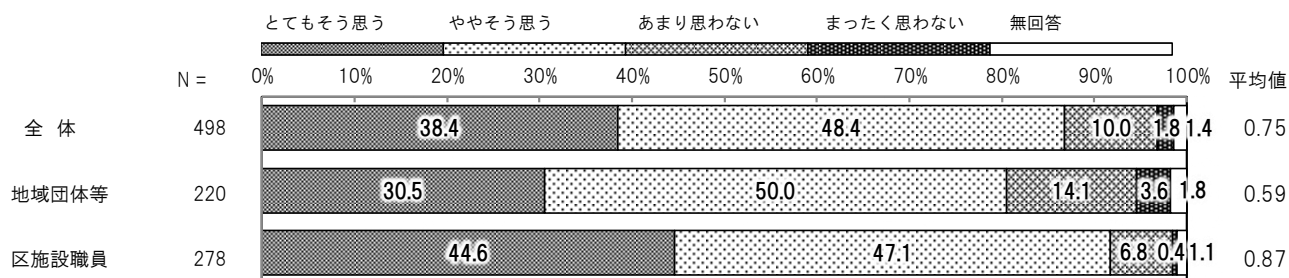
- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 84.1%、区施設職員で 94.3%でした。



団 2,職 2)

■ 5-2-6) あなたの子どもへの対応方法について イ 地域や、団体で子どもに関わること（運営方針、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れている SA

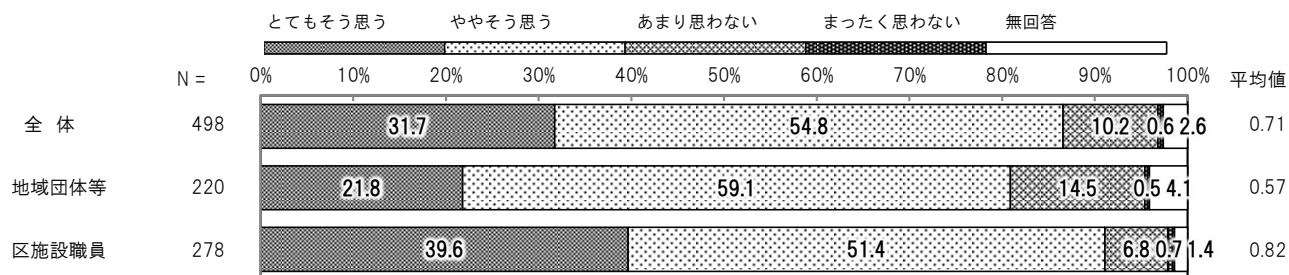
- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 80.5%、区施設職員で 91.7%でした。



団 2,職 2)

■ 5-2-7) あなたの子どもへの対応方法について ウ 地域や団体で接する子どもたちには可能な限り自由な時間や自主性を持たせている SA

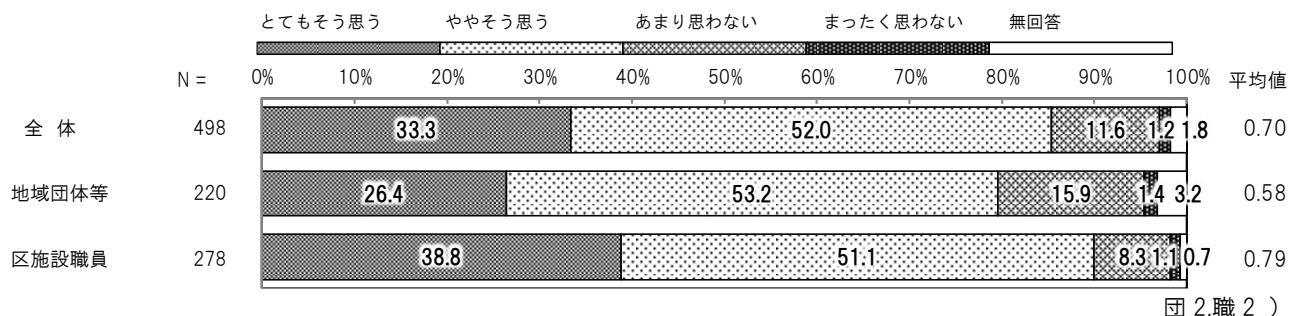
- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 80.9%、区施設職員で 91.0%でした。



団 2,職 2)

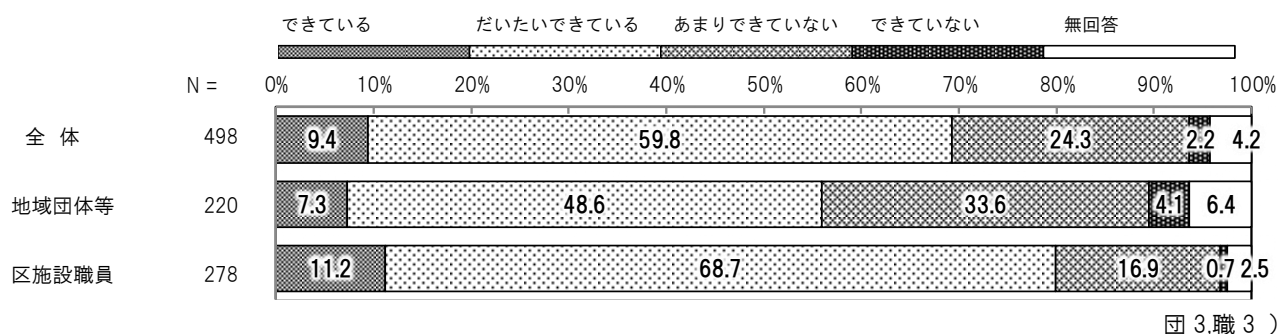
■ 5-2-8) あなたの子どもへの対応方法について エ 団体で子どもに関わること（運営方針、行事等）を決めるとき、自分の思いや考えを自由に言えるようにしている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等で 79.6%、区施設職員で 89.9%でした。



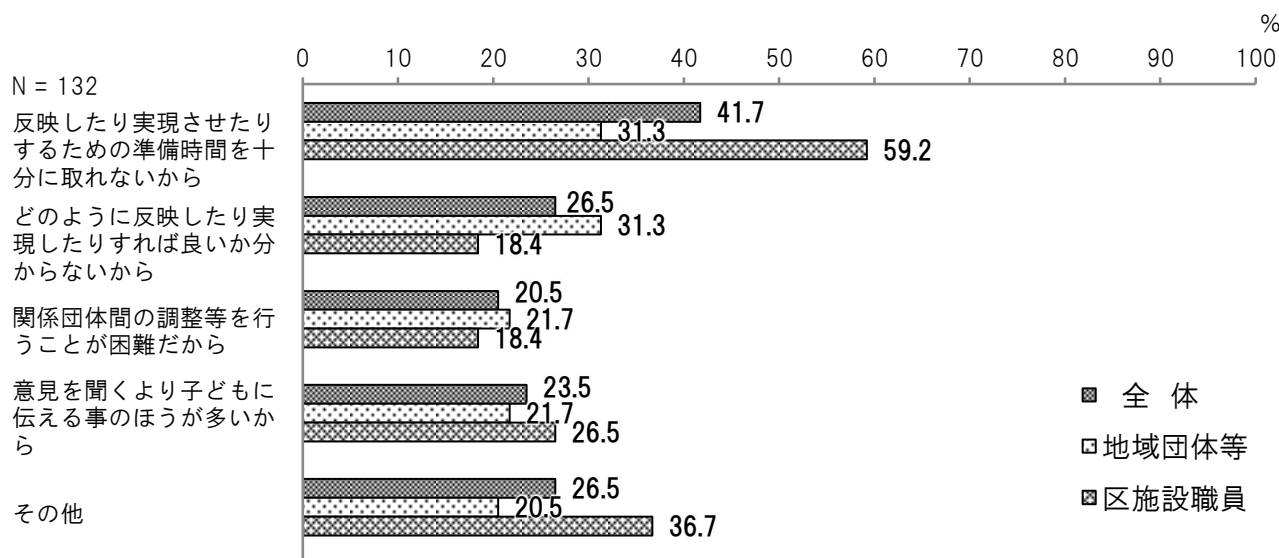
■ 5-2-9) あなたは、子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現させたりすることができますか。 SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「できている」「だいたいできている」の合計が「あまりできていない」「できていない」の合計より多く、地域団体等で 55.9%、区施設職員で 79.9%でした。



■ 5-2-1 0) 子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現させたりすることがあまりできていない、できていない理由（複数回答）

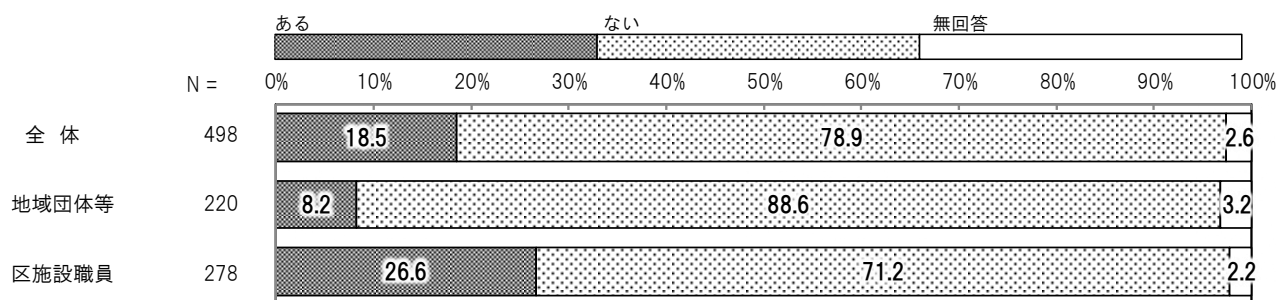
- ・ 地域団体等は「反映したり実現させたりするための準備時間を十分に取れないから」と「どのように反映したり実現したりすれば良いか分からないから」が最も多く 31.3%でした。
- ・ 区施設職員は「反映したり実現させたりするための準備時間を十分に取れないから」が最も多く 59.2%、次いで「その他」が 36.7%でした。



団 3,職 3)

■ 5-2-1 1) あなたは、最近、職場のお子さんや、あなたの身の回りの子どものいじめ（いじめられる・いじているの両方を含む）に気づいたことがありますか。 SA

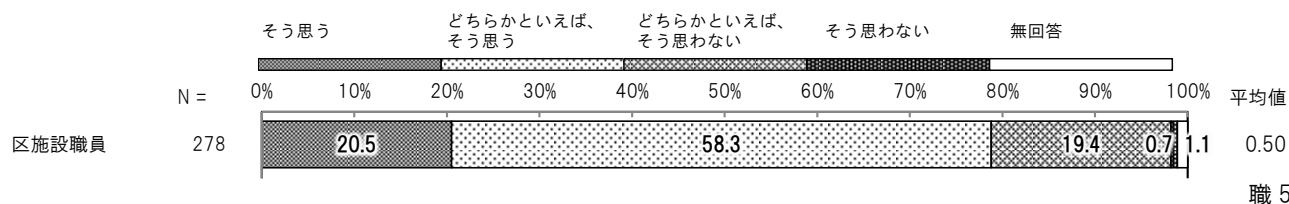
- ・ 地域団体等は「ない」が 88.6%でした。
- ・ 区施設職員は「ない」が 71.2%でした。



団 4,職 4)

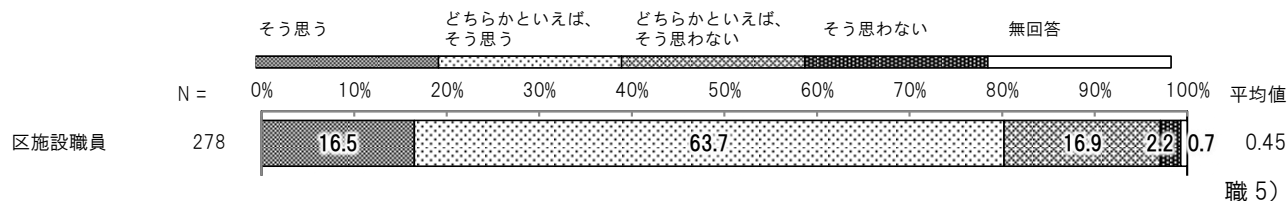
■ 5-2-1 2) あなたの思いや身体の調子についてお聞きします。：ア 自分のことが好き SA

- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、78.8%でした。



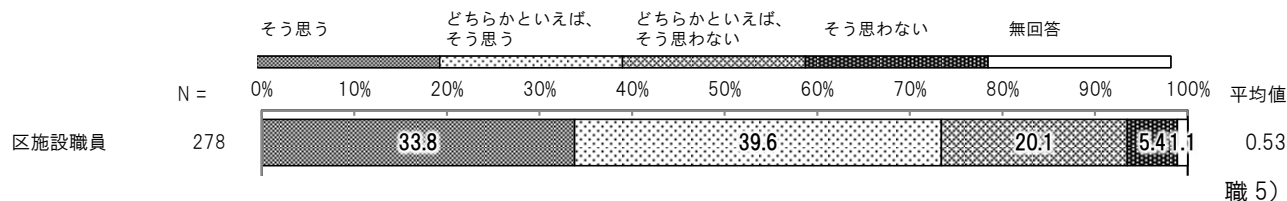
■ 5-2-1 3) あなたの思いや身体の調子についてお聞きます。：イ 周りの人から必要とされている SA

- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、80.2%でした。



■ 5-2-1 4) あなたの思いや身体の調子についてお聞きます。：ウ いつも疲れている感じがする SA

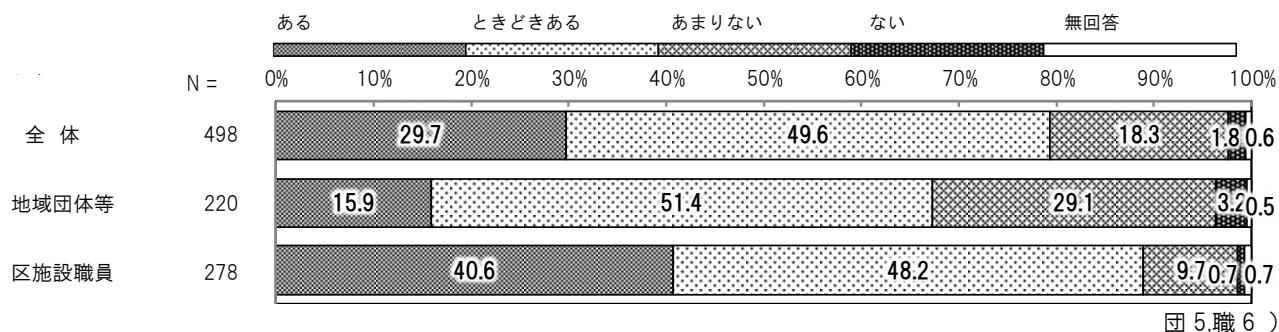
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、73.4%でした。



5-3 支援者の状況

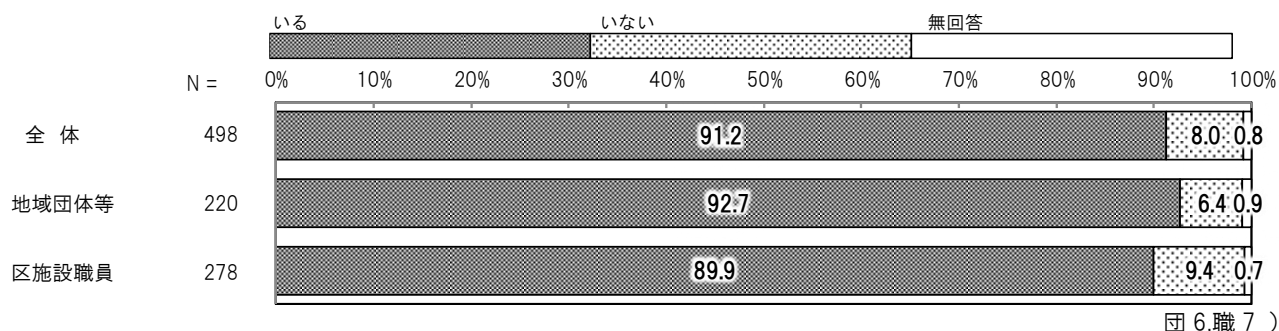
■ 5-3-1) あなたには、団体の活動や仕事上の悩みがありますか。 SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「ある」「ときどきある」の合計が「あまりない」「ない」の合計より多く、地域団体等で 67.3%、区施設職員で 88.8%でした。



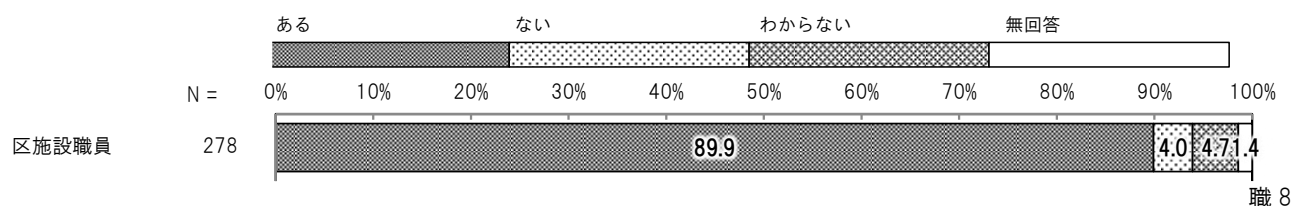
■ 5-3-2) あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人がいますか。 SA

- ・ 地域団体等は「いる」が 92.7%、区施設職員は「いる」が 89.9%でした。



■ 5-3-3) 自分の知識や専門性を高めるため、研修などへの参加意向はありますか。 SA

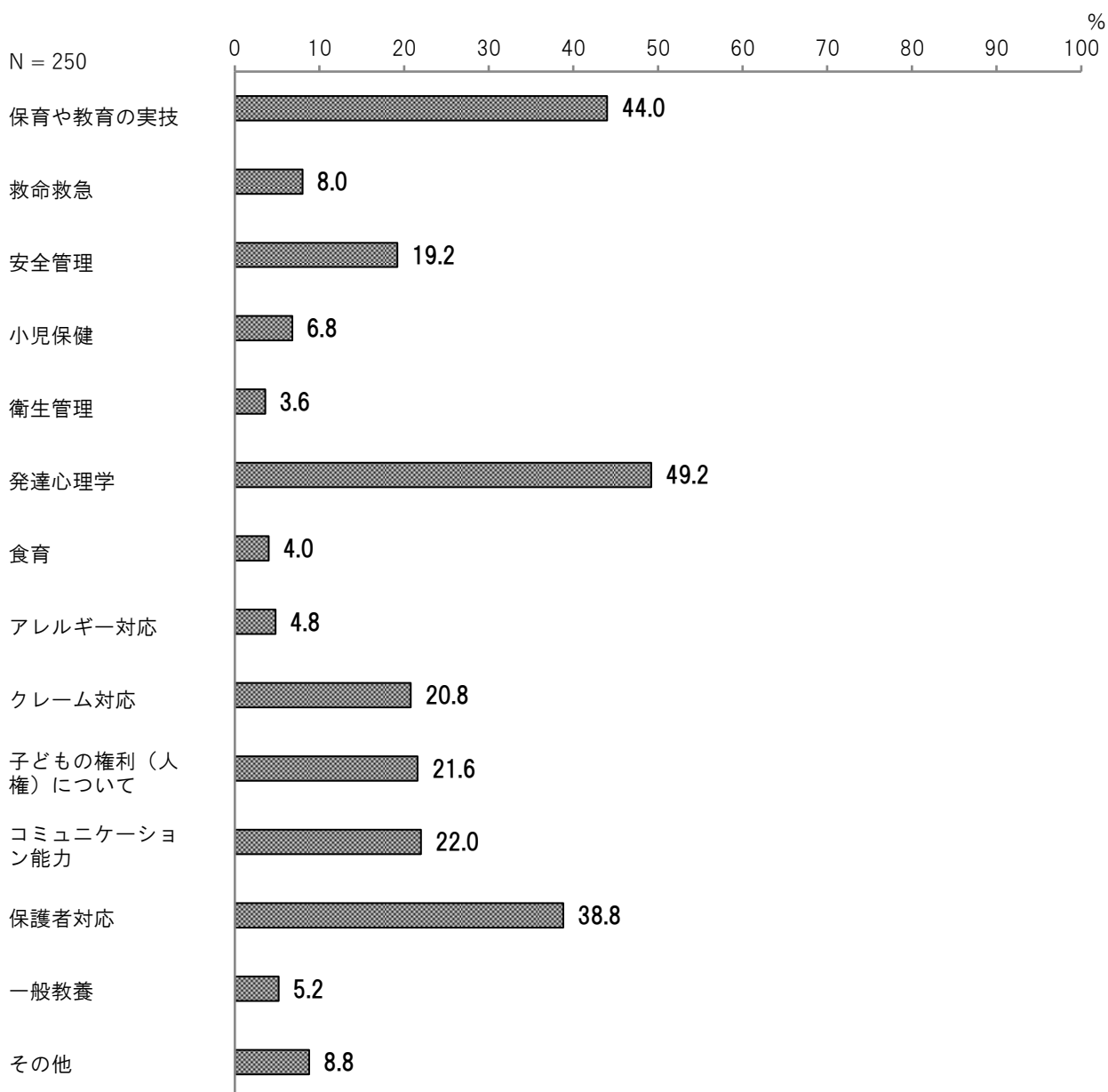
- ・ 区施設職員は「ある」が 89.9%でした。



職 8

■ 5-3-4) 研修ではどのような内容を希望しますか。 (複数回答)

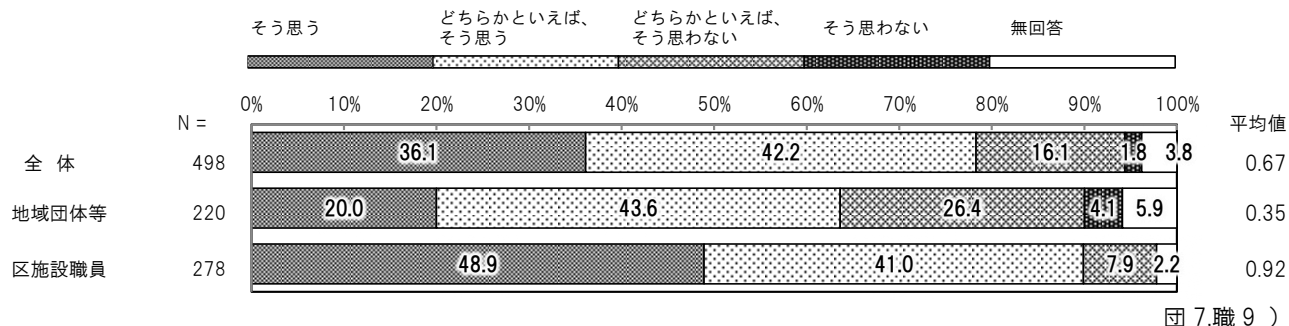
- ・ 区施設職員は「発達心理学」が最も多く 49.2%、次いで「保育や教育の実技」が 44.0%でした。



職 8-1)

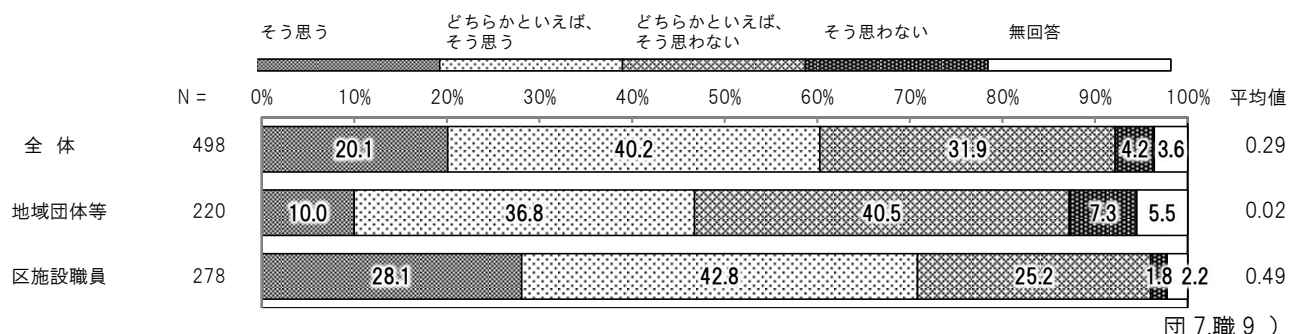
■ 5-3-5) 最近の保護者やその子どもの課題：ア 注意が続かなかったり、落ち着きがなかったりする子どもがいること SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、地域団体等で 63.6%、区施設職員で 89.9%でした。



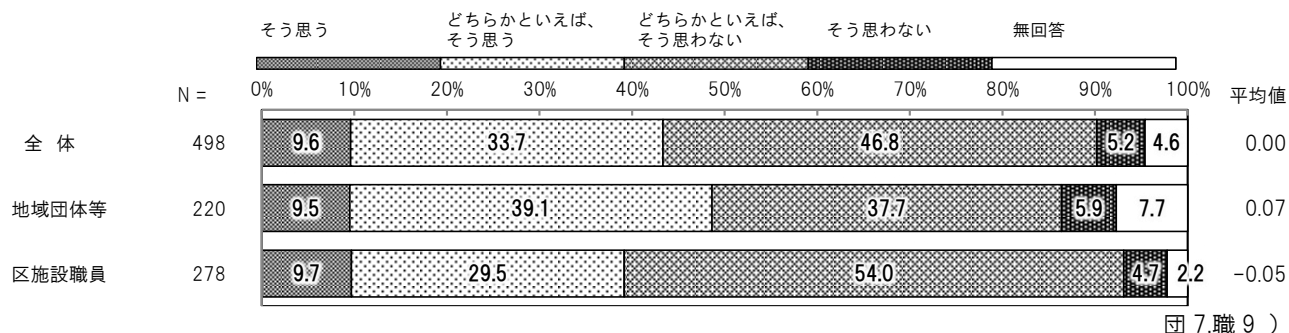
■ 5-3-6) 最近の保護者やその子どもの課題：イ 養育困難な保護者が増えていること SA

- ・ 地域団体等は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、47.8%でした。
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、70.9%でした。



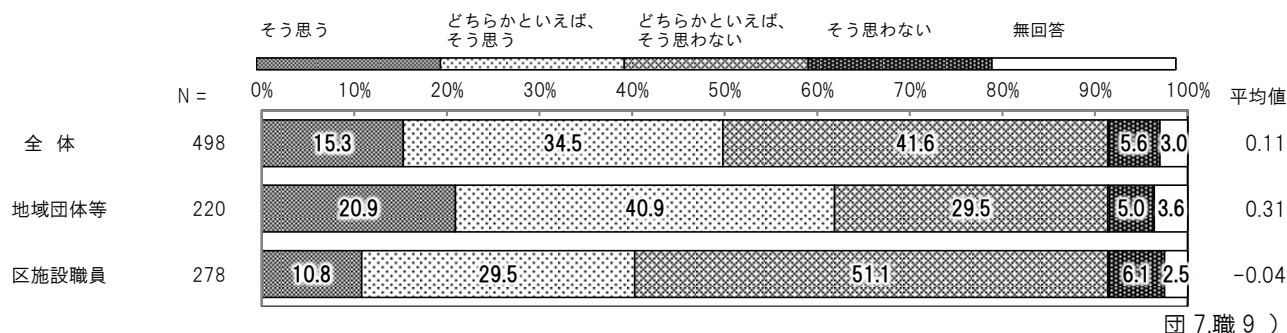
■ 5-3-7) 最近の保護者やその子どもの課題：ウ 保護者の間に就労不安定・低所得という問題がみられること SA

- ・ 地域団体等は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、48.6%でした。
- ・ 区施設職員は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、58.7%でした。



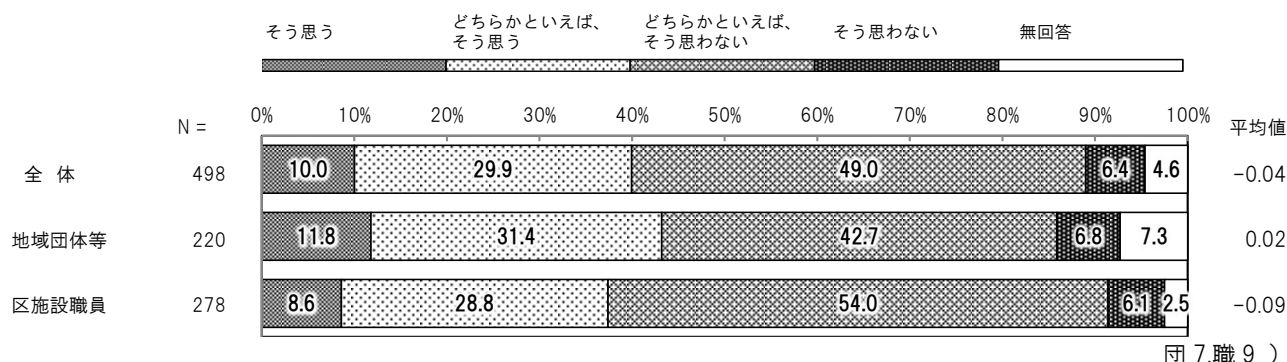
■ 5-3-8) 最近の保護者やその子どもの課題：エ ひとり親世帯が増えていること SA

- ・ 地域団体等は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、61.8%でした。
- ・ 区施設職員は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、57.2%でした。



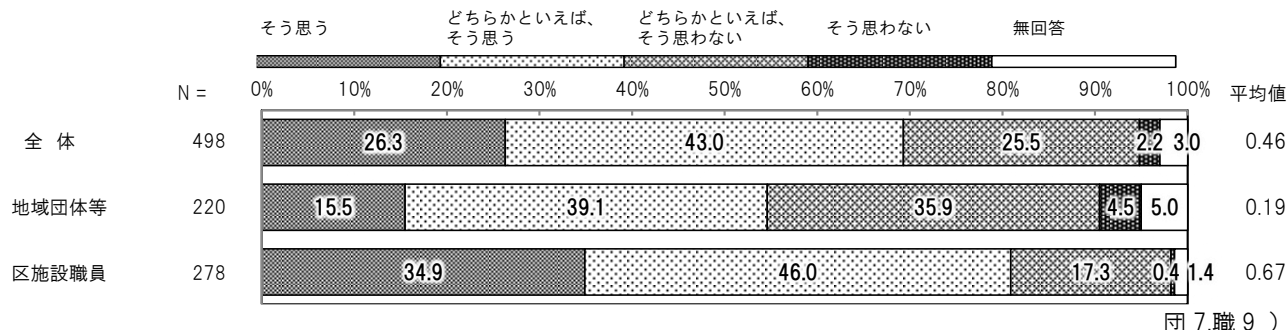
■ 5-3-9) 最近の保護者やその子どもの課題：オ 子どもの貧困の問題が生じていること SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、地域団体等で 49.5%、区施設職員で 60.1%でした。



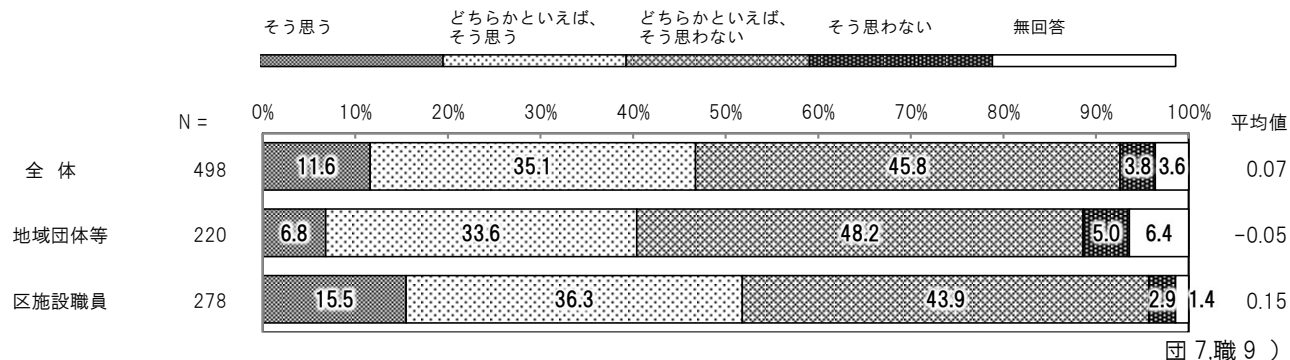
■ 5-3-10) 最近の保護者やその子どもの課題：カ 育児不安や育児ストレスに悩む保護者が増えていること SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、地域団体等で 54.6%、区施設職員で 80.9%でした。



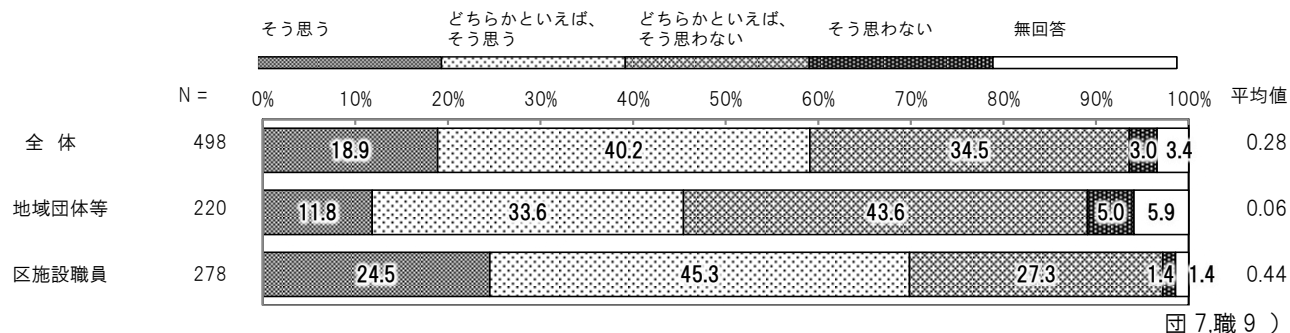
■ 5-3-1 1) 最近の保護者やその子どもの課題：キ 施設が提供するサービスと、保護者が求めるものが異なること SA

- ・ 地域団体等は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、53.2%でした。
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、51.8%でした。



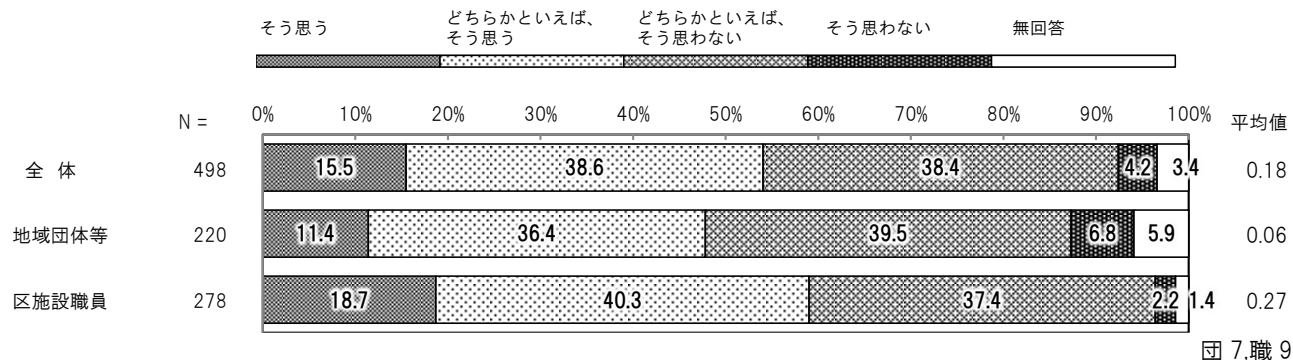
■ 5-3-1 2) 最近の保護者やその子どもの課題：ク 子どもが基本的な生活習慣を身につけていないこと SA

- ・ 地域団体等は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、48.6%でした。
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、69.8%でした。



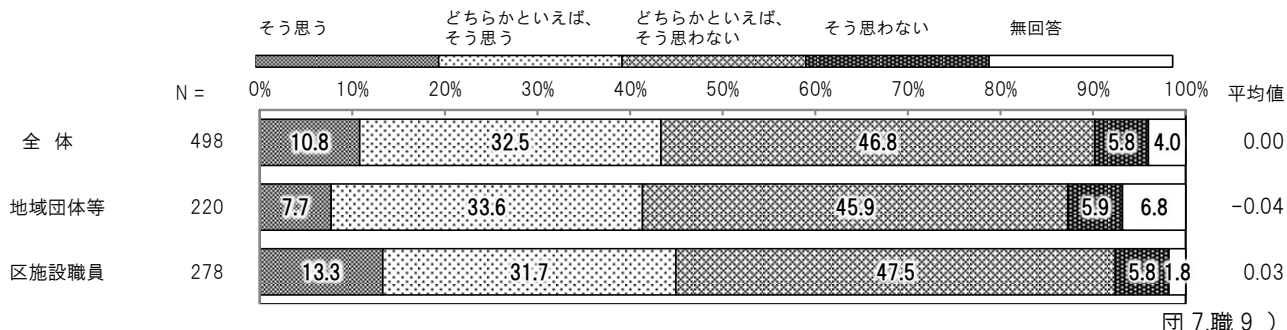
■ 5-3-1 3) 最近の保護者やその子どもの課題：ケ 子どもの問題に対する保護者の協力が十分でないこと SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、地域団体等で 47.8%、区施設職員で 59.0%でした。



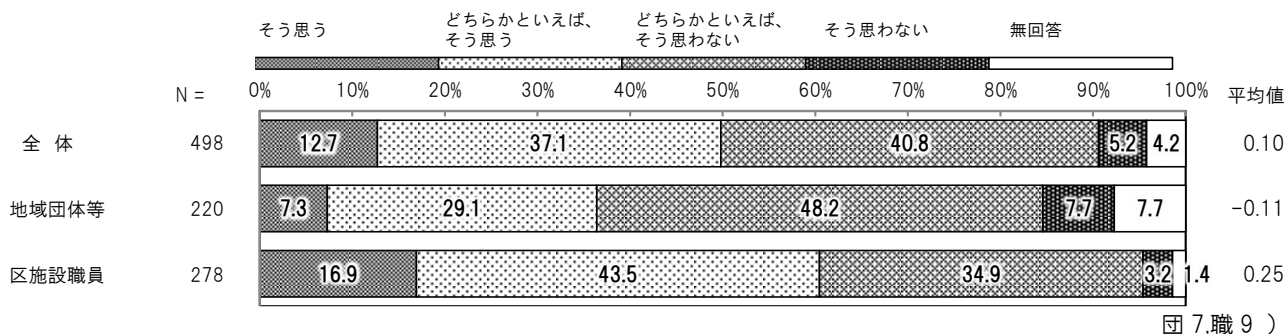
■ 5-3-1 4) 最近の保護者やその子どもの課題：コ 保護者同士の人間関係の問題があること SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、地域団体等で 51.8%、区施設職員で 53.3%でした。



■ 5-3-1 5) 最近の保護者やその子どもの課題：サ 虐待・ネグレクトの疑いのあるケースが増えていること SA

- ・ 地域団体等は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、55.9%でした。
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、60.4%でした。



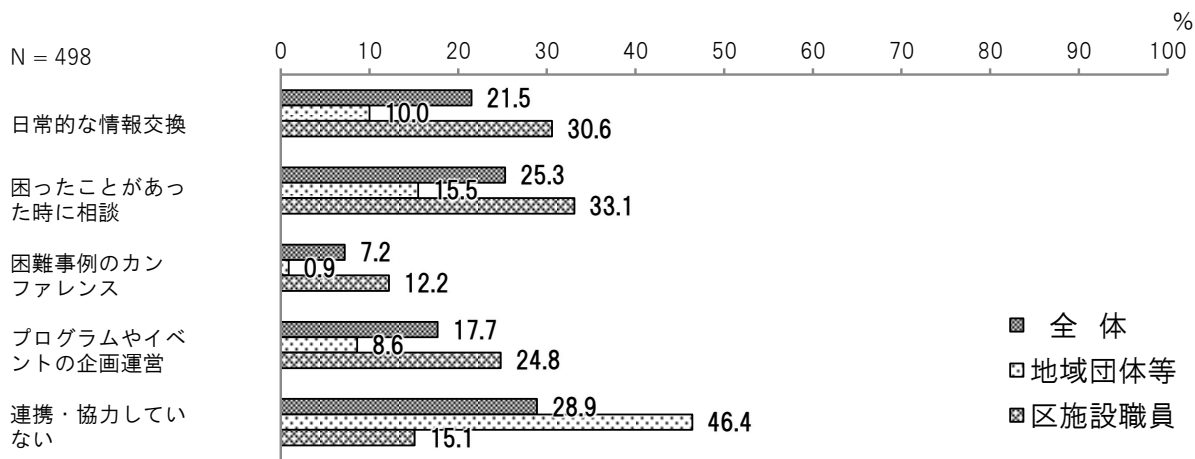
■ 5-3-1 6) 最近の保護者やその子どもの課題：シ その他 SA

- ・ その他としてあげられている課題としては、地域団体等からは、「教職員の性的嫌がらせ」、「外部や専門家とつながりにくい家庭が増えている」、「支援の一本化が進んでいない」等が指摘されました。
- ・ 区施設職員からは、「言葉の使い方がわからない子が増えている」、「理由がわからない登校しぶりが増えている」、「外国籍の子が増えている」、「保護者の横のつながりが無い」、「保護者の過保護や指導不足」等が指摘されました。

団 7,職 9)

■ 5-3-1 7) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ア 保育所 （複数回答）

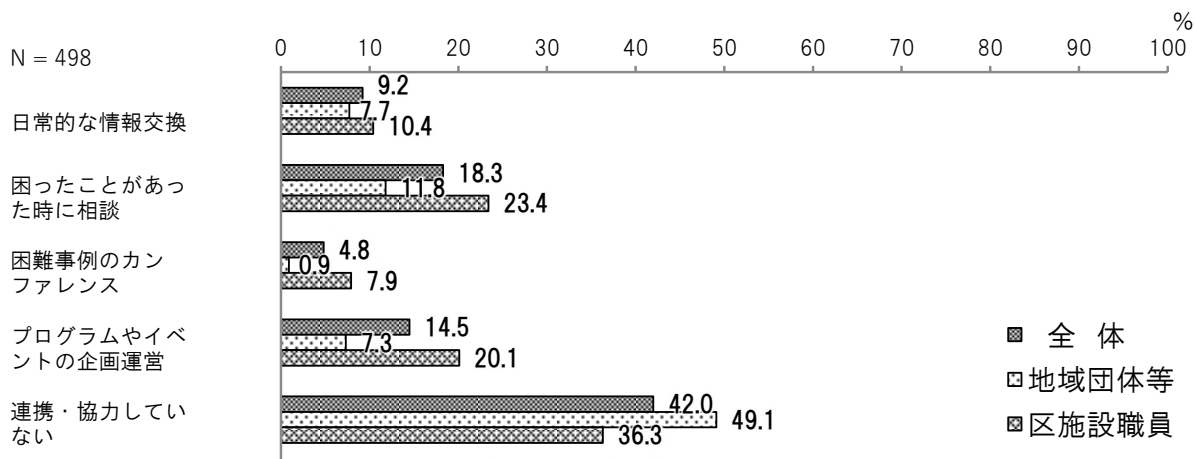
- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 46.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 15.5%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 33.1%、次いで「日常的な情報交換」が 30.6%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-1 8) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：イ 幼稚園 （複数回答）

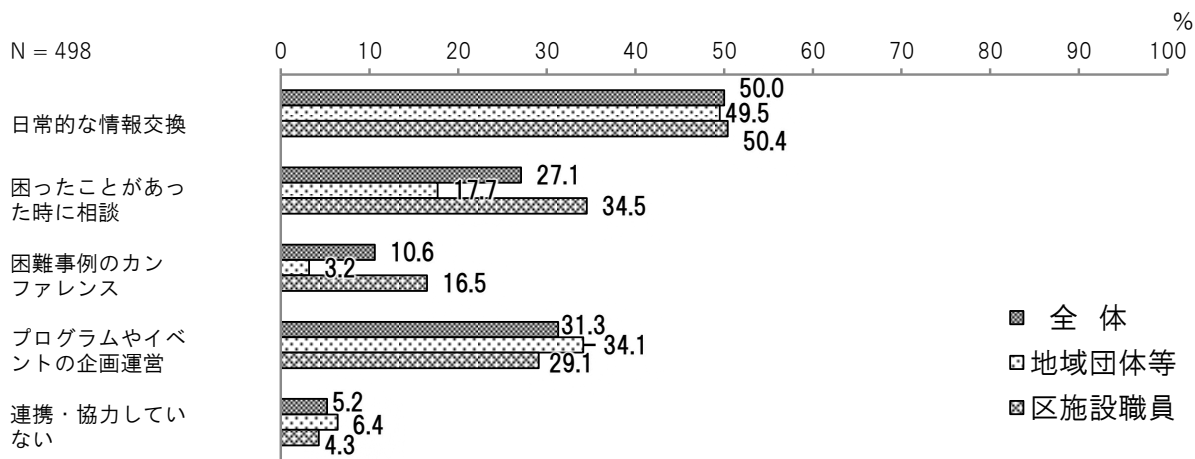
- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「連携・協力していない」が最も多く地域団体等で 49.1%、区施設職員で 36.3%、次いで「困ったことがあった時に相談」が多く、地域団体等で 11.8%、区施設職員で 23.4%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-1 9) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ウ 小学校・中学校（複数回答）

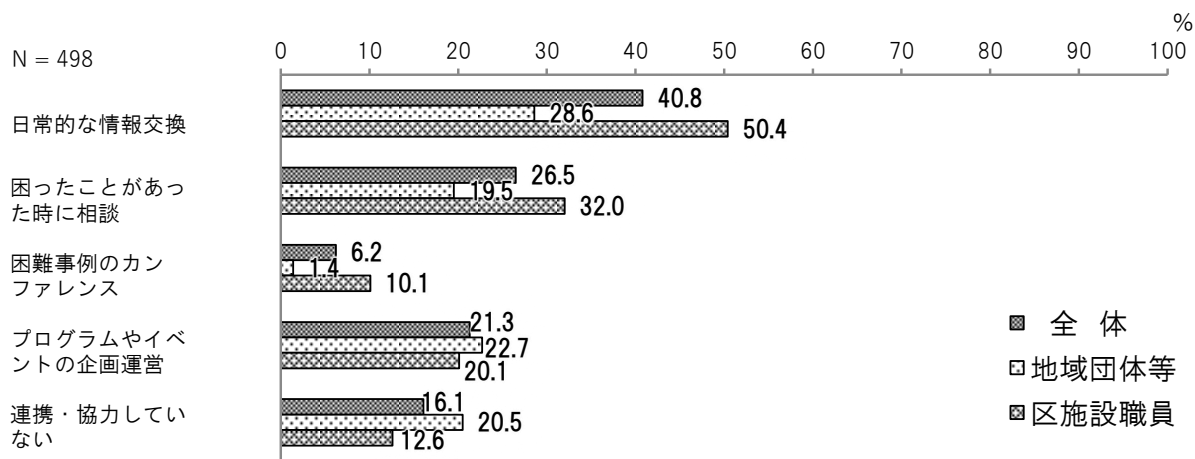
- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 49.5%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 34.1%でした。
- ・ 区施設職員は「日常的な情報交換」が最も多く 50.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 34.5%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-2 0) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：エ 子どもスキップ（学童クラブ）（複数回答）

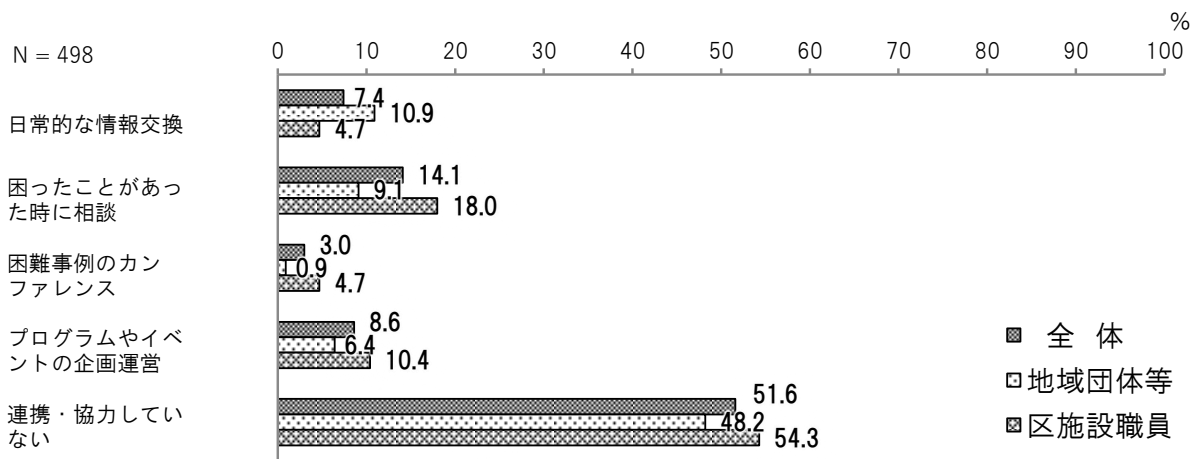
- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 28.6%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 22.7%でした。
- ・ 区施設職員は「日常的な情報交換」が最も多く 50.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 32.0%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-2 1) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：オ 中高生センタージャンプ（複数回答）

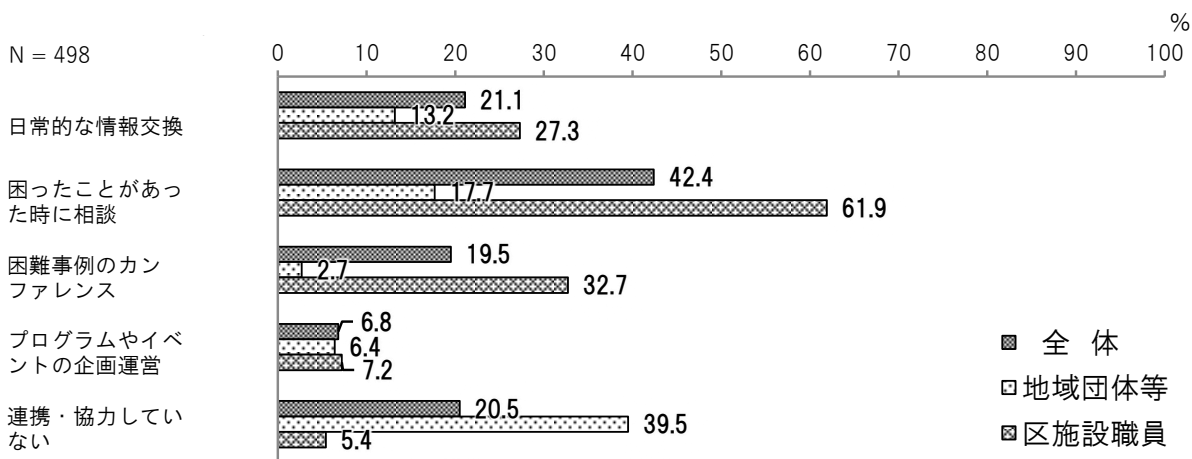
- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 48.2%、次いで「日常的な情報交換」が 10.9%でした。
- ・ 区施設職員は「連携・協力していない」が最も多く 54.3%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 18.0%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-2 2) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：カ 子ども家庭支援センター（複数回答）

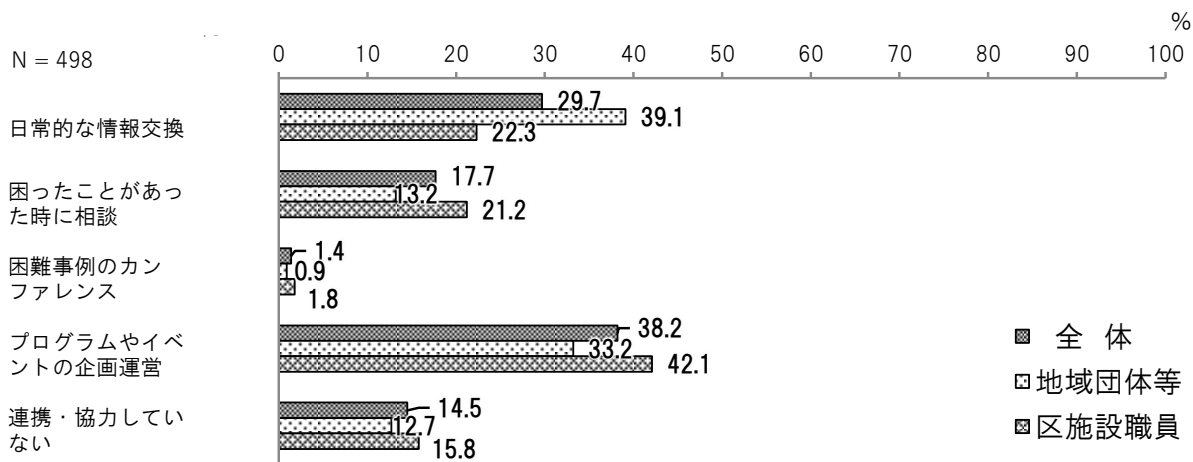
- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 39.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 17.7%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 61.9%、次いで「困難事例のカンファレンス」が 32.7%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-2 3) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：キ 区民ひろば （複数回答）

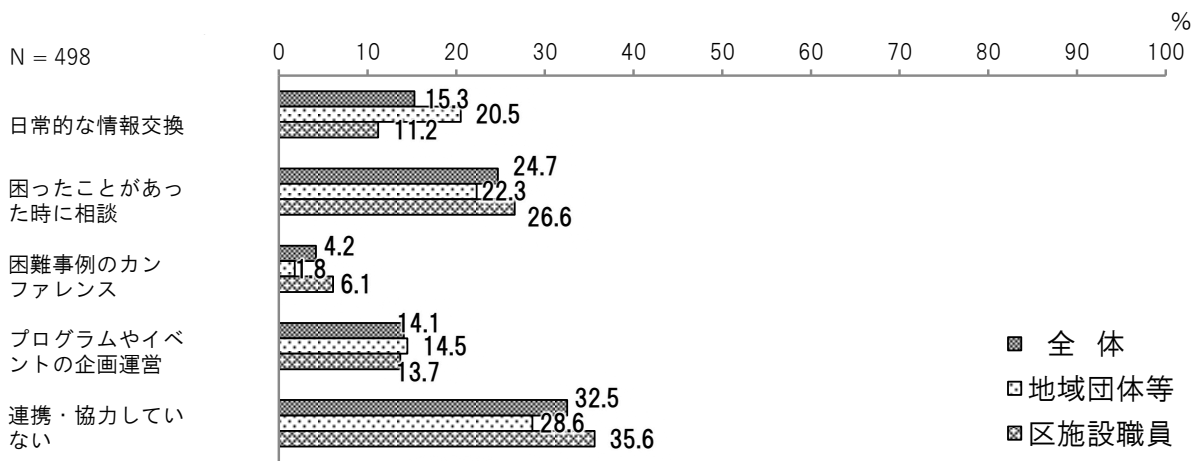
- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 39.1%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 33.2%でした。
- ・ 区施設職員は「プログラムやイベントの企画運営」が最も多く 42.1%、次いで「日常的な情報交換」が 22.3%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-2 4) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ク 区の子ども若者課 （複数回答）

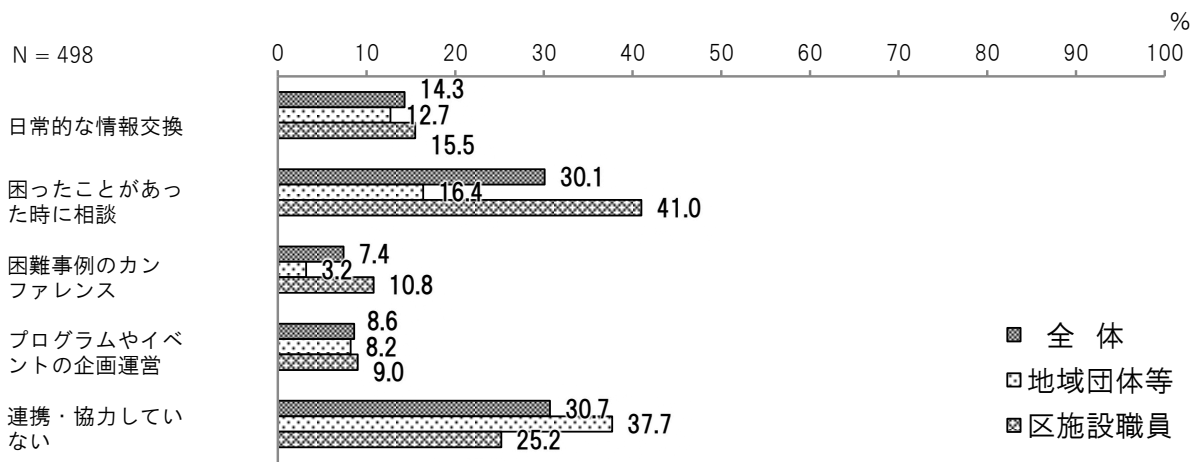
- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「連携・協力していない」が最も多く、地域団体等で 28.6%、区施設職員で 35.6%、次いで「困ったことがあった時に相談」が多く、地域団体等で 22.3%、区施設職員で 26.6%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-25) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ケ 区の子育て支援課（複数回答）

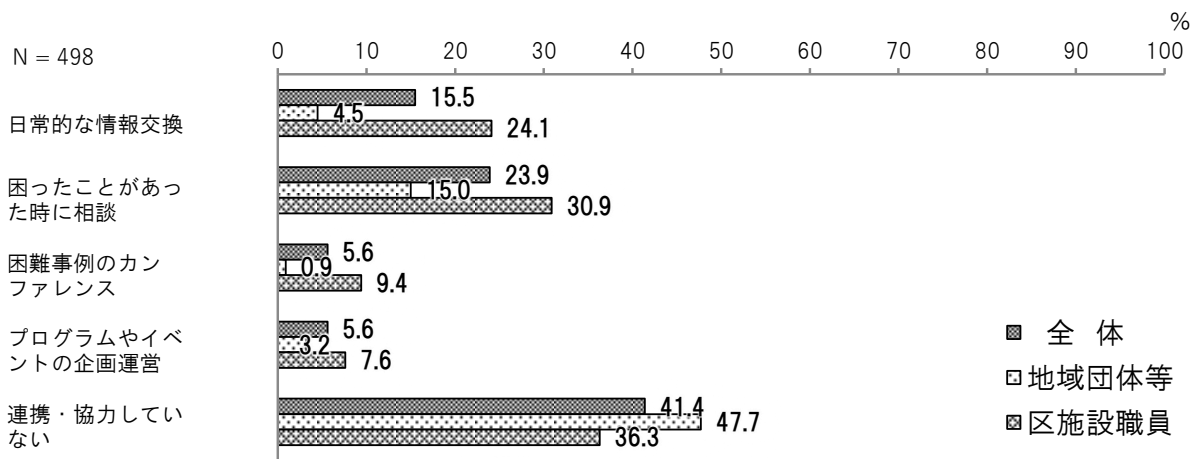
- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 37.7%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 16.4%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 41.0%、次いで「連携・協力していない」が 25.2%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-26) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：コ 区の保育課（複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 47.7%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 15.0%でした。
- ・ 区施設職員は「連携・協力していない」が最も多く 36.3%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 30.9%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-2 7) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：サ 教育センター （複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 46.8%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 15.5%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 53.6%、次いで「日常的な情報交換」が 21.6%でした。

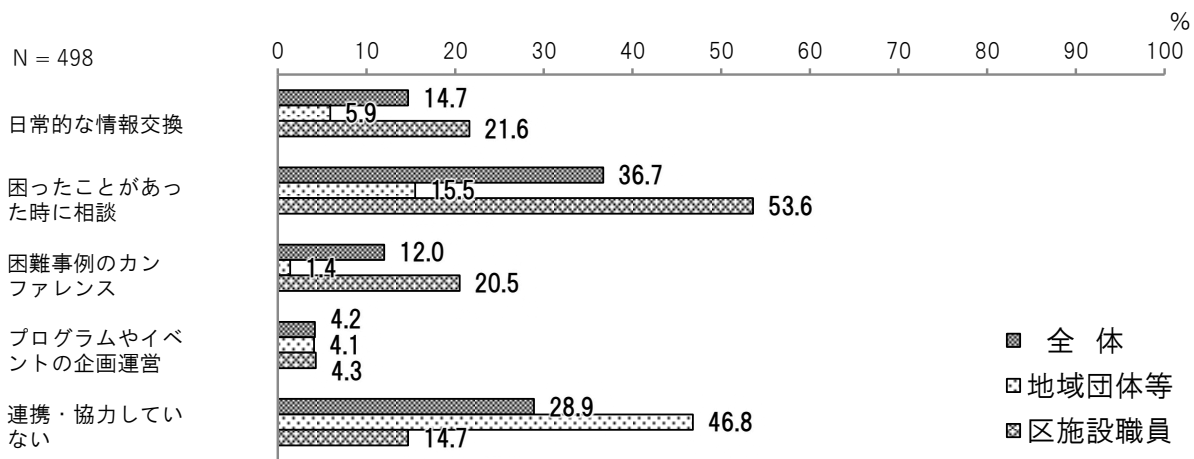


図 8,職 10)

■ 5-3-2 8) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：シ 池袋保健所、長崎健康相談所 （複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 40.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 20.5%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 44.6%、次いで「連携・協力していない」が 27.7%でした。

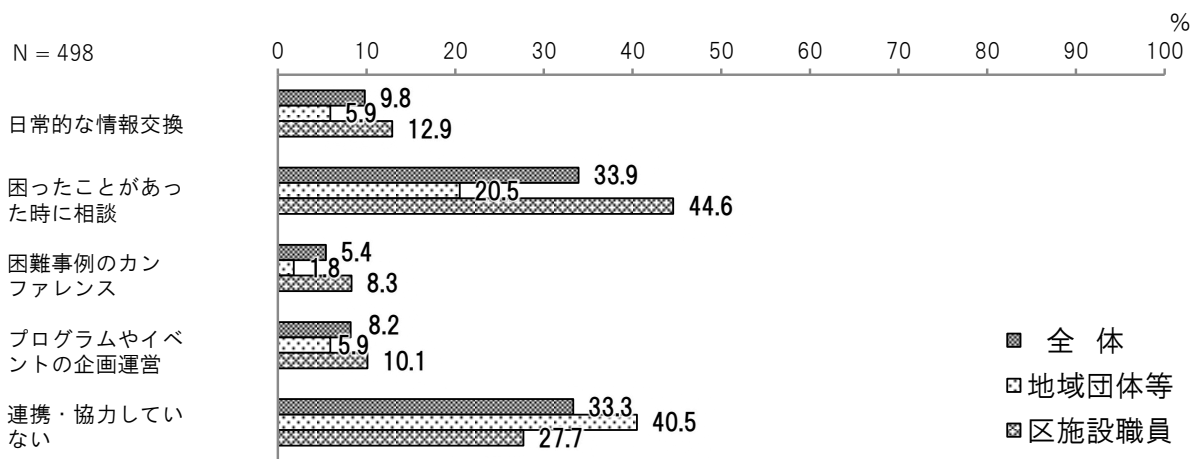
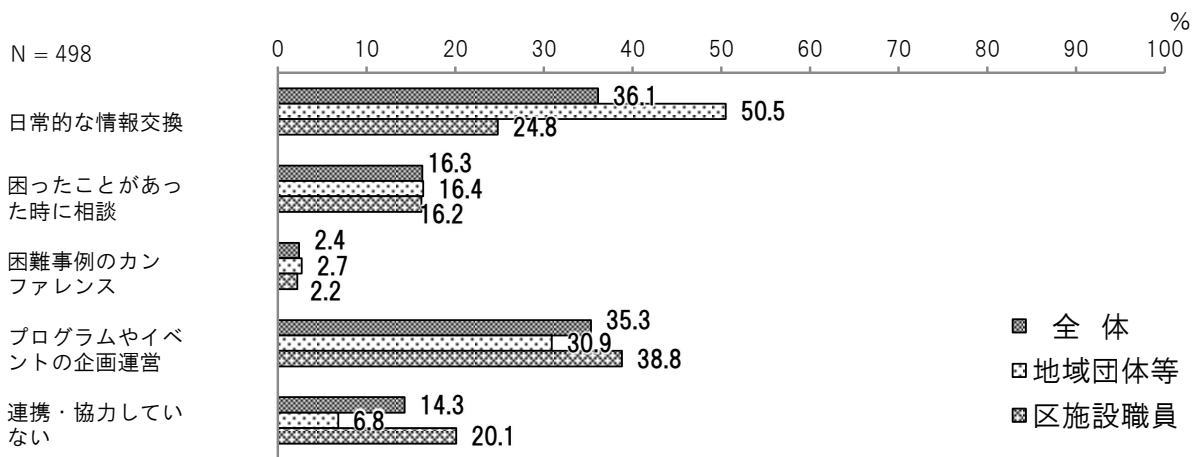


図 8,職 10)

■ 5-3-29) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ス 町会・自治会 （複数回答）

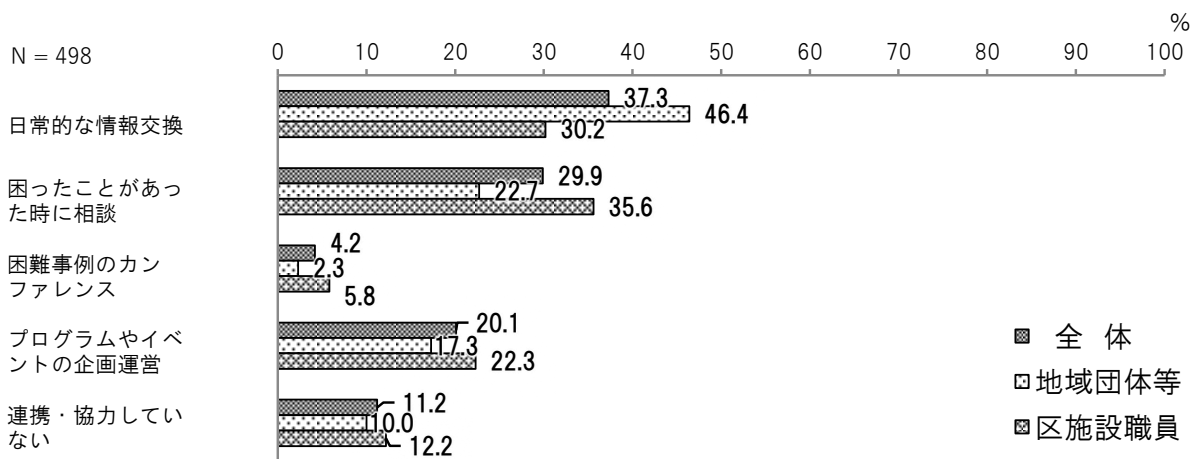
- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 50.5%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 30.9%でした。
- ・ 区施設職員は「プログラムやイベントの企画運営」が最も多く 38.8%、次いで「日常的な情報交換」が 24.8%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-30) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：セ 民生委員・児童委員 （複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 46.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 22.7%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 35.6%、次いで「日常的な情報交換」が 30.2%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-3 1) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ソ 青少年育成委員会（複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 40.9%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 30.0%でした。
- ・ 区施設職員は「連携・協力していない」が最も多く 32.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」と「プログラムやイベントの企画運営」が 22.3%でした。

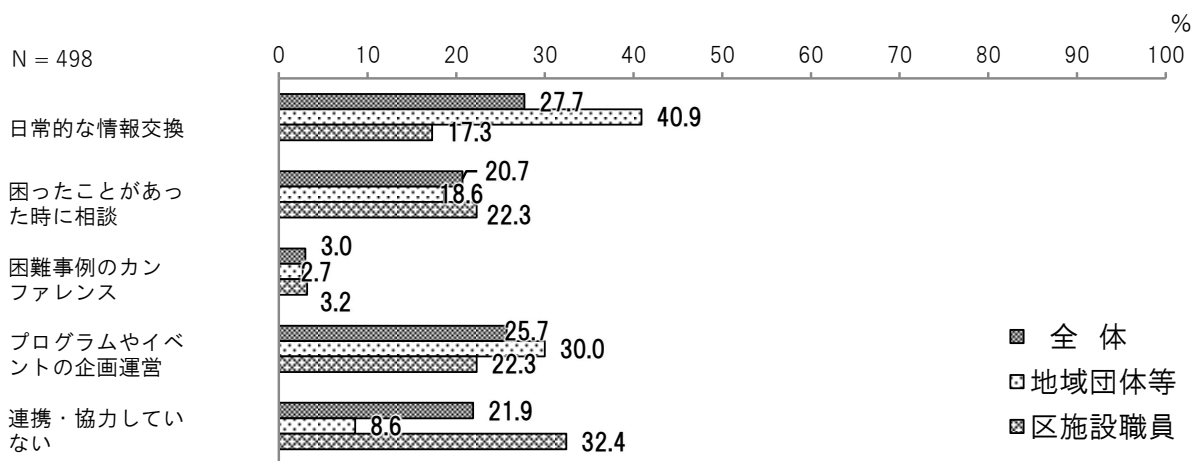


図 8.職 10)

■ 5-3-3 2) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：タ 社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー）（複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 34.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 22.3%でした。
- ・ 区施設職員は「連携・協力していない」が最も多く 34.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 34.2%でした。

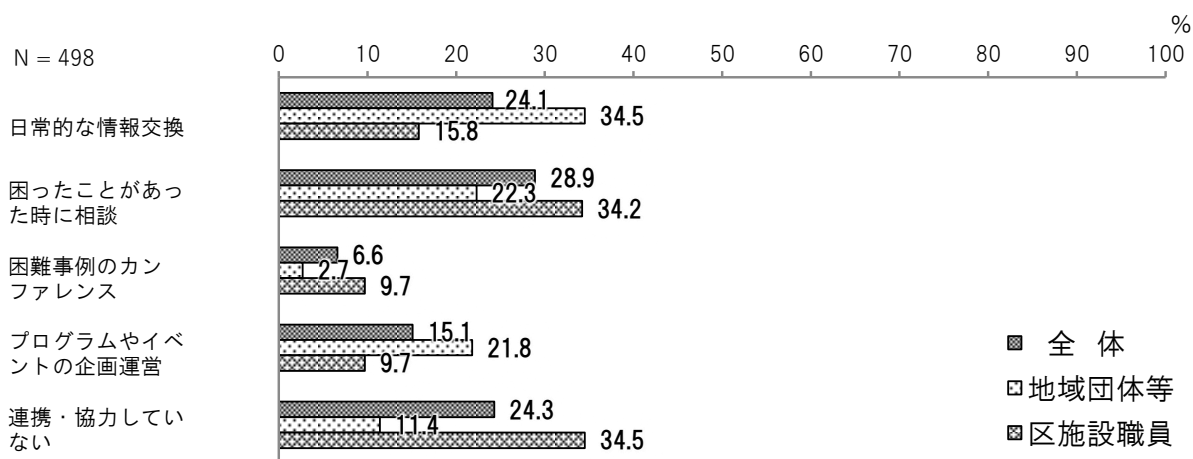
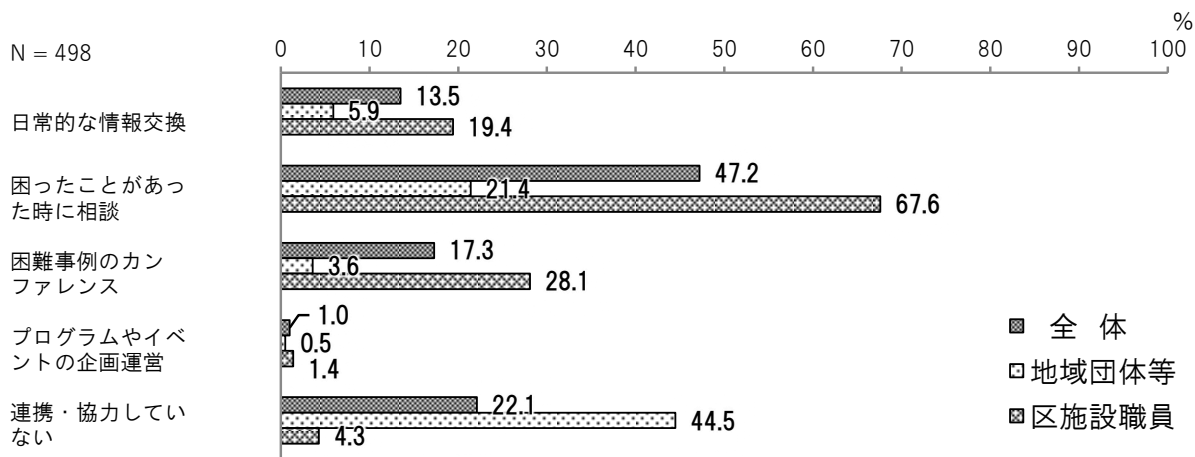


図 8.職 10)

■ 5-3-3 3) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：チ 児童相談所 （複数回答）

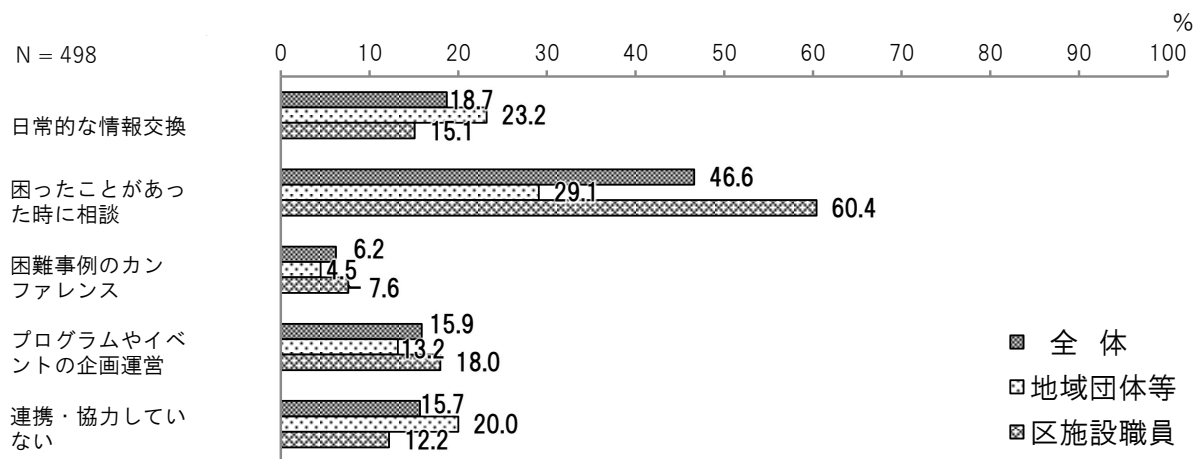
- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 44.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 21.4%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 67.6%、次いで「困難事例のカンファレンス」が 28.1%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-3 4) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ツ 警察署 （複数回答）

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「困ったことがあった時に相談」が最も多く、地域団体等で 29.1%、区施設職員で 60.4%でした。



団 8,職 10)

■ 5-3-3 5) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：テ その他 （複数回答）

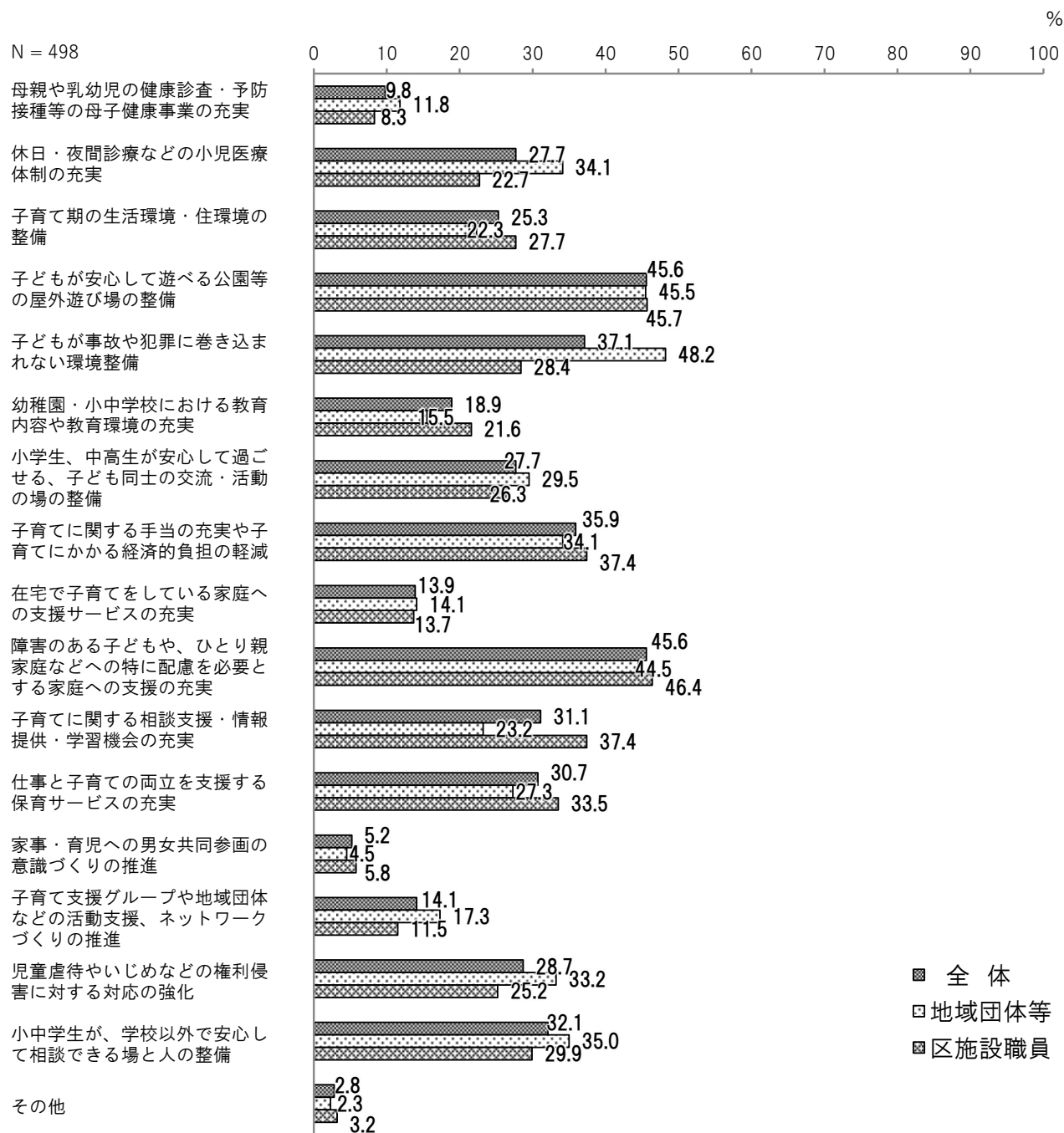
- ・ 地域団体等では、「連携・協力していない」が最も多く 14 件、次いで「困ったことがあった時に相談」が 4 件でした。
- ・ 区施設職員では、「連携・協力していない」が最も多く 9 件、次いで「困ったことがあった時に相談」が 3 件でした。

	調査数	あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：テ その他 （上段：実数、下段：％）					
		日常的な情報交換	困ったことがあった時に相談	困難事例のカンファレンス	プログラムやイベントの企画運営	連携・協力していない	無回答
地域団体等	220	1	4	-	2	14	199
	100.0	0.5	1.8	-	0.9	6.4	90.5
区施設職員	278	2	3	1	1	9	264
	100.0	0.7	1.1	0.4	0.4	3.2	95.0

団 8,職 10)

■ 5-3-36) 子育て支援に関して、どのような施策を充実させる必要があると思いますか。
(複数回答)

- ・ 地域団体等は「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」が最も多く 48.2%、次いで「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が 45.5%でした。
- ・ 区施設職員は「障害のある子どもや、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする家庭への支援の充実」が最も多く 46.4%、次いで「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が 45.7%でした。



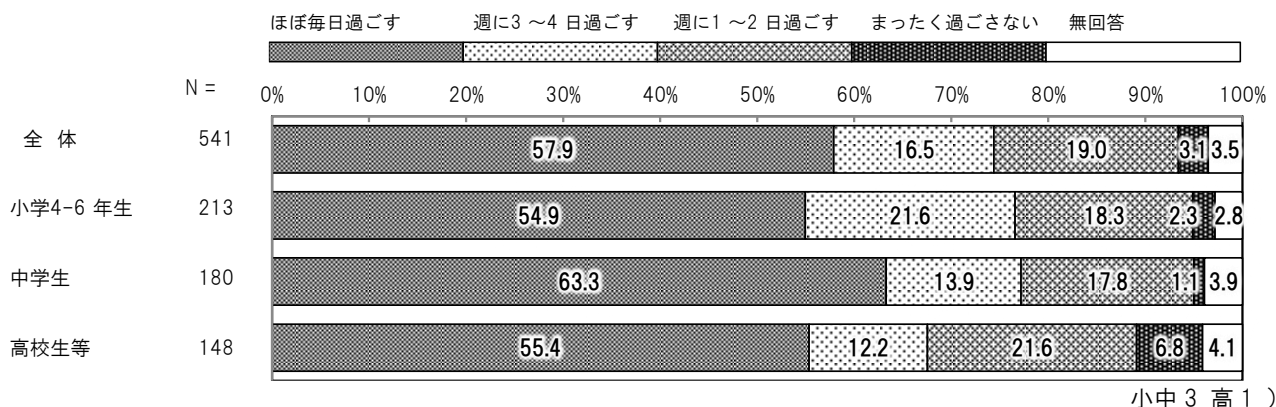
団 9,職 11)

6 子どもから把握した状況

6-1 ふだんの環境

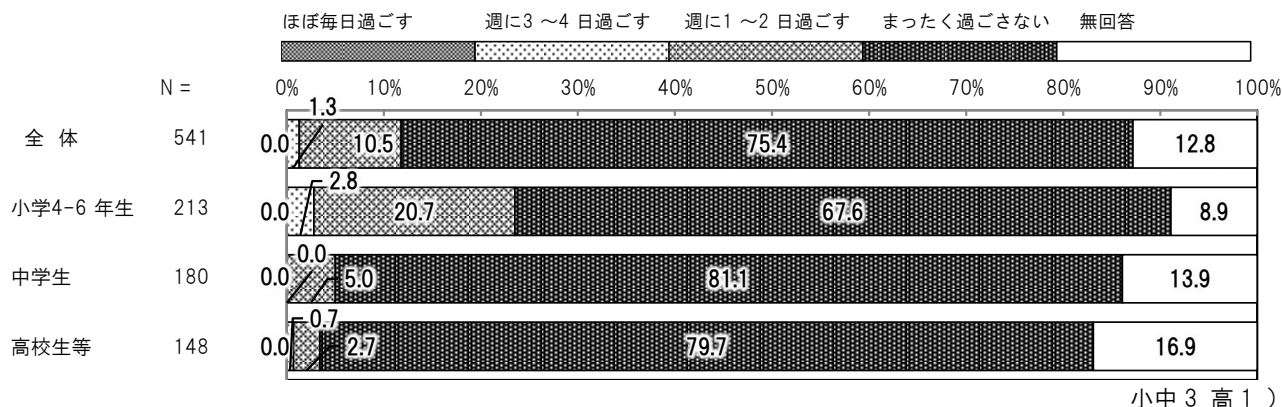
■6-1-1) 放課後過ごす場所：ア 自分の家 SA

- ・ 小学 4-6 年生は「ほぼ毎日過ごす」が最も多く 54.9%、次いで「週に 3 ～4 日過ごす」が 21.6%でした。
- ・ 中学生と高校生等は「ほぼ毎日過ごす」が最も多く、中学生で 63.3%、高校生等で 55.4%、次いで「週に 1 ～2 日過ごす」が多く、中学生で 17.8%、高校生等で 21.6%でした。



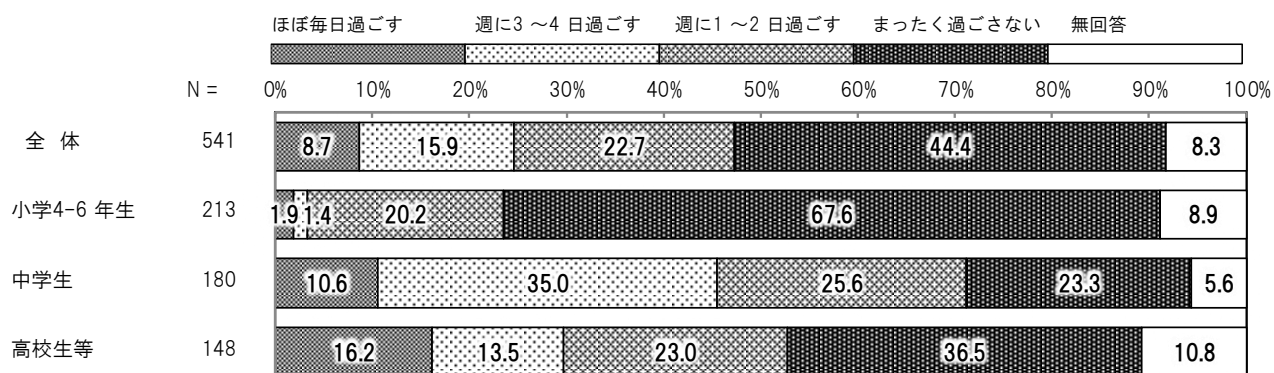
■6-1-2) 放課後過ごす場所：イ 友だちの家 SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「まったく過ごさない」が最も多く、小学 4-6 年生で 67.6%、中学生で 81.1%、高校生等で 79.7%、次いで「週に 1 ～2 日過ごす」が多く、小学 4-6 年生で 20.7%、中学生で 5.0%、高校生等で 2.7%でした。



■ 6-1-3) 放課後過ごす場所：ウ 学校のクラブ活動や部活動の場所 SA

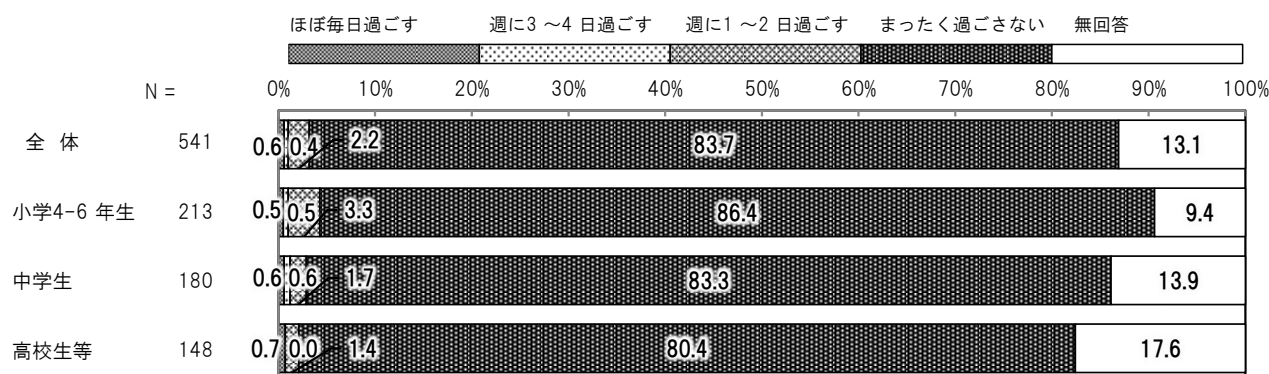
- ・ 中学生は「週に3～4日過ごす」が最も多く35.0%、次いで「週に1～2日過ごす」が25.6%でした。
- ・ 小学4-6年生と高校生等は「まったく過ごさない」が最も多く、小学4-6年生で67.6%、高校生等で36.5%、次いで「週に1～2日過ごす」が多く、小学4-6年生で20.2%、高校生等で23.0%でした。



小中3 高1)

■ 6-1-4) 放課後過ごす場所：エ 放課後子ども教室 SA

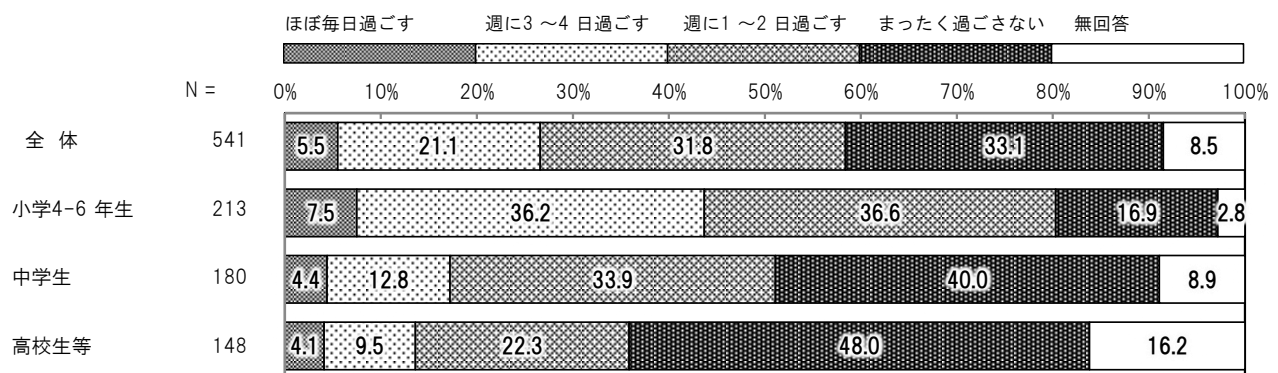
- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「まったく過ごさない」が最も多く、小学4-6年生で86.4%、中学生で83.3%、高校生等で80.4%、次いで「週に1～2日過ごす」が多く、小学4-6年生で3.3%、中学生で1.7%、高校生等で1.4%でした。



小中3 高1)

■ 6-1-5) 放課後過ごす場所：オ 塾や習い事場所 SA

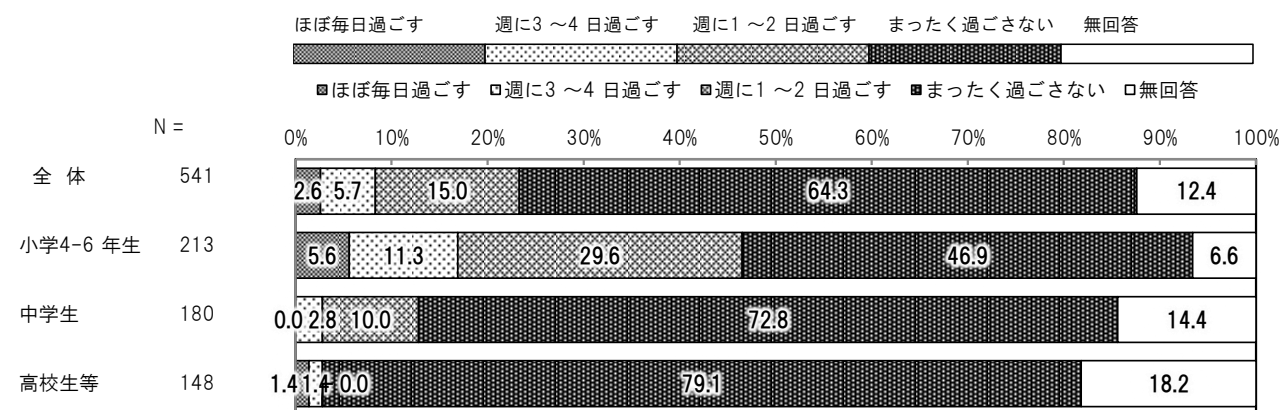
- ・ 小学4-6年生は「週に1～2日過ごす」が最も多く36.6%、次いで「週に3～4日過ごす」が36.2%でした。
- ・ 中学生と高校生等は「まったく過ごさない」が最も多く、中学生で40.0%、高校生等で48.0%、次いで「週に1～2日過ごす」が多く、中学生で33.9%、高校生等で22.3%でした。



小中3 高1)

■ 6-1-6) 放課後過ごす場所：カ 近所の公園やグラウンド SA

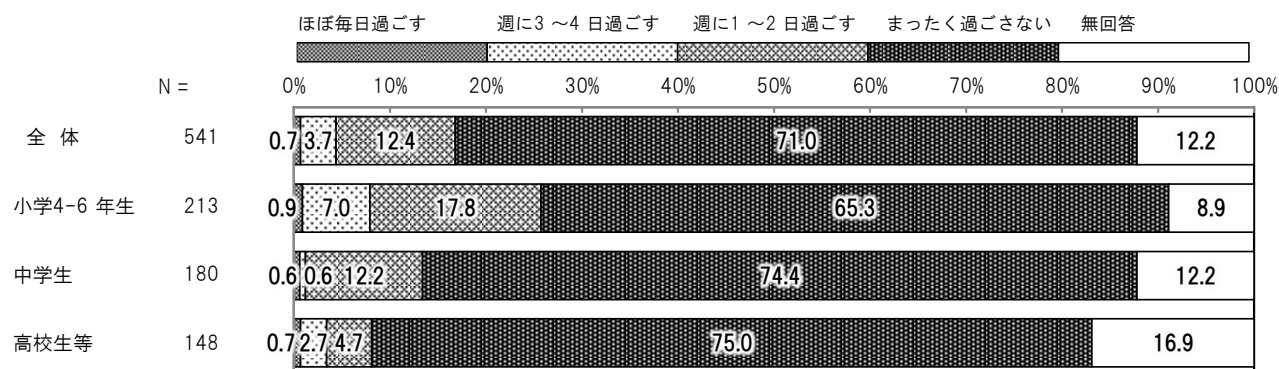
- ・ 小学4-6年生と中学生は「まったく過ごさない」が最も多く、小学4-6年生で46.9%、中学生で72.8%、次いで「週に1～2日過ごす」が多く、小学4-6年生で29.6%、中学生で10.0%でした。
- ・ 高校生等は「まったく過ごさない」が最も多く79.1%、次いで「週に3～4日過ごす」と「ほぼ毎日過ごす」が1.4%でした。



小中3 高1)

■ 6-1-7) 放課後過ごす場所：キ 区の図書館や区民ひろば SA

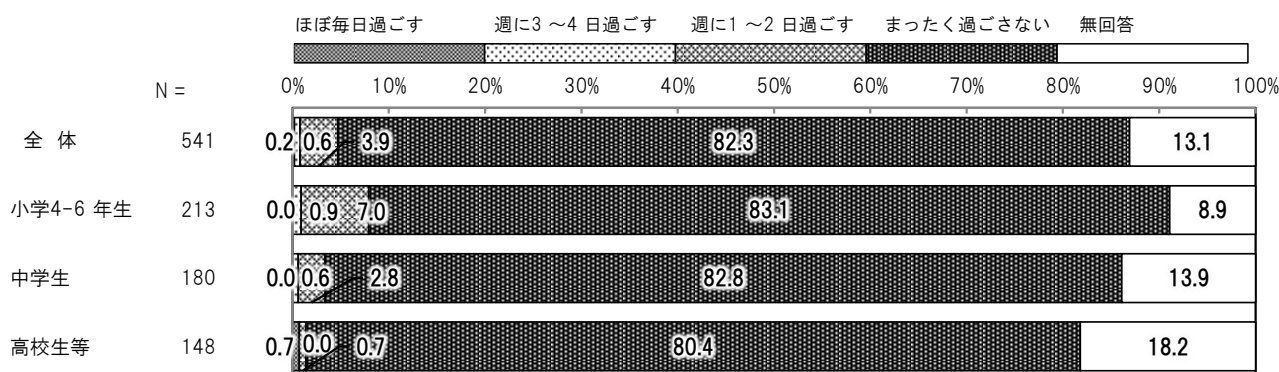
- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「まったく過ごさない」が最も多く、小学4-6年生で65.3%、中学生で74.4%、高校生等で75.0%、次いで「週に1～2日過ごす」が多く、小学4-6年生で17.8%、中学生で12.2%、高校生等で4.7%でした。



小中3 高1)

■ 6-1-8) 放課後過ごす場所：ク 子どもスキップまたは中高生センタージャンプ SA

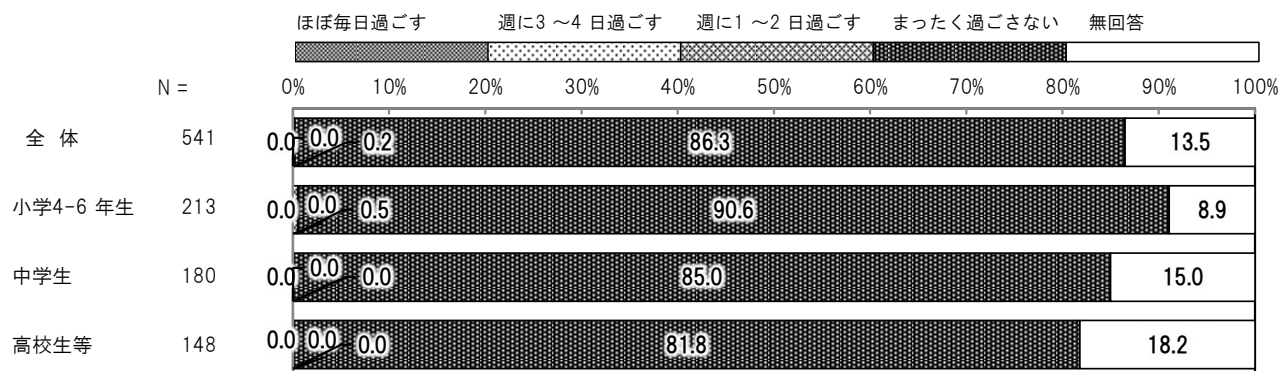
- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「まったく過ごさない」が最も多く、小学4-6年生で83.1%、中学生で82.8%、高校生等で80.4%、次いで「週に1～2日過ごす」が多く、小学4-6年生で7.0%、中学生で2.8%、高校生等で0.7%でした。



小中3 高1)

■ 6-1-9) 放課後過ごす場所：ケ 子ども食堂 SA

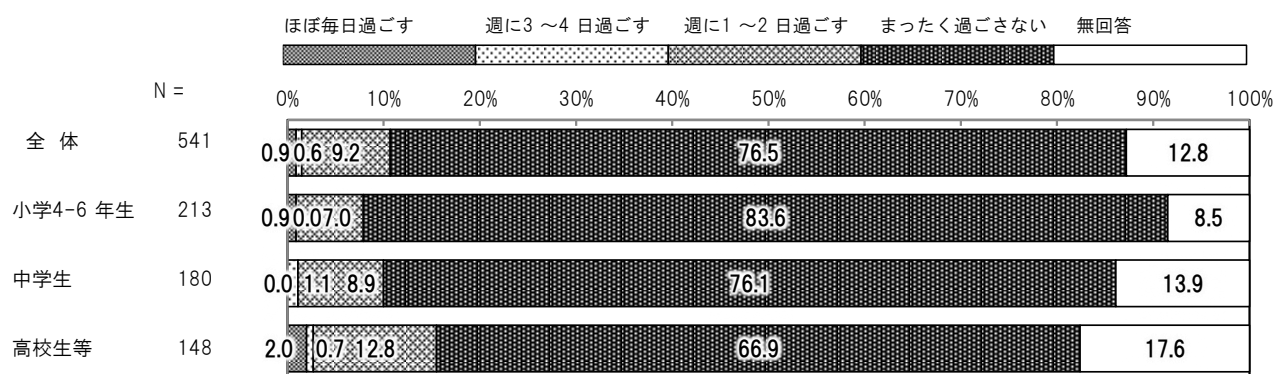
- ・ 小学4-6年生は、「週に1～2日過ごす」が0.5%でした。
- ・ 中学生、高校生等は、いずれも過ごしていませんでした。



小中3 高1)

■6-1-1 0) 放課後過ごす場所：コ ファミレスやゲームセンターなどのお店 SA

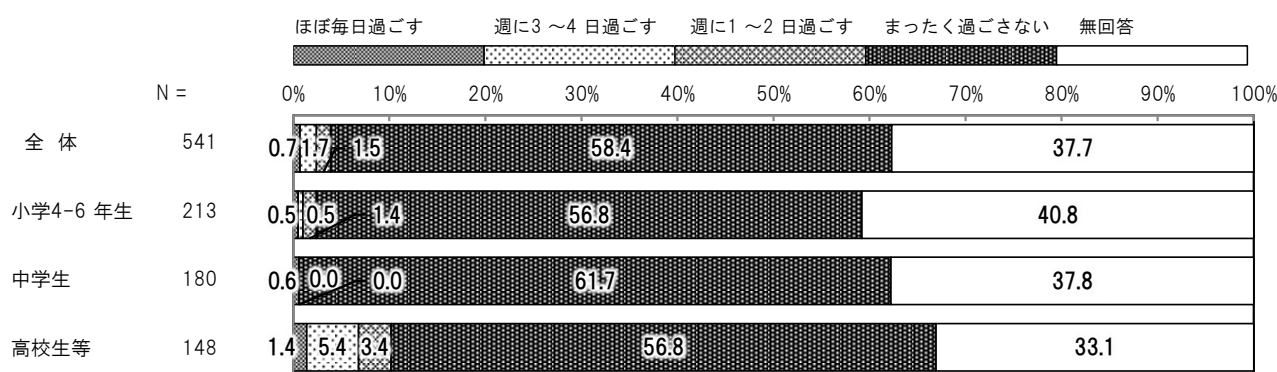
- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「まったく過ごさない」が最も多く、小学4-6年生で83.6%、中学生で76.1%、高校生等で66.9%、次いで「週に1～2日過ごす」が多く、小学4-6年生で7.0%、中学生で8.9%、高校生等で12.8%でした。



小中3 高1)

■6-1-1 1) 放課後過ごす場所：サ その他 SA

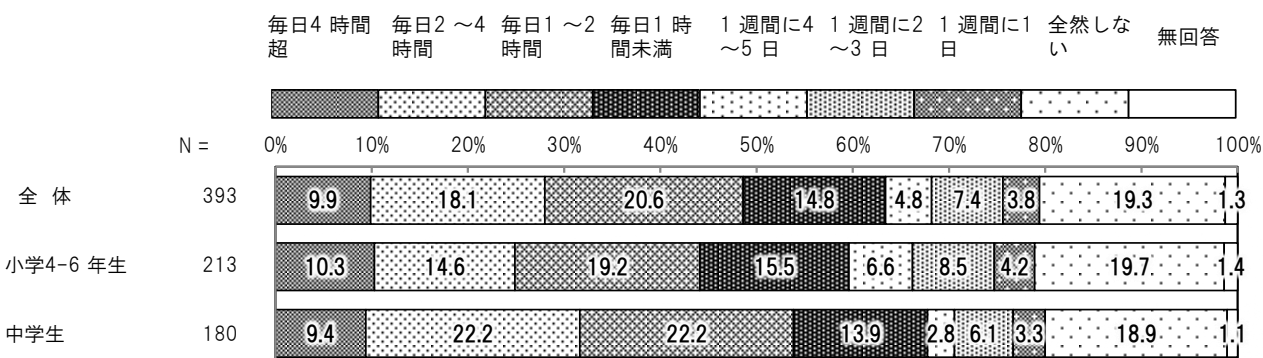
- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「まったく過ごさない」が最も多く、小学4-6年生で56.8%、中学生で61.7%、高校生等で56.8%でした。
- ・ 次いで高校生等は「週に3～4日過ごす」が5.4%でした。



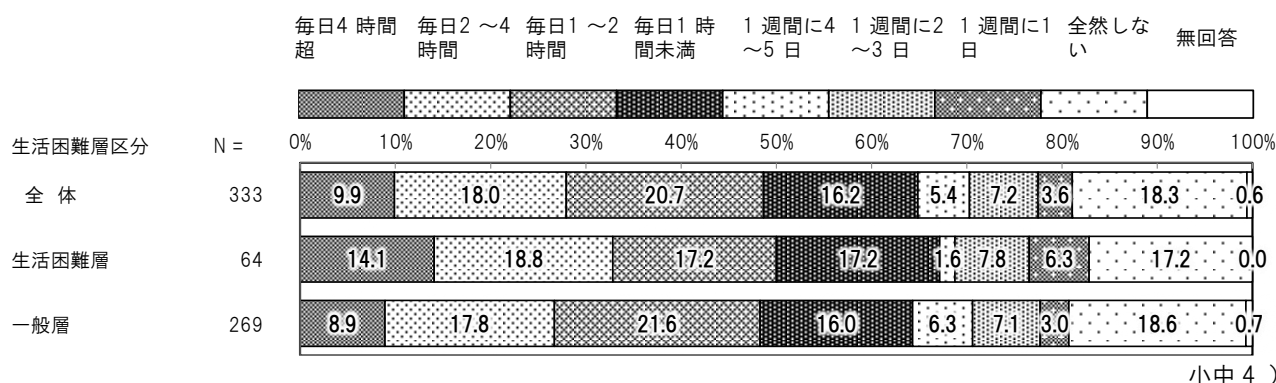
小中3 高1)

■6-1-1 2) ふだんする活動：ア ゲーム（ゲーム機、ウェブ等）をする SA

- ・ 小学4-6年生は「全然しない」が最も多く19.7%、次いで「毎日1～2時間」が19.2%でした。
- ・ 中学生は「毎日1～2時間」と「毎日2～4時間」が最も多く22.2%でした。



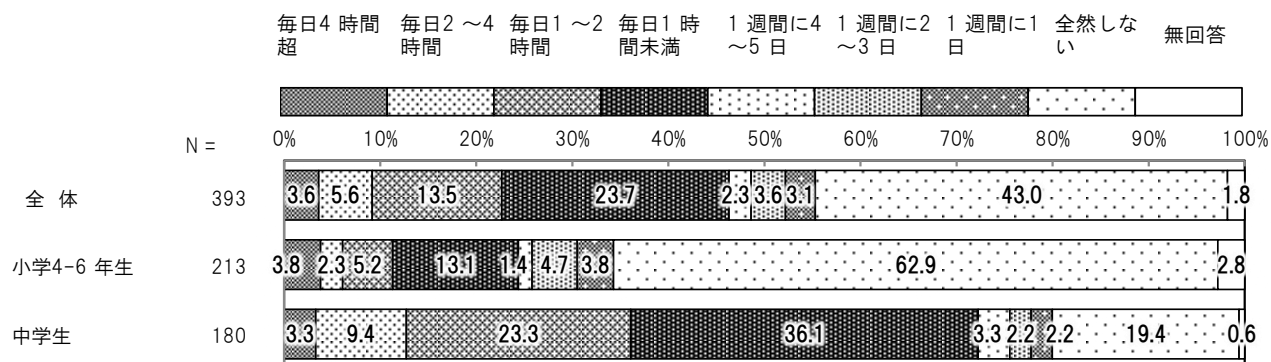
- ・生活困難層は「毎日2～4時間」が最も多く18.8%、「毎日4時間超」は、一般層より多く、14.1%でした。
- ・一般層は「毎日1～2時間」が最も多く21.6%、次いで「全然しない」が18.6%でした。



小中4)

■6-1-1 3) ふだんする活動：イ SNS (LINE など) を見たり書き込んだりする SA

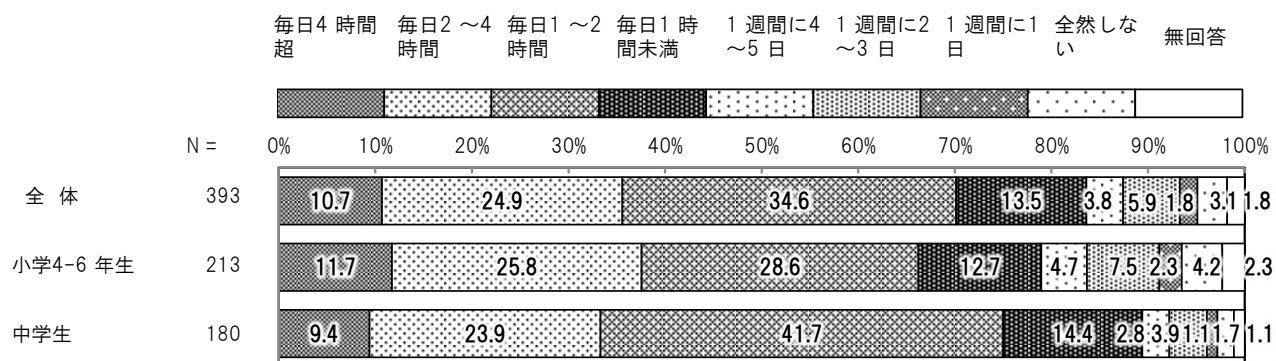
- ・小学4-6年生は「全然しない」が最も多く62.9%、次いで「毎日1時間未満」が13.1%でした。
- ・中学生は「毎日1時間未満」が最も多く36.1%、次いで「毎日1～2時間」が23.3%でした。



小中4)

■6-1-1 4) ふだんする活動：ウ テレビやインターネット (YouTube など) をみる SA

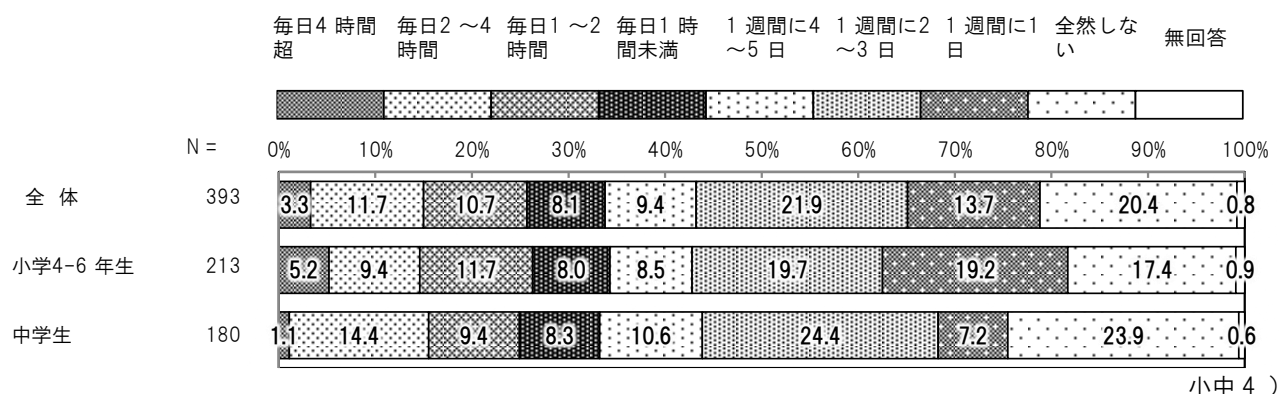
- ・小学4-6年生と中学生はどちらも「毎日1～2時間」が最も多く、小学4-6年生で28.6%、中学生で41.7%、次いで「毎日2～4時間」が多く、小学4-6年生で25.8%、中学生で23.9%でした。



小中4)

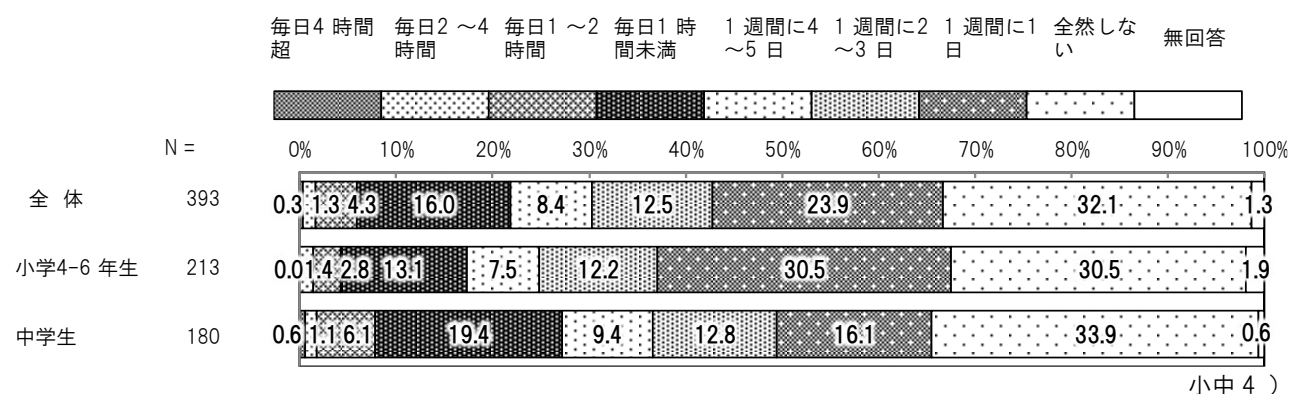
■6-1-1 5) ふだんする活動：エ 屋外での運動 SA

- ・ 小学4-6年生は「1週間に2～3日」が最も多く19.7%、次いで「1週間に1日」が19.2%でした。
- ・ 中学生は「1週間に2～3日」が最も多く24.4%、次いで「全然しない」が23.9%でした。



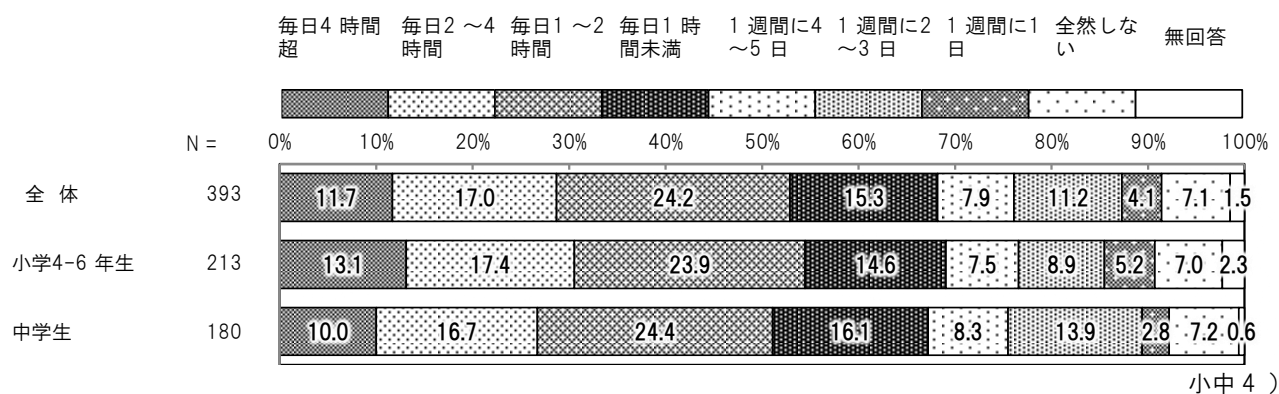
■6-1-1 6) ふだんする活動：オ 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど） SA

- ・ 小学4-6年生は「1週間に1日」と「全然しない」が最も多く30.5%でした。
- ・ 中学生は「全然しない」が最も多く33.9%、次いで「毎日1時間未満」が19.4%でした。



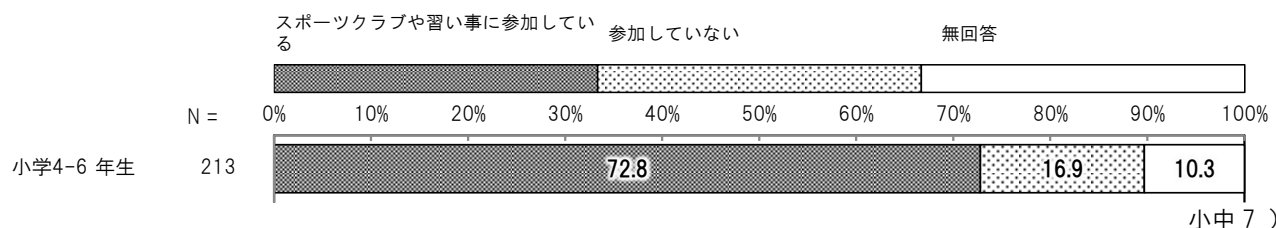
■6-1-1 7) ふだんする活動：カ 学校や塾などの勉強 SA

- ・ 小学4-6年生と中学生はどちらも「毎日1～2時間」が最も多く小学4-6年生で23.9%、中学生で24.4%、次いで「毎日2～4時間」が多く、小学4-6年生で17.4%、中学生で16.7%でした。

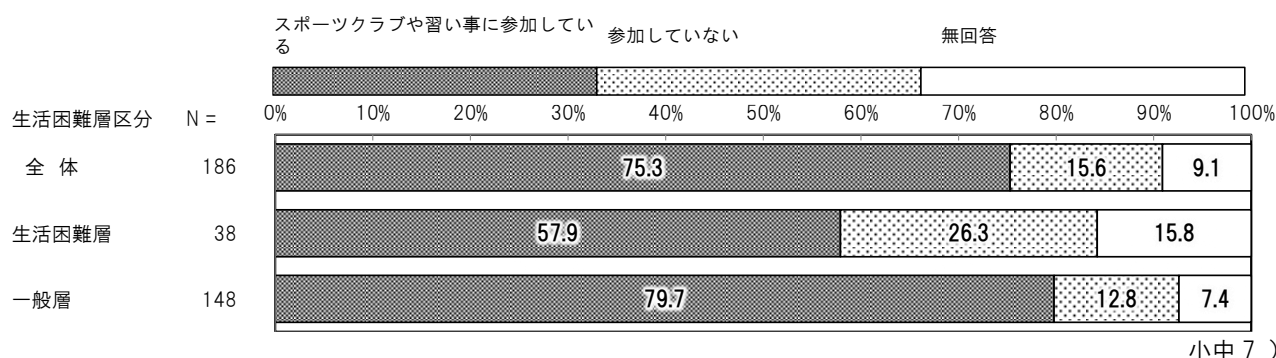


■6-1-1 8) あなたはスポーツクラブや習い事などに参加していますか。：小学生 SA

- ・ 小学4-6年生は「スポーツクラブや習い事に参加している」が72.8%で、「参加していない」が16.9%でした。

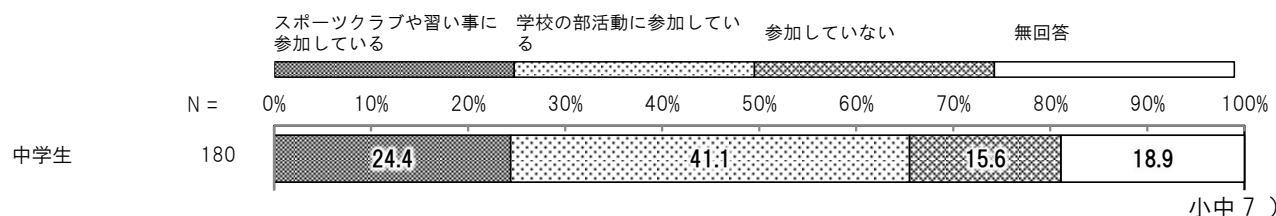


- ・ 生活困難層と一般層はどちらも「スポーツクラブや習い事に参加している」が多く、生活困難層で57.9%、一般層で79.7%でした。

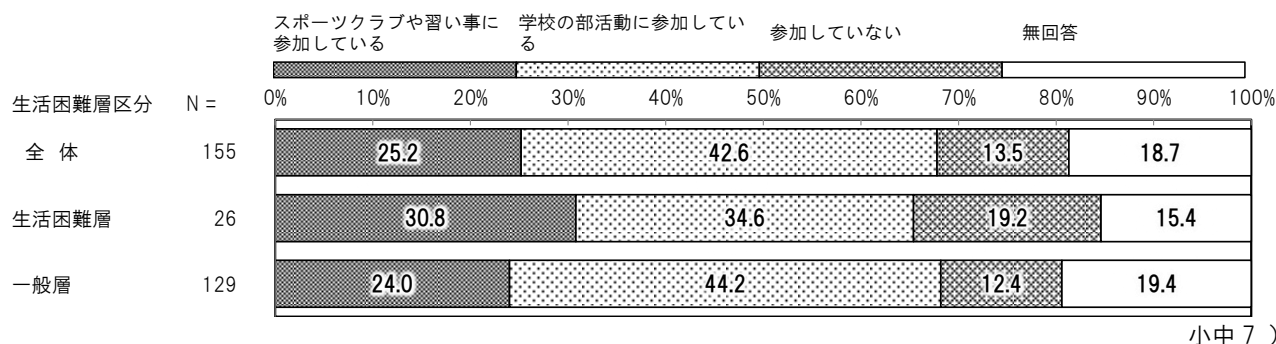


■6-1-1 9) あなたはスポーツクラブや習い事などに参加していますか。：中学生 SA

- ・ 中学生は「学校の部活動に参加している」が最も多く41.1%、次いで「スポーツクラブや習い事に参加している」が24.4%でした。

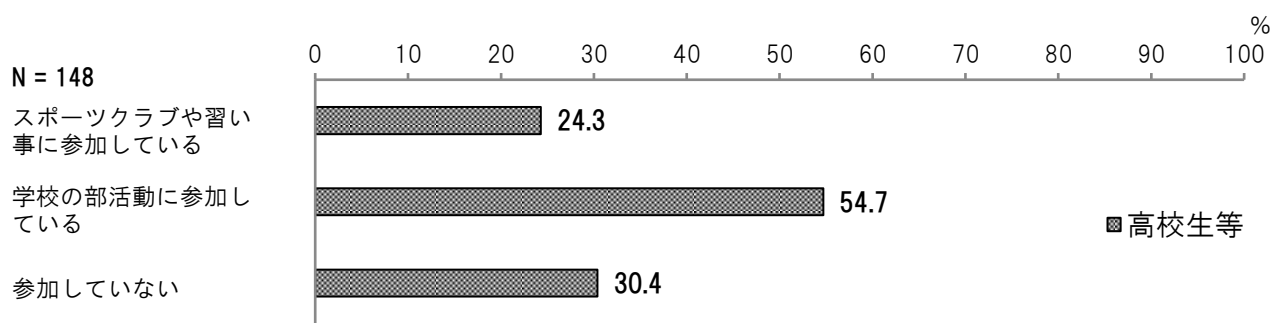


- ・ 生活困難層と一般層はどちらも「学校の部活動に参加している」が最も多く、生活困難層で34.6%、一般層で44.2%、次いで、「スポーツクラブや習い事に参加している」が多く、生活困難層で30.8%、一般層で24.0%でした。



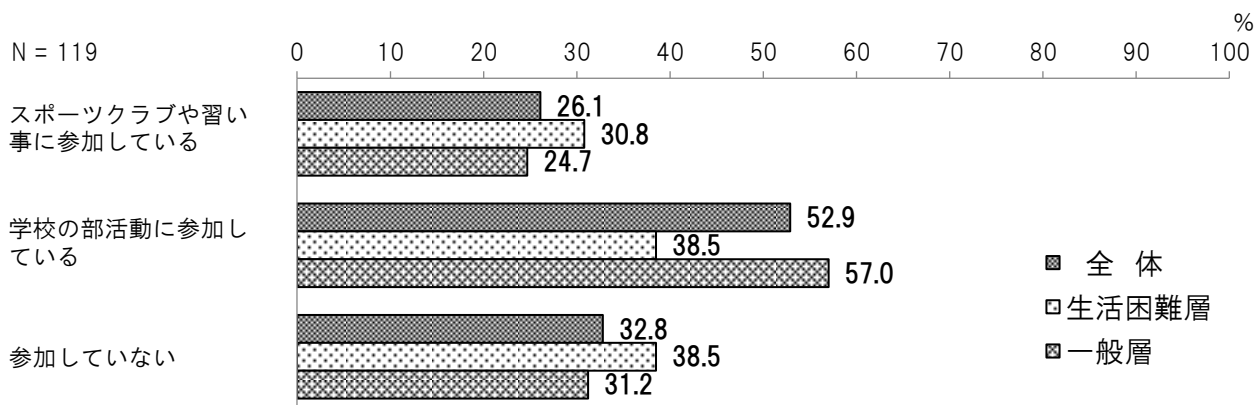
■ 6-1-20) あなたはスポーツクラブや習い事などに参加していますか。：高校生等（複数回答）

- ・ 高校生等は「学校の部活動に参加している」が最も多く 54.7%、次いで「参加していない」が 30.4%でした。



高 4)

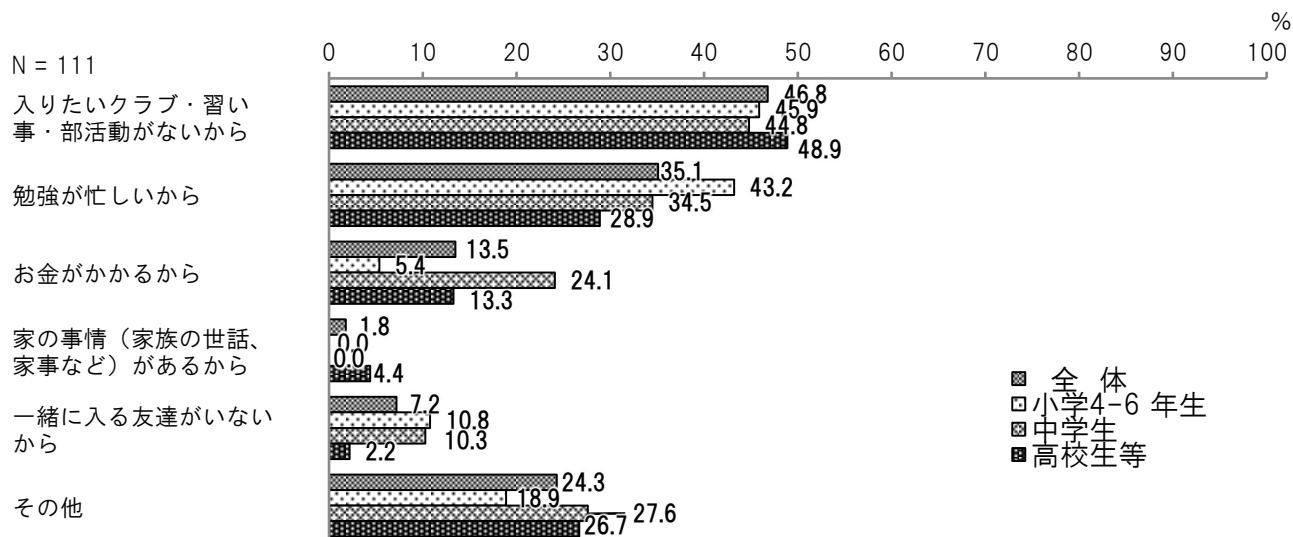
- ・ 生活困難層は「学校の部活動に参加している」と「参加していない」が最も多く 38.5%でした。
- ・ 一般層は「学校の部活動に参加している」が最も多く 57.0%でした。



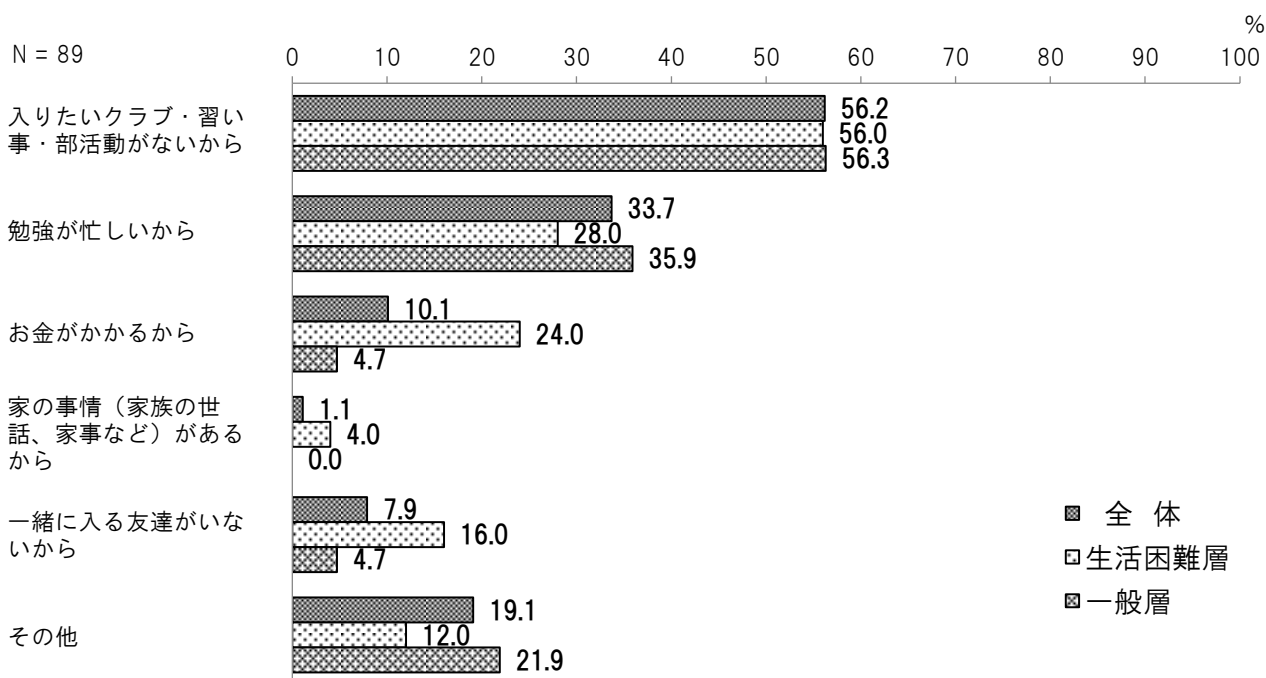
高 4)

■ 6-1-2 1) 参加していない理由はなんですか。 (複数回答)

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「入りたいクラブ・習い事・部活動がないから」が最も多く、小学 4-6 年生で 45.9%、中学生で 44.8%、高校生等で 48.9%、次いで「勉強が忙しいから」が多く、小学 4-6 年生で 43.2%、中学生で 34.5%、高校生等で 28.9%でした。



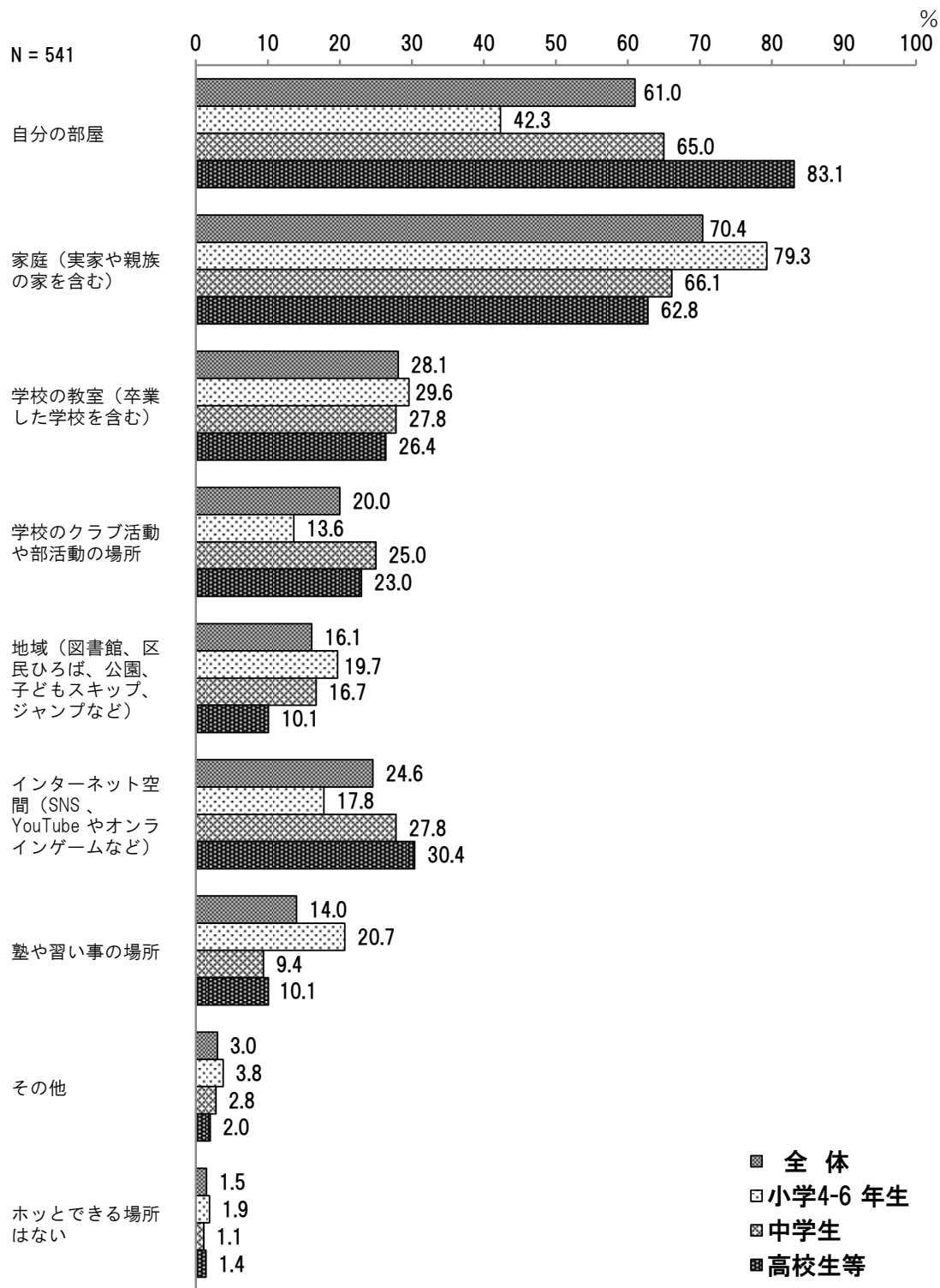
- ・ 生活困難層と一般層はどちらも「入りたいクラブ・習い事・部活動がないから」が最も多く、生活困難層で 56.0%、一般層で 56.3%、次いで「勉強が忙しいから」が多く、生活困難層で 28.0%、一般層で 35.9%でした。



6-2 過ごす環境の評価

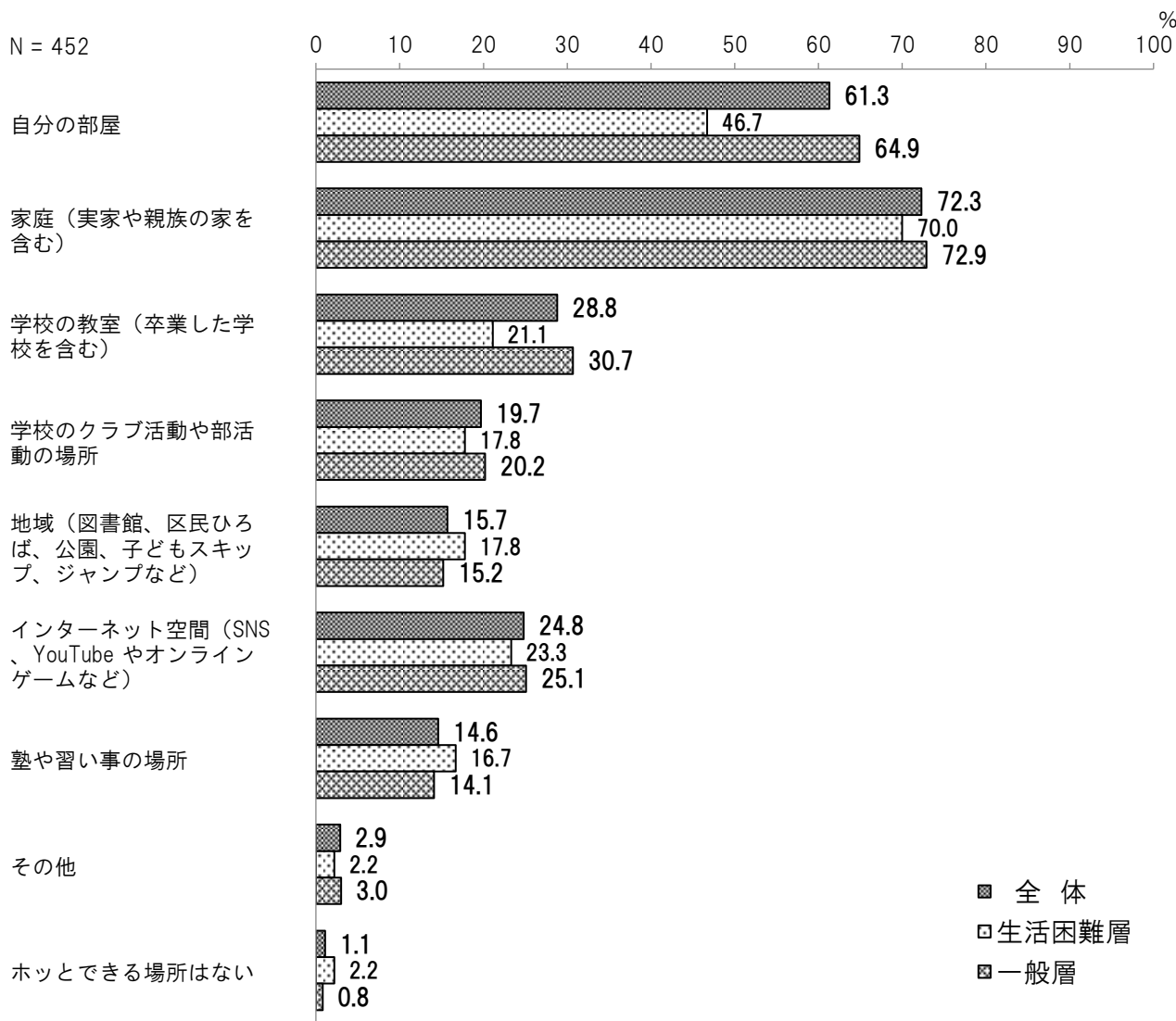
■ 6-2-1) あなたにとってホッとできる場所はどこですか (複数回答)

- ・ 小学 4-6 年生と中学生は「家庭（実家や親族の家を含む）」が最も多く、小学 4-6 年生で 79.3%、中学生で 66.1%、次いで「自分の部屋」が多く、小学 4-6 年生で 42.3%、中学生で 65.0%でした。
- ・ 高校生等は「自分の部屋」が最も多く 83.1%、次いで「家庭（実家や親族の家を含む）」が 62.8%でした。



小中 1 高 2)

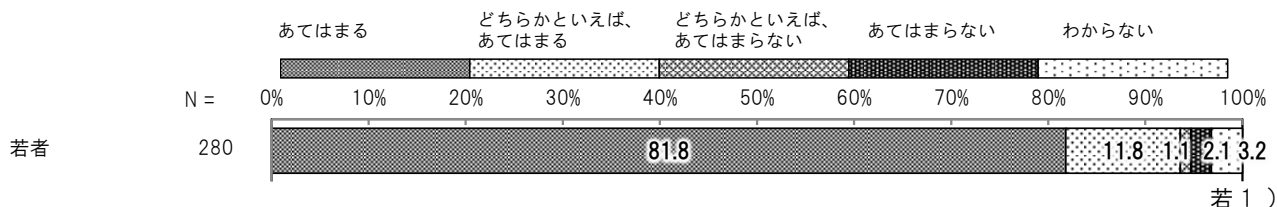
- ・生活困難層と一般層はどちらも「家庭（実家や親族の家を含む）」が最も多く、生活困難層で70.0%、一般層で72.9%、次いで「自分の部屋」が多く、生活困難層で46.7%、一般層で64.9%でした。



小中1 高2)

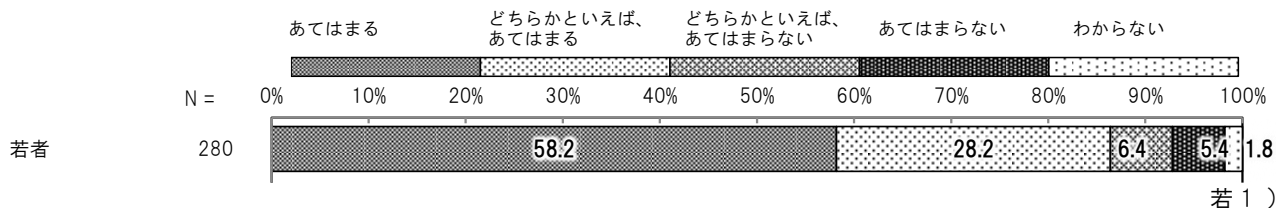
■ 6-2-2) 次の場所は、今のあなたにとって居場所になっていますか。：ア 自分の部屋 SA

- ・若者は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、93.6%でした。



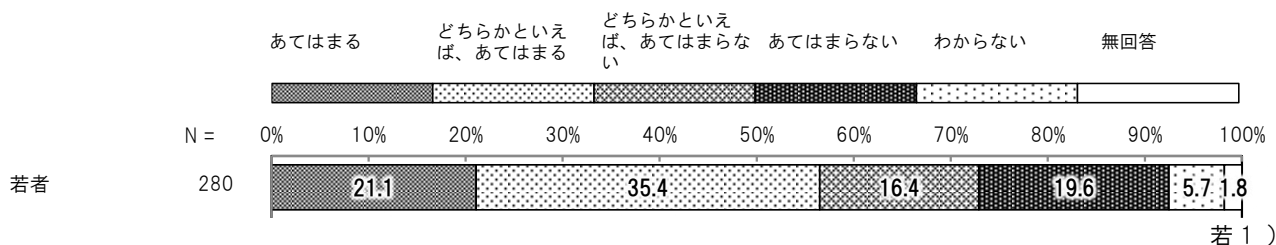
■ 6-2-3) 次の場所は、今のあなたにとって居場所になっていますか。：イ 家庭（実家や親族の家を含む） SA

- ・ 若者は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、86.4%でした。



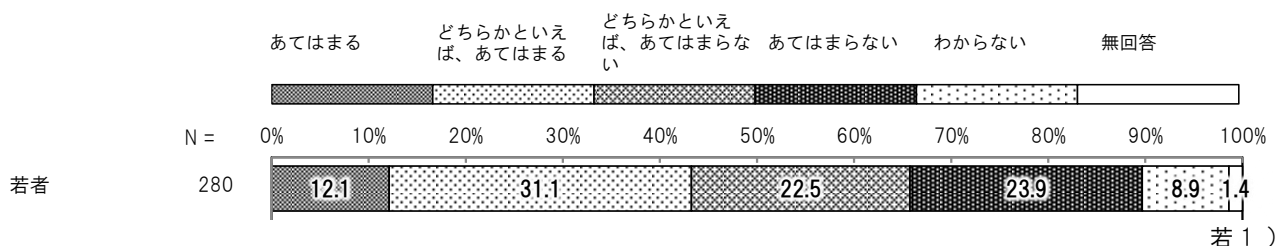
■ 6-2-4) 次の場所は、今のあなたにとって居場所になっていますか。：ウ 学校（卒業した学校を含む） SA

- ・ 若者は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、56.5%でした。



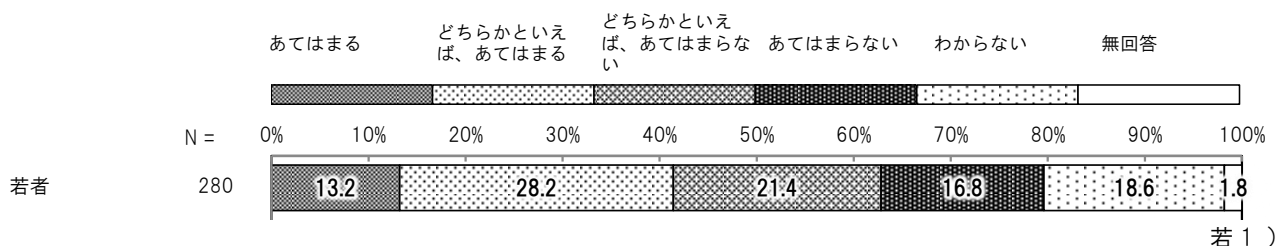
■ 6-2-5) 次の場所は、今のあなたにとって居場所になっていますか。：エ 職場（過去の職場を含む） SA

- ・ 若者は「あてはまらない」「どちらかといえば、あてはまらない」の合計が「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計より多く、46.4%でした。



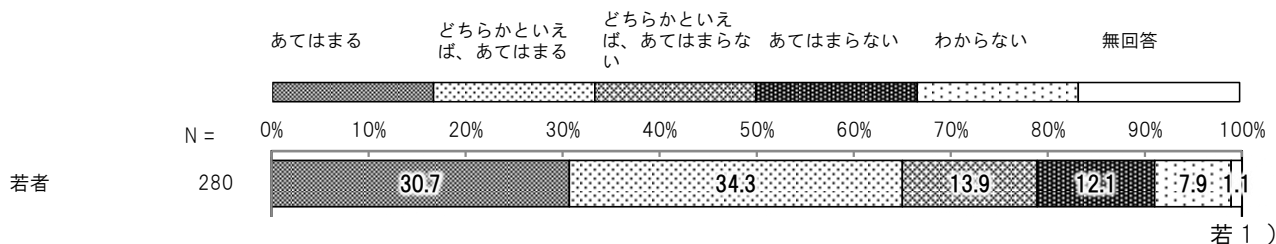
■ 6-2-6) 次の場所は、今のあなたにとって居場所になっていますか。：オ 地域（図書館、区民ひろば、公園など） SA

- ・ 若者は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、41.4%でした。



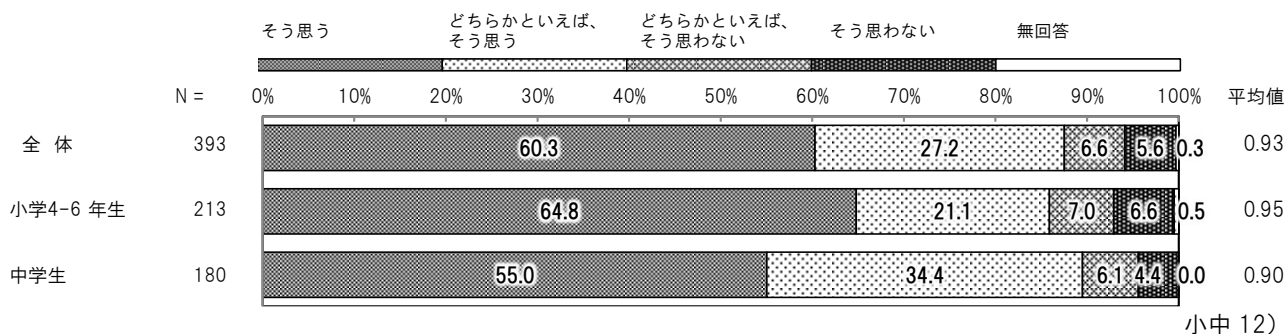
■ 6-2-7) 次の場所は、今のあなたにとって居場所になっていますか。：カ インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど） SA

- ・ 若者は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「あてはまらない」「どちらかといえば、あてはまらない」の合計より多く、65.0%でした。

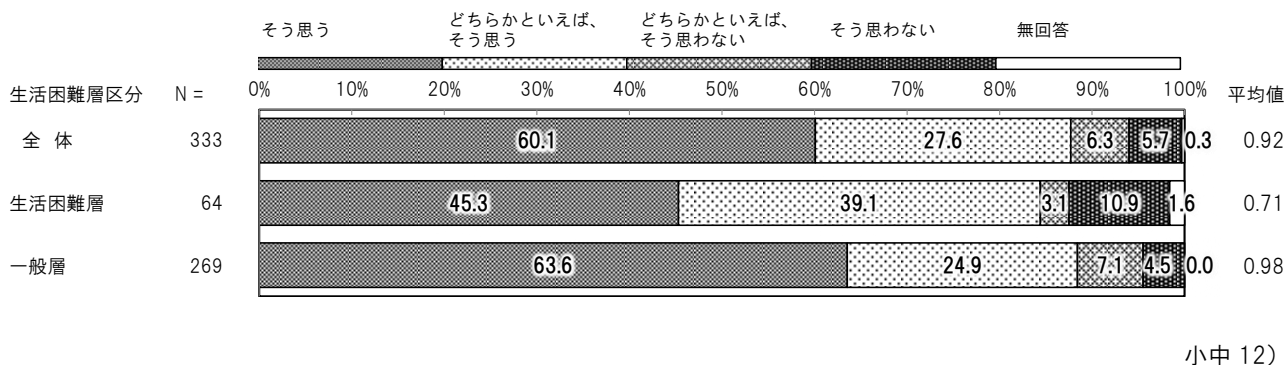


■ 6-2-8) 学校生活について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：ア 学校が楽しい SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学 4-6 年生で 85.9%、中学生で 89.4%でした。

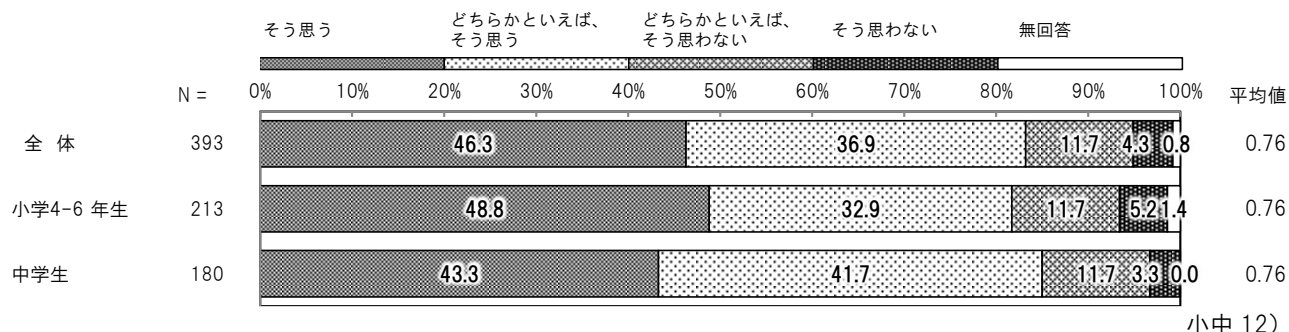


- ・ 生活困難層と一般層はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、生活困難層で 84.4%、一般層で 88.5%でした。

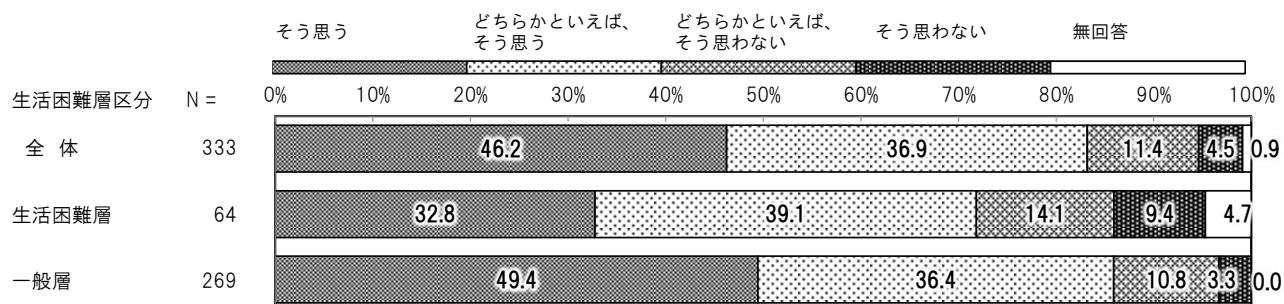


■6-2-9) 学校生活について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：イ 先生はあなたの意見や気持ちを聞いてくれる SA

- ・ 小学4-6年生と中学生はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で81.7%、中学生で85.0%でした。

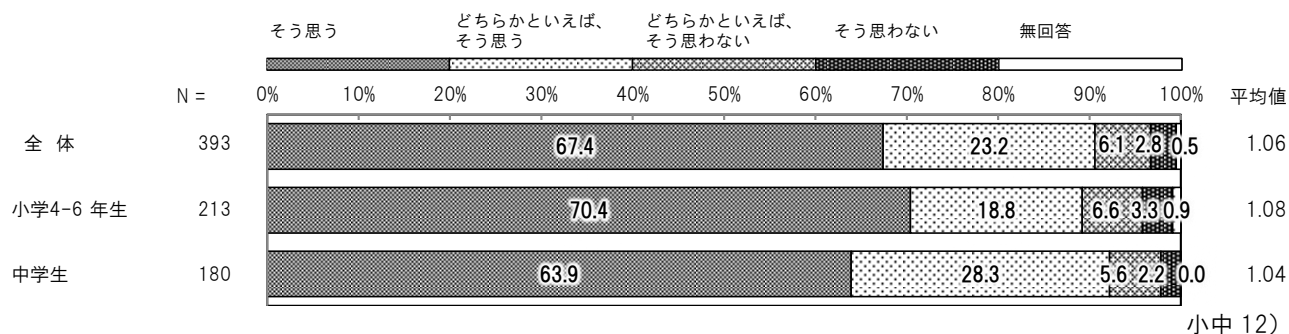


- ・ 生活困難層と一般層はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、生活困難層で71.9%、一般層で85.8%でした。



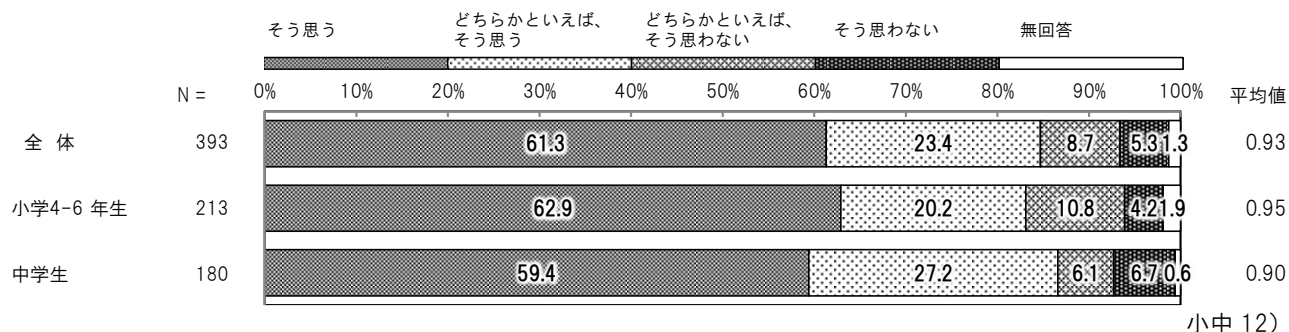
■6-2-10) 学校生活について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：ウ 休み時間を安心して過ごせる SA

- ・ 小学4-6年生と中学生はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で89.2%、中学生で92.2%でした。



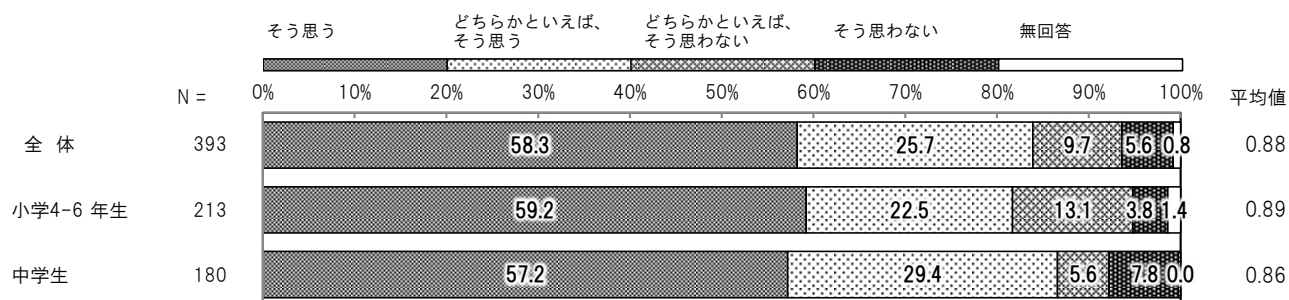
■ 6-2-1 1) 学校生活について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：エ 自分の気持ちを話すことができる友達がいる SA

- ・ 小学4-6年生と中学生はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で83.1%、中学生で86.6%でした。

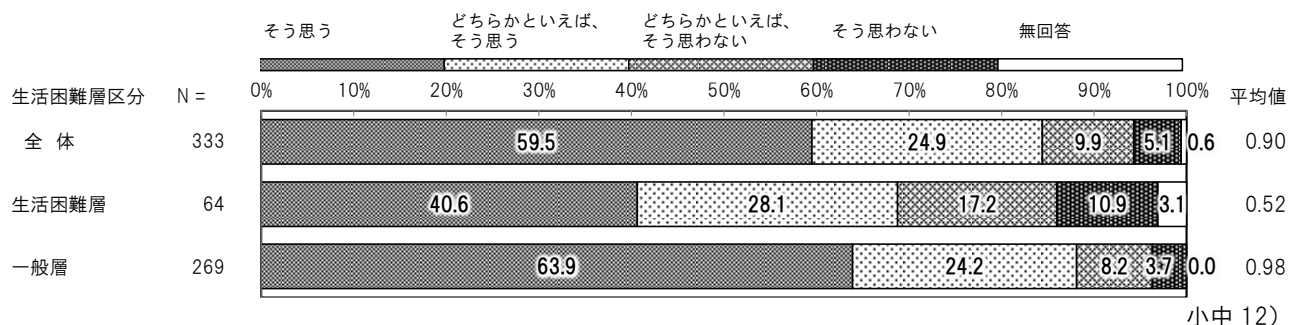


■ 6-2-1 2) 学校生活について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：オ 自分のペースで過ごすことができる SA

- ・ 小学4-6年生と中学生はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で81.7%、中学生で86.6%でした。



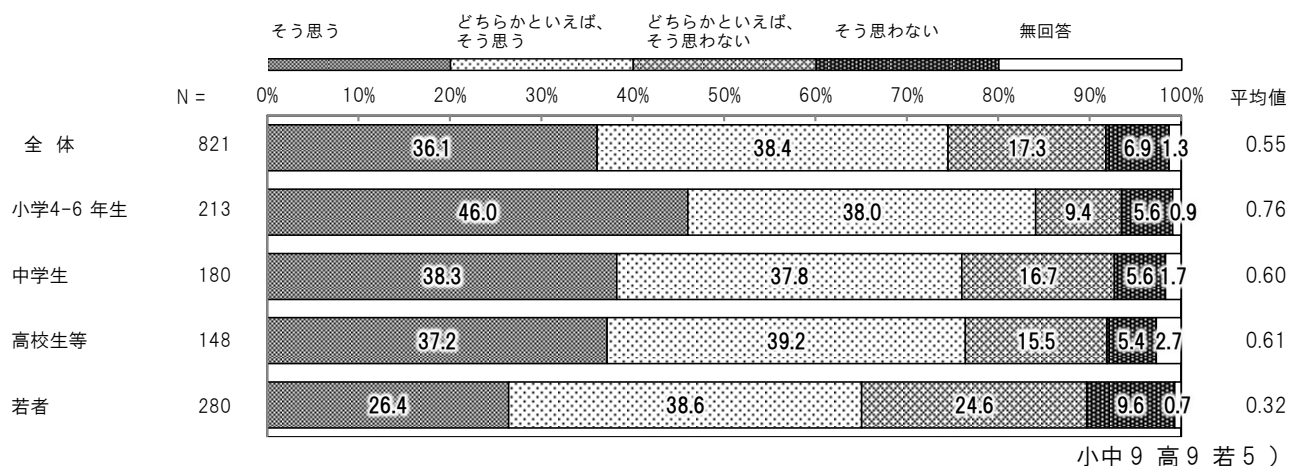
- ・ 生活困難層は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、68.7%でした。
- ・ 一般層は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、88.1%でした。



6-3 社会的情動(非認知能力)

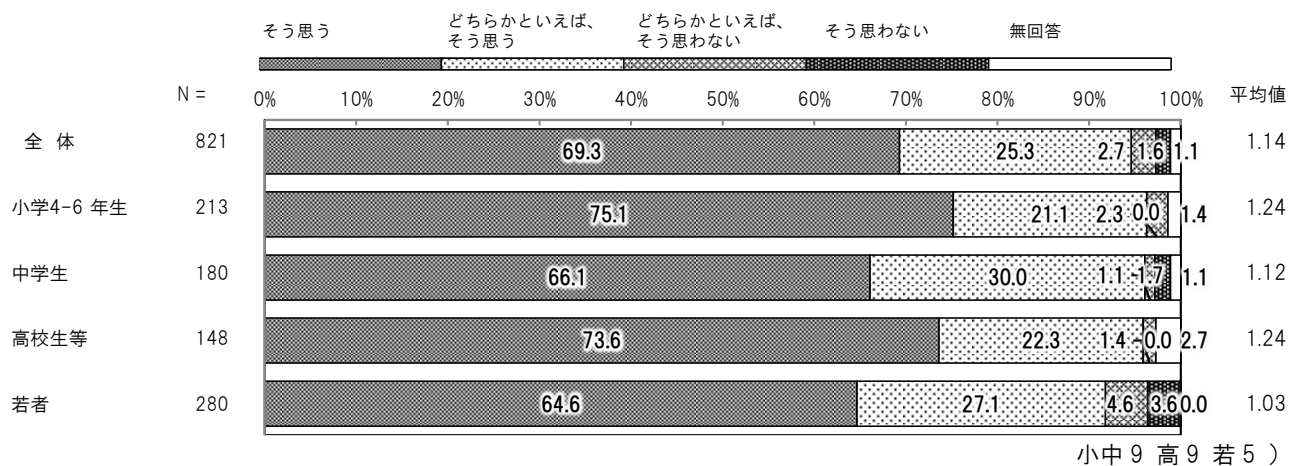
■6-3-1) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：ア 今の自分が好きだ SA

- ・小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で84.0%、中学生で76.1%、高校生等で76.4%、若者で65.0%でした。



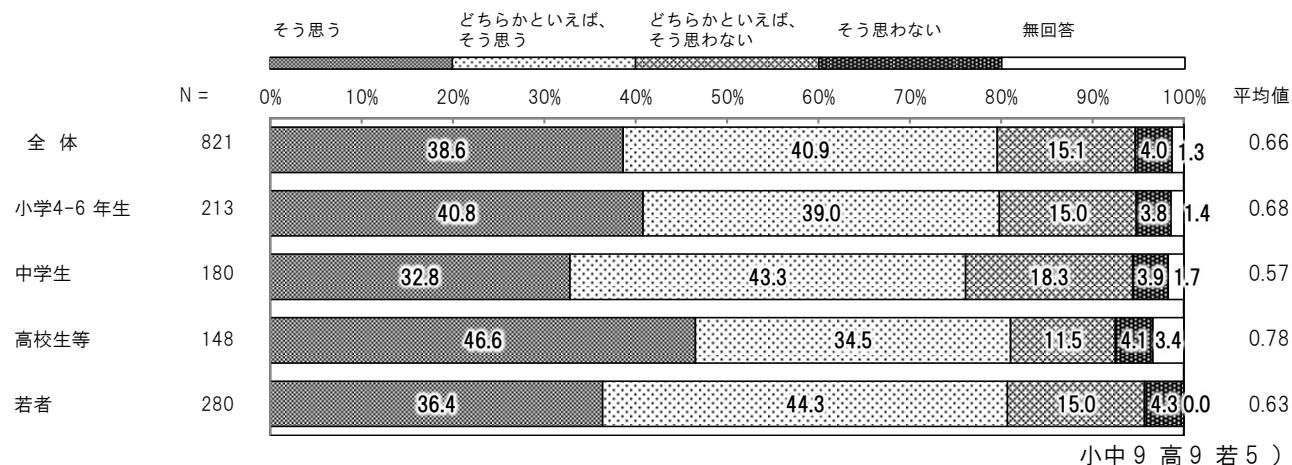
■6-3-2) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：イ 家族から大切にされている SA

- ・小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で96.2%、中学生で96.1%、高校生等で95.9%、若者で91.7%でした。



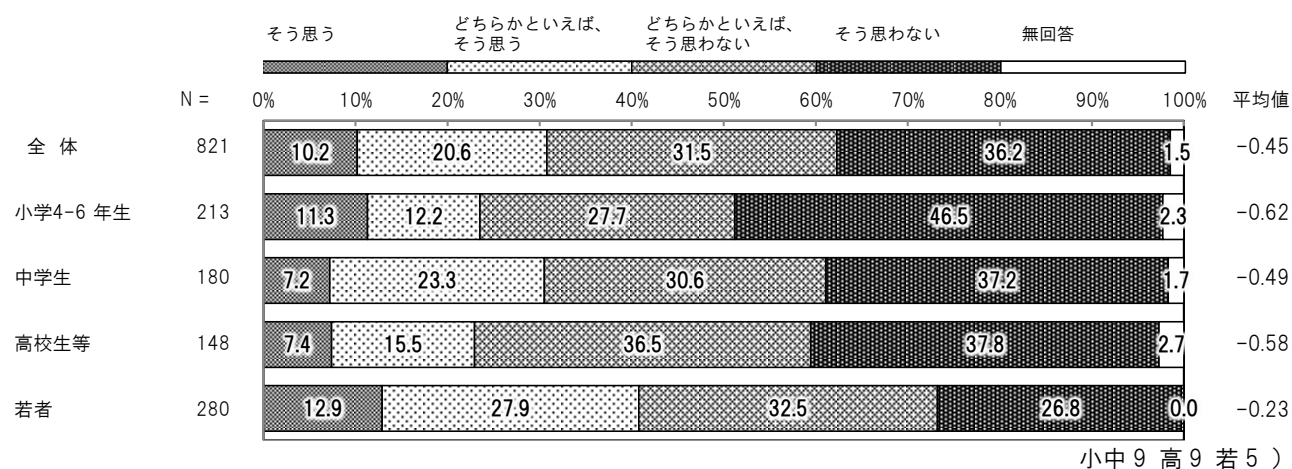
■6-3-3) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：ウ うまくいくかわからない事もがんばって取り組む SA

- ・小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で79.8%、中学生で76.1%、高校生等で81.1%、若者で80.7%でした。



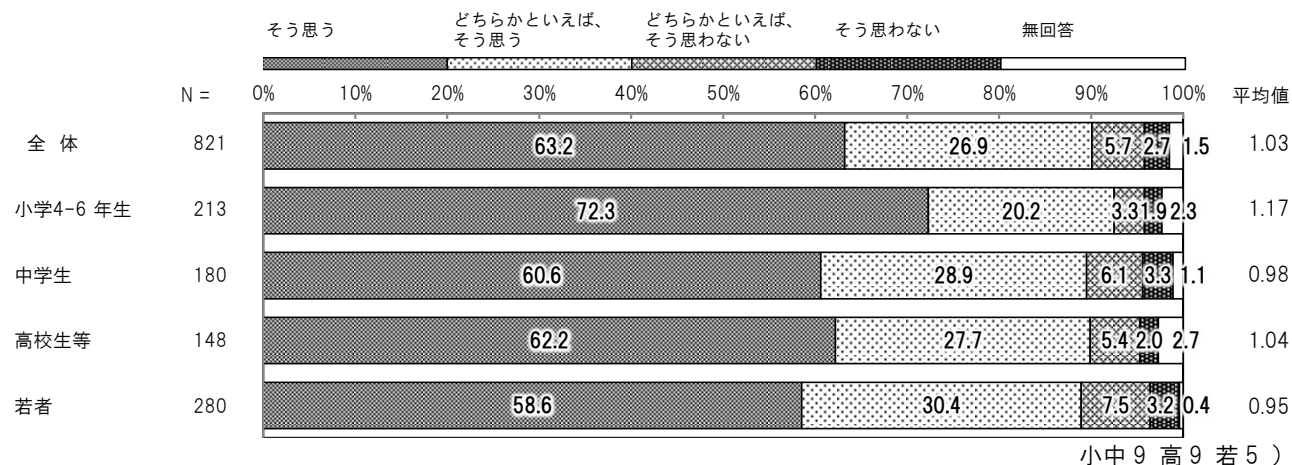
■6-3-4) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：エ 自分は役に立たないと強く感じる SA

- ・小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で74.2%、中学生で67.8%、高校生等で74.3%、若者で59.3%でした。



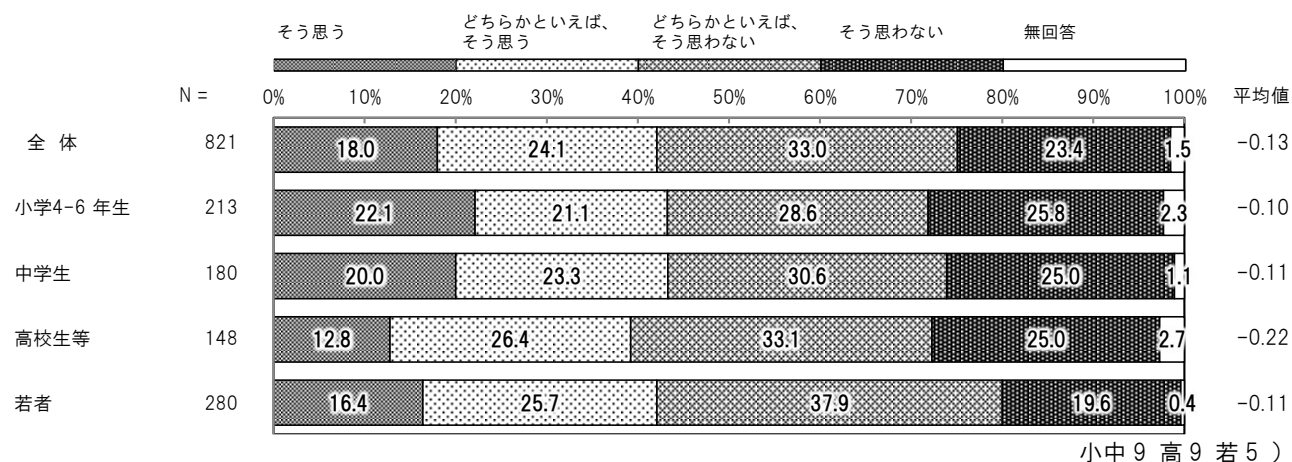
■6-3-5) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：オ 自分のからだを大事にしたい SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で92.5%、中学生で89.5%、高校生等で89.9%、若者で89.0%でした。



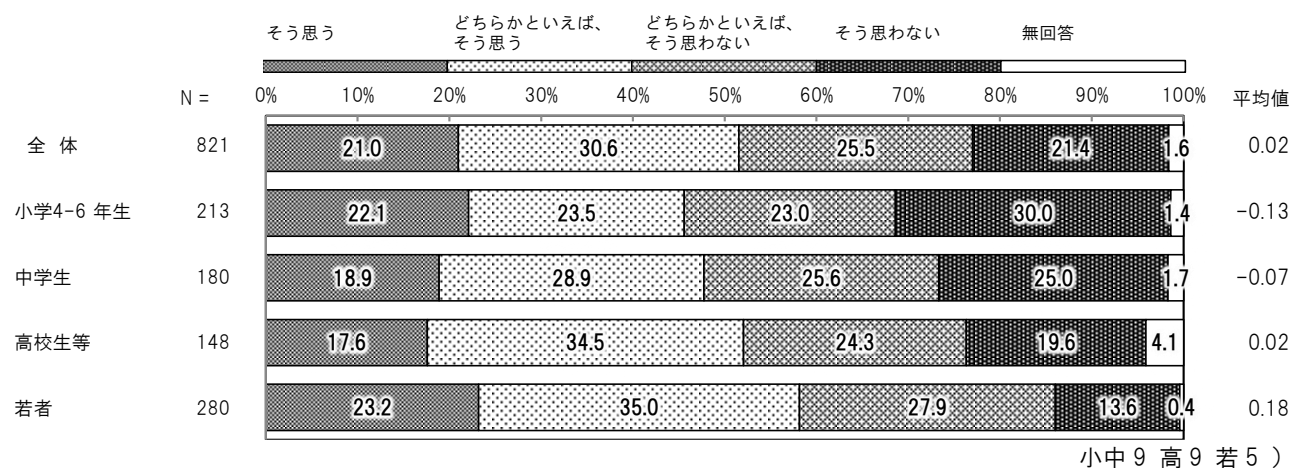
■6-3-6) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：カ イライラする SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で54.4%、中学生で55.6%、高校生等で58.1%、若者で57.5%でした。



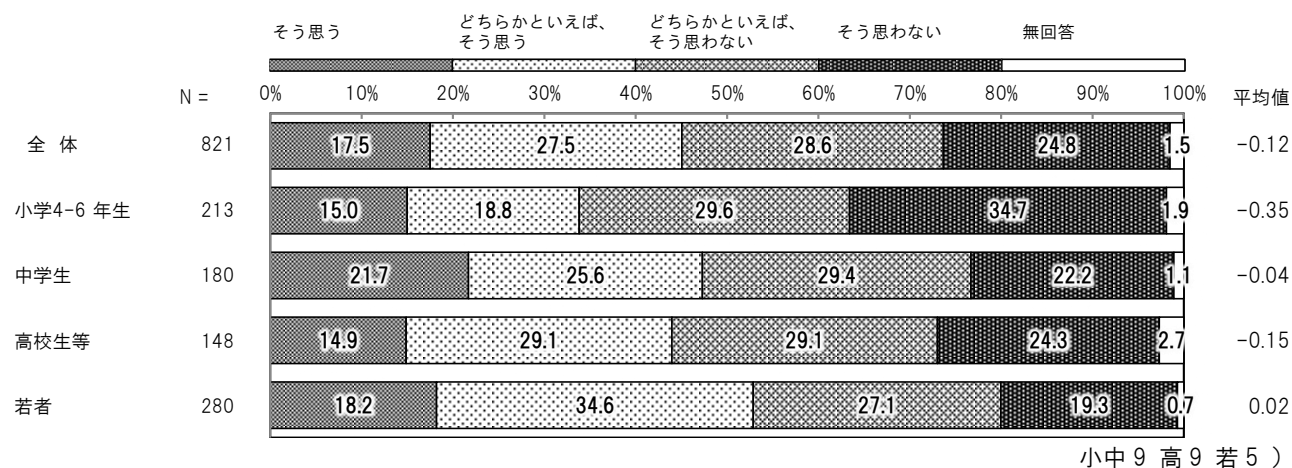
■6-3-7) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：キ いつも疲れている感じがする SA

- ・ 小学4-6年生と中学生は「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で53.0%、中学生で50.6%でした。
- ・ 高校生等と若者は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、高校生等で52.1%、若者で58.2%でした。



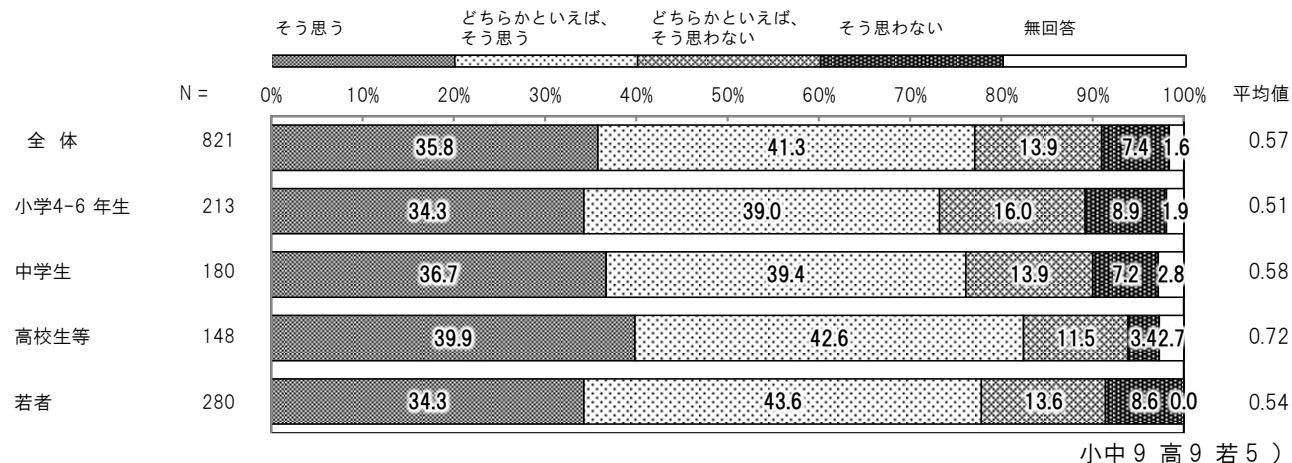
■6-3-8) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：ク やる気が出ない SA

- ・ 小学4-6年生と中学生と高校生等は「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で64.3%、中学生で51.6%、高校生等で53.4%でした。
- ・ 若者は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、52.8%でした。



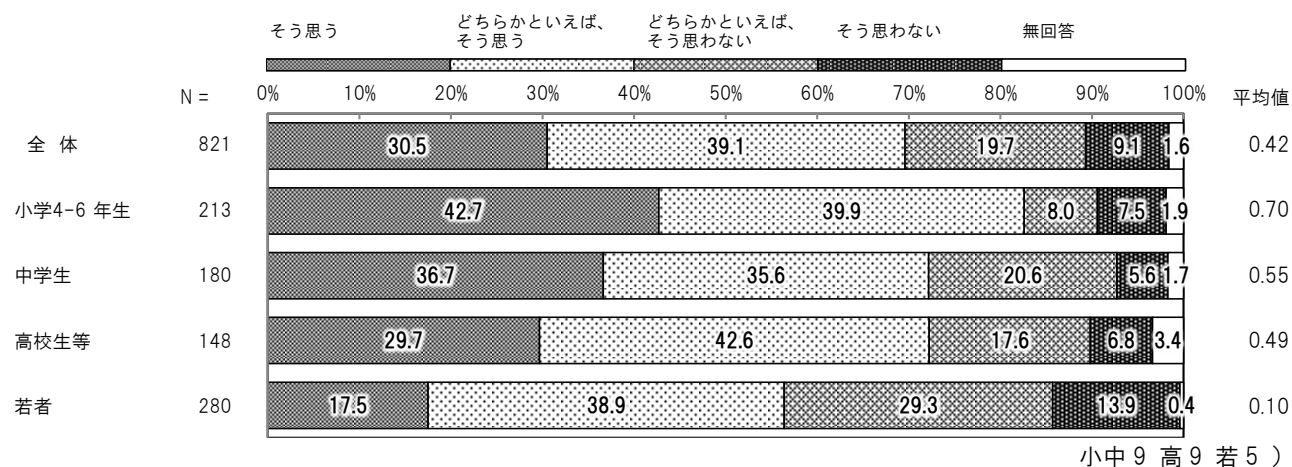
■ 6-3-9) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：ケ 社会のために役立つことをしたい SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で73.3%、中学生で76.1%、高校生等で82.5%、若者で77.9%でした。



■ 6-3-10) あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。：コ 自分の将来は明るい SA

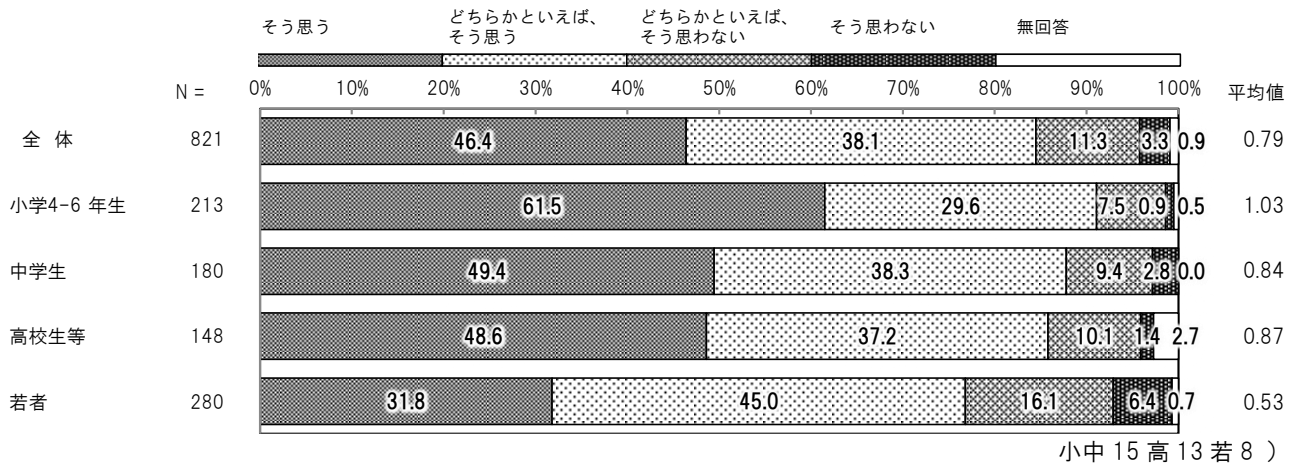
- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で82.6%、中学生で72.3%、高校生等で72.3%、若者で56.4%でした。



6-4 将来展望

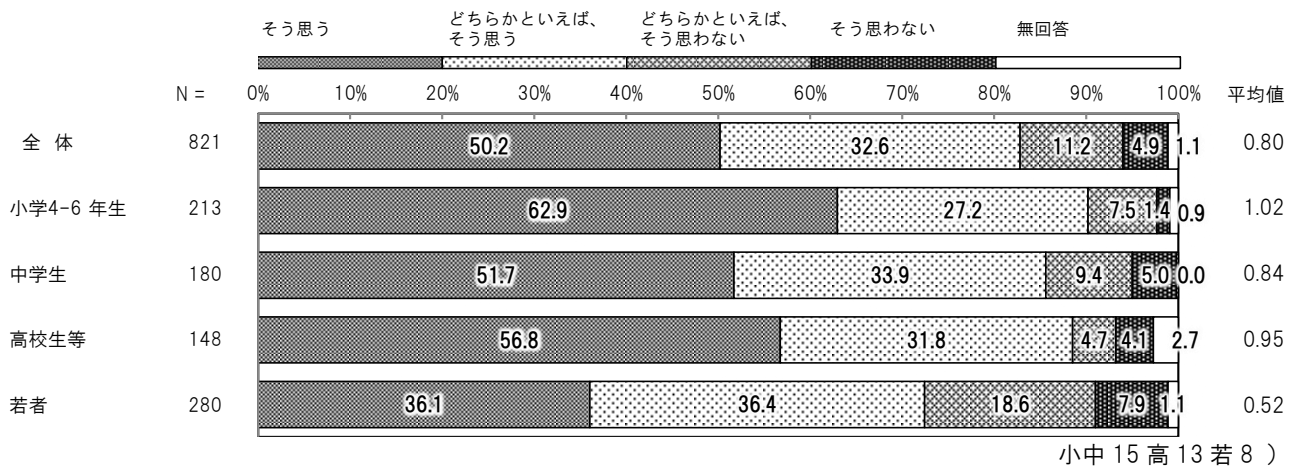
■ 6-4-1) 職業について次のことがどれくらいあてはまりますか。：ア いつか自分にふさわしい仕事が見つかると思う SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で91.1%、中学生で87.7%、高校生等で85.8%、若者で76.8%でした。



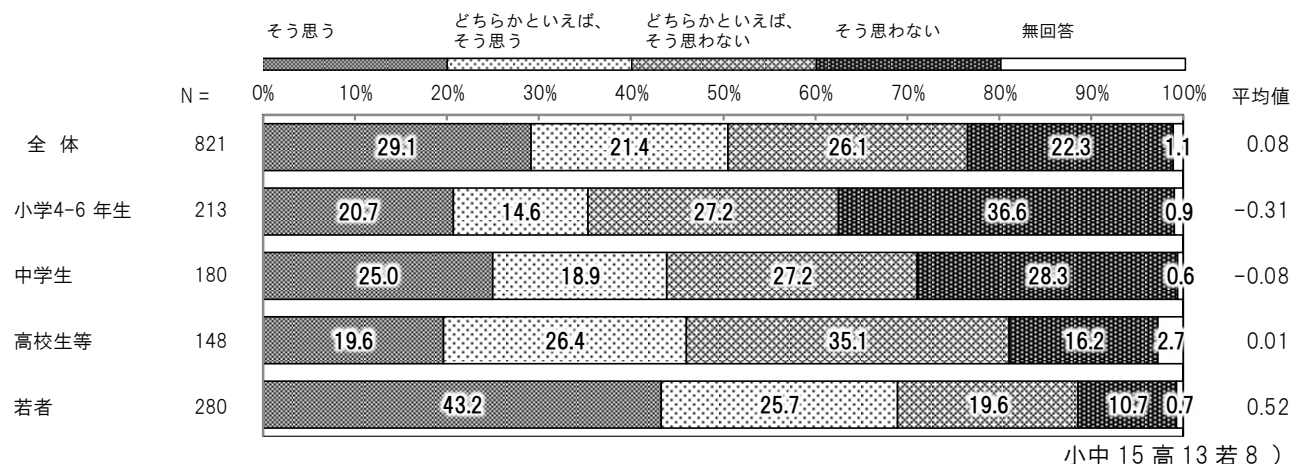
■ 6-4-2) 職業について次のことがどれくらいあてはまりますか。：イ いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で90.1%、中学生で85.6%、高校生等で88.6%、若者で72.5%でした。



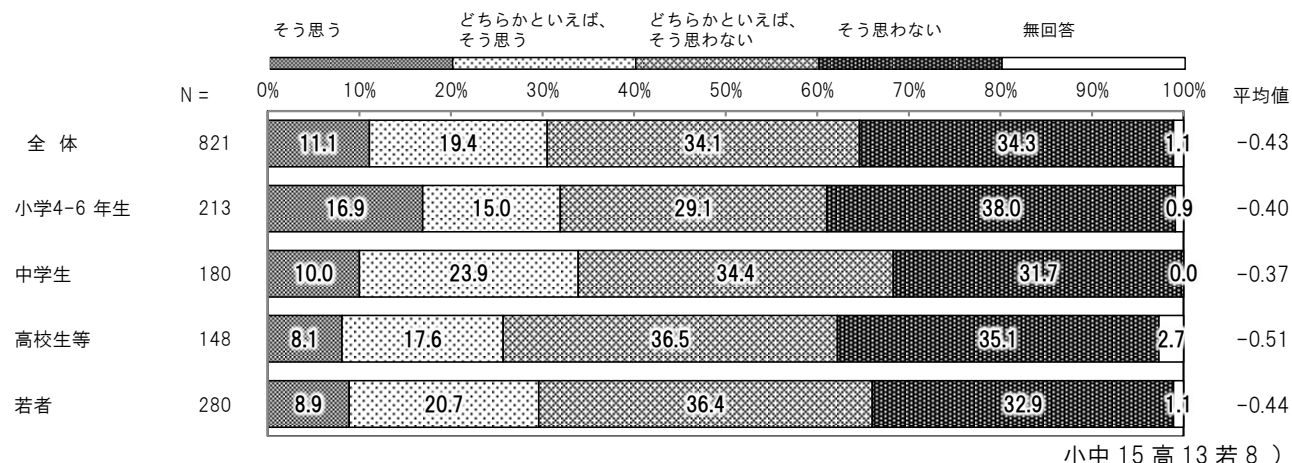
■6-4-3) 職業について次のことがどれくらいあてはまりますか。：ウ 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない SA

- ・ 小学4-6年生と中学生と高校生等は「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で63.8%、中学生で55.5%、高校生等で51.3%でした。
- ・ 若者は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、68.9%でした。



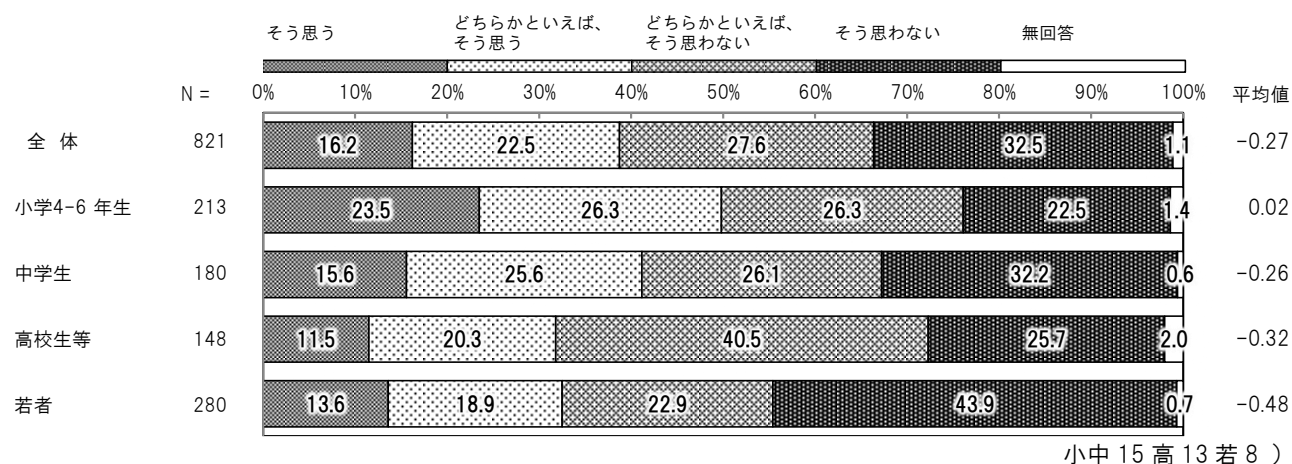
■6-4-4) 職業について次のことがどれくらいあてはまりますか。：エ 決まった仕事に就かない方が自由でいいと思う SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で67.1%、中学生で66.1%、高校生等で71.6%、若者で69.3%でした。



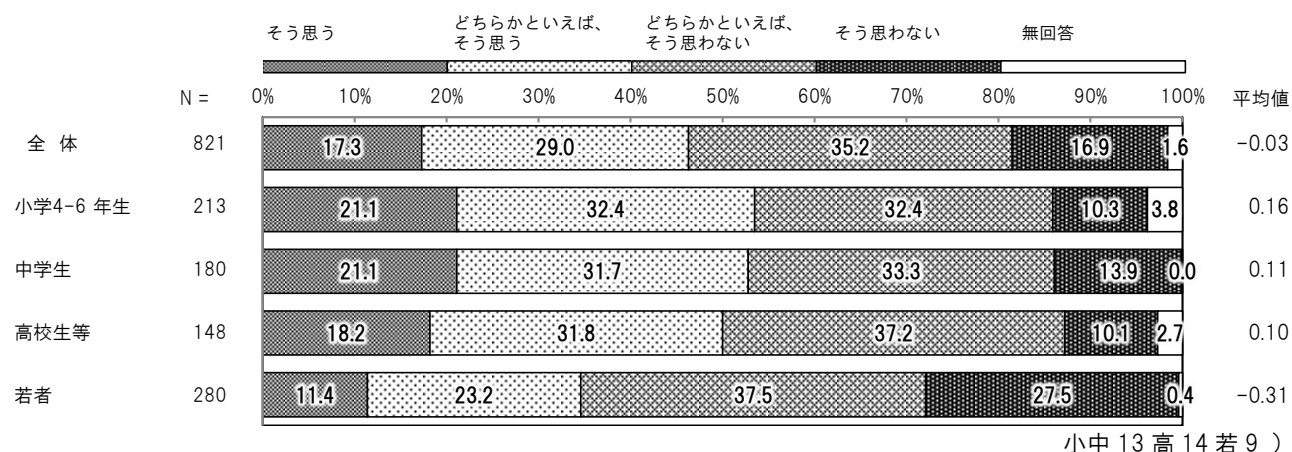
■ 6-4-5) 職業について次のことがどれくらいあてはまりますか。：オ いつか自分のアイデアで起業したい SA

- ・ 小学4-6年生は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、49.8%でした。
- ・ 中学生と高校生等と若者は「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、中学生で58.3%、高校生等で66.2%、若者で66.8%でした。



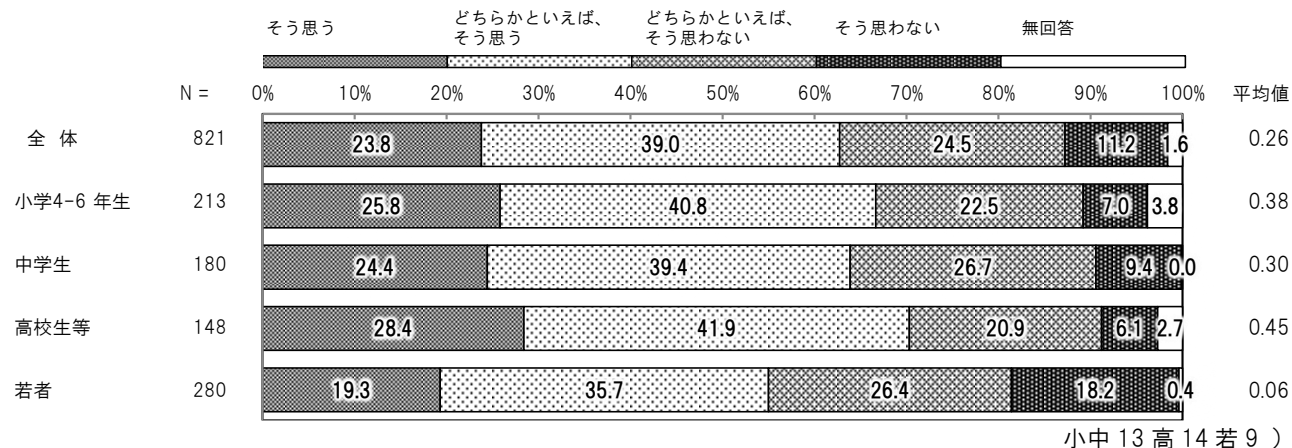
■ 6-4-6) あなたは、20年後、どのようになっていると思いますか。：ア お金持ちになっている SA

- ・ 小学4-6年生と中学生と高校生等は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で53.5%、中学生で52.8%、高校生等で50.0%でした。
- ・ 若者は「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、65.0%でした。



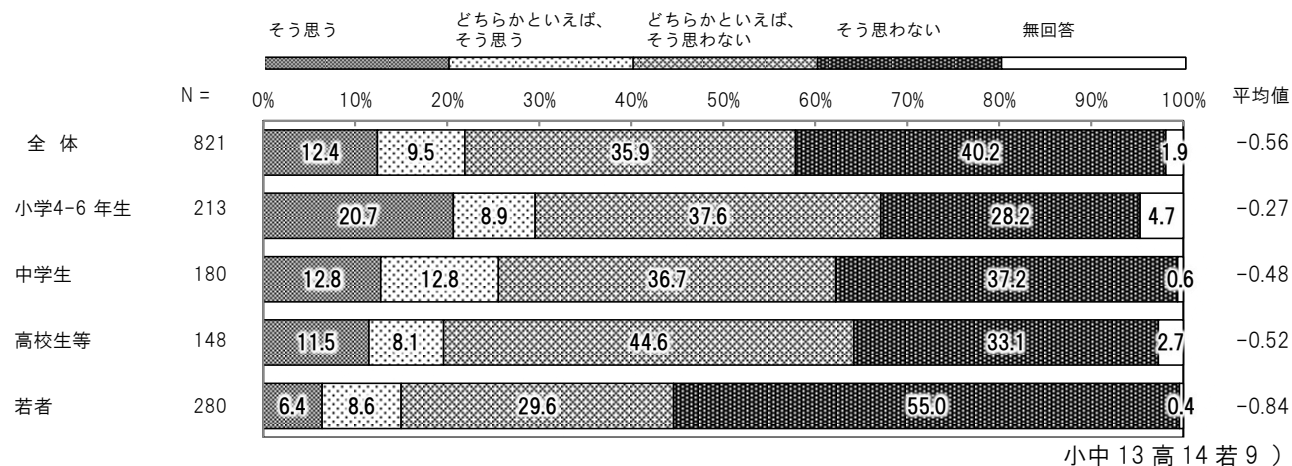
■6-4-7) あなたは、20年後、どのようになっていると思いますか。：イ 多くの人の役に立っている SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学4-6年生で66.6%、中学生で63.8%、高校生等で70.3%、若者で55.0%でした。



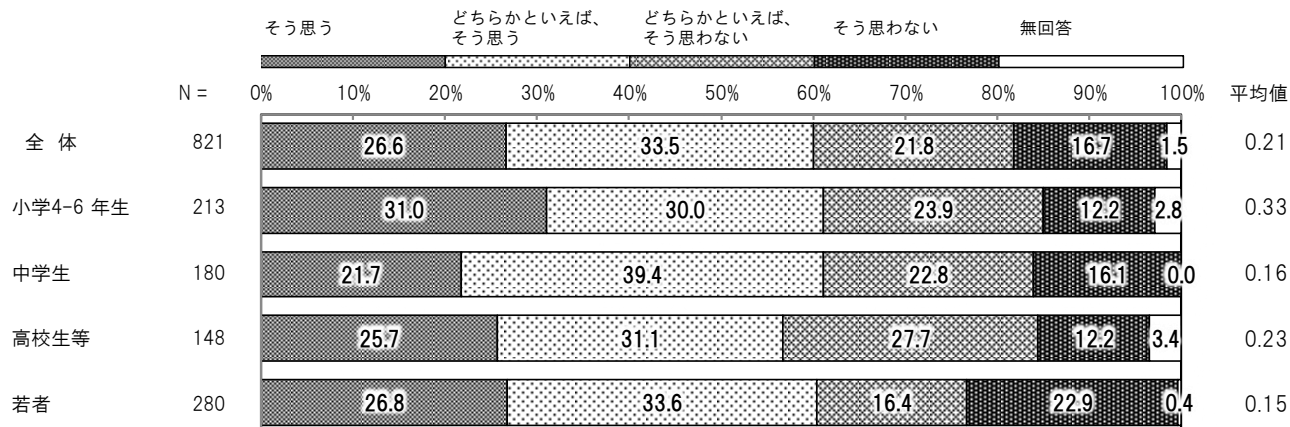
■6-4-8) あなたは、20年後、どのようになっていると思いますか。：ウ 有名になっている SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で65.8%、中学生で73.9%、高校生等で77.7%、若者で84.6%でした。

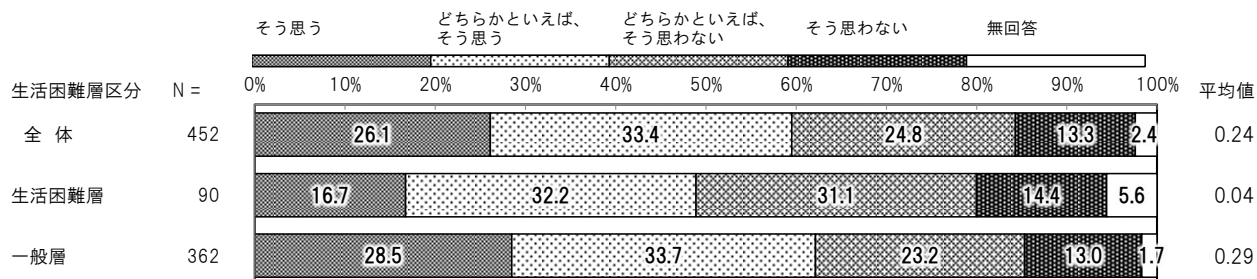


■ 6-4-9) あなたは、20 年後、どのようになっていると思いますか。：エ 子どもを育てている SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学 4-6 年生で 61.0%、中学生で 61.1%、高校生等で 56.8%、若者で 60.4%でした。



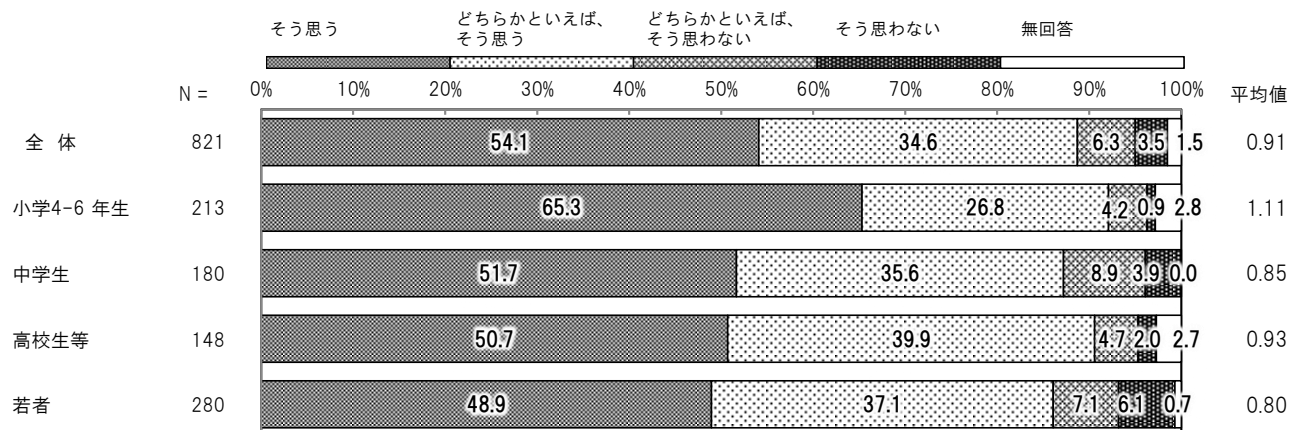
- ・ 生活困難層は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、48.9%でした。
- ・ 一般層は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、62.2%でした。



小中 13 高 14 若 9)

■ 6-4-10) あなたは、20 年後、どのようになっていると思いますか。：オ 親を大切にしている SA

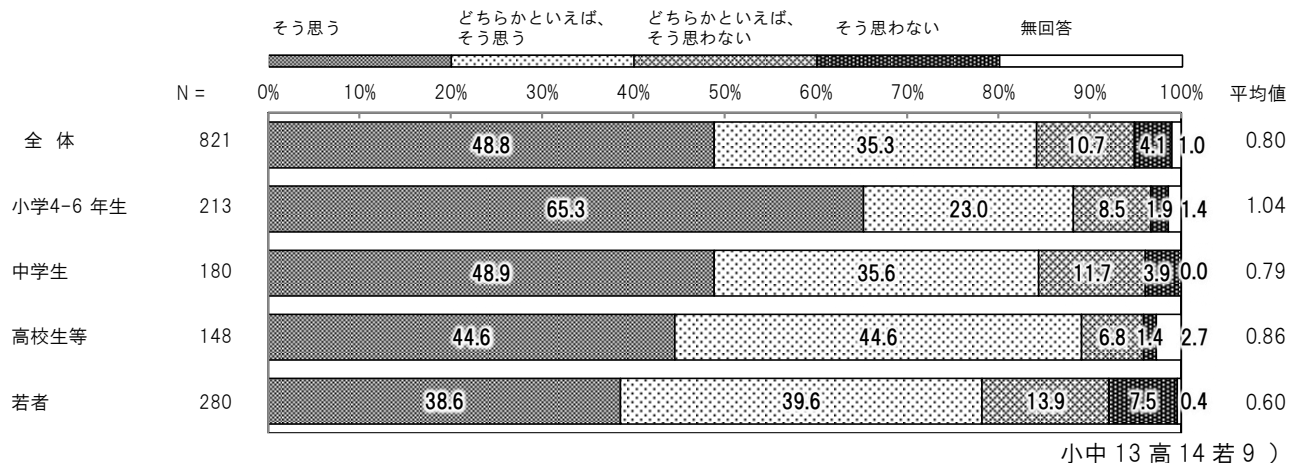
- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学 4-6 年生で 92.1%、中学生で 87.3%、高校生等で 90.6%、若者で 86.0%でした。



小中 13 高 14 若 9)

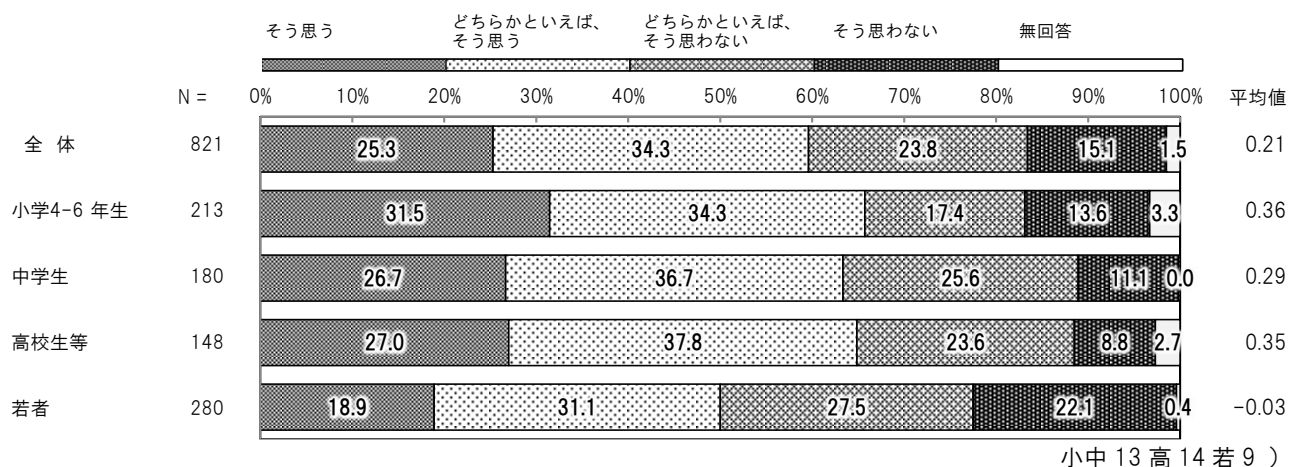
■ 6-4-1 1) あなたは、20 年後、どのようになっていると思いますか。：カ 幸せになっている SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学 4-6 年生で 88.3%、中学生で 84.5%、高校生等で 89.2%、若者で 78.2%でした。



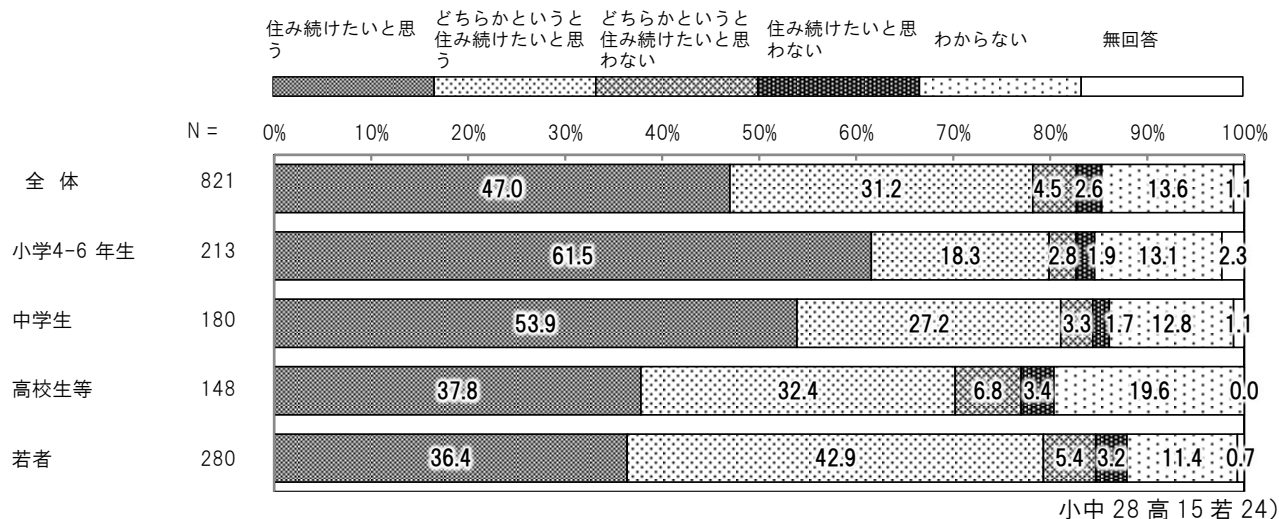
■ 6-4-1 2) あなたは、20 年後、どのようになっていると思いますか。：キ 出世している SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、小学 4-6 年生で 65.8%、中学生で 63.4%、高校生等で 64.8%、若者で 50.0%でした。



■ 6-4-1 3) あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。 SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「住み続けたいと思う」「どちらかという
と住み続けたいと思う」の合計が「どちらかというと住み続けたいと思わない」「住み続
けたいと思わない」の合計より多く、小学 4-6 年生で 79.8%、中学生で 81.1%、高校生等
で 70.2%、若者で 79.3%でした。



6-5 外出状況、落ち込んだ経験

■6-5-1) あなたは普段どのくらい外出しますか。 SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「学校、習い事で平日は毎日、外に出かけている」が最も多く、小学4-6年生で70.9%、中学生で81.7%、高校生等で87.8%、若者で65.0%、次いで「学校、習い事で週に3～4日、外に出かけている」が多く、小学4-6年生で21.6%、中学生で11.1%、高校生等で7.4%、若者で18.6%でした。

		あなたは普段どのくらい外出しますか。 (%)									
	調査数										
		学校、習い事で平日は毎日、外に出かけている	学校、習い事で週に3～4日、外に出かけている	学校には行かないが、遊びなどでよく外に出かけている	学校には行かないが、人づきあいのためにときどき外に出かける	ふだんは家にいるが、自分のしゅみなどの用事のときだけ外に出かける	ふだんは家にいるが、近くのコンビニなどには出かける	自分の部屋からは出るが、家からは出ない	自分の部屋からほとんど出ない	無回答	
全 体	821	74.3	15.7	1.3	0.6	4.9	1.0	0.2	0.2	1.7	
対 象	小学4-6年生	213	70.9	21.6	1.4	0.0	1.9	0.0	0.5	0.5	3.3
	中学生	180	81.7	11.1	1.1	0.0	4.4	0.6	0.0	0.0	1.1
	高校生等	148	87.8	7.4	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	若者	280	65.0	18.6	2.1	1.8	7.5	2.5	0.4	0.4	1.8

小中 17 高 16 若 10)

■6-5-2) あなたの外出状況が今のようになってからどのくらいたちますか。 SA

- ・ 6-5-1) で、ふだんは家にいると答えた小学4-6年生は6人、中学生は9人でした。中学生では、「3か月未満」と「1年～2年未満」と答えた人が各々3名でした。
- ・ ふだんは家にいると答えた高校生等は7人でした。このうち、「3か月未満」と答えた人が2名でした。
- ・ ふだんは家にいると答えた若者は30人でした。このうち、「6か月～1年未満」、「1年～2年未満」と答えた人が最も多く、各々7名でした。

		あなたの外出状況が今のようになってから、どのくらいたちますか。											
対 象	小学4-6年生	総数	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上	無回答				
		6	1	1	1	1	0	1	1				
	中学生	総数	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上	無回答				
		9	3	0	1	3	1	0	1				
	高校生等	総数	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年以上		
		7	2	0	1	1	1	1	0	0	1		
	若者	総数	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上
		30	3	3	7	7	6	4	0	0	0	0	0

小中 17 高 16 若 10)

■ 6-5-3) あなたの外出状況が今ようになったのはいくつの頃ですか。 SA

- ・ 外出状況が今ようになって6カ月以上たっている人に、今の状況になったのはいくつの頃からかと伺ったところ、小学4-6年生では、9歳以下と10～11歳が1人ずつ、中学生では、12歳以上が4人でした。
- ・ 高校生等では、11歳以下が2人、12～14歳が2人でした。
- ・ 若者では、18歳以上が23人でした。

				あなたの外出状況が今ようになったのは、いくつの頃ですか。			
対象	小学4-6年生	総数	9歳以下	10～11歳	12歳以上	無回答	
		3	1	1	0	1	
	中学生	総数	9歳以下	10～11歳	12歳以上	無回答	
		5	0	1	4	0	
	高校生等	総数			11歳以下	12～14歳	15～17歳
		5			2	2	1
	若者	総数			11歳以下	12～14歳	15～17歳 18歳以上
		24			0	0	1 23

小中 17 高 16 若 10)

■ 6-5-4) あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。(複数回答)

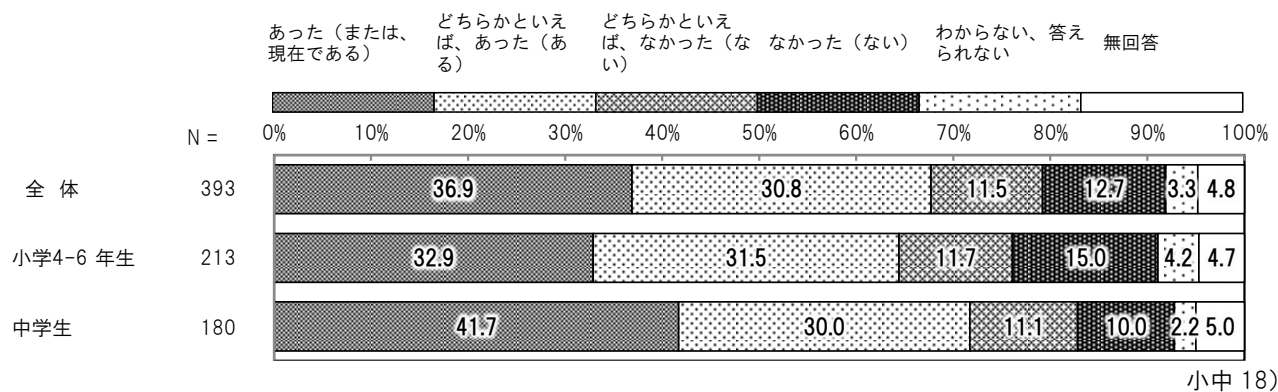
- ・ 外出状況が今ようになって6カ月以上たっている人に、今の状況になった主な理由をうかがったところ、小学4-6年生では「学校にうまくなじめなかった」が最も多く2票、中学生では「新型コロナウイルスの流行」が最も多く2票でした。
- ・ 高校生等では、「学校にうまくなじめなかった」が最も多く2票でした。
- ・ 若者では、「新型コロナウイルスの流行」が8票、「とくに理由はない、わからない」が7票でした。

		あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。（複数回答）												
		調査数	学校にうまくなじめなかった	受験がうまくいかなかったこと	まわりの人との付き合いがうまくいかなかったこと	病気	家族の看病やお世話をするようになったこと	新型コロナウイルスが流行したこと	その他	特に理由はない、わからない	無回答			
対象	小学4-6年生	3	2	0	1	0	0	1	0	0	1			
	中学生	5	1	0	0	0	0	2	1	1	0			
		調査数	学校にうまくなじめなかった	学生時代の不登校	受験が上手いかなかったこと	まわりの人との付き合いがうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	病気	妊娠したこと	退職したこと	家族の看病やお世話をするようになったこと	新型コロナウイルスが流行したこと	その他	特に理由はない、わからない
対象	高校生等	5	2		0	1	0	1	0	0	0	0	2	1
	若者	24	0	1	0	2	3	3	0	0	1	8	7	7

小中 17 高 16 若 10)

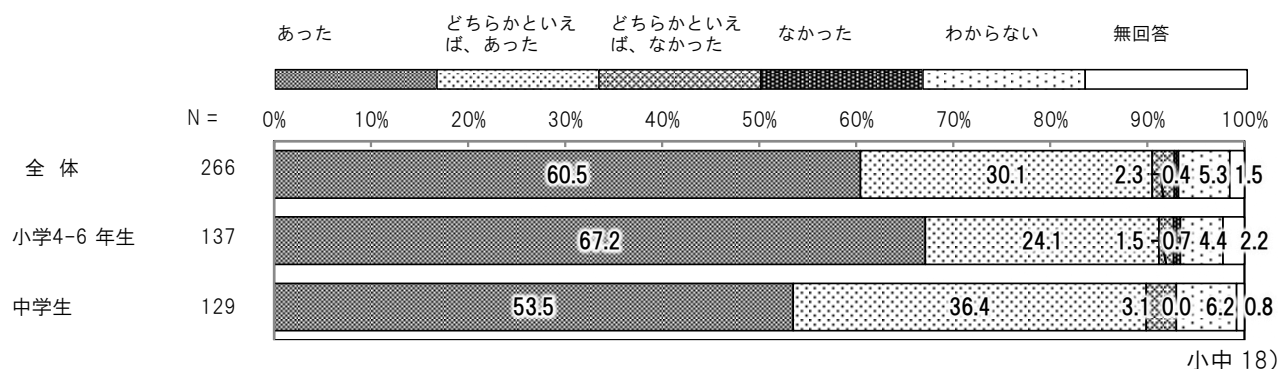
■6-5-5) あなたが今までに、ものごとがうまくいかずに落ち込んだ経験があったと思いますか。または、現在、ありますか。 SA

- ・ 小学4-6年生と中学生は「あった（または、現在である）」「どちらかといえば、あった（ある）」の合計が「なかった（ない）」「どちらかといえば、なかった（ない）」の合計より多く、小学4-6年生で64.4%、中学生で71.7%でした。



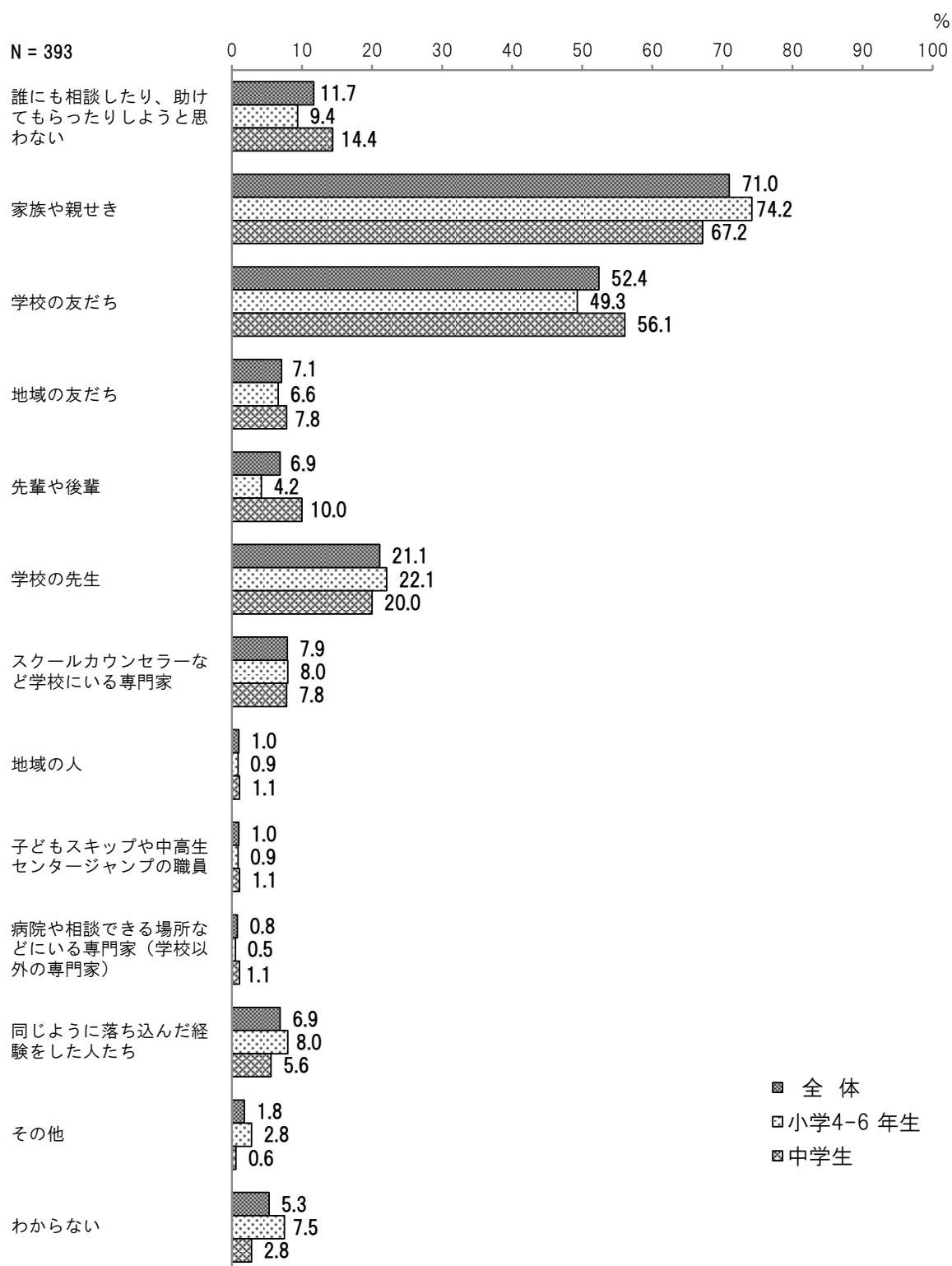
■6-5-6) あなたは今までに、ものごとがうまくいかずに落ち込んだ状態から元にもどった経験があったと思いますか。 SA

- ・ 小学4-6年生と中学生は「あった」「どちらかといえば、あった」の合計が「なかった」「どちらかといえば、なかった」の合計より多く、小学4-6年生で91.3%、中学生で89.9%でした。



■ 6-5-7) あなたが、ものごとがうまくいかずに落ち込んだときに、こういった人に相談しますか。 (複数回答)

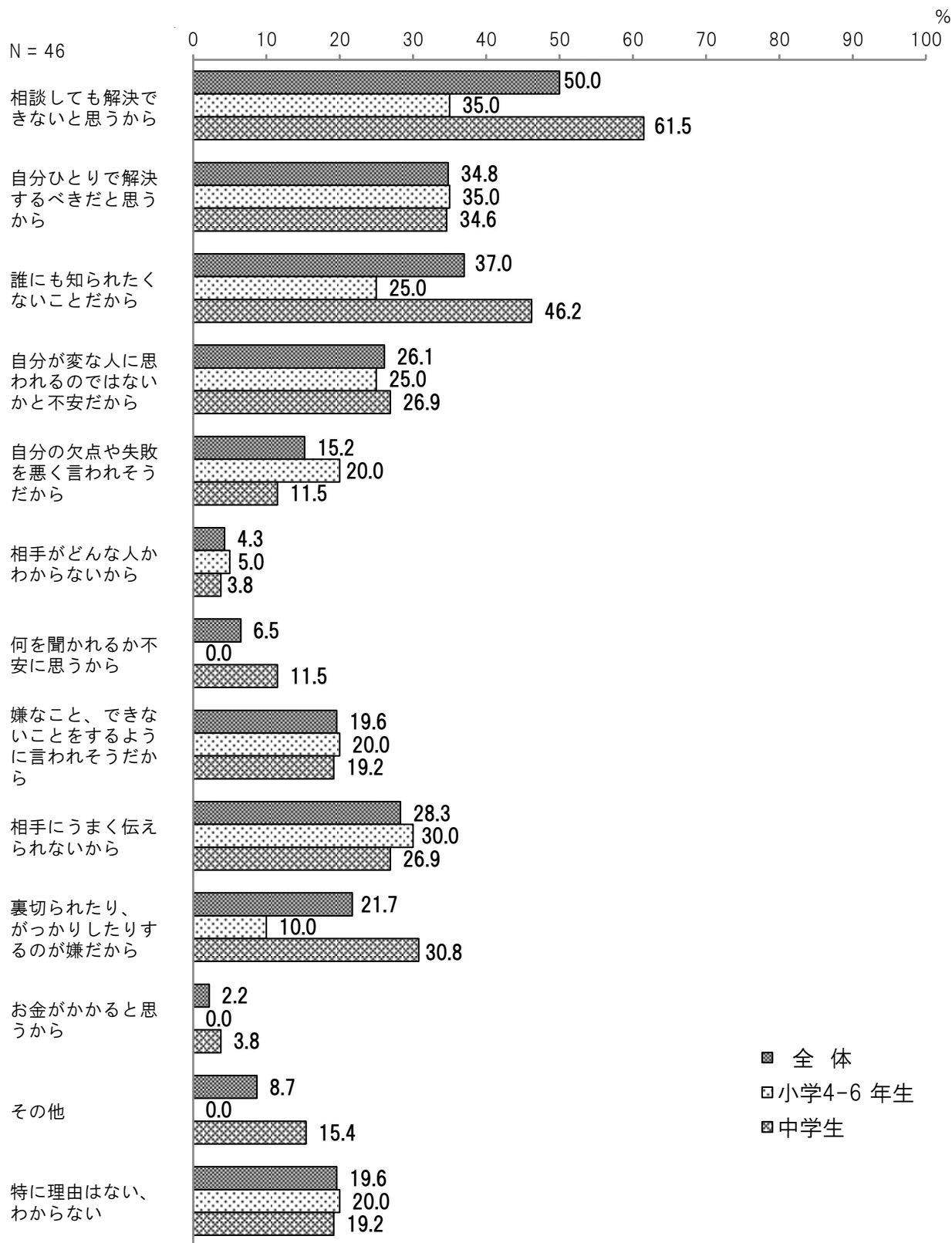
- ・ 小学4-6年生と中学生は「家族や親せき」が最も多く小学4-6年生で74.2%、中学生で67.2%、次いで「学校の友だち」が多く小学4-6年生で49.3%、中学生で56.1%でした。



小中 20)

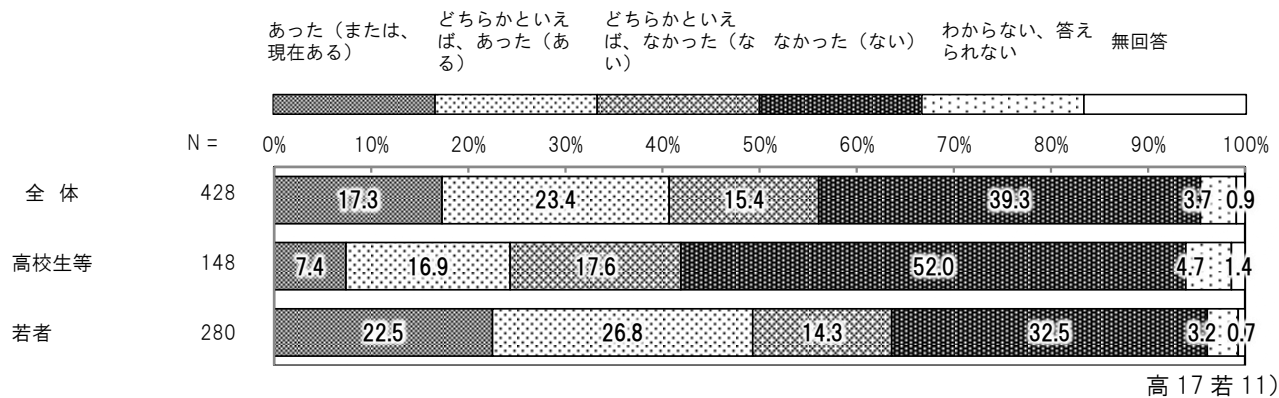
■ 6-5-8) 「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」の理由をお答えください。
(複数回答)

- ・ 小学4-6年生で、「相談しても解決できないと思うから」と「自分ひとりで解決するべきだと思うから」が最も多く35.0%でした。中学生では、「相談しても解決できないと思うから」が61.5%、次いで「誰にも知られたくないことだから」が46.2%でした。



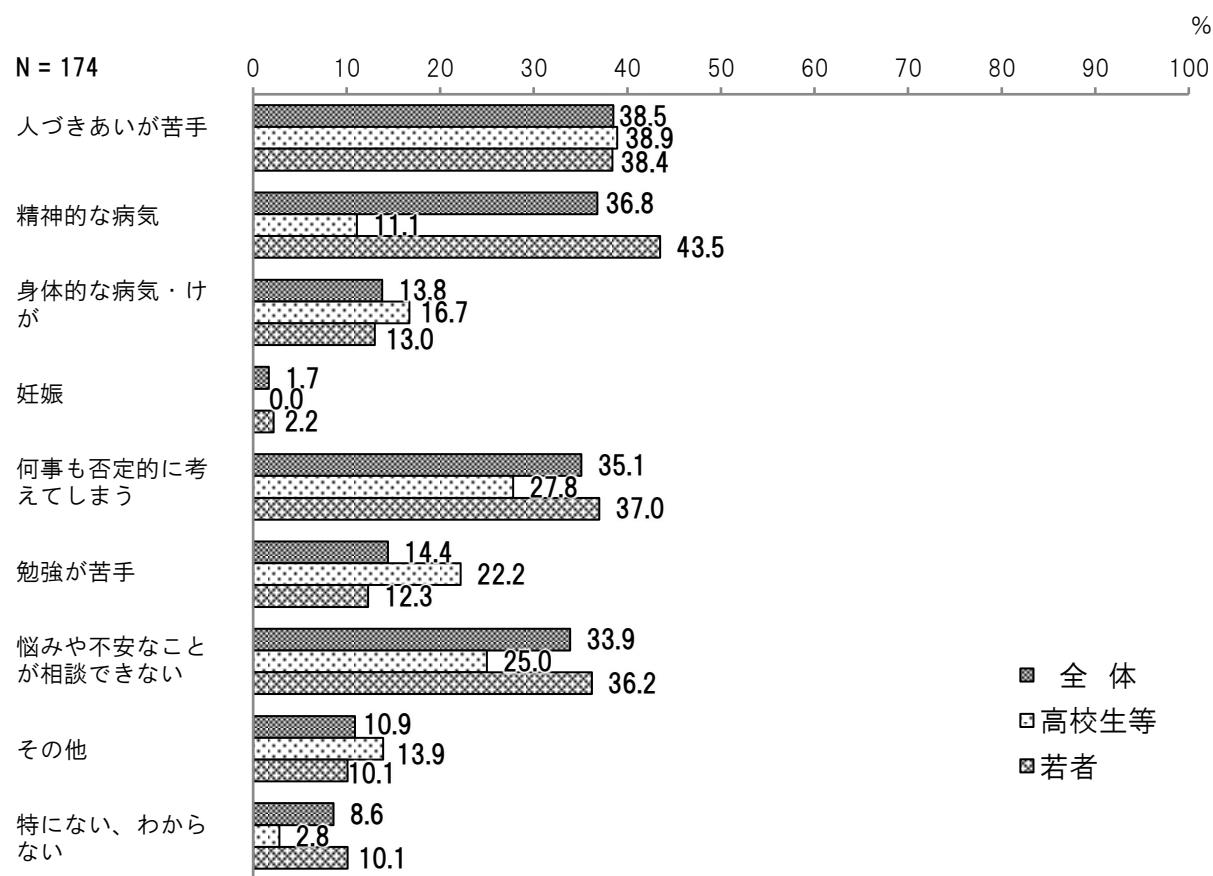
■6-5-9) あなたが今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったことがありましたか。または、現在、ありますか。 SA

- ・ 高校生等は「どちらかといえば、なかった（ない）」「なかった（ない）」の合計が「あった（または、現在ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」の合計より多く、69.6%でした。
- ・ 若者は「あった（または、現在ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」の合計が「なかった（ない）」「どちらかといえば、なかった（ない）」の合計より多く、49.3%でした。



■ 6-5-10) そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。：自分自身について（複数回答）

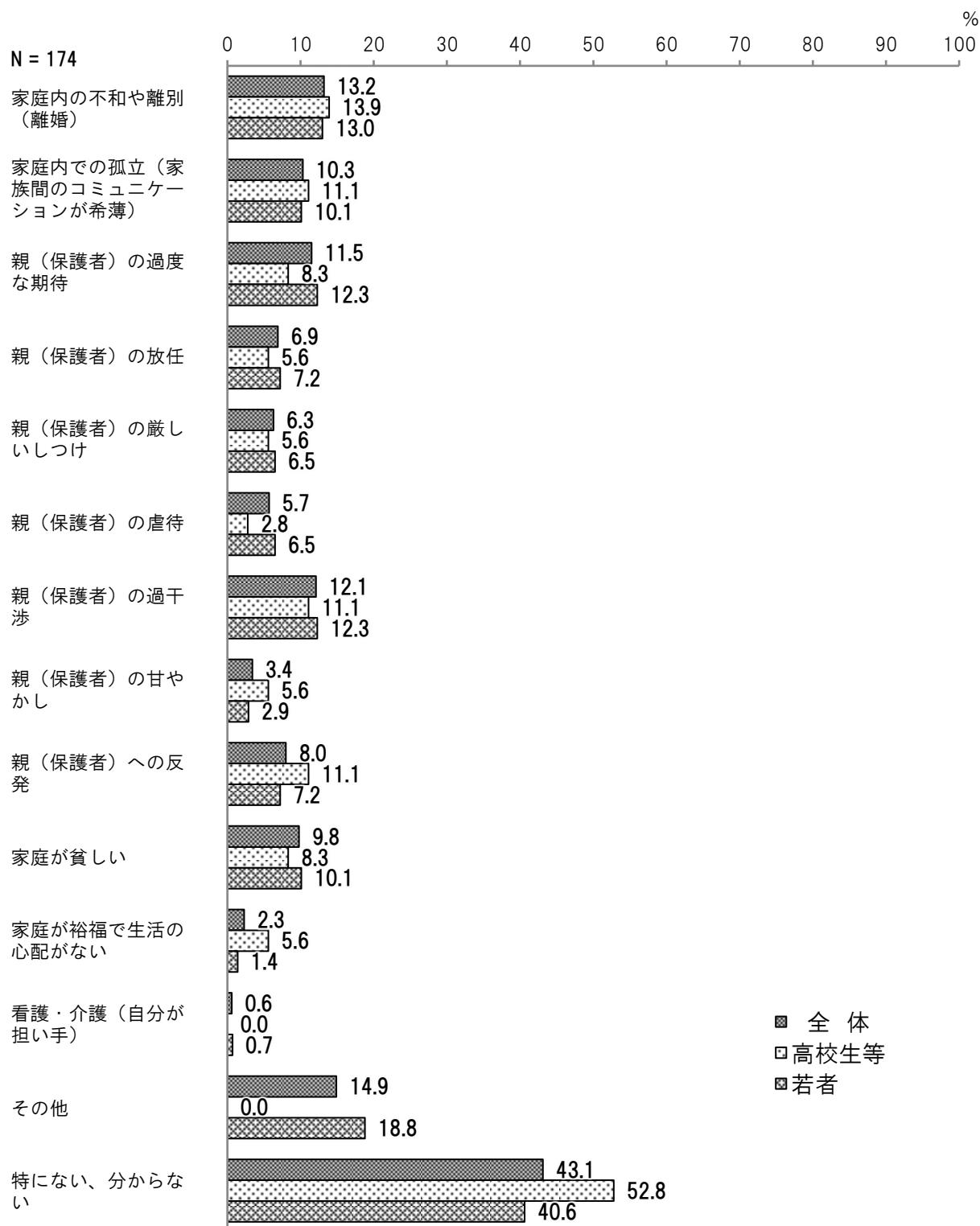
- ・ 高校生等は「人づきあいが苦手」が最も多く 38.9%、次いで「何事も否定的に考えてしまう」が 27.8%でした。
- ・ 若者は「精神的な病気」が最も多く 43.5%、次いで「人づきあいが苦手」が 38.4%でした。



高 17 若 11)

■ 6-5-1 1) そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。：家族・家庭について（複数回答）

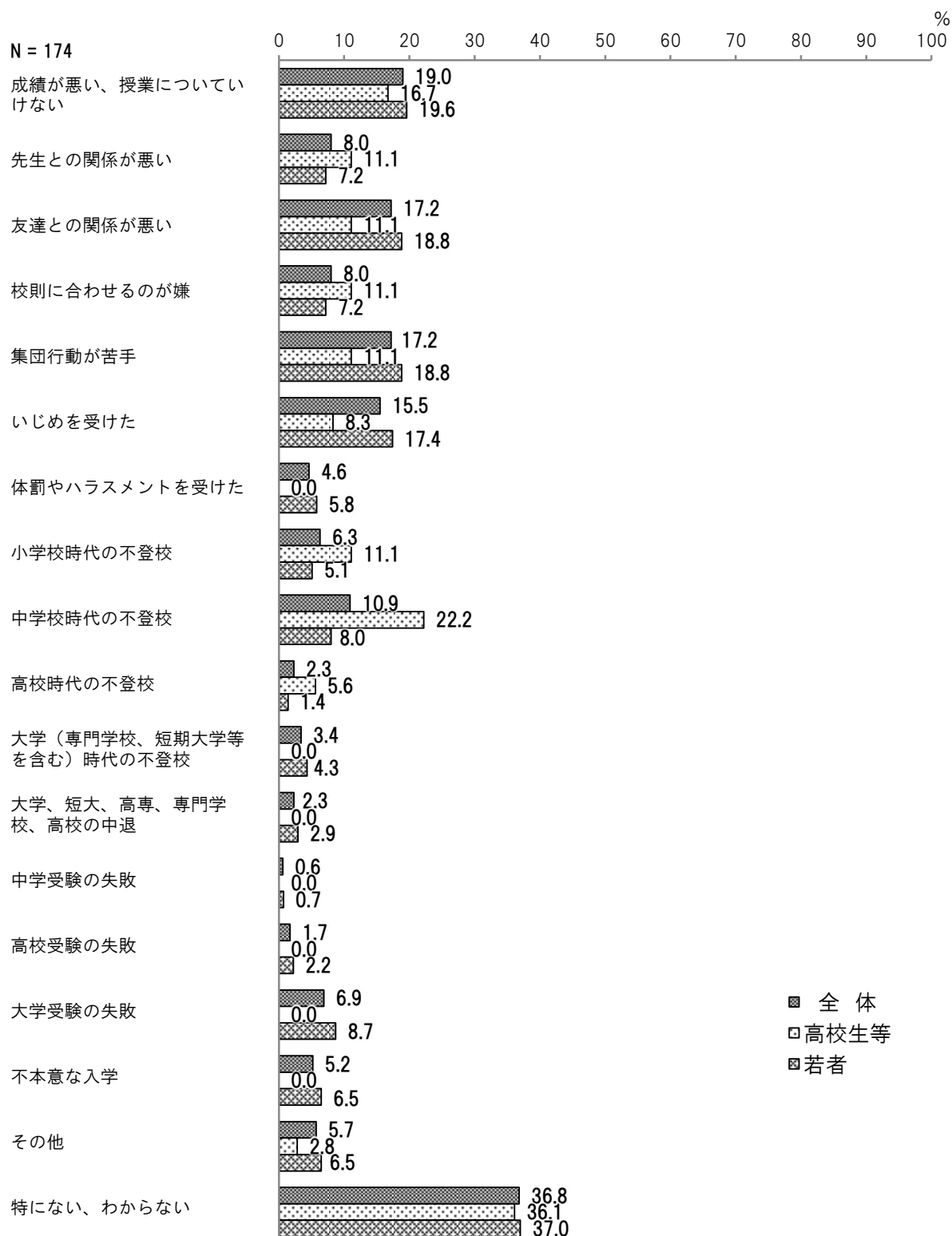
- ・ 高校生等、若者はいずれも「特にない、分からない」が最も多く、高校生等で 52.8%、若者で 40.6%でした。
- ・ 次いで、「家庭内の不和や離別（離婚）」は、高校生等で 13.9%、若者で 13.0%でした。



高 17 若 11)

■ 6-5-1 2) そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。：学校について（複数回答）

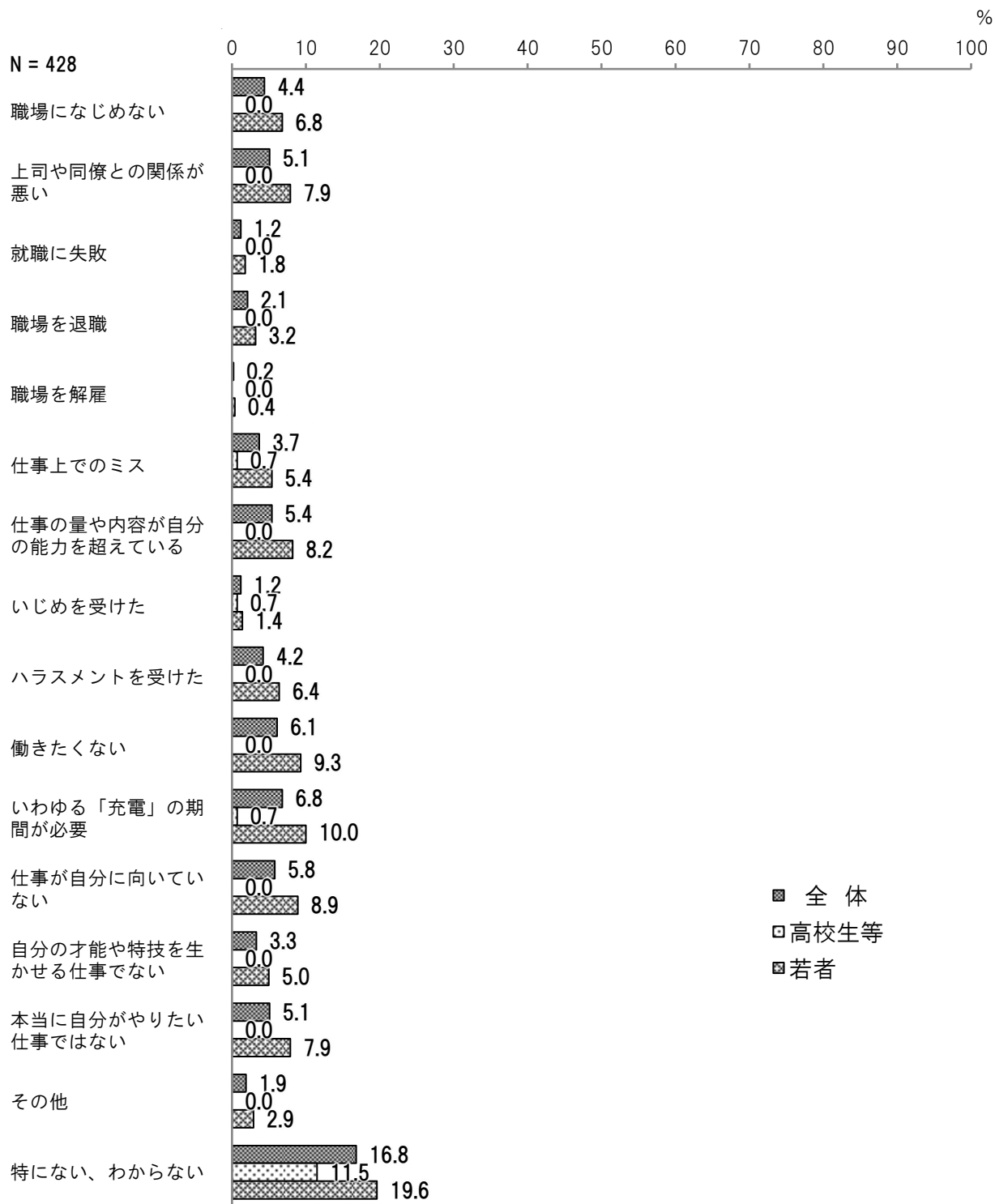
- ・ 高校生等、若者はいずれも「特にない、分からない」が最も多く、高校生等で 36.1%、若者で 37.0%でした。
- ・ 次いで、高校生等は「中学校時代の不登校」が 22.2%、若者は「成績が悪い、授業についていけない」が 19.6%でした。



高 17 若 11)

■ 6-5-1 3) そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。：仕事・職場について （複数回答）

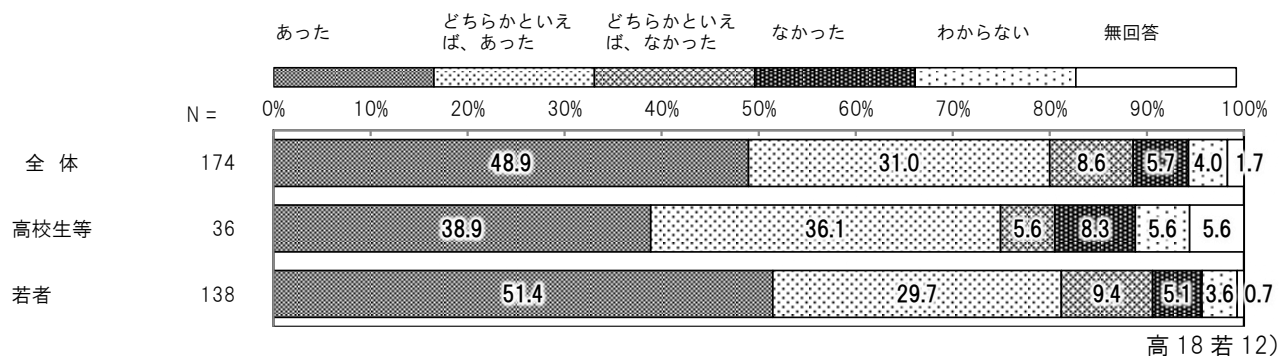
- ・ 高校生等、若者はいずれも「特にない、わからない」が最も多く、高校生等で 11.5%、若者で 19.6%でした。
- ・ 次いで、若者は「いわゆる「充電」の期間が必要」が 10.0%でした。



高 17 若 11)

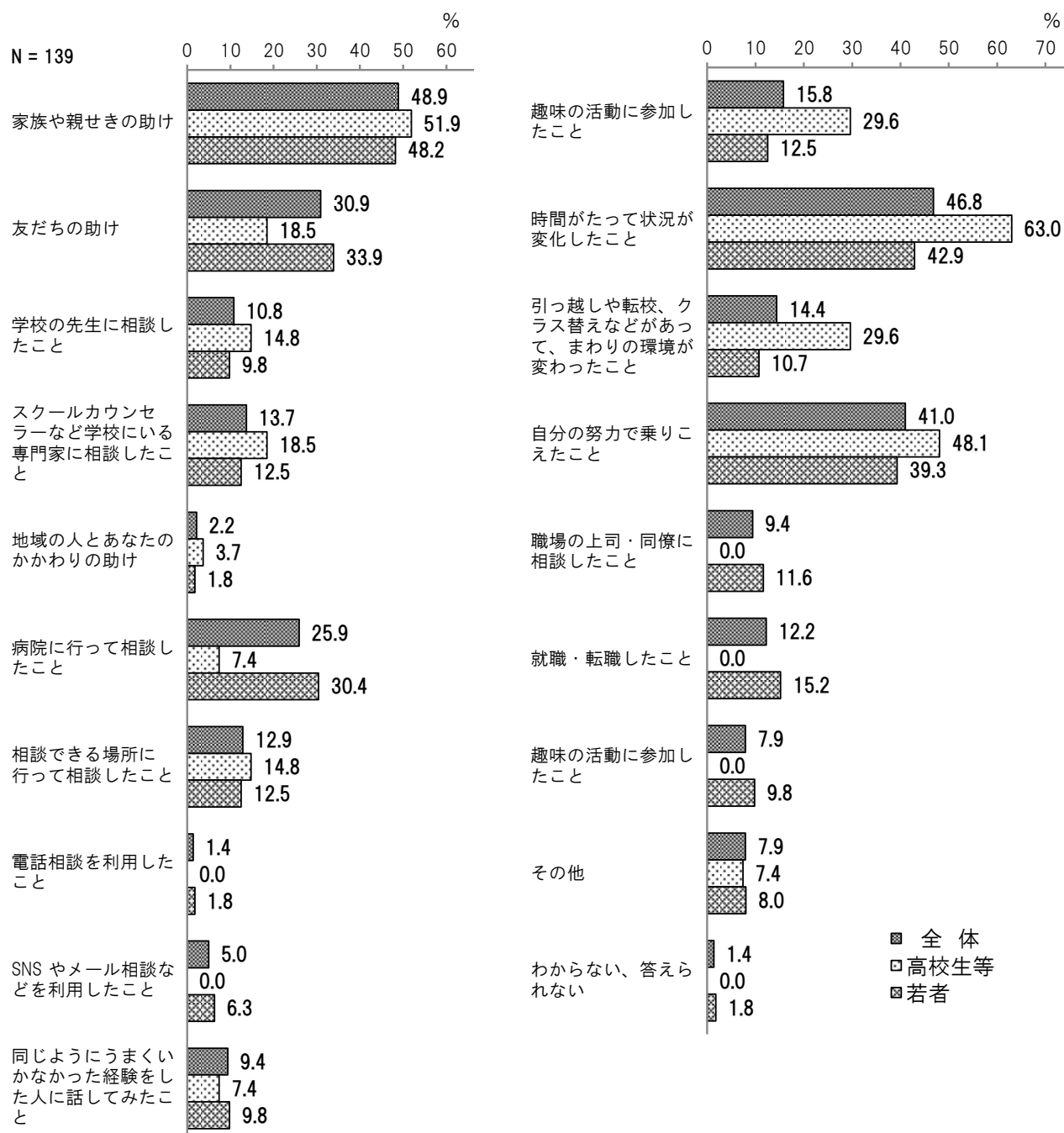
■ 6-5-1 4) あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。 SA

- ・ 高校生等と若者は「あった」「どちらかといえば、あった」の合計が「なかった」「どちらかといえば、なかった」の合計より多く、高校生等で 75.0%、若者で 81.1%でした。



■ 6-5-1 5) 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。 (複数回答)

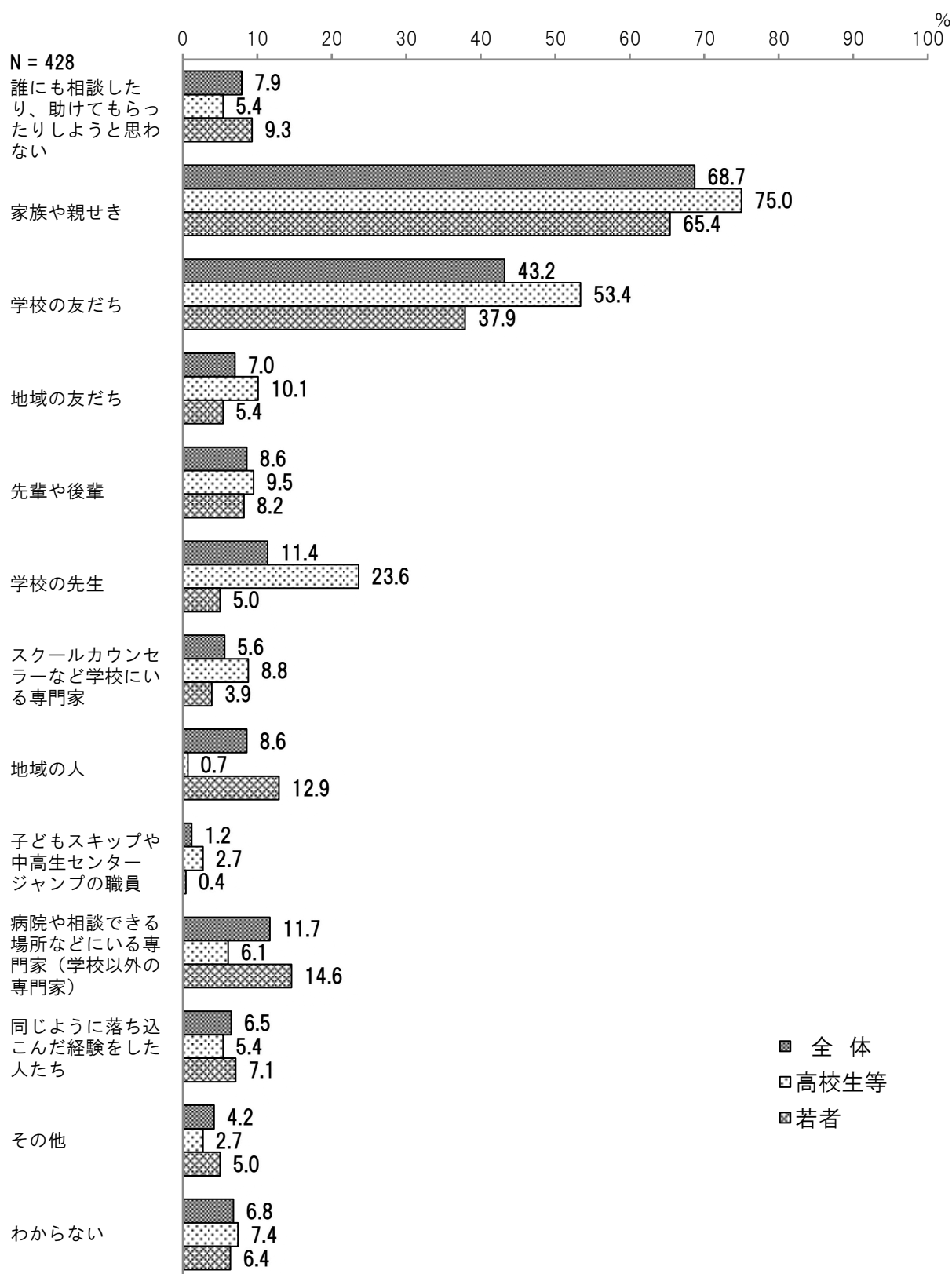
- ・ 高校生等は「時間がたって状況が変化したこと」が最も多く 63.0%、次いで「家族や親せきの助け」が 51.9%でした。若者は「家族や親せきの助け」が最も多く 48.2%、次いで「時間がたって状況が変化したこと」が 42.9%でした。



高 18 若 12)

■ 6-5-1 6) あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、どういった人に相談しますか。 (複数回答)

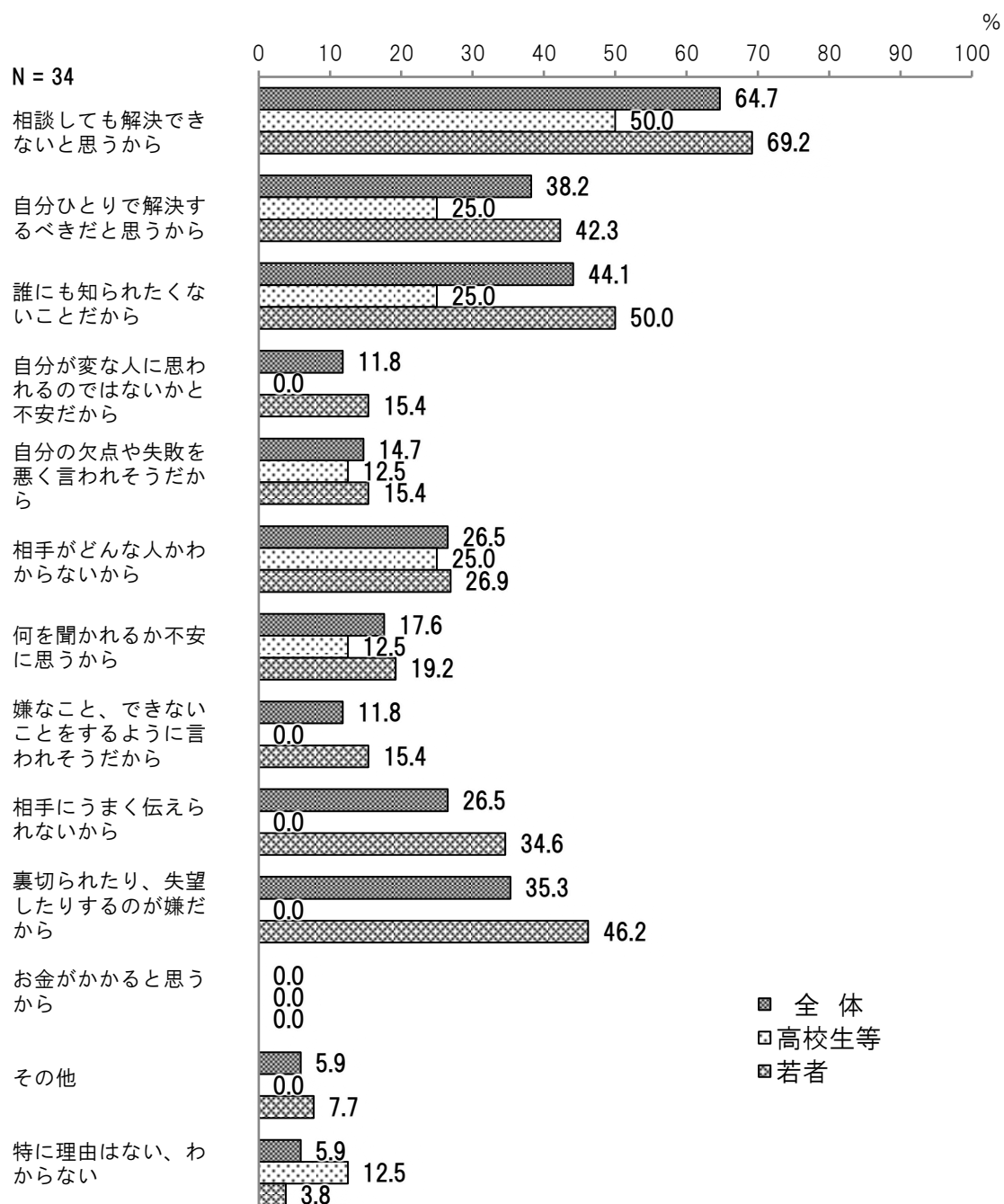
- ・ 高校生等と若者は「家族や親せき」が最も多く、高校生で 75.0%、若者で 65.4%、次いで「学校の友だち」が多く、高校生等で 53.4%、若者で 37.9%でした。



高 19 若 13)

■ 6-5-1 7) 「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」理由をお答えください。
（複数回答）

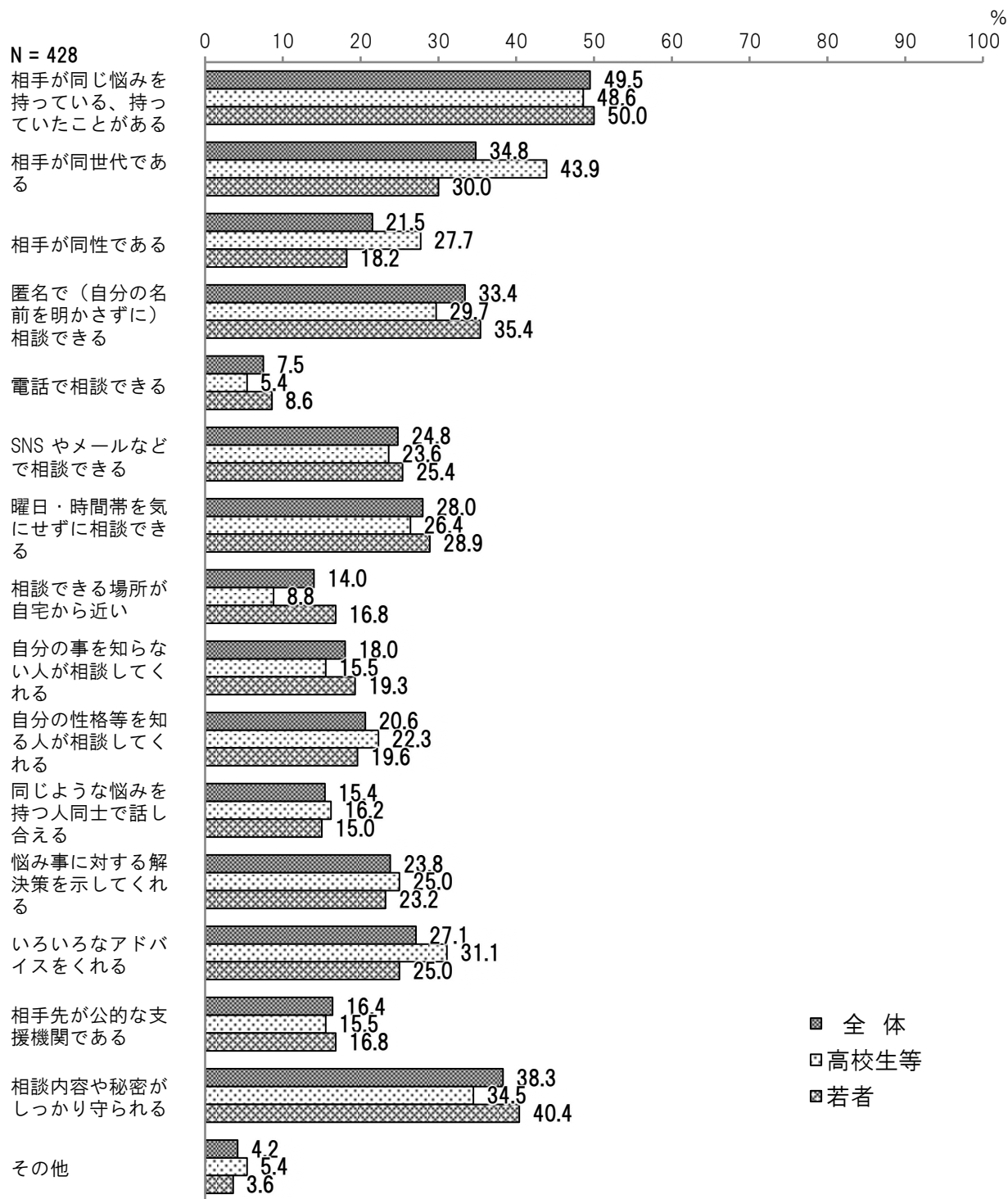
- ・ 高校生等は、「相談しても解決できないと思うから」が最も多く 50.0%、次いで「自分ひとりで解決すべきだと思うから」「誰にも知られたくないことだから」「相手がどんな人かわからないから」が 25.0%でした。
- ・ 若者は「相談しても解決できないと思うから」が最も多く 69.2%、次いで「誰にも知られたくないことだから」が 50.0%でした。



高 19 若 13)

■ 6-5-18) 家族や知り合い以外で、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。
(複数回答)

- ・ 高校生等は「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が最も多く 48.6%、次いで「相手が同世代である」が 43.9%でした。
- ・ 若者は「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が最も多く 50.0%、次いで「相談内容や秘密がしっかり守られる」が 40.4%でした。

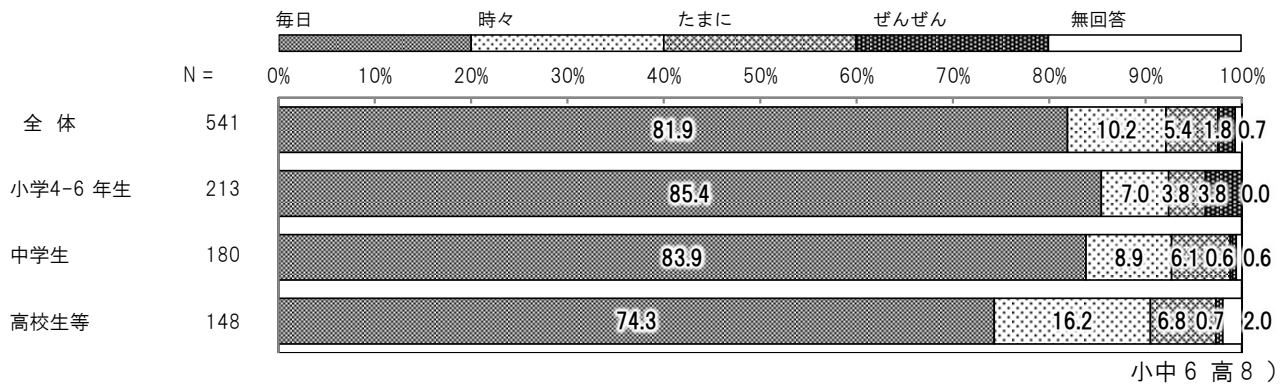


高 20 若 14)

6-6 つながり

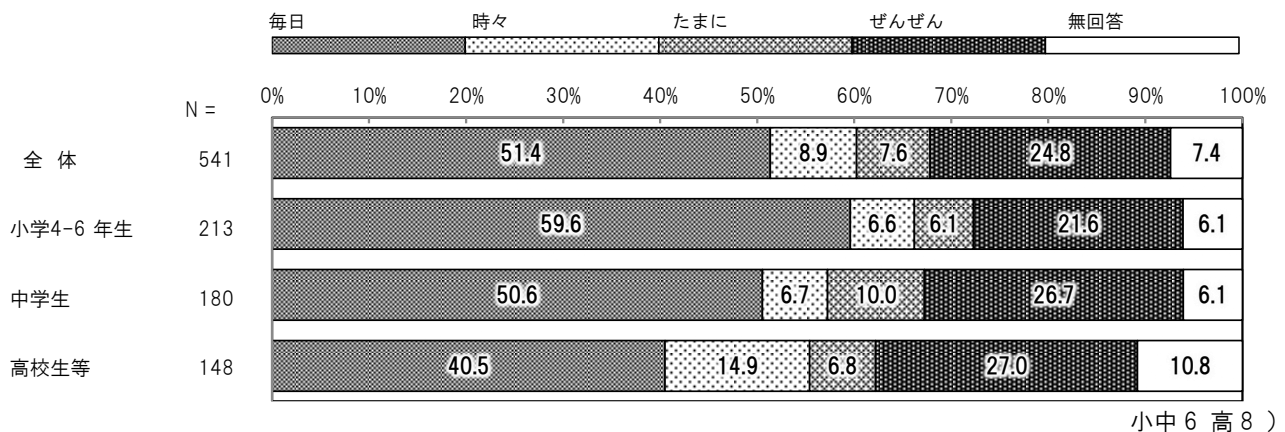
■6-6-1) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：ア 親 SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「毎日」「時々」の合計が「たまに」「ぜんぜん」の合計より多く、小学4-6年生で92.4%、中学生で92.8%、高校生等で90.5%でした。



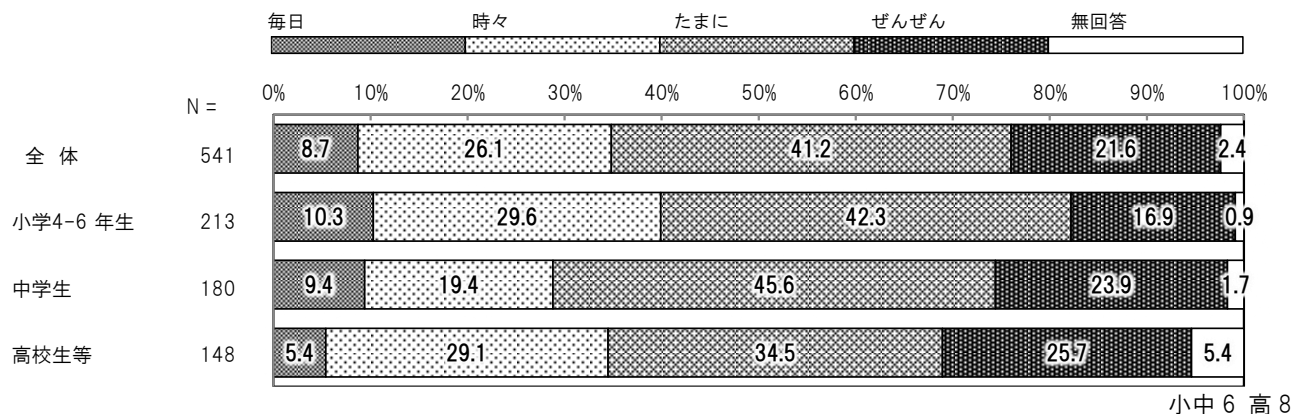
■6-6-2) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：イ 兄弟姉妹 SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「毎日」「時々」の合計が「たまに」「ぜんぜん」の合計より多く、小学4-6年生で66.2%、中学生で57.3%、高校生等で55.4%でした。



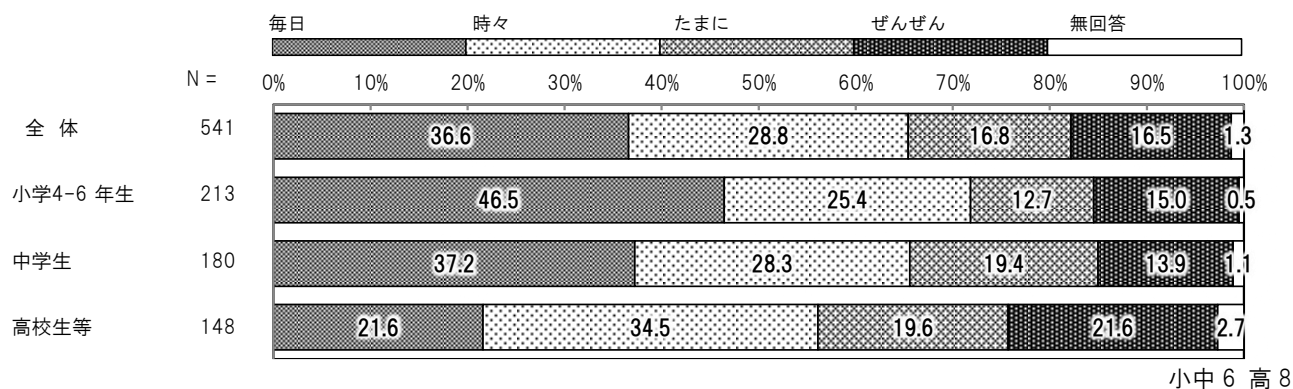
■6-6-3) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：ウ 祖父母・おじさん・おばさんなど SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学4-6年生で59.2%、中学生で69.5%、高校生等で60.2%でした。



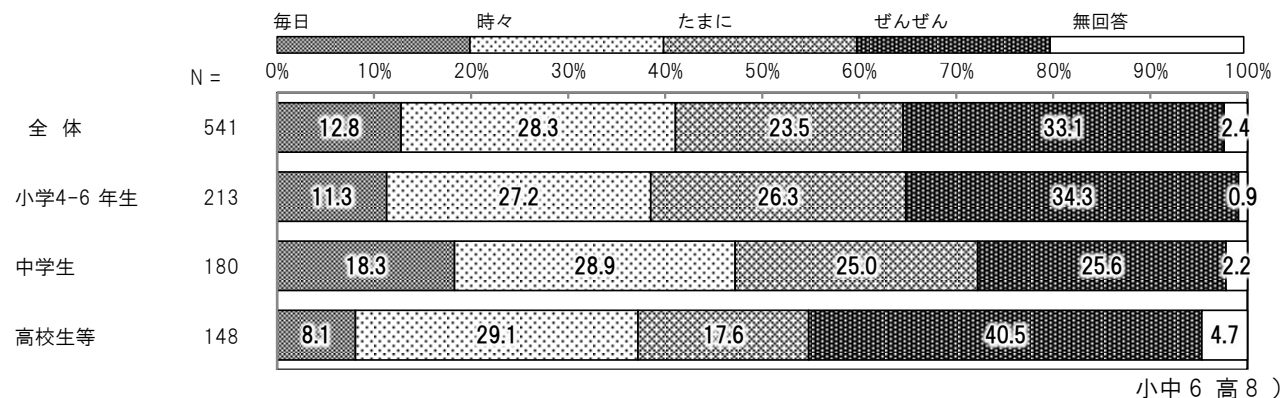
■6-6-4) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：エ 担任の先生 SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「毎日」「時々」の合計が「たまに」「ぜんぜん」の合計より多く、小学4-6年生で71.9%、中学生で65.5%、高校生等で56.1%でした。



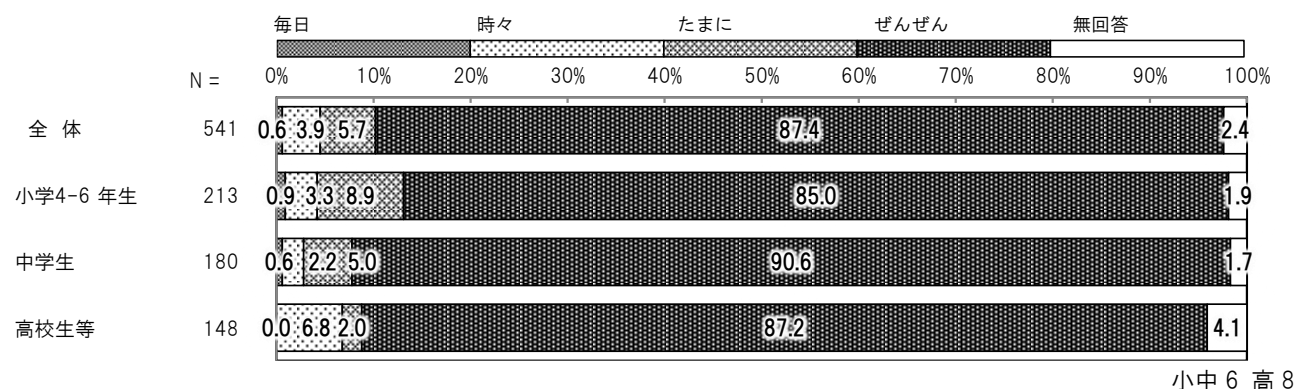
■ 6-6-5) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：オ クラブ活動や部活動の先生 SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学 4-6 年生で 60.6%、中学生で 50.6%、高校生等で 58.1%でした。



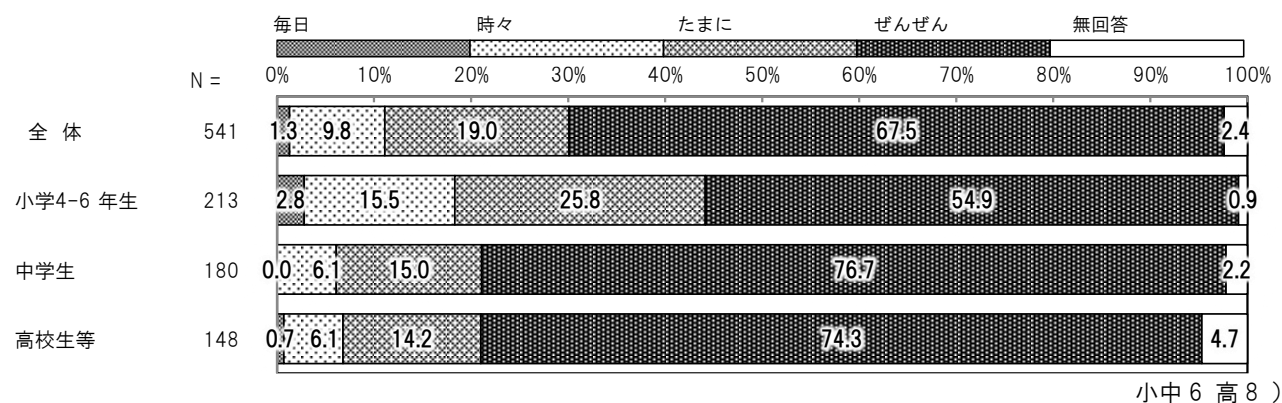
■ 6-6-6) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：カ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学 4-6 年生で 93.9%、中学生で 95.6%、高校生等で 89.2%でした。



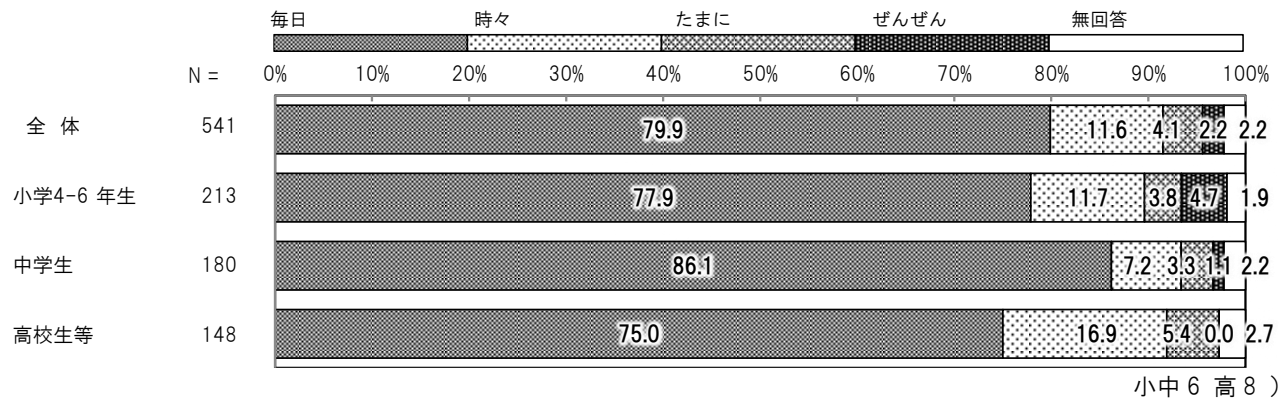
■ 6-6-7) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：キ 保健室の先生 SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学 4-6 年生で 80.7%、中学生で 91.7%、高校生等で 88.5%でした。



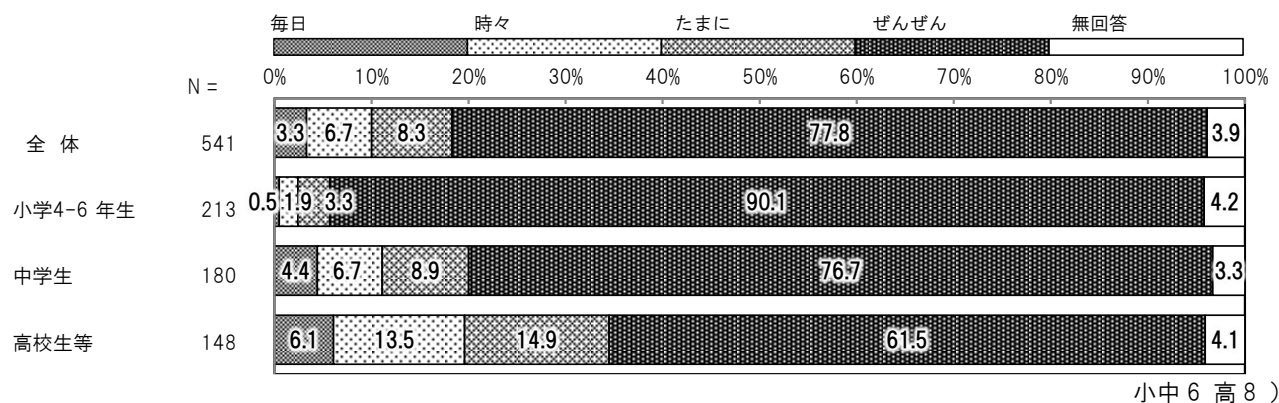
■ 6-6-8) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：ク 友だち SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「毎日」「時々」の合計が「たまに」「ぜんぜん」の合計より多く、小学 4-6 年生で 89.6%、中学生で 93.3%、高校生等で 91.9%でした。



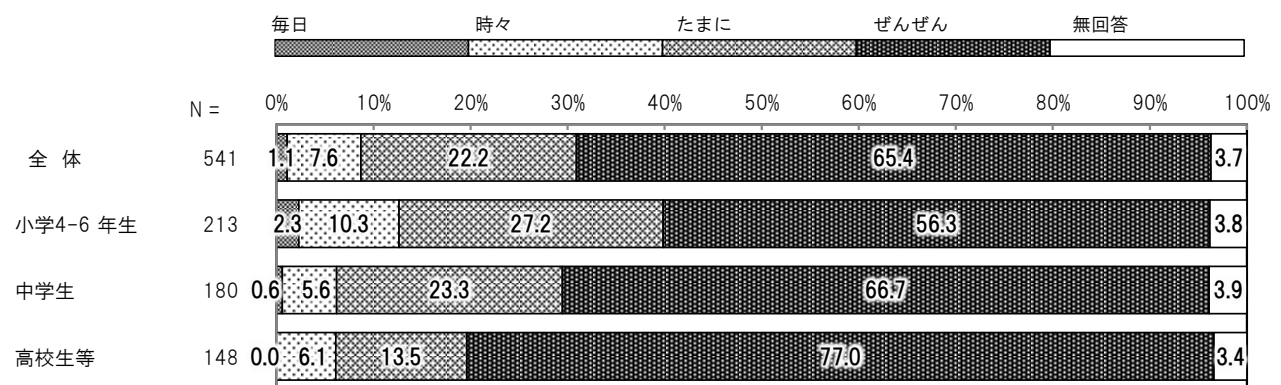
■ 6-6-9) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：ケ SNS を通じて知り合った人 SA

- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学 4-6 年生で 93.4%、中学生で 85.6%、高校生等で 76.4%でした。



■6-6-10) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：コ 近所の人や町内会の人 SA

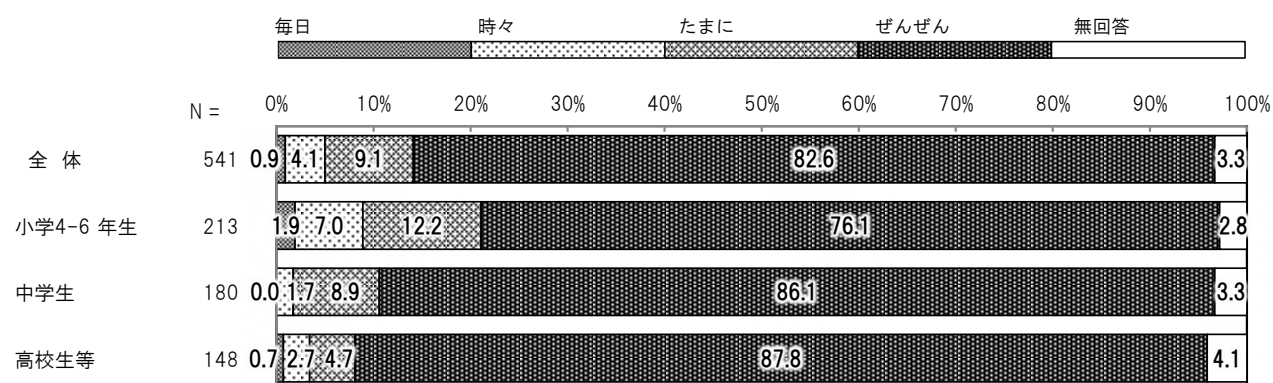
- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学4-6年生で83.5%、中学生で90.0%、高校生等で90.5%でした。



小中6 高8)

■6-6-11) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：サ 学童クラブ・子どもスキップ・中高生センタージャンプ・図書館・アシスとしまなどの人 SA

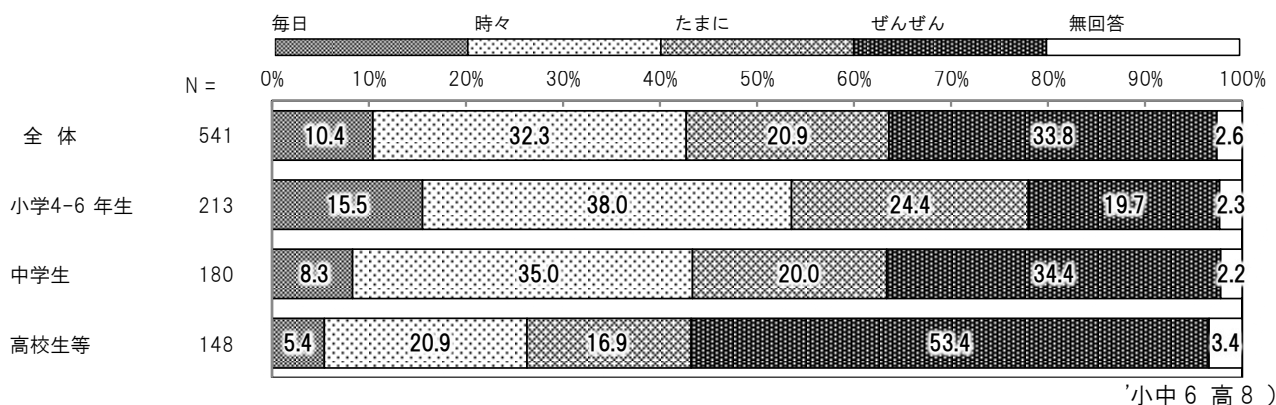
- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学4-6年生で88.3%、中学生で95.0%、高校生等で92.5%でした。



小中6 高8)

■ 6-6-1 2) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：シ スポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など SA

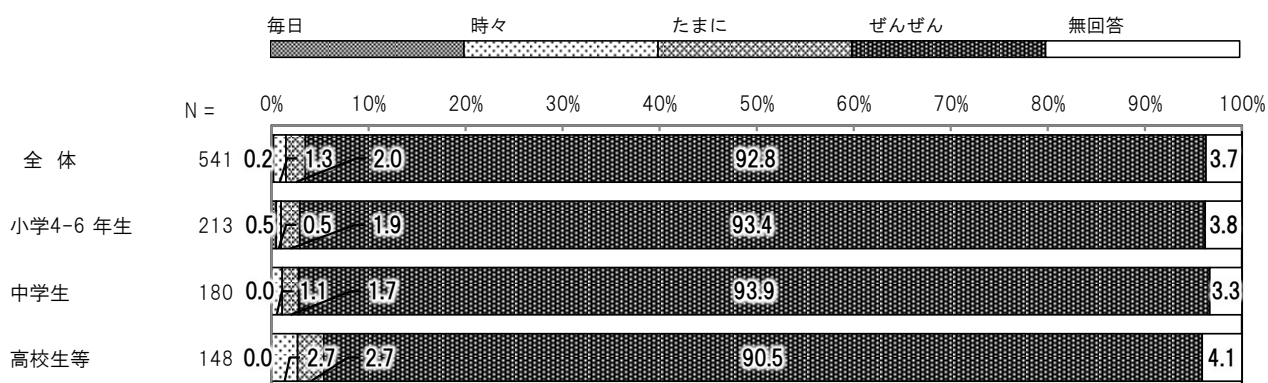
- ・ 小学 4-6 年生は「毎日」「時々」の合計が 53.5%でした。
- ・ 中学生と高校生等は「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、中学生で 54.4%、高校生等で 70.3%でした。



(小中 6 高 8)

■ 6-6-1 3) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：ス 子ども食堂や無料学習支援事業の人 SA

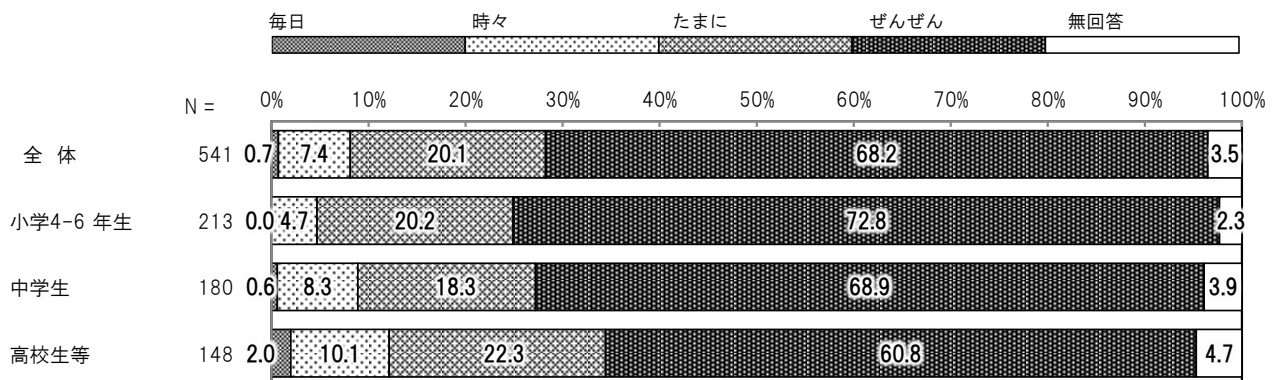
- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学 4-6 年生で 95.3%、中学生で 95.6%、高校生等で 93.2%でした。



(小中 6 高 8)

■ 6-6-1 4) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：セ コンビニの店員さんなどお店の人 SA

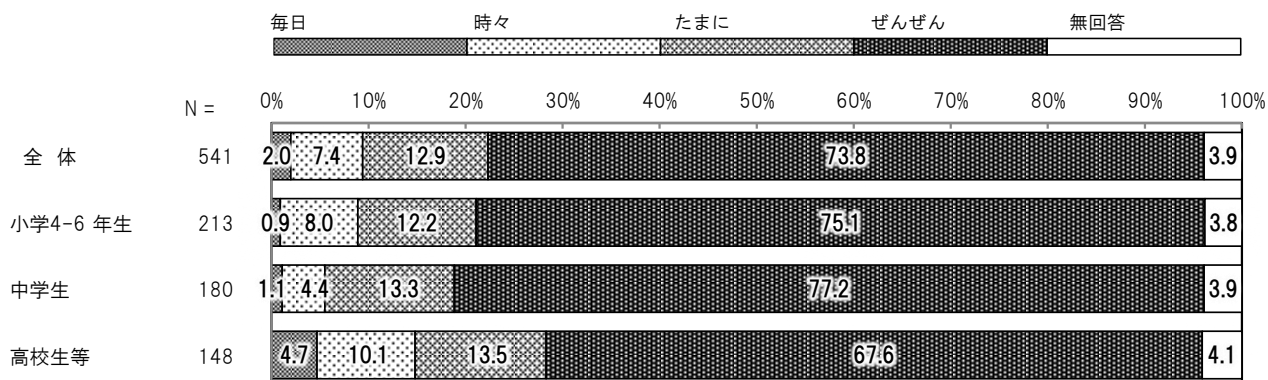
- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学 4-6 年生で 93.0%、中学生で 87.2%、高校生等で 83.1%でした。



小中 6 高 8)

■ 6-6-1 5) あなたは、他の人とどれくらい話したり、やりとりしたりしますか。：ソ その他の大人 SA

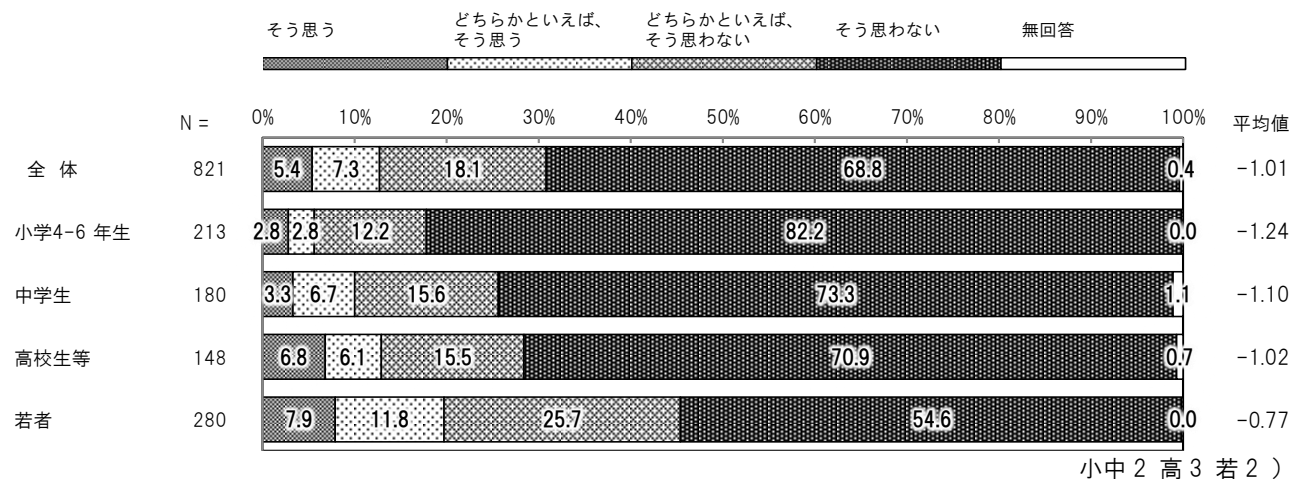
- ・ 小学 4-6 年生と中学生、高校生等はいずれも「たまに」「ぜんぜん」の合計が「毎日」「時々」の合計より多く、小学 4-6 年生で 87.3%、中学生で 90.5%、高校生等で 81.1%でした。



小中 6 高 8)

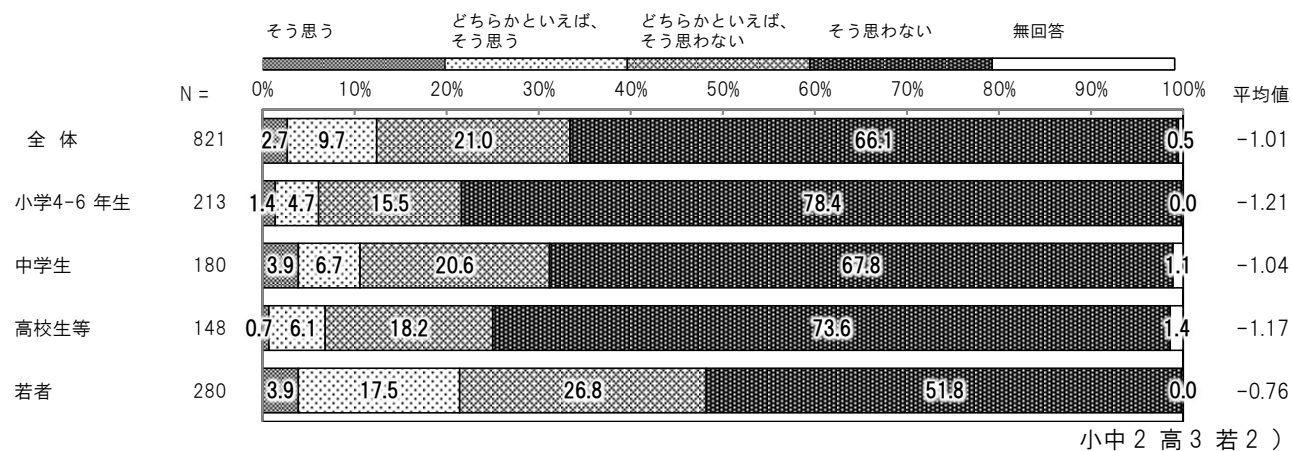
■ 6-6-1 6) 次の項目について、あなたはどれくらいはまりますか。：ア 自分には話せる人がいない SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で94.4%、中学生で88.9%、高校生等で86.4%、若者で80.3%でした。



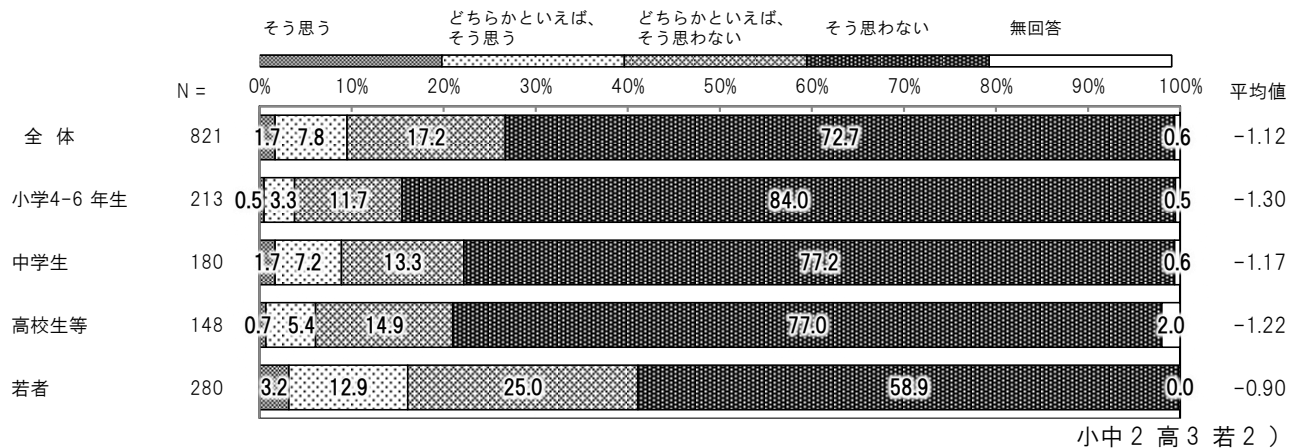
■ 6-6-1 7) 次の項目について、あなたはどれくらいはまりますか。：イ 自分はまわりから取り残されている SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で93.9%、中学生で88.4%、高校生等で91.8%、若者で78.6%でした。



■ 6-6-1 8) 次の項目について、あなたはどれくらいはまりますか。：ウ 自分はひとりぼっ
だ SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、小学4-6年生で95.7%、中学生で90.5%、高校生等で91.9%、若者で83.9%でした。



■6-6-1 9) 一緒に住んでいる人・家族・親族、学校で出会った友人、地域の人、職場・アルバイト関係の人、インターネット上における人やグループとあなたのかかわり： SA

- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも「一緒に住んでいる人・家族・親族」と全体的にかかわりが強い傾向がありました。
- ・ 高校生等、若者は、地域の人とかかわりがあると思う程度が弱い傾向がありました。
- ・ 小学4-6年生と中学生、高校生等、若者はいずれも、インターネット上における人やグループとのかかわりは弱い傾向がありました。

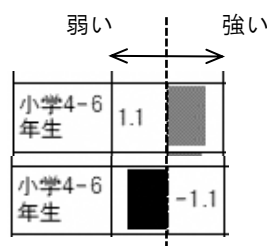
平均値	一緒に住んでいる人・家族・親族とあなたのかかわり						学校で出会った友人と、あなたの現在のかかわり					
	何でも悩みを相談できる人がいる	困ったときは助けしてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	会話やメール、SNSのやりとりをよくする	楽しく話せる時がある	いつもつながりを感じている	何でも悩みを相談できる人がいる	困ったときは助けしてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	会話やメール、SNSのやりとりをよくする	楽しく話せる時がある	いつもつながりを感じている
小学4-6年生	1.1	1.2	0.9				0.7	1.0	0.5			
中学生	1.0	1.1	0.7				0.7	0.9	0.6			
高校生等	1.0	1.2	0.8	0.7	1.2	1.1	0.8	1.0	0.7	0.9	1.2	0.9
若者	0.8	1.1	0.7	0.8	1.1	0.9	0.7	0.7	0.6	0.5	1.1	0.5

平均値	地域の人と、あなたのかかわり						職場・アルバイト関係の人と、あなたの現在のかかわり					
	何でも悩みを相談できる人がいる	困ったときは助けしてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	会話やメール、SNSのやりとりをよくする	楽しく話せる時がある	いつもつながりを感じている	何でも悩みを相談できる人がいる	困ったときは助けしてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	会話やメール、SNSのやりとりをよくする	楽しく話せる時がある	いつもつながりを感じている
小学4-6年生		-0.3	0.2			-0.5						
中学生		-0.3	0.0			-0.5						
高校生等		-0.7	-0.1	-0.9	-1.0	-0.2	-0.7	0.8	0.9	0.6	0.7	0.9
若者		-1.1	-0.8	-1.2	-1.2	-0.8	-1.1	0.7	0.8	0.6	0.7	0.9

平均値	インターネット上における人やグループと、あなたのかかわり					
	何でも悩みを相談できる人がいる	困ったときは助けしてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	会話やメール、SNSのやりとりをよくする	楽しく話せる時がある	いつもつながりを感じている
小学4-6年生		-1.1	-1.1	-1.2		
中学生		-0.9	-0.8	-0.9		
高校生等		-1.0	-0.9	-0.9	-0.6	-0.3
若者		-0.9	-0.9	-0.7	-0.7	-0.4

＜表の見方＞

「そう思う」～「そう思わない」を点数化した平均値で、かかわり方ごとの関係の強さを表しています。

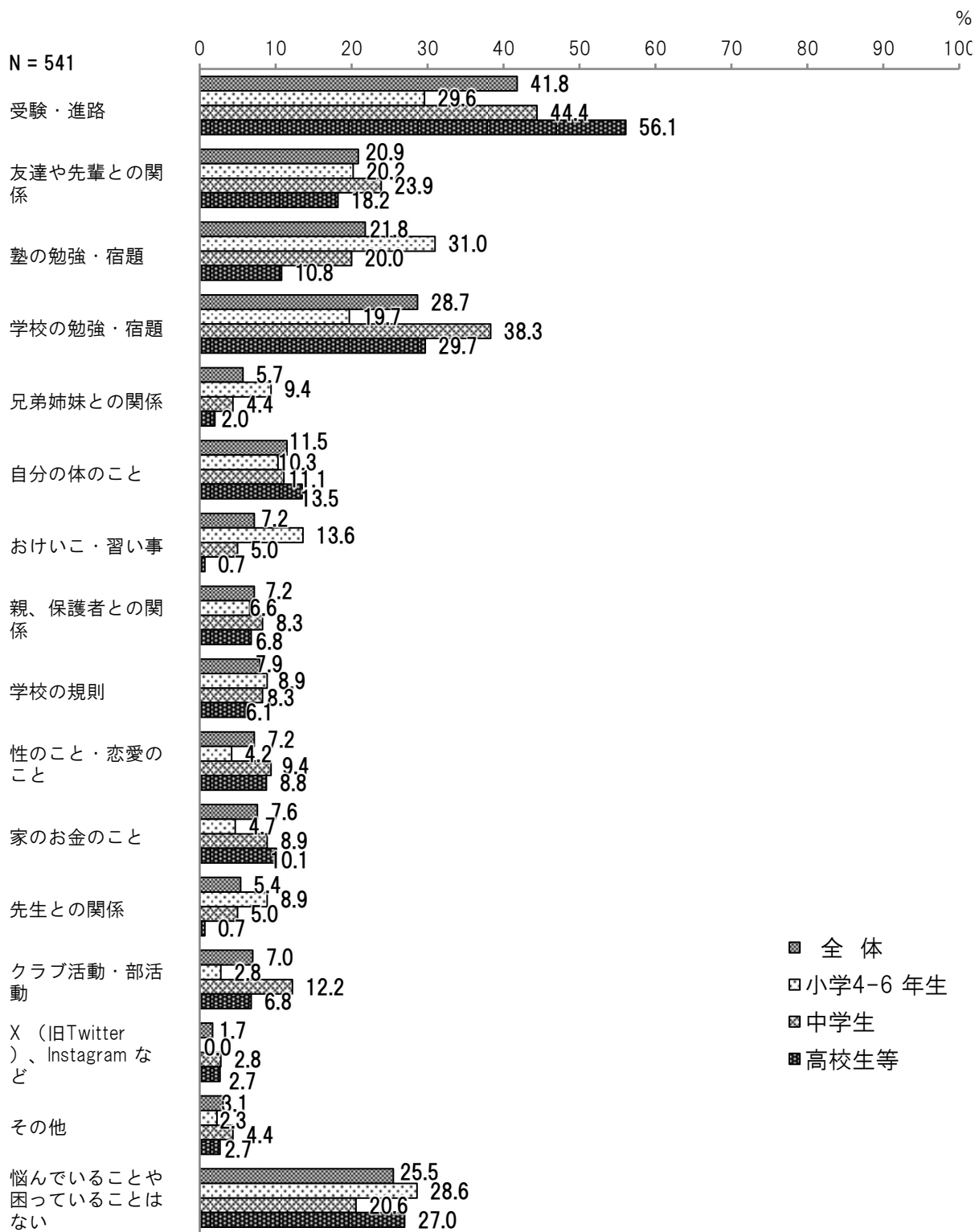


小中5 高6 若4)

6-7 相談機関や施策

■ 6-7-1) 悩んでいることや困ったことはありますか (複数回答)

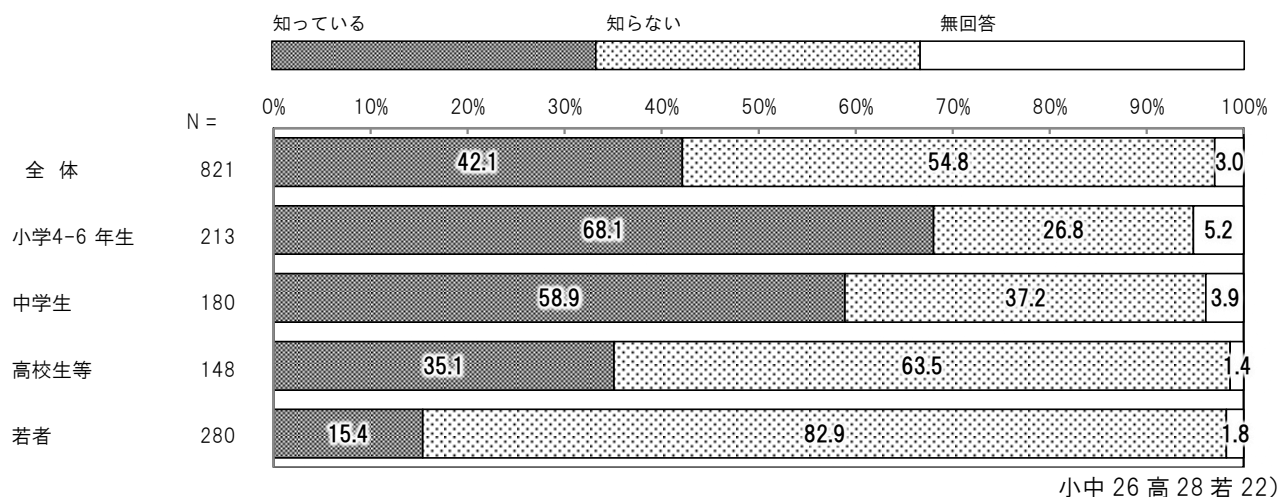
- ・ 小学4-6年生では「塾の勉強・宿題」が最も多く31.0%、次いで「受験・進路」が29.6%でした。
- ・ 中学生と高校生等はどちらも「受験・進路」が最も多く中学生で44.4%、高校生等で56.1%、次いで「学校の勉強・宿題」が多く中学生で38.3%、高校生等で29.7%でした。



小中 19 高 29)

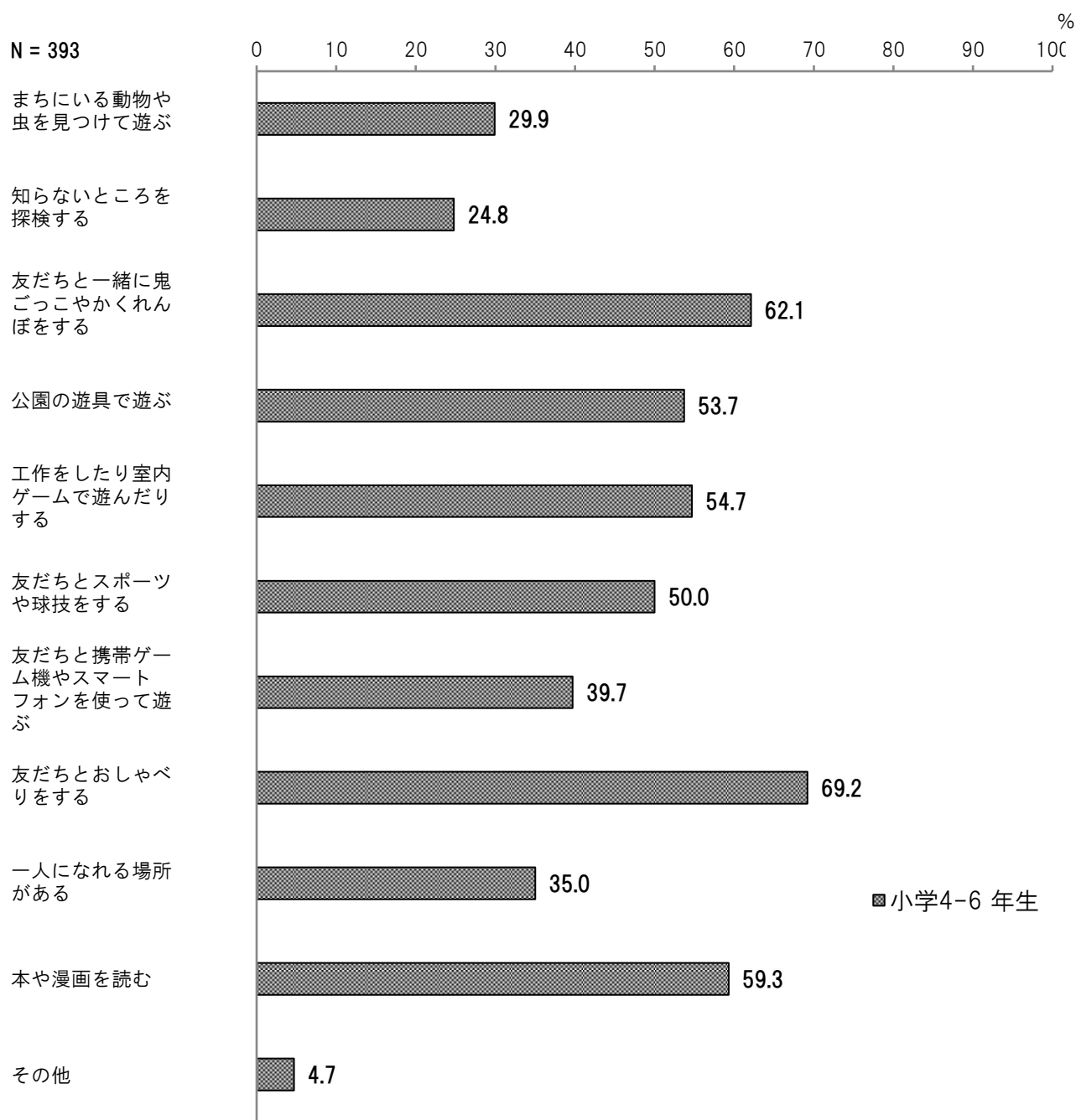
■6-7-2) あなたは、家庭や学校以外で、悩みやこまりごとなどを相談できる場所（なやミフリーダイヤル、アシスとしまなど）があることを知っていますか SA

- ・ 小学4-6年生と中学生では「知っている」が多く、小学4-6年生で68.1%、中学生で58.9%でした。
- ・ 高校生等と若者は「知らない」が多く、高校生等で63.5%、若者で82.9%でした。



■ 6-7-3) あなたは、地域の中にどんな遊びができる場所があるといいと思いますか。 (複数回答)

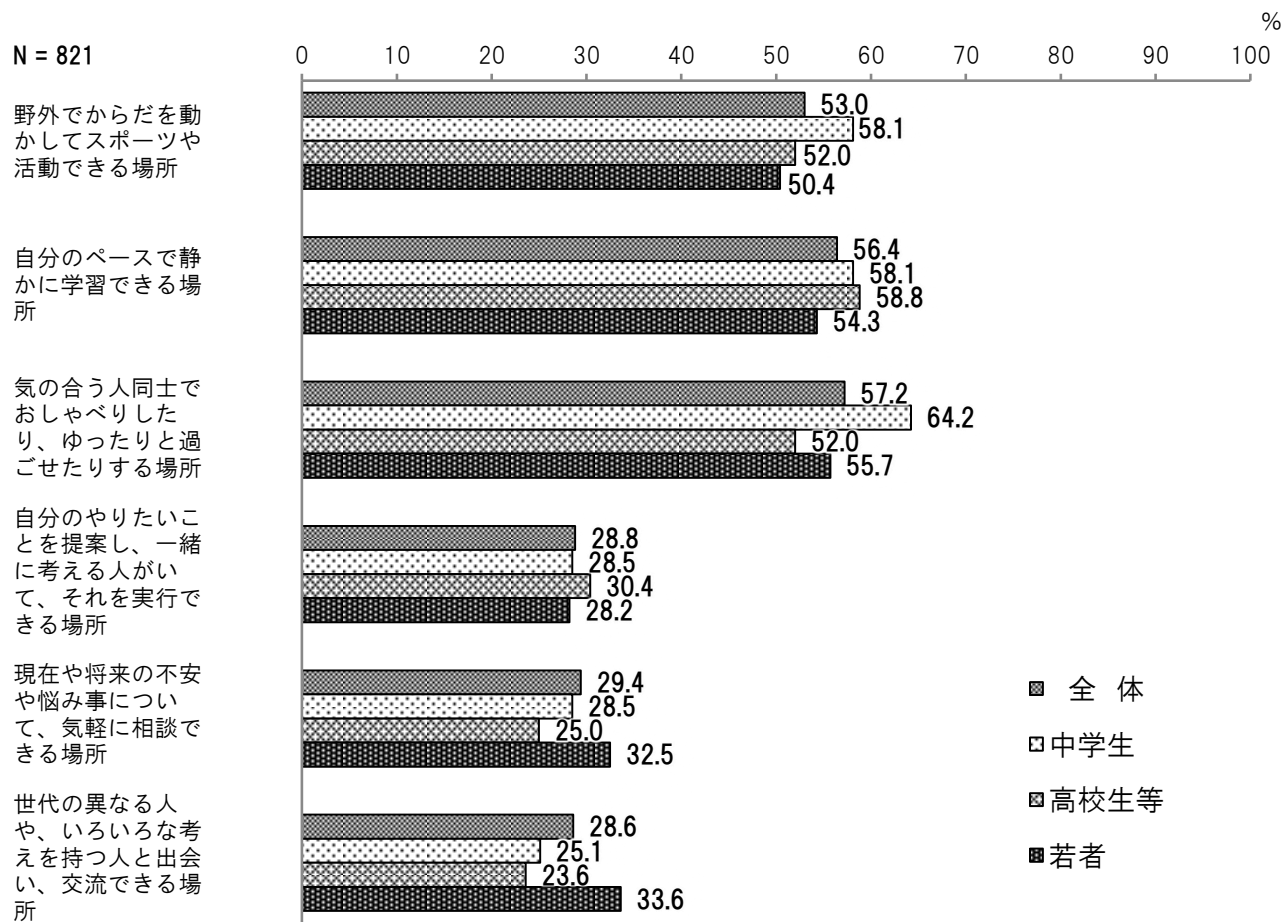
- ・ 小学4-6年生は「友だちとおしゃべりをする」が最も多く 69.2%、次いで「友だちと一緒に鬼ごっこやかくれんぼをする」が 62.1%でした。



小中 10)

■ 6-7-4) あなたは、地域の中にどのような場所があるとよいと思いますか。 (複数回答)

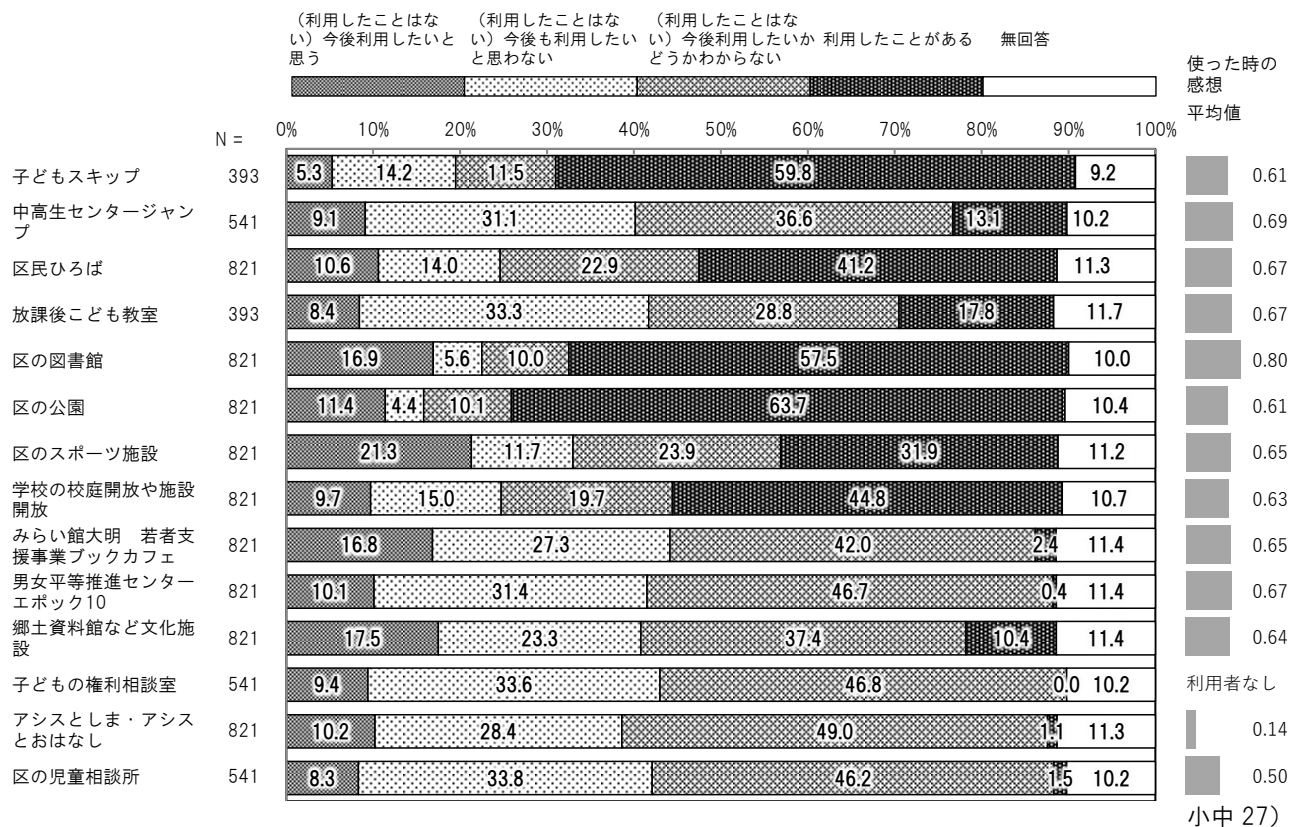
- ・中学生は「気の合う人同士でおしゃべりしたり、ゆったりと過ごせたりする場所」が最も多く 64.2%、次いで「野外でからだを動かしてスポーツや活動できる場所」と「自分のペースで静かに学習できる場所」が 58.1%でした。
- ・高校生等は「自分のペースで静かに学習できる場所」が最も多く 58.8%、次いで「野外でからだを動かしてスポーツや活動できる場所」と「気の合う人同士でおしゃべりしたり、ゆったりと過ごせたりする場所」が 52.0%でした。
- ・若者は「気の合う人同士でおしゃべりしたり、ゆったりと過ごせたりする場所」が最も多く 55.7%、次いで「自分のペースで静かに学習できる場所」が 54.3%でした。



小中 11 高 10 若 6)

■ 6-7-5) 小中 27) あなたは、次のア～セの豊島区の施設を使ったことがありますか。 SA

- ・ 区の公園は、「利用したことがある」が最も多く 63.7%で、次いで子どもスキップが多く 59.8%でした。「(利用したことはない) 今後利用したいと思う」が最も多いのは、区のスポーツ施設で 21.3%、次いで郷土資料館など文化施設で 17.5%でした。
- ・ 使った時の感想(満足～不満)の平均値が最も高いのは、区の図書館でした。

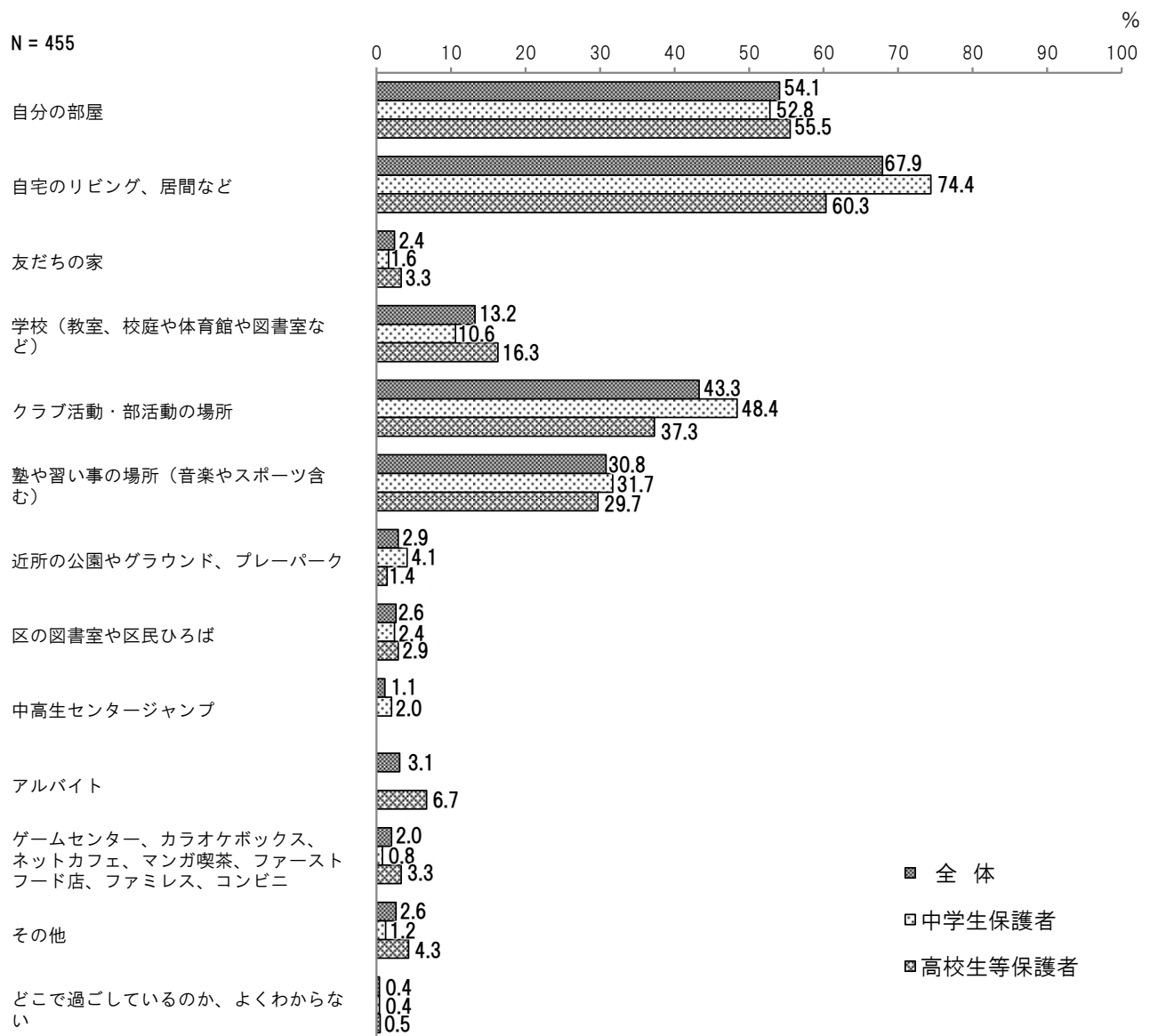


7 保護者から把握した状況

7-1 放課後の居場所と進学

■ 7-1-1) お子さんは、放課後や勤務時間外の自由時間はどこで過ごすことが多いですか。また、過ごさせたいと思いますか。：過ごすことが多い場所（複数回答）

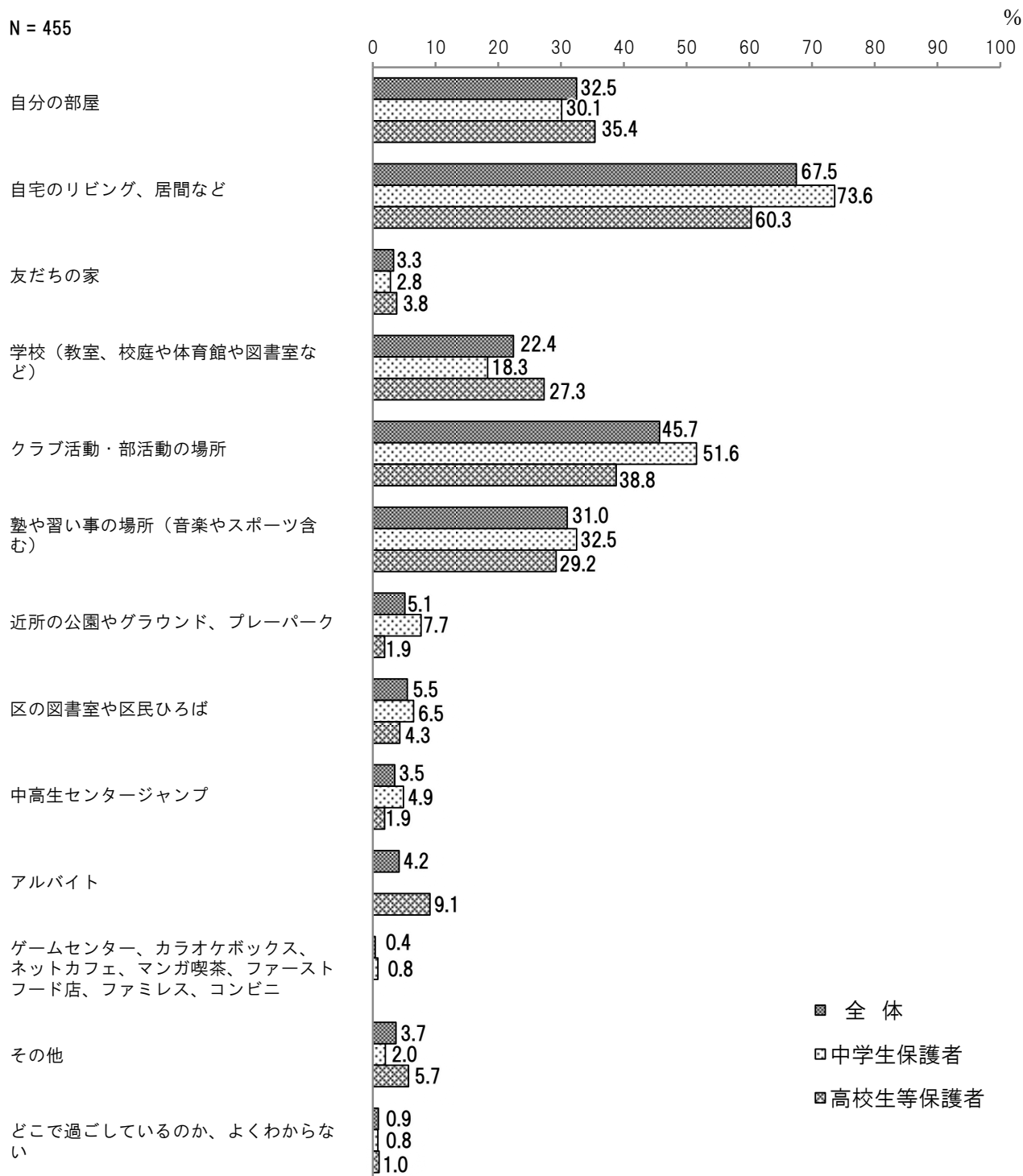
- ・ 中学生保護者と高校生等保護者はどちらも「自宅のリビング、居間など」が最も多く中学生保護者で 74.4%、高校生等保護者で 60.3%、次いで「自分の部屋」が多く中学生保護者で 52.8%、高校生等保護者で 55.5%でした。



中高保 9)

■ 7-1-2) お子さんは、放課後や勤務時間外の自由時間はどこで過ごすことが多いですか。また、過ごさせたいと思いますか。：過ごさせたい場所（複数回答）

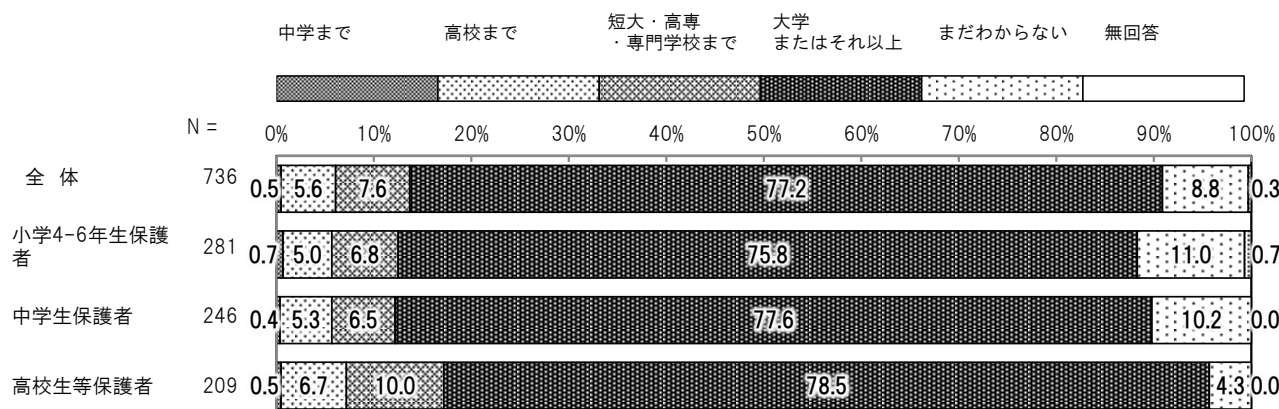
- ・ 中学生保護者と高校生保護者はどちらも「自宅のリビング、居間など」が最も多く中学生保護者で 73.6%、高校生等保護者で 60.3%でした。次いで「クラブ活動・部活動の場所」が多く中学生保護者で 51.6%、高校生等保護者で 38.8%でした。



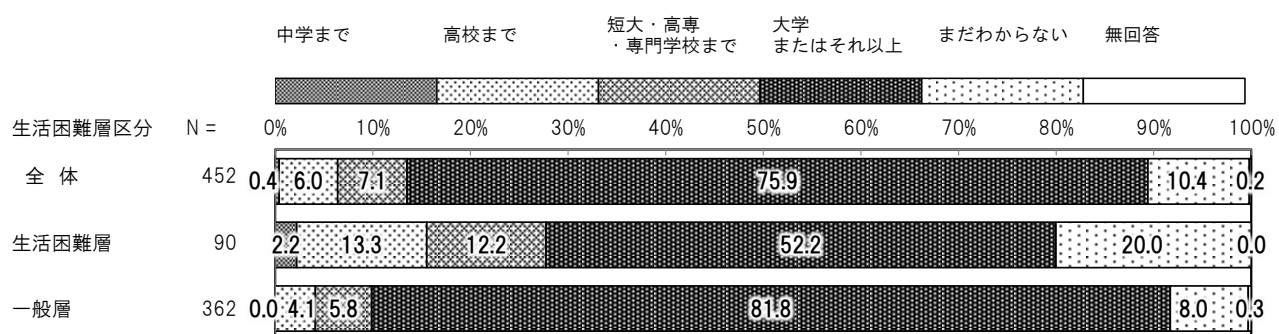
中高保 9)

■ 7-1-3) お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。 SA

- ・ 「大学またはそれ以上」が最も多く小学4-6年生保護者で75.8%、中学生保護者で77.6%、高校生等保護者で78.5%でした。



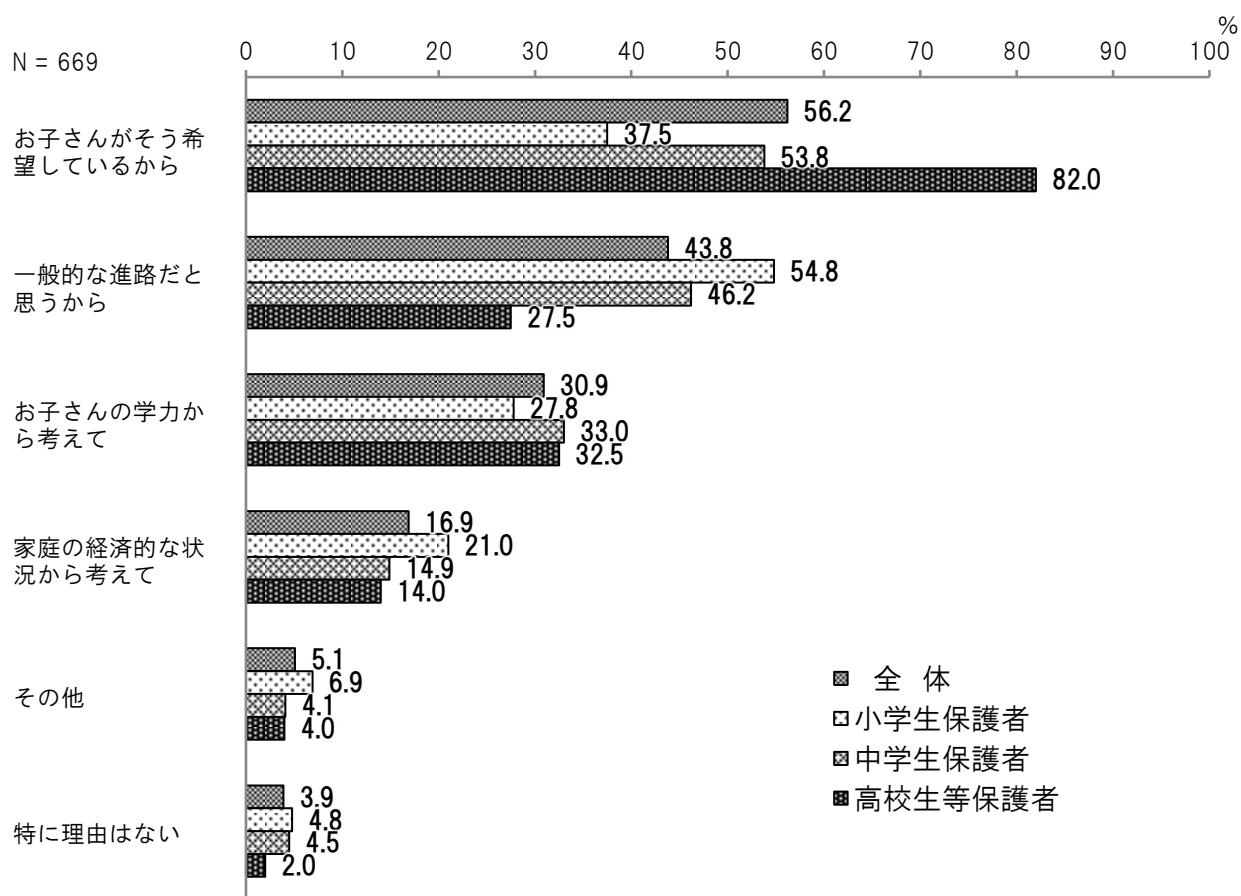
- ・ 生活困難層と一般層はいずれも「大学またはそれ以上」が最も多く、生活困難層で52.2%、一般層で81.8%、次いで「まだわからない」が、生活困難層で20.0%、一般層で8.0%でした。



小保 30 中高保 18)

■ 7-1-4) その段階まで進学する理由は何ですか。 (複数回答)

- ・ 小学生保護者では「一般的な進路だと思うから」が最も多く 54.8%、中学生保護者では「お子さんがそう希望しているから」が最も多く 53.8%、高校生等保護者では「お子さんがそう希望しているから」が最も多く 82.0%でした。

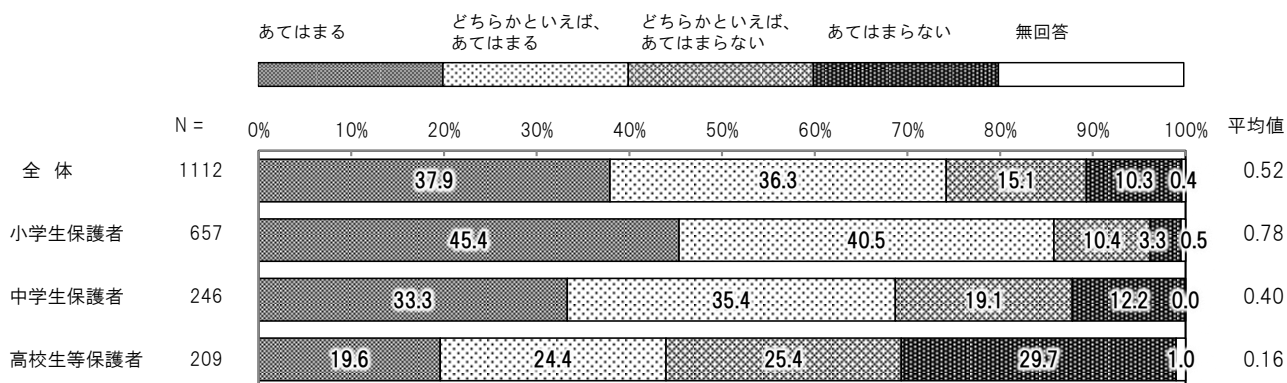


小保 30 中高保 18)

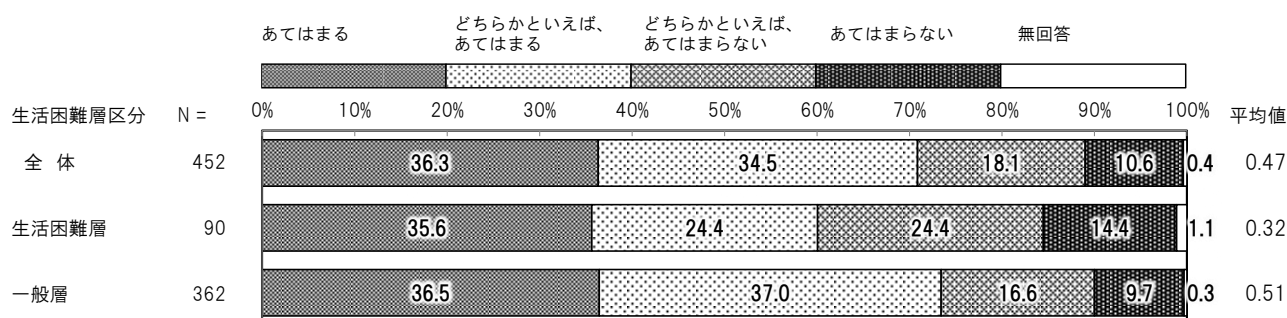
7-2 子どもや地域との関わり方

■ 7-2-1) あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。：ア テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、小学生保護者で 85.9%、中学生保護者で 68.7%でした。



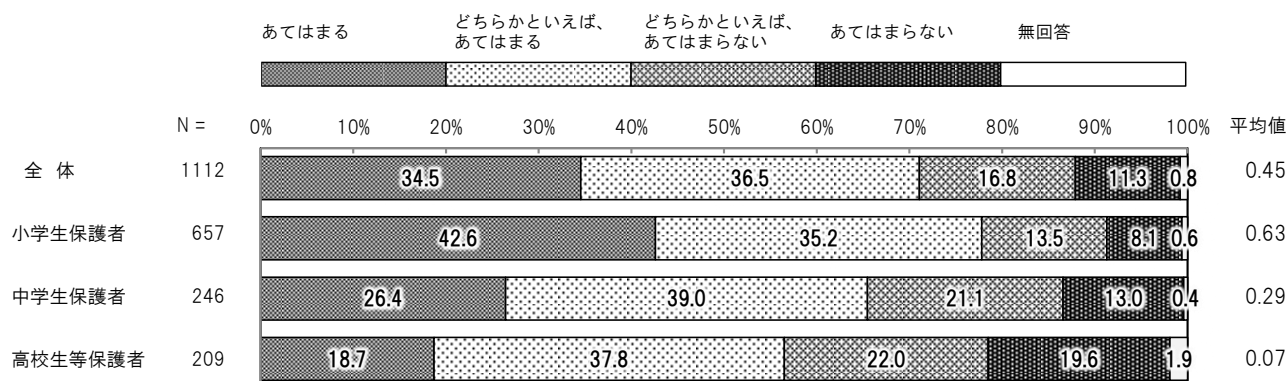
- ・生活困難層は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、60.0%でした。
- ・一般層は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、73.5%でした。



小保 18 中高保 15)

■ 7-2-2) あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。：イ お子さんに本や新聞を読むように勧めている SA

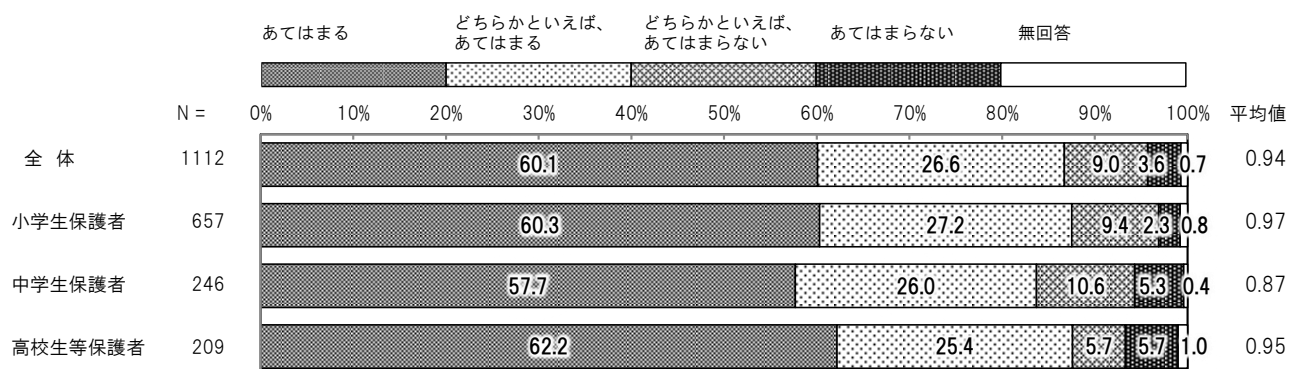
- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、小学生保護者で 77.8%、中学生保護者で 65.4%、高校生等保護者で 56.5%でした。



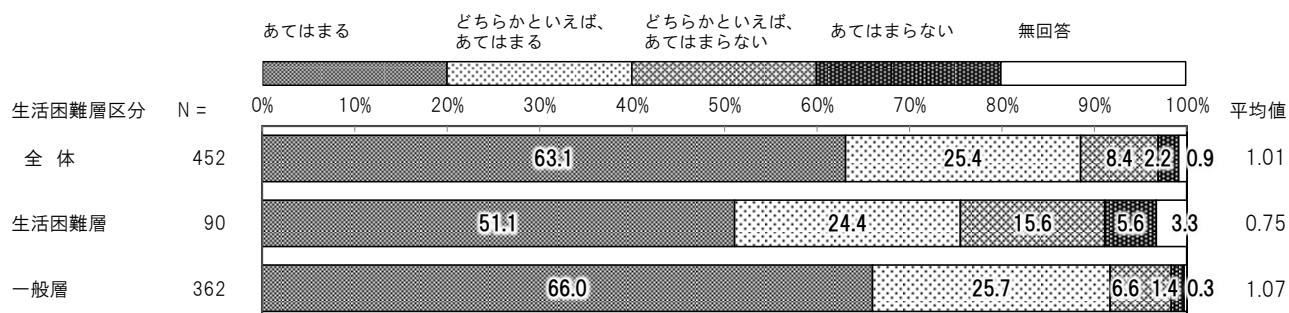
小保 18 中高保 15)

■ 7-2-3) あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。：ウ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、小学生保護者で 87.5%、中学生保護者で 83.7%、高校生等保護者で 87.6%でした。



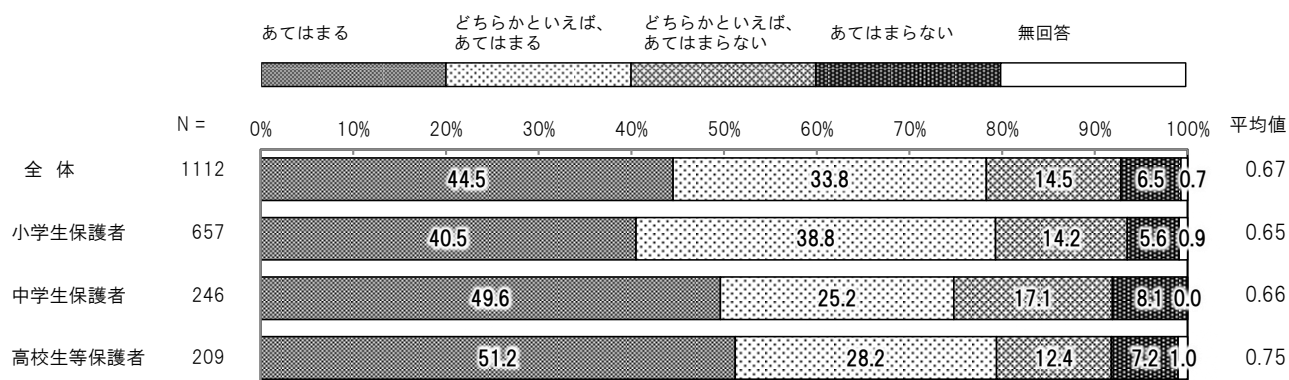
- ・ 生活困難層は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、75.5%でした。
- ・ 一般層は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、91.7%でした。



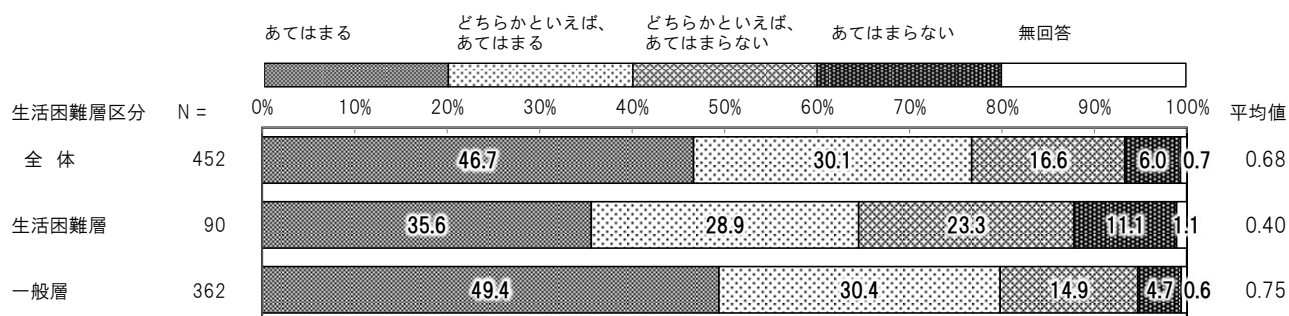
小保 18 中高保 15)

■ 7-2-4) あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。：エ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、小学生保護者で 79.3%、中学生保護者で 74.8%、高校生等保護者で 79.4%でした。



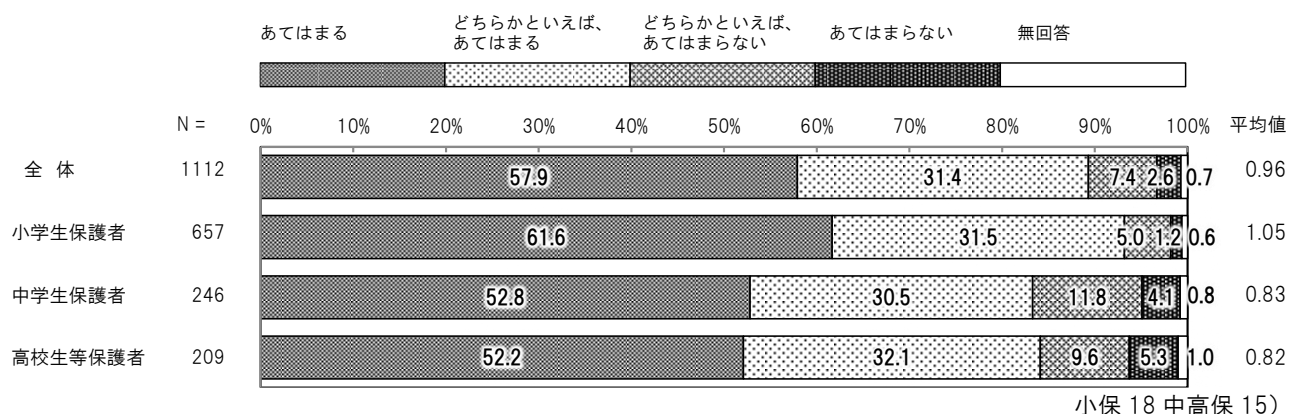
- ・生活困難層は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、64.5%でした。
- ・一般層は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、79.8%でした。



小保 18 中高保 15)

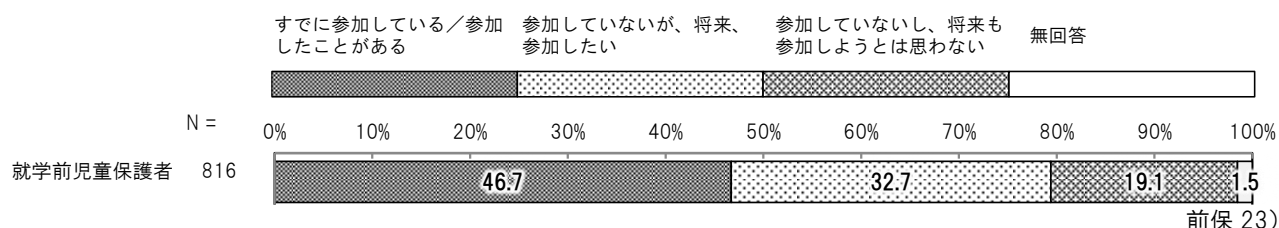
■ 7-2-5) あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。：オ お子さんとお子さんの友人についての話をする SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計より多く、小学生保護者で 93.1%、中学生保護者で 83.3%、高校生等保護者で 84.3%でした。



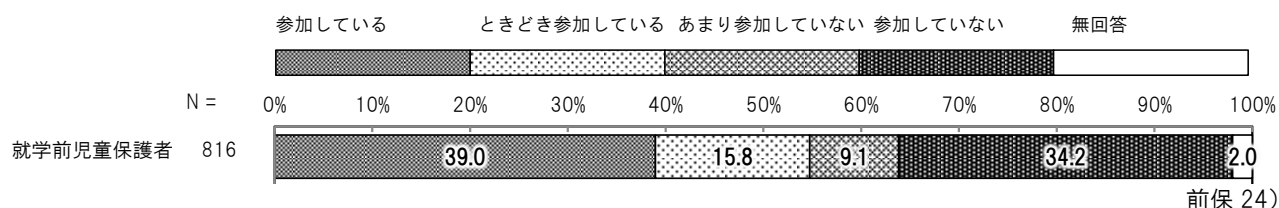
■ 7-2-6) あなたは、現在、町会や青少年育成委員会などの地域の子育て支援活動（お祭りや子どもを対象した催し物等）に参加されていますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「すでに参加している／参加したことがある」が最も多く 46.7%でした。



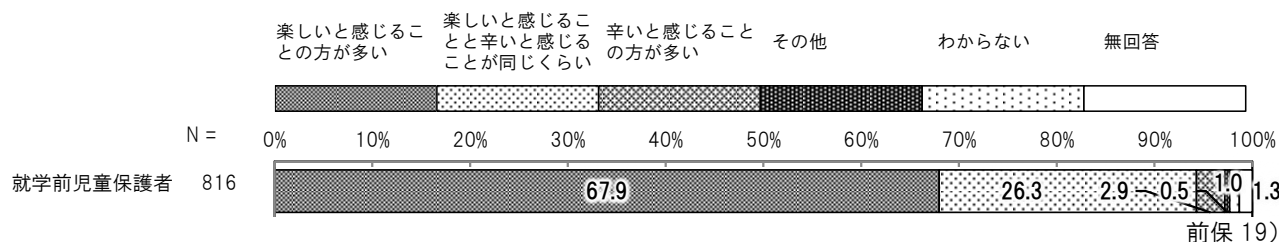
■ 7-2-7) あなたは、保育所・学校の話し合い（たとえば PTA など）に参加していますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「参加している」「ときどき参加している」の合計が「あまり参加していない」「参加していない」の合計より多く、54.8%でした。



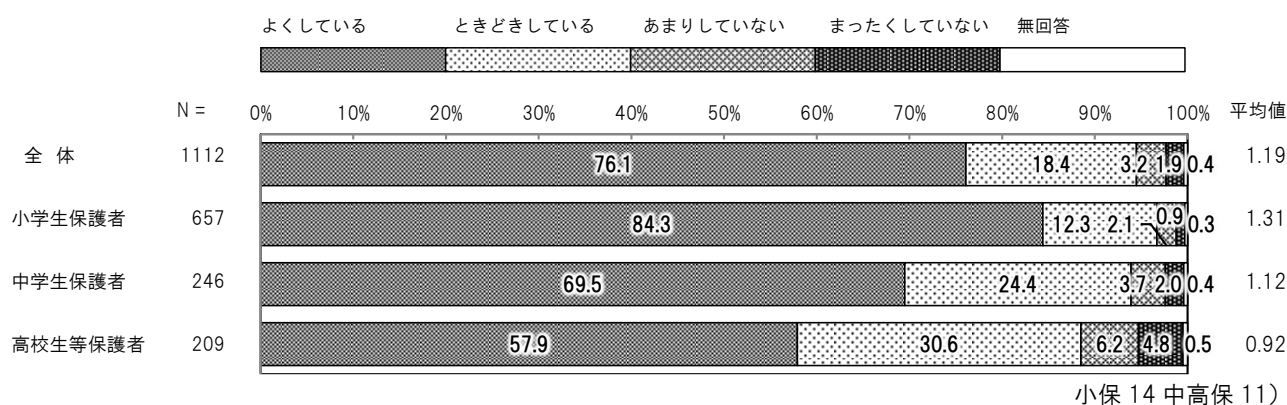
■ 7-2-8) あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「楽しいと感じることの方が多い」が最も多く 67.9%でした。

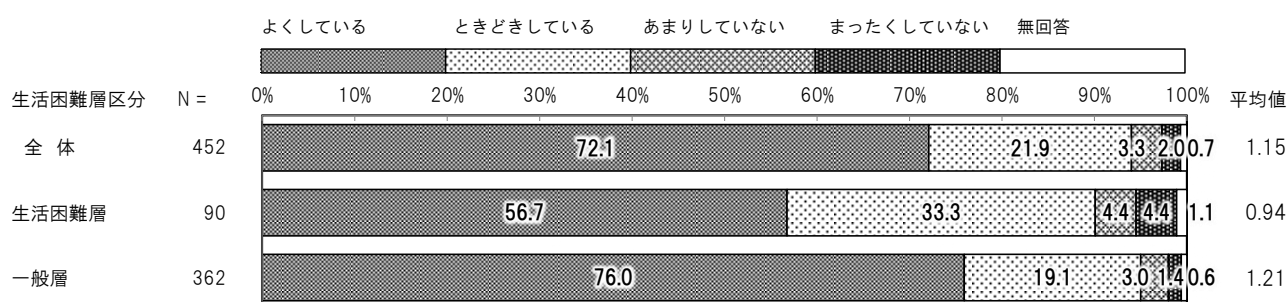


■ 7-2-9) あなたは、次のようなことをどの程度していますか。：ア 授業参観や運動会などの学校行事への参加 SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「よくしている」「ときどきしている」の合計が「あまりしていない」「まったくしていない」の合計より多く、小学生保護者で 96.6%、中学生保護者で 93.9%、高校生等保護者で 88.5%でした。

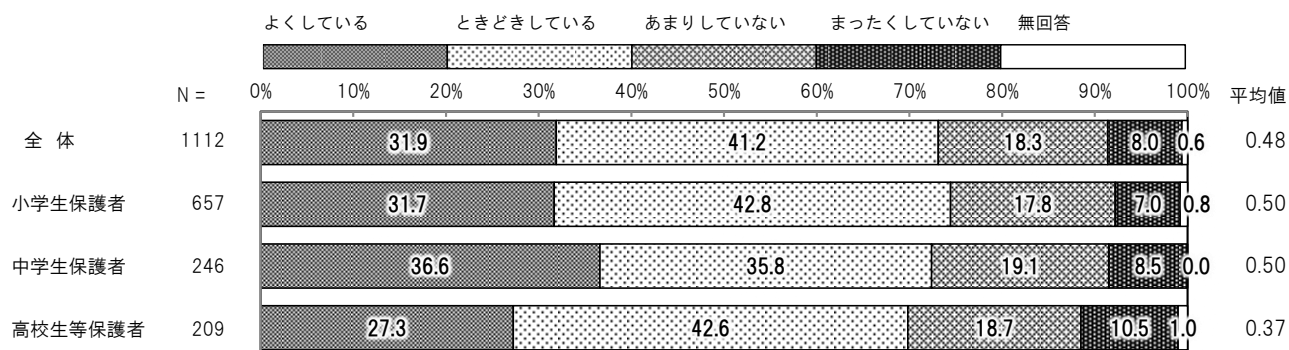


- ・ 生活困難層は「よくしている」「ときどきしている」の合計が「あまりしていない」「まったくしていない」の合計より多く、90.0%でした。
- ・ 一般層は「よくしている」「ときどきしている」の合計が「あまりしていない」「まったくしていない」の合計より多く、95.1%でした。

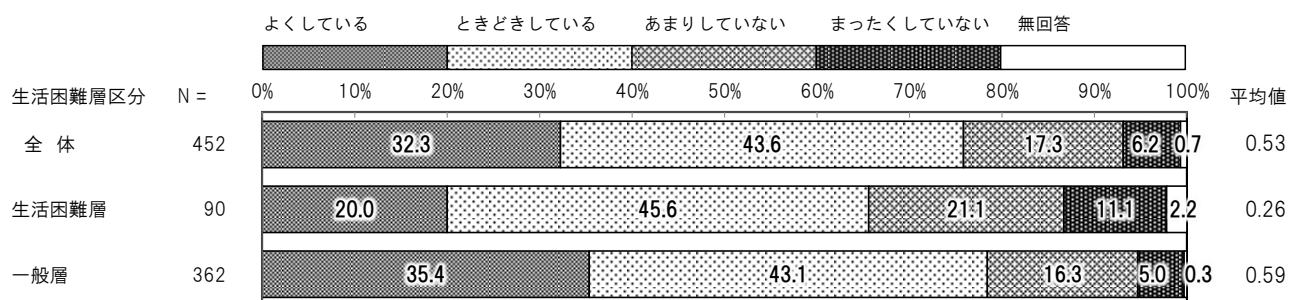


■ 7-2-10) あなたは、次のようなことをどの程度していますか。：イ P T A活動や保護者会、その他子どもに関わる地域活動等のボランティアなどへの参加 SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「よくしている」「ときどきしている」の合計が「あまりしていない」「まったくしていない」の合計より多く、小学生保護者で 74.5%、中学生保護者で 72.4%、高校生等保護者で 69.9%でした。



- ・生活困難層は「よくしている」「ときどきしている」の合計が「あまりしていない」「まったくしていない」の合計より多く、65.6%でした。
- ・一般層は「よくしている」「ときどきしている」の合計が「あまりしていない」「まったくしていない」の合計より多く、78.5%でした。

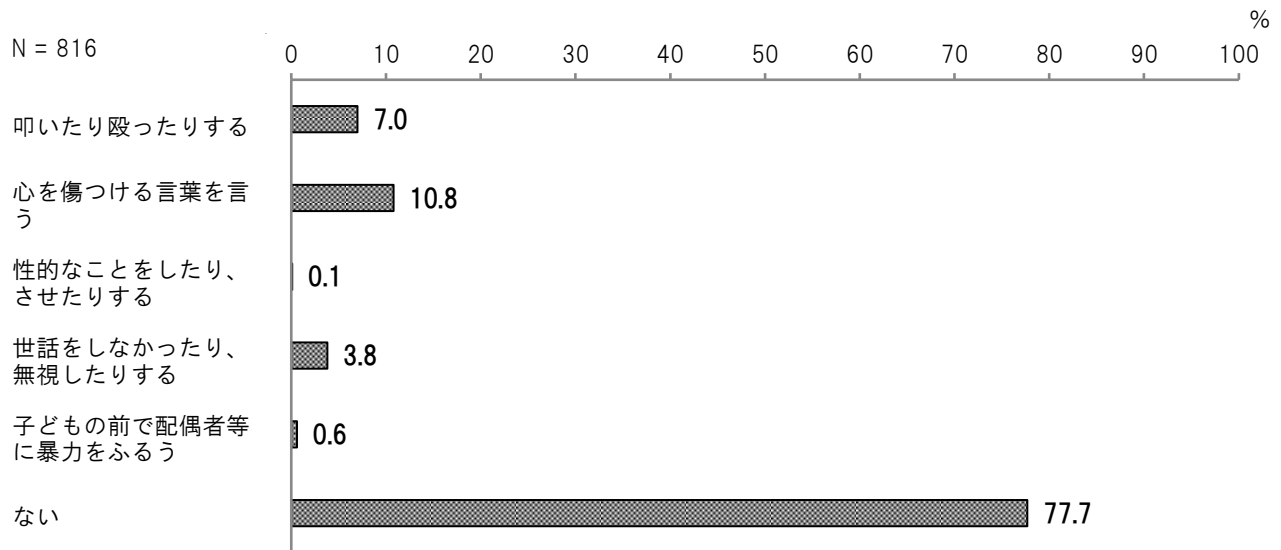


小保 14 中高保 11)

7-3 いじめや虐待

■ 7-3-1) あなたは、子どもに次のことをすることがありますか。 (複数回答)

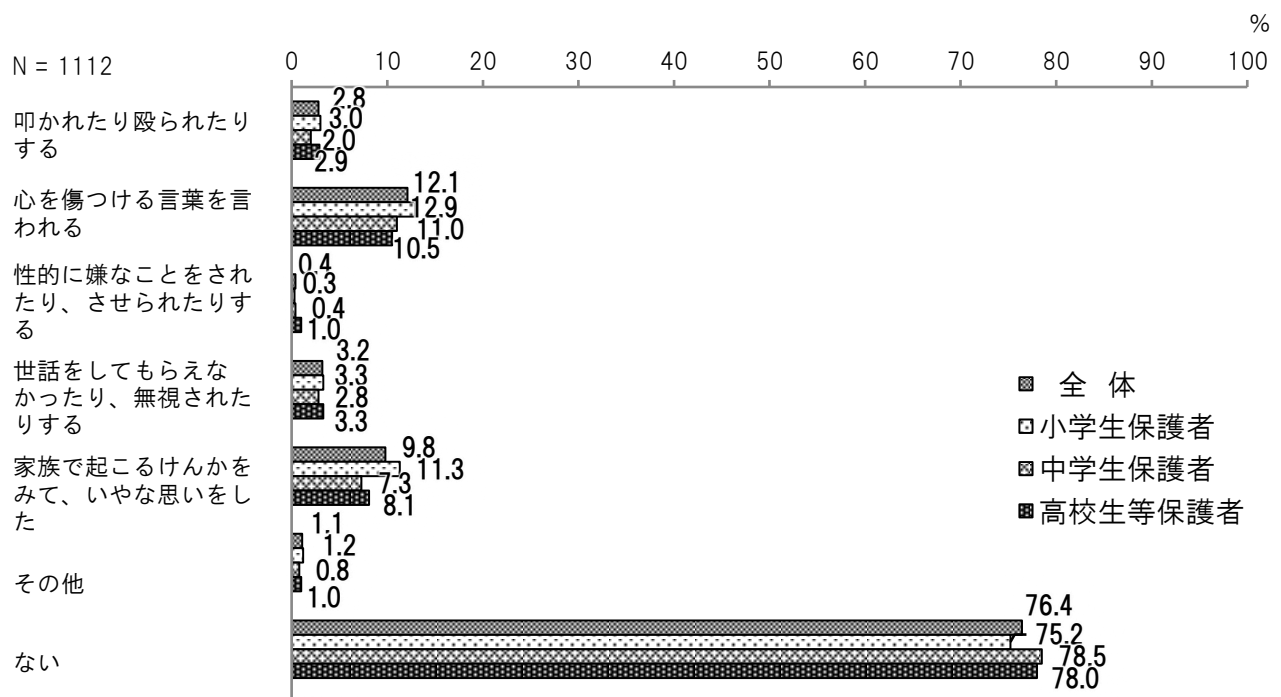
- ・ 就学前児童保護者は「ない」が最も多く 77.7%、次いで「心を傷つける言葉を言う」が 10.8%でした。



前保 31)

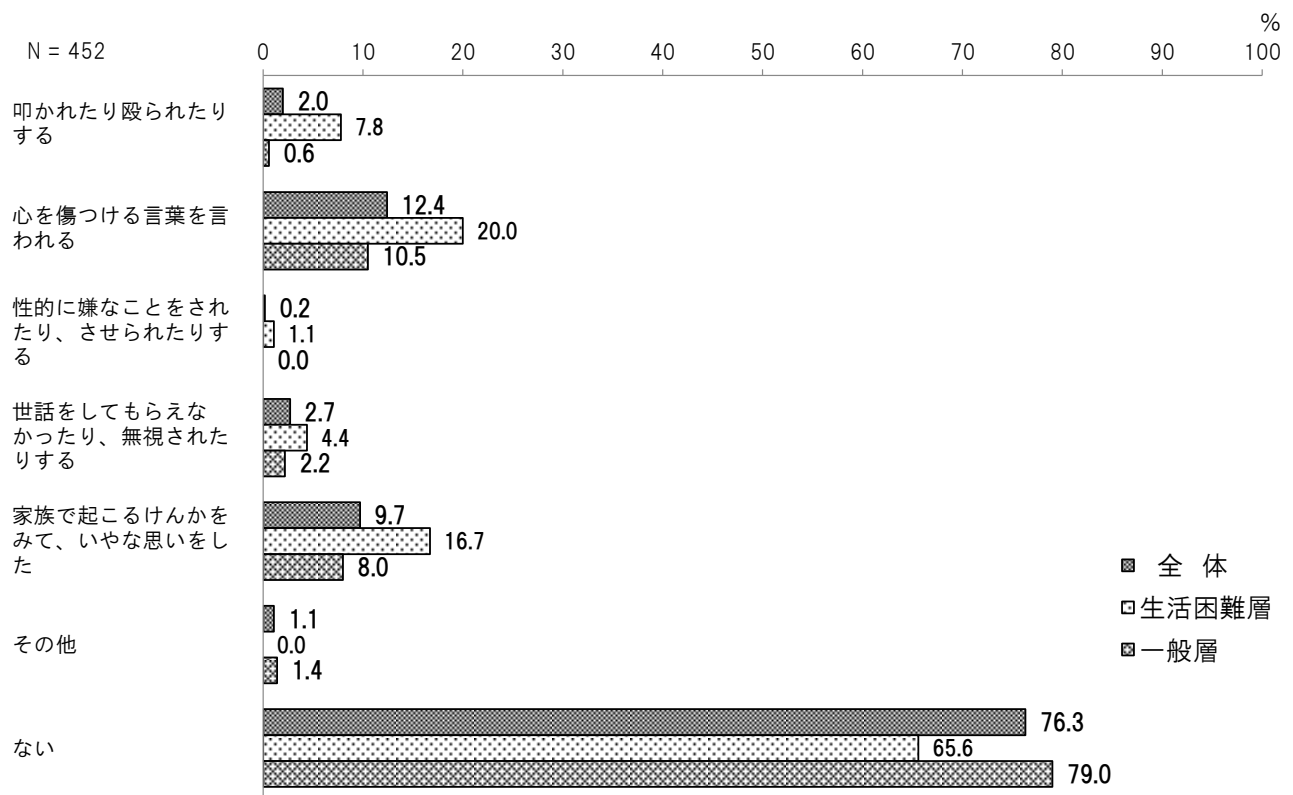
■ 7-3-2) あなたは、お子さんや、あなたの身の回りの子どもがおとな（保護者や先生、スポーツの監督など）から次のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。 (複数回答)

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「ない」が最も多く小学生保護者で 75.2%、中学生保護者で 78.5%、高校生等保護者で 78.0%、次いで「心を傷つける言葉を言われる」が多く小学生保護者で 12.9%、中学生保護者で 11.0%、高校生等保護者で 10.5%でした。



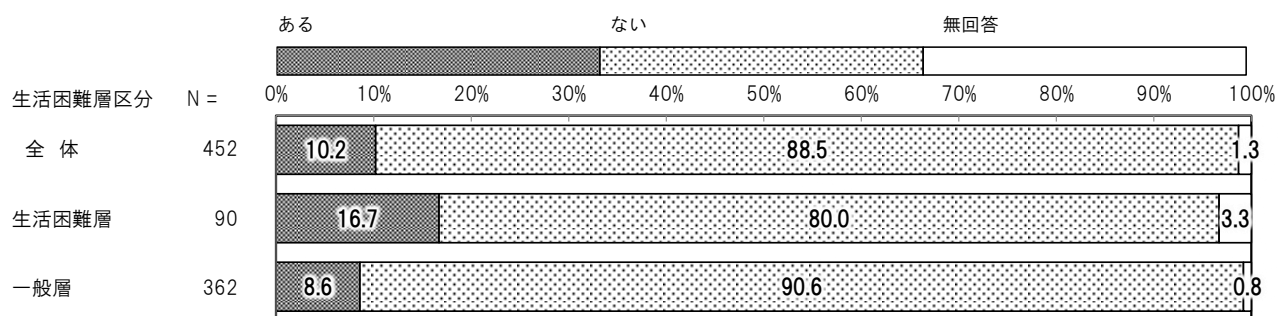
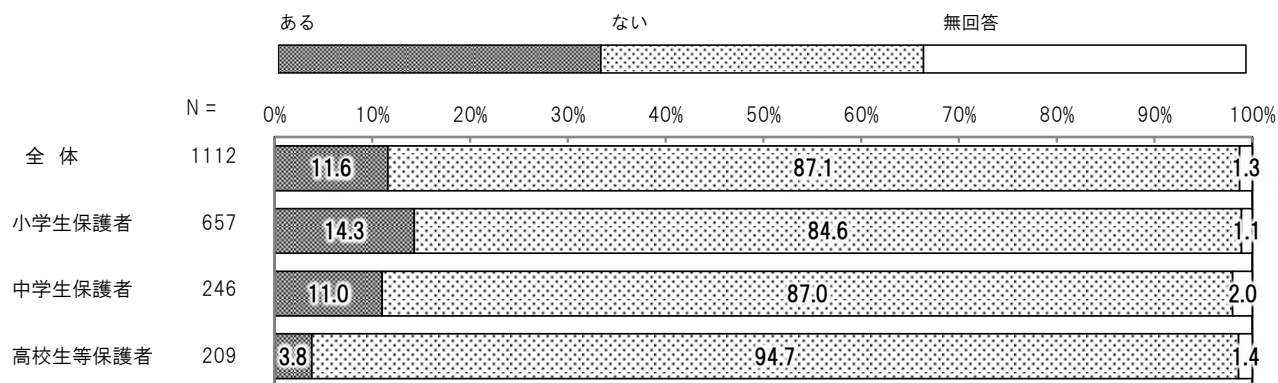
小保 15 中高保 12)

- ・生活困難層は「ない」が最も多く 65.6%、次いで「心を傷つける言葉を言われる」が 20.0%でした。
- ・一般層は「ない」が最も多く 79.0%、次いで「心を傷つける言葉を言われる」が 10.5%でした。



■ 7-3-3) あなたは、最近、あて名のお子さんや、あなたの身の回りの子どものいじめ（いじめられる・いじめているの両方を含む）に気づいたことがありますか。 SA

- ・ 小学生保護者は「ない」が84.6%、中学生保護者は「ない」が87.0%、高校生等保護者は「ない」が94.7%でした。
- ・ 生活困難層は「ない」が80.0%、一般層は「ない」が90.6%でした。

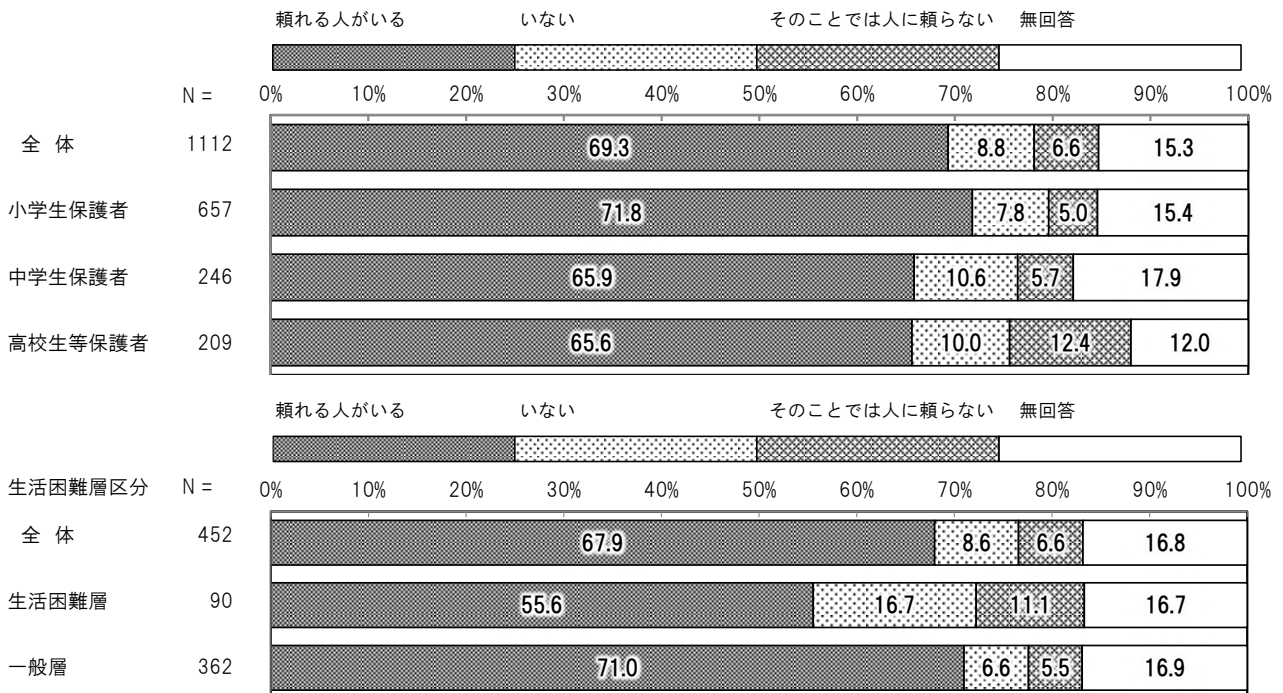


小保 16 中高保 13)

7-4 支援制度や相談、子育て施策

■ 7-4-1) あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。：ア 子育てに関する相談 SA

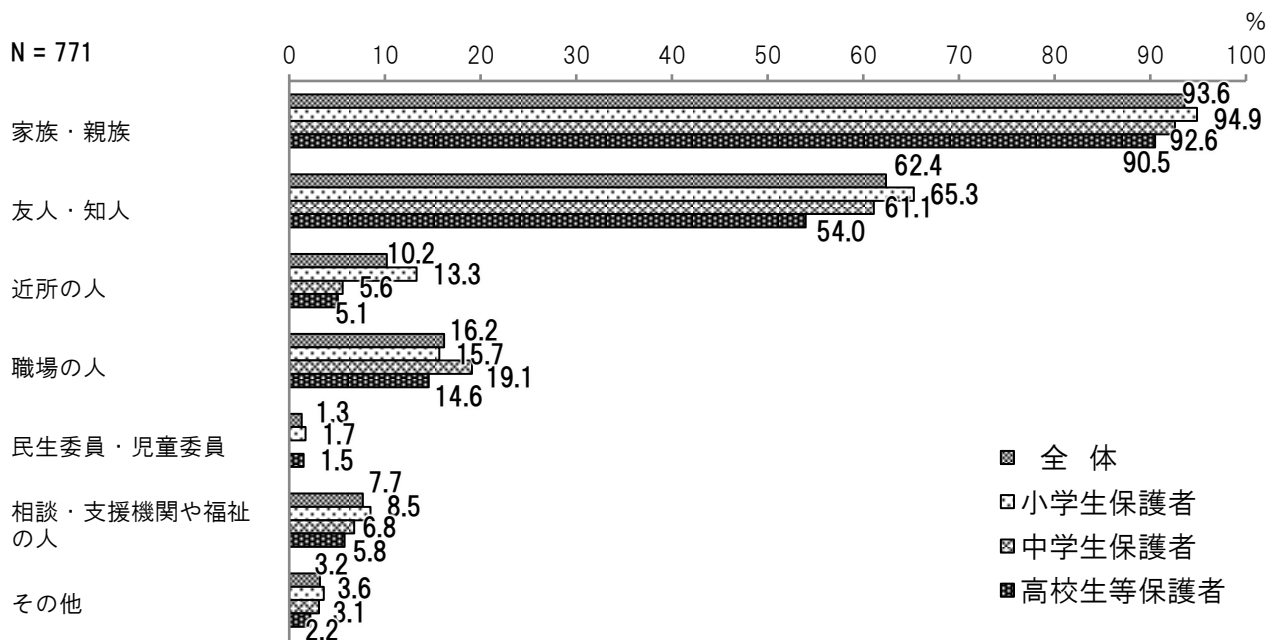
- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「頼れる人がいる」が最も多く小学生保護者で71.8%、中学生保護者で65.9%、高校生等保護者で65.6%でした。
- ・ 生活困難層と一般層いずれも「頼れる人がいる」が最も多く、生活困難層で55.6%、一般層で71.0%でした。



小保 13 中高保 10)

■ 7-4-2) 「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。：ア 子育てに関する相談（複数回答）

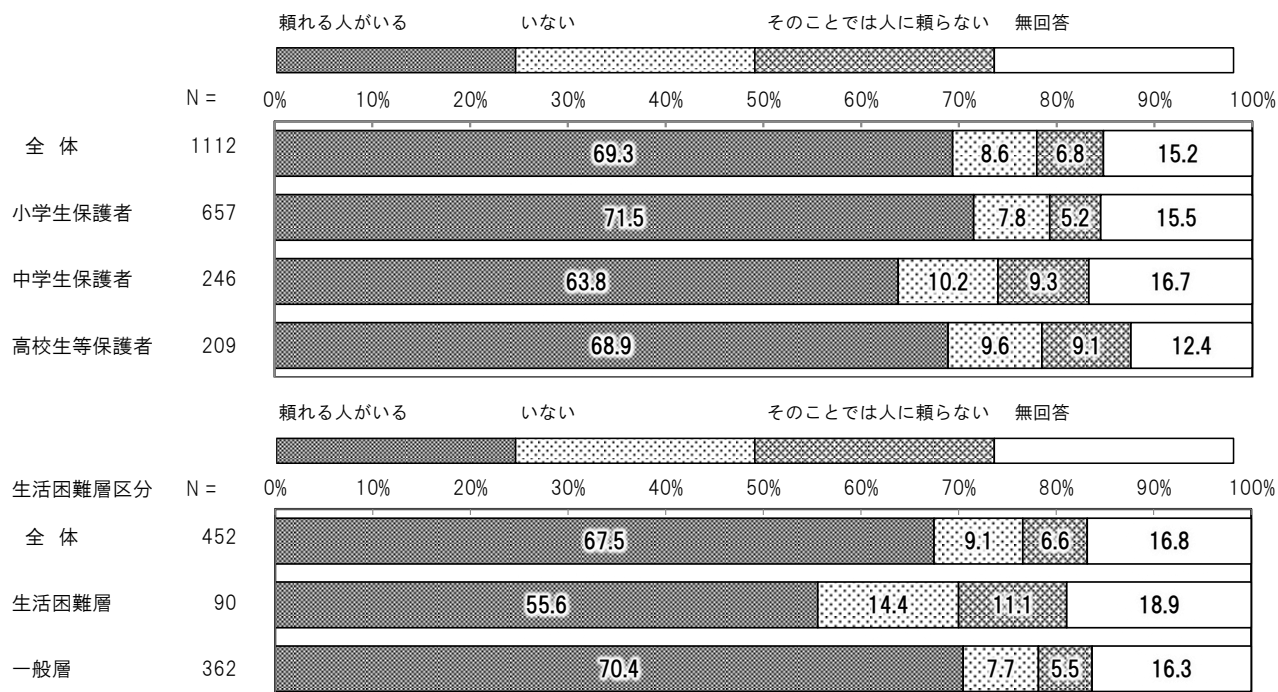
- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「家族・親族」が最も多く小学生保護者で 94.9%、中学生保護者で 92.6%、高校生等保護者で 90.5%、次いで「友人・知人」が多く小学生保護者で 65.3%、中学生保護者で 61.1%、高校生等保護者で 54.0%でした。



小保 13 中高保 10)

■ 7-4-3) あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。：イ 重要な事柄の相談 SA

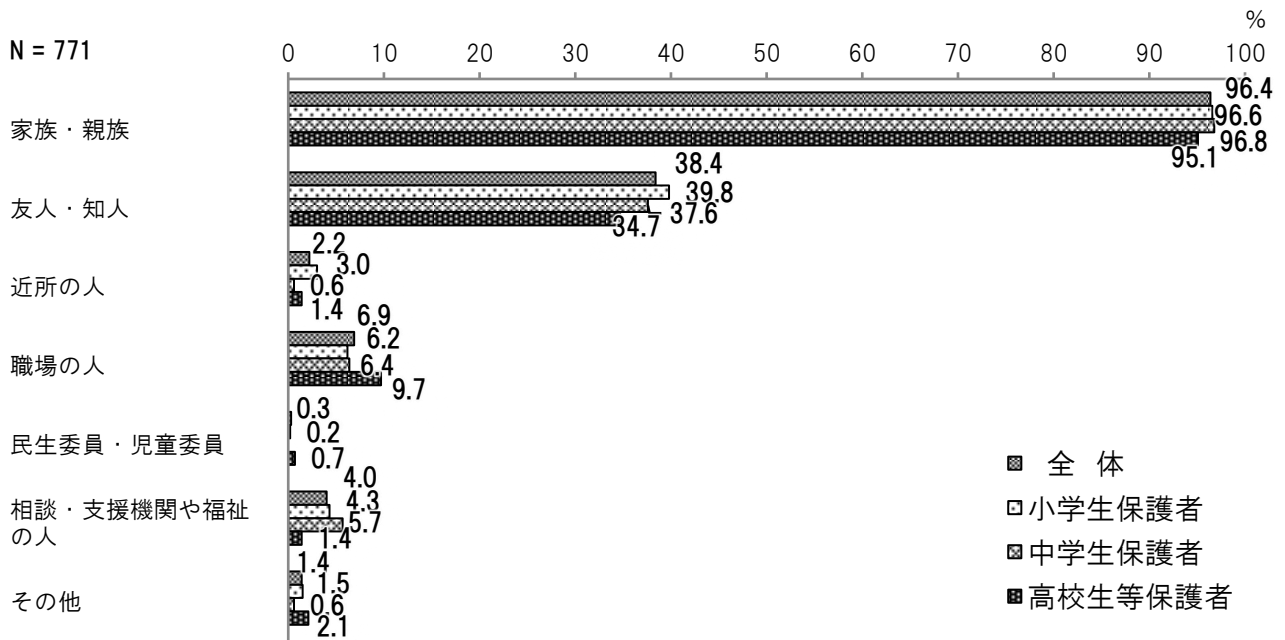
- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「頼れる人がある」が最も多く小学生保護者 71.5%、中学生保護者 63.8%、高校生等保護者 68.9%でした。
- ・生活困難層と一般層いずれも「頼れる人がある」が最も多く、生活困難層で 55.6%、一般層で 70.4%でした。



小保 13 中高保 10)

■ 7-4-4) 「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。：イ 重要な事柄の相談（複数回答）

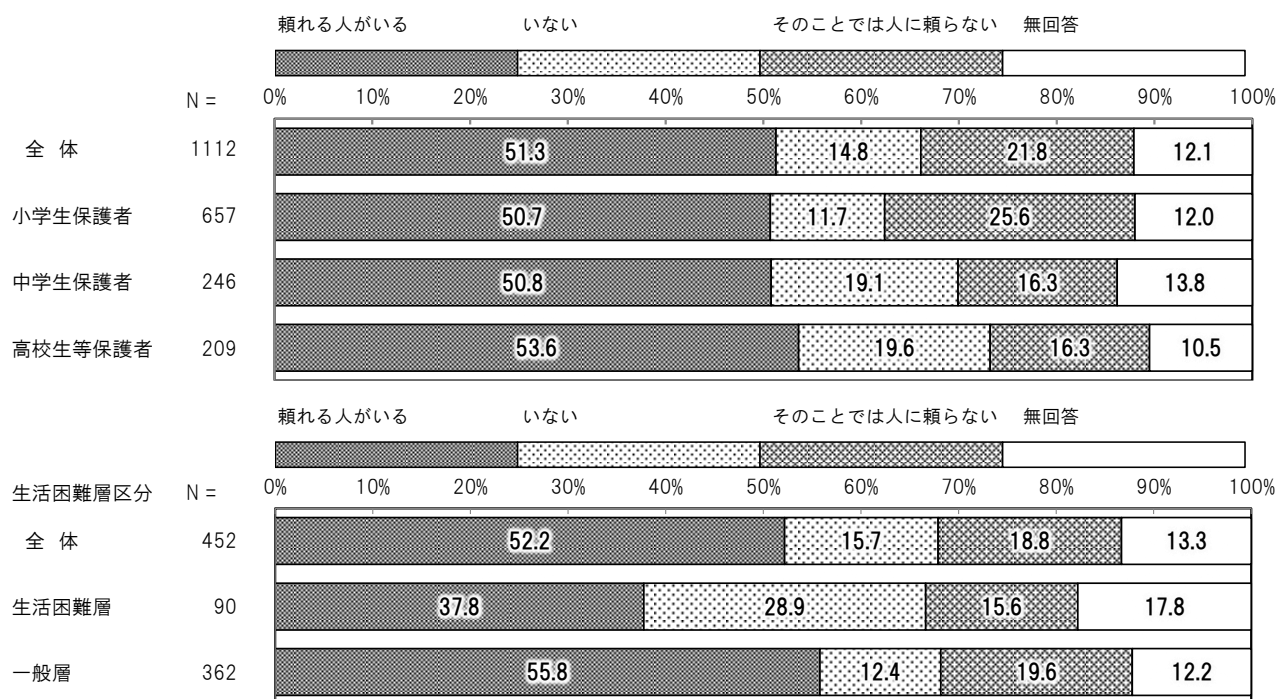
- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「家族・親族」が最も多く小学生保護者で 96.6%、中学生保護者で 96.8%、高校生等保護者で 95.1%、次いで「友人・知人」が多く小学生保護者で 39.8%、中学生保護者で 37.6%、高校生等保護者で 34.7%でした。



小保 13 中高保 10)

■ 7-4-5) あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。：ウ いざという時のお金の援助
SA

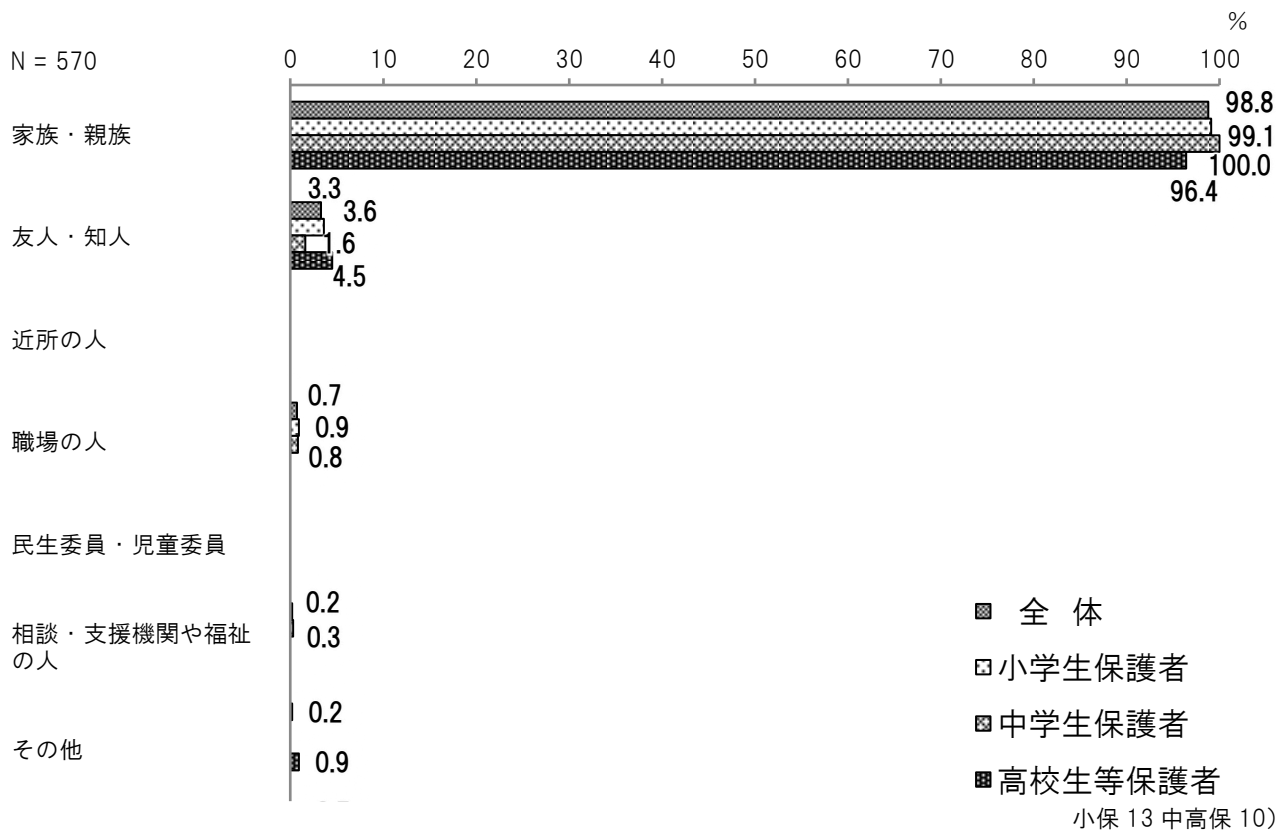
- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「頼れる人がいる」が最も多く小学生保護者で 50.7%、中学生保護者で 50.8%、高校生等保護者で 53.6%でした。
- ・生活困難層と一般層いずれも「頼れる人がいる」が最も多く、生活困難層で 37.8%、一般層で 55.8%でした。



小保 13 中高保 10)

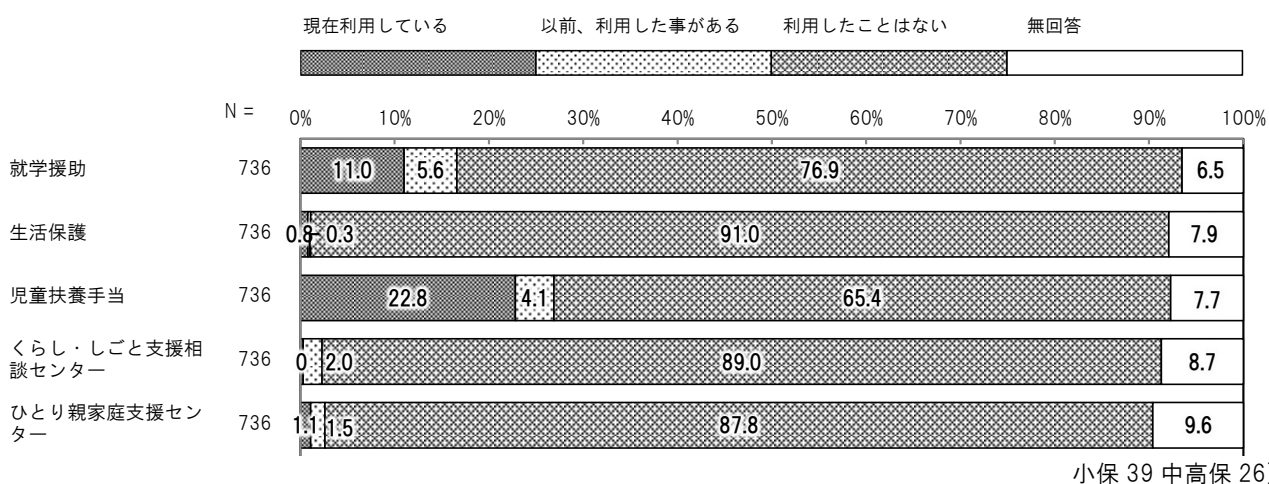
■ 7-4-6) 「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。：ウ いざという時のお金の援助
(複数回答)

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「家族・親族」が最も多く小学生保護者で 99.1%、中学生保護者で 100.0%、高校生等保護者で 96.4%、次いで「友人・知人」が多く小学生保護者で 3.6%、中学生保護者で 1.6%、高校生等保護者で 4.5%でした。



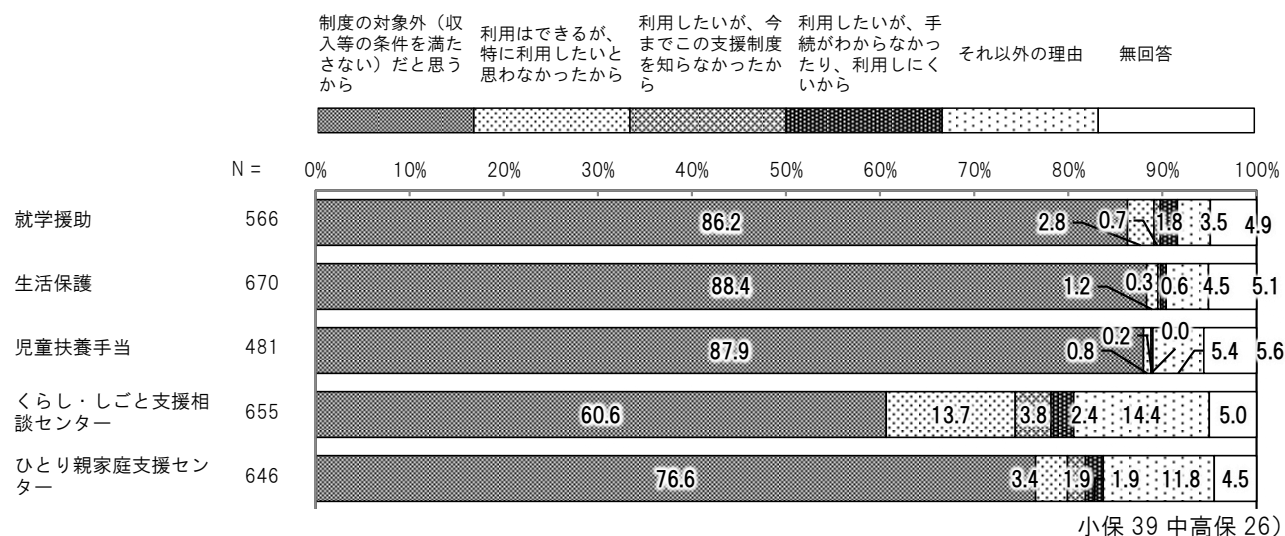
■ 7-4-7) あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。SA

- ・支援制度のうち、「現在利用している」、「以前、利用したことがある」割合が最も高いのは、「児童扶養手当」で 26.9%、次いで、「就学援助」の 16.6%でした。「生活保護」、「くらし・しごと支援相談センター」、「ひとり親家庭支援センター」を利用したことがない割合は、いずれも 9割程度ありました。



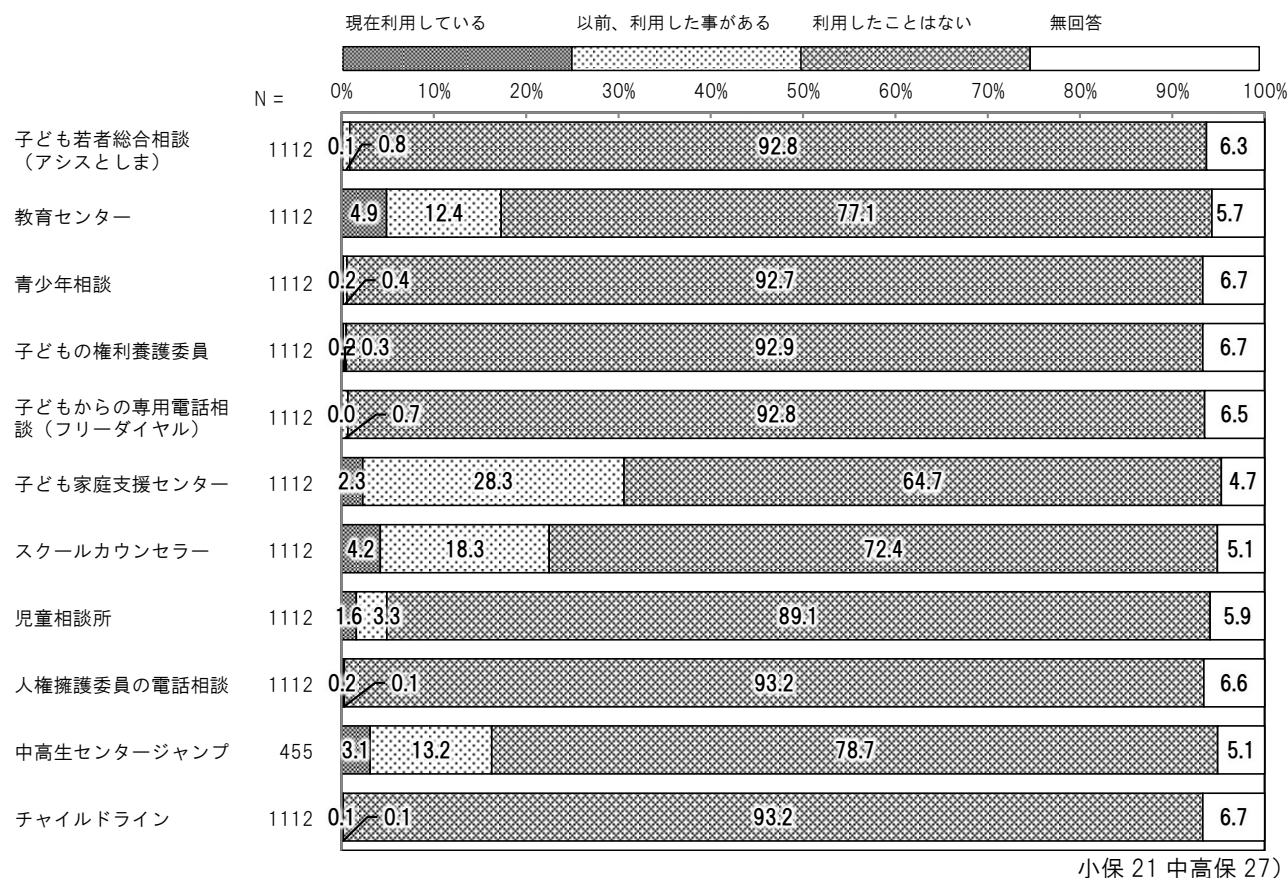
■ 7-4-8) 支援制度を利用したことが無い場合、その理由はなんですか。 SA

- ・すべての制度で「制度の対象外だと思うから」が最も多い結果でした。「くらし・しごと支援相談センター」では、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が13.7%でした。



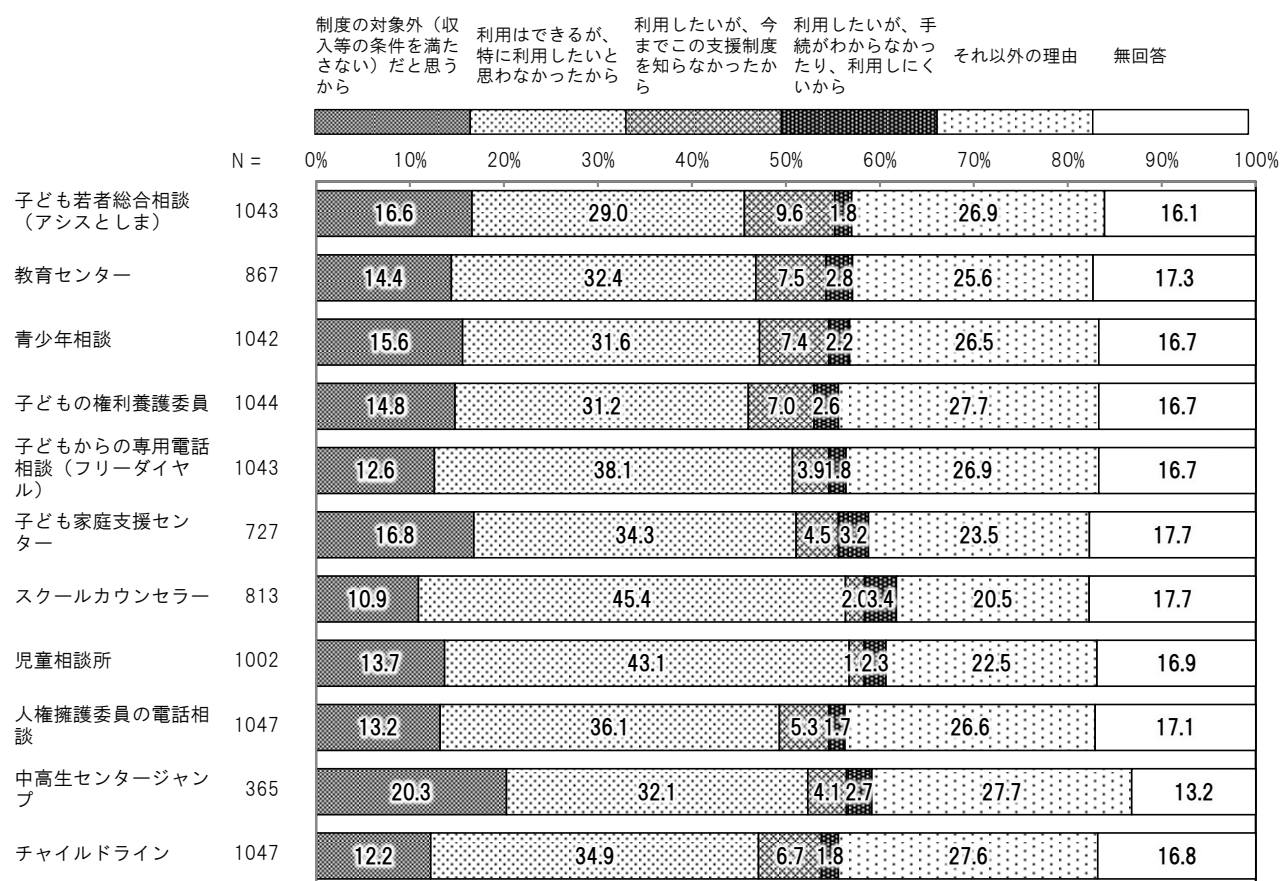
■ 7-4-9) 豊島区の子どもの相談を受けてくれるところのうち、知っているところ、利用したことのあるところがありますか。 SA

- ・「現在利用している」、「以前利用したことがある」合計の割合が最も高いのは、「子ども家庭支援センター」で30.6%、次いで、スクールカウンセラーが22.5%、教育センターが17.3%、中高生センタージャンプが16.3%でした。



■ 7-4-1 0) 相談を受けてくれるところを利用したことが無い場合、その理由はなんですか
SA

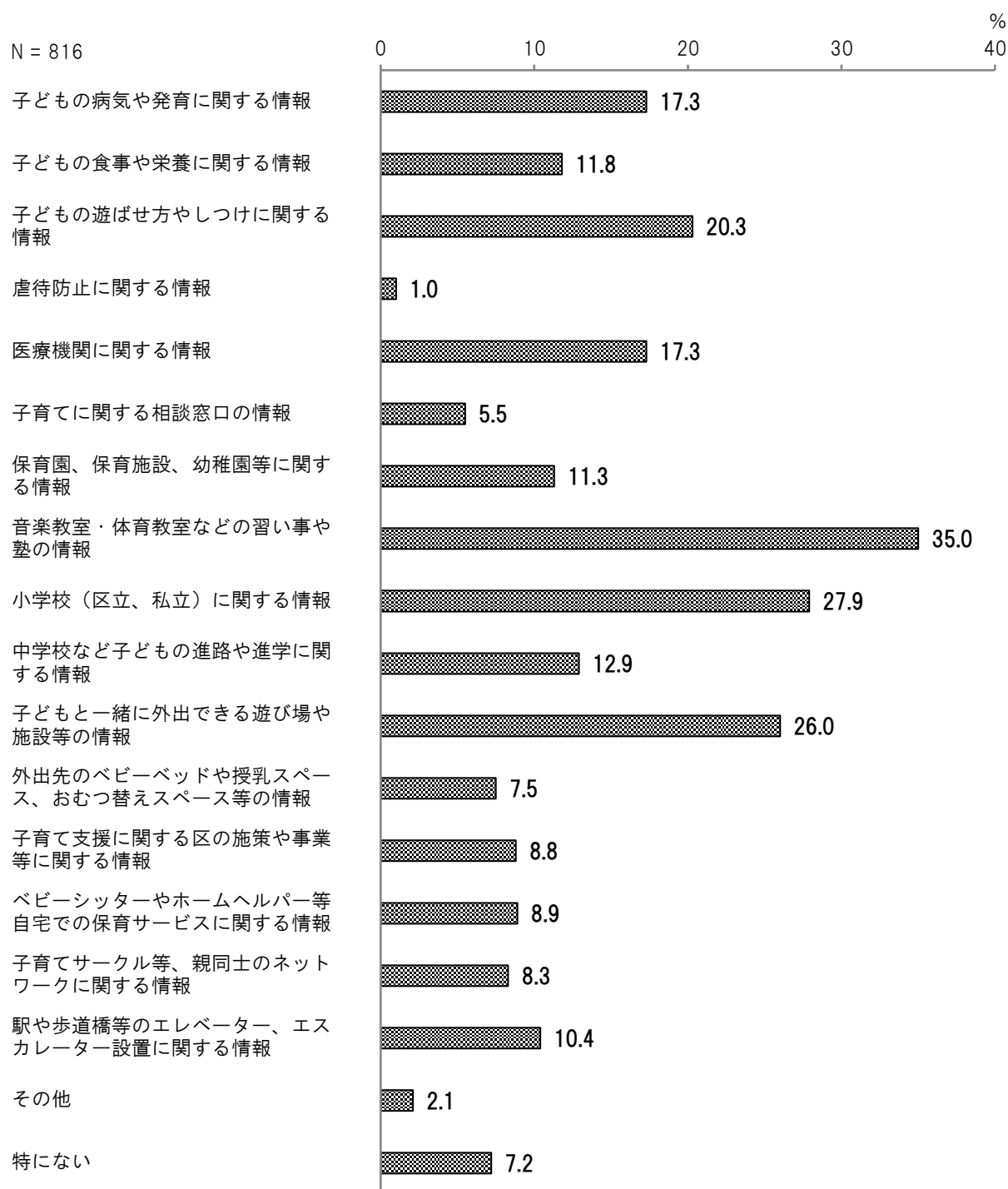
- ・「制度の対象外だと思う」の割合が高いのは、「中高生センタージャンプ」で 20.3%、次いで、「子ども家庭支援センター」の 16.8%でした。「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」の割合が高いのは、「スクールカウンセラー」が 45.4%、次いで、「児童相談所」が 43.1%でした。



小保 21 中高保 27)

■ 7-4-1 1) 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。（複数回答）

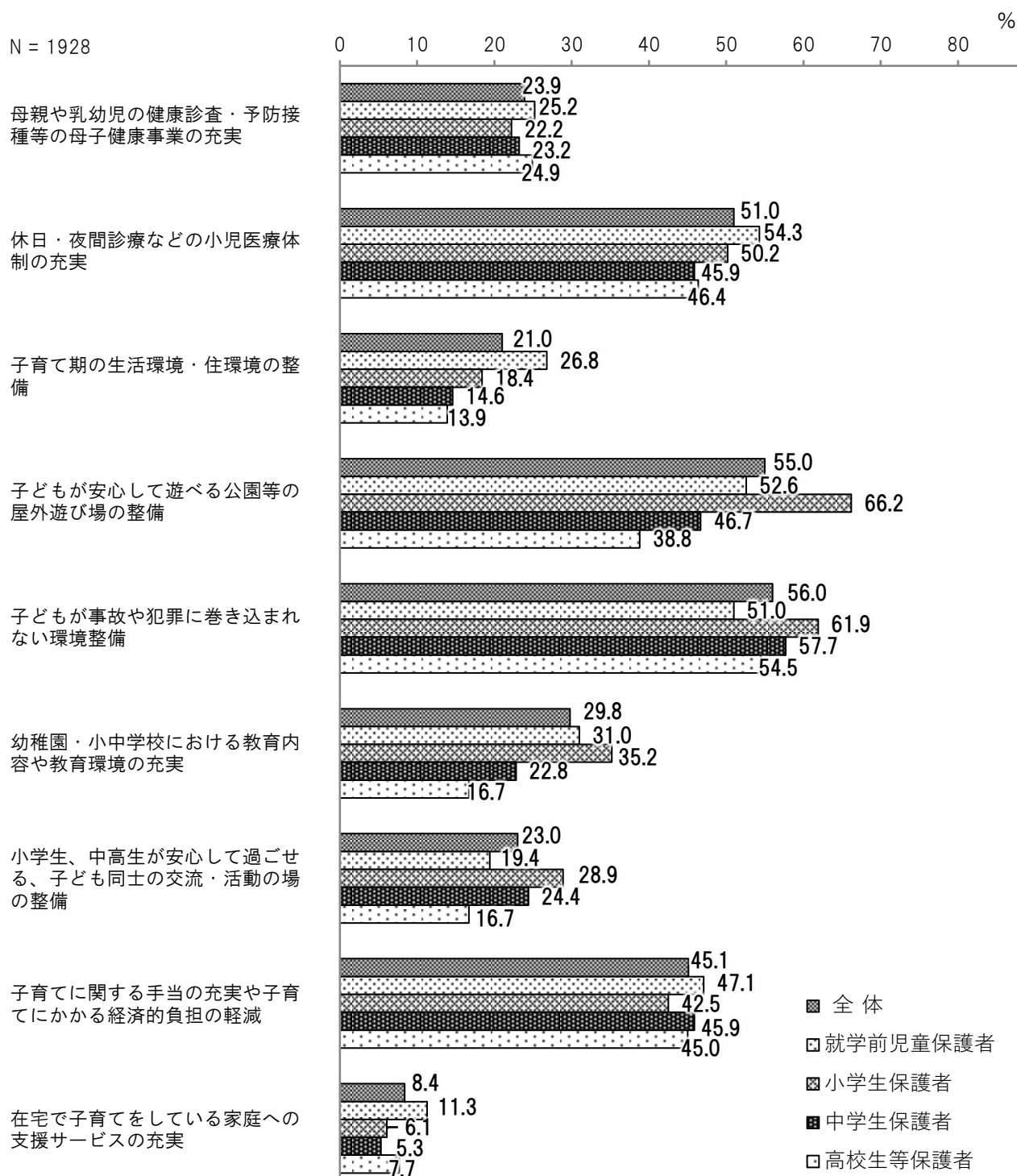
- ・ 就学前児童保護者は「音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報」が最も多く 35.0%、次いで「小学校（区立、私立）に関する情報」が 27.9%でした。



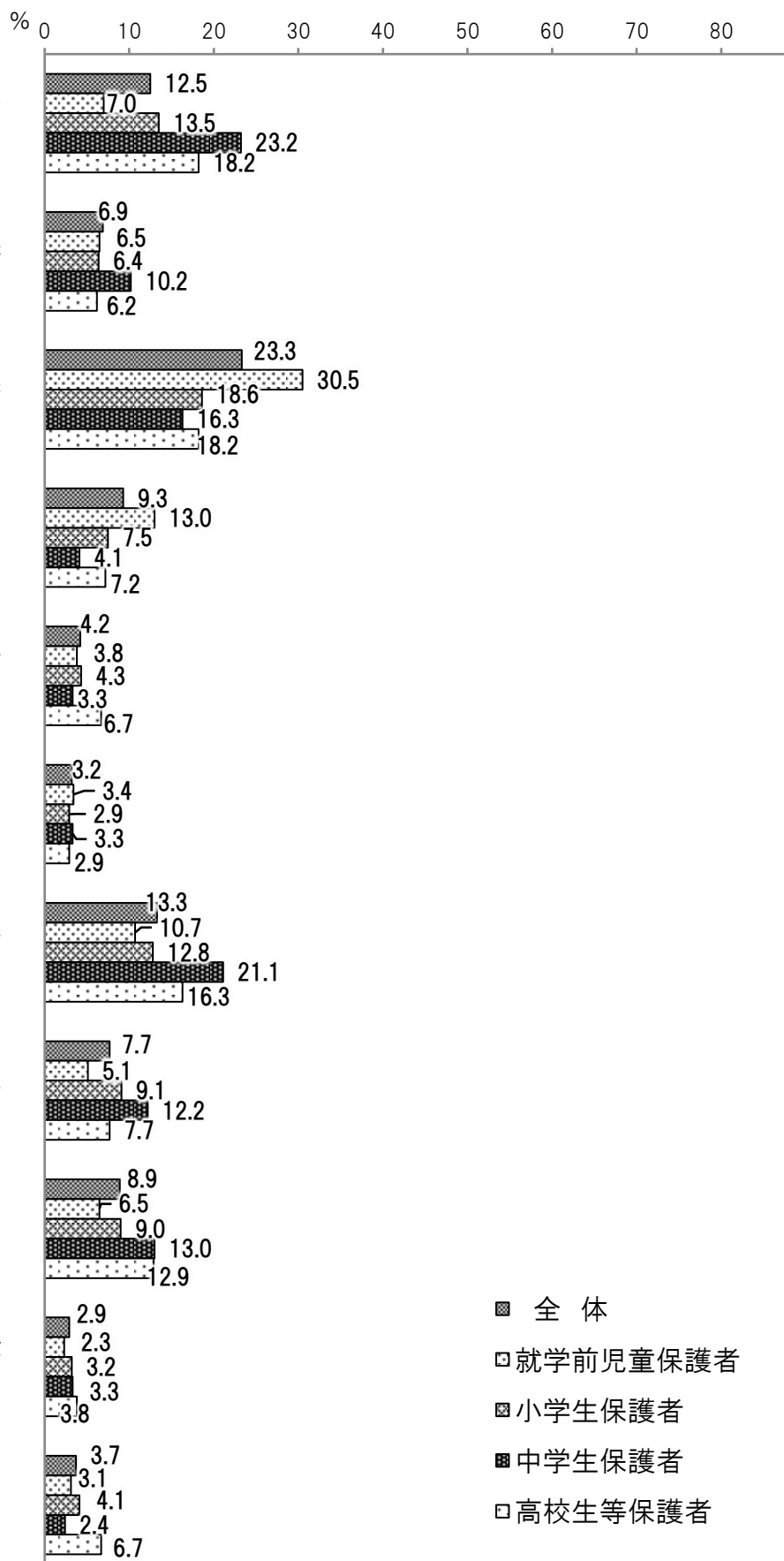
前保 30)

■ 7-4-1 2) 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。（複数回答）

- ・ 就学前児童保護者は「休日・夜間診療などの小児医療体制の充実」が最も多く 54.3%、次いで「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が 52.6%でした。小学生保護者は「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が最も多く 66.2%、次いで「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」が 61.9%でした。中学生保護者は「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」が最も多く 57.7%、次いで「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が 46.7%でした。高校生等保護者は「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」が最も多く 54.5%、次いで「休日・夜間診療などの小児医療体制の充実」が 46.4%でした。



N = 1928

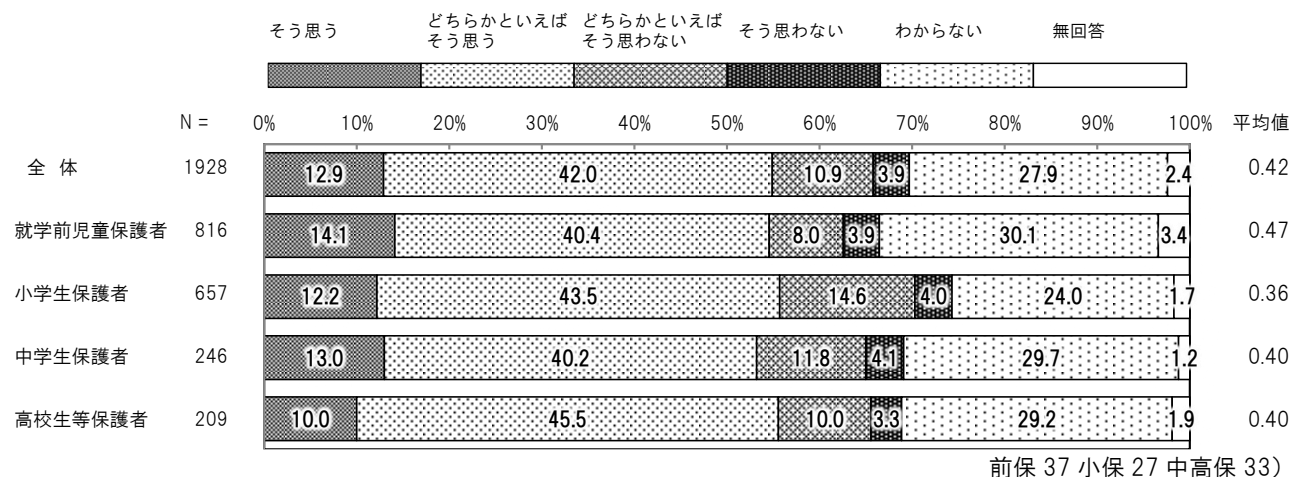


- 全 体
- 就学前児童保護者
- ▨ 小学生保護者
- 中学生保護者
- 高校生等保護者

前保 34 小保 24 中高保 30)

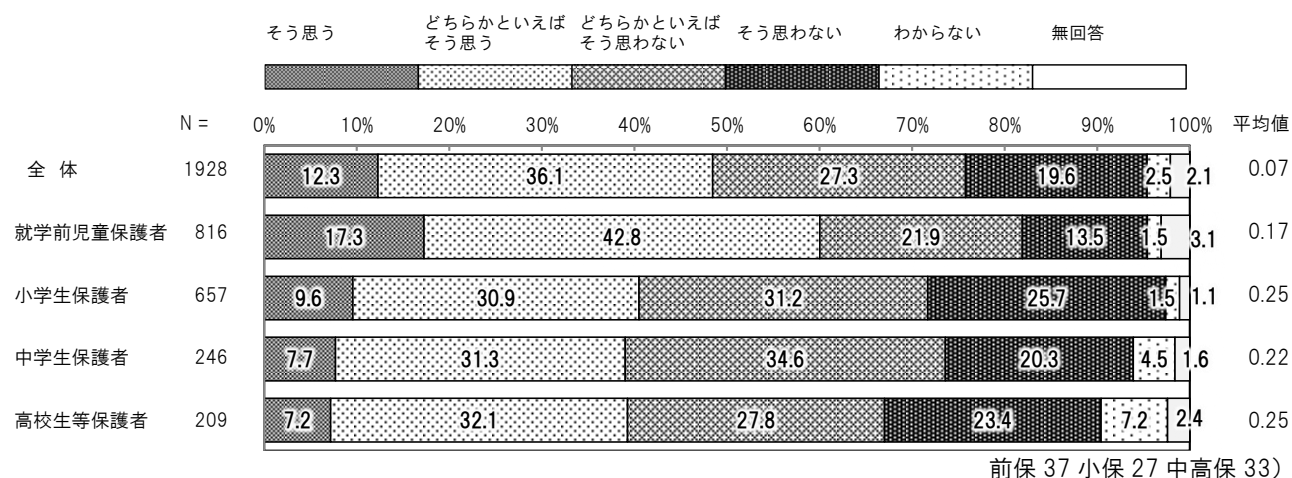
■ 7-4-1 3) 豊島区の「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について。：ア 子どもの権利を保障する取り組みが進んでいる SA

- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、就学前児童保護者で 54.5%、小学生保護者で 55.7%、中学生保護者で 53.2%、高校生等保護者で 55.5%でした。



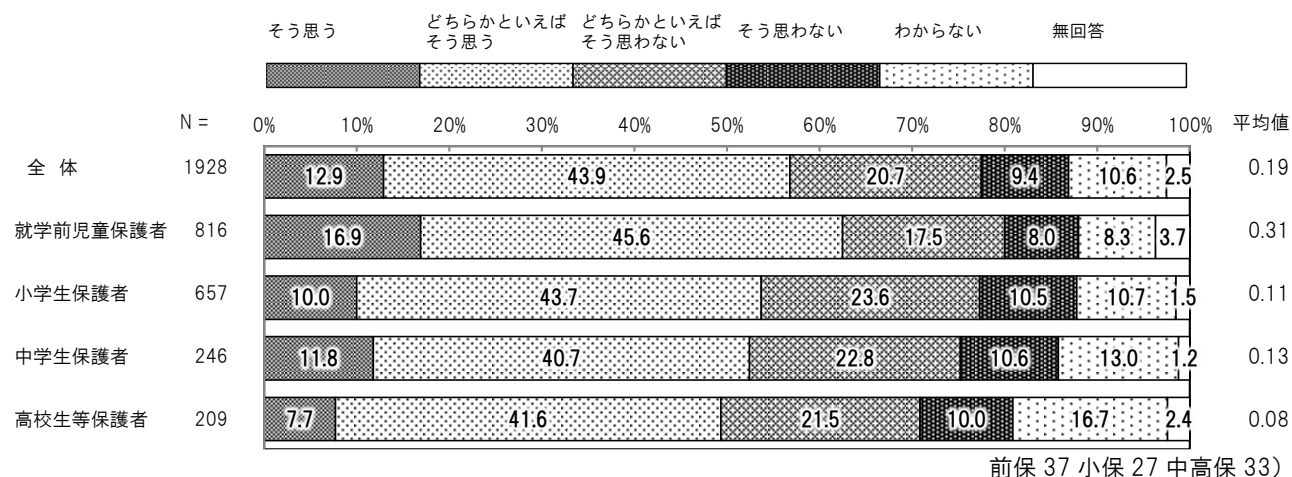
■ 7-4-1 4) 豊島区の「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について。：イ 子どもの遊び場が充実している SA

- ・ 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が就学前児童保護者で 60.1%、小学生保護者で 40.5%、中学生保護者で 39.0%、高校生等保護者で 39.3%でした。



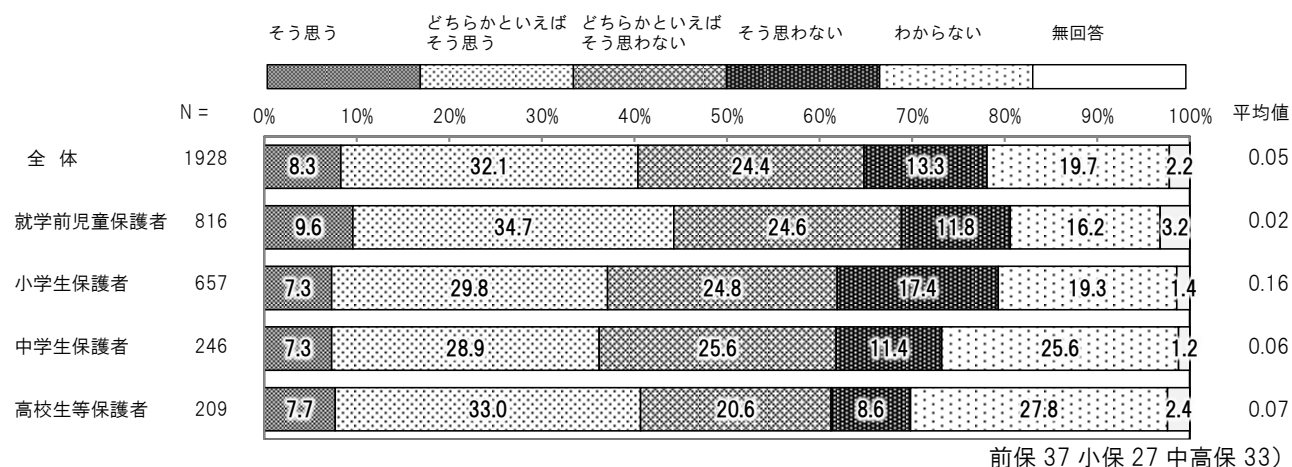
■ 7-4-1 5) 豊島区の「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について。：ウ 安心して子どもを産む環境づくりができている SA

- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、就学前児童保護者で 62.5%、小学生保護者で 53.7%、中学生保護者で 52.5%、高校生等保護者で 49.3%でした。



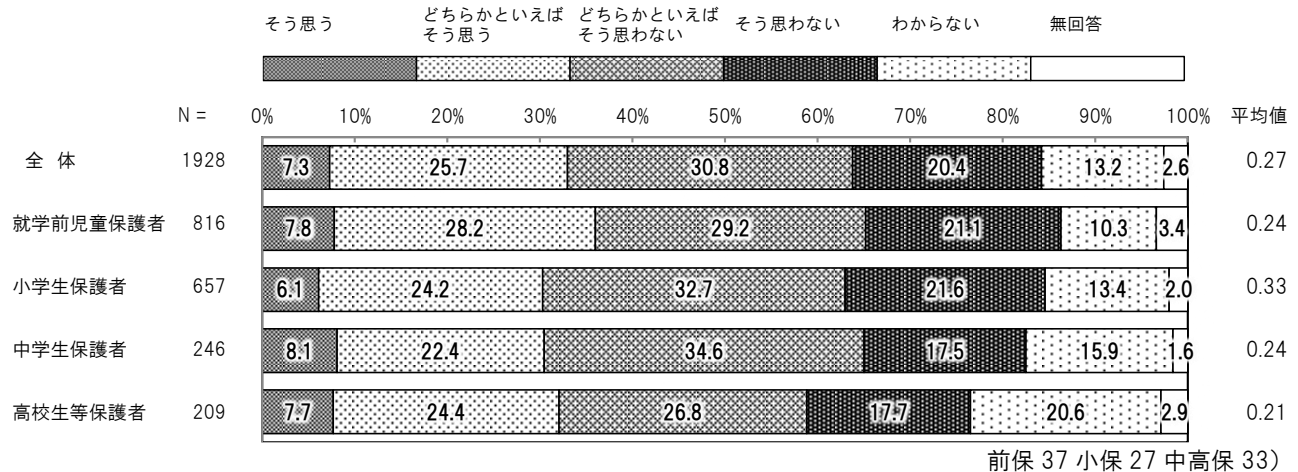
■ 7-4-1 6) 豊島区の「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について。：エ 職業生活と家庭生活を両立 SA

- ・ 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が、就学前児童保護者で 44.3%、小学生保護者で 37.1%、中学生保護者で 36.2%、高校生等保護者で 40.7%でした。



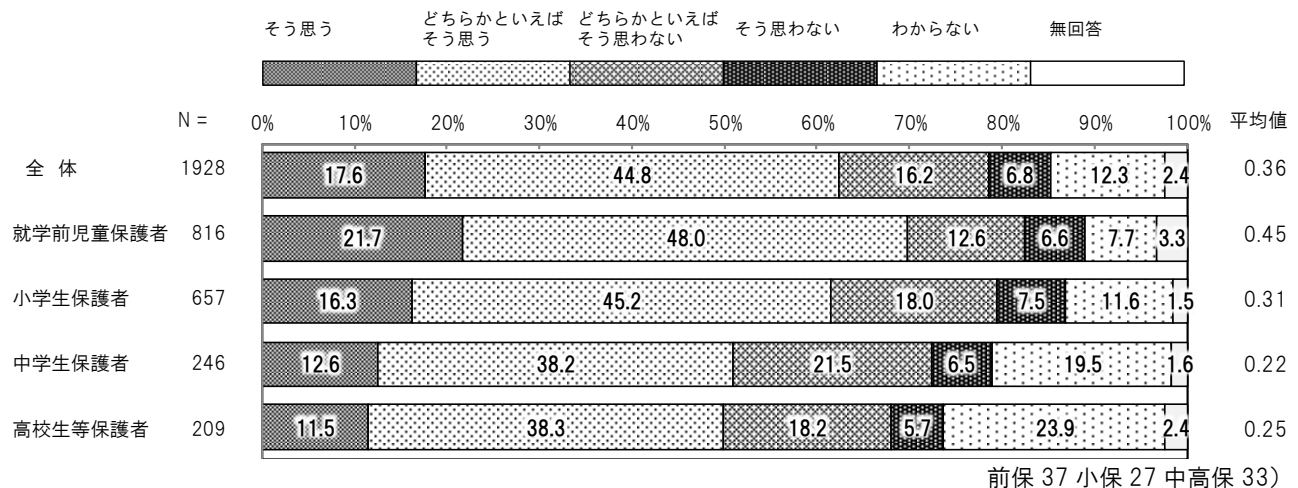
■ 7-4-1 7) 豊島区の「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について。：オ 子育てを視野にいた住宅対策や道路・施設整備が行われている SA

- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、就学前児童保護者で 50.3%、小学生保護者で 54.3%、中学生保護者で 52.1%、高校生等保護者で 44.5%でした。



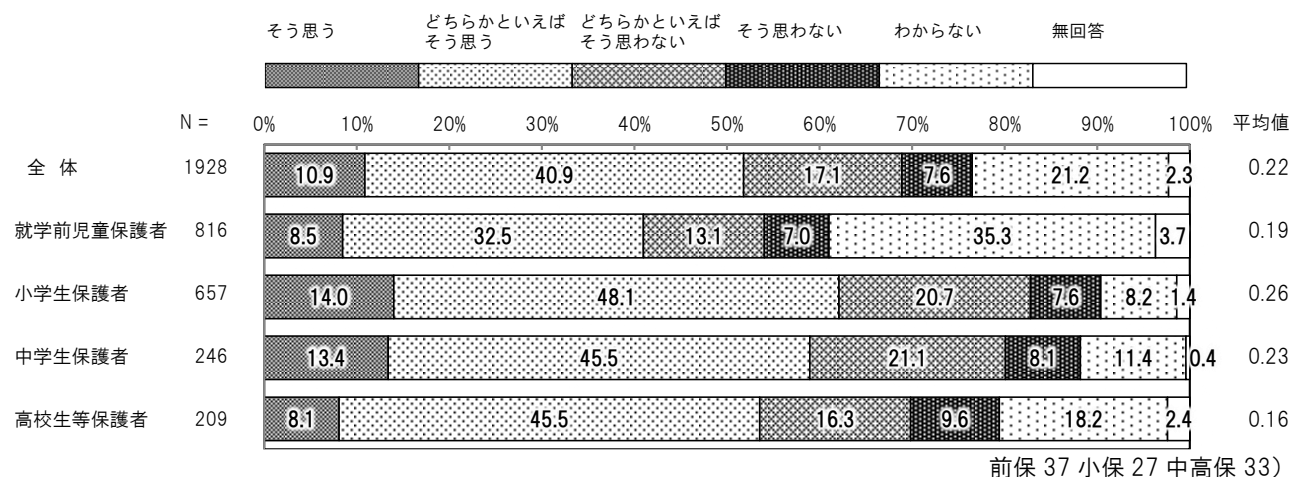
■ 7-4-1 8) 豊島区の「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について。：カ 保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している SA

- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、就学前児童保護者で 69.7%、小学生保護者で 61.5%、中学生保護者で 50.8%、高校生等保護者で 49.8%でした。



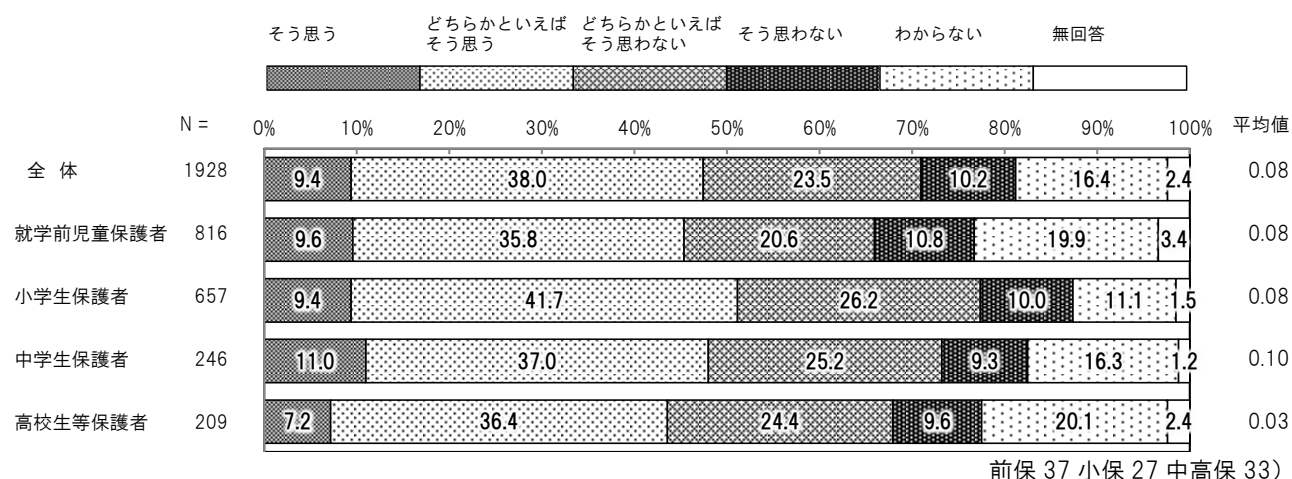
■ 7-4-19) 豊島区の「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について。：キ 学校教育が充実している SA

- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、就学前児童保護者で41.0%、小学生保護者で62.1%、中学生保護者で58.9%、高校生等保護者で53.6%でした。



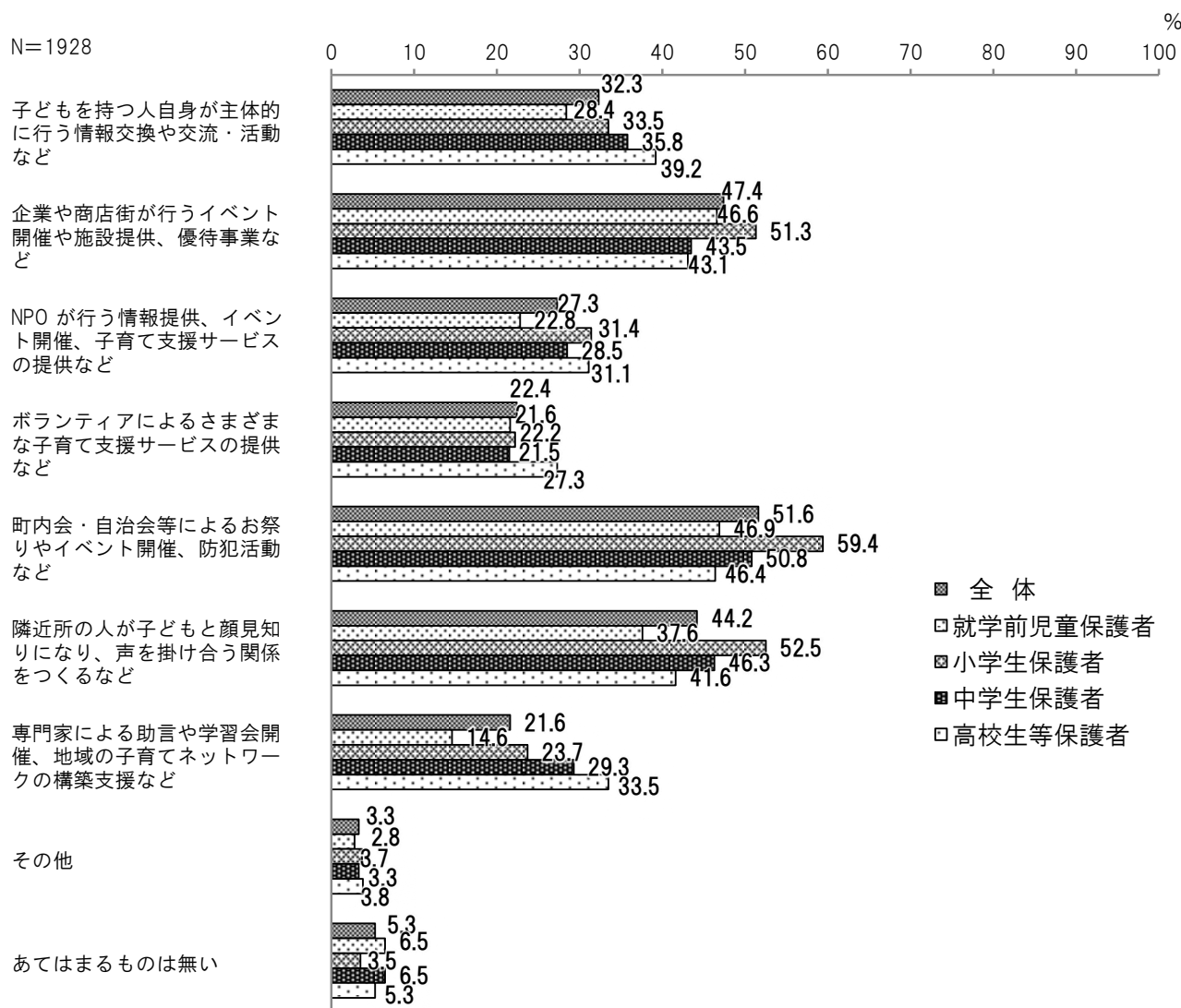
■ 7-4-20) 豊島区の「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について。：ク 地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われている SA

- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、就学前児童保護者で45.4%、小学生保護者で51.1%、中学生保護者で48.0%、高校生等保護者で43.6%でした。



■ 7-4-2 1) あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。（複数回答）

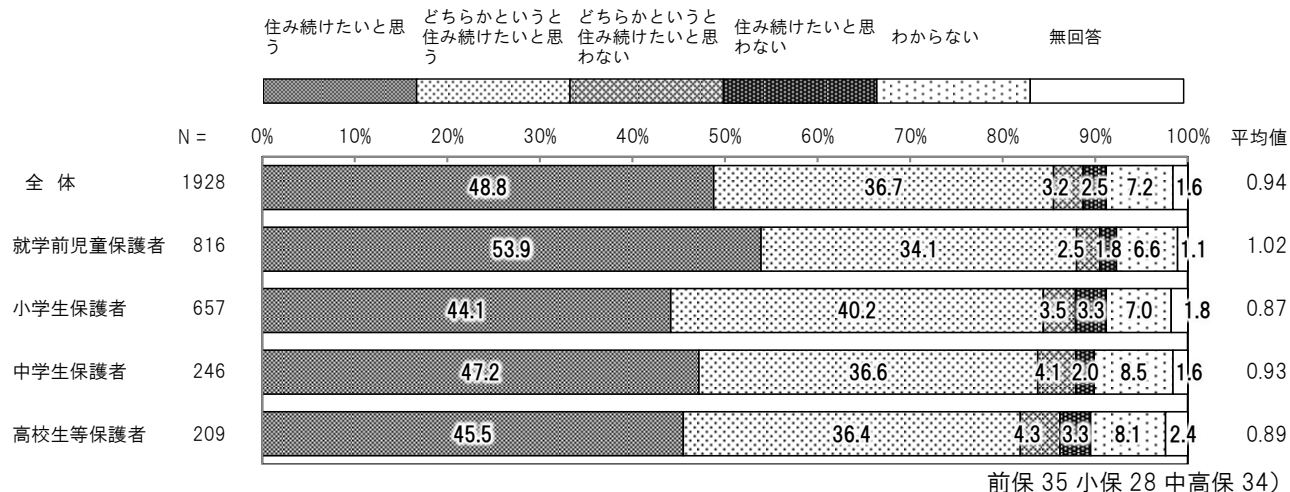
- ・ 就学前児童保護者と高校生等保護者は「町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など」が最も多く就学前児童保護者で 46.9%、高校生等保護者で 46.4%、次いで「企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など」が多く就学前児童保護者で 46.6%、高校生等保護者で 43.1%でした。小学生保護者と中学生保護者は「町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など」が最も多く小学生保護者で 59.4%、中学生保護者で 50.8%、次いで「隣近所の人子どもと顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど」が多く小学生保護者で 52.5%、中学生保護者で 46.3%でした。



前保 22 小保 26 中高保 32)

■ 7-4-2 2) あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。 SA

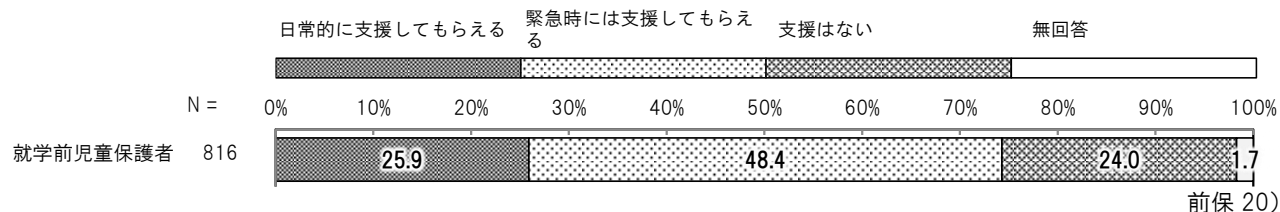
- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「住み続けたいと思う」「どちらかというに住み続けたいと思う」の合計が「どちらかというに住み続けたいと思わない」「住み続けたいと思わない」の合計より多く、就学前児童保護者で 88.0%、小学生保護者で 84.3%、中学生保護者で 83.8%、高校生等保護者で 81.9%でした。



7-5 就学前児童に関する相談や周囲からの支援

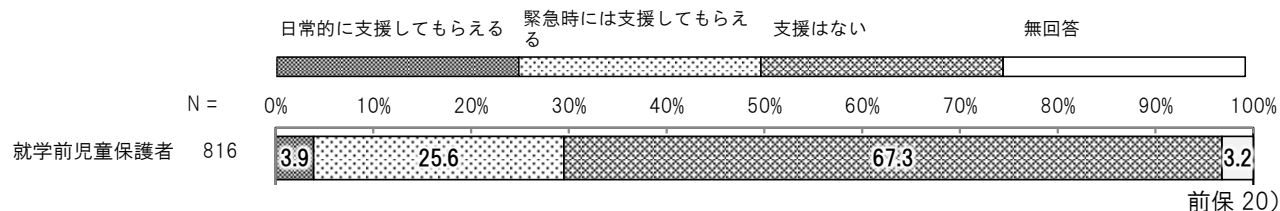
■ 7-5-1) あなたがお子さんの世話をする上での支援の状況：ア 祖父母 SA

- ・ 就学前児童保護者は「緊急時には支援してもらえる」が最も多く 48.4%でした。



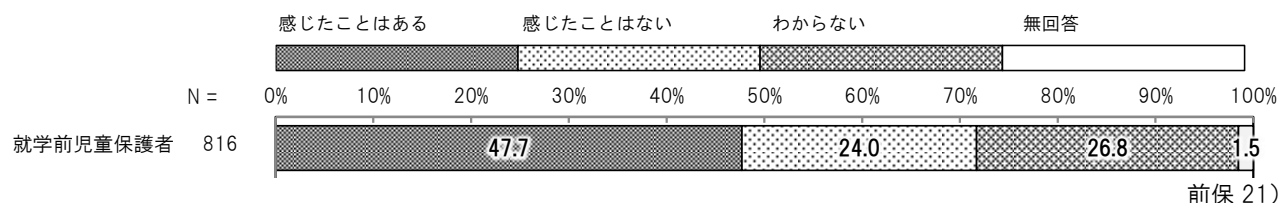
■ 7-5-2) あなたがお子さんの世話をする上での支援の状況：イ 友人・知人 SA

- ・ 就学前児童保護者は「支援はない」が最も多く 67.3%でした。



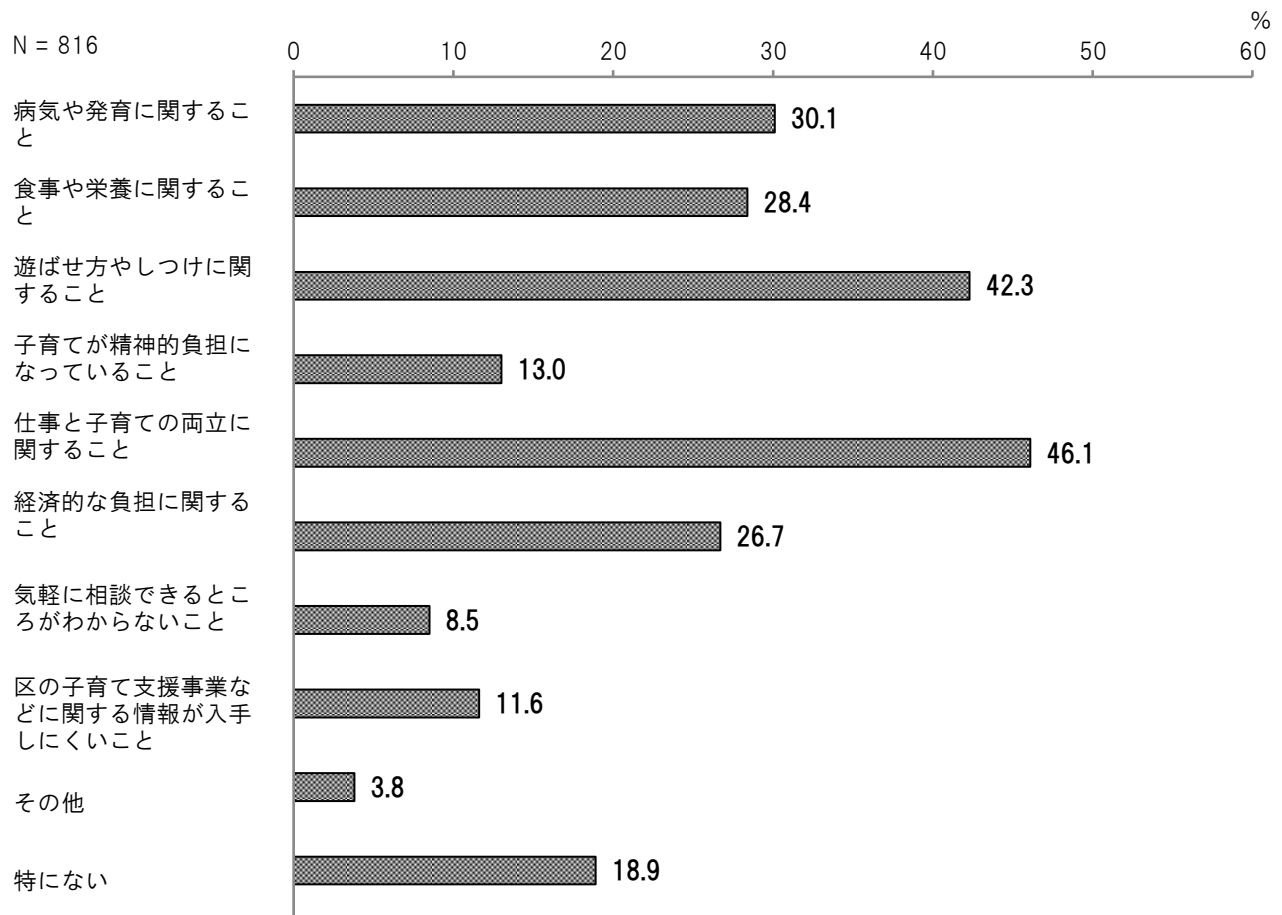
■ 7-5-3) あなたは、子育てについて地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「感じたことはある」が最も多く 47.7%でした。



■ 7-5-4) 育児に関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。 (複数回答)

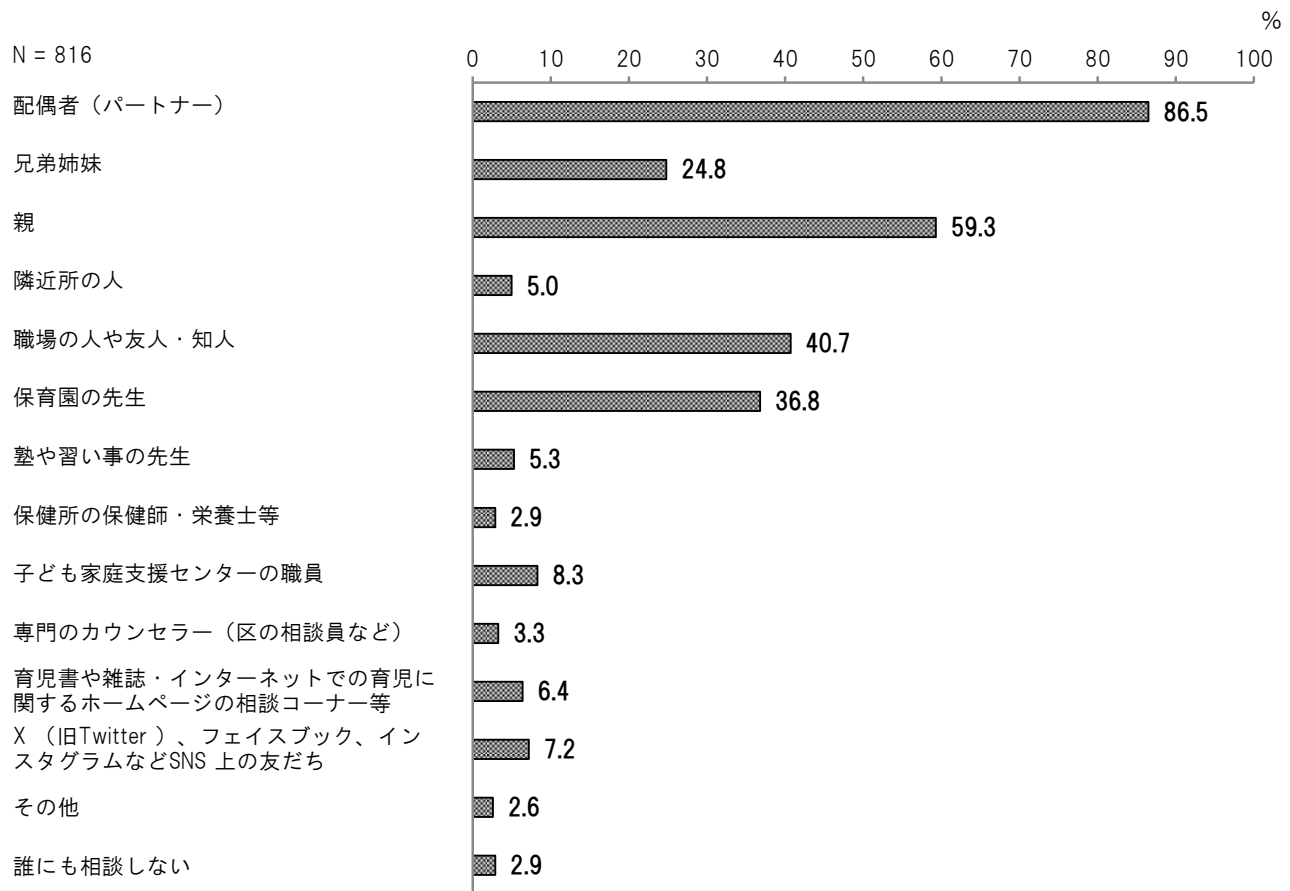
- ・ 就学前児童保護者は「仕事と子育ての両立に関すること」が最も多く 46.1%、次いで「遊ばせ方やしつけに関すること」が 42.3%でした。



前保 25)

■ 7-5-5) 育児に関する不安や悩みをどなたに相談していますか。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。（複数回答）

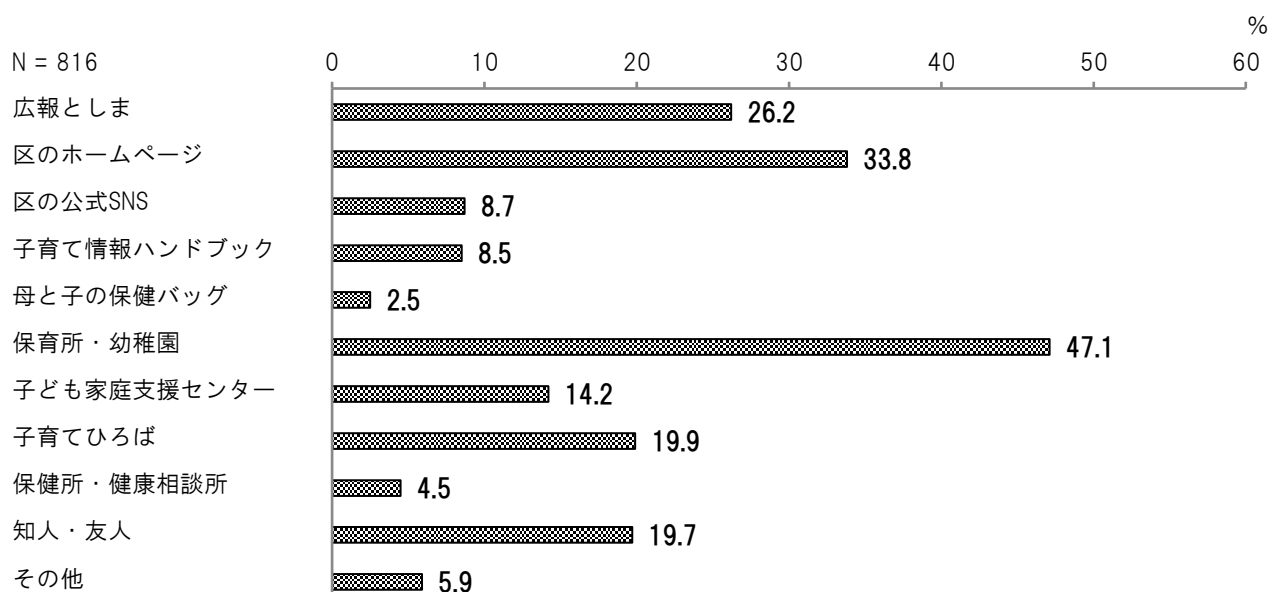
- ・ 就学前児童保護者は「配偶者（パートナー）」が最も多く 86.5%、次いで「親」が 59.3%でした。



前保 26)

■ 7-5-6) 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手していますか (複数回答)

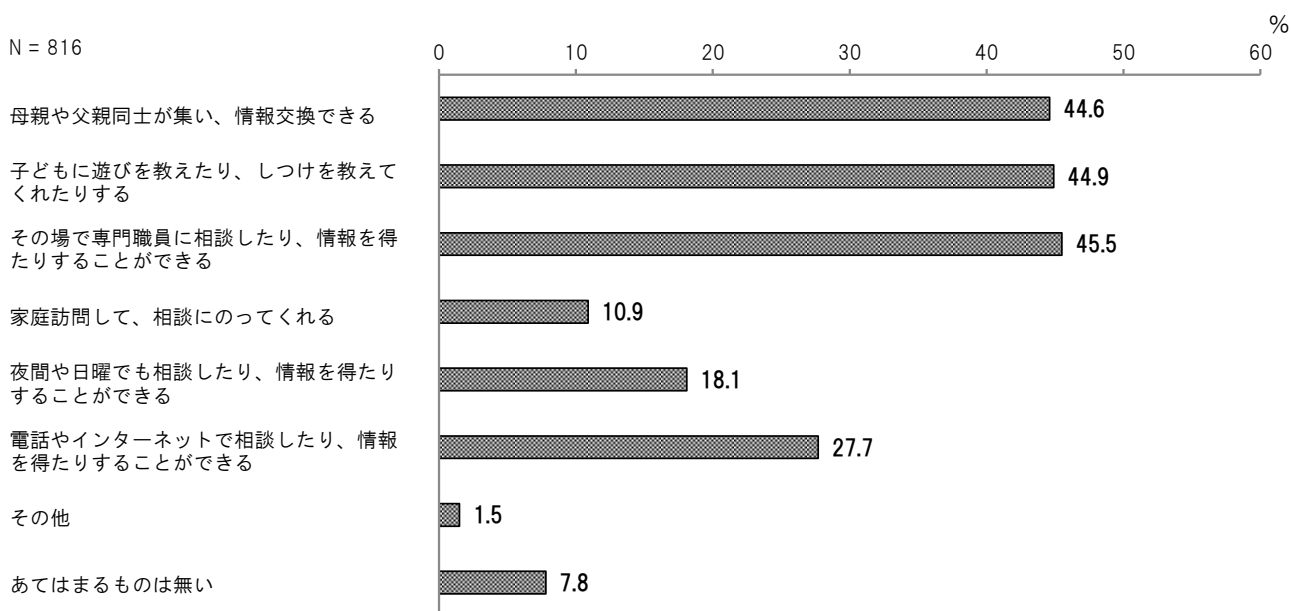
- ・ 就学前児童保護者は「保育所・幼稚園」が最も多く 47.1%、次いで「区のホームページ」が 33.8%でした。



前保 27)

■ 7-5-7) 身近な地域で、育児に関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。 (複数回答)

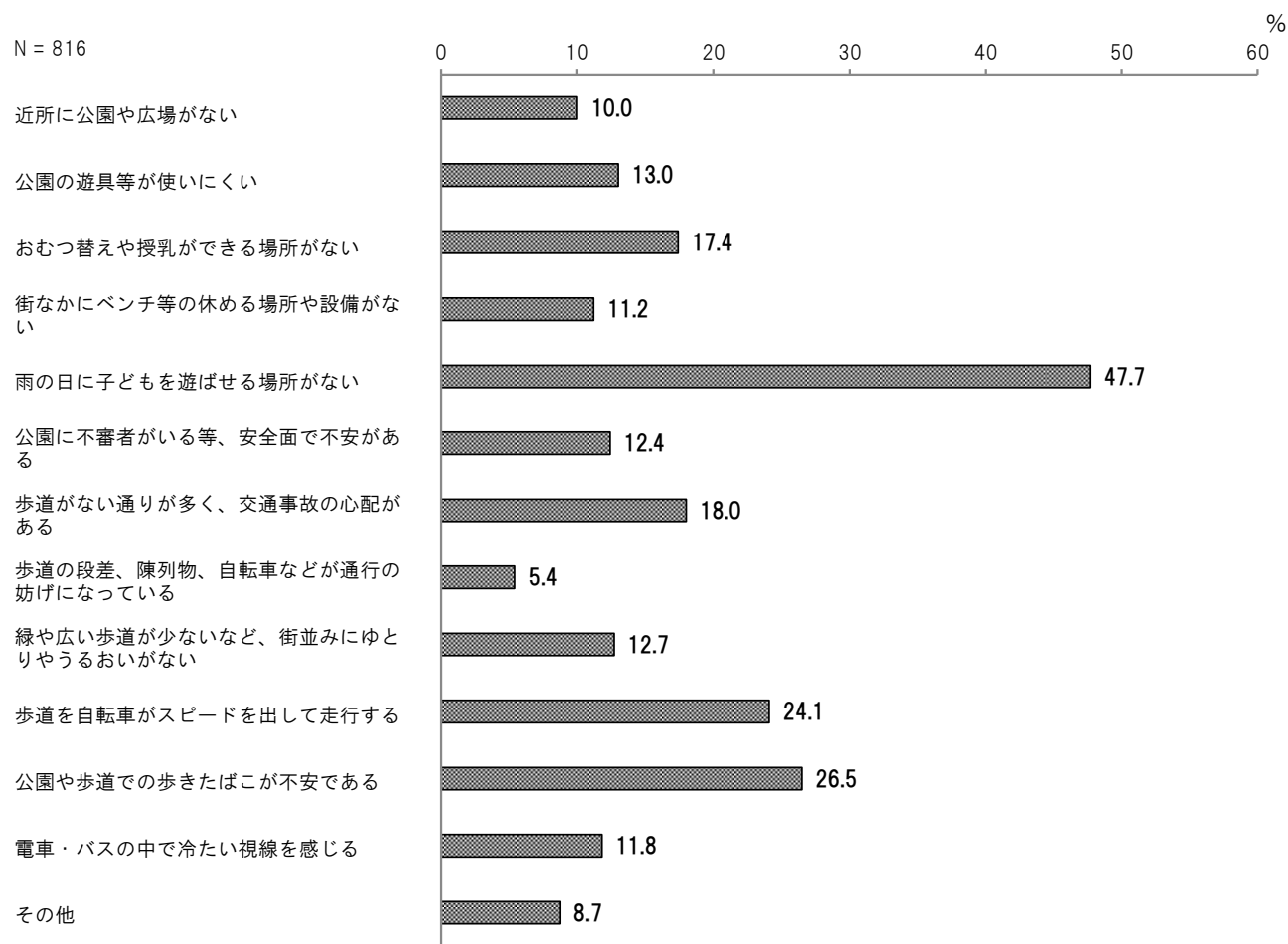
- ・ 就学前児童保護者は「その場で専門職員に相談したり、情報を得たりすることができる」が最も多く 45.5%、次いで「子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれたりする」が 44.9%でした。



前保 28)

■ 7-5-8) 子どもを連れて外出する際に、特に気にかかる点は何ですか。 (複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「雨の日に子どもを遊ばせる場所がない」が最も多く 47.7%、次いで「公園や歩道での歩きたばこが不安である」が 26.5%でした。

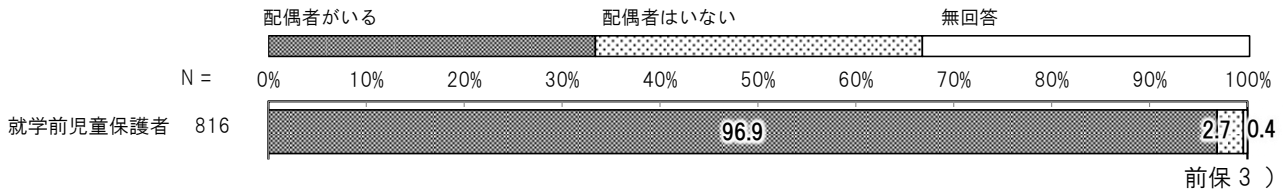


前保 29)

7-6 保護者の状況

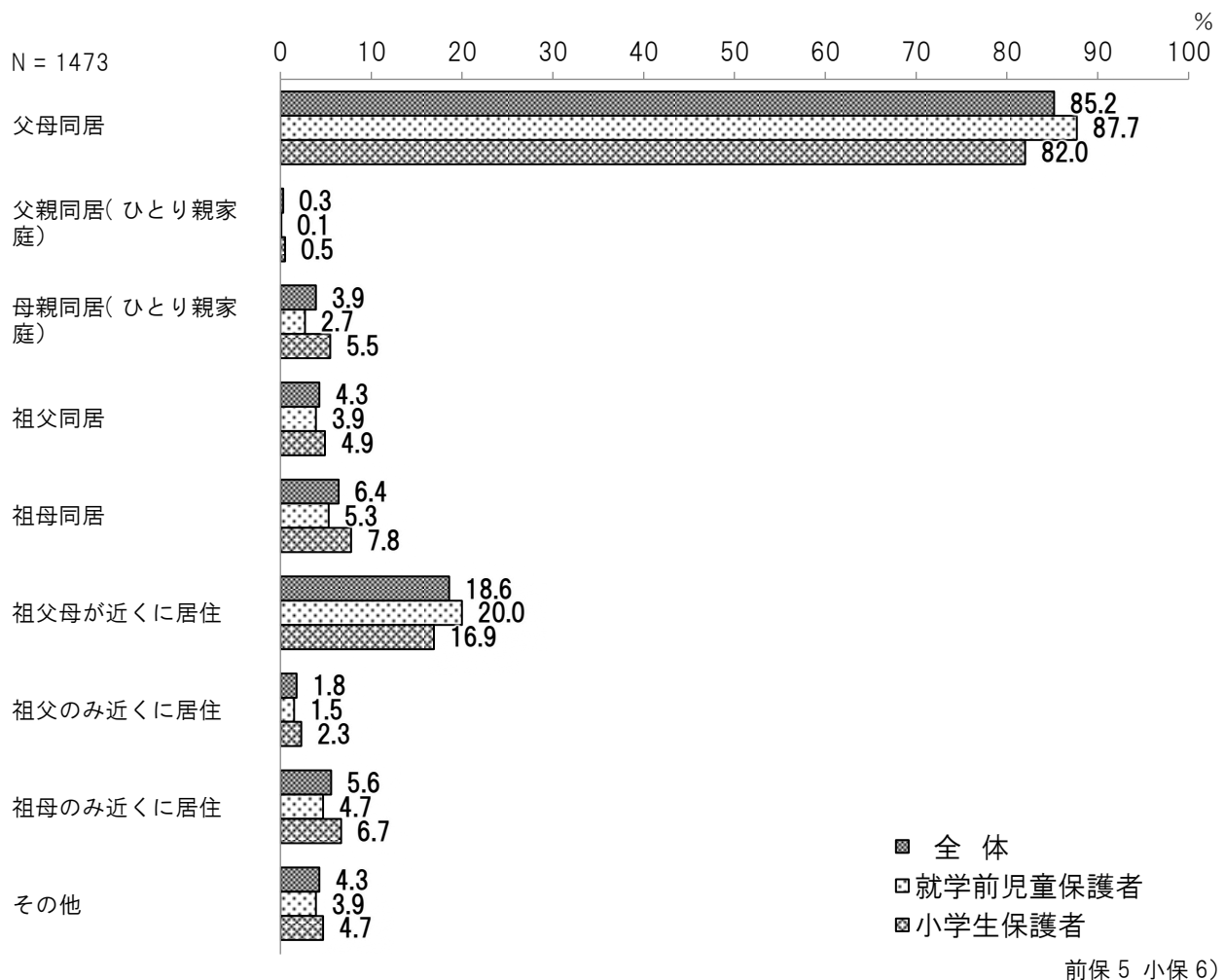
■ 7-6-1) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「配偶者がいる」が最も多く 96.9%でした。



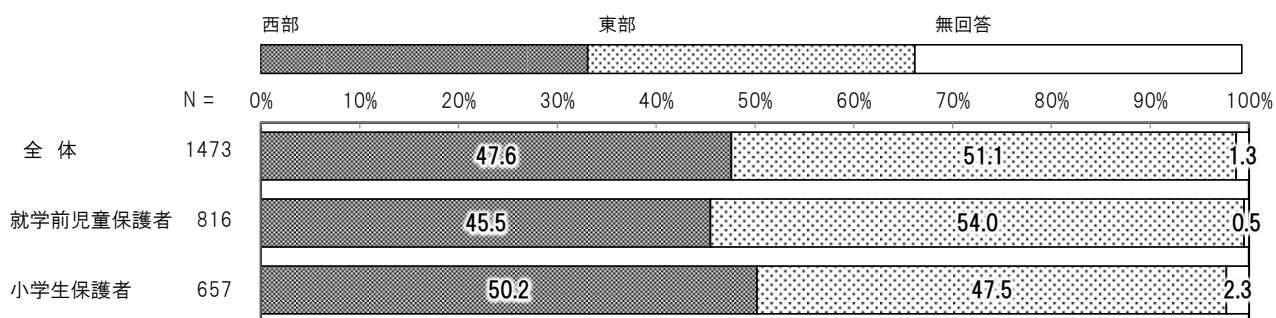
■ 7-6-2) お子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について (複数回答)

- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者はいずれも就学前児童保護者は「父母同居」が最も多く、就学前児童保護者で 87.7%、小学生保護者で 82.0%でした。次いで「祖父母が近くに居住」が、就学前児童保護者で 20.0%、小学生保護者で 16.9%でした。



■ 7-6-3) お住まいのまちはどこですか。 SA

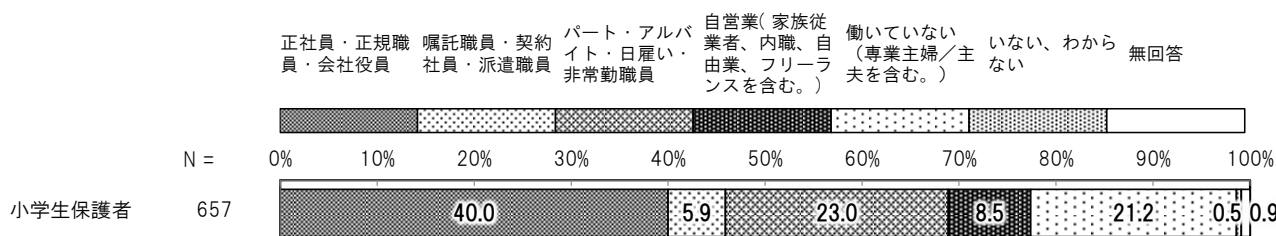
- ・ 就学前児童保護者は「西部」が 45.5%、「東部」が 54.0%でした。
- ・ 小学生保護者は「西部」が 50.2%、「東部」が 47.5%でした。



前保 6 小保 7)

■ 7-6-4) お子さんの親の就労状況：母親 SA

- ・ 小学生保護者は「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く 40.0%、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 23.0%でした。

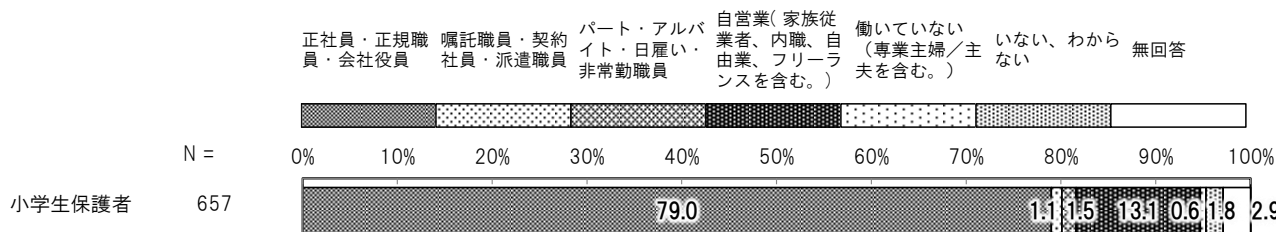


	N=	お子さんの母親の就労状況 (%)						
		正社員・正規職員・会社役員	嘱託職員・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	いない、わからない	無回答
全体	657	40.0	5.9	23.0	8.5	21.2	0.5	0.9
小学1年生	115	47.8	7.0	20.0	7.0	16.5	0.0	1.7
小学2年生	128	39.1	6.3	19.5	8.6	24.2	0.8	1.6
小学3年生	125	36.0	5.6	22.4	12.8	22.4	0.0	0.8
小学4年生	90	43.3	5.6	21.1	4.4	25.6	0.0	0.0
小学5年生	98	35.7	6.1	30.6	7.1	18.4	2.0	0.0
小学6年生	89	37.1	4.5	25.8	11.2	20.2	0.0	1.1

小保 8)

■ 7-6-5) お子さんの親の就労状況：父親 SA

- ・ 小学生保護者は「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く 79.0%、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が 13.1%でした。

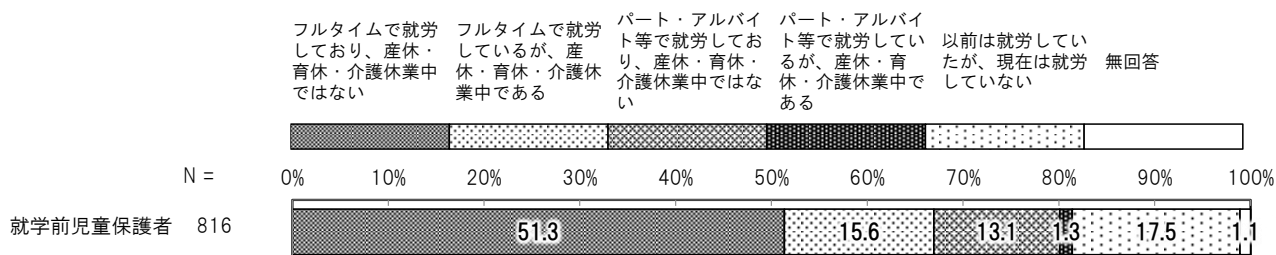


	N=	お子さんの父親の就労状況（％）						
		正社員・正 規職員・会 社役員	嘱託職員・ 契約社員・ 派遣職員	パート・アル バイト・日 雇い・非常 勤職員	自営業（家族 従業者、内 職、自由 業、フリー ランスを含 む。）	働いていな い（専業主 婦／主夫を 含む。）	いない、わ からない	無回答
全体	657	79.0	1.1	1.5	13.1	0.6	1.8	2.9
小学1年生	115	77.4	1.7	3.5	12.2	1.7	0.9	2.6
小学2年生	128	71.9	3.1	3.1	16.4	0.0	1.6	3.9
小学3年生	125	80.8	0.0	0.0	10.4	0.8	4.0	4.0
小学4年生	90	80.0	0.0	1.1	15.6	1.1	1.1	1.1
小学5年生	98	84.7	1.0	1.0	11.2	0.0	1.0	1.0
小学6年生	89	82.0	0.0	0.0	12.4	0.0	2.2	3.4

小保 8)

■ 7-6-6) お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）：母親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 51.3%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 17.5%でした。



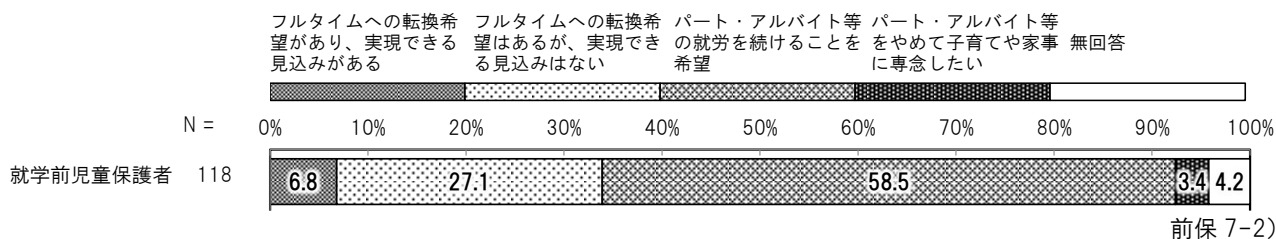
	N=	お子さんの母親の現在の就労状況（％）					
		フルタイムで 就労してお り、産休・育 休・介護休 業中では ない	フルタイムで 就労してい るが、産休 ・育休・介 護休業中 である	パート・アル バイト等で 就労してお り、産休・ 育休・介 護休業中 ではない	パート・アル バイト等で 就労してい るが、産休 ・育休・介 護休業中 である	以前は就労 していたが、 現在は就労 していない	無回答
全体	816	51.3	15.6	13.1	1.3	17.5	1.1
0歳	143	28.7	43.4	8.4	2.8	16.1	0.7
1歳	137	57.7	13.9	11.7	1.5	15.3	0.0
2歳	128	53.9	11.7	8.6	0.8	23.4	1.6
3歳	139	55.4	10.8	18.7	0.0	13.7	1.4
4歳	135	56.3	6.7	15.6	1.5	18.5	1.5
5歳	127	59.1	4.7	15.7	0.8	18.1	1.6

母親の就労日数（週あたり日数）							
	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
N=	630	102	111	91	118	105	98
平均	4.82	4.84	4.95	4.87	4.75	4.72	4.82

前保 7)

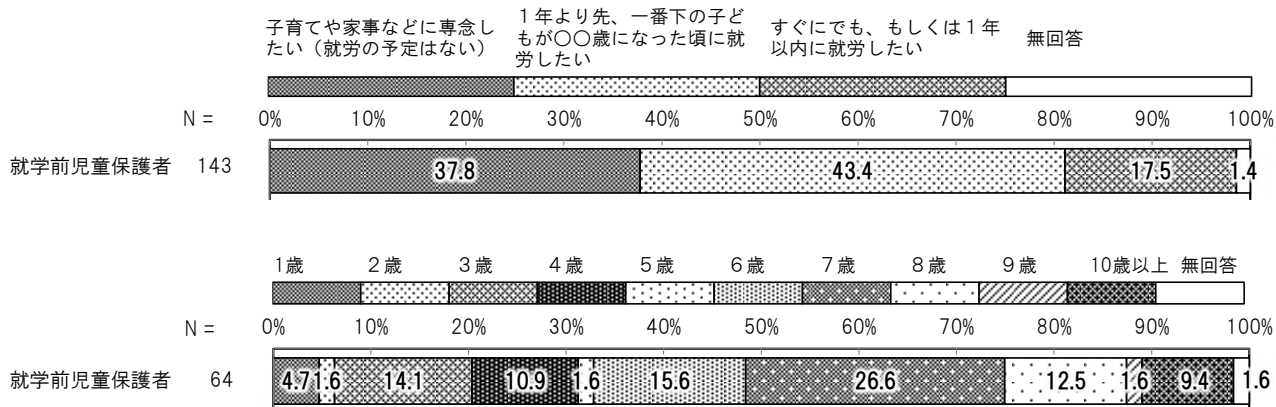
■ 7-6-7) フルタイムへの転換希望：母親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く 58.5%、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 27.1%でした。



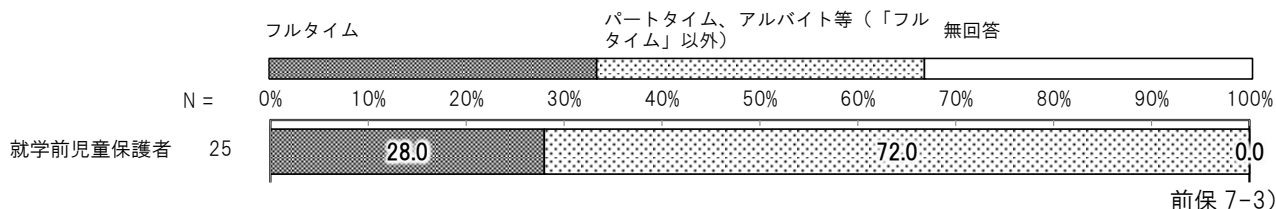
■ 7-6-8) 就労したいという希望はありますか。：母親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になった頃に就労したい」が最も多く 43.4%、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 37.8%でした。
- ・ 「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になった頃に就労したい」方は、お子さんが何歳になったら就労したいかをお聞きしたところ、7歳が最も多く 26.6%でした。



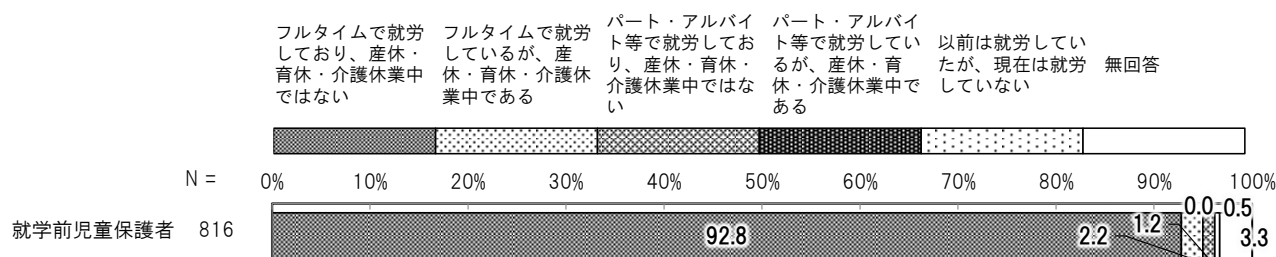
■ 7-6-9) すぐにでも就労したい場合、希望する就労形態：母親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が最も多く 72.0%でした。



■ 7-6-1 0) お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）：父親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 92.8%、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 2.2%でした。



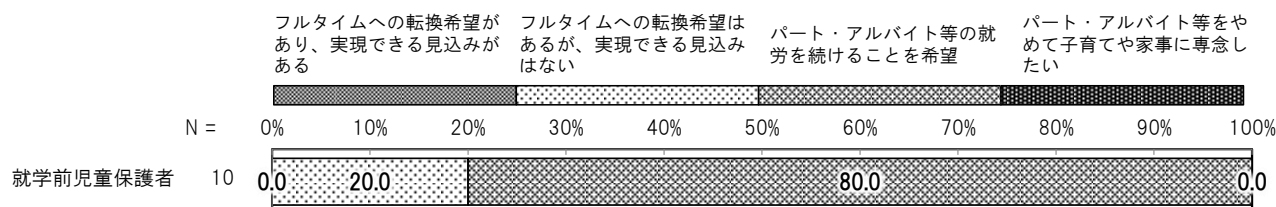
		お子さんの父親の現在の就労状況 (%)					
	N=	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	無回答
全体	816	92.8	2.2	1.2	0.0	0.5	3.3
0歳	143	90.9	6.3	0.7	0.0	1.4	0.7
1歳	137	96.4	0.7	1.5	0.0	0.0	1.5
2歳	128	93.0	2.3	0.8	0.0	0.8	3.1
3歳	139	90.6	1.4	0.7	0.0	0.7	6.5
4歳	135	93.3	0.7	1.5	0.0	0.0	4.4
5歳	127	92.1	1.6	2.4	0.0	0.0	3.9

父親の就労日数（週あたり日数）							
	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
N=	763	135	132	119	125	127	118
平均	5.17	5.21	5.15	5.18	5.18	5.17	5.15

前保 7)

■ 7-6-1 1) フルタイムへの転換希望：父親 SA

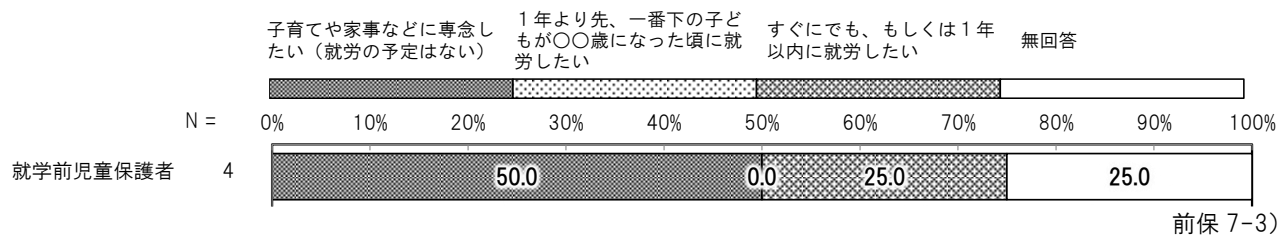
- ・ 就学前児童保護者は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く 80.0%、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 20.0%でした。



前保 7-2)

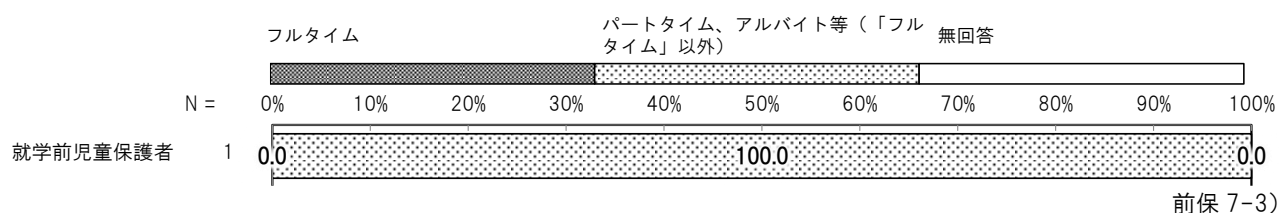
■ 7-6-1 2) 就労したいという希望はありますか。：父親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が最も多く 50.0%、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 25.0%でした。



■ 7-6-1 3) すぐにでも就労したい場合、希望する就労形態：父親 SA

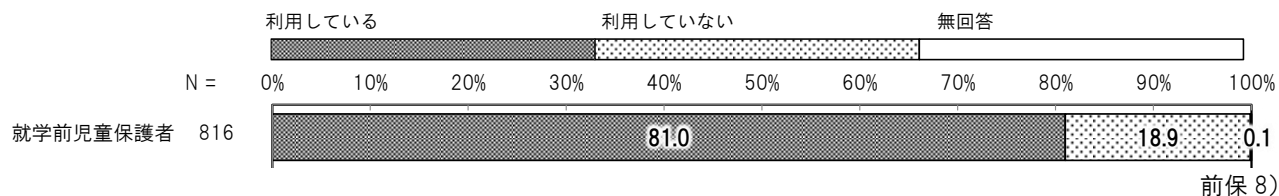
- ・ 就学前児童保護者は「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が 100.0%でした。



7-7 子育て支援事業の利用状況

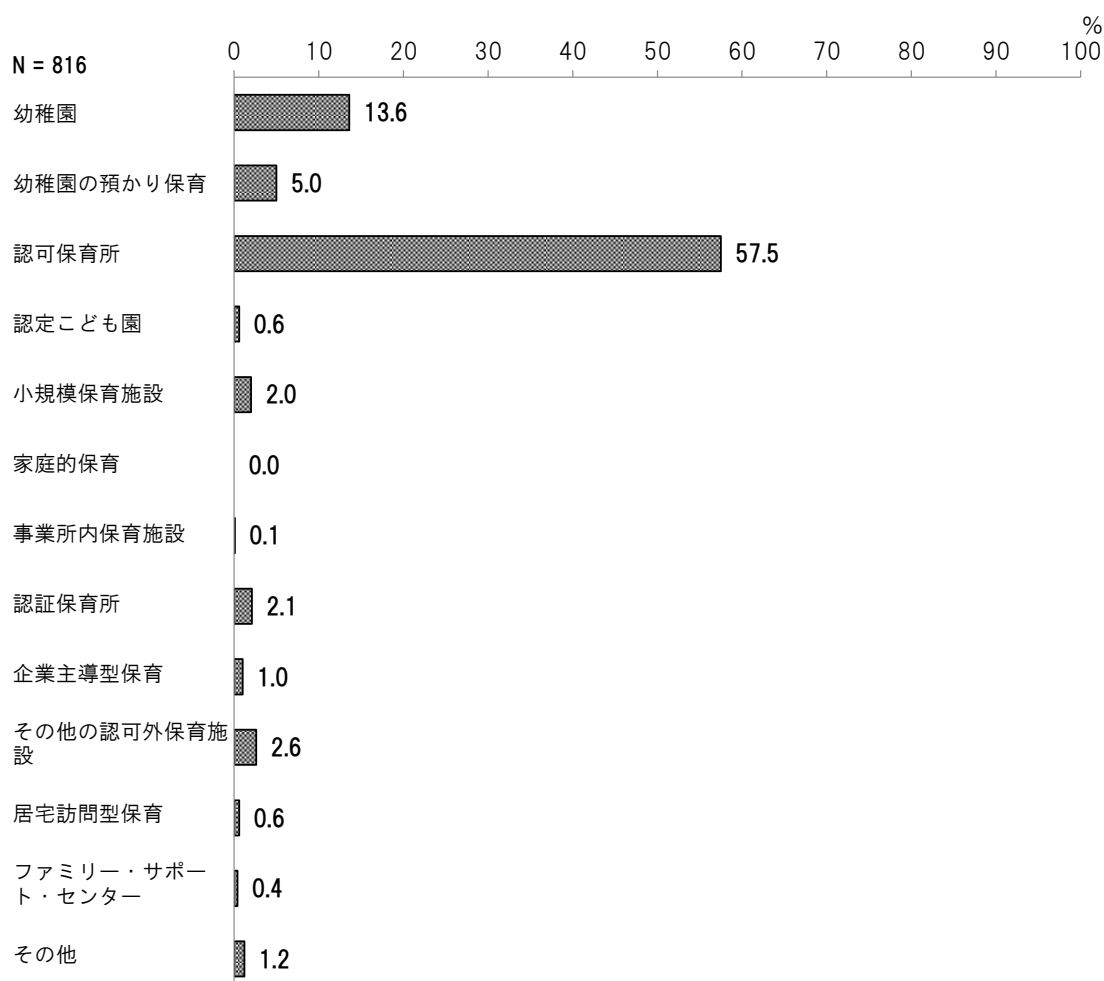
■ 7-7-1) お子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「利用している」が最も多く 81.0%でした。



■ 7-7-2) お子さんは、平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用していますか。 (複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「認可保育所」が最も多く 57.5%、次いで「幼稚園」が 13.6%でした。

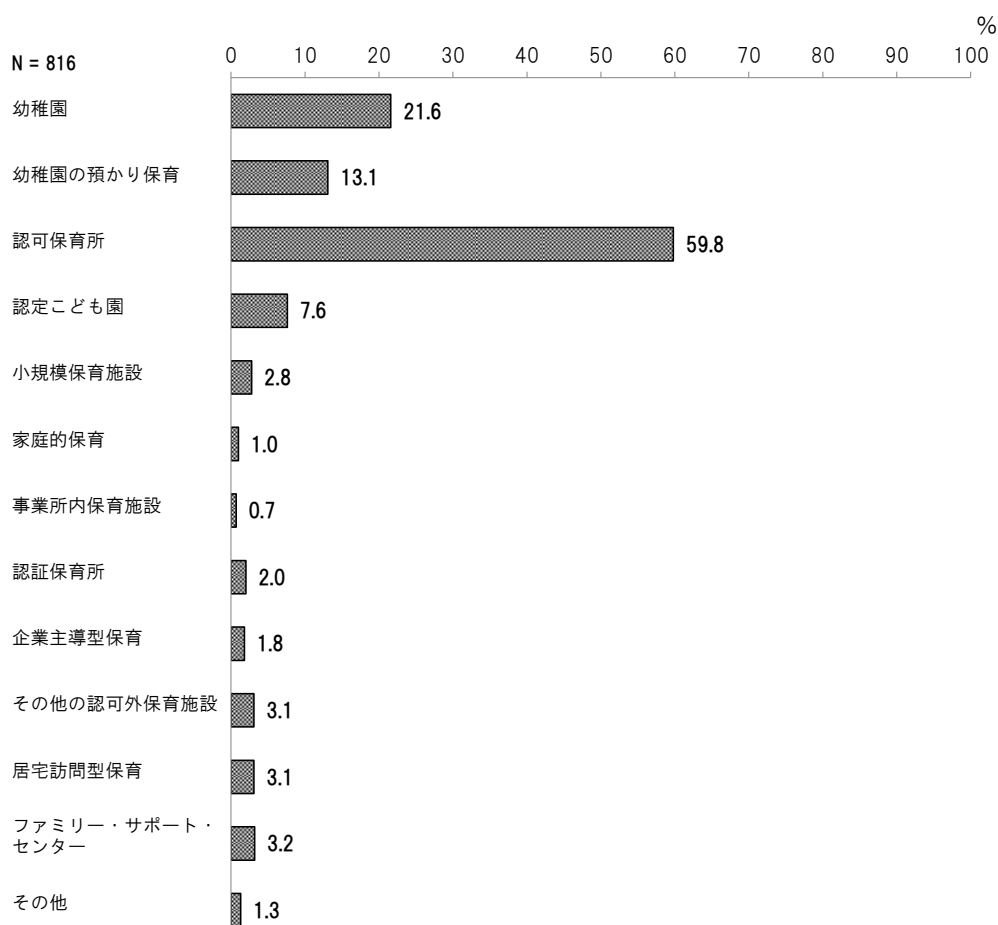


	N=	平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用していますか。(%)												
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認証保育所	企業主導型保育	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他
全体	816	13.6	5.0	57.5	0.6	2.0	0.0	0.1	2.1	1.0	2.6	0.6	0.4	1.2
0歳	143	2.8	0.0	23.8	0.0	2.8	0.0	0.0	2.1	0.0	1.4	0.0	0.7	1.4
1歳	137	0.0	1.5	61.3	0.7	4.4	0.0	0.0	3.6	1.5	3.6	0.7	0.0	2.2
2歳	128	4.7	0.8	63.3	0.0	4.7	0.0	0.0	2.3	2.3	1.6	0.0	0.0	2.3
3歳	139	22.3	10.1	68.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	4.3	1.4	0.0	0.7
4歳	135	23.0	5.2	68.1	0.7	0.0	0.0	0.0	3.0	0.7	1.5	0.7	0.0	0.7
5歳	127	29.1	13.4	62.2	0.8	0.0	0.0	0.8	1.6	0.8	3.1	0.8	1.6	0.0

前保 8)

■ 7-7-3) お子さんは、平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用したいかの希望はありますか。 (複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「認可保育所」が最も多く 59.8%、次いで「幼稚園」が 21.6%でした。



		平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用したいですか。(%)												
	調査数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認証保育所	企業主導型保育	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他
全体	816	21.6	13.1	59.8	7.6	2.8	1.0	0.7	2.0	1.8	3.1	3.1	3.2	1.3
0歳	143	27.3	15.4	67.1	15.4	11.2	2.8	0.0	3.5	2.1	4.2	4.9	5.6	2.1
1歳	137	12.4	9.5	67.9	13.1	4.4	2.9	2.9	4.4	2.9	3.6	5.8	2.9	2.2
2歳	128	27.3	15.6	52.3	9.4	0.8	0.0	0.8	1.6	2.3	1.6	1.6	3.9	0.0
3歳	139	21.6	15.1	62.6	4.3	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	5.0	4.3	3.6	1.4
4歳	135	18.5	8.9	54.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.7	1.5	0.7	0.7	1.5	2.2
5歳	127	22.8	14.2	52.8	1.6	0.0	0.0	0.8	0.8	0.8	3.1	0.8	0.8	0.0
西部	371	21.8	12.4	59.3	8.1	3.2	1.6	0.8	2.2	2.4	2.7	3.8	4	1.1
東部	441	21.3	13.8	60.5	7.3	2.5	0.5	0.7	1.8	1.4	3.4	2.5	2.3	1.6

前保 8)

■ 7-7-4) お子さんは、平日の定期的な教育・保育事業を週あたりどのくらいの日数利用していますか（現在）、また、利用したいですか（希望）。

- ・ 週あたりの利用日数が多いのは、「認可保育所」、「認定こども園」、「小規模保育施設」、「事業所内保育施設」で、平均 5.00 日でした。また、希望日数は、「認可保育所」で 5.01 日、次いで、幼稚園が 4.97 日でした。
- ・ 1 日あたりの利用時間が多いのは、「事業内保育施設」で 9.00 時間、次いで「認可保育所」が 8.89 時間でした。希望時間が多いのは、「認可保育所」で 8.99 時間、次いで「小規模保育施設」が 8.71 時間でした。

	現在日数（週あたり）		現在時間（日あたり）		希望日数（週あたり）		希望時間（日あたり）	
	調査数	平均	調査数	平均	調査数	平均	調査数	平均
幼稚園	110	4.91	107	5.43	159	4.97	150	5.61
幼稚園の預かり保育	40	3.85	42	3.62	97	3.94	95	4.52
認可保育所	466	5.00	459	8.89	464	5.01	458	8.99
認定こども園	5	5.00	5	8.00	52	4.92	51	8.51
小規模保育施設	15	5.00	15	8.80	21	4.81	21	8.71
家庭的保育	0	—	0	—	6	4.17	6	7.33
事業所内保育施設	1	5.00	1	9.00	5	4.40	6	8.50
認証保育所	17	4.88	16	7.81	15	4.80	14	8.50
企業主導型保育	8	4.75	8	8.63	15	4.80	16	8.38
その他の認可外保育施設	20	4.10	20	6.65	22	4.09	22	7.18
居宅訪問型保育	4	1.50	5	4.60	20	2.25	20	4.95
ファミリー・サポート・センター	3	1.33	3	2.00	20	2.10	20	4.55
その他	9	3.00	9	4.00	8	4.25	8	7.13

前保 8)

■ 7-7-5) 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。（複数回答）

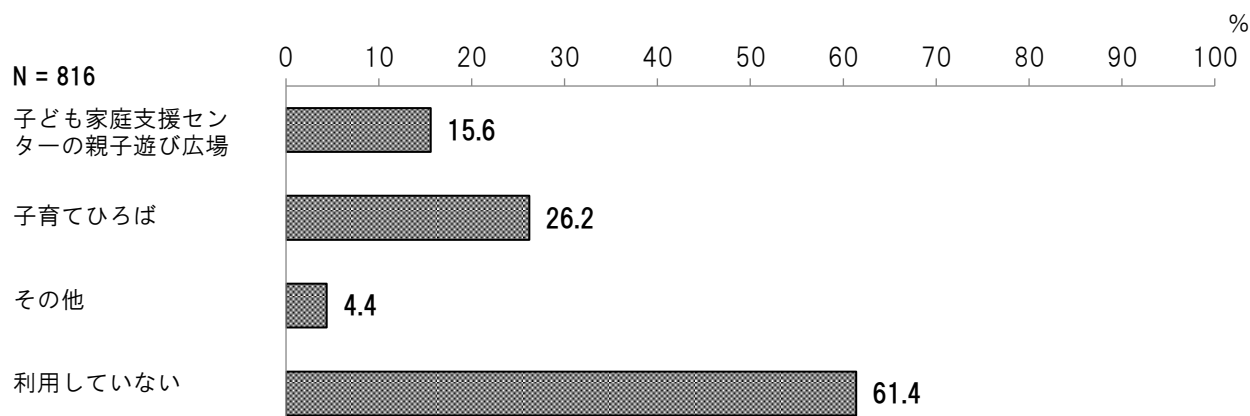
- ・ 重視するほうから5つ選んでいただいた結果、優先順位1は「自宅の近く」が最も多く57.6%、次いで「園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」が18.5%でした。優先順位5までの全体の傾向を見ると、「自宅の近く」が最も優先順位が高く、次いで、「園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」、「施設・設備が整っている」、「給食を提供している」の順になりました。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。重視する順番が高いほうから5つ選んでください。（%）					
	優先順位1	優先順位2	優先順位3	優先順位4	優先順位5
自宅の近く	57.6	15.3	8.0	5.6	4.3
子どもが将来通う小学校のある居住地区内にあること	1.1	4.9	2.8	1.8	2.5
職場の近く	0.6	2.0	1.1	1.0	1.1
駅の近く	0.6	3.9	3.4	2.1	1.3
兄弟姉妹が通っている	5.1	8.7	5.1	3.3	3.7
延長保育に対応している	2.9	8.1	8.2	6.9	8.8
夜間や休日保育に対応している	0.2	0.5	1.0	1.3	1.1
乳児保育を実施している	0.1	2.1	1.1	1.3	1.6
病児や病後児の対応を行っている	0.1	0.9	1.0	1.8	1.5
施設・設備が整っている	2.5	10.3	12.5	13.8	9.1
送迎サービスを行っている	0.6	0.6	0.6	0.7	1.3
給食を提供している	2.0	10.0	14.8	12.0	9.6
地域の評判がよい	1.1	4.5	6.5	6.7	7.7
保育料が安い	0.2	1.0	2.7	2.8	3.3
行事が充実している	0.4	1.1	3.2	6.5	9.4
園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい	18.5	19.6	16.8	15.0	9.1
保育だけでなく、さまざまな教育プログラムを提供している	4.7	4.4	7.2	7.8	12.3
その他	1.1	0.7	0.6	0.7	1.5
無回答	0.5	1.3	3.3	8.6	10.9

前保 9)

■ 7-7-6) お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする事業）を利用していますか。（複数回答）

- ・ 就学前児童保護者は「利用していない」が最も多く 61.4%、次いで「子育てひろば」が 26.2%でした。
- ・ 利用日数は、「子ども家庭支援センターの親子遊び広場」が週あたり平均 1.97 日、「子育てひろば」が週あたり平均 1.81 日でした。

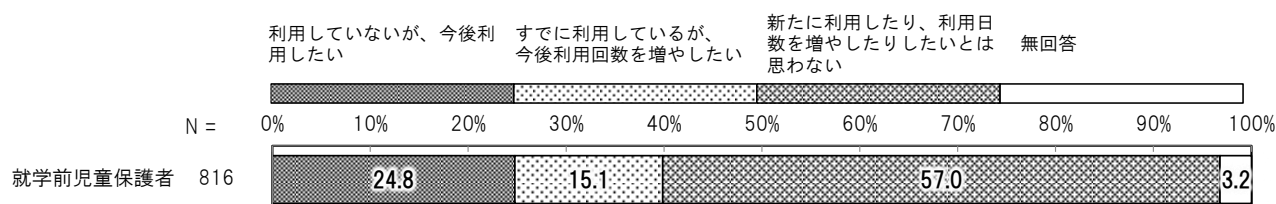


	週あたり日数		月あたり日数	
	調査数	平均	調査数	平均
子ども家庭支援センターの親子遊び広場	29	1.97	99	2.27
子育てひろば	69	1.81	146	2.03
その他	9	1.56	23	1.70

前保 10)

■ 7-7-7) 7-7-6) のような地域子育て支援拠点事業について、利用日数を増やしたい、あるいは、今は利用していないが、できれば今後利用したいと思いますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が最も多く 57.0%、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 24.8%でした。
- ・ 「利用していないが、今後利用したい」場合の週あたりの平均回数は 1.36 回。「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」場合の週あたりの平均回数は 1.77 回でした。

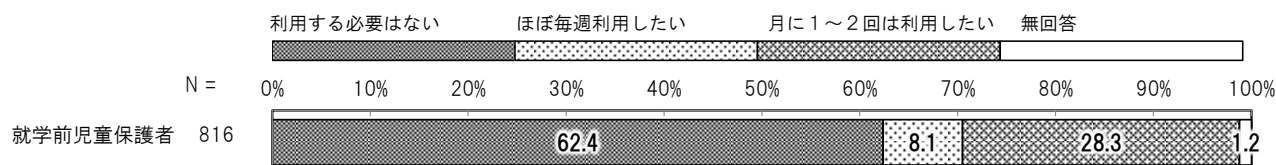


	週あたり回数		月あたり回数	
	調査数	平均	調査数	平均
利用していないが、今後利用したい	67	1.36	150	1.96
すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい	60	1.77	61	2.98

前保 11)

■ 7-7-8) お子さんについて、土曜日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 62.4%、次いで「月に1～2回は利用したい」が 28.3%でした。
- ・ 希望開始時間は、平均 9.08 時、希望終了時間は、平均 15.83 時でした。

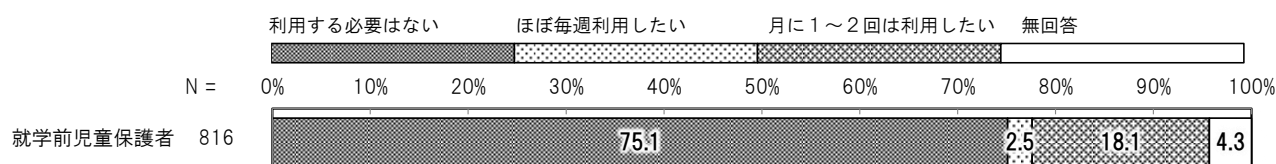


	開始時間		終了時間	
	調査数	平均	調査数	平均
土曜日	283	9.08	283	15.83

前保 12)

■ 7-7-9) お子さんについて、日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 75.1%、次いで「月に1～2回は利用したい」が 18.1%でした。
- ・ 希望開始時間は、平均 9.28 時、希望終了時間は、平均 15.42 時でした。

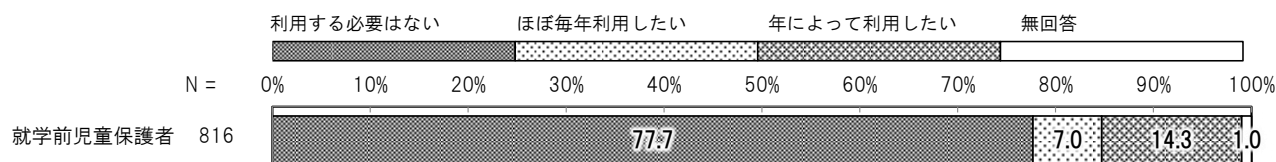


	開始時間		終了時間	
	調査数	平均	調査数	平均
日曜日・祝日	160	9.28	159	15.42

前保 12)

■ 7-7-10) お子さんについて、年末・年始に、教育・保育の事業の利用希望はありますか。 : 年末 (12/29～12/31) SA

- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 77.7%、次いで「年によって利用したい」が 14.3%でした。
- ・ 希望開始時間は、平均 8.63 時、希望終了時間は、平均 16.60 時でした。

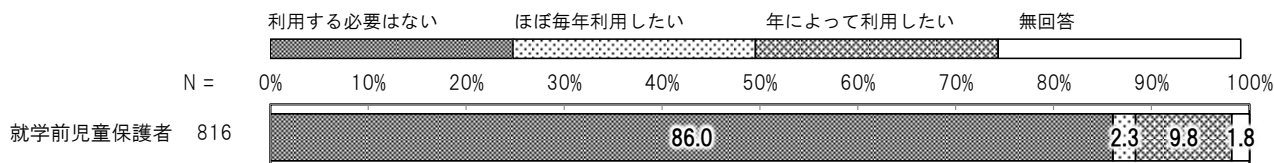


	開始時間		終了時間	
	調査数	平均	調査数	平均
年末 (12/29～12/31)	159	8.63	158	16.60

前保 13)

■ 7-7-1 1) お子さんについて、年末・年始に、教育・保育の事業の利用希望はありますか。：
年始（1 / 1～1 / 3） SA

- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 86.0%、次いで「年によって利用したい」が 9.8%でした。
- ・ 希望開始時間は、平均 9.11 時、希望終了時間は、平均 16.12 時でした。

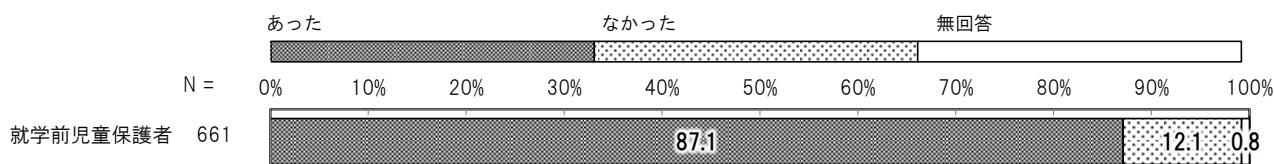


	開始時間		終了時間	
	調査数	平均	調査数	平均
年始（1 / 1～1 / 3）	88	9.11	86	16.12

前保 13)

■ 7-7-1 2) この 1 年間に、お子さんが病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかったことはありますか。 SA

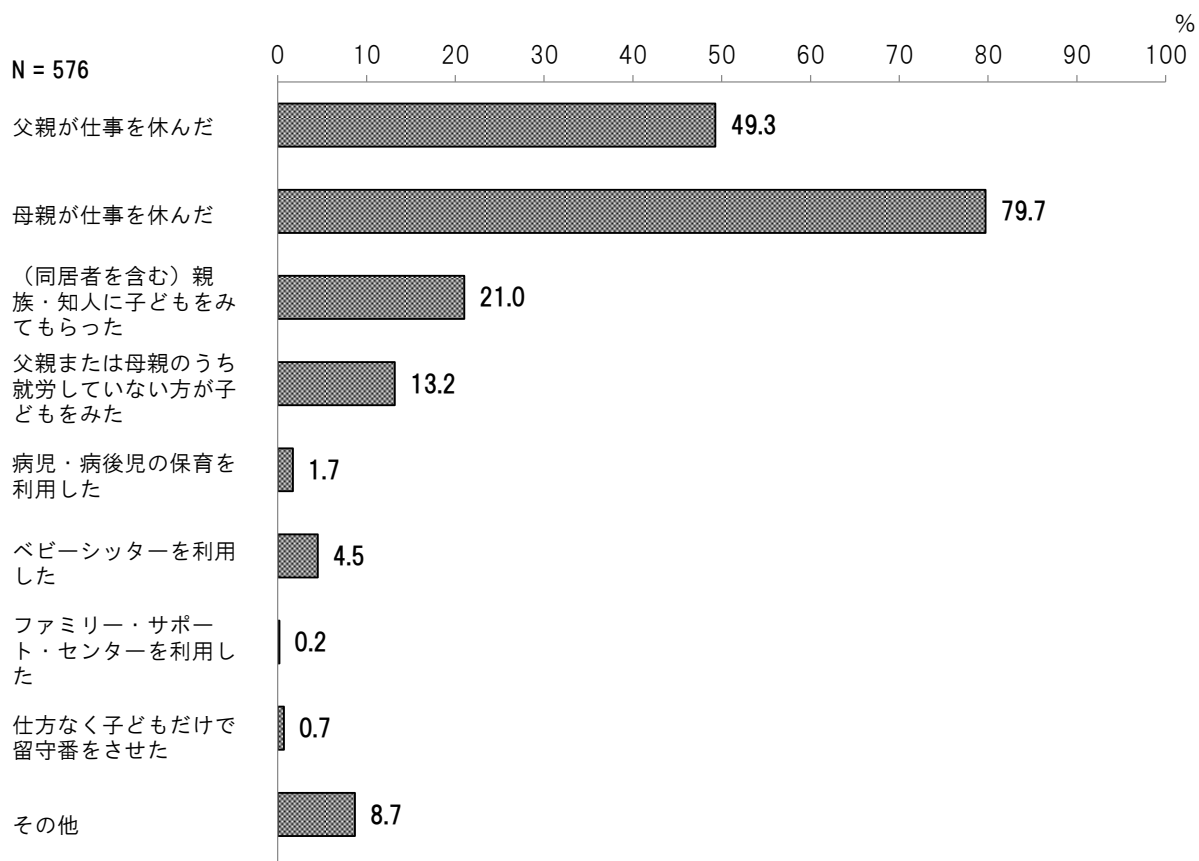
- ・ 就学前児童保護者は「あった」が最も多く 87.1%でした。



前保 14)

■ 7-7-1 3) この1年間に、お子さんが病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかった時、どのように対処しましたか。 (複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「母親が仕事を休んだ」が最も多く 79.7%、次いで「父親が仕事を休んだ」が 49.3%でした。
- ・ 年間あたりの日数が最も多かったのは、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が平均 21.42 日でした。

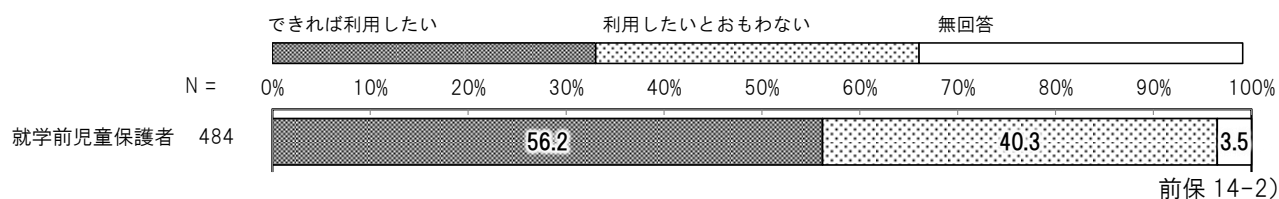


	1 年間の日数	
	調査数	平均
父親が仕事を休んだ	279	5.15
母親が仕事を休んだ	441	9.89
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	106	7.97
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	64	21.42
病児・病後児の保育を利用した	10	4.90
ベビーシッターを利用した	25	9.52
ファミリー・サポート・センターを利用した	1	1.00
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	4.00
その他	32	10.75

前保 14-1)

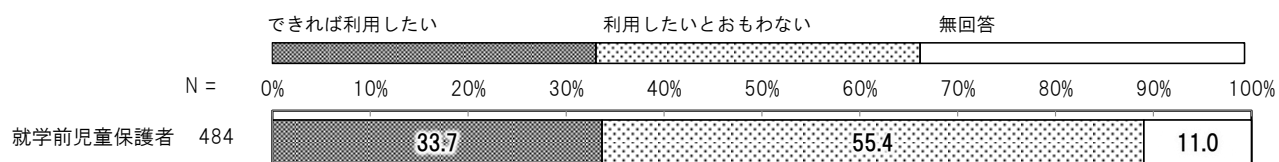
■ 7-7-1 4) 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。:
施設型 SA

- ・ 就学前児童保護者は「できれば利用したい」が最も多く 56.2%でした。



■ 7-7-1 5) 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。:
訪問型 SA

- ・ 就学前児童保護者は「利用したいとおもわない」が最も多く 55.4%でした。
- ・ できれば利用したい方に日数を伺ったところ、施設型は年間平均 7.48 日、訪問型は年間平均 8.32 日でした。

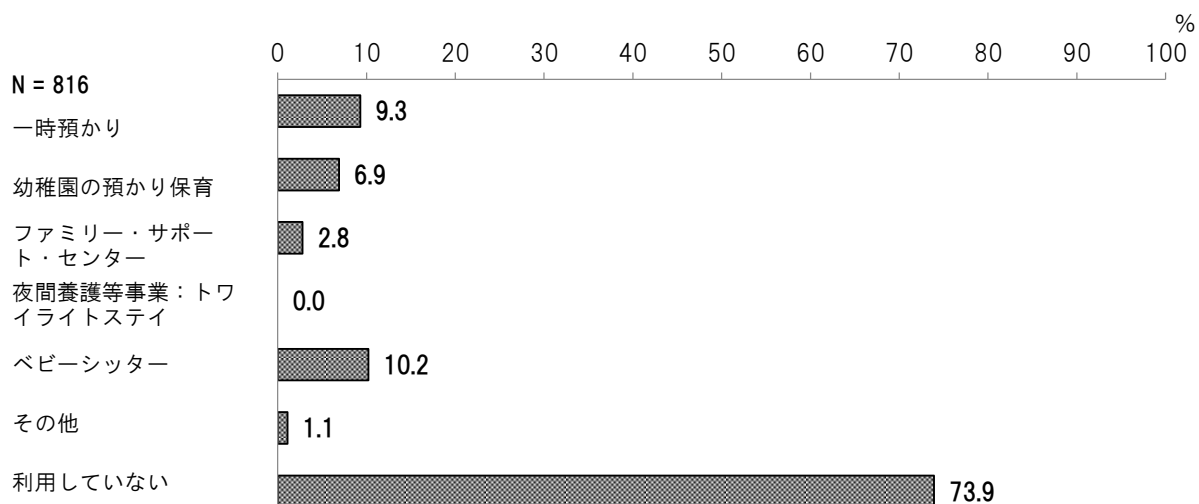


	年間あたり日数	
	調査数	平均
施設型	249	7.48
訪問型	157	8.32

前保 14-2)

■ 7-7-1 6) 日中の定期的な保育や病気のため以外に、親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不定期に利用している事業はありますか。 (複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「利用していない」が最も多く 73.9%、次いで「ベビーシッター」が 10.2%でした。
- ・ 年間あたりの日数が最も多いのは、「幼稚園の預かり保育」で平均 26.57 日、次いで「一時預かり」が平均 22.88 日でした。

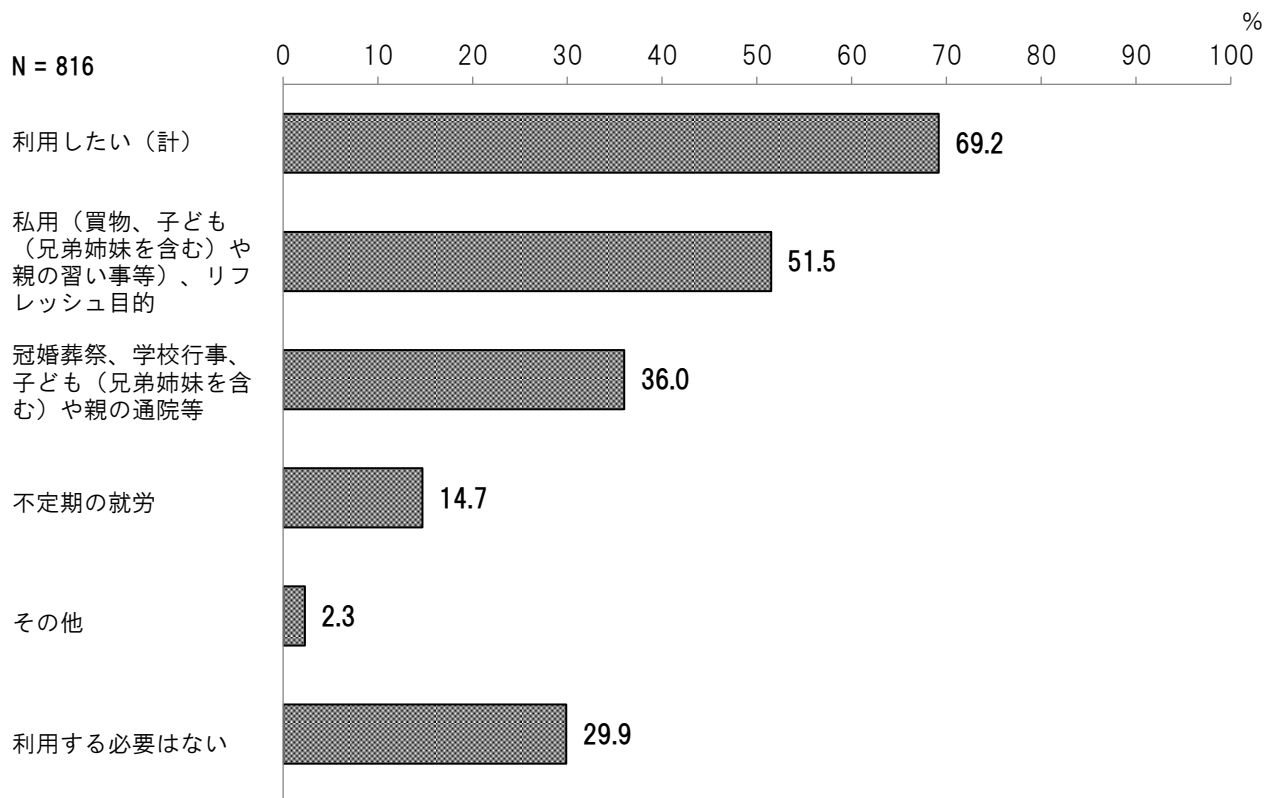


	年間あたり日数	
	調査数	平均
一時預かり	68	22.88
幼稚園の預かり保育	49	26.57
ファミリー・サポート・センター	22	8.91
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	—
ベビーシッター	80	20.49
その他	8	12.38

前保 15)

■ 7-7-1 7) お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。希望の有無。 (複数回答)

- ・ 不特定の教育・保育事業全体で、「利用したい」が69.2%でした。うち、「私用、リフレッシュ目的」が51.5%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が36.0%でした。
- ・ 年間あたりの日数は、「その他」が27.40日、次いで、「不特定の就労」が17.27日でした。

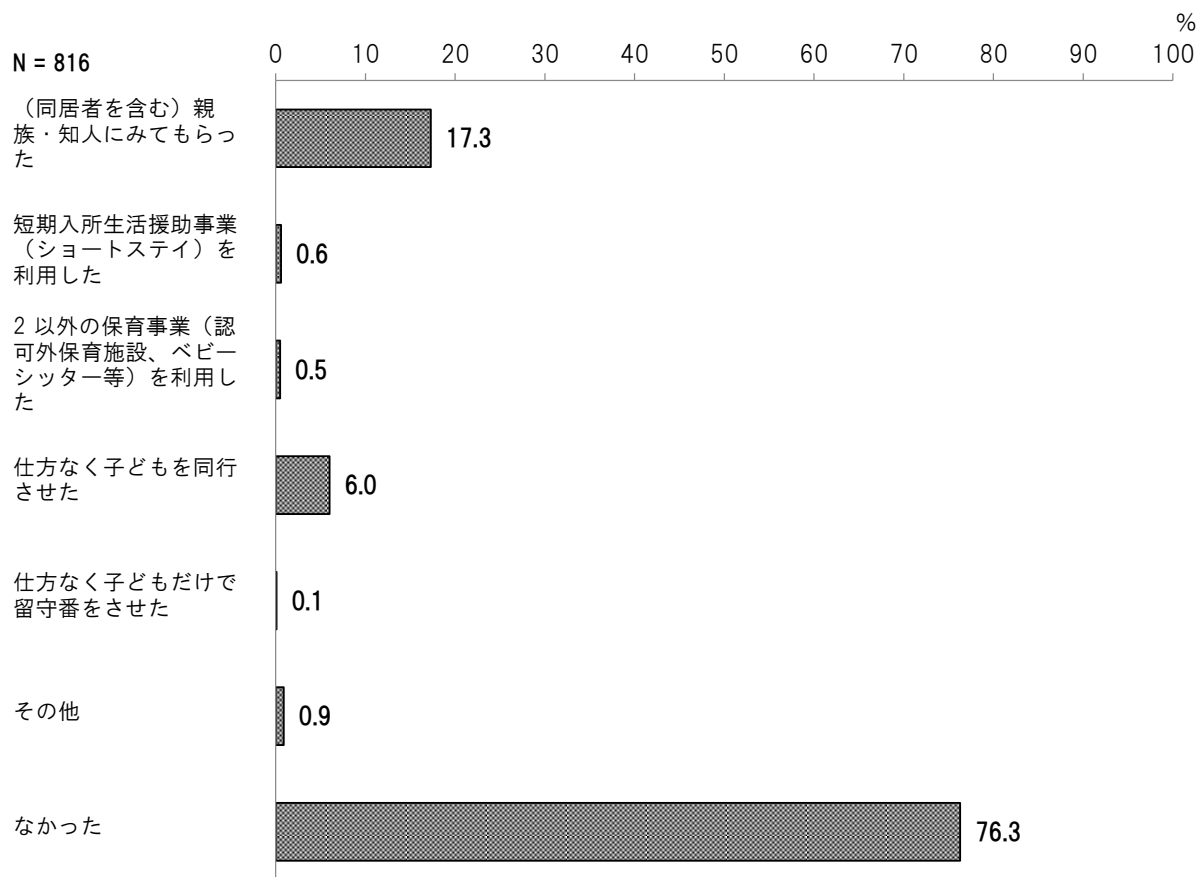


	年間あたり日数	
	調査数	平均
利用したい (計)	453	20.56
私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的	390	11.74
冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院等	267	7.85
不特定の就労	108	17.27
その他	15	27.40

前保 16)

■ 7-7-18) この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（複数回答）

- ・ 就学前児童保護者は「なかった」が最も多く 76.3%、次いで「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 17.3%でした。
- ・ 年間あたりの泊数では、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」が 21.00泊でした。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 6.46泊でした。

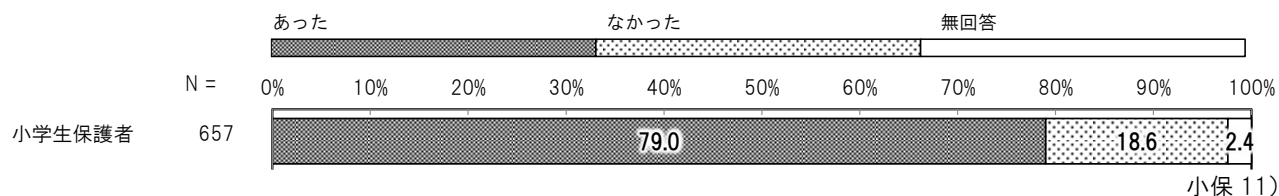


	年間あたり泊数	
	調査数	平均
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	121	6.27
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	3	21.00
上記以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	4	3.00
仕方なく子どもを同行させた	35	6.46
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	2.00
その他	5	2.20

前保 17)

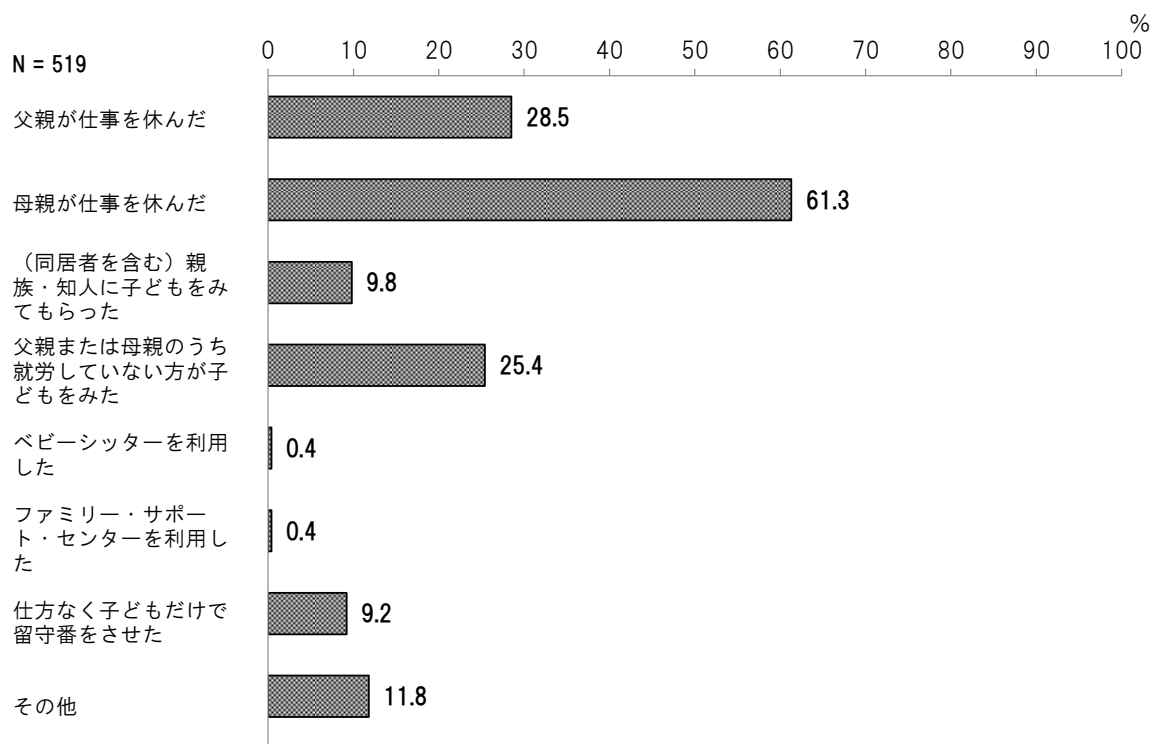
■ 7-7-19) この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありましたか。 SA

- ・ 小学生保護者は「あった」が最も多く 79.0%でした。



■ 7-7-20) お子さんが病気やケガで学校をやすまなければならなかったとき、どのように対処しましたか。 (複数回答)

- ・ 小学生保護者は「母親が仕事を休んだ」が最も多く 61.3%、次いで「父親が仕事を休んだ」が 28.5%でした。
- ・ 年間あたり日数は、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が最も多く、平均 23.77 日でした。

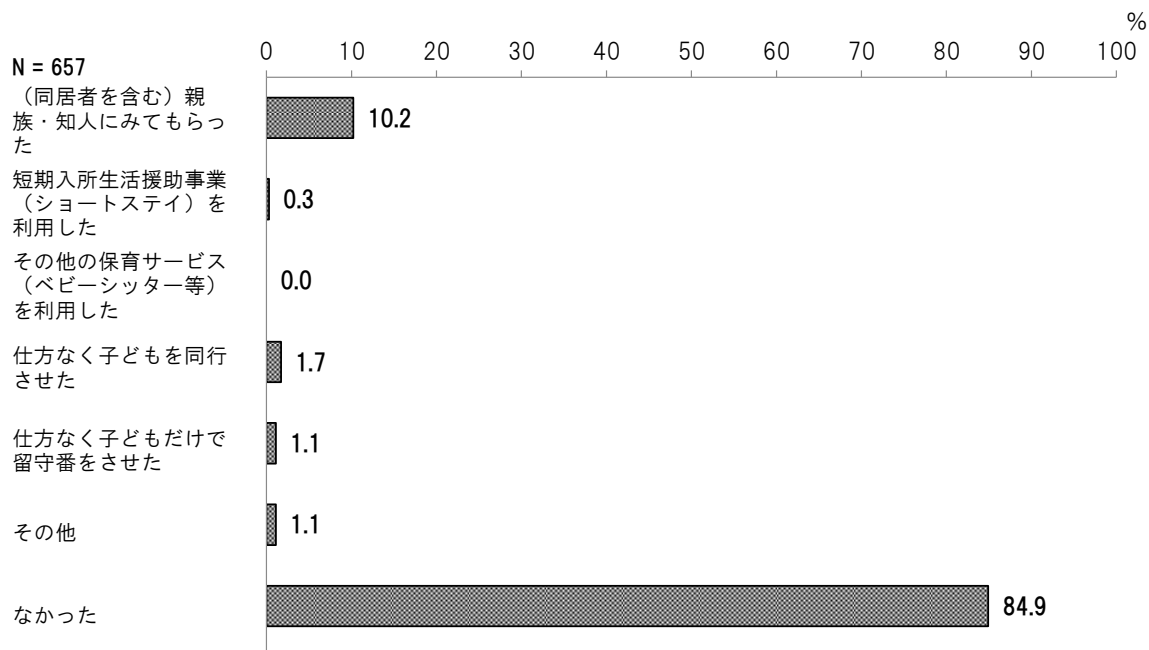


	年間あたり日数	
	調査数	平均
父親が仕事を休んだ	144	4.12
母親が仕事を休んだ	309	6.07
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	44	3.82
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	115	23.77
ベビーシッターを利用した	2	3.00
ファミリー・サポート・センターを利用した	1	3.00
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	47	5.83
その他	48	8.94

小保 11)

■ 7-7-2 1) この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。 (複数回答)

- ・ 小学生保護者は「なかった」が最も多く 84.9%、次いで「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 10.2%でした。
- ・ 年間あたり泊数は、「短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した」が最も多く、平均 42.50 泊でした。

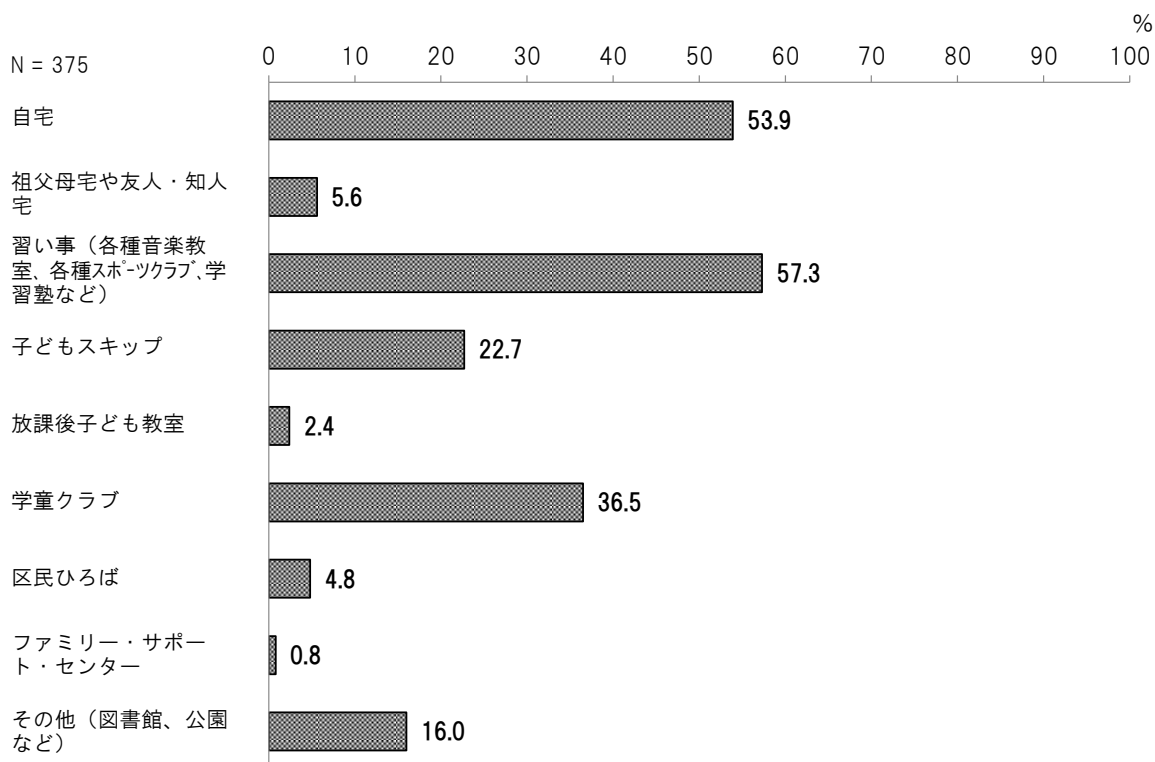


	年間あたり泊数	
	調査数	平均
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	59	7.71
短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した	2	42.50
その他の保育サービス (ベビーシッター等) を利用した	0	—
仕方なく子どもを同行させた	8	2.75
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6	2.00
その他	4	13.25

小保 12)

■ 7-7-2 2) 小学校低学年（１～３年生）の子どもを持つ保護者に伺います。放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせていますか。（複数回答）

- ・ 小学生保護者は「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多く 57.3%、次いで「自宅」が 53.9%でした。
- ・ 週あたり日数は、「学童クラブ」が最も多く平均 4.19 日、次いで「自宅」が平均 3.16 日でした。

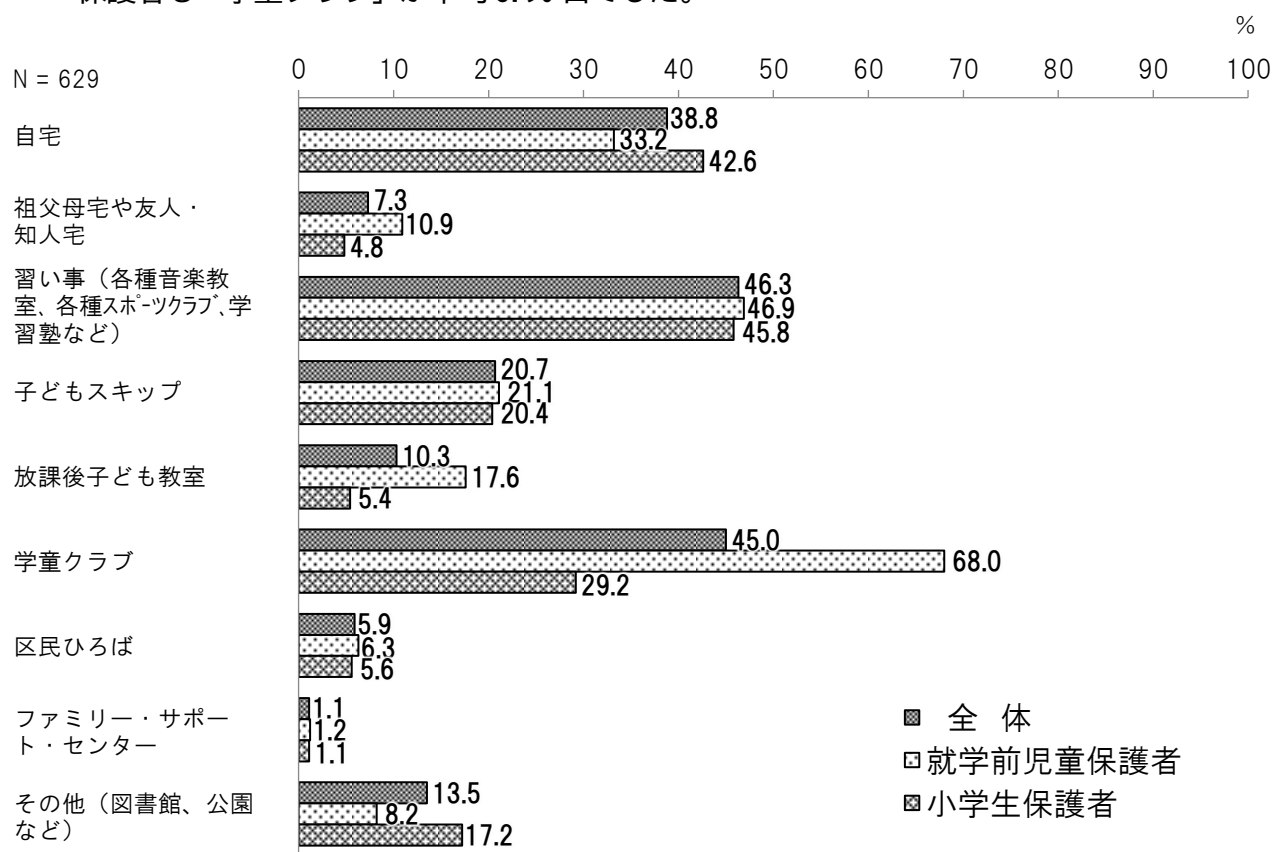


	週あたり日数	
	調査数	平均
自宅	202	3.16
祖父母宅や友人・知人宅	21	2.00
習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	215	2.66
子どもスキップ	85	2.91
放課後子ども教室	9	1.33
学童クラブ	131	4.19
区民ひろば	18	1.28
ファミリー・サポート・センター	3	1.33
その他（図書館、公園など）	60	2.08

小保 9)

■ 7-7-23) 就学前保護者と、小学校低学年(1～3年生)の子どもを持つ保護者に伺います。お子さんが小学校低学年のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「学童クラブ」が最も多く 68.0%、次いで「習い事(各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など)」が 46.9%でした。
- ・ 小学生保護者は「習い事(各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など)」が最も多く 45.8%、次いで「自宅」が 42.6%でした。
- ・ 週あたりの日数は、就学前児童保護者は「学童クラブ」が平均 4.29 日と最も多く、小学生保護者も「学童クラブ」が平均 3.90 日でした。

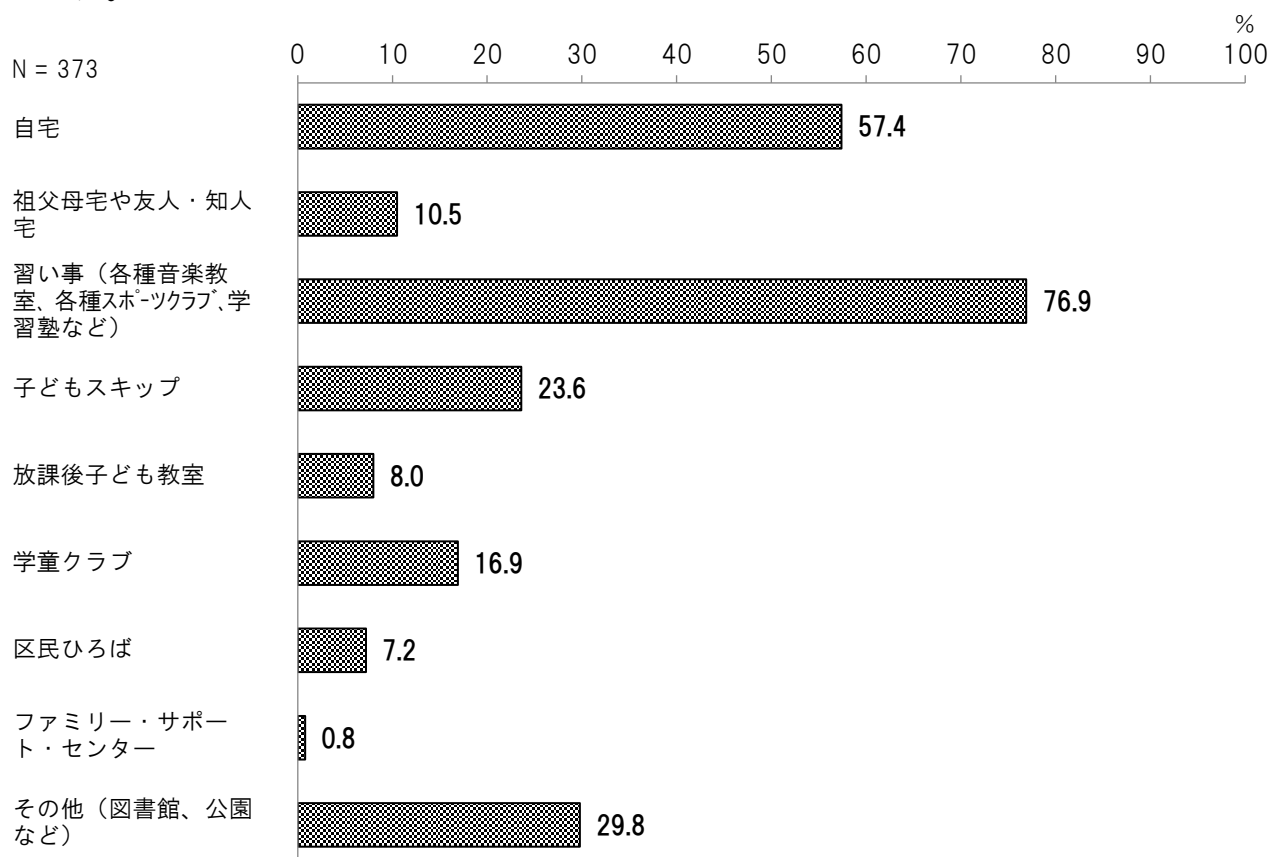


	就学前児童保護者 (週あたり日数)		小学生保護者 (週あたり日数)	
	調査数	平 均	調査数	平 均
自宅	85	2.62	159	2.93
祖父母宅や友人・知人宅	28	1.93	18	2.06
習い事(各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など)	120	2.13	171	2.71
子どもスキップ	54	3.59	76	2.89
放課後子ども教室	45	2.64	20	1.55
学童クラブ	174	4.29	109	3.90
区民ひろば	0	—	21	1.33
ファミリー・サポート・センター	3	1.67	4	2.75
その他(図書館、公園など)	21	2.43	64	2.23

前保 18 小保 9)

■ 7-7-2 4) 小学校低学年の子どもを持つ保護者に伺います。お子さんが小学校高学年になったとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（希望）（複数回答）

- ・ 「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多く 76.9%、次いで「自宅」が 57.4%でした。
- ・ 週あたりの日数は、「習い事」が最も多く 2.81 日、次いで「学童クラブ」が 2.74 日でした。

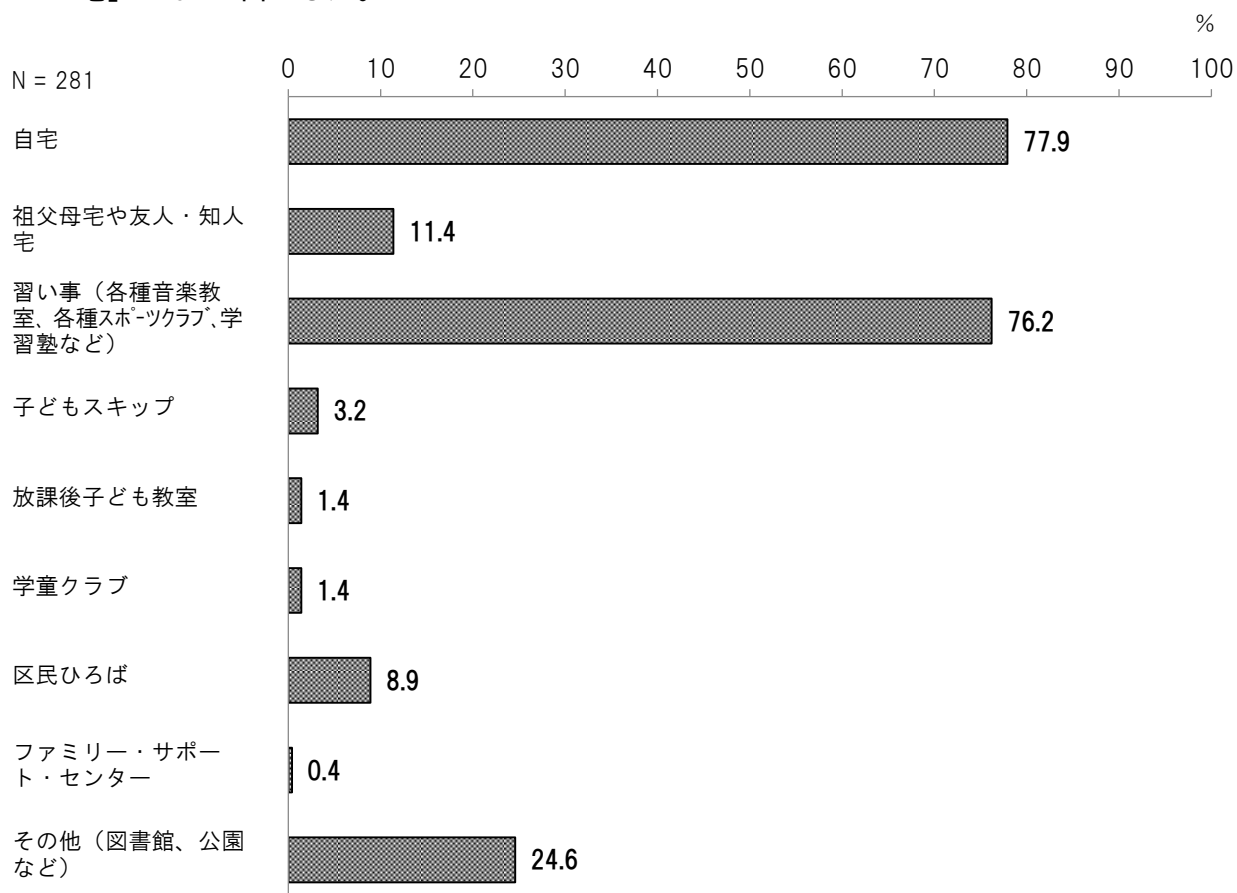


	週あたり日数	
	調査数	平均
自宅	190	2.72
祖父母宅や友人・知人宅	33	1.70
習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	263	2.81
子どもスキップ	81	2.62
放課後子ども教室	29	1.90
学童クラブ	53	2.74
区民ひろば	24	1.67
ファミリー・サポート・センター	3	2.33
その他（図書館、公園など）	90	2.10

小保 10)

■ 7-7-25) 小学校高学年の子どもを持つ保護者に伺います。お子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（複数回答）

- ・「自宅」が最も多く 77.9%、次いで「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が 76.2%でした。
- ・週あたり日数は、「ファミリー・サポート・センター」が最も多く平均 4.00 日、次いで「自宅」が 3.72 日でした。

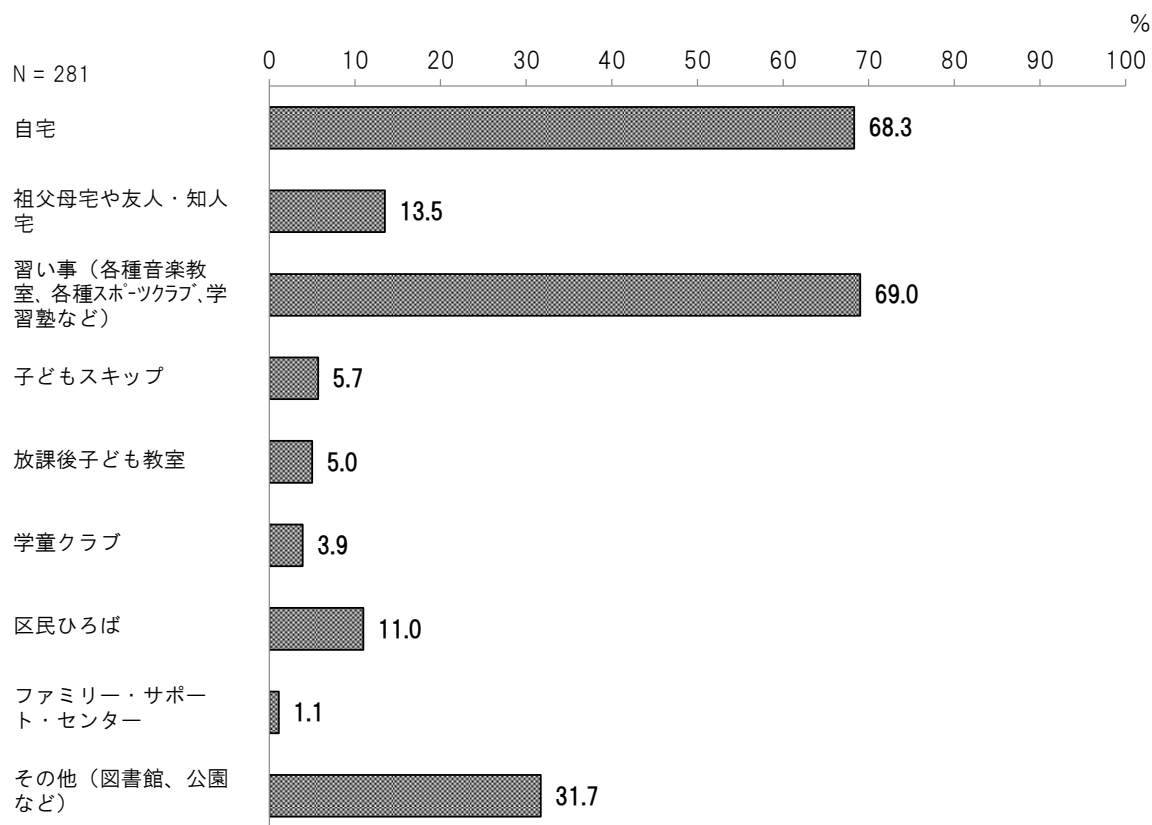


	週あたり日数	
	調査数	平均
自宅	219	3.72
祖父母宅や友人・知人宅	32	2.25
習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	214	3.23
子どもスキップ	9	2.00
放課後子ども教室	4	2.00
学童クラブ	4	1.50
区民ひろば	25	1.40
ファミリー・サポート・センター	1	4.00
その他（図書館、公園など）	69	2.41

小保 10)

■ 7-7-2 6) 小学校高学年の子どもを持つ保護者に伺います。お子さんを、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。（複数回答）

- ・ 「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多く 69.0%、次いで「自宅」が 68.3%でした。
- ・ 週あたり日数は、「自宅」が 3.38 日で最も多く、次いで「習い事」が 2.91 日でした。



	週あたり日数	
	調査数	平均
自宅	192	3.38
祖父母宅や友人・知人宅	38	2.11
習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	194	2.91
子どもスキップ	16	2.13
放課後子ども教室	14	1.14
学童クラブ	11	2.45
区民ひろば	31	1.39
ファミリー・サポート・センター	3	2.00
その他（図書館、公園など）	90	2.42

小保 10)

第5章 自由記述

調査の最後に、下記について自由に記載していただきました。

保護者	子育てに関して日頃感じていることや悩みごと、お子さんを育てている上で気をつけていること、豊島区への要望事項等
小学校 4～6 年生 中高生	区役所にやってほしいこと、あなた自身がやりたいことなど
若者	子ども若者施策について、ふだん感じていることやご意見・ご要望
区施設職員 地域団体	子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長をしていけるには、どのようなことが大切だと思いますか

それぞれ、項目ごとに分類・整理を行い、記載しています。ひとつの記述が複数の項目に該当する場合、可能な限り、それぞれの項目に記載していますが、分けられない場合は、はじめのご意見の項目に分類しています。また、同じような趣旨の記述は、省略している場合があります。

なお、記述から回答者が特定される可能性がある場合や特定の人に対するご意見は割愛させていただきます。

※原則、原文のまま掲載していますので、誤字や事実誤認が含まれている場合があります。

1 就学前保護者

1-1 子どもの権利

- ・個性の尊重は大切。ですが何でも良い訳でもないので、線引きや我慢というところがむずかしい。
- ・こどもの権利条約は、親をはじめ教育機関に携わる方々にも周知が大切と思われ、たとえばそのような分野に携わる弁護士等の専門家の講演を聴く機会があれば嬉しいです。

1-2 いじめ

- ・区立の小・中学校の治安を良くしてほしい。いじめや虐待を根絶する対応をお願いします。
- ・保育園での虐待や、学校でのいじめの防止や対策強化をお願いしたいです。

1-3 不登校・ひきこもり支援

- ・不登校はいちおう窓口があるようですが、不登校の子供に対しての取り組みなどもたくさん行ってほしいです。
- ・引きこもり対策支援不要だと思う。引きこもりはその人の今までの人生の結果であって、立ち直るには同等の経験と時間をかける必要があり効果を得るのにリソースがかかりすぎると思う。区の財

政を無駄にせず効率的に活用してほしい。すでに引きこもりとなってしまった人よりもそもそも引きこもらないように未来ある子供にリソースを割いてほしい。

1-4 遊び場所・居場所

- ・歩きタバコがとにかく多く、キックスクーターもあぶない。歩道で一度子どもがひかれそうになりました。公園でボール遊びが禁止なので、ボールで遊びたい子ちゃんと遊べるよう工夫してほしい
- ・公園での遊びに対してうるさい人たちがいる。おじいさんおばあさんでもいる…。もっと心を広く持ってほしいですね。
- ・公園が西側にあまりないと思う。→特に、小さい子どもが安全にあそべるようになってほしい→不審者、猫のえさやり等が気になる。
- ・私(母)が週3勤務ですが、通常保育と認定いただき、「通院の日も、あずけていただいて構いませんよ。」と保育園の方に言っていたいたり、本当にありがたく利用させていただいております。豊島区は、屋内の遊び場は充実しているように思いますが、屋外の遊び場は池袋駅周辺しか整っておらず要町や椎名町などにもリニューアル or 増設してもらえたらもっと散歩しやすいのになと思います。

- ・ 現在子どもは2才ですが、公園によっては遊具で落下の危険があるものが多く少々不安です。遊具の見直しをお願いしたいです。あと、小さい子ができるブランコも、もっと多くの公園に設置してほしいです。よろしくお願いします。
- ・ 区民ひろばでのイベントが充実していて、いつも参加させていただいています。イベント内容も様々でとても楽しく感謝しています。一方で子どもたちがのびのびと遊べる遊具がある広い公園が近所になので公園があればいいなあいつも思っています。
- ・ 公園が充実していて感謝しています。
- ・ 他区に比べて公園がせまい。緑が少ない。自然を感じられない。子どもがたのしめる公園(広い)がほしいです。(大人もスポーツできるような)
- ・ 小さい子向けの公園は多いのですが、5才~小学生程度が遊ぶ場所がなく、新宿区や板橋区、北区に行きます。それもあって住みづらいと感じるようになりました。
- ・ 公園は充実していると思います。
- ・ 緑のある大きな公園がない
- ・ 保育園も学童も小学校も先生方が熱心なのはすばらしいです。公園の整備をもう少ししてほしい。明るくきれいなトイレや遊具の充実など。
- ・ オシャレな公園も良いが、遊具が充実している公園やじゃぶじゃぶ池のある公園も欲しい。球技のできる場所も少ない。
- ・ 乳幼児があそべる公園はあるが、幼児~小学生が遊べる遊具がある公園がなく、新宿区や文京区に行っている。遊具や遊び場の拡充をお願いしたい。イケサンパークやパピママスポットは区外の利用者が多く、使用したい時に利用できない、区在住者を優先するなど豊島区民のメリットが感じられない。
- ・ 巣鴨周辺にも広い公園が欲しい。巣鴨周辺は小さい公園しか無いので、遊びに行くのが大変です。
- ・ 公園の遊具を充実してほしい。
- ・ 公園などで”〇〇禁止!!”が増えてきているように感じます。危険な固いボールの禁止はわかりませんが、柔軟らかいボールなど危険でないものも含め禁止になると、遊べなくなると思っています。
- ・ 体力低下、外で遊ぶことがすくない、→ケガも多い、周りを見ても感じる。なので公園であそばせる事が多い。
- ・ 公園をきちんと整備してください、としまキッズパークなど目立つ事業には力やお金をどっさり投入していますが、地域の公園やひろばなどの管理や修繕・改良などが全くされていないし、するとしても、すごくおそい。対外的に目立つことも良いですが、地域の生活に目をむけてください。
- ・ 東池袋エリアに遊具がたくさんある大きな公園がほしい。(飛鳥山公園のような)
- ・ 公園の設備や掃除など、とても綺麗に管理していただきありがたく思っています。子育てしやすい環境だとも思います。
- ・ 強いてあげるとしたら、ですが…。仕方のない事かもですが、公園の遊具が少し汚れているように思います。先日はガムがベッタリと遊具に付いていて遊べませんでした。定期的に手入れや点検が必要かと思います。
- ・ 遊び場が少なすぎる。公園遊具が全くない。
- ・ 地域から保育園や家での「子供の声」に対する苦情があるなど、住みにくいと感じる
- ・ ボール遊びやスケートボードができる遊び場がないのが残念に思う。
- ・ 東側に子供施設や芝生の公園があって嬉しいですが、西側の公園はサラリーマンや外国人たちの溜まり場になっており子供を遊ばせにくいです。西側にも子供の遊べる公園が増えると嬉しいです。
- ・ こどもがボール遊びや花火ができる公園がない。小さな公園はあるが、大人が使用しているため、うるさいと注意されることもあり使いにくい。雨の日に過ごす場所も少なく、小学校の体育館など開放されたいと思う。
- ・ 子どもを遊ばせる公園が少なく、あっても狭い。近所に公園がないので、休みの日にわざわざ大きな公園に行くしかない。
- ・ ボール遊びができるところが少ない。小学校の校庭開放も時間で遊べるボールに制限がある。マンションに住んでいるが子供の足音などの苦情が多く住みにくい。
- ・ 公園を含め子供を安心して遊ばせられる場所が少なく、少ない公園でも休憩中の工事業者やウーバーイーツなどの宅配業者がタバコを吸ったりを遊具の上などでしていて、怖くて注意もできず辛い。
- ・ 公園の管理がほど良くされていて、ある程度安心して遊ばせる事が出来ています。
- ・ 公園、遊び施設が少ない。
- ・ こどもが安全で自主的に遊びに行ける場所が少ない。日常で親が制限を課すことが多い気がします。深い学びができる環境を整えてほしい。
- ・ 支援センターや区民ひろばなど、子どもが遊べる場所が他の区に比べて多い。特に、区民ひろばで色々なゲストを招いて行われるイベントは、遠出が難しい子ども連れにとって非常にありがたい。
- ・ 夏の暑い日の遊び場がない。水遊びとか、プールとかが近くにない。
- ・ 公園の規制が厳しい。ボール遊びなどはほとんどの公園でできない。遊具の充実している公園が少ない。

- ・ 近くに公園はあるが、小さかったり、遊具がなかったりする。
- ・ 近場に公園が複数整備されていて晴れの日にはとても過ごしやすいです。
- ・ ただ雨の日はどうしよう…となります。ポーネランドの遊び場のようなところがあると良いのです。
- ・ 子供を自由に遊ばせられる公園が増えてほしい。草が荒れ放題だったり、遊具が古い公園があるので、手入れしたり遊具の交換をしてほしい。
- ・ ボール遊びなど、自由に遊べる公園が少ないように感じます。そう言った公園の整備もお願いします。
- ・ 子供一人で公園で、遊びに行かせたいが、不安がある。
- ・ 3歳以降、遊べる遊具がある屋外公園が少ない。
- ・ 池バス、池サンパーク、南池袋公園、雑司ヶ谷公園等々、素敵なものがある一面、小さな公園は、やはりまだいきづらく、きれいな公園に人が集中している気がします。すると、結局子どもより大人が多数集まり、なかなか週末も遊ぶと言う雰囲気ではないです。公園のトイレを綺麗にしていたら、安心度が違います！
- ・ 子どもの遊び場について、広い公園がない代わりに区民ひろばやサンシャインをよく利用しています。文京区や新宿区まで足を運ぶこともあります。できれば豊島区にも緑いっぱい大きな公園ができれば嬉しいです。
- ・ イケサンパークなど、小さい子向けの公園は充実してきた印象だが、5・6歳以上のアスレチック遊具、自転車やグレイブボード、花火、ボール遊びなどを思い切り楽しめる場所が少ないと感じる。
- ・ 近隣の新宿区や中野区や板橋区と比べて公園が微妙だなと感じています。遊具で遊んだり、子供と一緒に気軽にお昼ご飯を食べたり出来る公園があればありがたいです。イケサンパークや南池袋公園の芝生は素敵ですが、大きな木がないので日差しを遮るものがなかったり、併設のカフェもお昼に気軽に食べられる感じでもないですし、なんとなく遊んでいて辛いです。
- ・ ボールを使って遊ぶ場所がほとんどない、どこも球技禁止などの公園ばかり、こどもがやりたいことをできないのはかわいそうだなと思う。
- ・ 土地柄どうしても公園は大人が多くなりがちで子供が遊びづらく、規制も多いためボール遊びや自転車の練習等の場所選別に苦慮している。
- ・ 公園の遊具を増やしてほしい。
- ・ アンケート対象者の息子5才に聞いたところ、公園に鉄棒が欲しいとのこと。よろしくお願いします。
- ・ 近隣の北区、文京区と比べて、公園の遊具・レイアウト・デザイン・管理(清掃など)が劣っていると感じます、駒込東、駒込公園をもう少し充実・改善頂きたいです。ネットなど。(ボール遊びのできるエリアを設けるなど)
- ・ 環境的には池袋東西移動を子連れ(ベビーカー、自転車子乗せ)で簡単に通れるように、公園の広さと遊具の充実、保育園もせますぎたり外遊びできないところばかり。うちの子の幼稚園(要町)は近隣うるさいと言われるから14時おむかえのとき外の遊び、禁止されていますけどのびのび遊べる場所と周囲の理解が必要、小学生が遊ぶ場所もないですね。
- ・ 子供が乳児の時は保育園も入りやすく、イケサンパークなど公園もきれいで住みやすさを感じていましたが、4才になった今 豊島区では思いきりあそべる所がなくとても住みづらいと感じています。大型遊具のある公園がない、雨の日に遊べる所ばかりなので、小学校低学年含めて思いきりあそべる場所があるとうれしいです。
- ・ 千早フラワー公園：良い公園だが、壊れた乗り物を置くのをやめてほしい、とがったプラスチック等危険な物も多い、管理の方が集めているよう。
- ・ 公園などの整備が進んでおり、ありがたいと思いますが、イケサンパークや南池袋公園など、子供にとっては遊具もなく、遊びづらいと思います。(予約が必要だったり…)憩いの場としても、規制が多く、芝生を守るためにレジャーシートがひけないなら、芝生にしなくても…と思ったり、何のための公園作りなのか?と思うことがあります。
- ・ 安心して遊べる公園が少ないので高松一丁目児童遊園をリニューアルしていただきたいです!!
- ・ 公園は多いがどこも小さく結局行くのは板橋方面ばかりになってしまっている。動物公園や交通公園などもあると楽しいのになと思います。
- ・ もう少し遊具を充実させた公園を増やしてほしいです。
- ・ 公園の清掃が行き届いていると感じます。これからも環境整備を続けていただければ幸いです。
- ・ 自転車の練習をしたり、ボール遊びが出来る公園等の情報が欲しいです。
- ・ 子供達がのびのびと遊べる公園が少ない。木登り禁止ボール遊び、スケボー禁止などなど。各公園で時間帯等区切ってスケボーやキックボードなどできる場所の確保もしてあげてほしいです。また水遊びができる場所も少ないのが残念です。大塚台公園の水遊び場を復活させて欲しかったです。
- ・ ボールを蹴ることができない公園が多すぎて、サッカーや野球をしている子たちが自由に練習できる場所が少ない。公園でできないからと、並んで金網(千早高校横)で練習していると、早朝夜間

ではなく、規定通り昼間に利用しているのにも関わらず、近所の年配の方に「網に当たるとうるさいからやめて」と怒鳴られました。

- ・ サッカーも野球もお金をかけてスクールなどに入れなくても、練習できる場所がないと、子供たちがかわいそうに思います。南長崎のスポーツセンターグラウンドの開放日があるような施設がもっとあるといいのにね。といつも子供と話しています。PTAの係で防犯パトロールをし、遅くまで公園にいる男の子に暗くなったので早く帰るように声を掛けたら、「暗くならないと練習できない。大人に怒られるから」と一人でボールを蹴っており、なんだかかわいそうで泣きたくなくなっていました。
- ・ 広い公園や充実した遊具のある公園が他の区に比べて少なく、いつも休日は遠出して遊びに行っているため、子供がのびのびと遊べる環境を整えてほしい。
- ・ 綺麗な公園が増えてきて嬉しいのですが、イケサンパークも1.2歳向けの遊具しかなく、他の区の公園のように小学生も楽しめるような大型遊具を設置した公園を増やして欲しいです。(登ったり、渡ったりできる遊具)
- ・ 区民ひろばは綺麗でおもちゃも充実しておりよく利用させていただいています。ありがとうございます。
- ・ ただ、外遊びができる公園施設がなかなか近所になく(よちよち歩きでも安心できる芝生など)、そのあたりが充実していただけると大変ありがたいです。
- ・ 大きい公園を作ってほしい！
- ・ もうちょっとブランコや滑り台のある公園を増やしてほしいです。
- ・ 区民ひろばで、土日開催する子育てイベントがもっと多いとありがたい。だいたい月1回くらいだと思うので。外部講師が来ている。
- ・ 公園の遊具や公園のトイレがきれいになってきていて、子どもと一緒に安心して遊べたり利用できるようになっていて嬉しい。区民ひろばをよく利用するが職員の方が皆、親切でどこも雰囲気がよく素晴らしいと思う。区民ひろばでのイベントも充実していてとてもいい。
- ・ 5才3才0才の子育てをしています。幼稚園入園前の子供へのサポートは充実していると思うのですが、幼稚園児が楽しく遊べる場(室内外含む)が少ないと感じています。豊島区は小学生へはこどもスキップで小学校メインで放課後の時間を過ごすからか、幼~小学校低中学年向けの遊びの提供が充実すると嬉しいです。(以前住んでいた中央区は幼小連携を打ち出したり、児童館の中に幼稚園児も小学生もいて、幼稚園児はお兄さんお姉さんから刺激をもらっていました。)

- ・ 支援センターや区民ひろばのイベントがすぐ埋まってしまう、人気のイベントは電話がつながった時には満員だったりもした。月1回ではなく、人気のものは複数回開くなど受け皿をふやしてほしい。
- ・ 公園が少ない(遊具がない)、小学生以上の子があそべる場所が少ない、スキップはせいやくが多い。
- ・ 公園やイベントの多さに感謝しています。
- ・ 区民ひろばの祝日開館希望、開いている時間の延長。
- ・ 雨の日でも子供が遊べる場所があると良いなと思っています。室内でも遊べる場所が限られている。
- ・ 区民ひろばでのイベントが充実しているため、とても助かっています。また、区民ひろばの方の対応が優しく、丁寧で子どものことが好きなのだなと好印象をいつも抱きます。これからもたくさん利用させていただきます。ありがとうございます。
- ・ イケサンパークなどで地域のイベントをたくさん開催しているのがとてもありがたくこれからも区内の子供向けのイベントで区を盛り上げていただきたいです。
- ・ 公園や区民ひろば(第1子の育休中は毎日のように近隣の3ヶ所のどれかに通っていました)など屋内外で子どもが遊べる場所や、イベントなどはとても充実していると感じます。
- ・ イケ・サンパークやとしまキッズパークなど子どもを遊ばせやすい施設が増えていてとてもうれしく思っています。
- ・ 3歳児未満の子どもや未就学児が参加できるコンサートが平日ではなくて、土、日にもやってほしい。だいたい平日で働いている親とそうでない親で不平感等を感じてしまう。無料で観られる音楽コンサートや、会画展、等のイベントが増えてほしいです。
- ・ 結婚後豊島区に住みはじめましたが、子供が生まれ豊島区は子育てがしやすいと感じています。遊び場や、公園、イベントごとなど子供とお母さんに寄りそっていることが多く助かっています。
- ・ 他の区に比べ屋内で遊べる場所が少ない、0~3才くらいでは充実しているが、それ以降の思いきり身体を動かせる場所が少ない。西友の近くのプール施設終了、他に通わせる場所がない。
- ・ 共働きの方が多いので、区民ひろばや公園へ行っても同年代の子供さんがいないので、幼稚園前の家庭での保育の場合、友達と遊ぶ機会を作るのが大変です。そういう子供同士と一緒に遊べる機会をもっと作って欲しいです。

- ・池袋西口公園で音楽やイベントもあり色々楽しませてもらっています。区民ひろばは、0～2才の保育園に行く前は、よく利用させて頂きママ友達も出来て充実した日々を過ごせました。ありがとうございます。今は、仕事を育児で時間に追われて、子供にきつく言ってしまう事も増えましたので、今後気を付けていこうと思っています。
- ・商業施設によくあるような室内遊び場があると思います。ボーネルンドがプロデュースした自治体の遊び場がいろいろなところにあり、豊島区にもあるといいなと思っています。また勝どきにあるグロースリンクかちどきや西新井にあるギャラクシティのような施設もあるといいなと思います。
- ・長く住み続けたいが、経済的負担が大きい。
- ・イケサンパークなど区民が気軽に使えるようにしてほしい。
- ・猛暑、悪天候、寒気の中、小学生の子供達だけで安心して遊べる場所がないです。友達と遊びたいけど、なかなか集まれる場所がない。区民ひろばは、施設が充実していないからつまらないと不満を感じています。公園は、遊具がつまらなくて飽きる、禁止事項が多すぎるようです。その為、共働きされている子は、家で1人寂しく過ごすことも多いようです。どこも行く場所がないと、専業主婦の我が家に友達が沢山集まります。頻繁に来られると正直辛いです。
- ・学校周辺に、子供達が安心して、のびのび楽しく体を動かしたり、宿題ができる屋内施設があったら、子供たちもストレスを感じないと思います。
- ・天候にかかわらず子供の遊び場や体力づくりが出来る場所が増えて欲しい。
- ・区民ひろば等の催しが平日中心のため、職場復帰してからはほとんど活用できていません。予防接種や健康診断等も平日であるため、仕事の調整が大変です。
- ・可能な限り土日祝日の対応を拡大してほしいと思います。
- ・子供を遊ばせられる施設が近くになく家で過ごすことが多く、どのように遊びを増やしていいか困っています。
- ・豊島区は赤ちゃんや子供が行ける芸術鑑賞や音楽イベントが多数あり、とても感謝しています。子どもも小さい頃から本物の芸術に触れているおかげか、感性が豊かに育っていると思います。特に小さい頃から0歳でもokのコンサートに連れて行っていたので、音楽に非常に興味を持つようになりました。これからも子どもへアートやカルチャーに触れられる現場をたくさん作ってくださると嬉しいです。区民ひろばのイベントだととても参加しやすいです。
- ・子育て広場が、土日にも空いてて、いつでも温かく迎えてくださることに本当に感謝しています。
- ・公園が増えたなと感じています。雨の日に子どもを遊ばせる施設が駅直結で増えると嬉しいです。
- ・池袋はターミナル駅です。親子で楽しむところ、大人が楽しむところ、たまには子どもを預けて遊べる一時預かり所をバランス良く充実させてほしい。日曜日にスポットで2歳を預けられるところが無くて困りました。短時間から預けられるところがあれば芸術の街として色々な施設があるのでとても助かると思います。
- ・駅など近所で手軽に本を借りられる図書館がない。
- ・パパママスポットに区民枠ができたことがありがたい。
- ・雨の日に遊べるところを充実してほしい。働くパパママが休みの日に子育てのみに追われることなく、穏やかに過ごせる様な支援が欲しい。
- ・イケサンパークのような乳児期に遊べる遊具の公園は多いが、3-4歳以降でダイナミックな動きができるようになってから満足の出来る遊具のある公園が豊島区にはない。休みの日は豊島区の公園に行かない。雨の日に遊ぶ施設も欲しい。
- ・雨の日に遊べる場や、遊具が充実した公園がもう少しあればと思う。
- ・保育園や区民ひろば等、子供の過ごす施設が充実していて、普段生活する分には困らないです。公園も小さいですが複数あり、遊具もほどほどにあるので、休日に遊びに行くにはちょうどいいです。
- ・パパママスポットやとしまキッズパークなど幼児乳児が安心して遊べる施設が無料で使え、ありがたい環境だと感じています。一方で小学生に上がったあたりからどのような支援があるのか、子どもたちがのびのび自分らしく成長できる仕組み環境があるのか不安があります。
- ・色々のご支援ありがとうございます。雨の日でも幼児が思い切り遊べるような室内施設が欲しいです。
- ・子供が安心して遊べる場所が自分の頃と比べて少ないと思う。
- ・赤ちゃんの頃は区民ひろばなどを利用させていたが、支援が充実していると感じましたが、少し大きくなってくると公園に十分に楽しめる遊具がなかったり、雨の日に遊べる場所が少なかったりで遠くへ出かけなければいけないことが多くなって負担に感じている。
- ・豊島区は土日にも区民ひろばが解放されており、子ども連れの家庭が遊べる空間がありとてもありがたいです。
- ・雨の日に遊べる室内施設も少ない。

- ・特に雨の日に遊べる場所が極端に少ないので、高架下を活用した公園などを期待したい。
- ・上の子と下の子(小学生と乳幼児)と一緒に遊べるところが少ないです。電車の見える公園のトイレが汚くて臭くて子どもが入れません。区民ひろば池袋本町横の公園が駐輪場になり遊具が無くなってしまい、子どもがとても悲しんでいました。
- ・新宿区に比べて地域のイベントが少ない。公園の遊具が少ない。
- ・子育て環境に配慮してくださっていることを感じます。大きな公園はあまりありませんが、整備されている公園があるので有難いです。立教大学の構内など、入らせていただけたら嬉しいです。
- ・室内の遊び場を増やして頂きたいです(幼児が体を動かせるようなところ希望)→としまキッズパークの屋内版みたいなものがあると嬉しいです。
- ・雑司が谷の御会式の最終は、22時過ぎまで太鼓を鳴らしていて、祭りなので多少は気持ちが分かりますが、子供が寝られず、ある程度事前にせつめいくらいして欲しかった。
- ・夏のじゃぶじゃぶ池の時に仮設でもいいのでさつと着替えができるような場所がほしい。
- ・区民ひろばさくら第一をよく利用させていただいています。ベビーマッサージや音育などの時間が他のママさん、赤ちゃんにも会えるので息ぬきになって助かっています。ですが、赤ちゃんルームのおもちゃが少なく感じるのが残念です。もう少しふえると、赤ちゃんルームも積極的に利用したいと思っています。
- ・豊島区は以前より町の開発もすすみ、町全体の印象は昔より良いです。小さな子供の行ける施設がもっとあると良いなと思います。いつもサンシャインです。北池袋駅の開発はしないですか？
- ・これからも豊島区に長く住み続けたいと思っています。子供が楽しく遊べる施設・遊具・公園等が増えるとうれしいです。また、もっと緑を増やして欲しいと思います。
- ・ベビーカースペースをもっと広くしてほしい。
- ・支援センターや区民ひろばなどのオムツの持ちかえりを無くすことは難しいのでしょうか？不衛生なので施設で処理できるようにしてほしいです。
- ・公園や雨の日でも子どもが安全かつ健康的に遊べる場所が非常に少ないと感じます。
- ・子どもが子どもらしくいられる(ワガママや騒いでもいいということではなく、ノビノビと成長すること)環境になればいいなと思っています。今は子どもを育てていると謝ってばかりコソコソしないといけなくて悪いことをしている様な気がします。。。
- ・雨の日に室内でアスレチックなど体をうごかしてあそべる施設があるととても助かります(0才~小

学生まで使えるような施設だときょうだいがいても助かります)。

- ・区民ひろば椎名町のおもちゃが貸出方式となつてから、なんとなく自由に遊べる感じがしないため、あまり利用しなくなりました。改善していただけると嬉しいです。子どもスキップの床マットがずいぶん使用感がでているので、新しくするなど、予算をあてていただきたい。スタッフの入れ替わりが激しい。子供への給付金等より、先生方(スタッフの皆様)の給与にあてて、人材確保に努めていただきたい。
- ・母子手帳をもらいに行った時にとても丁寧に対応してもらい、その日から急に豊島区が身近に感じられるようになりました。ご近所の方からも声をかけて頂いたり、良い環境だと思っています。子どもが歩きまわれるような公園が(いけさんパークのような)西口側にも増えたら嬉しいです。離乳食やパパママが気軽にごはんを食べられる場所が増えたら、リフレッシュしやすいかなと思います。
- ・公園のトイレをきれいにしたい。(新宿区はきれいです。)
- ・雨の日でも遊べる区の体育館の無料開放などがあると嬉しいです。あるなら広く告知してほしいです。
- ・ありがとうございます。未就学児を育てる親の立場から気になる点は、雨の日の遊び場がないこと(体育館の開放などがあると助かります)です。
- ・豊島区の児童館は赤ちゃん用の施設がメインで、4歳以上の子供が楽しめる施設が少ない。北区や文京区、荒川区の児童館を見習ってほしい。ウェルカム精神の低さと、おもちゃなどの充実具合が全く違う。年齢の幅をもたせた家以外の遊び場が豊島区には少ない。あと、水場のある公園も少ない。
- ・豊島キッズパークが間もなく閉園と聞きました。とても素晴らしい施設だと思いますので、可能であれば存続や場所を移して運営を続けていただけたら嬉しいです。ほか、雨天でも遊べる施設があると嬉しいです。
- ・雨でも遊べる施設が増えれば良いかなと考えます。
- ・子供について区として真剣に取り組んでいる様子が感じ取られます。引き続きよろしくお願いします。
- ・ボールで遊べる場が少ない。子供がストレス発散できる場が欲しいです。
- ・雨の日でも子供の体力を発散できる遊び場があると嬉しいです。たとえば、京都市にあるガタゴトという遊び場は、市がボーンランドとコラボして作っているようですが、格安で子供の喜ぶおもちゃがたくさんあり、とても良かったです。このよ

うな展開が豊島区でもできると、とても嬉しいです。<https://kyoto-machipla.com/gatagoto/>また、娘はインターナショナルスクールに通っていますが、豊島区のイベントなどでも、英語を使って子どもが参加できるようなイベントが今後増えれば嬉しいなと思います。

- ・C0しぐやのような施設が豊島区にも欲しいです。
- ・週末子供の遊び場においてコスプレ会場として公園が占拠されてしまうケースが増えてきています。公園以外のスペースでもできること、例えばブリリアホールサンシャインのホールなど別の場所での開催を検討してほしいです。
- ・駅に図書館を設置してほしい。
- ・南長崎地区に大人も楽しめる(散歩できる)公園がほしい。
- ・区立公園の入口の車止めを外して欲しいです。ギリギリ車椅子が通れるようにしている入口がひとつ程度あり、そこからは入ることは出来ますが、ギリギリで、時々子どもの足を引っかけてしまいます。また、せっかく複数入口があるのに、ひとつしか入口をつかえず、遠回りすると子どもが泣き出すこともあります。車椅子の方もつかいづらいと思います。エレベーターのない2階にある区民ひろばにしても、車止めのある公園にしても、排除され拒絶されている感覚になりました。
- ・ボール遊びができる施設を増やしてほしいです。
- ・イケサンパーク、南池袋公園のような芝生の広い公園をもっと増やしてほしい。としまキッズパークはとても良いが、予約が取りづらく、ほとんど利用できないので困ります。また、雑司ヶ谷公園のように、公園内に室内遊びができる建物があると、疲れた時や夏の暑い日、乳児が一緒のときなど、とても助かります。
- ・公園などの夏場の水遊びスポットが7月にならないと運営されないことは非常に残念でした。昨今は4,5月頃から暑くて通常の散歩が困難になってきます。水遊びができる場所、日陰で遊べる場所がたくさんあると、大変助かります。
- ・公園でお散歩に来た保育園の方たちが占拠していることが多くある。みんなの公園だと思うので我が物顔で遊具やエリアを独占して使ったり、遊具で遊ぼうとしている保育園以外の子供を排除しようとする先生もいるので、一度公園の使い方を区の方で確認してほしい。
- ・赤ちゃん向けの施設は充実してきたように思うのですが、幼児～小学校低学年くらいの子どもが雨や暑すぎる日に思いっきり遊べる屋内施設があったら良いな…と思っています。
- ・子どもが思いっきり遊べる施設が欲しい。公園には遊具が乏しく、区民広場や家庭支援センターでは遊び回れるほどの広さ・設備はなく、昨今の夏の猛暑を鑑み天候に左右されず、子どもが飛んだ

り跳ねたり登ったりできるような、後樂園のアソボノのような自由に体を動かせる広い遊び場が欲しい。保育園に園庭がある施設も限られ、これでは子どもの体力・運動能力低下も自明の理。明石市が「あかしこども広場」を実現させているため、その他の子育て支援含め明石市を見習って欲しい。としまキッズパークは存続させて欲しい。

- ・子供が安心して遊べる環境。やたら禁止事項が多い公園が多く、遊具に至っては何もない公園が増えてきたこともあり、公園でなくてもいいので子供が遊びながら体力をつけられるような遊具、ボール遊びや安心して自転車の練習ができるようなスペースを作してほしい。
- ・公園について、新設された遊具が、残念ですが、どこも代わり映えせずにつまらない、もしくは、ただの原っぱでつまらないところが多いです。また、トイレも折角新設したのに、掃除が行き届いておらず、汚い印象が強いです(すぐ隣の新宿区は、公園の遊具も楽しいし、どこのトイレも綺麗に掃除されている印象が強いです)。
- ・雨の日に遊べる規模の大きな屋内施設がほしいです。
- ・雨の日寒い日暑い日に遊べる室内遊び場や、3歳以上が遊べる大型遊具の公園が著しく少なく、北区や新宿区の方は行っています。大型の室内遊び場を作っていただきたいです。
- ・祝日や朝の早い時間帯から屋内で遊べる場所が欲しいです。(区民ひろばや子供家庭支援センターがやっていない日や時間帯。)
- ・幼児がボール遊びできる公園を増やして欲しいです。
- ・こどもが楽しく安全に遊んで過ごせる施設がほしい、とのこと。マッサージチェア、マンガ、ゲーム(ビデオゲーム、ボードゲームなど)。これらが実現するのであれば住民税が上がっても構いません。
- ・休日池袋駅周辺に行った際、天候にかかわらず家から持ってきたおにぎりなどを食べられる場所があると経済的にも時間のロスの面(お店を探したり並んだりの時間削減)でも助かります。
- ・雨の日に遊べる無料の室内施設(池袋ぱまスポットの様なもの)を増やして欲しいです。
- ・授乳室はあっても、お湯や電子レンジがない場所が多いのであると離乳食をあげる時に助かります。
- ・雨の日に出かける場所が少なく、屋内で楽しめるスポットが増えると嬉しいです。
- ・子供の遊べる場所をもっと充実させてもらえるとありがたい。新宿区には警備員が常駐している公園があると聞き、ある程度のスペースのところに

はそのような措置があると安心できると感じた。
子供の一時預かり事業の充実をお願いしたい。

- ・ 巢鴨体育館を土日祝日に子供と使えると助かる。
- ・ イケサンパークのような子どもが伸び伸びと安心して遊べる、授乳もできておむつ替えもできて、見通しの良い公園が他にも作られていくと都心の池袋でも子連れで安心して遊ばせられると感じる。
- ・ 遊具の充実を図ってほしい。
- ・ アンケートにも記載いただきましたが、酷暑の中で身体を動かす時間が減ってしまう点を危惧しています。夏場は外遊びするには危険な暑さなので、体育館のような、ただ広い室内空間（エアコンあり）で、走り回れるような場所があれば大変ありがたいなと感じています。（ただ広い室内空間さえあればそれで十分かと思われます。）
- ・ 豊島区の東側はイケサンパークや南池袋公園など大きな公園が充実していますが、西側にはあまりないので大きな公園を増やして欲しいです。
- ・ イベントが開催できる貸会議室（調理室あり）が少ないので増やしてほしい。飲食禁止、騒ぐの禁止など子供たちや保護者たちの親睦を深めるためのイベントも企画できない。
- ・ 近所にたくさん公園があることは非常にありがたいのですが、公園がどこも自転車禁止、ボール遊び禁止となっていて練習する場所がないことに困っています。子供達の成長に欠かせない遊びや運動能力を育てる場所が必要です。代替地の整備をお願いいたします。
- ・ 区内に大きい公園がほぼなく、いつも板橋区まででかけています。室内遊び場もほぼありません。ひろばは綺麗で整備されていますが、幼稚園児くらいになるとおもちゃも広さも物足りないです。屋外施設が難しいなら、大きな室内遊び場を区で整備していただませんか。とても助かる家庭が多いと思います。
- ・ としまキッズパークみたいな安心して遊べる場所が増えたらいい。
- ・ 小学校の校庭は通っているお子さんに放課後は開放してあげられないのでしょうか。公園でボール遊びをされたり、自転車で走られたりすると夕方小さい子が遊べません。みなさん黙認されていますが…というか、親がいてもやっているの家庭にも問題があるのだと思うと思います。小学校を通して注意喚起のプリント配布をお願いしたいです。それと同時に、あまり人が来ない過疎気味な公園は存在している意味がないのでそこを整備して囲いのある球技専用の場所を作ってほしい。南長崎スポーツ公園は遠かったり、クラブで使われている時間が長い。
- ・ 豊島区の子供に対して公園の遊具が少なく遊びづらいし、公園の遊具をもっと充実させて欲しい。

1-5 学校・教育

- ・ 平日習い事は行けないので、保育時に色々な事を子供に（教育的な事）を教えてください。
- ・ 移民問題で川口ようになってほしくないと感じています。義務教育でSDGSやLGBTQをしつようにやるのはよしてほしいです。義務教育で性教育に力を入れてほしいです。プライベートゾーンなど、小学生に赤ちゃんを連れたママのお話をきくプロジェクトしてほしいです。（たしか他区でやっていたはずで、命を知る上で良いと思いました。）
- ・ 医療機関もたくさんあり、公園もあるので子育てしやすい地域であると思っています。中学受験が盛んな地域なので、高学年になるとたくさん遊べなくなるのかなとかわいそうに思います。公立の学校の教育を充実、人気のものにしてほしいと思います。
- ・ 保育園や小学校の行事は土曜日ばかりで参加しづらい。小学校の年間予定や、保護者会などの開催情報が遅いため、参加しづらい。
- ・ 高学年の子供と幼児がおります。小学校の荒れっぷりが酷く、先生も何人か途中で来られなくなったり、授業がほぼ無い1年間。校長に直訴したが、荒れている生徒は先生方の言う事も聞かない。家庭も悪い。学校は隠蔽体質で事件が起こった。区も同じ管轄と思って、とても残念に思った。子供が安心して学校に行ける環境にできる様に、教師不足の解消。事件を起こした生徒がきちんと指導され、周りが授業を受けられるように、区の条例改善を希望します。
- ・ 保育園で安心して子供を預ける場所から小学校に変わった時怪我の頻度や先生達の対応がまるで追いつかず保育園との安全性が違い過ぎて戸惑いを隠せないです。小学校に関わる先生の数が少なすぎます。
- ・ 習い事させたいが、選択肢が限られていて近所になかったり、あっても混んでいるので申し込みなかったり、平日の日中で通うのが難しい。
- ・ 体験型の学習機会を増やしてあげたい、こどもだけで自然発生的に集まって遊ぶような習慣がない、スマホの適切な利用を教育することが難しい。
- ・ 初めての子育てで比較対象はありませんが、ありがたいと思うことがよくあります。強いて言えば、公立教育機関の違いがわかりにくいです。小学校を隣接校にするかどうか選ぶときに困りました。
- ・ 小学校や中学受験については漠然と不安に感じている。
- ・ 平等な教育について、子供の教育の不平等さを感じます。お金があれば、塾に通わせたり習い事を

したりできるので良い学校に通える可能性は必然的に高まるように思います。また、お金があれば、時間のゆとりも取れるため、親の選択の幅も広がります。良い学校に行くことが全てではないとは思いますが、「お金はなくても学ぶ意思の高い子、潜在能力の高い子」が、相応の教育を受けることができる社会にするにはどうすれば良いのか、子供の可能性を潰さない取り組みが何かできればと感じています。

- ・ 保育園の先生方はとても熱心なのに、小学校中学校になると、どうしてあんなに先生方のやる気がなくなってしまうのか不思議です。
- ・ 子供の習い事が高い。区が運営しているスポーツセンターの習い事は安いのが常に満員で全然入会できない。もっと枠を作してほしい。
- ・ 学童給食を実現してほしい。保育園児童がそのまま学童にいく現状です。学童での勉強時間、課外活動なども工夫できたらと思います。
- ・ 公立高校の魅力を高めていただきたいです
- ・ 区長が変わったので、どんどん他の区にはないことを初めていき住みやすい区にしてほしい。小学校など小人数制の検討、導入してほしい。
- ・ 土曜日まで学校があり、子ども達が疲れているように見える。早朝から小学校へ向かう児童がいて、冬などは危険。
- ・ 中学校への進学、高校への進学について公立の教育に力を入れてほしい。「勉強をがんばる⇒私立学校に入れる」の考え方が主流になっています。皆が公立学校進学を考えられるような体制作りをお願いします。
- ・ 小学校にあがった時、朝の送りに対応できるか心配です。集団登校を制度化する予定はありませんか？
- ・ 東京都の小学校教員採用試験の倍率 1.1 倍を非常に心配しています。先生の質、教育の質が下がることにならないよう、何か対策を講じて下さると安心して就学させられるのですがとても不安です。
- ・ 小学校は教育に力を入れてほしい。
- ・ プラウドタワー東池袋ステーションアリーナやC地区のタワマン建設に伴い、南池袋小学校の受入人数が心配だが、今後学区の見直し等の予定はあるのが、なければ検討してほしい。
- ・ 小中学校のタブレットが大きすぎる(重い厚い)教員不足を解消してほしい。学童が人数に対して狭い。ろう学校とか近隣の空スペース利用できないのか。
- ・ 学校用品の販売店が1店しかないので、増やしてほしい。
- ・ 特に冬場は暗くなるのが早いので、登下校時の地域の方々の見守り時間にも気を配られると良いよ

うに感じます。既に暗い17時頃、学校から子供たちだけで出てきて帰っていく様子もあり、戸建は特に心配も多いです。

- ・ 子供を4人育てております。保育園の補助をいただけていることは大変大きいです。医療費もありがたいです。ですが、学費が1番心配です。子供をたくさん産み育てるネックは教育費にあるかなと感じております。
- ・ 教師や保育園の人員確保。
- ・ もっと小学生の先生に年長の保育園児とはどのような存在だったのかのようなことが出来、まだできないのかを入学前によく知ってほしい。小学校に行ったから何でも出来るわけでないといわかってない先生が多すぎて驚きます。怪我などの通達も遅すぎて危うく手遅れになりそうな事もありました。教育課に相談しても当時にも解決されなかったのでもっと保育園の子供を預かっているという認識を小学校にも持ってもらいたい。こっちは楽しく生きていてほしいだけに小学校は命の危険が多すぎる。
- ・ 区民広場などでできる習い事を増やしてほしい。
- ・ 昨今、保育施設の充実や低年齢の子どもに関しての取り組みは進められているのを感じる。一転、小学校に上がると、学童保育の不充実さや遊び場の不足、特にスポーツを楽しむ場所がないなど息苦しさや不安を感じます。未来将来への不安なく一貫した、持続性継続性の考えられた施策を求めます。
- ・ まずは小中学校の給食費無償化、ありがとうございます。とても助かります。豊島区は乳幼児を育てるには良い環境になってきたなと思います。イケサンパークや区民センターのパパママすぽっとなど。ただ学童期以降の子育てについては思う事は色々あります。義務教育中の公立校での学用品の購入について、どうにかならないかと思えます。例えば校帽や校章入り体操服など、ほぼ強制で購入に必要なものに関しては子育て支援の一環として行政から予算が出るように今後なってほしいです。各学校で指定店があると思いますが、一点一点成長と共に購入するには結構な額です。親にお金が渡るよりも確実に子供に使われるし家計も助かります。無理ならわざわざ指定品扱いや校章入りじゃなくして欲しいです。小中学校での包括的性教育の推進について、池袋など巨大繁華街を有する豊島区だからこそ、子供達にきちんとした正しい知識を身につける機会を与えてほしいです。ハドメ教育がある事実は知っていますがネットで簡単にアダルトサイトなどにアクセスできてしまう現状で性交についてだけ学校でも教えないのはどう考えてもおかしいと思います。プライベートゾーンを見せない、見ない、触らせない、触らない。人によって許容の範囲が異なる

(バウンダリー) など LGBT などの話題以前にこちらの基本的な事を子供の権利条約と絡めて伝えていって欲しいと強く願います。

- ・就学前で他の小学校ママに話を聞くと同じ学年でもタブレットの使い方がクラス担任の技量によって異なると聞き不安をおぼえる…。公立小として豊島区はどう考えているのか気になる。また、PTA 活動に関して、任意とはいえほぼ必須となっているのが事実。就労中の保護者には参加は無理な話。平日の活動が無理なら週末になっても忙殺されるのはおかしい話。区としても外注を視野に入れていただきたい。
- ・区立の小学校で、いじめが多い・荒れていると耳にしたところがあります。逆に校長先生が変わって良くなったと聞いたところもありました。そういう噂を聞くと、子どもを区立の小学校に入れるのが不安になります。先生の転勤があるのでなかなか難しいですが、小学校の整備もお願いします。
- ・もうすぐ小学校へ進学するのですが、各学校特色があるので指定校隣接校以外も選べるようにしてほしいです。学びの自由をもっと尊重してほしいです。通学上の安全面に考慮していると思いますが、検討していただきたいです。
- ・学区の見直しをしてほしい。自宅より遠くの小学校へ行かせることになるため、安全、防犯上心配がある。
- ・昔に比べて子どもと遊べるスポットが増えていると思う。これからは池袋の開発に力を入れて頂きたい。また教育の質についても向上を目指して頂きたい。
- ・豊島区から将来日本を代表するような凄い人材を排出できるよう、理科実験施設、科学館やキッズニアのような社会活動体験施設を増やして区外からの来客も見込めるものを増やして地域の商売繁盛にもつなげてほしい。あまり投資効果が得られない。

1-6 放課後対策(学童・スキップ)

- ・保育園には入りやすくなりましたが、学童など人数が多いと聞いており安全面含めて心配。
- ・他の市町村と比較し、区民ひろばの数・取り組みが充実していると思います。育休中は使わせてもらっていました。ありがとうございます。子供が小学生になった時の、放課後の過ごし方に不安を覚えているため、充実させてほしいです。
- ・子どもスキップが生徒数に対して狭すぎます。また、お迎え等を考慮して学校の奥ではなく手前側にあったら便利だと思います。
- ・公園は未就学児と小学生が混在していて、小学生は本気の鬼ごっこなどをしているので未就学児は危険を感じる。東京は空き地や広場がないので小学生は放課後の行き場がないのかな、と思う。
- ・小4になるとスキップ学童の利用が難しくなるのは厳しい。学童指導員の給料をあげ、共働きの世帯を区としても助けて欲しい、子どもだけで家に1人で居させるのはまだまだ不安です。
- ・今回は就学前の児童に対してのアンケートでしたが、就学後の方が子育てや仕事との両立に関してサポートを得たいと感じる機会が多いです。住んでいる地域は民間学童がなく、公立学童を利用していますが、早朝や延長での利用が保育園ほど充実しておらず、フルタイムを出社ありで続けるのが難しく転職しました。周囲にも子の小ささをきっかけに、転職や時短への変更、退職した人がいます。転職後の今も、早朝や夜間の預け先がなく困る機会が多々あります。いわゆる『ワンオペ』で子育てすることに日々限界を感じています。需要と供給、また保育や学童に関わる人員の確保の面で厳しいのは大変理解しているのですが、就学後の児童に対するサポートや放課後の居場所の確保に関しても区としては是非取り組んでいただきたいです。よろしくお願いいたします。
- ・学童と民間の習い事との連携。共働きのますます増え、お金はあるが、平日夕方に子どもに色々経験させられないことを悩んでいる人が周りに多いので、公文、ピアノ、サッカーなどの習い事に行かせてくれるとお金払ってもやらせたいニーズあり。PR すればすごく住みたい人がふえると思います。
- ・現在子どもは保育園で 8:00~18:00 まであずかってくれています。しかし、小学校にあがると学校が終わった後のあずかり先が不十分だと感じています。どのご家庭も共働きで家で面倒をみられないと思うので、区内の家族が安心して保育園、幼稚園から小学校へ進学していけるように施設等を充実させてほしいです。
- ・学童保育の中で、民間と提携して習い事ができるようにして欲しい。時間が長く、ただ遊んでいるだけだと飽きてしまう。また、働きながら、平日習い事の送迎が難しいため。
- ・こども園の増設&学童保育の充実など、共働き世帯の子どもの教育環境を充実させてほしいです。
- ・高学年の遊べる場所、放課後集う場所があると嬉しい。
- ・子ども食堂や無料学習支援施設の充実を切に願います。
- ・図書館や自習室の充実を希望しています。
- ・フルタイムの共働きで近くに親戚や祖父母もいないため、小学校に入ってから帰宅時まで預かってくれるところがあるのか心配しています。

- ・また共働き世帯は習い事を土日にせざるを得なく、親、子どもともに休めない。子ども園やプリスクールを増やして頂けるとありがたい。
- ・今は学童が不安。他の区の学童はパツとしない。学童の取り組みは区の強みとなるよう検討し、アピールしてほしい。習い事の送迎が負担になるため、個別に有料で良いので、学べたり遊べたりするカリキュラムがあると、豊島区を選んで引っ越しても良いと思う。(学校の空き教室を利用した私営の習い事誘致とか)

1-7 保育園

- ・保育園での定期検診の実施。
- ・公園の充実度は他の区に比べて高いと感じている数が多く整備もしっかりしているので。東部と西部の保育園の募集空きに差がありすぎる、西部に受け入れ up を望みたい。住み続けたいが、地価の上昇で土地が買えず、移動しなければならないことが残念であるが、子育てしやすい区であることは常々思っている。
- ・保育園から送迎してくれる習い事があればうれしい。
- ・両親どちらもフルタイムでないと保育園に入っはいけないのかなと思ってしまふことがあります。週4で働いていても、指数的に足りないのので入りたい園に入れないのが不安です。やはり保育園がまだ足りていないのかなと思います。保育士不足、賃金などの問題もあると思うのでムズカシイとは思いますが…。
- ・保育園が合同ばかりで先生の数が多いのか不安。保育園でのトラブルは、やられた方しか言われず、した側の親が知らない今のルールは親同士でトラブルになっている。かまれた、たたかれた側しか知らないのは、どうかと思う。
- ・保育園のハード面での質が近隣区に比べて低いと思います。特に園庭のなさは顕著で、身心への影響が気にかかります。また、保育園の数を増やすことを最優先にした結果、窓がほとんどあけられず、(近隣への配慮から?)感染症がとても流行しやすい環境にあるとも感じています。旧高松第一保育園の沿用など、まだできることはあります。目先のことでなく、本当に大事なことが守られる環境を創ってほしい。
- ・区立保育園ではしっかりして頂いていますが、保育現場でも家庭や地域でも心の痛むニュースも多く、我が子はじめ地域の環境に心配は尽きません。
- ・子どもの遊び場や、子連れに優しいスペースが増えているのが助かる。区立認可保育園は保育料は安いが行事やイベントは少なく寂しいと思う。
- ・希望の保育園には、なかなか入れなくて、保育園に入るまでが大変だった。現在通う幼稚園だが、年少の娘が馴染めないような集団生活ルールが厳しく、すぐに療育とか親が付添はないと登園出来ないとか選別することにすごく不満です。選別するなら、面接で落としてほしかった。今、そのこと(療育)で両親共にすごく悩んでいます。(現在通う幼稚園は北区にあります。)
- ・第一子が保育園に通っている時に第二子が生まれたが、2月生まれで、夏頃に保育園に入る必要があったため同じ保育園に通うことができず、現在2か所の保育園に送迎している。兄弟加点があったとしても4月入園でしか入れないことが問題である。
- ・保育園や小学校の行事は土曜日ばかりで参加しづらい。小学校の年間予定や、保護者会などの開催情報が遅いため、参加しづらい。
- ・保育園は本当にありがたいです。
- ・豊島区内でも地域によって保育施設の充実感度合いが異なる。保育施設が不足している地域に力を入れて、希望する地区の保育園に兄弟姉妹が一緒に通える程度に充実させてほしい。
- ・保育園の立地に偏りがある。(こどもの人数に対して保育園が少なく、入れたとしても遠くまで通わなければいけない)
- ・保育施設の件数は多く、定員も余裕があるように見えるが、実際認証保育園では施設環境も職員体制不十分である。もっと数だけでなく、質の充実が求められる。
- ・短時間保育がしんどい。早く保育園に行きたいと言う2歳児に9時まで行けないと理解させることも難しいし、その時間まで時間潰しをしなければいけない。夕方も17時までだと父親の仕事が終わるまで確実に1~2時間はワンオペになるし、まだ3ヶ月の次男の授乳とお迎え時間が被り、長男にご飯をあげながら次男の授乳をして、ご飯の準備が間に合わない、最悪の場合2人とも泣き叫んでいる。標準保育から短時間保育になるだけで相当負担が増えた実感。
- ・保育料が安くなるとありがたいです。
- ・自分の希望している時期に、希望の保育園に入れるのかと不安は常々感じています。このような不安を感じず、のびのびと子育てができるような環境が整備されることを希望します。
- ・通っている保育園で不適切な保育がありました。その後の園からの情報提供が不十分です。既に引っ越し等で複数回転園をしているため、さらに転園となると子供の負担が大きいため、不信感を抱えながら保育園へ通っています。私立保育園であるため区の介入は難しいとは思いますが、区主体で状況を説明していただけたら、こんなに心強いことはありません。

- ・ 保育園、学童と待機児童の心配なく生活できている点、感謝している。
- ・ 認可保育園において、子供(我が家だけではなく、当該園の0~1歳児全員)の健康に関わる重大な事柄が発生しました。区役所保育課にも何度も相談しましたが、保育課の担当者からは事態を矮小化するような言動が目立ち、非常に理不尽な思いをしました。結果、転園せざるを得ませんでした。保育課による当該園の問題に対する姿勢を見ていると、問36の「子どもの権利」が守られているとは到底言えない現状を区役所が作っていると思います。助けを求めても、かなり強く食い下がらないとともに調査してもらえませんでした。また、トラブルの長期化により、長期間保育園に預けることができなかったため、問37の「職業生活と家庭生活を両立するための支援」や「保育内容」についても、「そう思わない」を選択せざるを得ません。
- ・ 保育園に父母会があり、全員が卒園までに必ず役割を担わなければならないのが負担に感じています。入園前にそういったものがあるか否かを入園の手引きなどで知る手段があるとありがたいなと思います。
- ・ 近所の方がちょっと面倒見てくれているという水準の保育士さんであれば良い方で、この人とは親が距離をおきそうな方が保育士としてかなりいる。これは業界の問題だと思うが区としてもできることはないのだろうかと思う。ただ、お世話になっている皆様には大変感謝しています。
- ・ 保育園がたくさんあり助かっています。毎年現況届を提出していますが、変更のある家庭、変更箇所のみにしてほしいです。(変更の度に書類提出、入園申し込みで書類提出、現況届と結局年に何度も提出しているため)
- ・ 保育園のある場所に偏りがある。保育園に入れるか、兄弟が同じ園に通えるか不安を感じる。相談や申請など何かと平日昼間ではないと行けないものが多く、共働きだと利用しにくい場合が多く感じる。
- ・ 子どもの発達支援について、港区は自宅から療育施設、保育園までの送迎バスがあり、平日も仕事に支障なく通園できました、豊島区もぜひとりいれてほしい。
- ・ 保育士の給料上げて下さい。先生たちに安心して仕事(保育)をしてもらうことが結果的に親の安心につながります。
- ・ 保育料をもう少し安くして欲しい。
- ・ 保育園入園手続きがもう少し簡素になってくれたらと感じる。2月入園の手続きが11月で書類の有効期限が6ヶ月、また4月頃に再度書類を用意するのは、かなり労力がかかって大変である。
- ・ 十数カ所の保育園を見学に行きましたが、子どもの暴力、不衛生な環境、保育士不足など、どこも保育の質が非常に低いです。ぜひ区を上げて安心してあずけられる保育の質の向上をお願いしたいです。
- ・ ベビーシッターの補助金はとても助かります。有難うございます。区立保育園でも英語や体操の時間などがあるととても嬉しく思います。希望者のみ、料金がかかっても良いので、保育時間中にそのような体験が出来る事を希望します。フルタイムで働いているとなかなか習い事までさせてあげられないので…。宜しくお願いします。
- ・ 子どもを保育園に週3回預けています。世帯年収で月の保育料を変動させている理由が理解できません。子どもと仕事の時間を考えながら、両立を目指し仕事復帰しました。保育料は決められた額を支払っていますが、仕事以外の日は、預けられない規定は、納得がいけない。仕事復帰は、個人の自由、仕事以外の時間は、子どもと離れるなどという国の考えなのでしょうか。税金をしっかりと納めているので、保育園を生活の中でどう使って生きるかは、自由でありたい。国が定めた税金の金額で保育料が決められているのだから、仕事がない日も預けられるようにして欲しい。定期的に就労証を提出しているのだから、問題ないはずで
- ・ 1歳児クラスの公立保育園に通っています。9時に登園して、10時45分には昼食が開始、11:30にはお昼寝のスタートです、あまりに早すぎると思います。10:45って、朝食では?その為、午前あそびは園外に出るのは月に数回です。私立園のスケジュールと比べて異常を感じています。その為、上の子は、保育園をやめ、幼稚園にうつりました。園には要望しましたが、公立園はこのスケジュールですとのこと。
- ・ 育休を2年とるつもりでいるのですが、1才で認可保育所に入れないと、2才からは、ほとんど空きがなく、2才以降からの認可保育所の入所はとても難しいと区の職員さんにお聞きしました。そのため、認可外の施設を探しているのですが、大変難しいと感じています。(設備や費用面で、あまりに差がありおどろいています。)認可保育所に、2才や3才からも入りやすい環境をぜひ整備していただけるとありがたいと思います。
- ・ 母親もたまには1人になったり友人と会ってごはんを食べたりしたいので有給休暇を利用したときも保育園で預っていただけると助かります。
- ・ 保育園の申込申請や現況届の申請をより簡単に出来ないか。新設保育園が1才~対象が多く、0才~の園も増やしてほしい。

- ・働いてなくても、延長保育無料にしてください。より公平でより子育てしやすい豊島区になりますように。
- ・前科や、過去にわいせつ事案処罰のあった先生を起用できないようにして下さい。(すでになっていますか?)その他、アンケートごとに記入しています。ピアッザとても良いアプリです。地域の情報得やすいです。豊島区大好きなので、より良くなってくれることを願っています!
- ・区立保育園でのおむつサブスク等、先進的な取り組みに本当に助けられています。ありがとうございます。
- ・不定期のパート等で一時保育に預けたいが、預ける先が少なくすぐ予約が埋まってしまうのもっと増やしてほしい。他の23区内では一時保育の料金が1日あたり¥2000等であるが、豊島区は1時間¥500と割高なため減額していただければ預けやすい。
- ・保育料は収入で決められた額を支払っているのに、預かってもらえるのは仕事の時間のみという制度を変えてほしい。また育休中は保育園の独自ルールで預けられる時間が短く、それを強制された。保育園のルールに従うようにと言われるが、時間などは区で一律のルールを決めて欲しい。
- ・現在フルタイム育児休業中で9ヶ月の子供を育てております。大規模マンションの施工により高田地区の保育園数が少なく、かつ早生まれのために入園が厳しい旨のお話を保育課でいただき、日々不安と隣り合わせです。区全体として待機児童はいないと聞いていますが、当該地域の保育の需要と供給がマッチするように保育施設の拡充をお願いしたいです。
- ・産休・育休の際の保育時間は保育園ごとに相談してくださいと説明を受けたことがありますが、時短認定は9-17時と定められているのに何故保育園ごとに相談が必要なのか疑問に感じています。
- ・現在、産休に入っています。時短認定になることは承知していますが、保育園から執拗に9-16時に変更してほしいと要望されます。(現在は9-17時)産休中は17時までで園側からも了承を得ていますが、育休になったら16時までで検討してほしいと言われています。上の子のために早くお迎えに来た方がいい、というニュアンスで説明を受けたこともあります。上の子との時間を大切にしたい気持ちはもちろんありますが、それは下の子のお世話をした上で得られる時間と考えています。早くお迎えに行くことが上の子との時間の確保にはなりません。むしろ下の子のお世話のために相手ができないことの方が多いとさえ思います。預かっている保育園・保育士さんには感謝していますが、時短認定の時間内での保育依頼には快く応じて欲しいと思います。
- ・国で議論されている、保育園の「こども誰でも通園制度」について、もし実施されるなら、利用上限時間を増やして欲しい。
- ・幼稚園受験をし、4月から私立幼稚園に通うが、それに伴い、弟は今通っている保育園を退園になるとのこと。私立幼稚園へは満員電車の通学のため、弟と一緒に連れて行くことはできないが、保育園も退園させられるため認可外保育所に預けるほかない状況。しかし認可外保育所は人気があり定員充足のため現状で見つからない。一体どうしたらよいのか。一律仕事時間で保育園を退園になってしまう仕組みのせいで教育の機会を失ってしまうがこれでよいのであろうか。
- ・現在、認可保育園に通っていますが、保育士数が少ないと迎えに行く度に感じる。人数の基準を満たしていても、基準自体が低いと思う。
- ・高田地域の保育園が少ない、家を出て帰ってくるまでに40分はかかります。
- ・保育料が高額、産休前の給料で換算されるため、保育料が高く感じます。仕事復帰後、時短勤務で給料が減る人が多いので、復帰後の給料で算出してほしいと思いました。
- ・区の保健師さん、助産師さん、区役所の保育課の方々などのサポートは丁寧で、皆さん親切にしてくださいとありがたく思っています。
- ・高田地域に保育園増やしてください。働きたくても働けない、遠いところだと時短を取らざるを得ない、兄弟で別園になる負担が大きいです。引越後を後悔しています。
- ・下の子の育児休業中であることを理由に上の子の学童利用が認められないルールなど、子育ての実情を理解していない制度設計が随所にあり、当事者視点ではないと感じる。
- ・保育園に入園を申し込んでいますが保留状態、来春まで入園は厳しいかもと言われています。東池袋エリアに保育園の拡充をお願いします。保育園での紙の連絡票のアプリ化等、極力IT化を進めて欲しい。そして業務効率化を図って人手不足を補って欲しい。区立・私立含め保育園での一時保育の申込みも家庭支援センター同様アプリから申し込めるようにして欲しい。
- ・上記のことから、育休中の保育も通常通り標準保育としてほしい。
- ・現在企業主導型の保育園に子どもを通わせているのですが、東京都が実施している第二子保育料無償化の対象施設に企業主導型の保育園は含まれないことを聞き、大変不満を感じています。今はまだ子どもが1人なのですが、第二子を考えています。同じ区民、都民なのに、不公平だと思います。先日練馬区の友人から聞いたのですが、練馬区は補助が出ると聞きました。都の施策なのに自治体ごとにサービスの差が出るというのも、よく

分かりません。今の園がとても好きで気に入っているのですが、もし次の子が生まれても同じ園に通わせたく思っています。この点について、豊島区として対応していただけると大変に有り難いです。ご検討のほど、どうぞよろしくお願い致します。

- ・ 3月の保育園入園ができないのは3月生まれには厳しいので許可してほしい。目白や巣鴨の方が保育などの施設が充実しているので、他の地域にも力を入れてほしい。
- ・ 新大塚駅周辺に保育園を増やしていただきたいです。文京区側には保育園はたくさんありますが、豊島区は駅周辺少ないと思います。
- ・ 幼稚園の夏休み中に、西部こども支援センターの一時保育を利用したのですが、自宅から遠く、車で行っていました。旧真和中だったり、その周辺の区民ひろば等で一時保育をしてもらえたら大変助かると思っています。
- ・ 保育園のカリキュラム、行事の内容等が園によって偏りがあるので、区の方からもチェックしてアドバイスするようにしてほしい。
- ・ 小規模保育園を卒園したあとに入れる、私立の保育園の選択肢がもっとほしい。
- ・ 保育園に男性の先生が増えており、性について不安を感じます。どの様に指導しているか公示してほしいです。
- ・ 区立保育園を利用しているが、就労証明書の時間に基づいてのみ、預け時間を決められてしまい、柔軟性がなく、大変困っている。もう少し預かり時間の前後に余裕を持たせてくれれば、家のことや子どもの環境も整えてあげられるのに、と毎日疑問を感じている。共働きで子育てをするのは、負担が大きいばかりでなく、子どもにとっても良くないと思うが、経済的な余裕もなく、やめられないため、家族全員が疲弊しており、今後に不安しかない。
- ・ 急な引越しがあり、一時保育を利用しようと思い2週間前に4か所、問い合わせをしたが予約が取れたのは1日だけでした、保育士さん不足もあり大変だと思うが、もう少し予約が取りやすい環境にしてもらえるととても助かります。シッターさんは予約できましたが、高いので。
- ・ 保育園に入園することは大変難しいです！
- ・ 保育士の待遇を良くしてほしい。
- ・ 生まれ月によって保育園の入りやすさに偏りが生じているのが不公平だと感じる。4月生まれであれば、一歳になる年の4月に保育園に入りやすいと聞くと、3月生まれはただでさえ一歳になる年の3月入園がない不公平さに加え、年度途中の入園は入りづらいと言われた。一歳まで育休をとれる職場が多いため、各月毎に募集枠を確保している生まれても保育園に入りやすいようにしてほしい。

- ・ 子供を区立の保育園に通わせていますが先生達はとてもよく見てくれていて感謝しています。

1-8 幼稚園

- ・ 今年豊島区に引っ越した者ですが、幼稚園の受入れ体制が素晴らしく、子供はすぐにこちらの環境に慣れました。区全体として、新しく入ってきた人に対してのウェルカム感を感じ、とても安心して親子共々生活しています。
- ・ 幼稚園の給食費の無償化は大変助かりました。
- ・ 幼稚園が少ないなあと感じます。バス通園があるとうれしいです。
- ・ 豊島区内にこども園や幼稚園が少なく、幼稚園での教育を希望しても延長保育の対応がなければあきらめるしかない。
- ・ 幼稚園が少ない。
- ・ 豊島区に住んでいますが、幼稚園選びの際にバス送迎があるかを探していましたが、豊島区には1つもなく、今は北区の幼稚園に通っています。豊島区の方が多数北区の幼稚園に通っています。豊島区の幼稚園にもバス送迎のある幼稚園を作してほしいです。
- ・ 第一子の通う幼稚園に問題が多すぎるが私立の為区ではどうしようもないような事を言われ失望している。小麦アレルギーの子にクッキーを食べさせて園児が気づくとか。園児の脱走に気づかず道路で遊んでいるのを通りがかりの人に保護されるとか。骨折しているのに(午前中に)連絡もなく午後大丈夫と帰されるとか。子供の手を切られて帰りまで連絡ないとか。私立だからとかではなく何らかの機関の介入が必要ではないか。ちなみに運動会のリハーサル 35℃の平日の日に行って熱中症で倒れたりになったり複数人出ても連絡ありませんでした。そもそも平日やるのか 35℃の日に？
- ・ 区立幼稚園も選択肢の1つにしているが、あまり情報がないのと、池袋幼稚園が認定ごとにも園になる、ならないとバタバタしているような様子が伝わってきて不安を感じる。
- ・ 幼稚園での預かり保育費用を無償化の対象にしてほしい、他区よりも幼・保の無償の金額が少ないので、豊島区のみ、全額カバーできない園があるので、近隣区と同じくらいに上げてほしい。
- ・ 北大塚に幼稚園がないので、いずれできるとありがたい。
- ・ 働いていない保母者がいても保育園に入れるようにするより、共働きでも幼稚園に通えるように幼稚園を支援する方が良いのではと思います幼の方が施設などの環境が整っており子どものためになるのではないかと思うからです。
- ・ 豊島区はエリアによっては幼稚園(特に3年保育)が少ないように感じます。保育園は多いように感

じますが、就労していないため保育園には入るのは容易ではないです。幼稚園を増やす、もしくは、就労していなくても保育園に入りやすくする、ようにしていただけるとありがたいです。

- ・ 区立幼稚園に Google クラスルームを導入してください。自動翻訳を使える、オンラインミーティングができるようにする、配布物や回収物を減らす、電話対応を減らすためです。また、絶対に、区立幼稚園を潰して子ども園にしてはなりません。集合住宅が急激に増えていますし、障害児や外国人の受け入れ先が減りますので、定員減らしはダメです。
- ・ 保育園は充実してきたかもしれないが豊島区の幼稚園は近くに入りたいところがなく、北区の幼稚園にした。豊島区の幼稚園も魅力あるものにしてほしい。

1-9 子育て支援サービスの充実

- ・ 家庭支援センターが西部と東部にありますが、高田地区からはアクセスしづらく、池袋以南にもう1つあると良いと感じています。(区役所周辺 etc)一時保育ももう少し充実していただけると助かります。
- ・ 出産するまで分からなかったが、色々手厚く支援していただいていると感じる。週に1回5~6時間でも子どもを預けることができると気持ちがラクになるので、そういったサポートをお願いできたらと常々思っている。実家が遠く身近に頼れるところがなく、そういった不安も大きいので、定期的な預かりは助かると思う。
- ・ 豊島区の子育て環境はとて素晴らしいと感じています。ご努力に感謝いたします。その上での希望をあえて言いますと…ベビーシッター支援事業を拡充してほしい。豊島区 70 時間、素晴らしいですが使い切ってしまったので追加をお願いしたい。区民広場、とてもありがたいです。できれば祝日も開場してほしい。毎日のように行っているのだから…
- ・ ライフステージや子の成長により求める支援や悩みも変化すると思う。第一子の時はおそらくポジティブな回答が出来たと思うが、第二子妊娠出産をへて必要なサポートも変化した。出産当日から第一子が一緒に入院していた為(一緒に泊まれる病院)世話を、しなければならなかったり二人目だから大丈夫だろうと子育てに参加しない父親の為シッターヘルパーフル活用だった。
- ・ 家庭育児をして再来年から幼稚園入園を考えていますが、小さい子への支援がほぼ1才位まで(育休復帰前)と偏っていると感じます。(子育てひろばの平日のイベント等)
- ・ 日々、保育事業のお世話になっており、大変助かっています。一方で、土日の保育や夜間時間帯の保育の確保にハードルを感じています。ファミリーサポートなども検討しましたが、早朝時間帯や夜間の提供がなかったり、必要が分かった時には事前申込み期限がすぎたりと、仕事で突発的に保育が必要になった場合には使えることができませんでした。利用者が少なく厳しいとは存じますが、早朝、夜間、土日保育の充実を望みます。
- ・ 出産時に豊島区として現金給付か物品支給等の特典があると良い。(母子手帳ケースやおもちゃではなく 10 万円相当の物が欲しい)
- ・ 子どもが2人います。3人目をうむためには、家庭外からのサポートが必須です。子どもを預けるサポートはありますが、家事のサポートも利用できるようにしてほしい。ベビーシッター利用支援事業は定期的なサポートは対象外なので定期も対象としてほしい、子どもは見知った人にしか、心を開けません。親も子も、安心して、サポートを受けさせてほしいです。
- ・ 他区と比べ、学童、保育園に入りやすいのがとても素晴らしい。他区と比べ、区民ひろばが多い。育休中はいくつかのひろばのイベントをはしごして楽しみました。もっと PR してもよいと思います!妊娠中にひろばを体験すると何かがもらえるクーポンを配って、妊娠中に見学できたらもっと安心。長男が区長へお手紙かいてお返事が来てよろこんでいた。
- ・ ミルクなどを買える薬局がすくない、もっとおむつやミルクなどを支給してくれるサービスがほしい。
- ・ 民間のベビーシッターをよく使っているが、東京都の一時預かり利用支援が浸透してきているからか、必要な時に、資格のあるベビーシッターがなかなか見つからない。需要に対してベビーシッターの数が足りないと感じる。
- ・ 子育ての街とも言えませんが、学習塾等もあまり充実しておらず、やはり予備校等のイメージが強いです。
- ・ 親子で楽しめる施設よりも大人が楽しめる施設の方が多いです。
- ・ イケサンパークのように幼児が遊べる施設をわけていただけるのはとても助かります。
- ・ 特に今年の夏は猛暑で公園で遊ぶことも外で遊ぶことも難しかったので、子どもがかわいそうでした。暑い国に習い、室内遊び場を増やしてほしいです。
- ・ ワンオペで自分の体調が悪い時に助けが欲しいと思う。病院にすら行けない。
- ・ 在宅でのシッター手配について、結果個人任せとしか思えない。こちらのニーズにあうシッターは見つからず、結局在宅と育児を1人で対応している。役所は費用の補填だけしか対応していないんだ

など、期待してない。シッター探す時間の捻出にどれだけ、取られているのかと腹立たしい。

- ・ 2歳半になる双子の親です。父親多忙のため、ワンオペで育てており、子どもが2歳になるまで、公共交通にのったことがありませんでした。日々、玄関に宅配便をとりに行くのさえも苦労しています。保健所に乳児をふたりつれてバスやタクシーで相談に行くのは大変困難です。アウトリーチすると連絡をいただきましたが、来ていただいても、双子の世話をしながら相談をするのも困難です。お話を聞いていただけののだとすると、ひとりまたは二人ベビーシッターとともに相談員の方に来ていただき、子どもを見守っていただく状態にしてからでないと、お話をする余裕は出来ないと感じています。
- ・ ベビーシッターの一時利用支援大変ありがたいです。
- ・ 異次元の子育て支援と言いながら何も変わらず、むしろ今後の高校以降の教育費がよりかかりそうな方針であることがニュースなどで流れてきて、本当に不安と怒りしかありません。自分が親からしてもらった事を同じように我が子にもしてあげたいだけなのに親が育てた人数より1人少ない現状でも、してもらった事を全てやってあげられない事が悲しいです。昔と今では税負担率も物価もかなり上がっているにもかかわらず、シニア世代からは子育て層は優遇されているとされているのも本当に眩暈がします。子供達に笑っていてほしいのに、今までの「普通」を維持するだけでも大変になってきていて、専業主婦では厳しくなってきた家庭も多くパートに出て生活費の足しにしている人も多いです。親も子ども共に一緒に過ごせる時間も少なくなり、精神的にも余裕がなくなっている今の子育て環境をどうにかできないかと日々思いながら私も同様にパートに出始めました。
- ・ 区民ひろばが日曜日も空いているなど遊び場が保障されている点はありがたいです。子どもを公立保育園か子ども園にいたいと考えています。高田地区の保育環境の整備に期待しています。また、ファミサポの利用を検討して一度相談しましたが援助会員不足ということで利用できませんでした。
- ・ 利用できると保育所の選択の幅も広がると思います。また、小学校に入学後の共働き家庭への支援（学童の充実、長期休み中のサポート）についても期待します。
- ・ 豊島区は、他の区の方のお話を聞いていると、比較的子育て世帯への支援に力を入れているのではないかと思います。日々生活をしていて、特段不便さや不満を感じることは今のところはありません。いつもありがとうございます。

- ・ 妊娠中や産後のサービス（ベビーシッターや家事代行）が気軽にできれば無料で使えたらいいなおもいます。
- ・ 子育てに支援について、子供が産まれる前と産まれた後では、子育ての認識が大きく変わりました。おそらく、多くの親御さんが第一子を産んだ時に同じことを感じたのではないかと思います。
- ・ 24時間中24時間、子供のために動き、心も体も休まることはありませんでした。豊島区でも子育て支援事業はありますが、正直気軽に使えるものではありません。「辛い」「今すぐ〇〇してほしい」と思った瞬間に利用できるものが本当に必要とされているものなのではないかと思います。困った時に電話一本で気軽にすぐに使える支援があればいいと思います。子育て支援に限ったことではないと思いますが、「当事者」が「当事者意識を持って」改革をしないと的外れなものになり、「形だけやりました」感のある政策になってしまい、本当に必要としている人に届かないものになっているように思います。
- ・ 一時預かりについてはいくつかの施設の空き状況をそれぞれ確認しても希望するタイミングで希望する時間帯を利用できないことがほとんどで困ることが多いです。
- ・ シッター利用に対して補助があるのはありがたいが、申請がかなり煩雑である（複数の書類を準備する必要がある、電子申請ができない等）上に、そもそもシッターの予約が取りづらくて利用しにくい。仕組みだけ作っても利用できなければ意味がないと思う。利用したい人が本当に利用できているのか、改善点がないのか見直すべきだと思う。
- ・ 子育て支援を沢山お願いしたい。食べ物、飲み物支援してほしい。
- ・ 精神的なダメージを感じて誰かに頼りたくなるとき、子どもが体調不良などで仕事の予定に困るとき、いずれも「急」に迫ってくることが多いです。特に精神的にまいってしまったときに人に頼りたいけれど、支援してもらえる窓口がすでに時間外となっており「きついなー」と感じる事が度々あります。
- ・ 1歳4月から保育園にお世話になり、愛情を持って大切に保育していただきました。非常に感謝しております。
- ・ 豊島区は子どもに優しく、子育てしやすい環境だと思います。
- ・ 急遽、休日仕事になることが多々あるが、保育園では対応しきれない。また、祖父母や知人友人などのサポートや支援もなく、手詰まり。
- ・ 豊島区はとても子育てしやすいと思います。パパママ応援のチケットがもう少しどこでも使えたら助かる。

- ・豊島区はあまり子育て世代への支援が充実してないと感じている。
- ・雑司ヶ谷文化センターを子連れ向けにもっと解放してほしい。高齢者の講座ばかりな気がします。ファミサポは子供の送迎に行けない時など利用させていただき、とても助かっています。
- ・ファミリーサポートや子育て支援は、予約制・登録制で本当の緊急の時は、予約なんてしていないので緊急時はどうしたら良いかと日々悩んでいます。
- ・今現在は基本的に在宅で育児をしていて、あまり困っている事もないのですが、昔一度だけ体調を崩した時に一時保育を利用したいと思ったのですが登録をしておらず、また少し登録の場所が遠くてあきらめました。なのでもう少し子ども支援センターが行きやすい所にあったら良いなと思いました。
- ・とにかくベビーシッター支援をお願いしたいのですが、ベビーシッターさんへの補助があればより充実する?シッターさんが見つからないことも多いので最後に感謝を。昨年、中野区から引っ越してきたのですが、子育て支援の充実に驚き、さらに今後ここで過ごすことが楽しみにになりました。いつも本当にありがとうございます
- ・子育てを重視しているように、区の政策では表わされていますが、区の職員は未だに第2子育て休中の母に対して、「上の子は本当は保育園は必要ないはず」等、易々と口にします。職員教育をもう少し丁寧に行って頂きたいです。子どもが愛され、そして子どもが愛したくなる街づくりを、もう一歩前進させていきましょう。
- ・子育ての支援がとても豊かで助かっています。現在2人目の子供が生まれたばかりで、上の子は産前産後の保育園利用をしています。保育園入園前はベビーシッター利用支援事業を利用させて頂き、なんとか妊婦でも家庭で保育をすることができました。今後、保育園の期間が終わってしまったらまた、ベビーシッターを利用させてもらいたいと思います。来年度もぜひ、このベビーシッター利用支援事業を続けてくださるとありがたいです。
- ・子育て支援はとても有難いですが、子どもが居ない方は賛成してない方もいると思います。子育て支援のお金は子供のものだけ購入できる券にしてほしいです。子育て支援金で旅行や家電なんか購入されていたら子供のいない方は面白くないと思います。そのような配慮必要だと思えます。あとは子供の物を購入する券だったり、保育料として使えたりと子供のことにしか使えないというのが理想です。子供のいる世帯は本当に助かっていますので、感謝しています。
- ・未就学児向けのワークショップなど開催いただき、親子の交流の場を提供いただけると嬉しいです。
- ・ひとり親や多胎児世帯へのサポートや補助を拡充してほしい。
- ・私は夫婦のみで子育てしており、他の支援はありません。自分の体調不良時や子どもを預けたい時は一時保育をお願いしていましたが、1歳からの施設がほとんどでとても困りました。また、区立保育園の一時保育枠がとても少なく、予約が激戦で、いまこの瞬間という時に助けて貰えずとても辛かったです。生後3ヶ月くらいから預け先が欲しかったし、一時保育施設も増やしてほしい。ベビーシッター助成についても利用が大変でハードルが高かったし、認知度がと手間低いと思います。

1-10 病児・病後児

- ・病児保育施設を増やして欲しい。遠すぎて、利用できない。
- ・病気になったとき子どもの預け先には悩んでいます。私は祖父母が近くに住んでいるので、預かってもらえることが多いですがたまに都合の合わない時々、仕事の休み調整など、苦労することもあります。
- ・土日に通える療育施設を増やすか、平日通所することへの経済的な負担を軽減する策を考えてもらいたいです。療育通所の交通費を負担して欲しいです。
- ・健康な日常は特に問題はない体調不良時、いくつもの問題が集中・病児・病後保育の不足・ベビーシッターの確保が困難(病児OKは少ない)・病院予約がとれないor混雑、薬不足。
- ・病児・病後児保育施設の利用ハードルが高い(事前・当日の手続き、準備、予約枠の数)。もっと利用しやすくしてほしい。
- ・病児保育や病後児保育を実施している施設と受け入れ人数が少なく、施設も遠いので、なかなか利用が難しい。
- ・子どもが風邪をひいてなかなか仕事にいけない。
- ・先程も記載しましたが、子供が理由での突発休が多発しております。感染症が多くなっているため、一度かかると長い時で1週間ほど会社を休むことになってしまいこれでは退職も視野に入れなければならないかもしれません。病児保育の拡充を早急をお願いしたいです。
- ・療育を受けています。もう少し、先生の数を増やして、療育の回数を増やしたいですし、土日も行なってほしいです。
- ・病児保育の利用手続きが簡単ではないので利用しにくい。保育園の入園手続きなどに合わせて希望

者には登録カードなどを発行して郵送してほしい。

- ・（調査対象の子ではなく、上の子の時に思ったが）病児保育が使いものにならない。数も少なく、当日朝からの予約では仕事には1月に合わない。ぜひ拡充してほしい。保健所で育児相談会の時など、人員配置が適切でないと感じる、（ヒマそうなんが多い印象）税金の効果的な運用を望みます。
- ・職場近くへ保育利用だと、豊島区の病児が利用出来ないのは改善して欲しいです。
- ・子どもが急に体調を崩した時、病児保育の施設センターもありますが、実際は事前に申し込み用紙の提出が必要であったり、定員われていることも多く、ほとんど利用ができません。緊急時に利用しやすい病児保育の施設があれば、大変助かります。
- ・病児保育対応の施設を増やして欲しいです。病後児はたまたま預けられる範囲にありますが、病児は遠くて現実的には利用できないです。
- ・病児保育の利用ハードルが高いので、利用可能施設を増やしたり、手続きを簡便にしてほしい。病児ヘルパーの斡旋でも良いと思います。育児、家事、仕事の両立がしづらい要因は、子どもの風邪・病気による看病、登園できない状態が続くことが大きいと考えます。ここへのサポートが無いと、出産育児を機にキャリアを諦める女性は減らないと思います。
- ・病児保育の拡充を願います！いつ呼び出されるかわからない精神的不安。インフルエンザ等の長期欠勤。
- ・仕事を続けたいのに居づらくて辞めてしまう。
- ・病児保育のシステムが区の広範囲に及ぶことを切望する。
- ・仕事でなかなか迎えに行けない時など子供が病気の時に保育園で面倒を見てくれるような園がもっと増えて欲しい。

1-11 障害児への支援

- ・子供に発達障害があります。自ら動かないと次に進めないのが現状です。トータルで長い目で見てほしいです。（支援求む）放課後のサービス等も中々みつからず、不安も多いです。少数ではありますが、育てていく環境を整えて頂きたいと感じています。
- ・障害がある息子を保育園にあずけられず困っている。所得制限がづらい。（特に障害児支援）
- ・発達障害の子供の子育て時(6才)は、非常に苦労しました。シッターさんを利用したいのですが、何かあると困ると保育園以外でお願いしたことが

ないので、障害児専門シッターさんが利用できたら、よかったと思いました。

- ・家族に障害児がいるが、再来年の小学校進学の際に放課後預ける場所が確保できない。そうなる、仕事を辞めなければならないし、下の子も保育園に通えなくなる。産んだ後のフォローは素晴らしいが、成長してからのフォローが確立されていない。
- ・上文と同じく、障害児支援の充実を希望しています。健常児と異なり、保育園以外で誰かに預けたりするのも子供の特性上やはり難しいです。ハードルが高い切実です。
- ・障害児保育の充実をお願いしたい。
- ・可能であれば東部にも発達支援の施設を充実させて欲しいです。
- ・子供の発達障害がある家族のコミュニティーが欲しい。
- ・中等度難聴への支援をお願いしたいです。修理費が沢山かかります。援助をお願いしたいです。

1-12 医療・健康

- ・親身に診てもらえる開業医(小児科、歯科など)が見つけられない。
- ・北大塚周辺に行きやすい小児科や小児皮膚科がなくて、自転車で少し遠くまで行かなければならないのが不便に思う。乳幼児は自転車もむりだから、ベビーカーで大分歩いて行っているのもっと良いお医者さんのいる病院がふえてほしいなあと思います。
- ・産科が少ないため、他の区での通院や出産を考えなければいけないので、医療体制やサポートを考慮してほしい。核家族世帯への孤立にならないよう配慮や取り組みをしてほしい。
- ・働いていると、どうしても、土日に用事をこなすことになってしまう。病院なども土日に開いていたりすると助かる。
- ・近所に小児科が1つしかなく、風邪をひいたとき等でも予約が取れません。なので、仕方なく耳鼻科でいつも看てもらっています。
- ・豊島区に2021年に引っ越しをして、保育園や公園がたくさんあり、子育てがしやすく感じています。ただ、小児科が少なく、子供が病気になったときに、病院の予約ができなくて、本当に困っています。
- ・産院が高すぎて2人目を産む気になれない。
- ・先日、保健所で一歳半検診を受診させていただきました。子ども相談の終了まで、合計2時間かかりました(8:45~10:45)。各受付番号をどのように回していっていったのか分かりませんが、振り分けに改善の余地があると思います。保健師さんや歯科衛生士さん、栄養士さんなど、スタッフ

の方々に丁寧に診ていただけて検診自体は大変満足しております。どうもありがとうございました。

- ・ただ、限られた時間のなかで来ておるので、待ち時間が片寄らないように全体の流れを見直していただきたいです。スタッフの人員配置の問題なのか、各部屋の所要時間の仮定と逆算に改善点があるのか分かりませんが、2時間近くかかると、親も子どもも大変です。
- ・当日、仕事を半休しており、子どもは11時までに保育園へ預ける必要があったこと、子ども相談もお願いしたいことを事前に電話で相談したところ、早めに来てほしいとのことで、2番目の受付番号で検診を行いました。自身より遅く到着した友人は、子ども相談が無かったのですが、それでも40分早く終わっていました。
- ・同じような思いをする方が減るよう、是非今後のために改善をしていただければありがたいです。
- ・夜間診療や救急医療の情報も、もう少し増やして欲しい。
- ・小児科がある病院が少ない。
- ・地域的に小児科が少ない。
- ・小児科や子供が通いやすい病院が少ない。やっても高齢の医師が多く、混雑する。
- ・周辺に小児科が少ないせいか、予約が困難。最近では小児科ではない病院を利用したり、毎回違う病院になってしまっている（予約が取れる病院に行くため）。本当はかかりつけの小児科に通いたい。区でどこまでできることなのかかわからないが、小児科が増えるような環境作り？体制？が区で作られるとありがたい。
- ・かかりつけの小児科が常に予約でいっぱい、不安を感じている。
- ・インフルエンザ予防接種も公費でご負担して頂けると助かります。
- ・以前、夜間に子供が急病となり豊島区指定の都立病院にTELしたが受け入れてもらえず、他病院へ行った。豊島区民なのに、受け入れてもらえないことに憤りを感じた。区民専用窓口を望む。
- ・都立病院の見直しを強く望みます。夜間、休日の対応が全くできていない!!
- ・インフルエンザ予防接種の対応をしてほしい。（無料に）
- ・乳児検診の時間帯が通勤ラッシュと重なることが多いので、ベビーカーを伴っての移動が大変です。時間をずらして頂くか選択制にして頂けると助かります。
- ・健診の日時が平日中は、1人親や共働きに休みしか対応できず朝一や休日又は病院での可能性を広げて欲しい。

- ・3才児健診などの健診が曜日固定で、他の曜日や時間帯の開催が1度もないのはなんとかしてほしい。年に数回は土日や夜間に行くなど受診しやすくしてほしい。
- ・他の区のようにインフル予防接種の助成があると助かります。
- ・インフルエンザワクチンの費用補助など文京区はあるのに豊島区がないことがある。近隣地区に移住する人が増えないよう、豊島区も子どもへの費用補助など検討してほしい。
- ・豊島区外から転居した場合でも、わが家担当の保健師さんが一度挨拶に来てもらえると嬉しい。
- ・インフルエンザワクチンの子どもへの助成をしていただきたい。
- ・小児科の病院を増やしてほしい。（豊島区長崎）
- ・インフルエンザ等の予防接種を無料にしてほしいです。（子供だけでも…）
- ・豊島区と北区と板橋区の境目に住んでいます。病院や区での健診など、隣接する区にも行けるようになるとうれしいです。
- ・保健所で行われる検診が通勤ラッシュの時間帯と重なっていました。昼前後に行くなど、極力人混みを避けられる時間帯にしていきたい。
- ・産後ケアの負担額が多少増えてもよいので、補助を受けられる日数を3泊4日でなく6泊7日くらいにいただけるとありがたいです。帝王切開の傷の痛みが引くまで産後2週間くらいかかったので特にそのように感じました。
- ・池袋保健所の夜間休日受診をさせていただいたことがあり、とても安心しました。ありがとうございました。
- ・インフルエンザで学級閉鎖が相次いでいたので、インフルエンザの予防接種の無償化または、学校での集団接種の検討はいかがでしょうか。
- ・新宿区はインフルエンザの補助金が出ますが豊島区はない。必要だと思う。
- ・小学生以上の療育施設の整備（未就学児までの施設しかない）。
- ・地域内に小児科はありますが、対応時間が限られている箇所が多く、結局遠方まで通っているの、医療施設の受け入れ体制が充実すると良いなと思います。

1-13 ひとり親家庭への支援

- ・豊島区は子育て支援についてかなり充実していると思います、特にひとり親に対して、ありがたいです。
- ・ひとり親家庭に優しい他市町村など、他市町村の取り組みを見てぜひ豊島区でも実施してほしい。

1-14 経済的支援

- ・ 税金を減らしてほしい子どものためにもっと税金を使ってほしい。
- ・ フリーランスで仕事をしているのですが、子供の体調不良で仕事を休むとその分の給料がもらえません。また、子育てしていると母親も体調を崩すことが多く、その辺りの金銭的なサポートがあるとありがたいです。
- ・ 子どもが3人います。今、何をしてもお金がかかるな、と実感しています、子どもが幼い時の支援の方が言葉なじみなし、よいと思われがちですが、明らかに中高からお金がかかってくるので、給食無しう化(所得制限なしで子どもと親は別物です。基礎控除もないのもおかしいが…これは国の問題)等、皆が受けられる支援をお願いしたい!
- ・ 保育料が高い。
- ・ いま、正に3人目に二の足を踏んでいます。都内では私立中学が当たり前、公立は閉鎖的で内容が分かりづらく不安です。そうなるとやはり十分な教育を考えると教育費の面で2人で限界かなと思ってしまいます。ハンガリー位、思い切った異次元の政策が行われないかずっと考えています。
- ・ 子どもにお金がかかるので、保育料を下げるか給付をしてほしい。
- ・ 保育園などの施設は充実しているが、子育てしやすい環境を構築してほしい。例えば小学校の学童の無償化など。
- ・ 親の経済状況によって子どもに対する支援が異なることに非常に不満。頑張っているのに、納税しても、所得制限等にひっかかり、結局何も手元に残らない。働くだけ無駄だと感じる。せめて子供に対する支援は平等にするべき。低所得者への過剰な支援が続くと、共働き世帯は複数の子を産むことを控え、少子化はますます進むと思う。本来は国がそうした扱いをやめるべきだが、まずは区などの行政単位からでも独自の子育て支援策で(逆)経済的格差を改めて欲しい。
- ・ 豊島区に対してではないが、保護者の収入によって手当が受け取れないのは、子供に対して平等ではないと感じる。
- ・ 社会保険料が劇的に上がっている中で、共働きでないと生活できない状況で、可処分時間も可処分所得も少なくなり、子育て世帯はかつてない負担が大きくなっています。不動産価格も高騰してそもそも豊島区で子育てすることがどんどん現実的でなくなってきました。
- ・ 幼稚園の費用が戻ってくるようになったのはありがたいが、毎月の支払いの手間を考えると、無償化にしてもらえたら負担が少ないです。
- ・ 子育て世帯への公営住宅の提供が少ない。子育て世帯向けに区で提供できる住宅の確保。もしくは、家賃補助の拡充。
- ・ 子育てへの政策(給食費無償化や2万円の給付金)などスピード感を持って取り組まれているのは非常にありがたいと感じます。
- ・ 家賃が子育て世代には高すぎるので補助などがあるといいです。豊島区は住みやすいのでこれからも住み続けたいけど、お金の面でなかなかキツイのが正直な所です。よろしくお願いします。
- ・ いつも子育てを支援していただき、ありがとうございます。日用品の物価高で育児にかかる費用も増加しており、経済的な面で将来に漠然とした不安があるので、費用面での手当や負担軽減を強く望んでいます。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・ 経済的支援という観点からすると、手当てというよりは、減税などによる総合的な支援の方をむしろ希望しています。
- ・ 夫婦1人働くだけで子育て可能なように金銭的支援がほしい、豊島区含め都内は中学受験がスタンダード、そこも支援ほしい、親の収入に限らず高校大学まで支援ほしい、大学行かなきゃ大企業入れないよって思うと大学はスタンダード。
- ・ 国には子どもに対する支援や後押しを期待できないので、区独自の施策に期待したいです。現状未就学児しかいないので大きく困ることはありませんが、所得制限のない、子どもに対する支援(給食費の無償化や、学用品の支給など)が充実することを望みます。
- ・ 子どもの習い事にもお金がかかるので、習い事の補助があると良い。3歳未満の子でも無償で保育が受けられるようにしてほしい。(ベビーシッターだけでなく、保育園等での一時保育も例えば週10時間無償で受けられるようになると良い。)
- ・ 早く今全てのすぐ所得上限なくしてください。
- ・ 子育て世代への支援金を増やして欲しい。
- ・ 子育て世帯が買いやすい不動産優遇などがほしい(世帯収入の制限をしないでほしい)。
- ・ 区独自の経済的負担軽減策がより充実するとありがたいです。
- ・ フルタイム勤務と二児の育児の両立は大変です。仕事上、(独身、子持ちに関わらず)皆平等に扱われ、業務量は増える一方で、睡眠時間を削って日々の生活を保っています。育児をして若い世代を育てているのですから、子育て世帯には税制上のメリットがあるべきだと思います(住民税の減税、給付金増額など)。
- ・ 一般家庭では子どもがいるとお金は本当に足りない。いえも買えず豊島区をでるしかなくなる。文

京区や北区のように保育料補助金を拡充して頂きたい。

- ・住み続けたいから家賃や戸建ての金額を下げてほしい
- ・豊島区は住宅価格が非常に高いため、継続して住み続けことが難しいと感じています。子どもたちは生まれてからずっと豊島区におり、愛着もあるため離れたくはありません。しかし、非課税世帯ほど経済的に厳しいわけでもなく支援がありません。経済的理由により豊島区に住む資格がないと言ってはそれまでですが、子育て世帯向けの住宅支援（家賃補助、公営住宅の入居資格の拡大等）の拡充を希望します。
- ・豊島区は教育面ではいい学校が多い印象であり、豊島区に今後も住みたいとは考えているが、住居費用が高いためお金のかかる子育て世帯で今後住み続けることが出来るかわからない。公園などは十分にあると思うので後は義務教育の年齢での教育費にもう少し支援があれば嬉しいと思う。
- ・子育て世代にとって、今後の教育費はかなりの不安材料。我が家は世帯収入から様々な優遇措置の対象外であるが、今後たくさんの子育て世代が豊島区に住み、その子供も豊島区で子育てして欲しいと思うのであれば、ある程度年収がある家庭にもしっかりと教育費援助をするなどしていけば良いと思う。
- ・子育て世帯への負担軽減（年収制限なく子供を扱うのは当然とした上で、区独自の政策を望みます）
- ・経済的な面で二人目が作れない。区のせいではないことはわかっているが、どうにかならないか。
- ・児童手当の上乗せ希望。
- ・小中学生へのインフルエンザ予防接種の助成。
- ・小学生の給食の無償化への整備。
- ・企業主導型の園に子どもを通わせています。非常に想いを持って運営してくださっており、気に入って通わせていただいています。第二子の無償化について、認可園同様に補助を出していただけたら大変嬉しいです。よろしく願いいたします。

1-15 情報提供・相談支援

- ・気軽な相談先がほしいです。
- ・子ども家族支援センターにとっても感謝しています。子育ての悩みも聞いて下さい。ママ友も出来ます。ママ友から習い子・保育園毎日いろんなお話を聞けて育休もとっても楽しいです。職員の方に「年子ママの話を聞いてみたい」と言うと年子ママに自発に話を振ってくれます。現在育休中ですが平日は毎日行っています。講座もハズレなしで

毎回為になるお話ばかりです。本当にありがたいです。

- ・区民ひろばと母子モ(アプリ)をよく利用させてもらっています。月齢が低いころはそれすら余裕がなく、必要な情報を得たり、考える体力もなく不安ばかりがありました。新生児訪問や3・4か月健診で保健師さんにじっくり話を聞いてもらい、とてもほっとしたのを覚えています。子どもも成長し、家族で笑いあえる時間が増え、貴重な子育て期を大切にしたいと思っています。
- ・また、ベビーシッター費用の補助など金銭的な援助も充実していると思いますが、こちらは知っている人は知っている(私も友人からききました)という感じで、周知度が充分ではないと思うところがあります。近所に子どもが多いこともあって、心ない対応をうけることはない(あたたかい声かけをしてくださる方が多い)ので、恵まれた環境で子育てをさせてもらっていると思います。
- ・はじめての子育てで、悩みや不安が多く、相談できる人がおらず、辛かったのですが、ゆりかご訪問や、1オバースデー訪問で、職員の方に丁寧なアドバイスを頂き、本当に助けられました。これからも、東部家庭支援センターや、保健所のスタッフの方々に悩みなど聞いていただける環境が続いてくださると、とてもありがたいです。
- ・地域のお祭りやイベントなどが開かれる情報を手に入れにくく、たまたま通ったらやっていた…ということもよくあります。私がうといだけかもしれませんが、SNSやアプリなどで気軽に知れると嬉しいです。
- ・来年から小学生になるのですが、小学校の情報が、もっと見られるといいと思います。就学時健診や入学準備に関すること、もう少し早い時期に、細かくわかる方が、子供の準備や心がまえなども話すことが、できるので、早く知りたいです。
- ・今年の夏から豊島区に引っ越して来た為、まだ子育て支援事業を上手く使い切れていない状態です。児童館は苦手なのと3人目という事もあって上の子の予定等で忙しくなかなか足を運ばず豊島区のお友達が作れていません。(→それで情報も得られてない)児童館以外でもっと地域の方々と知り会える場やきっかけが欲しいです。(マンション内での交流もあると良いなと思う)
- ・小学校の入学手続きがわかりにくく、平日に書類を提出したり、説明会などがあり、仕事をしている親は大変と感じた。
- ・保育園にいと、近隣の小学校の情報が入ってこないの、今後、どのように就学前の情報収集をすべきか、わからない。

- ・子育て不安等疑問符があればネットでググります。区に相談しようとはまず出てきませんし、考えたこともありません。区に相談しよう、と第一に思う方がどの程度いるのでしょうか、その観点から設問がややずれている気がしました。
- ・子育ての悩みを話せる場、というか掲示板みたいなあったらいいのになあっておもいます。
- ・住んでいる地域によると思うのですが、公園に行っても遊んでいるのが外国人の子どもしかおらず、日本人の子どもがほとんどいないことが気になっています。プレ幼稚園に通うまでは地域の友達がおらず、子育ての情報や相談をすることが出来ませんでした。
- ・通っている保育園に対して言いたいこと(こういうのは普通なのか?という疑問)をなかなか直接言いにくく、区などを通じて保育園側に、このような意見が来ています、と仲介するような役割をしてもらえないかと考えています。
- ・グレーゾーンではないものの癪癪持ちだったりする子供の家庭に対するカウンセリング等のサポートや、イヤイヤ期の子供に対してイライラする親のアンガーマネジメントやペアレンティングに関する研修などが一般的になればいいなと思っています。
- ・子どもの出産前は保健所でプレパママセミナーに参加しましたが、生まれた後の育児に関する講習などはあるのでしょうか。保育所選びの「保活」においても、ネットで情報を探せばかりでは大変であり、行政の説明会などがあると有難い。
- ・保育園やこども家庭センターなど、乳児幼児もち家庭の支援は充実しているが、小学校にあがるにあたっての情報、公立や私立どちらの情報も得られにくいし、遊び場なども都心なので難しいだろうが小学生向きの場所が少ない印象
- ・地域商品券のようなものが発行されても情報リテラシー格差によって利益を得られる層に偏りがあるのでは。
- ・昼間開催の親子向けイベントがもう少したくさんあったら嬉しいです。病気の時に、ファミリーサポートや病児保育を利用してみたいが、どんなものかわからず、方法もよくわからず、登録者向けサイトみたいなので情報発信があると嬉しいです。
- ・習い事をさせたいがどこで何をやっているかわかりにくい。企業の習い事は月謝が高いので区民ひろばでできるものを増やしてほしいです。
- ・小学校(公立・私立)の状況など、見学ができる機会や情報提供の場があれば参加したいです。
- ・区民ひろばのイベントや、区内での子ども向けイベントの情報収集をする時、調べづらいのでまとめて情報がわかるサイトがあると嬉しい。公共のトイレで子どもの手を洗う際届かないことが多いので踏み台があると便利かなと思う。
- ・以前、家庭の問題について、とびこみで保健所で心理士?の方に話をきいていただき、ありがたかった。しかし、後日、また専門家もまじえて話し合いの場を設けていただいたが、広い部屋で三者面談のような感じで行われ、尋問をうけているようで苦痛だった。とりあえず、事案に対し、面談の場を設定して、この件は、対処したというように感じられ、形骸化していると感じた。その後のtel等でのヒアリングやフォローもなく、子育てや家庭の不幸に区ではよりそってもらえないと感じた。
- ・子育て支援センター等、興味があり行ってみたいと思っはいるのですが、気軽には行きづらいです。(送迎バス等あっても...)。子供の発達相談ができる場を増やしてもらいたい。
- ・息子は0才~通っていた認可保育園に登園拒否になり、年長からは無認可保育園へ転園しました。転園先は自力で探しました。保育園、幼稚園に関してもその園の方針がわかるものももっとあったらよいのと思います。また不登園になった際の相談窓口などもあったらうれしかったです。
- ・公立小学校の情報が不足しており、就学について悩んでいます。各小学校の校則のようなものや、登下校は登校班なのか、PTA、体育の着がえは1年生から別々なのか、プールの水着はどのようなものか(日焼け止めの使用についても)等々、一覧にしてHPなどで公表しておいていただけるとありがたいです。
- ・東部/西部家庭支援センターがどちらもアクセスの悪い場所にあり、育児相談や療育を受けにくく、不便に感じています、出張子育て相談もありましたが、広報やスクリーニング的な役割で、その場で解決できたり、継続したフォローが受けられるわけではなく、結局、支援センターに行かなくてはいけないのが高いハードルになっています。
- ・もっと手軽にちょっとした育児のことや発達のことなどを相談できる所があったらいいなと思います。予約したりすると行けなかったりすることもあるので、フラットに行って話したりできる所があると助かります。
- ・今現在は入園できたので良かったのですが、区役所の保育園の相談する窓口へ何度か行きましたが、人によって、なあなあで話をきく、というか「業務」といった雰囲気や話を処理されているかのような対応をされた事があり残念な思いをしました。オンラインで予約出来るのはすごく良かったです。
- ・助成など支援含め情報弱者の方が必要なことが多いように感じるのに情報強者しかうまく使えてい

ないふしがあると思います。区のHPなどで、フローチャートのようなものがあったら、自分はどんな助成や支援を受けられるかわかりやすくなったらいと思います。ちなみに私は夫が生涯抗がん剤治療を受けなければなりません、それでも凍結した受精卵で第3子をのぞんでいます。そんなことはどこへ相談すれば良いのだろう、そういったレアケースにも対応したフローチャートなどあったらいいのと思いました。

- ・広報としまを定期的に見て情報を得ていますが、各家庭に合うもしくは、合うと考えられる情報を頂けると助かります。
- ・区後所の手続きも土日によれるものが増えてほしい。
- ・区内のイベント情報やひろばのスケジュールなどをもっと簡単に見たり、調べたりできるような掲示板があるといいなと思います。スマホで都度pdfをダウンロードしたり、ページを行ったり来たり、公園や施設ごとにイベント情報を見に行ったりと時間がかかり、子どもとの時間が減ってしまうなと思うたりしています。間違えて上に記入してしまいました。
- ・子ども家庭部の方々が電話でも対人でもいつも丁寧に対応して下さって明るい雰囲気の良いなと思っています。(東京都のアンケートにも書きました)小学校の学童の情報が手に入りにくいので、分かりやすい情報があれば嬉しいです。
- ・政治などに、意見や参加をもっとしたいです。乳幼児中などは意見や思いはありました。しかし、母親が負担する事柄の多さに、諦めたり、もう忘れてしまったりしています。結局、進学、健康、経済的な事におわれて、3、4年と過ぎていきます。私達母親の声は、いつ聞いて、そして発言できる余裕ができるのでしょうか。そんなのやりたい人はしているでしょう。と思われて流されて、あっというまに老後なのか??子供は可愛い。ただそれだけで幸せになってほしい。そう思って毎日頑張っています。
- ・子供の発達相談を西部区民ひろばに申し込みましたが、内容によるのかもしれませんが1ヶ月先の予約しか取れませんでした。改善して頂けると助かります。
- ・ベビーシッター支援など、大事な情報が必要な人にとどいていない。利用しづらい。
- ・意見を日常的に投函できるポストのようなものがあるといいなと思っております。
- ・子育て支援事業の拡充ありがとうございます。子育てをしていると情報を取りに行く余裕がないので、定期的に訪問してもらえると有り難いです。
- ・土曜日でも対応いただける区役所など、いろいろと行政サービスが充実しており、とてもありがたい。しかし、子育ての情報・コロナのワクチン接

種の情報など、もっと積極的に開示してほしい。コロナワクチン接種のクーポンも郵送してほしい。区報も、ポスティングされたり、されなかったり、確実に受け取れる場所を増やすか、ポスティングを確実にしていただくか、していただければ、区報に記載がある情報は受け取れるのに、と思う。

- ・子供に障害があるが、欲しい情報は区から発信してもらえない。療育や保育園・病院で教えてもらわないと、知らないことが多い。区の方からもっと情報を発信してほしい。
- ・池袋の変化はとてもポジティブに捉えています。ここから、その他の豊島区の地域もそれぞれの色や個性を持って、こどもたちと地域の交流が増えていくと良いと思います。また、掲示板や投函された用紙でイベントを知ることが多く、どのSNSアカウントを見ていけばよいか、よくわかりません。出産時におすすめのフォロー先をお伺いできるとより、参加できるイベントを見つけやすいと思います。
- ・他の子供達への影響を考え、保育課がきちんと指導していることを望むばかりです。このような重大事案については保育課の中だけで済ませるのではなく、区長も含めた区役所全体で問題を共有していただきたいです。本来は情報を区民に対して全てオープンにして頂きたいくらいです。子供を健康に育てるために、区民は知る権利があると思います。
- ・ファミリーサポートを3人兄弟で使う場合、どうしたら使えるのかを教えて欲しいです。
- ・小学校、中学校、受験などに関する説明会などがあれば紹介してほしい。
- ・子育て広場の情報がわかりにくい。区のホームページがわかりにくい。特に、基本的な知識が欠けていたりする場合にわからなくなる事が多いです。
- ・区の子育て情報がわかりにくい。
- ・おそらく私が知らない区の取り組みがたくさんあると思います。コロナ禍以降参加可能人数が減っているイベントも多いと思います。区のTwitterはフォローしていますが、実際にイベント参加したりと活用しきれていない感じがします。子供がいるとちょっとしたイベントでもオオゴトになるので少しでも参加のハードルが下がると良いなと思います。あと、ハレザのパパママスポットの予約が取りにくいこととキャンセルする方法がわからなかったのを改善してほしいですがもう直っていたらすみません。
- ・子どもへの取り組み推進への意欲、区民の意見を吸い上げようという姿勢を感じる事が度々あり、とても好感を持っています。ただ、核家族化や共働きが主流となり、孤立しやすい豊島区での

子育てを考えるとさらなる改革を期待するとともに、私自身も社会の一員であることを自覚し、意見を持って生活したいと思っています。このような意見を伝えたり、考えたりする機会があれば積極的に参加したい気持ちでいます。(時間と場所が自由であるとより嬉しいです)

- ・子どもに関する窓口の一元化や各課を跨いだ情報共有を密にお願いしたいです。保育課(保育)や教育センター(就学)、障害福祉課(障害児)など。

1-16 住環境・まちづくり

- ・賃貸暮らしをしています。家族(4人)でゆとりある生活ができる程度(3LDK、4LDK)の住居がほとんどありません。あっても高すぎて区外へ出るしかないのか残念でなりません。
- ・公園や道路のゴミ(タバコの吸いガラや空き缶など)が気になる。砂場にあるうんち、道路にあるうんちも気になるオムツ台はある所が多いが授乳できる所が少ない。車や自転車を気にせず、走り回れる所が少ない。
- ・駅や道が、犬・猫のフンや尿でよごれているため安心して子供を歩かせることができない。駅が臭うと物で汚れている。
- ・たばこや、ゴミのポイ捨て、ハトのえさやりが多く何か対策をしていただきたい。ハトは衛生上もよくない(未就学児や幼児の背丈には、一斉に飛び立つと雑菌を吸ってしまう)し、駅周辺のフンもとても不快です。
- ・子どもをのせているママチャリをとめる所が少ない。
- ・公園人等でタバコ、ゴミ、目の前で(子ども含め)おかまいなしで不快、見まわりもなし水道等(すべり台等)修理されないまま、植木等も整備されないままゴミなどフン散乱不快しかない、電車乗りづらい、ベビーカー・車椅子ゾーンが少なすぎて心ない言葉・対応扱われる。
- ・自分が子供の頃よりも外国人が増え、マナーのない大人も増え、犯罪も増え、ベビーカーでも不安を感じる事が多く外出をためらう。昔は自転車の人もマナーがあったが、2才児を散歩していて、自転車ごと歩道をビュンビュン走っていてとてもあぶないと思いました。公園も、平日の昼間は不審な男性がいたりして、安定して遊ばせられない。
- ・落合南長崎周辺に住んでいます。移住してきて3年、この場所がとても気に入っています。特に子育てしやすい施設や場があるのが魅力です。ただ、子育て世帯が住める賃貸住宅、(60m²~以上)の部屋が少ないです。単身向けが多いので地元として住み続けたいので部屋を増やして欲しい。

- ・公園のトイレが汚い、暗い、もう少し電灯を増やして明るくしてほしい。田舎出身のため、都内の学校事情が分からない(公立・私立)。暗い道があって、子供の帰宅時に心配。
- ・公園の木々は、自然が豊かというより、手入れがされていないだけに感じる。蚊が多くとてもじゃないが子供を遊ばせられない。喫煙、老人男性の横暴さなど、上品な街とは程遠いな、子供に見せたくないなと感じながら生活している。
- ・歩道での歩きタバコ禁止を徹底して欲しい。
- ・歩道が斜めになっていたり、狭い箇所が多く、ベビーカーでの移動がとてもしづらい。また、歩道を自転車が通ることもとても多くて、子供との外出が難しく感じる。
- ・都バス、都電は狭いのでベビーカーだと乗りづらい。特に都電は混雑時にベビーカーで乗車することは不可能。2両編成にする等、ベビーカーや車いすでも乗れる環境を整えてほしい。
- ・歩道が無い道路でも交通量が多いため事故が心配です。ガードレールの整備等をお願いします。子供を抱っこしてスーパーの袋を抱えているのに、車をよけなければならない。
- ・お出かけした先で、子どもと一緒に入りやすい食事場所が少ないと感じています。フードコートのような広く、ガヤガヤしていて子どもがさわりでも迷惑になりにくい食事場所があるとよいと思います。また子ども用品を購入したり、遊んだりする施設が池袋に集中しすぎだと思っています。豊島区内の様々な場所に分散されるといいなと感じています。
- ・子育て期は子どもの声や生活音に配慮した住環境を整えなければならず、経済的に負担となる場合があります。実際、子どもの声でクレームを受け、転居せざるを得ず防音対策のされた家賃の高いマンションに移り住みました。子どもに静かに生活してくれと言っても難しいため、安心して子育てできる住まいの情報提供や、家賃支援を望みます。もしくは、子育てや子育て世帯への住居の購入資金の援助をして欲しいです。
- ・豊島区は、池袋の再開発をはじめとして、治安の改善やイベントによる地域活性化等、子どもにとっても親にとっても、住みやすい街に変化してきていると思います。一方で、置き去りにされがちな豊島区西側をもっと巻き込んでほしいという気持ちを持っています。イケバスを通したり、公園や緑をもっと増やしたり、町会と協力して街並みを綺麗にするなど。便利さはピカイチの豊島区ですので、住んでいることを誇りに思えるような街にしていけたらと思います。
- ・ウィーロードを子供を乗せたまま押して上がるのが辛い。もっと自転車に乗ったまま東西横断できたらいい。

- ・ベビーカーでの移動がしづらい。(階段がおおかったり、お店にスロープがなかったり)
- ・ベビーカーごと入れるトイレがすくない。
- ・豊島区は池袋の印象が強く、良いイメージがあまりないが、公園を整備したり、アニメのコスプレをする人を避けるのではなく、きちんとルール作りをし、楽しむ人も関係ない人も楽しめるように工夫しているところも素晴らしいと思っています。ただ、ゴミはまだ目立ちますし、飲食店も多いので汚いところは多いです。また、池袋で飲食する人のマナーもまだ問題がたくさんあると思います。
- ・今年もとても暑い日が続いたが、屋内で遊ばせれば良いのだがその場所へ行くまでも暑すぎてなかなか大変だった。道の所々でも日除けがあったり何か対策があるといいなと思った。
- ・暑い日、雨の日の遊び場がもう少し増えるといいなと思う。
- ・一時保育を利用したいと思うが、場所が遠く利用しづらい。もう少し一時保育をしてもらえる場所が増えたらいいなと思う。
- ・駒込地区には公園、保育園が比較的多くあります。そのため近隣で過ごすには快適さがあります。一方で細い道などを車が行き交うことがあり(大通りがないため抜け道で車を通る)、危険を感じることがあります。具体的には駒込3-7丁目のあたりの小道上で、車が優先となっているため人間が遠慮しているような状態です。染井通りはまっすぐな道のせいかスピードを出す車が多く、また宅配業者さんの路駐があり(これは業務上仕方がないことだと感じます)、路駐を避けて通ろうとした子どもが車の前に飛び出すという事例が多くあります。幼稚園もあるので、親御さん達は常に神経を尖らせている感じがあります。またファミリー世代が住むことができる賃貸が極端に少なく、小学生以降になると郊外に引っ越される方が多い印象です。我が家は子連れで2回引っ越しをしましたが(1回目は手狭のため、2回目はマンション改修のため)、10件以上の大家さんに断られました。全ての大家さんからは理由は聞けませんが、「3人のお子さんがいるので騒音が心配」とおっしゃった大家さんもいらっしゃいました。家探しの時期はかなり辛く、豊島区に大変愛着のある私でも、豊島区を離れれば北区、文京区で住めるところがあると考えました。以前は、ふた部屋をひと部屋にしてファミリー仕様にすれば大家さんに補助金を出すという制度が豊島区であったように思います。(うろ覚えです、間違っていたらすみません)ファミリーが住める賃貸が増えたらいいなあと感じています。
- ・ベビーカーを使っても幅にゆとりのある歩道が増えたら嬉しい。
- ・仕事をしている親には便利な環境だとは思いますが、暗くなった公園で子供だけでゲームなどをしている集団を見かけることもあり、子どもたちにとってのいい環境とはなんだろう、と思います。
- ・アニメなどのオタク文化の発信地となったことで、週末には公園にはコスプレイヤーやインバウンドなどの観光客が多く、地元の子ども連れはどこに遊びに行こうにも人が多くて、郊外に行こう、となります。
- ・道が狭く、車が通るときなど心配。古い空き家や倒れそうな壁などがある。
- ・ベビーカーでの出かけづらさを感じる。池袋駅を東口から西口へ移動する際にエレベーターが少ない、そもそも地下に降りないと移動できない作りを見直して欲しい。びっくりガードではそもそもベビーカーが通行できず大回りが必要になる道路の段差にベビーカーがつまずき危険。
- ・ファミリーで住むための物件が少なく、他区への引越しを真剣に検討していた。持ち家のハードルが非常に高い。ワンルームの課税等対応頂いているが、ファミリー向けのマンションを増やす取り組みは継続して欲しい。
- ・再開発によって児童数が増えすぎ、小学校の施設が不足している。
- ・ハイトスピーチ、差別に対して厳しく取り締まってほしい。
- ・日々成長を感じ、愛おしい存在です。色々と経験させたい中、イベントがあっても池袋は狭いところや混雑しすぎるのでベビーカーでの参加を諦めることがあります。もう少し移動しやすい街になると良いなと思います。
- ・子育てに関して総じて悩んでいることは少ないが、環境で改善して欲しいと思うところはある。公共交通機関や商業施設等にベビーカーで行くとエレベーターに乗れないことが多い。電車もベビーカーや車椅子用の優先スペースに乗ろうとしても関係のない人で混んでいて見送ることがある。個々人の心の余裕のなさを感じる。近所に開かずの踏切があり、迂回路は地下道や歩道橋なのでベビーカーはひたすら待つしかない。
- ・池袋周辺や隣接する新宿など治安面ではやや心配がある。
- ・管轄外だと思いますが、雑司が谷駅のエレベーターは地上にでられるものと、出られないエレベーターがあるのでベビーカーのママが時々間違えて苦労しているのを見ます。
- ・安心して長期に子育てできるように池袋北口～西口が東口のように明るく綺麗な雰囲気になるとよいです。
- ・としまキッズパークなど遊具があり、清潔な設備が無料で利用できることには感謝しています。た

だ都心部のため歩きタバコもまだまだ多く、交通量も多いため、ベビーカーを押しながら軽い事故を目の前でみたりすることも多いです。そういった環境が今後改善されることを望みます。

- ・イケバスでなくても良いので、豊島区のコミュニティバスの範囲を広げてほしいです。
- ・駅などのエレベーターの少なさや子供を育てる上でトイレなど不便だと思うことが多い。
- ・これから期待しているので豊島区に住み続けています。今まで豊島区内で様々な子連れに対する差別的なことをされたことがあり、外出はあまりしないようにしています。ベビーカー等も使用しづらいです。東は独身、西はファミリーに向けたそれぞれ女性が活躍できる地域にしてほしいです。コワーキングスペースで親達複数人がそれぞれ仕事をしながらシッターさんや保育士さんが子供をみているという近くにいる状況で仕事ができるようなことが叶えば最高かなと思います。
- ・双子ベビーカー（横型）なので公共交通機関を使う事が怖くて池袋から出られない。オムツ替え台が女子トイレにしかない場所がまだ多く、そのせいで主人が1人で子供を連れて出かける事が出来ない。双子ベビーカーでは入れない飲食店が多く外出するときにとっても悩む。ママ友と気軽に会うことも出来ない。双子ベビーカーでも入れる表記をお店側がしてくれると助かる。
- ・人口密度1位の自治体といわれているが、生活用品を購入できる店舗が少なく、生活するのに困る。小規模店舗が多く、食材も満足に手に入らない。駐車場が少なくて自転車で買い出しに行かないといけないのも不便。駐車場を併設した大型スーパーをもうすこし誘致したらどうか。
- ・とても住みやすい地域だと思っている、物価・地価が安くはないので、この先もここにいられるか悩んでいる、車で外出はじつらと感じることがあるので、駐車場の数が増えると嬉しい。
- ・公園でハトにエサをやる人への対策をしてほしいです。
- ・道路、公園が酒の缶、タバコ、弁当がらで汚いのが、子供の安全、治安において不安に思っています。
- ・公共のトイレで子どもの手を洗う際届かないことが多いので踏み台があると便利かなと思う。
- ・以前に比べ駅前などとてもキレイになり、子供づれでもでかけやすくなった。
- ・街灯が暗い所が多いのでLEDに早急に対応してほしい。都電の停留所から家までの道が、暗く不安に思っている。
- ・住んでいる周辺、外国の方が増え続け本当に日本なのかと思うときがある。多様性は良いことだが無制限に簡単に移民を受け入れ手当てを支給し続

けるのは子供にとって良いことなのか疑問を感じます。外国のように子供だけで登下校させるのが日本人ばかりでないこの辺では不安に思います。

- ・西部は縦方向への交通の便が悪すぎる。南長崎から千川方面(体育館や西部長崎健康相談所)への訪問(特に0才時健診時)が不便でありイベント時にシャトルバスを望みたい。→又はタクシーチケット配布や乗り合いタクシーの準備を願う。小さな子供を朝早い時間に連れていくのには大変な負担を伴います。
- ・西口と東口へのもっと便利な移動手段が欲しいです!!
- ・池袋駅構内のハトが気になる。エレベーターももう少し増えたらいいなと思う。
- ・すごく調べないと子育てに便利なことや施設が分かりにくい。駅から遠く多くの人が使いやすいところはない。お祭りなど、特におみこし等は昔からいる住人だけが参加しやすく、道にも広がり、参加しにくく、古い人だけが楽しいなら迷惑です。学校などのさそい以外も全員が入りやすい運営にするか道に広がり食事するなど、参加すら分からない人に迷惑かけないで欲しい。公共の場で、特定の人だけが楽しい行事はいらない。夜などもずっとうるさく、祭をするなら終わりまで指導すべき。
- ・子供が住みやすい、安全な街づくりをお願い致します。
- ・池袋や巣鴨へ通塾や習い事に行くことが特に小学生以降増えると思う。子どもたち用のイケバスなど安心して習い事に通える手段がほしい。
- ・1~2人用の賃貸の多いがファミリー向けは豊島区でさがすのが大変。
- ・発達の支援が西部に偏っているため、利用しづらい。交通アクセスの良い所または2拠点にして欲しい。
- ・こどもが多いです。電柱がある場所は歩道を広くする等、対応してほしいです。スーパー等で会う方々は子供を見ると親切にしてくれます。保育園申込時に保育課の方々に親切にいただきました。区役所に伺った際も丁寧に案内して頂いて助かりました。ありがとうございます。
- ・池袋駅近辺は子連れだととても使いにくい。人通り、駅内から外へのアクセス、東西への通り抜け等。再開発が早く進むことを願っています。
- ・区民ひろばが土日でも利用できたり、大きな公園が多かったりなど、子育てしやすい環境作りに努力している様子は伝わってきます。暮らしやすい町づくりをありがとうございます。区境に住んでいる為、大きな公園や役所が小学校も遠いのが少々不便です。区境のエリアも整備をよろしく願います。

- ・池袋駅周辺や東池袋ばかり力を入れて開発されているように感じますが、住民が多くいる住宅街はかなり住みづらく感じます。もっと人の住んでいる周辺に力を入れていただきたい。子供たちがのびのび楽しく過ごせる施設や公園をもっと作っていただきたいです。子供達がストレスのない豊島区を目指していただけたら幸いです。
- ・双子用ベビーカーが通れない道が豊島区には多々あり、整備や見直しをしてほしい。子育て支援センター等が2階に位置している場合、エレベーターを必ず設置するなど対策してほしい。
- ・街づくり面では大塚のソープを潰して欲しいのと、池袋駅を東から西へ突っ切れる道を増やして欲しい。西武をぶち抜いて、コンコースとかどうでしょうか。
- ・所得制限でさまざまな経済的支援を受けられていないので、せめて環境整備で政治、行政による支援を実感できるようにしてほしい。
- ・豊島区は南北移動が充実していないと感じます。区民のニーズは多いが外部の方は使わないので儲からない、といったエリアを補填するのが行政のコミュニティバスだと思います。ぜひ、各所にコミュニティバスを検討いただきたいです。それが子育ての一助にもなるはずです。
- ・西側と東側の行き来が大変。ベビーカーや子供乗せ自転車にはとても不便です。土日はエレベーターに行列ができています。
- ・池袋周辺だけでなく、区全体にも予算を使ってほしいです。
- ・池袋駅の西口、マルイが無くなってつまらなくなってしまったので再開期待しています。
- ・期日前投票に行ったとき、今まで西武池袋 7F の催事場で行われていたのに、今年は別館 2F に移ったため、双子ベビーカーでは通れない場所があり、行くのにとても苦労した。次回も別館で行われるならもう行きたくない。地上から池袋駅に降りるエレベーターが西武池袋タカセの前にあるエレベーターからでないと降りられない。街の作りとして弱者にとってはとても不便。街づくり担当者には、一度、車椅子やベビーカーを使って実際に歩いてもらいたい。
- ・難しいかもですが、ベビーカーでの移動でエレベーターが必須になるので、広めのエレベーターか数を増やしてもらえると助かる（特に駅、土日が混みます）

1-17 交通安全・防犯

- ・子育てしやすい街になってきていると感じます、色々支援はあっても、自分自身が子供を人へ頂ける不安が大きくて利用したいと思えないので自分

の負担は軽減できない。外国人の集団が多くて、住みにくいと感じることもある。

- ・幼稚園の通学路に朝、車が狭い道に入ってきて危ないので通学時間は通行止めにしてほしい。往断歩道を渡る時、止まらない車が多いのでとりまいてほしい。
- ・しつけが適切か悩みます、通学路が危ない、怖い、車・バイク・バス自転車。
- ・自宅近くなのですが、ファミリーマート豊島高田一丁目店前の道は、細い道にもかかわらず自動車の交通量が多め、かつスピードを出した車が多いです。スポーツクラブネサンスや保育園が周囲にあり、子どもがよく歩く道なので危ないと感じています。ガードレールをつけるなど対策を検討いただけると幸いです。
- ・歩道を走行する自転車が多く、歩行者として危険を感じることがあります。自転車用のレーンがあるといいなと思います。
- ・公園のトイレの女性用がなくなり、だれでもトイレになっている事が防犯の面でも、とても不安を感じます。子供や自分が使おうとするトイレから男性が出て来たりすると、使うのをためらいます。だれでもトイレだと、もし変な人がかくれていたら…や、自分の使用、子供の使用中になにかあるのでは?と不安に思います。
- ・都心なので難しいと思いますが、駅周辺の安全対策、騒音、たばこ等子どもを長い目でこの場所で育てたいかどうか、不安を感じます。安全でのびのびと広い公園があるところがよいなと思います。地域の人々とのつながりも重視します。
- ・公園や保育園、区民ひろばもきれいで、使いやすく整備していただきありがとうございます。大変助かっています。今後もよろしくお願い致します。自転車に乗りながら(歩道で)タバコをすっている人がおり、灰や煙、ハンドル操作など心配です。子どもと歩いているので…。
- ・治安が悪いので、夕方下校するようになったら不安。
- ・保育園の拡充や育休中も退園にならない等、とても有難くこれからも住み続けたいと思っています。都心なので仕方ないとは思っていますが、子供をつれて道を歩くのが危ないことが欠点かと思っています。
- ・マナーの悪い自転車が多く、子供との外出時にドキッとすることがある。(信号ムシする自転車、歩道を速いスピードで走る、並んで走る、歩道なのに自転車優先のようにふるまう等)ママチャリ(子供をのせてる)でもマナー悪い人がいる。
- ・自転車の取りしまりをしてほしいです。豊島区はママチャリが歩道をすごいスピードで我が物顔で走っていて怖いです。同じ親として日々忙しいし、大変な気持ちは分かりますがベビーカーを押

している脇をママチャリがすごく勢いで通ります。

- ・ 朝の通学の電車が混み過ぎて、小さい子が危ない。埋もれて押されてしまう。女性小さい子供優先の車両に乗るが、1号車だけでは足りない。区として何か対応できることがあればと思ってしまう。
- ・ 南大塚に住んでいますが、頻繁にケンカなどが起きたり歩きタバコや路地裏での喫煙多く治安が悪いと思います。
- ・ ピザハットの配達自転車の運転が荒くてヒヤヒヤします。公園の近くや子どもが多いところでかなり飛ばしていて怖いです。
- ・ 子供を遊ばせられる施設が近づくなく家で過ごすことが多く、どのように遊びを増やしていいか困っています。近所では子供乗せ自転車を使用している方が多いですが抱っこ紐で前抱きをしたまま自転車に乗っている方が目立ちます。悲しい事故につながる前に広報対策をしたほうがいいのではと思います。
- ・ 自転車が歩道を走るのが危ない。スピードを下げない、自転車が優先と勘違いしている人が多い。毎日子供と歩道を歩くとき、前、後ろと気にしながら歩く。疲れる。
- ・ 狭い路地が多く、また車も頻繁に通るため子どもを連れて歩く事に不安を感じる。
- ・ 歩道を走っている自転車と子どもが接触しそうになった事があり不安。
- ・ 自転車が歩道をスピードを出して走っているのが怖いです。
- ・ 大都市だけに、人や車が多く、公園はたくさんあっても小さな子供を安心して遊ばせられる環境だとは思えません。
- ・ 子供を特別扱いする必要はないと思うが、子育てが難しい街だと思う公園等では禁止事項が多かったり遊具も安全を考慮してか遊具が少なくなっていること子供の泣いた際近所迷惑と言われたこと。車や自転車が多く歩道も狭いこと。
- ・ 高齢者や子供は仕方ないが、歩道を歩いていると平気でスレスレのところを自転車が減速せずに通っていくので本当に危険。
- ・ 車道の自転車走行について、2車線道路があまりに狭く、路上駐停車があったり、大きなバスの車道の幅ギリギリ走行もあり、子乗せて走ったり子供に走らせたりすることにとっても危険を感じます。
- ・ せまい住宅街の道路で速度のはやい自転車とぶつかりそうになったことが何度もある。大きい道路は歩道と自転車道で分かれていてとても過ごしやすい。

- ・ タイヤが太い電動自転車、電動キックボードの方々が道の真ん中(歩道がないような道や、歩道も)をすごい勢いで通っているので、そのうち子どもが巻き込まれるのではと感じています。
- ・ 子供を幼稚園に送迎する時に自転車を使用しています。豊島区だけに限らないですが、自転車が走行出来る安全な道が無いと感じます。
- ・ 公園にゴミが落ちているのを子どもが拾うので、整備(美?)をお願いしたい。
- ・ 池袋西口公園(グローバルリング)では浮浪者と思われる方達が将棋をしていたりするので、安心して子供を遊ばせることができない。
- ・ 新宿区から引っ越して来ましたが、豊島区に住めてとても子育てはしやすいです。ただ高齢者の方、特に単身で住んでいる近隣住民でマナーの悪い方が何人かいます。子どもがいるので不安になる時があります。
- ・ 区内の幼稚園、小学校の防犯、保育士や教員の性犯罪も対策して欲しいです。男性保育士は嫌悪感あります。家庭支援センターも職員さんが高齢でたまに不安を感じます。30~40代の人を増やして欲しいです。
- ・ 区内は、公園が少ないが、それでも苦勞して準備して出掛けても、うっそうとしていて不気味、喫煙をするおじさんが多く、子供を遊ばせられない。老人の自転車の暴走が怖い。見知らぬ男の老人に子供が話しかけられる事が多く、老人のモラルの低下が困る。子育てには向いていない区だと感じる。公園のトイレをペイントされたようだが、それでも不気味で、子供には使わせられない。
- ・ 歩道を走る自転車の取り締まりを強化してほしい。
- ・ 子育てに関しては色々手厚くサポートいただいていると感じますが、やはり池袋エリアを中心に、治安や歩きタバコが気になります。必要な範囲でひきつづき取り締まりをお願いしたいです。
- ・ 防犯のことを考えて子供に防犯ブザーを兼ねた携帯電話を配布してほしい。
- ・ 自転車ユーザーへのマナー?向上の場をもうけてほしい。
- ・ 大人も子供自転車のルールが守られていないように感じます。小学校などで基本的な自転車の交通ルールの指導の機会があるとよいのではと思っています。
- ・ 目白通り沿いの自転車マナーが悪い。
- ・ 池袋駅周辺の自転車が走りやすい道路、駐輪場の整備をしてほしい。
- ・ イケバスをやめて、他区のようなコミュニティバスを通して欲しい。観光客向けのバスを区の税金

で運用しないで欲しい。乗ったこと一度もないです。

- ・子どもの遊び場や保育施設の充実など、子ども達のための努力をありがたく感じる一方、地域の治安への不安は未だに払拭されることがありません。住民やお店のマナー（歩きタバコ、不法投棄、ポイ捨てなど）も他の区と比べて大変悪いと感じます。防犯パトロールや取り締まりの強化を望んでおります。
- ・電動キックボードのポートが増え、利用している人も増えている。狭い道路でスピードをだして走行しているのを見かけると、子供の一人歩きがますます心配になる。ルールの徹底をしてほしい。
- ・南大塚在住、公園などの公共施設の整備が進んでいるため子育て世代にはありがたいと感じる一方で、池袋や大塚など治安が不安な地域も残る。日中でも異臭を感じることもある他、大塚駅周辺の鳩の多さ（糞の放置）で子どもとの散歩中に何度も危険を感じることもあった。実際に人間慣れた鳩が低空飛行し、鳩との接触を回避するため転倒した子どもを見かけたこともある。早急に対応いただきたい。
- ・遊び場を増やすとともにマナーの周知徹底を進めてほしい。ルールを破るのは張り紙を理解できない人たちなので、その場で厳重注意や罰金等もつとはっきりとした対応をとってほしい。また区内どここのファーストフード店の前でも宅配業者がたむろしていて中には飲酒しながら自転車にまたがって待機している人もいるので、警察と連携して整備してほしい。
- ・これ以上の治安悪化がないようにしていただきたいです。
- ・駐輪場もママチャリをとめるのには狭いタイプも多く、満車で停められないところも多いので増やしてほしいと思います。
- ・区民ひろばで遊ぶ時期を過ぎたので公園で遊ばせていますが、昼からアルコールを飲んでいる方も多くみられ、遊ばせるのが怖い時があります。
- ・性犯罪防止のための取り組みを区としてやってほしいです。国のDBSが全然進まず、子供が犠牲になり子供を食い物にする性犯罪者が蔓延しています。区でできることで良いのでやって欲しいです。
- ・いつもありがとうございます、娘は0歳、長男は5歳ですが今までのところとても育てやすい地域だとおもいます。長期の視点では繁華街の治安の整備を継続していただけると安心できます。
- ・スクールゾーンを守っていない車が多く、時々警察が取り締まりをしているが取り締まりの有無が分かりやすいため、取り締まりがない日はほぼ守られていないので、もう少し抑止力のある取り締まりをしてほしい。

- ・途中の設問でも答えたが、自転車・電動キックボードの運転マナーが非常に悪いと感じる。子供に歩道を歩かせるのが怖い。何かしらの対策を講じてほしい。
- ・公園が整備され、遊べる場所が増えてきたこと、親子で参加できるイベントの開催、音楽や伝統芸能に触れる機会が沢山あることは、子育てしている中でとてもありがたいと思います。去年くらいまで、子育てしやすい環境になっていると感じていました。しかし、最近では、「日頃感じていること」にもありますが、子どもを1人で歩かせるには不安面もあります。不審者情報、危ない人情報は仲の良い保護者同士で共有していますが、地域ではできていないと思います。人を増やすのであれば、安全面にも配慮いただけたら、子育てしている身としてはありがたいです。
- ・道路が狭すぎる上にスピードを出すトラック、商業車が多数。近道、通り道なのかもしれませんがガードレールもない道で白線だけの境目、子供は危ない。毎日、不安で仕方ないです。

1-18 路上喫煙対策

- ・路上喫煙があまりにも多い。ちゃんと取り締まってほしい。
- ・歩きタバコが多い。大塚駅前で、拡声器で何かよびかけているが、音が割れて全くきこえない、無駄な人員を割かないでほしい。
- ・道が汚い(犬のふんなど)たばこの煙が多い。
- ・公園で喫煙する人がいるのが気になります。歩きタバコも多く、ベビーカーをおしているとすれちがうときにヒヤッとすることが時々あるのがなくなるとういと思います。
- ・歩きタバコ、道でのタバコをやめてほしい。子供の目線(高さ)なので風で飛んできたり、あぶない。歩道でも、自転車が危ない。
- ・豊島区は歩きタバコ、路上タバコをしている人が多く、子どもが歩く道で吸っているととても困っています。喫煙所をもっと増やしてほしいです。公園を喫煙場所としている人も多く安心して遊べません。
- ・問29のタバコ問題。歩きタバコが多いのと、ポイ捨てが多く不安に感じる。
- ・歩きタバコしている人がとても多い。一度区の子供相談に相談(子育ての事で)したがあまりよい対応ではなく、それ以来利用していない。区の施設はキレイでとてもよい。いつも感謝しています。
- ・公園が充実しているが、ホームレスやタバコを吸っている人がいて残念。
- ・豊島区立巣鴨公園の中や隣の道路でのタバコが気になります。路上にタバコ禁止の旨が書かれてい

- ますが効果なしで路上喫煙者がたむろしています。子どもに受動喫煙させたくないです。
- ・歩きタバコや路上喫煙に係る規制強化を強く望みます。
 - ・公園横での喫煙が気にかかる。子どもたちが遊んでいる時間帯は避けられるような取り組みをしてほしい。
 - ・歩きタバコをしている人が非常に多い。子供にとって大変危険なため規制を強化してほしい。
 - ・公園や保育園の近隣で喫煙し、注意しても受け付けないなど、歩きタバコや、路上喫煙の禁止ルールが徹底されていません。厳罰化を強く強く強く望みます。スクールゾーンでのスピード違反なども同様です。
 - ・歩きタバコや禁煙の箇所での喫煙マナーが悪すぎる。禁止の張り紙の前で堂々と喫煙するのは大抵高齢者で、大変迷惑に感じている。お約束を守ろうね、と子どもと日頃話しているが、お手本にならない大人が多くて困る。
 - ・歩きタバコや、灰皿のない場所での喫煙者がとても多いため、安心して子供連れ出して外出できない。
 - ・オフィス近いせいか、タバコ吸っている人が多く遊ばせている時は非常に気になる。
 - ・禁煙と書かれた看板が立っているにも関わらず、区内の公園(複数箇所)に行くたびに吸い殻が落ちています。堂々とタバコを吸う人も頻繁にいます。
 - ・駅までの道で歩きタバコをしているサラリーマンがいる。
 - ・椎名町駅から要町駅界限ではいまだに歩きタバコが多い。公園の出入り口が喫煙する高齢者の溜まり場となっており、大変不愉快な思いをしている。近隣の保育園の遠足先である千早フラワーパークを老害から守っていただきたい。多額の社会保険料を喫煙者に支払っていると思うと悔しい。
 - ・イケサンパークの整備など非常に良い政策が見られる一方で、歩きタバコやタバコのポイ捨てが多く見られるなど、ルール・雰囲気作り含めた子育て最適な環境にはまだなれていないと思う。これから期待したい。
 - ・休みの日は公園に子供がたくさんいるのだが、真っ昼間にも関わらず、公園内での喫煙禁止と書かれていても、ベンチに座ってタバコを平気で吸っている年配の方が見受けられる。正直どうかと思うので、厳しく取りしまってほしい。
 - ・駒込の歩きタバコやタバコのポイ捨てが気になります。
 - ・池袋は歩きタバコが多いので副流煙を吸わないようにヒヤヒヤする。
 - ・公園でたばこを禁止にしてほしい。

- ・公園や駅近くの道路など禁煙のところではたばこのおいがすると、子どもが一緒なので嫌な気持ちになる。
- ・喫煙所がないせいか、公園や路上でタバコを吸う人が増えたような気がします。せめて公園では吸わないよう対策していただけると嬉しいです。
- ・区内のいたる所で歩きタバコしている人が多いです。妊娠中なので非常に不快ですし、子どもにも悪影響なので対策してほしいです。
- ・街でのタバコをもっと取り締まって頂きたい。
- ・公園での喫煙が多くとても不快に思うことが多いので対策をお願いしたいです。路上も。
- ・飲食店含め喫煙所をもう少し増やしてください。オリンピックの都の政策が最悪だったなと感じています。やつらはタバコが吸える場所があれば意外とそこに集まる生き物です。喫煙所がないからとその辺で吸われる方が危険だし迷惑です。
- ・未就学児を育てる親の立場から気になる点は、路上喫煙者や浮浪者風の人がいることです。
- ・歩きタバコ、公園での喫煙、ゴミタバコのポイ捨てが多く感じます。
- ・イケサンパークにタバコの吸い殻が目立つようになっています。子供が拾ったり口にしたりすると大変危険なので、周辺の利用者の取り締まりを希望しています。
- ・タバコのポイ捨て困っています。ポイ捨て防止条例にタバコの小売販売者の敷地(室内)に喫煙所を設けてほしい。販売元を規制しなければこれ以上ポイ捨ては減らないと思います。
- ・歩きタバコをしている人が非常に多い。子供にとって大変危険なため規制を強化してほしい。
- ・公共の場での喫煙の取締りを強化してほしいです。特に公園周辺。
- ・路上喫煙をなくしていただきたいです。路上喫煙防止マークのあるところでも喫煙者がおり、マークに効果があるか疑問です。
- ・歩きタバコによる受動喫煙は非常に不快で子供への影響を考えて欲しいです。区民以外の方もいるわけで条例やパトロールで改善をお願いします。
- ・もっときちんと取り締まってください。吸い殻が地面に落ちているので、子供が拾い上げて誤飲しそうになったりなど非常に危険です。取り締まらないのであれば、喫煙コーナーを設けて吸い殻入れを設置する方がマシなのではと思います。(吸う人は禁煙でも吸うので、せめて吸い殻のポイ捨てだけでもさせないようにしてほしい)
- ・歩きタバコが本当に多く困っています。取締り強化など実施してほしいです。
- ・大塚駅南口駅前の広場は子供も集まる場所ですが、常態的に喫煙、ホームレスが居座りをしており改善を強く求めます。駅前の人通りの多い場所

で恥ずかしい事態という認識のもと対処してください。

- ・路上喫煙者が多すぎる。公園でも当たり前吸っているので取締りを本格的にしてほしい。千代田区同様、豊島区も罰金制にしてほしい。特に池袋西口の路地は多い。子どもが駅前保育園に通園しているが、その側で喫煙者が多すぎる。諸外国からみたら路上喫煙はマナー違反であり、とても恥ずかしいことです。

1-19 地域の子育て支援

- ・赤ちゃんをつれて区民ひろばへ初めておじゃました時、利用者(一部の方)と職員の方の感じが良くなく、閉鎖的な感じが強く利用したくないと思いました。せっかく自宅から近いのにとても残念に感じました。
- ・私は外国人と結婚し、海外の子供への対応を見る機会が多く、日本との比較をする事が増え、色々感じる事があります。海外は子供に対して日本よりも優しく、地域や社会が子供を大切にしている事を体感します。日本は子供に対して冷たいです。マナーを守るのはいつも親子連れのママパパさんだったりします。高齢出産しましたが、若いママと友達にはなりづらく、声をかけられません。高齢出産ママは激的に増えていますので、そういうママたちが交流できる場を作って欲しい。
- ・都電や山の手線を利用する時、ベビーカーで乗ると周囲からの視線が冷たい。
- ・豊島区に限ったことではなく日本全体に言えることだと思いますが、子どもを育てていると日々肩身が狭く感じる事ががあります。もちろんしつけは必要ですが、電車やスーパーに行っても子どもが騒がないか気を使いますし公園に行ってもボール遊びもできず、元気な声を出すこともはばかられます。
- ・登園・登校時の見守りや、保育園の加配スタッフさんなど、地域のリタイア世代の方が子どもに関わってくださる姿を見ることがあり、心強いと思います。他方で、家の中に入ってもらうサポートについては、自身の抵抗感から利用できずにおり、もう少し頼りやすい(安心感を得られる)案内があると踏み切りがつくのかなと思います。(民間のサイトだとクリーンな感じがあるのですが思いついたのもうとしても空きがなく結局頼れないので)
- ・日中、町中を歩いていて、子供が「ぎゃー!」と騒ぐとご年配から「静かにしてね」と注意されます。また保育園でも登下校に子供がうるさいと通報されているそうです。こういう環境だと子育てのしづらさを感じて、少子化の原因になります。年配者にも理解してもらうように区として呼びかけを行ってほしい。

- ・朝の通学路でのあいさつなど、多くの人が見守りしているのを見かけ、とても安心できる。公園は、もう少し遊具が充実した公園ができてほしい。
- ・高齢者が多く、温かく見守ってくださる方が多いのはありがたい。
- ・子育てしていると肩身が狭い。こどもを地域で守ろうという雰囲気がない。
- ・今の時代は、住みやすいが、生きにくい。親子のやり取りをすぐに通告することより、その背景をしっかりと受け止めて、親の声に耳を傾けることが地域の見守りには必要。例えば、子どもがぐずっていて、叱る親が目の前にいたら、「そんなに叱って可哀想に」という声掛けでなく「お母さん、大変だね。でもね、今だけだから。大丈夫。何か手伝えることはあるかい？」っていうあたたかいお節介が必要。疑いの眼差しで子どもを救おうとするのではなく、親がよりよい関わりができるためにはどんな働きかけが必要なのか、周りが認識することが重要。また保育園も然り、子ども家庭支援センターも然り、自分に責任がくることを恐れるあまり、とりあえず通告して対応してしまうのではなく、親の身になって話を聞く機会があることで、親子はより良い関係を築けるとということ、先日、実体験をもって学ばせてもらいました。だからこそ、今回のこのアンケートで伝えたいと思った。以前、知人も同じようなことを言葉にしていたが、自らが通告されて家庭支援センターの方がきて、話をされた時、まるで犯人扱いでもされるような気持ちになってしまった。こうした世知辛い世の中には、残念であったが、自分が周りに対応する力を学ぶ機会にはなった。ニュースでもさまざまな対応の遅れ等で、大切な命が断たれてしまうことがある。しかし、それは、本当に何度も保護者へ温かい言葉がけをしたのでしょうか。日頃の家庭支援センターや児相の対応が、親が遠ざけようとする現実を生んでしまっているのではないのでしょうか。子どもの様子を見れば、親の眼差しを見れば、虐待なのか、判別はつくはず。日々の関わりが薄いこの環境が招いていることも否めない。どんな支援が必要なのか、改めて検討する時がきている気がする。
- ・小学校の通学路のシルバーさんの見守りなどはありがたいです。
- ・区民ひろばも場所によって居心地の良さが違う。仰高では子ども同士のお喋りや足音すらもお年寄りがいるから静かにしろと注意された。結局子供よりも高齢者を大切にしているのだと子育て世代は感じている。
- ・子育てに理解のない年配者から心無い態度や言葉を浴びせられる事が多々あり、地域柄なのか、とても残念な思いをする事があります。自転車のマ

ナーや交通のルールを守れていない方が多く、きちんと守っている子供の方が、信号や自転車の右側通行など、守らない年配の方に怒られる事が度々あり、息子や息子の友達も何度も悲しい思いをしております。

- ・ 地域との関わりを持つ機会が少ない。
- ・ 過度に親の責任だけを問うような不寛容な社会の空気を感じる。
- ・ 子どもを見る地域の目があつたほうが良いと個人的には感じています。通りすがりの人の声に救われたり、ご近所のコミュニケーションで我が子が成長したり、ポイ捨てした小学生に声をかけるときちゃんと拾ってくれた経験があるからです。親では届かないけれど、第三者だと届く目や声があると思っています。
- ・ 大学も増え、マンションも新しくでき、アニメの建物やイベントも増えたので、色々な人が増えて賑わう面、公園での喫煙、路上駐輪、トラブル、不審者も同じく増えていると感じます。ヘルプマークをつけている方も多く見られますが、マークをつけている人が子どもに罵声を浴びせることが何回かありました。(違う方たちです)ヘルプマークに理解と言われますが、ヘルプマークをつけている人には近寄れなくなっています。正直、小学生の子ども1人で歩かせるに不安を感じています。
- ・ 虐待防止でしょうか、チラシ配布していましたが子育て奮闘している世代へ配るのは間違い。すごく肩身が狭く感じました。叱るが悪と見えました。見られている?と悲しくもなりました。逆に奮闘している親達へ見かけた人がどう声を掛けて場を和ませてほしいか、できる限りアナウンスやリサーチを、考えを持ってして欲しいです。
- ・ お店は沢山あるのですが、子連れだと個人店は敷居が高く感じられて入れないです。
- ・ 自身の情報不足もありますが、「豊島区は子育てしやすい!」と友人に言えるか?と問われたら「わからない」です。医療費無料は助かっております!知り合いが文京区から引っ越してきましたが文京区の方が子育て向きと言っていた気がします。色々難しいと思いますが子が過ごしやすい区になると良いなと思います。
- ・ 保育料や給食費を負担していただきありがとうございます。昔の子育てと比べて、多く物が公費負担となっていることに本当に感謝しています。子育てと介護は一人でやるものではなく、周辺を巻き込んで行うもの、と言われているので、自然と周りを巻き込めるような仕組みがいつも行く公園や、街中で自然と多く増える環境が増えていくと良いと思います。
- ・ 家族だけでなく沢山の人の力を借りて、またそれが当たり前になり子育てできる環境になったら、親も

子供も孤独じゃなくなると思う。虐待をせずに済む環境作りを望みます。

- ・ 子供達を守るために性犯罪者が子育てに関わらない仕組みづくり、管理を必ず行って欲しいです。

1-20 ワークライフバランス

- ・ 現在3人の子育てをしているが、物価の値上がりなどと将来の教育資金、老後資金への不安が大きい。子供にもっとよりそいたが、働かなくてはいけない状況であることに時々悩んでいます。
- ・ 仕事と育児の両立がキツく、精神的にまいっています。通院しています。2人目も希望していますが、今の、精神状態や、金銭面を考えるとあきらめるしかないのかなーと思っています。
- ・ フルタイムで働きながらの転職活動が難しい(2ヶ月以内に新しい仕事が決まらなければ退園しなければならない)。
- ・ 仕事上仕方ないのですが祖父母や身内家族が近くにいない環境で主人も不在が多く、休みの日は病院通いなどで終わり、まったくもって自分の時間がないのですが、だからといってベビーシッターや区の施設を使って子供を預けようとは思わない。ワンオペで3人の子育てするには経済的にもゆったり子育てできているとは思えない。
- ・ 仕事と家事育児の両立、バランスをどううまくやっていったらいいかわからない。豊島区は、子どもにかかるお金の補助を充実させてくれているが、子育てにはやはりお金がかかり、独身の時より働く必要性を感じるが保護者の負担が大きく辛いと感じることもある。
- ・ 区と言うよりは国全体で、子どもを持つ事でもキャリアのさまたげにならない国土作りを進めてほしい、今は子供が仕事(キャリア)のどちらもという事がむずかしい。
- ・ 子供は好きだし楽しい反面、育てるためにお金がかかるから働かないといけない、働きに出ると忙しすぎて余裕なく家のことがないがしろになるため苦しい。何のために働いているのかと思ってしまう。大企業に働いているが他に行けば解決するのか、小さい会社はきつともっと苦しいのかと思ってがまんしている。子供は来年小学生、4月は集団下校してから再び学童へ行くと聞いた。仕事あるのに家で待って再び送り出すのか?小一の壁をすでに間のあたりにする。中学受験するのかとかまたお金がかかる、安全に通わせられるか勉強ケア仕事しながらどうするか悩みばかり。
- ・ 仕事復帰して半年程しかたっていないから感じることもなのかわかりませんが…子供が熱を出す度呼び出しがあると仕事にならず、仕事との両立がむずかしいと感じています…呼び出しがある度休

むので、両立できないので第2子はあきらめようと思っています。1人で子育て一杯です。

- ・ 日頃感じていることは、共働き、フルタイムで毎日があっという間に過ぎていき、子どもと遊ぶ時間がなかなか取れないと感じています。ごはん作りが平日は本当に大変で悩ましいです。
- ・ 子供が使う施設は綺麗な場所が多く、他区の友人が羨ましがられる事が多いです。(公園、学校、区民ひろばなど)国の問題だと思いますが女性が働きながら子供を育てるのはとても大変な社会になっていると思います。預けられる場所や、金銭面のサポートが必要です。
- ・ 共働き子育て世帯です。リフレッシュが難しいです。仕事が休日の日、理由がなくても保育をたまには利用したいです。
- ・ 仕事と保育園の行事の日程がかぶり、我が子の活躍を見に行けなかったです。すごく悲しかったです。有給はありますが、休みたい時に、自由に使える訳ではありません。(小学校教諭なので)我が子の発表の場はどんな親でも気兼ねなく休める制度がほしいです。教員である前に、1人の親です。同じ職場の同僚や先輩方に、「自分の子の発表場を見に行けなかったと。」話しています。多くの子の教育をしているのですが、我が子の成長を母として堂々と見守り、サポートしたいです。そのために、この仕事は、嫌です。悩みです。仕事としてはやりがいがあるのですが、自分の子ばかり朝はやく~夜おそくまで あずけて、参観もできず…。サポートがほしいです。
- ・ 仕事と育児と家事などの両立は、中々大変で負担がかかります。自分の時間がない為もっと余裕をもって育児したいと思います。
- ・ 仕事と家事と育児、そして最近は親の介護も最近入ってきており、日々ギリギリで回している感がある。
- ・ 企業の子育て家庭への理解がまだ進んでいないように感じる。特に男親の家事育児への責務や、朝・夕方の子育てにおけるピーク時間に両親が共に家に居られることの子供・家庭にとっての重要性など。
- ・ 共働きをするにあたって、子育てと仕事の両立が大変すぎる。
- ・ 核家族が一般的になった一方で、父親の労働環境は是正されないままなので、母親に家事育児の負担が寄り、キャリアは諦めざるを得ない。特に、保育園に入ると子どもは風邪を引きやすく、思うように仕事ができなかった。コロナやインフルエンザが流行している中では、祖父母を呼ぶこともままならない。看病を繰り返しているうちに自分も体調を崩しやすくなり、結局収入を得ることが難しくなった。豊島区は住宅価格も高いので、今の家に住み続けられるか不安。

- ・ 父母共に両親が遠方のため、子が病気になった時に仕事を休むしか選択肢がないことがつらい。
- ・ 子育てにおける教育費、住居費が多くかかるため経済的ゆとりがないことにより共働きせざるを得ない状況にあるが、共働きで精神的に体力的に無理をすることにより、ゆとりのある子育てが出来ない。また、子育て世帯を引退した年代からの子育て世帯に対する目が冷たいと感じることがある。教育費に関しても年々上がっている印象であり、子育て世帯の費用面での不安が多い。
- ・ 親の自由時間を確保したいことがあるがこどもを留守番させることになるため実現しない。リモートワークとなり家族の時間が増えたはずが、距離感が近くなりすぎている面もあるかもしれない。
- ・ 社会では男性の育休が推奨されているが、実際は「ママ〇〇」と称するものや、女性(母親)のみを想定した施設、男性がオムツ替えできない施設などが、まだまだ多いと感じております。自身は世間が休みの日に忙しい職業(土日やお盆、年末年始が忙しい職業)ですが、日曜や年末年始に一時保育できる施設がほぼ無く、難儀しております。
- ・ 親、ママ友、友人、話ができる人はいますが、子育てはやはり孤独だと思います。日々悩みますし、体力もギリギリのところ、生活しています。親自身が、心や身体がふっと軽くなるような時間が定期的にあると、子供への接し方もさらに良くなるのかなと思います。
- ・ 子育てと仕事の両立は本当に大変で、祖父母の協力がなければ頑張れないし、気持ちの余裕がなくなり子供にも辛く当たってしまうだろうと感じる。特に子供が小さいうちは幾度となく熱を出します。しかも兄弟がいれば順番に。子供が病気で働けない状況になる時のストレスは大きく、子供がいる母親が働くことは無理なことなのか？と何度も思ったことがあります。沢山の愛情をかけて心の温かい人間に育てたいと強く思う気持ちと、大変な現実とのギャップに葛藤の日々です。
- ・ 仕事と子育ての両立に関して、ファミサポなどの制度は大変有り難いですが、仕事をしながらでも子どもと過ごす時間を少しでも多く取りたいです。各職場が子育てに関する理解促進が必要だと思います。在宅勤務やフレックス制度の導入を必須にする等。その辺りの充実具合が人口減少の対策にも繋がると思います。
- ・ 体力がある女性でなくても、仕事と家庭が両立できる社会を望みます。
- ・ 仕事と子育ての両立について、子育てしながら働くことは非常に困難で、どこかでどちらかを犠牲にするしかないというのが実情であるように感じます。子育てを優先したいが、職を失うことが怖いという人も多数いると思います。給与はなくとも、子供が自立する年齢まで企業に籍を置いてお

けるだけでもとてもありがたいと思います。行政からそのような働きかけを何らかの形でできないでしょうか。当然、働きたい人は保育制度を利用して働くことを否定するものではありません。子育て当事者となり、自由に働き自由に子育てをする、という社会になればいいなと切実に感じています。

- ・子育てをしている母親が会社員もしくは専業主婦前提で、個人事業主の想定はほとんどされていないと感じています。就労時間も不規則なので、現在の仕事の時間では通常の保育施設とは噛み合いません。勿論産休、育休も取得できないので子供が小さいうちは仕事との両立は大変です。
- ・子育てをしながら仕事を両立させることは非常に大変。3人目も欲しいが、経済的なことを考えると仕事は辞められないし、仕事と育児の両立は体力的に厳しいので、諦めた方が良さののだろうかと思悩む。豊島区は保育園も入りやすいし、日曜日も区民ひろばを運営するなど頑張ってくれているとは思っていますが、企業や国がもっとリモートワークを推進したり働きやすい環境作りをしてくれれば良いなとは思っています。
- ・フルタイムで働いているので、自分の時間がない生活をしています。楽しく子育てをするために、自分の時間を作ることができるサービスをお願いしたい。
- ・3歳の健診は日時指定で平日の昼寝の時に実施するので、仕事を休む必要がありました。港区はネット予約で日時を午前～夕方まで選べました。
- ・保育園に子どもをあずけている母親です。保育園に入れて仕事が続けられることに感謝してはいますが、正直、仕事が終わると保育園にお迎えに行き、すぐに家事が始まります。仕事と家事で一日働きっぱなしになって、1時間でもいいので「ほっと」できる時間や、自由に使える時間を作れるように、保育園利用に選択枠が増えてほしいと思っています。
- ・区の関係で働いている方ってシルバー人材ばかりですよ。子供が園に行っている10時ころ～14時ころまで、主婦の人も働けるようにしてほしいです。主婦でも働きたいです。が、働ける時間に働ける仕事がないです。募集してください。人、あつまると思います。
- ・保活、0歳～2歳で母子分離をさせられるのは大変辛い。希望者は育休を3歳まで認めるよう国と企業に働きかけ頂き、育休手当はもらえなくても、クビにならず休めるようにしてほしい。これは保育士不足の解決にもつながると思われる。何卒宜しくお願い致します。
- ・土日、年末年始、お盆休みも営業している保育施設を作って頂きたいです。(ファミサポやベビーシッター制度では限界を感じております。)

- ・ぜひ頑張り続けてほしいです。母親は、思いっきり働きたいけど、子供を預けるのに常に罪悪感があります。
- ・土日、祝日に保護者のリフレッシュ目的に回数限定で数時間預けられる施設があると嬉しいです。(子どもが預けられっぱなしを防ぐために回数の制限は必要かと思います)
- ・家事負担が多すぎるので、家事代行の助成など欲しいです。子供との時間が取れず仕事と育児の両立の妨げになっています。家事負担を減らすのは即効性と有効性が大きいと思っています。
- ・仕事がシフト制のため土曜日も19時まで預かりや日曜、祝日も預けられる所が増えると嬉しいです。
- ・自営業だと保育園に入りづらい(入れない)。区役所で働き方を変えなければ保育園には入れられないと言われた。

1-2 1 豊島区の子育て環境の充実

- ・豊島区が好きなので、もっと子育てに特化すると、子育て世帯が増えて良いと思う!
- ・(もう関係ないですが)産後(退院後)1Wくらいで助産師訪問があるとよかった。自分から外出や検索が困難であったため。
- ・区の無料で受けられる健診・検診のお知らせをもらいますが、小さい子がいては、受けに行くことができません。受診しやすいよう、一歳未満児の一時保育預かりを充実させて欲しいです。子ども家庭センターは遠すぎて、利用しづらいです。
- ・別世帯にならないと支援を受けられないことがあったり、今は保育料が免除されていますが3歳になるまでは毎月それなりの保育料を支払っているときは正直しんどかったです。祖父母と暮らしているとはいえ必ずしもお金の面で支援を受けられるわけではないこと、又、母自身の思いもあり支援を断っていることもあるということを知っていただきたいです。
- ・シッターの助成を増やしてほしい。
- ・ファミリーサポートが利用しづらい。面談を受けたりしないといけないので、例えば共働き家庭は必ず出産前に面談を受けていつでもファミリーサポートを開始できるようにするなど、本当に助けを必要しているときにすぐ助けが受けられる環境になって欲しい。共働きの場合子どもが小学生卒業まで月に一回家事代行サービスを受けられるなどそういったサービスがあればもっと豊島区で子どもを産みたいと思える。
- ・子ども家庭支援センターが駅の近くにあるとありがたい。イケバスが駅周辺だけでなく、もう少し範囲が広がると利用しやすい。また、区民割引で定期券等があれば嬉しい。

- ・例えば品川区のように子育て世帯に手厚い区にすれば、子供の人口も増えると思う。
- ・デパートや電車をよく利用しますが、ベビーカーはエレベーターでないと移動が難しいです。更にエレベーターが到着してもスペースに余裕がないと乗れません。ですがエレベーター利用の大半がエスカレーターや階段を利用出来る方々です。やっと来たエレベーターにベビーカーが乗車するスペースが無く見送ろうとすると、人一人立つスペースがあれば後から来た方が先に乗って行かれます。区への意見ではないかもしれませんが、エレベーターにアテンドしてくださる係の方がいればワンオペベビーカーでの外出も気が楽なのにといつも思います。
- ・子育て支援制度の利用に郵送代が嵩むので、webで完了させて欲しい。
- ・高田に住んでいますが、東部西部の支援センターが遠すぎる件。今は全く使えません。場所が悪すぎ、自転車ではしか行けない、車で行ったこともあります。近隣パーキング狭く、難しい。高田エリアや、せめて保険時近辺に一時預かりができる施設を作ってほしい。サンシャイン向かいの西友上のナイススポーツの跡地はどうですか？保健所に一時保育施設作ってください。今はとても遠くて、一時保育士なんて頼めません。なので、全てシッターさんに依頼しますが、144時間では足りません1月に換算すると12時間です。上の子のお迎えからの習い事で1回に3.5時間使うので到底足りません。基本、上の子たちのお迎えからのそのまま習い事、終わってから帰宅までの時間で使っています。それだけでも週4回、自分の病院やりフレッシュには時間回せず、全て実費でやっています。ファミサポはご縁がなく、一度ソファから子供を落とされたことがあり、それから信用してないので使っていません。近所のおばちゃんレベルでは、安いけれど、小さい子を預けるのは怖いです。このサービスが色んな区で増えてきているので、シッターさんの値段も上がっていて2500円以内もほぼ少なく、今は3300円の人に頼んでいるので、交通費の負担もあり毎月4万くらい実費です。シッターさんもみんな周りは見つからないと言っています。二人目や三人目は200時間とか300時間とか、極端に女性の時間を増やして、他の1人親とかと差別化してほしいです。うちは旦那が月の半分海外で仕事で不在のため、ワンオペが続くので倒れそうです。シッターさんの力があり、今やれています。この制度には本当に感謝しています。ぜひ検討ください！
- ・少子化対策と言いながら余り、区として対策が少ないかと思います。将来の子供達の為に、より支援をお願いします。岸田総理大臣の4万円の減税とか意味がわかりません。区というより、国に対してちゃんと対策、支援をしてほしいです。
- ・区が住みやすい街としての活動や地域活動などはとても充実していると感じます。ただ難しい問題ではありますが、地域によっては充実度が乏しいエリアもあり、その温度差が少しでも埋まるように(どの地域でも平等に受けられる)推進して頂けるとありがたいです。
- ・低所得者のみへの経済的支援ではなく、せめて子どもに対する支援(給付や施設利用料など)は親の所得に関わらず平等にするなど、国がやらない支援策であっても区には頑張って実施して欲しい。国の「異次元の」少子化対策が「異次元の」しょぼさなので区は頑張ってほしい。
- ・希望の保育園に何の苦勞もなく入園することができ、さすが豊島区だと思いました。ありがとうございました。職場の人にも「豊島区は良いよ!」と伝えていきます。
- ・都のシッター補助制度がとても助かっていましたが、最近は制度を活用する人が多いためか、依頼してもほとんどサービスが利用できないため困っています(1事業者しか登録していないため、他の事業者も登録しようとは思っています)保育園の送り迎えがほとんど母で残業ができず、泊まりの出張にも行けないため出世を諦めています。
- ・迷った末に早朝に189に電話したところ、その日のうちに豊島区児童相談所から折り返しの電話があり、今もきめ細やかに対応していただいています。お忙しい中ありがとうございます。
- ・豊島区は低所得者向けの支援は充実している方だと思いますが、フルタイムで働き納税している共働き世帯が、心置きなく働き、子育てに取り組めるような、保育園への支援、小学校教育及び公立学童の拡充をして欲しいです。
- ・2014年の消滅都市に逆戻りしそうです。高橋区長には、せめて元明石市長ぐらい子育て施策に取り組んで頂きたい。今のところ高齢者重視の施策か、ピントが大外れした子育て施策しか見えません。
- ・高田地区の子育て支援(保育施設等含む)の充実を望みます。
- ・職員ではなく、区長、区議会に対してです。豊島区の多数を占めるのが老人なので仕方がないところもありますが、老人だけでなく、子どもに対する支援を手厚くして頂きたいです。出産費用のサポート、アクセスの良い保育園を多数設置あるいは送迎、広い園庭のある保育園の設置、こども園の設置、保育園において専門家による子どもの教育の時間を増やす、認可プリスクールの設置、人に害のない材料で作られた給食など。保育課のみならずにはいつも大変お世話になりありがとうございます。
- ・双子を妊娠したのにゆりかご応援グッズは1人分しかいただけなかった。ちゃんと税金も払って

るのに、これでは1人しか認めてもらえていない
ようで悲しかった。是非、人数分をプレゼント出
来るようにしていただきたい。

1-22 その他意見

- ・ 豊島区が好きです。これからもずっと住み続けたいと思っています。
- ・ 子供が成長して、自我が目生えてきたことで、“子供として扱うべき部分”と“1人の人として扱うべき部分(尊重すべき部分)”の判断が難しくなってきた、子供の将来の為に、何をしてあげることが正解なのか、難しい、子供より自分を優先したい気持ちの時、面倒に思うことがある、そしてその感情にうしろめたさを感じる。
- ・ 少子化が懸念されている現代ですが、区内の公園や子供用品販売店を訪れると沢山の親子連れやベビーカーを見かけます。豊島区は子育てに適している地域だから、多くの子育て世帯が集まるのかなと思います。このまま子育てしやすい街でいてほしいなと思います。
- ・ 同じ月齢の子を持つ親同士でも、たとえ家が隣同士でも、関わりが全くない。自分自身の問題がもしれませんが少し淋しいなと感じます。
- ・ 子どもが1歳を過ぎて、自分の感情が赤ちゃんの頃より出て来てかわいと思うと同時に、ご飯を食べなかったりおもちゃを投げるなど少し心配な所も出てきました。ただそれは1日の内の少しの時間のことなので、最初は悩んでいましたが、慣れて気にしない様に務めています。自分の子育ては多分、少し適当なくらいですが自分に合っていて丁度良いです。
- ・ 2人目を産んで、1人目の時にはなかった大変さや性格の違いを感じて毎日、大変だって思うことが多いけど、2人が笑って遊んだりしていると嬉しくなったりします。
- ・ 住民税、国民健康保険について、高いと感じることがある。
- ・ 自分自身、子どもから学ぶ事が大変多く、子育てを通じて、自身も1人の人間として成長させてもらっていると感じます。大変な事も多いですが、その分、幸せも同時にもらい、充実した時間を過ごしているなと感じます。
- ・ 子ども椅子が置いてある個人店が知りたいです。
- ・ 子供に優しくしてくれる人、理解してくれる人、助けてくれる人、本当に泣きたくなるぐらいありがたいです。神様を信じるタイプでは無かったけど、子育てを産んで、愛情のある人全てに感謝したいし、神様だ!と思う事もありました。子供を連れていると、したうちしてくる人、文句を言う人、あからさまに嫌な顔をする人、電車、買い物、公園などで、いやな思いをした時、その汚

い言葉を子どもがなにげなく覚えた日、この国にいたくない…。と思ったり悩んだり。でも、良い事もある。でも、やっぱり言葉で人を傷つける事はいけない事だと声を大にして言いたい。

- ・ 日本の子育て支援制度には本当に感心していますが、ここ豊島に住む外国人としては、子育て支援に関する情報や、本当に理解するために必要な情報には英訳があった方がわかりやすいと思います。そうすれば、私たちは情報を理解し、この地を本当に住みやすく、素晴らしい場所にすることができます。I am really admiring the Japans system wher regards to support regarding child rearing and pratecting children but as a Foreigner living here in toshima, It will be more understandable if there is an English translation on the information about child care support and all the information that is necessary to really understand. Its a big help for us so that we can follow and understant information to make this place really a great place and easy to live on.
- ・ 洋服やおもちゃなどのリサイクルにもっと力を入れてもらいたい。区民ひろば等で年に数回行われているが少ない。スペースが許すならば日常的に使えるリサイクルスペースを開設してもらいたい。
- ・ 4歳になった娘に弟が欲しいと言われ今はなんとなく話を逸らすことができていたが、これから娘が成長するにつれてどう対応すれば良いかわからない。
- ・ 子どもの運動能力への不安。協調性への不安。
- ・ 子供を3人以上産むハードルが高すぎて、2人までしか無理だなと思います。少子化対策をするなら抜本的改革が必要です。
- ・ 子供との家での過ごし方。
- ・ ペーパーレスを進めて欲しいです。交換便やGoogle クラスルームを使いましょう。
- ・ 豊島区に住み続けたいが、金銭的に賃貸の狭い家での子育てに限界を感じる。第二子を産みたいが住居を思うと引っ越さなければ難しい現状が辛い。そんな中、道すがら大きな一軒家が空き家で放置されているのを見ると行き場のない思いを感じる。
- ・ 区や、国、すなわち政治に国民が頼りすぎている。もっと保障を、もっと安心をという姿勢は行き過ぎては良くない。国や地域政治が腐敗しているから、結婚できない、子育てできないなんてただの怠慢であり、恥ずべき態度だと思う。
- ・ 実際に子育てしてみて、想像していたよりも大変だというのが正直なところ。大変さも悩みも子どもの成長とともに日々変化する。現状の子育て支援では少子化に歯止めがかからないのも頷ける。

- ・ 子供も1人の人間なので、しつけ等向き合っていると、やはり難しいなと感じる時もあります。それよりも成長を感じる事も多く、自分達が子供に幸せをもらっていると思う事もあります。なにより日々楽しく、幸せに成長して欲しいです。
- ・ 豊島区は日々努力をなさっておられると感じている。しかしながら勤め先は子育てに理解は無く、これからも変わる事ないと思うので諦めている。
- ・ 自分に子どもが出来ていて、こんなに子育てがしづらい世の中なのだと改めて実感した。就労環境や給与しかり、こんな日本で子育てしていくはなかなか難しいと思うので出生率が下がるのも無理がない。子育てにお金が掛からなければ何人でも産むのに…と心から思います。
- ・ わんぱくまつり等、区として子育てをしやすいところにしようという取組がなされている印象を受けており、とてもありがたいと思っています。他方で、皆余裕が失われつつあり、少しでも自分の物差しから外れたと感じると、写真を無断で撮ってSNSで断罪する傾向が増えているように感じており、子育て中の身としては緊張する世の中になったと感じています（広い意味では盗撮ですが罰せられるものではないため）。
- ・ 日頃フラワー千早公園を利用していますが、ピラ配りや活動が目障りです。遊びに来ているのに、一方的に話されて不快でした。区民ひろばのスタッフの方々が高圧的で、快適に過ごせない時が多々あります。高齢者の利用者に対する態度と、子連れの母親に対する態度があまりにも違いすぎて、区民税を払っているのに大変不快です。
- ・ 貧困対策、少子化対策を拡充して無駄な公共事業や建設費などをカットして下さい。
- ・ いつもとてもていねいで的確なサポートをして下さり大変助かっています。豊島区が好きになりました。
- ・ 保育園のことで相談した際、とても分かりやすく教えて下さり助かりました。
- ・ 住みやすくとても満足しています。豊島区の前は目黒区に住んでおりましたが、池袋は治安が良くないイメージなどありましたがこんなに住みやすく生活しやすい町だとは思っていませんでした。施設や設備の良さをアピールすれば子育て世代などたくさん増えていくと思います
- ・ 紙の書類を減らしてほしいです。このアンケートも、QRコードのついたハガキのみ送付いただければいいと思います。
- ・ 時がすぎていくと悲しい気持ちになります。
- ・ 子供たちが活躍できる、元気でいられる未来を作るために、大人が出来ることはどんどん挑戦していくべきです。もちろん、皆がその意識をもって活動することが大切かと思っています。私もがんばります。
- ・ 子供のいる家庭がとても住みやすい区だと思っています。
- ・ 上記のリサイクルへの取り組みは必須だと思う。子どものものは必要だけど使う期間が短く、処分するのも躊躇してしまう。必要な人へ譲ることができるシステムが日常的にあればとても助かる人は多いと思う。
- ・ 共働き子育てしやすい街ランキングで、165の自治体から、昨年度豊島区が一位を獲得したことを大変嬉しく思っています。いつも、私たち住民の生活をサポートしてくださり、本当にありがとうございます。自身も豊島区で生まれ育ち、子どももこの豊島区で育てていますが、30年で沢山の変化を間近に感じてきました。緑も少しずつ増え、治安も改善し、いつの間にか子どもも増え、子どもを連れて安心して過ごせるようになってきました。これからも、より安心して過ごせる、豊島区在住と自慢できるような区であってほしいと思います。
- ・ だんだん公園などもキレイになっていてうれしく思います。あと、地域のお祭りみたいなのがもうちょっとあったら楽しいかなあって思います。
- ・ 区民広場をよく利用させていただいております。子供も楽しく参加させていただき、また親同士の交流の輪もできて、とても楽しく利用させていただいております。本当に感謝しております。以前新宿区に引っ越そうと考えていた時があるのですが、子育てのしやすさを比較すると、断然豊島区が子育てしやすく、豊島区に住み続けることを今は考えています。夏のお食事の配布や、ベビーカーコンサート等も、精神的にも経済的にも大変助かっています。1点お願いがございまして、区民広場のイベントが同じ日程や同じ週（特に2週目、3週目）に集中しがちという点が、唯一の利用しづらさになっています。1週目や最終週は全くイベントが何もないことがほとんどです。近隣の区民広場でイベント開催日を調整していただくと、より多くのイベントに参加できると思います。
- ・ 戸籍謄本をコンビニで出せるようにしてください。他の区ではできることなのに、豊島区ができないのは…。
- ・ 区民広場が土日にも空いているのは助かっています。グローバルリングでのコンサートがきっかけで子供が音楽に興味を持ったり、文化的な取り組みの恩恵も受けています。
- ・ いつもお疲れ様ですと伝えたい。
- ・ 漠然としていますが、国際化していき、いろんな価値観や環境がある中で、子どもたちが生き生き成長し、困った時はいつでも頼れる仕組みを考えて実行頂けると嬉しいです。

- ・子育て世代への支援制度やサービスには概ね満足しています。23 区内の中でも子育てがしやすいというのは豊島区の特徴でもあると思うので、今後もその分野に関して変わらない支援を続けていただければと思います。
- ・頑張ってください。
- ・紙の書類を減らし、デジタル化、リモート化を進めていただきたい。
- ・子供むけの音楽会などが頻繁にあってうれしいです。ぜひ継続してください。
- ・子供達の為にありがとうございます。親だけではなく、たくさんの方に見守って頂ける事は子供の成長の大きな財産になると思います。
- ・ぜひ、豊島区で子育てをする一人の意見としてご参考、区政へ反映いただければ幸いです。
- ・子供給付金など様々な対応頂き感謝しております。子供誕生時もおくるみ等頂いたものは3年経っても使わせていただいております。感謝です。
- ・豊島区に住んで11年ですが、年々良くなっていると感じています。
- ・あまった食べ物支援をしてほしい。
- ・期待しているのでがんばってください。
- ・豊島区は改革スピードも早くこれからの伸び代に大変期待している。文京区に負けない教育支援、北区に負けない経済支援など、子育て世帯に最高な区になって欲しい。
- ・自転車移動している人が多いのに、自転車専用道路は無いし、駐輪場も少なすぎる。機械式駐輪場はとても不便。図書館や区役所等公共施設でも導入されているが、妊婦や、女性が子どもを乗せて、電動付き自転車を駐輪する時にとても力が必要で駐輪が困難なのは知っていますか？平置きスペースも多少ありますが、駐輪台数に対して足りていないです。機械式駐輪場は即刻見直してほしい。街中に景観重視をしているのか、自転車を所定の場所まで止めにいかないといけないのも、とても不便。特に池袋駅周辺。子どもを連れて、遠くまで止めるのが不便な駐輪場に止めに行って、買い物をする…。生活環境が不便なので、なるべく郊外に出かけた時に買い物をするようになりました。子どもが2人3人といると更に大変。妊娠のマークのように、子育て世代や老人に自転車マークを配布して、そのマークを付けている自転車は路上駐輪OKにするなど配慮して欲しい。本当に生活するのが不便です。

1-23 本調査について

- ・大変すぎて考える暇がない。
- ・人間の質問にわからないの選択肢を設けてほしい。

- ・このようなアンケートなどの回答者への現金給付を期待しています。情報収集と経済支援を両立できると考えます。
- ・上記の改善を望みます。

1-24 保護者について

- ・子供が小さいうちはいいですが、小学生くらいになったら窮屈に感じる人が多いだろうなと感じます。学童や習い事にも行かず親に放任されているお子さんが、球技禁止の場所で野球やサッカーをしていたり公園でゲームしたりするなどの様子を見ていると家庭の格差を感じます。
- ・なるべく色々な経験や体験をさせてあげたいと思っている。子育ての方向性が合っているのかふとわからなくなって迷いながら日々の育児をしている。子供の成長と共に親も柔軟な考えを持っていかなければと思っている。

1-25 希望・活力

- ・自分の将来に不安を抱えている状況では子供を作ることにリスクを感じる人が多いと思います。区には独自に対策を立てて行って豊島区の出生率をあげてほしい。
- ・今の子ども達が希望の持てる未来があるのだろうかと憂えています。高齢者のために、もがき苦しむ構図がなくなる事を願ってやみません。
- ・海外から豊島区に引っ越してきて1年半になります。池袋周辺の公園も充実していて住みやすいです。中央図書館も英語の絵本などおいてくださっており、嬉しいです。高田3丁目の区民広場が近くにあります。下の子が幼稚園になりもう利用する機会はなくなりましたが、もう少し明るい雰囲気だといいなと思いました。
- ・子が3人います。区役所にも、意見あげたことありますがベビーシッター利用の女性を差別化してほしいです…144時間の3人分では足りません。また小学生2年生くらいまでは一人で習いごと行かせられないので、未就学児までのラインも検討してもらいたい。
- ・子連れでも安心・安全に外出できるような街づくりをしてほしい。
- ・男性の育児への関心は以前よりも広がっていると思いますが、それは夫婦がとことん話し合っている結果だと思っています。会社からの理解(育児休暇取得、残業を減らす、役職を一時的に降ろす等)は、まだまだ女性の役割としての認知が高く男性も当たり前のよう理解される必要があると感じることが多々あり、家族だけでの解決では難しいのが現状です。住みやすい街だけでなく、暮らしやすい環境作りとして企業の実態調査や指導もお願いしたいです。

- ・ 政府の政策が酷すぎて絶望しかない。
- ・ 2023 年 6 月に開催された「子ども服マーケット in Sunshine City」に参加したのですが、とても親切にいただき、たくさんお洋服をいただけてありがたかったです。是非また開催していただきたいです！
- ・ 豊島区は子供を遊びせることのできる公園やひろばが充実していて、また医療機関も遅い時間まで営業していたりと、子育てのしやすさを感じています。区役所や区民ひろばのスタッフの皆様もとても親切です。ただ、畑や雄大な自然がないので、他地域との連帯で、自然の中で遊べたり、畑で野菜を収穫するイベントなどがあると良いなと思いました。
- ・ 赤ちゃんの一時預け先がもっとあれば助かります（家庭支援センターは確か生後 10 ヶ月～だったと記憶しています）ファミリーサポートに頼むにもだいたい前から予約を入れる必要があり、自分のリフレッシュや突発的な通院がなかなか出来ず、もどかしさを感じる事が多いです。（現在第 2 子、生後 5 ヶ月の子ども有）
- ・ 漢字や話し弱い方はもっとサポートしたいです。子供はいい社会人になるため、いい仕事を見つけるため、いい学校に入りたいです。もちろん親の役大切ですが親は学校がわからなくて、日本語のレベルも低いので、不安です。たとえば中学校や高校に入れるために説明会があった方が助かります。
- ・ たくさん支援があり感謝しているが働きながら子育てする環境がよりよくなるといいと思っています。特に車や自転車を利用しない私としては行動範囲が限られてくるので習い事やあそび場など不便に感じる事が多いです。
- ・ 豊島区はお年寄りから赤ちゃんとも年齢だけでなく、多くの外国籍の人もいて多様な地域だと思えます。消滅可能性都市と言われた直後辺りから住み出し、転勤で都外に行きましたが住みやすいからとまたこちらに戻ってきました。生活している上でもどんどん住みやすくなっていると感じています。人も下町情緒溢れて優しい方も多いです。色々意見しましたが、これからもより良い環境になるよう区長はじめ、職員の方々よろしくお願いします。

2 小学生保護者

2-1 いじめ

- ・ 学校内で発生した犯罪行為につき、早期に被害者が適切な支援機関につながり、また保護者が被害者(子ども)への理解と被害者の回復になるような

安心感をもてるようにしてほしい。学校は、加害者の更生に気をとられ、被害者が安心して生活することが最優先であることをないがしろにしている。特に、子ども同士だからと収め、加害者の更生のチャンスや、加害者の家庭の問題(DV や虐待の被害者であり、その被害の影響で加害を行う)への社会福祉が介入する機会を失う可能性もある。加害者の再発防止のための視点を正しくもち、被害者を第一に守ること、回復することを最優先とする場となるよう努力してほしい。

- ・ 子どもが(4年生の長男)学校を楽しめていないことに不安を感じている。仲間外れにされている話を毎日のように聞き、心がいたむ。担任に相談し、SOSを出したが、話し合いましょうと言われ、そのまま、放置されている。いじめをする側は何も言われず、態度も変わらないことが残念に思う。
- ・ 貧困の差があって、学校などで、子供がいやな思いをしている。たとえば、「おまえの家きたない、一番びん貧だ」「はいているくつがくさい」etc ということがある、何とかして。
- ・ 小学生、中学生の子供の顔色(血色)がとても悪い。区民見てみて下さい。やはり小さい頃からのストレス、それによるいじめ等への発展。勝ち組・負け組の世界に小さい頃から放り込まれていて、本当にかわいそうだ、親の世界、社会の縮図の様。
- ・ いじめをする側(加害者側)に、カウンセラーをつけるように、してもらえたらいいと思います。いじめはその場で注意したところで何も変わらないと思います。
- ・ いじめと思われる事が起きた場合、各学校や先生の判断ではなくルールが必要。全て加害者側の親にも伝え、確固たる証拠がある時は学年又はクラスで名前含め事実を公表し、状況により出席停止にもすべき。被害者の子と親ばかり矢面に立ち、辛い思いを抱え、誇張したうわさや好奇の眼で見られてしまっている。
- ・ いじめについて、教職員に真剣に向き合うよう指導して欲しい。子どもからの SOS に対し、教職員が軽く流している。

2-2 不登校・ひきこもり支援

- ・ 子供が不登校で悩んでいる。
- ・ 不登校の子供が増えているのにその子供達への支援が少ないと思う。発達障害へは豊島区は文京区等に比べれば早くから取り組んでいて良いと思いますが、まだ、進路や将来についての不安を感じる。近所の方は良い方が多く住みやすいところだと思う。
- ・ 学校へ行けないと(不登校だと)、勉強や運動がままならなくなる。勉強以外でも、さまざまな体験をするためには、親の負担が大きく増える。健

康診断なども同様。子供に対するいろいろなことが学校にまとりすぎている。

- ・ 現在、不登校児童(生徒)が増えているとニュース等で話題となっています。我が家でも長男(小6)が不登校です。不登校児童をサポートしてくれる場、たま、その親をサポートしてくれる場がもっとあればいいと思います。不登校の子どもを支える親は、どこも孤独です。そして将来が不安心配になりますが、その不安や心配を子どもが感じ、子どものプレッシャーにもなります。親が顔を見合わせ、談話できる場所や会を作ってくれと助かります。
- ・ 不登校児の支援があまりない(最近増えてはいて、ありがたいとは思っています)ので、もっとあるとありがたいです。

2-3 遊び場所・居場所

- ・ 公園でのトラブル・関係のない大人から、遊び方を叱られる。小学生も子供なのに、遊ぶのは小さい子供優先だと叱られて、あそび場所が少なく、狭すぎるせいだと思う。
- ・ それと豊島区は子供の遊び場が少ないように思います。南公園やいけさんパークのような公園やボールを使える施設なども増やして欲しいです。
- ・ 遊具の充実した広い公園がもっとできると嬉しい。図書館がどこも使い易くて魅力的に感じています。
- ・ 公園をきれいにしてくれるのは嬉しいが、遊具がつまらない。アニメに力を入れているが、子供関係に力を入れているかは疑問。大好きだったお店が、つぶれたりして、さみしく思います。
- ・ ボール遊びができる公園が欲しい。増やして欲しい。
- ・ 公園が広くて遊具が大きいシンボルになるくらいの物がない。大きい公園へ行こう!となると毎回豊島区を出ている、子供が安全に遊べる大きい公園が欲しい。
- ・ 今、池袋に住んでいて、公園があっても、小さい子用みたいな感じの公園が多いなと思っていて、小学生でも楽しく遊べる公園を作ってほしいです。小学生も、部屋だけでなく外でも、たくさん友達と遊んでほしいので、作って頂きたいです。
- ・ 子供の遊び場に制限がありすぎてのびのびと遊べない、習いごとをもっとさせてあげたいがなくてそんなにさせることができない。
- ・ ボール遊び禁止の公園で…。ある程度の広さがあれば、可能としても良いと思う。
- ・ 家の近くに遊具がたくさんある 大きい公園がない。あまりスポーツが盛んではない。
- ・ 気軽にボール遊びが出来る環境がありません。設置されている数が少ないと思います。公園では、小さいお子さんがいるので出来ませんし、道路危ないので家の中で制限しながらやっています。
- ・ 住民税がっばり取られているが、その恩恵はとも感じにくい。イケサンパークのとなりも大学になんかしなければよかったのに、こんな広い土地手に入らないのに、子供が遊べる施設にしてくれれば。
- ・ ボール遊びが禁止の場所が多く、サッカーの練習ができない。育児ストレスを抱えていそうな母親を店や公園などで見かけることが多い気がする。
- ・ 学童を3年で終わり、4年以降は、安心して、遊ぶ場がとても少なく感じる。公園で日頃、遊んでいるがクレームが高齢者からつく事があるようです。また校庭開放もありがたいが、ボールはダメなど制約が多いので、もう少し幅を持って検討してほしい。
- ・ 公園が狭く、子供達が自由に遊ぶ場所が少ない。遊んでいても注意されたり、何もできない。昔と比べて、空き地もないし、あっても入れない。すぐに通報されてしまう。子供達がかわいそう。
- ・ 子育て支援というと、乳幼児、低学年向けばかりで、高学年から中学、高校生の居場所がないのを感じます。外遊びをしていて、ややヤンチャな遊び方をしていると、大人に怒鳴られたり、のびのびと遊べません。球技もダメ、小さい子やお年寄りに気を遣え、などというルールになっており、公園もつまらないし、校庭開放でもキャッチボールができません。ゲームに追いやっているのはそういう環境ではないでしょうか。
- ・ 公園の遊具が幼児向きで小学生が外で遊ぶ場所がほとんどない。公園を充実させてほしい。全てを安全に倒すのではなく、子供が遊び方を見出せるような魅力ある公園作りをしてほしいです。
- ・ 小学校高学年の遊び場がすくない。
- ・ 小学校高学年ぐらいの子供たちが野球やサッカーができる場所がもっとあると良いと思う。
- ・ 豊島区は小学生が遊べる場所が少なすぎる。校長先生が体育館を開放してくれたことがあり大変有り難かった。大人向けは減らして子供が多く体を動かせる場所を使えるようにしてほしい。
- ・ 公園が少ない。
- ・ 子供がのびのび遊べる場所が少ない。
- ・ 近所のお年寄りが子供が遊ぶ声や音に厳しくて世知辛い。
- ・ 豊島区は最近整備されて池袋東口方面は大変綺麗になり安心して往来できるようになりました。南池袋公園やイケサンパークなども整備されて未就学児の子供を持つ育児世代には環境が良くなったと感じます。一方で特に小学生年代の子供が体を動かして思い切り遊べる場所が少な過ぎます。この年代は特にスポーツや体を動かしながら成長す

ることが心身共に健康に育つために重要な時期だと考えますが、公園はどれも狭く、ボールダメ、木登りダメ、〇〇ダメ、などの立て看板ばかりで、子供らしく走り回れば苦情ばかり。結果として公園に集まって静かにゲームをしている子供達…これが健全な姿でしょうか。ならばと地域のサッカークラブに入りましたが、練習場所の少ないこと少ないこと…。隣接する北区や板橋区の豊富なグラウンドや金網のある公園などの環境とは比べものにならず、どのチームも練習場所の確保に苦戦し、学校の校庭も狭くナイター設備もない。結果的にも豊島区は23区内でのサッカーの実力は最弱です。サッカーを例に挙げましたが、スポーツ全般、もっと生涯スポーツとして全世代が気軽に関われるような環境設備に力を入れるべきです。健康推進のためスポーツ文化の力はとても大きいと思います。周辺住民の理解が得られないというのであれば、豊島区がそういうレベルなのだとすることで、他の区への引越しも考えるほどです。繰り返しますが幼児期まではいいですが、小学年代以降はとても子育てしにくい場所だと感じます。

- ・子どもたちが思いっきり体を動かして遊べる公園がない。球技が出来ず、道路で練習しないと行けないので危ない。
- ・子どもが安心して過ごせる場が少ない。公園は必要な遊具がなく、ボール遊びに気を使う。公園整備として、垣根をなくし園内を見渡せるようにして欲しい。以前は管理人がいた。
- ・子供をのびのび遊ばせられる大きな公園が近くにない。
- ・一方で公園でのボール禁止、各公園が非常に狭いなど、外遊びのしづらさを感じます。もっと公園や施設を充実させて欲しいです。
- ・公園が増えてきて嬉しいです。
- ・大きな公園が欲しいです。練馬区にある光が丘公園ぐらいが理想ですが、もう少し小さくても良いので児童遊園よりは大きい自然豊かな公園があるといいなと思っています。子どもはもちろん大人や高齢者の方の生活も豊かになると思います。
- ・子供が安全に遊べる公園が少ない。特にボール禁止の公園が多く、野球が好きな我が子にはかわいそうだと思っている。
- ・子供達の学校活動がコロナを理由に縮小されている。公園などの遊び場の制約も多く、もっとのびのびと活動できる場所や機会を与えてほしい。
- ・公園があっても、ボールを使った遊びができないところが多く、高学年の男子などは物足りなさを感じているように思います。野球やサッカー、バスケ等、小さな子のいる公園では危ないといわれ、自宅の前等で遊んでいるとうるさいと怒られ、いったいどこで遊べばいいのか、結果、外

で遊べず家の中でタブレットやスマホでゲームをすることになってしまう。スマホやタブレットも、使いすぎると怒られ、可哀想に思います。

- ・公園が少なく感じます。
- ・広い芝生の公園は増えましたが遊具も少なく小さい子向けです。
- ・ボール遊びができる公園が増えれば小学生ももっと公園に行くと思います。
- ・子供がボールを使用できる公園や広場が少ない。
- ・マンションや住宅ばかりでなく子供が遊べる公園や広場があってほしい。
- ・もう少し、ボール遊びができる所をふやしてほしい。広い場所があっても、球技禁止ばかりで、何をしてあそんで良いかわからない。
- ・豊島区に大きな公園がほしいです。
- ・みらい館大明は体育館がバスケット禁止なのも不思議です。(老人が優遇されている?)是非明石市や流山市のようにもっと子育てしやすい街にして下さい。
- ・ボール遊びができる場所がない。運動能力はあまり高くないように思う、声など騒音対策も必要と思うが、子ども達が自由に体を動かせる場所があると良い。
- ・明るい公園もたくさん増やしていただき、ありがとうございます。
- ・子どもが遊べる公園(遊具が充実していたり、ある程度の広さがあったり)があまりありません。イケサンパークや南池袋公園は広いですが遊具がほとんどなく、子どもを密集するのでふつかってケガしてしまいそうで行きたいと思えません。
- ・子どもが野球が好きで習っているが、バットを使えるところ、キャッチボールができる場所がない。はらっぱで親が見守っている中でも他の方に注意される。明豊中の部活数が少なく受験を考えている人が多いので選択肢を増やしてほしい。
- ・子供の頃から豊島区に住んでいるので、昔に比べると遊ぶ場所や公園の遊具が少ないなと思います。子供の頃は東部の方だったのですが、西部は特に少なく感じます。
- ・ボール禁止、スケートボード禁止など子供の遊び場の制限が多すぎます。子供の体力向上の為にもしっかり施設を増やしてほしいです。
- ・以前中央区に住んでいたのですが、月島や勝どき、新富町の辺りは大きくて遊具の充実した公園が多くあり、子供を遊ばせる場所に困らなかったのですが、こちらに越して来てからそこだけ、不便しています。(小さな公園ばかりで、小学生の子供はすぐに飽きてしまう)大きめの公園が、近所にいくつかあると嬉しいです。(池袋は、幼児を連れて行くには少し遠いです。)

- ・ 特にないです。いつも色々ありがとうございます。子どもの音楽イベントなど芸術に幼い頃からふれる事ができるのは良いと思います。西部にももう少し立派な公園があると一緒に過ごせる時間も増やせるのかな…。
- ・ 毎年夏になると子どもと話しているのですが、「花火ができる公園があると良いな」という件。おとなりの文京区には問い合わせたところあったのですが、このような季節のイベントを親子で楽しめる場所があるとうれしいです。是非環境を整備いただけたらと思います。
- ・ イケサンパークや南池袋公園など整備されていてとてもありがたいです。土地的問題もあると思いますが、あともう1つ、大きな公園があれば嬉しいです。ボール遊びや水遊びも出来る広々した公園。
- ・ 少年野球をしています!!野球が出来る場所があまりにも少ない!!少ない公園の球技用ゲージもサッカー、バスケ、バレーなどの球技と一緒に使える程多くも大きくもなく、これではどのスポーツも盛んにはなりません!!豊島区は芸術、文化、アニメと力を入れていますが、これからは、大人も子供も、スポーツです!!長寿の世の中で、子供の頃から高齢者まで体の動かせる施設を!!野球場を!!野球の出来る、公園を!!上手くなりたくても練習出来ません。バット、ボールが使える場所を増やして!!
- ・ 公園の整備ありがとうございます。ボール遊び、水遊びなど大きく走りまわれる場所を増やして下さい。
- ・ 大きな公園なども増え、がんばって下さっているなどと思います。
- ・ 子供があそべる公園に。犬さんとかは散歩するとおじさんたちが子供達に怒られる。公園が子供達は放課後よく遊びに行く場所ですが、犬さんを連れて来るおじさん達はその場所は散歩に来るときにいじめる感じがある!
- ・ ボール遊びが出来る公園や、ゲームが子供だけで安心に出来る遊び場スペースなど、子供達がやりたい事を出来る空間をつくっていただけると嬉しいです。
- ・ 全体的に、区民を大切にしたい区政であると感じ、感謝しています。その上で意見を言えるなら、のびのびと遊べる広い空間が少ない。景観のいい公園は増えてきているが、本物の自然や、のびのびと自由にスポーツができる公園が少なく、他区へ行っている。バットが使える場所(新宿区へ)、大きなじゃぶじゃぶ池(北区へ)、充実したプール施設(北区、文京区へ)、広い緑地公園(新宿区、文京区へ)という感じです。区の敷地が少なく難しいことは理解しているが、放置されている廃施設があるなら…と思ってしまう。貸し農園など、少しのスペースでも、子どもが日常

的に四季折々の自然に触れられる場所が欲しいです。よろしくお願いいたします。

- ・ 子供の遊び場が狭すぎる。キャッチボールの出来る場所も狭い。
- ・ 豊島区はもう少し子供の遊べる場所を作るべき。大人が集う公園などは不要。遊具の無い公園は無意味。子供の立場になって考えて設計して欲しい。
- ・ 保育園の充実は十分です。(待機児童は手当を目的に意図的に落ちている人が多くこれ以上の拡充は不要だと思います。昔に比べて急速に拡充していただき素晴らしいと思います。)公園の子どもの遊びをうるさいという大人の意見より、子どもの成長を尊重してほしいです。子どもの声は騒音ではなく未来の宝です。YouTube 漬けの子どもを増やすより公園で元気に遊んでいる方が未来は明るいのではないのでしょうか?(近所に住む人は前から公園があったはずし、公園があるからその土地の地価が上がるなどのメリットも享受しているので単なるわがままだと思います。区役所の立場として難しいのは承知していますが、守られる立場の子どもを尊重する豊島区であってほしいです。よろしくお願いいたします。)
- ・ 子どもが安心して遊べる公園の整備をお願いします。
- ・ 小学生(高学年)が放課後、球技(野球やサッカー)が出来る場所を増やして欲しい。球技禁止の公園が多く、校庭開放くらいしか場所がない。
- ・ 豊島区は広々した公園は多くないが、小さな子にとっては狭くても近くにある公園が行きやすいので、小さい時に豊島区の公園は遊びやすかった。練馬区は大きい公園があるが、わざわざ行かないと引っ越した方が言っていた。
- ・ どの公園に行ってもボールを使ったこと遊びは感じられているので、ボール遊びが出来る施設を作って欲しいです。
- ・ ボールが使える公園が他区と比べ少なすぎる。子供にスポーツの良さを教えたくても、それを教える場所がない。子供の運動能力が低下している。
- ・ 今の子は、ボール遊びが出来るスペースが少なくなっている。友達同士でサッカーや草野球ができないのが可哀想。
- ・ 子供の遊べる場所(公園や広場)をもっと増やしてほしい。ボールを使用できる場所が少なすぎる!
- ・ いつも WAKUWAKU のイベントに参加しています。子どもたちが無料で参加できる絵の教室やハロウィンパンづくりに今年は参加して楽しみました。子ども食堂にも行っています。まだまだ子どもが体験できるイベントが少なく感じます。休日もお金を使わないようにずっと家にいます。サンシャインの服をもらえるイベントも助かっています。

- ・区民ひろば椎名町新しくなって期待していたのですが、窓が少なく、小学生の遊び場は、長机が置いてあり、ただゲームを持ち寄ってする場所になっているのがとても残念です。
- ・公園のトイレがきれい(板橋区の公衆トイレがあまりにも汚くて古くびくりにしたことが先日ありました)なのはとても安心です。
- ・乳児の頃から区民ひろばを利用してきました。また今は、小学校、学童も利用してきて感じることは、スタッフ、職員、教職員の方々があたたかく一生懸命やってくださっていることへの感謝です。ただ、区民ひろばが、民営化されて変化したり、良かったのに変わってしまったと思うことはありました。学童もスタッフの方々が懸命にやって下さっているが、設備の古さや、広さが足りない、人の数が足りていないのでは…と感じることはあります。
- ・この子の暮らしは都会には合っていないのではと感じている。プレーパークが近くにあって良かった半面、もっとこういう自然とふれあえる場所や機会をつくってあげたいと思っている。
- ・保育園も増え公園も整備され子供とでかけやすい環境がたくさんあります。ごしやすい、ただ、2人目3人目の子供がほしいと思って色々ときびしい
- ・池袋2丁目に住んでいますが、ファミサポさんが少ないのももっと増えてほしいです。南池袋公園のように芝生の広い公園が、西側にもあると良いです。
- ・区立小の人数について、隣接校選択制によるばらつきがあると思う。一方の学校は教室にひとつの空きもないが、他方では極端に子どもが少ない。学童クラブもすごく混み合っている場所もあり、一部はキャパシティをオーバーしているように思う。
- ・小さな頃区民ひろばをよく利用していましたが、毎週通える、0〜3歳児のクラスのようなのあると地域のママたちと交流できて助かるのになあと感じていました。
- ・中学生が気軽に利用できて、運動できる場所がもっとあれば良いと思います。土日体育館を開放したりなど、身体を動かせる場所があったら、と感じます。
- ・子どもたちが自分達で行ける範囲内に自習室などを作ってほしい。
- ・図書館の充実(本:絵本が多い。小学生向け・中高生向けの良質な書籍がなくライトノベルやコミックが多くて、急に質が低下し数も少ない。自習室:学習環境として自習室を作るべき。老人の暇つぶしなどが多く子供が学べる環境が豊島区にはない印象。他の区には自習室があります。軽視しすぎて図書離れがひどい印象)
- ・公園のトイレが新しくなったり、利用しやすく変わっていることをうれしく思っています。遊具などはもう少し新しくて面白そうなものがあってほしいのかなと思います。
- ・世田谷区にあるような「おでかけひろば」があればいいなと思います。区民ひろばだと数が限られてしまうので、「おでかけひろば」のような場所があれば身近で交流の場が出来て子育ての相談をする機会や仲間づくりがもっと出来るようになると思います。
- ・図書館も本が少ないし、居心地が悪い。西部が多くの税金に貢献しているはずなのに還元されていない。他区から転居し8年、豊島区での子育てのいい点はいまだに見つけれない。
- ・すべての施設を池袋にあつめすぎているため、子供だけで気軽に遊びに行ったり、集まる屋内の場所がなさすぎる。児童館はいつも満員なため、結局公園で遊ぶことになるが、公園自体がかなりすくなく、人と被らない場所を探すだけで遊びが終わる場合もある。
- ・図書館や、本屋も地区にないため、他の区に比べて全体の学力差をよく感じる。
- ・児童館がないので、小学生以上の子どもたちが気軽に集まれる場所がないと思います。区民ひろばは、赤ちゃんから高齢者までの広い世代が集まれる場所として作られていますので、逆に小学生が遊びづらいと感じています。区民ひろばが祝日にやっていないのも不便です。放課後も長期の休みも安心して屋内で遊べる施設が無いと、本当に感じています。今は夏も外でほとんど遊べません。新宿区の児童館に時々お邪魔しますが、高田馬場児童館は漫画もたくさんあり、体育館もあり、祝日もやっていて、とても充実していて羨ましいです。是非参考に、今すぐ作って欲しいです。
- ・子どもがのびのび遊べるスペースが少ないと感じています。とくに雨の日にちょっとお友達で集まれる室内はもう少しあるとありがたいです。
- ・区民ひろばが日曜日も開くようになり、暑さ寒さも関係なく遊べる所があるのは、とてもありがたいです。
- ・公園での遊びの制限がありすぎる。街が一体になったイベントなどが少ない(地域住民を対象としたもの)。
- ・子どもが安心して楽しく騒ぎ遊べる環境が少ないと感じる。
- ・公園など公共の場所が子どもが使いにくくなるような変化をしている。
- ・豊島区の博物館、美術館の充実。区立の動物公園など。
- ・荒川区で行っている。”にこスク”と同じようなものが豊島区にも欲しいです。

- ・ 子供のためのワークショップを定期的にやってもらいたい。その道のプロをよんで、月1くらいであると色々体験して夢が広がりそうだな、と感じています。
- ・ 区民ひろばは安心して遊べるので、いつも利用させていただいているのですが、小学生になると、場所によっては、スペースが限られてしまい、小学生未満の兄弟と一緒に遊べなくなってしまうので、その部分に不自由さを感じてしまいます。上池袋の区民ひろばは、赤ちゃんも小学生も一緒に遊べるので、上池袋のようなひろばが増えるとより利用しやすいかと思います。
- ・ 都会だからこそ、自然と触れあえるイベントの機会を増やして欲しいです。ちちぶとの姉妹都市としての自然イベントとか。
- ・ 区民センターや文化施設(新設された所)が使いづらく、利用者のことを考えていないように感じる。今後、学校等の建設する際は、設計、デザインに関するエキスパートを入れていただきたい。多額のお金を使うのだから、よいものを作ってほしいです。
- ・ 区民ひろば椎名町のイベントを増やしてほしい(こども食堂、こども服お下がり会、勉強支援など)南長崎幼稚園上の2F・3Fを有効活用してほしい自習室、こども図書館など。公立中で、夏にぼうしをかぶるようにしてほしい。
- ・ 公園のトイレはキレイにして欲しいです。
- ・ スポーツセンターを利用する時、夜間だと小学生の利用が出来ないので、親や大人が同判だったら利用出来るようにしてほしい。もう少しスポーツに盛んになってほしい。
- ・ 公園の清掃に力を入れているのは大変良いことで、続けて欲しい。
- ・ これから調べようと思っていますが、骨の形成のために子どもたちと遊びながら運動のできる場所を探そうと思っています。テニスや、バスケット、バドミントンやバレーボール・ソフトバレーボールや卓球など、貸し出しもあり遊べるような無料で利用できるような場所がありますか。
- ・ もっと本気で子育て世帯を支援しないと、子供は増えないと思います。子供家庭支援センターが辺鄙な場所にある、という時点でやる気の無さがうかがえます。東部も西部も駅から遠いので、遊んでいるのは(というか、行く事ができるのは)ご近所の顔ぶればかりです。児童館は古く、エレベーター無しの2階だったりします。子供を抱いて大荷物をかかえ、階段を上がるのは至難の技です。いつも事務の方に手助けして頂くのが心苦しくて自然と足が遠のきました。子育て世帯を大切に扱う姿勢がない社会で、子供は増えないと思います。
- ・ 子供がのびのびと遊べる場所をたくさん作って欲しい。
- ・ 豊島区はイベントを沢山やるが池袋開催ばかりで行きにくい。ため参加したことは少ない。もう少し色々な場所でイベントはできないのでしょうか？
- ・ はっきり言って子育てしづらいと思います。子ども4人いますが、土日に気軽に遊びに行ける場所がないと感じます。区民ひろばではなく、児童館を作ってください。小学生の子供たちが気軽に漫画や本を読んだり、体育館で体を動かしたり、お金を使わず遊べる室内の施設が本当にはないです。なぜないのか不思議です。区民ひろばは小学生では遊びづらいです。祝日もやってなくて不便な施設です。家を買ってしまったので豊島区で子育てをせざるをえませんが、お金を使ってどこかに行かないと子どもに色々な体験をさせてあげられない区だと感じます。新宿区の児童館にたまに行きますが、本当に羨ましいです。今すぐ参考にしてください。また、板橋区にあるような科学館も欲しいです。豊島区は本当にそういう施設がないですね。子どもに色々学んでもらおう、のびのびと安全に過ごしてもらおう、という気が全く感じられません。アニメセンターなど作るなら、以前青山にあった子供の城のようなものを作って欲しかったです。我が家に友人が子供を連れて遊びに来てくれても、公共の施設で自慢できるところが一つありません。要町に住んでいますが、今すぐ小学生の放課後&長期休みの居場所対策をして欲しいです。納税していますので、やる気見せて欲しいです。
- ・ 中学生以降に部活ではないところでスポーツを習う(バドミントン)所がない。
- ・ 他の区に比べひとり親の優遇制度が足りないまたはあっても内容が薄いと思う。遊びに出かけた際の補助はもう少し金額が高くても良いと感じる。住宅の助成も対象外とされてしまい、大変苦しい。無料で入れる遊びの施設を増やして欲しい。
- ・ 雨の時に遊ばせられる区の屋内施設がもっとあると嬉しいです。
- ・ 足立区のギャラクシティのようなものやマンションにあるようなキッズスペースのような場所がたくさんあると助かります。最近は自宅にお友達を呼ぶということが昔よりも少ないと思うのでそういった需要は多いと思います。区民ひろばや文化創造館よりも簡単に気軽に借りられるようなものがよいと思います。
- ・ 子どもが体験や経験をする機会を増やして欲しい。
- ・ 球技ができる場所を増やして欲しい。

2-4 学校・教育

- ・教育機関が充実していると思う。
- ・学校の PTA 主催行事が多すぎる。特に働く保護者にとって負担以外の何物でもない。子供のためにやるならば、やりたい人だけ任意でやればよい。学校は勉強するところであって、行事に力を入れるところではないはず。子供は楽しそうなので何よりだが…。
- ・他区から転入してきましたが、学校教育の面では手厚いと思います。
- ・給食費を無償にしてくださったのは大変ありがたい事ですが、物価高のせいか、以前より内容が良くないようで、子供の間でも最近給食の量や内容の話題が出るようです。是非なんとかしていただきたいです。
- ・とにかく、私立国立小学校中学校のお受験が過熱していて、低学年から塾や習い事へ行かせていて、子供同志で遊ぶ機会が限り無く少ない。昔とまったく変わってしまった。これは豊島区だけの問題ではなく、東京全域の現象ではないか。私学と塾がタッグを組んで、お受験をあおっていて、それに乗せられている親。この構図が変わらない限り、子供が伸び伸びと育つことは無い。
- ・学校の運動場がせまい。
- ・低学年の不登校の子が週に何回も通える区で設立されているフリースクールの用な場所物があつたら良いかと、(フリースクールは高すぎて入れられない)個性が尊重されるような学校教育を希望。
- ・学校給食について、嫌いなものは食べなくて良いという風潮があるようだが、残さず食べるという教育をもっと厳しくしてほしいです。
- ・区立小学校の教員の質、人数を上げてほしい。更衣室など子どものプライバシーが尊重されるよう。環境を整えてほしい。(教室をカーデンで分けるだけ、低学年は男女一緒に着替える状況の改善を希望します)
- ・校庭開放で、自宅から用具(ボールなど)を持って来てはダメと言われた。コロナが落ち付き、学校の様々な行事が復活し、本当に幸せです。
- ・小学校の先生方は熱心で素晴らしい方がほとんどですが、一部ふさわしくない方(子供を叱責して泣かせる、授業をせずに世間話ばかりなど)がいるのも事実です。子供たちからどうにかして欲しいと言われますが、誰に訴えて良いのか、その結果子供たちが不利益をこうむる(先生から更にひどい対応をされる)のではなかと不安もあります。先生方の質の向上、ふさわしくない方への指導や対処を行って欲しいです。
- ・学校では子どもの個性を尊重するとされているが、学校側にとって都合のよい個性は尊重されるものの、都合の悪い個性は尊重されていないと感じている。全ての個性が尊重されるよう希望します。
- ・PTA が強制的な体制で不快である。学童の書類がわかりづらい。子どもが保育園のときまでは、あまりストレスに感じる事がなかったが、小学校に入ってから仕事との両立が難しく感じるようになった。
- ・小学校の先生の人数が少なく対応しきれていない為もっと充実した学校生活を送りたい。高学年になると私立受験の生徒に合わせた宿題の数や、生活になるのは良くないと思います。区立中学へ進む子供達が少なくなる現状がおかしいと思います。
- ・1年生の時に息子が他の児童に対して嫌がらせを行ったとの事で当時の担任の先生から学校に呼び出され注意及び今後その児童に対して同様の嫌がらせを行わない様に指導を受けました。当時は先生が言う事ならと息子にもきつく注意を行いましたが、担任の先生は嫌がらせの訴えをした親の話しだけ聞いて息子や対象の児童からの事実確認は殆んど行っていなかった様です。訴えのあった一方の話しだけで息子が全面的に悪いと判断され私もきつく注意を行い息子はすごく傷ついたと思います。心の成長段階にある小中学生に対してもう少しに配慮が必要であると思います。教師とは生徒に勉強や社会のルール・道徳教育、成長へと導く人だと思います。その為教師は何よりも生徒の立場になって考え、その味方でなくてはなりません。一方の意見だけではなく双方の意見を聞き判断してほしいと思います。不適切な対応をされたと思っています。学校において、生徒は教師よりも弱い立場にあります。その場限りの軽率な対応が子供の心を大きく傷つけてしまったと思います。教員や学校に対し指導徹底していただきたいと思っています。
- ・公立学校教育への不満、先生が変わりすぎる為学校の方針等も数年単位で変わる。6年間で校長が3人、約2年で変わる。何かを変えるにも、2年では大した成果が出ないのでは?と思ってしまう。担任も1年交替が多いので、信頼できる人が来ても、すぐ変わってしまい相談もできない。
- ・子どもはまだ低学年だが、この先学費がどれくらいかかるのか、ゆくゆくは塾に行かせなくてはならないとしたら・・・とお金の心配がいつも何となくある。
- ・区立中学校の入学生徒数格差 駒込中学校の建て替えをしてほしい、もったいない 私立中学へ流れてしまう、巣鴨北中に流れてしまう。
- ・LGBT のジェンダー教育に大きな不安を感じています。本来は2つの性しかないのに、多様な性があるとまだ未成年の子を惑わす教育はやめてほしいで

- す。性教育もより精査して慎重に行ってほしいです。
- ・ 小学校の先生にとってもよくしてもらっていますが、先生方の業務の負担が大きくまた、PTAの負担も一家庭にはとても大きく苦しいです。以前 PTA 役員をしましたが渋々 PTA になった方々が対抗意識を持っていらしてとても辛かったです。児童のこと以外は大きく縮小してもらいたいです。
 - ・ 通学している学校の PTA 執行部で活動していますが、作業や活動は忙しいですが、子供達の為に還元出来ていると思います。積極的に活動 (PTA やお手伝い) に参加される方と全くされない方とは大きく差はありますが、決まりにのっとり楽しく出来ていると思います。生活苦などが大きく感じる事はなく、色々、日々不満はありますが恵まれているのだなあと思えました。
 - ・ グレーゾーンや個性的な子は、学校で過ごし辛い。悪い意味で特別視されてしまい、いじめにつながっている。高学年になって自立心を成長させることも大切だが、学校の先生に介入して貰うことも、まだまだ必要な年頃だと思う。
 - ・ また、地域で勉強を教えてくれる機会などがもっとあるとよい。学校と地域が一緒になって進める行事が多く、交流する機会が多いことはありがたい。
 - ・ 大学までの学費がもう少しクリアになれば、将来の予測がたてやすい。
 - ・ 小学校の友達の多くは中学受験を考えて、塾に通っている人が多いです。塾の帰りが夜 9 時と遅く、そこからねるのが 11 時くらいになってしまいます。6 年生になるとねるのは 12 時くらいになるそうです。そこから、朝登校すると、皆、眠たそうです。なかなか思うように十分な睡眠がとれないのが気がかりです。もちろん、小学校が主なのですが、もう少し始業が遅いと助かるなあと思ってしまいます。
 - ・ 周りが、中学校受験をする家庭が多く、学校も受験する子達に合わせた宿題の量になったり、と、その差が気になります。地方では、私立中学に行く子供の方が少数なのに、都内では、逆になっている状況に、10 年後、20 年後の子供達にどんな違いとして、あらわれるのだろう、と漠然とした不安を感じています。
 - ・ 子どもに色々な経験をさせてあげたいけど、どの習い事も月謝が高くむずかしい。英語の授業も習っている子との差があり、すでに苦手と思っているので中学に入った時が心配。
 - ・ 町内会イベントがさかんで近くに顔見知りが多い賃貸住宅の大家さんが親切なので、両親ともフルタイム勤務にもかかわらず、子どもを置いておける環境がある、小中学校 (全員卒園したが) 保育園でつながった方々とのご縁がありがたい。
 - ・ 小学生になって地域の催しなどに参加し、NPO の方々などの支援を目にして予想以上の対応にうれしく思います。中学校へ進むことが見えてきた今、学業面のフォローを塾だけでなく小学校で補修という形でやって頂けるとありがたいと感じました。先生方の労働時間もありますので人員の手配が必要となってしまいますし、一意見として見て頂ければと思います。
 - ・ 子供が文章を書く機会が少なく、学校での指導も充分ではないと感じます。言葉によって民主主義や平和が守られるように暴力ではない表現方法を、しっかりと学ばせて欲しい。
 - ・ 学校の先生によって子の人格否定ともとれる注意の仕方をしている先生が過去にいらっしゃり、先生への教育を充実させて欲しい。今年はとても良い状況ですが昨年は学級崩壊に近い年度になり波があるのか気になりました。
 - ・ 子どもたち自身の“やりたいこと”“得意なこと”“かくれた才能(?)”を引き出して伸ばしてやりたい! 思いつつも、いろいろなことに挑戦させる機会がなく、歯がゆいです。
 - ・ 子供の教育についてですが、少子化の影響もあり、大学は全入時代と言われるようになった昨今、自分の学校の存続に危機感を持つ、私立の中高は、学校の評判向上もあり、学力に凄く力を入れ、土曜日も休みなし。勉強が大変だという話をよく聞きます。国は少子化解消の為、女性には結婚&出産する事を望んでいる一方で社会は、女性の学力をつけ、女性自身も、男性と同等に働く事に必死です。自分達世代も、そのような社会環境の中で、育ってきましたが、その結果、危機的状況になったのが、少子化です。自分は 30 代に入り結婚し、その数年後には出産しましたが、結婚して初めて妊娠の難しさを知る事になりました。それでは、遅いと痛感しました。小さいうちから子供達に、妊娠出産は、簡単ではない事、ライフプランの教育をもっと行い、これから大人になっていく子供達のマインドを変える必要があると思います。国会等では、少子化と言えば、お金の話ばかりで、根本的な解決にはならない気がしています。私達の世代には、妊娠出産で苦労した女性が、沢山います。ぜひそのような女性に語り部となって頂き、出前授業のような取り組みも行ってほしいと切に願います。
 - ・ 学校行事で、平日に振替休日を設定するのはやめてほしい。振替休日を設定するのであれば、土曜授業の日にしてほしい。
 - ・ 中学受験をするために塾に大半の時間が取られており子供らしい生活ができてないだろうなあと感じている。本当はもっと外で遊んだりゆっくりしたいはずだがそれをしていると希望校に入れないので頑張らせるしかない。自ら選んだ道とはいえ

いつからこんなに中学受験が白熱したのかと可哀想になる気持ちがある。

- ・ 小学校に通っています。先生方友人に恵まれて、小さなゴタゴタはありますが人として成長の機会を頂いています。また、給食費が今年9月頃から無料となり驚きました。子育て環境として、とわむの頃から保育園小学校とお世話になっていますので、いつも感謝しております。ありがとうございます。
- ・ 仕事との両立はまだまだ難しいと感じる。保育園ではいろいろお世話になっていたが、小学生になっていきなり生活が変わったように思う。
- ・ 隣接校選択制度を厳格化して欲しい。ひとつのマンションで3校の区立小学校の生徒が存在している。
- ・ 学校教育においては先生方は余裕が無く日々の自分の仕事をこなすのが精一杯の状況結局学校教育と言いつつ子供に何一つ学ばせられていない。教育は親がお金を払い外注しているのが現状。学校に行かせる意味は親の自由な時間の確保と昼食の為だけである学校でトラブルにあう位なら自宅に居て塾等の宿題をする方が有意義。
- ・ 学校内外で運動する機会が少ない。小学生のうちから勉強ばかりな子が多い。
- ・ とても住みやすいのでこのまま住み続けたいです。子供の行く予定の中学校が（学区の区立中）、児童数が少ないのが気になっています。学力面で物足りなさがあるのかいじめ問題があるのか分かりませんが、学区の区立中に行っても安心してその後の進学も考えられるようだったら良いのですか…。
- ・ 年度の初めに、先生の数が不足していて、算数の習熟度別授業ができないと学校から説明がありました。どの業界も人手不足で大変だと思いますが、未来を担う子どもに皺寄せが来るのは、もどかしい気持ちになります。
- ・ 保育園、学校で子どもに関わる先生は良くしていただいて、協力したい。
- ・ 家計に占める、教育費の割合が増大しており、今後の教育費の捻出方法に不安を感じる。公教育と私学教育の格差と経済格差には相関があると言われるっており、肌身でそれは感じるところです。
- ・ 学校で先生に「死ね」と言い放ち、先生は聞こえないフリをして注意もしない…そんな教室の風景が日常化している事に、公立校へ通わせる恐怖を感じています。
- ・ 中学受験をする子が多く、学校での生徒の学習レベルが二極化しているし、中学入学以降地域とのかかわりがなくなるのだな、と思うと、通勤しやすい親の都合くらいで、街につなぎとめるチカラがあるか？と言われると正直少ない。地元の祭りなども、昔から住んでいる家庭の子や中学受験を

しない子が積極的（親の仕事も地域密着型）で、中学受験をする家庭の子は祭りや地域とのつながりが希薄で（親の仕事は豊島区に直接関連せず通勤時短としての豊島区をセレクト）、二極化が激しいと感じる。

- ・ その面は、学校の保護者会の参加度にも見られ、クラスの3分の1程度の出席率で、上の子の学校（区立でない）の9割以上の参加度と比べれば、驚くほど低くて、もっと内容を充実させるなど工夫も必要では？”
- ・ 義務教育でも何かと出費が多い。
- ・ 公立の中学校の生徒が少なく、部活動のメンバーが少なく、何を学べるのか疑問に思うこともある。塾に受験に身体を作るこの年代にもっとやれることがあるのではないのか、男女別の学校で成長していくことが出生率の低下にもゆくゆく繋がっているんじゃないのかなど、漠然と疑問は感じている。
- ・ 自己肯定感を高めるとやる気を起こし成長する。もちろんその逆もある。うまくいったりいかなかったりの繰り返し。
- ・ 子どもが受験や習い事などで余裕のない生活を余儀なくされている。
- ・ 中学校や小学校、引っ越したら近隣でも転校しないといけないのでしょうか。じゅうなんに対応してほしいです。学校域のくくりで引越しができません。住みづらいです。
- ・ 小学校のPTAを外部委託してほしい、子どもが多い程自分の子どもと過ごせる休みでさえPTAに使いたくないし、ポイント制は強制的すぎる、廃止している小学校もあるので今のご時世に合った親へのサポートも必要。以前、子ども家庭支援センターにお世話になって助かった所があれば、干渉されすぎてストレスにもなった。子どもを守るもそうだが、親が育てていきやすい環境にも目を向けてほしい。一人親の都営交通を一家族、1つではなく一家族全員無料チケット使えるようにしてほしい。（習い事で使用する為）。学校で使う絵具、ハーモニカ・習字をかうのではなく学校で貸し出してほしい。上履きの指定は高いのでルールを緩和してほしいです！視野をもっと広げていただけたら嬉しいです。
- ・ 進路教育という点では高学年でも夕方遅くまで遊んでいる子も多く、学習塾や習い事などへの力の入れ方は以前住んでいた区より弱いと感じる。進学についても力を入れた方がよいと思う。
- ・ 住んでいる場所には、徒歩で行ける支援級のある学校がないので、近所に支援級のある小中学校があると助かります。
- ・ 私が一番びっくりしたのは小1でもすでにクラスでそういったお子さんが暴れだすと他の子供達は「またか…」をいった様子でその理不尽さを受け入

- れてしまっているところです。たった1人の子に残りの25人が左右されているのはあまりにも不公平に感じています。また、PTAのブラック運営もやめるべきです。会費は給食費の口座から引き落とし、入会の意志確認も上記の委任についても何の説明ありませんでした。(任意団体なのに)完全に個人情報保護に反しています。北区のように自治体として豊島区の小中学校PTAに指導してください。
- ・ 文京区の教育センターでは、小中学生向けの科学・パソコン、実験教室などがあり、抽選制ではありますが、無料で参加できます。豊島区にも子供が興味を持ったり、深掘できる教室があったらいいと思います。
 - ・ タブレットが重いので、もっと軽いものにしてほしい。
 - ・ PTAが任意による活動であることは、区から各学校に指導してほしい。学童の書類は、記入させる内容と書式を対応させてほしい。備考欄にあらゆる事項を書きこませないでほしい。
 - ・ 土曜参観の回数をへらして欲しい。子どもがゆっくり休めない。
 - ・ 隣接校選択制自体は否定しないものの、(逆に選択はよいと思う)、隣の校区で一学年の数が3~4クラス/1クラスというのはいかなものか。
 - ・ 区政が子育てに力を入れているというのを、ふり返ると感じるので有難いと思う。アニメは特に好きではないが、通じて区が活性化するならそれもいいと思う。教育内容については大きな過度期と思うので、常に新しい視点で変革を続けてほしい。教員の働き方についての改善は必要と思うが、その分家庭に投げるというのはやめてほしい。
 - ・ 学用品(指定の校帽、体操着)を買う店の選択肢を増やしてほしい。巣鴨信金で学校から必要な経費の引き落としがされるが毎回手数料50円は納得できない。巣鴨信金は学校からの引き落としのために口座を作った。他の金融機関でも可能にしてほしい。手数料も停止するべき。
 - ・ 千葉などでは小学校から部活があり、ブラスバンド等の活動があると聞いています。そのような活動を増やすことで、スポーツや音楽等活発になり、子育て世代は住みたいと思う場所になると思う。又、子供の放課後の居場所にもなるし、将来やりたいこと出来ることの幅が広がると思います。是非ご見聞いただきたいです。
 - ・ 他の自治体でも話題になっていますが、PTAの活動を時代にあったものにしてほしいです。PTAの活動は不要なものが多いですし、やりたい人が参加できるようなシステムに早くかえてほしいです。
 - ・ 学校の先生がとても忙しそうで、電話するのもためらいます。ギリギリの人材で運営しているのが本来の学びの質が落ちていると思います。先生の数を増やして下さい。教育にこそ税金を使って下さい。
 - ・ コロナで縮小になった放課後子ども教育が元に戻らない。学校で教員が不足した状態が昨年よりずっと続いている。
 - ・ 学校の先生や保育士の方々の待遇改善を期待します。
 - ・ 公立中学校の部活動で先生たちの働きすぎ問題で活動が縮小したりなくなったりしていくことに対しての対策が気になります。中学に入ったら部活で充実した放課後を過ごしてほしいです。中学になって公園で遊んだり校庭開放を利用したいとならない為に。
 - ・ 中学校のS-room、小学校のくわのみを制度の時間最大限授業数できるよう、先生の数を確保して弱者のフォローをして下さい!
 - ・ ①学校の先生が次々とうつ病や育休に入り、臨時の先生がおらず学校が正常に運営できていません。臨時の先生の雇用状況が悪すぎるのではないのでしょうか。教員免許がなくてもできる業務を洗い出し、教員免許のない人でも業務ができる制度と予算編成をお願いしたいです。がんばっていたことは知っていますがピントがずれているのではと思うことが多いです。もったいないのががんばっていただきたいです!②何でもSDGsにひもづけて、子供の自由な発想や楽しみをさまたげないでほしいです。学芸会や駒小まつりが、突然SDGs学習発表会やSDGsにちなんだ出店ルールになり、子供たちががっかりしていました。先生も苦肉の策をくり出さねばならず、ただでさえ負担が大きいのに、さらに負担を増大しています。誰のためのものなのでしょうか?ブリリアホールで行ったSDGs発表会も「子供のため」を連発されましたが、お昼を食べる時間を1時間遅らせ雨の中、小走りで帰るスケジュールはとてもハードでした。本当に誰のためのものなのか、大変に疑問でした。③学校の校外学習などのスケジュールがハードすぎます。例えば、3年生の校外学習で、1日に3か所以上を電車も使ってまわるなど、大人でもハードなスケジュールが組まれていました。100人の3年生が公共の場所を、そんな過密スケジュールでまわると思えません。補助の先生も少ない中、大変危険だと思うので、ムリをさせないよう見直していただきたいです。SDGs発表会も本当にムリなスケジュールでした。
 - ・ 公立中学における内申点について、高校受験に際して、大きく影響するにも関わらず、評価が担当の先生のバイアスが大きく、改善を希望します。また小学校の先生には子供たちとの対話の時間を

持って頂けるように、テストの採点やイベントの準備と言った作業は、外注しても良いのではないのでしょうか。(小学校の先生が忙し過ぎる)

- ・ 夏休みや冬休みや春休みに、希望者だけでもいいし、割高になってもいいので、給食を実施してほしい。
- ・ クラス替えが出来るよう1学年1クラスの学校がないように配慮してほしい。
- ・ 土曜日開催の地域行事に参加出来る生徒と出来ない生徒がいるので、行事の開催日程を調整してほしい。
- ・ 学区の中学校では、オンライン授業が受けられないと聞きました。連携している小学校ではかなり普及しているのに、とても残念です。
- ・ 区から貸与して頂いているクロームブックですが、毎日持ち帰る決まりのため重量的に大変負担です。教科書は学校に置き、クロームブックを持って帰りますが、授業の復習が出来ず、本末転倒だと感じています。今後も続く取組みであれば学校で保管できる仕組みも合わせてお願いします。
- ・ 巢鴨駒込エリア居住です。登下校時間帯にタクシーや配送のトラックが細い道(抜け道なのでしょう)を飛ばして走るのが本当に危ないです。これから夕方は暗くなります。せめて時間帯指定で速度制限をして欲しいと切に思います。
- ・ 子供に配布しているタブレットの使用時間が長すぎます。時間帯は自由でも制限時間は2時間程度が妥当です。区役所に電話しましたが、対応できないと言われました。とても失望し憂慮しています。
- ・ 小学校について。お手洗いがとてもきれいでウォッシュレットでありがたい。参観も頻繁にしている、密室にならないようにしていて好ましいと思う。コロナ以降のオンライン学習がとても便利だったのに、突然打ち切りになって困っている。学校からの手紙には、オンラインでは学習にならないようなことが書いてあった。教室に通えない子が学校の廊下・保健室からオンラインで受けていたのを実際に見てきた。それをも否定するのはどうかと。学習云々の前に、通えなくてもクラスの一員である実感を保ち続けることができるとても有効な手段だったと思う。我が家でもインフルエンザ等で登校できなかった時に、元気なのにオンライン授業がなくなったので参加できなかった。デジタル化に逆行して残念。
- ・ アート文化に力をいれていますが、学校で年一回でも観劇などあるといいと思います。(体育館でできるものでいいので)文化格差が少しは解消できるのではないのでしょうか?お金があるのに関わらず、親の意識差もあると思うので。
- ・ わたしは、今住んでいるこの場所が好きで、これからもこの場所に居たいと思っています。豊島区

の様々な取り組みは知らないことがありますが、未来ある子供達みんなが平等に教育を受け、支援が受けられる事を望みます。

- ・ 他区に比べ、豊島区は、子育ての施策について、いろいろと取り組んでいただいていることに感謝いたします。要望は、区立の中高一貫校(中等教育学校)の設立です。類似例は九段中等教育学校ではないかと思います。中高一貫校は、公教育の中でも特に希望者が多く、ハードルが高い状況です。入学も学力検査だけではなく、小学校時代の過ごし方なども評価項目に入れ、真の人間教育を行う学校の設立を希望します。そこには、区の独自教育方針を盛り込み、魅力ある学校を創り上げることで、豊島区で暮らしたいと思える人々をより増やし、区内小学校に通う児童のモチベーションも高まることで小中連携の相乗効果が期待できる部分もあると考えています。豊島区は、学校設立のポテンシャルはあると思っていますので、実現を期待したいと思います。
- ・ 子どもへ教育を受けさせることは、未来への投資などと言うけど、抜けた教職員の補充がされていないのを、どうにかして欲しい。
- ・ 小学校の教育環境がよくないことが心配。教員不足もあって、一人ひとりの負担が大きく質の低下は否めない。家庭環境の問題もあるが、いじめや暴力、無気力、学級崩壊が見受けられる。
- ・ また、コロナ禍でオンライン授業や行事のライブ配信などができるようになったのに、今年度からそれらがなくなった。小学校側からは、教員個人が持つPC以外の、区の教育委員会から貸与されていたPC・タブレットを返却し、オンライン配信に対応できなくなった、という説明があった。社会がコロナ禍でいい意味で進化したのに、コロナ以前に戻るところか、退化している。こういったメリットのあったものは、戻さないでほしい。

2-5 放課後対策(学童・スキップ)

- ・ 現在は小学生になりスキップを利用しています。共働きには大変ありがたいです。
- ・ 学童を1年~3年時の親の仕事の条件かわらずに6年まで入れさせてもらいたい。
- ・ 日々、家庭・育児・仕事を両立しており、スキップを利用させて頂いております、先生方にはいつも感謝しております。
- ・ 学童にスクールサポーターや、スタッフの方々に配置していただけて、放課後はとても助かっています。施設の改修についての、資金が無いという事を聞きましたが、施設で働く方の給料や、施設の改修にお金を使っただけると、保護者も安心して預けられます。スキップ一般利用、やイベント企画もしていただけて助かります。学校についても、先生方が、ITを使った授業や、大学連携の校外学習

をしていただけるのが、子供にとって良いと思います。先生方の勤務時間が長そうなのが気になります。

- ・ 仕事をしているため放課後の1人時間が不安。
- ・ 子が外での活動に消極的なことが気になる。放課後は自宅で6時まで一人で過ごさせているため、さびしい思いをしていると思うが、仕事柄、その状況は変えられない。
- ・ 子どもスキップ(学童)の先生方は頑張っておっしゃっているのだから働く環境をより向上してもらい。子どもにとってもプラスになる充実した放課後の居場所をつくってほしいです。
- ・ なぜ学童のおやつが5時提供なのでしょう?5時にはもうすぐ夕ごはんです。保育園までは3時に手作りおやつでした。手作りはハードル高くても、提供時間が遅すぎると思います。また意見を言える先もよくわかりません。他の区は何時に提供されていますか?ベンチマークと理由を教えてください。
- ・ 学童で、習い事教室をしてほしい。(英語、書道等)
- ・ 小学生でも学童保育は4年生ごろから行かなくなるので、その場合、親の帰宅まで、子供がたすけをもとめられる場所がほしい。夜21時ごろまでやっていたりしたら、何かの時に子供の安全につながります。小学校でもよいと思います。→1人でも警備員さんがいてくれたら。
- ・ 小学校は頑張ってくれているとはおもいますが他区にくらべ行事のすくなくさが顕著すぎて。遠足もない、山登りもない、写生大会もない、などなさすぎではないか?と思います。学童に参加していたときはただ、屋根のある場所を貸していただけ、という印象が拭えなかった。豊島区の保育園、幼稚園の手厚さに比べると、小学校学童はとても残念。人が多すぎ、騒いでいる子に先生の手がとられ、狭さと騒がしさで宿題ができる、遊びができる状態ではなかった。先生の手が足りないため、自由も少なく、途中から有料の学童との併用に変更した。保育園より、これから小学校にあがる子達のために学童を整えてほしいと本当におも。他の区が近いから比べやすいものもあるが、小学校、中学校の子供の環境は残念な面が多すぎる。もう少し子供にお金をかけてほしいです。
- ・ 3年生まで子どもスキップを利用させていただいたことは感謝です。しかし、手狭で子どもは過ごしにくかったようです。学校の教室を利用できるようになると良かった。また、学習時間をスキップで確保してくださると良かった。

2-6 保育園

- ・ 出産後から区民ひろばなどを活用させていただき育休中はとても助けられました。また区立の保育園に通わせていましたがとてもよい先生ばかりで安心してあずける事ができました。
- ・ あと、豊島区は待機児童がいなく、とても力を入れていますよね。
- ・ 保育園の利用について、育休中でないと申請さえできない(窓口で、育休中でないと、これから就活では、申請しても入園はできないと思うので申請してもムダですよというような話をされた)のでは、就職したくてもできません。妊娠・出産で仕事をやめざるを得ない事もあります。育休中の人しか保育園に入園できないのは、不平等に思います。
- ・ 区立保育園の民営化で、保育環境に問題が出ていると思う。おねしょをした園児に、自分で申告するまで待っていて、言わなかった事を男性保育士が女児の体をふきながら激しく怒ったり、給食をこぼした園児に「バカヤロー」「頭悪い」など言ったり、園内も注意書きをばかりで、保護者に対する注意が増えた。子供たち主導の園の行事が先生が作った枠の中で行われる積極性のないものになってしまった。(事業主)理事の親族が、園の事務をしていて、ほとんど出勤しない。民営化したのが、園からの補助金のためであれば、社会福祉法人の事業主にお金が渡ってしまい、本来の目的である、保育士さんへの給与に使いにくいのは、いかなものかと思う。民営化後、まだ保育士の方を募集していたり、辞める人も多く、公立の時のような安心感が得られにくい。コロナ禍での引き継ぎだったため、行事や散歩が継承されず、以前と園の雰囲気は大部変わってしまった。経験豊富な保育士さんが、民営化で少なくなってしまい残念。
- ・ 保育園について、昔に比べたら保育園や安全な公園が増え、住みやすくなった。園庭のない園も公園を使うことで運動会・発表会ができるようになり、格差が解消されてきた。きょうだいを確実に同じ園に入れてほしい(これまで別々にされてとても苦労した。これは賛否なんかじゃなく当然の希望。園が少なかった頃は電車で通っていたので、お迎えが間に合わなくて追加料金を払わされたこともある)。小学校の学区内の子を優先して入れてほしい。小学校まで安心して継続通園できるようにしてほしい。要するに、親の仕事に子供の通園が左右されないようにしてほしい。誰でも通園の早期実現を願うばかり。これは国政の問題だけれど。家庭と仕事の両立が難しく正社員を辞めて以来、退職転職の度に書類を書かされ、継続通園させてくださいとお願いしなければならないのが大きなストレス。それはそもそも入園も同じ。小学校は区から通知が来てほぼ自動的に入学できるのに、何故保育園は大量に書類を出して

「お願い」しなければならないのか。保育園なくして小学校はないのに。「難民化」で子供が振り回されるのは理不尽。

2-7 幼稚園

- ・ 子供が今幼稚園へ通っているのですが、ここ数年で保育園に行かれる子供が増え、幼稚園に行く子供がどんどん少なくなっているように感じます。このままでは、幼稚園が廃業になるところが出てくるのではないかと思います。
- ・ 我が家は幼稚園出身ですが、保育園に力を入れすぎて、幼稚園に対してはあまりないように感じていました。園の設備をととのえる強化などしていただけたり、お母さんたちは、働くお母さんばかりではない。という事も、よくお考えになっていただきたいです。
- ・ 子供が幼稚園の年中の時に、引っ越してきましたが、入れる幼稚園が区立しかありませんでした。幼稚園内の先生方の入れ替えがはげしく、必要最低限の内容だったな、と感じました。人件費をもう少し多く見積もって、上の方も、私立幼稚園で長年やっていた方を入れる等、なんらかの努力をして、魅力ある幼稚園になるようにやっていって欲しいと思います。

2-8 子育て支援サービスの充実

- ・ 自分自身が子供だった頃と比べると社会環境や価値観が大きく変わっているので子育ての難しさを感じる。物的に満たされても心が満たされていない子供も多いのではないかな。一方、いまだに食や安全、教育など最低限保証されるべきものが守られていない子供がいる事は心が痛むし、国や自治体だけでなく、すべての大人の責任だと思う。
- ・ 子育てに煮詰まった時、母親の体調不良時に、気軽に利用できるベビーシッター制度が欲しい
- ・ ふたご、複数兄弟に手厚い支援をお願いしたい。子供が複数いると、風邪で学校を休む日数も多く有休も、あつという間になくなる。
- ・ 子どもに関わることは、所得に関係なく平等にして欲しい。

2-9 病児・病後児

- ・ 保育所が充実しており、学童も入ることができるので、豊島区に住んでいて良かったと日頃から感じております。自分や子どもが病気になった時にこそ、ファミリーサポート等利用したいと思いますが、病児保育 NG であつたり、時間に制限があつたり、するので、登録したことはなく…病児 OK であつたりすると、利用しやすい(してみたい)と思います。

- ・ 熱をだしたときに休んであげたいがそうできない時がある。
- ・ 子どもの体調の事、(例えば、症状は良くなっても、出席停止期間)で仕事を休まなくてはならないとき、病児保育や出席停止中でも回復されているなら、保育してくれる所があると、助かると思う。
- ・ 小学生高学年でも、自宅だけでなく安心して、楽しく過ごせる場所と、体調不良の時の緊急預け先を作って預けたらうれしいです。

2-10 障害児への支援

- ・ 定型発達児童へのサポートには幅があるようだが、彼らはそもそもサポートを必要としていない場合が多い。一方で知的障害児のサポートは貧弱で、放デイ等の事業者さがしも自力でやる他ない。窓口もたらい回しにはされるがどこも回答を持っておらず、役に立ったという経験が皆無。
- ・ 公立だからと授業をきちんと受けられないお子さんを無制限に受け入れるのは改善が必要だと思う。発達障害について保護者の方が受け入れないパターンもあるのだと思うが暴力をふるわれても「仕方がない」で済ませられる子、授業を中断されてしまう子の事を考えて欲しい。
- ・ 発達障害などのインクルーシブ教育について、豊島区の方針を教えてください。私は保険会社で引受査定をしているので、大人も子どもも発達障害がとても多いことを知っています。一方、3才児健診や就学前も「発達障害ではないですか?」のチラシや声かけが多く、疑問を感じます。小学校も特別学級とわけて対応され、個々の個性レベルにあった教育をしようとしています。発達障害ではない子が、当事者に何ができるか、多様性を考える機会の損失とも思います。
- ・ 発達障害の子供も育てる大変さを、身内に話してもなかなか理解してもらえず、毎日とても苦しい。孤独を感じている。
- ・ 発達障害児の子育てが大変で、毎日イライラします。自分にも特性があるのだと思います。うまくこなせないことが多いです。支援や親同士が集まれる場があるといいなと思っています。ささやかながら、今までの経験をどこかで活かせないものか、とも思います。
- ・ 所得制限をやめてほしいです。重い等級の障害児がいても、所得制限に引っかかると手当も補助も何も出ません。見捨てられたような悲しい気持ちになります。誰にも迷惑をかける事なく、ちゃんとやっている世帯を蔑ろにしないで欲しい。せめて障害児をかかえる家庭だけでも、所得制限はやめて欲しいです。

- ・障がい者支援を必要としており、非常に親身に対応してくれています。
- ・障害がある子に対しての先生の対応にかなり差がある。どの先生になっても安心して通わせられるといいなあと思います。
- ・発達障害や不登校の子供達への支援をもっとがんばってほしいです。
- ・豊島区は色んな人が住んでいます。子供のいないご家庭も多いと思いますが、そのようなご家庭から見ると障害者の子どもはうるさいだけに感じられると思いますが、障害者の親は何も考えずに過ごしていると思われているように感じられるときがあります。とても肩身の狭い想いを十数年しています。東京都の中心部の区に住む人たちの意識はもう少し高くても良いのではないかとほんとは思います。
- ・所得のちがいで給付が受けられないのは不平等である。子どもは親の所得によって権利が受けられないのは違う。子どもは平等である。
- ・両立となるとやはり何かを犠牲にすることになり悩み葛藤する日々です、先日児童手当がなくなり最近は何の為に働いているのか分からなくなりました。
- ・子供が成長するにつれお金もかかるので努力して給料が上がる様にしても所得が上がるというだけの手当てが下がるので養育費の為に頑張ったのに逆に生活が苦しくなった様にも感じます。
- ・子どもはまだ低学年だが、この先学費がどれくらいかかるのか、ゆくゆくは塾に行かせなくてはならないとしたら・・・とお金の心配がいつも何となくある。
- ・子供が小学5～6年になって友達と遊ぶことがなくなり、自分の子は小学3年生から塾に通いましたが、子供の学校の行事と宿題、塾の両立が難しく、6年で塾を辞めました、これから進学日々の生活等、お金がかかるので働きたいと考えています。
- ・収入が多いと色々な手当てがもらえないが収入が多い分税金も多くはらっているし、特別ぜいたくな生活ができるわけではない。収入の高い人も私立高校の学費えん助がほしい。
- ・毎月の収入が安定していないので、足りない月がある。転職せざるをえない場合は、数ヶ月足りなくなる。急な出費に対応できない事がある。
- ・家賃が高い、引っ越しが出来ない。
- ・やはり物価高はきびしいです。子供のためにはこれからも働こうと力いっぱいがんばっています。
- ・多子世帯への補助が不足している。
- ・住民税や、予定納税、固定資産税などで、毎月税金だけで、すごい高額を払っていて、生活にゆとりはありません。教育費もギリギリでだしているの、収入はあっても、全く、余裕はなく、貯金もできていません。児童手当など、所得制限なく、いただくと、大変助かります。収入が多いと、税金にもっていかれるので、使える額は少ないのです。
- ・家が狭くて、それぞれ自分の空間がとれず、落着いた生活ができない。兄弟でいつも揉めている。今の家のサイズではそろそろ限界かと思い、ひと回り大きな家に引っ越したいが、子どもたちも自分も地域が好きで引っ越せない。区内での住み替えは土地が高すぎて難しい。子育て世帯向けの住み替え支援があって、資金的に可能になるなら、ぜひ区内に留まりたい。
- ・給食費の負担がなくなったことは、とても助かりました。
- ・子供の医療費が無料なこと、給食費も無料になったことは大変ありがたいと思います。

2-1 1 医療・健康

- ・コロナ流行期、子どもが発熱した際、発熱外来をインターネットで調べた際、「子供可/不可」がわかりにくく、受診を断られることがあった。「子供可」の発熱外来がすぐに見つけられるようになればいいのに、と思った。
- ・祝日、木曜に受診できる医療機関が欲しい。
- ・インフルエンザワクチンの費用を、高齢者同様に補助金を出してほしい。
- ・インフルエンザワクチン助成(子供)。
- ・給食が無料になってありがたいです。インフルエンザワクチン等も無料になると嬉しいです。
- ・子供のインフルエンザの予防接種の補助金を出してほしい。

2-1 2 ひとり親家庭への支援

- ・子供も離婚も子育ても自ら選んだ事で手当てをいただけているだけありがたいですが、毎月厳しいのが現状です。
- ・他の区に比べひとり親の優遇制度が足りないまたはあっても内容が薄いと思う。遊びに出かけた際の補助はもう少し金額が高くて良いと感じる。住宅の助成も対象外とされてしまい、大変苦しい。無料で入れる遊びの施設を増やして欲しい。

2-1 3 経済的支援

- ・子育てには、思っている以上にお金がかかるという事を実感しています。10万円クーポン、とてもありがたかったです。所得制限のない一律支給、これからも充実させていただきたいです。家で子どもを「おかえり」とむかえられたら最高なのですが、共働きがやめられないのがつらいです。

- ・ 学費の経済的負担の大きさ。今後のことを考えると家計に全く余裕がない。
- ・ 子育ての充実をはかるためには、金銭的な支援が不可欠と考える。子供を育てることとお金の関係は切り離せないのは常識的に考えても当たり前のため、何らかの方法で日常の支援があると喜ばれると思う。
- ・ この子の世代は、保育料無償化はなく、給食費無償も5年生からと金銭面で世代間格差を感じます。(6学年離れた下の子は全て対象で助かります)
- ・ 単身赴任で年収増加により児童手当は満額支給されませんが、生活費が二重にかかるため個別考慮があると良いと感じます。
- ・ 金銭面の補助があるので東京23区は子育てしやすいと思う。給食も無料になったし、服も児童館などのフリマがあったし(コロナ前)子育て自体にそんなにお金はかからないのに金銭面を心配して子供を産んでもらえないのは残念に感じている。お金がかかるのは学習塾に入れたり私立に通わせるからであって(我が家も塾代の莫大な負担は感じている)、お金をかけられる人は通わせれば良いし、そんなの通わなくても良い教育が受けられる、と言うことがもっと広まったら良いのと思う。
- ・ 子どもがいることで、制限されることがある。
- ・ 所得によって、子どもに関わる手当や機会が平等でないことに憤りを感じる。
- ・ 給食費が無償になったことで、しゅう学援助はうち切りになったのでしょうか?中学の制服を購入したりするときに困ります。制度がわかりづらいです。
- ・ 地元住人が新しい世帯で豊島に住み続けるのはキツイ感じがします。子どもが増えて6人家族が住める間取り、物件がないです。あったとしても高い(金額が)。今住んでいる賃貸の更新料などもなしにできないのでしょうか?結婚しても豊島区に住み続けている人、多子世帯の支援を増やしてほしいです。
- ・ 物価高での子育てに必要なお金が家計をひっばくしているので、補助があれば助かる。
- ・ 近くに頼れる親がいないので、一時あずかり(下の子が0才なので)事業、とても助かっています。これからも充実していただけるとありがたいです。また、やはり2人の子育てはお金がかかります。ローンもあり、共働きでも大変です。支金面でも安心して子育てできる取組を、これからも、よろしくお願いします!できればベーシックインカムを。
- ・ 各種補助の年収制限の撤廃。世帯主の年収だけ参照して世帯の全体の年収を見ずにハードルを設けたりするのは論外。
- ・ 子どもの医療費無償に感謝しています。
- ・ 豊島区というよりは日本全体の課題になるかと思うが、教育費(特に中・高～大学)が重くのしかかり、子どもを産み育てようという気持ちにならないのは本音。所得制限でひっきりぎり支援を受けられない大多数の家庭が結構きびしかったりすると思う。
- ・ ベビーシッター手当や様々な支援があるとありがたい。
- ・ 豊島区で幼児から中学生までの子どもに給付金を額が少なくても良いので、給付をして下さると助かります。今、ひとり親で子どもが3人いるので、お金の面で大変なことがあるのでせひ、よろしくお願い致します。ちなみに養育費は、貰えていません(泣)。
- ・ 給食費無償化は、とても助かります。ありがとうございます。
- ・ 給食費の無償化になり助かりました。生活保護までは、行かないが、日々かつつで生活している家庭がいます。今後子供が高校～好きな学校に行けるか不安です。
- ・ 収入がある程度あっても、ゆとりはありません。その分税金引かれています。教育費が高すぎます。所得制限はいいかげん止めてほしいです。豊島区独自で補助をして頂けると幸いです。
- ・ 豊島区(東京)の学習塾の通学料金がとても高い!! 値段で通塾できない人も多いので、支援があると助かります。
- ・ 豊島区は大好きです。これからも住みます。1つだけ、ファミリー世帯家賃助成が4年目から半額になるのが非常に苦しいです。
- ・ 給食費の無償化していただきありがとうございます。
- ・ 年収が制限より上であっても、物価の値上がりや子供への将来の投資ということもあり、国が児童手当をとりやめた際にはとても残念に思いました。今回の018のように、どのような家庭も平等に支援を受けられるシステムが充実することを願っています。(区々国に対し)
- ・ 給食費が無料になったのは本当にありがたく助かりました。
- ・ 住居費が高めなので18才以下の子3人以上いる場合の家賃補助があると安心。我家は、4人子どもと父母で55㎡賃貸に住んでいる。大家がよいのと、安いのが理由。個人的考えで住宅への出費は少ない方がよいという理由もある、購入は考えてない。
- ・ 給食費無償化ありがとうございました。多子世帯への補助の充実を検討頂きたいです。
- ・ 保育料無償化は卒園後、児童手当は所得制限、給食費無償化は卒業間近。子供の医療証を高校生ま

で延長してください！！！！すぐに！数年後じゃ間に合いません。よろしくお願いします。

- ・学費の負担減の政策に期待したい。
- ・区立中学の給食費を無料にするなら私立の子供にもお昼ご飯代を支給してほしい。
- ・子供のお金の支給は年収関係なく平等にしてもらいたい。
- ・公立の小中学校の給食費無償化はありがたかったです。
- ・子どもに直接関係するものは保護者の状況に、関係なく一律に支援してほしい。予算をもっと増やして欲しい。個別の給付より継続的に誰でもが掛かるものに対して支援して欲しい。成人かどうか関係なく子どもは世帯何人かで対策して欲しい。ユニバーサルデザインは子どもだけでなく、ひいては大人も使いやすく段差がないなど、投資していけるものに税金をつかってほしい。
- ・経済的に余裕がないとはいえ、教育を疎かにしたくはないので、毎月赤字になりながらも生活費を捻出している状況が続いています。老後とも考えると心配でたまりません。経済的支援を充実してほしいです。
- ・区独自の奨学金制度があると良い。

2-1 4 情報提供・相談支援

- ・親の負担が子に、その子が親になった時にくり返される愛着の問題を感じています。子にとって親が安定していること、安心していること。親子が笑顔で過ごせるようになればと親の安心、安全、安定基地も必要です。
- ・池袋本町小学校に通っているが、子ども達を守るため多くの取り組みが行われていると感じている。(文書やネットからの通知を通じて)とても心強く、感謝しているが、今後実際に学校や機関に心配事を相談する際、どのような対応を受けることができるのか期待と不安がある。
- ・保育園や学校では子どものことを第一に考え、働きかけてくれていると感じており相談しやすい地域の行事でも皆さんよくしてくれる。自分ではひろいきれない地域のイベントを周りの方から教えてもらっているが、皆さんどこからその情報を得ているのか…
- ・私立・国立の小学校に通っていると、情報が入ってきません。小学校入学のための資料など、配布されるものも、区内の学校に通っていないと配布されず存在さえ知りません。防犯の区からのメール配信(小学校ごと?)もあるようですが。その存在の情報さえ入ってきません。区立小中学校に通ってなくても、区内在住の子どもには平等に情報をいただきたいです。

- ・区が行っている子育て支援に関する取り組みについて、このアンケートを通じて自分は知らないことが多いと感じました。子どもが学校から持ち帰るおたよりにもPRがありますが、なかなかじっくり目を通しておらず…。おたよりやパンフレット配慮のみでは認知度UPは難しいような気がしています。
- ・学校教育の現場でどのようなことが起きているのか懸念される事があるのかなど、学校からの情報開示もネガティブな情報こそ積極的に行ってほしい。
- ・子どものことでこまっている時なやんでいる時に相談できる窓口があることは知っているが、いざとなると相談しづらい。
- ・子供の貧困について耳にするが住んでいる場所柄、目にする事がない。寄付、ボランティア等情報があれば協力したいが、豊島区の具体的な状況を知りたい。全国規模で児童養護施設への寄付などは行っている。
- ・父親が考える「理想」の為に息子が無理をして頑張りすぎていないが、本当は不安です。時に厳しすぎる行きすぎた言動に対し、母親である私が意見しても、より家族の空気が悪くなるだけです。そうした時に、SOSを母子ともに求められる場所が地域の身近なところにあつたらないと時々考えております。
- ・相談窓口の時間帯に電話をしても繋がらず支援やサポートを受けられずに終わってしまった事がある。
- ・知的障害のある子を育てているのですが、将来の進学や就労に関する事など、未知な部分が沢山あります。教育センターにて相談しましたが、職員のかたも分からない、との事でした。どこに、誰に相談したらいいのでしょうか?情報が欲しいです。
- ・発達に不安がある子供について相談できる場所をもっと増やして欲しい。
- ・以前住んでいた文京区、新宿区と比較してしまうが、豊島区は区の相談窓口が遠い。(交通の便が悪い?)
- ・三人兄妹の子育てが大変で、しんどいときに家庭支援センターで相談をさせていただいています。とても辛いときに話を聞いていただけること、温かく受け入れていただけること、気にかけてもらえていること。どれほど救われているかわかりません。学校の担任の先生や通級の先生、校長先生副校長先生にもお話を聞いていただいたり、見守っていただいています。自分でもカウンセリングなどを受けたりもしていますが、やはり福祉や公立の方と繋がれているのはとても安心感があります。いつも感謝しております。これからもよろしくお願いします。

- ・不登校であることで、心の負担が大きいし、子どもの将来が不安です。あまり相談できる人がいないし、確実な解決策もない。
- ・相談窓口があっても実際にまったく役に立たない（子育て経験もなさそうな素人とも言えるような助言のみ。残念ながら実際にできる支援はないと言われる。結局家庭＝母親だけでなんとか持ち堪えるということ）
- ・区の子供相談（子供が友人との関係で悩んでいたため）したのですがメールだけでなく直接お話しに伺いたかったのですがフルタイムですと平日の日中は厳しいので土曜日も設定があるとありがたいです。
- ・ソーシャルワーカーの質が良くない。私自身もソーシャルワーカーであるが、対応ができていない。（人にもよりますが…）
- ・豊島区に住んでいますが、長女を北区の私立小学校へ通わせています。豊島区内公立小学校へ配られる工場見学や潮干狩りのお知らせがもらえません。ぜひ参加させたいので私立向けに配布してもらいたいです。
- ・区が主催の子どもの職業体験や豊島区の伝統文化体験などができるイベントをもっと開催してほしい。イベントについても区のラインなどでもっと発信してほしい。何があるのかなどわからなくて、知った時には、もうしこみのしめきりがすぎていたりしていて残念なことが多い。
- ・公立小に通学していないため何も情報が入ってこない。税金は同じにおさめているのですが…。子育てをしていても恩恵を受けることもサービスを利用できることもなくこの区に何かしてもらっているという印象は少ない。小学校単位で行事が行われるため子供が入れる場所がない。
- ・情報の提供や啓発に引き続き力を入れていただけるとありがたいです。
- ・子供のことで悩んでいる時に区役所の窓口に行ったら土曜日だったため他部署の方が対応してくれたが「豊島区には児童相談所はありません」と言われ「もっと大変なお子さんだって居る」「成長過程でよくあること」「どこのご家庭でもあること」もしもの場合はこちらに連絡してくださいと冊子を渡されて終わった。平日働く保護者にとって相談受付時間が勤務時間と被っていて相談しにくい。
- ・子育て支援の手続きや、どんな支援が受けられるかなど、とてもわかりづらいです。
- ・相談出来る所を知りたいです。

2-15 住環境・まちづくり

- ・共働き世帯が増え、子供だけで遊んだりする機会が多くなっている。親は夜に帰宅するので日中子供がどこで何をして遊んでいるのか分からない。

友達のマンション敷地で走り周って迷惑をかけていることを知らない。子育てを人まかせにせず、時には日中の行動について関心を持つべきだ。

- ・公園など子育ての環境が整備されてきてステキな町になっていると思います。これから住んでいることで誇れる町づくりをお願いします！
- ・大人への子どもの敬意や感謝が減っているように思える。近所に口うるさいけど見ていてくれる大人や顔見知りにあいさつをすとか身近な大人の知り合いを作ろうとしない子が多い。変質者とかも居るから同等に扱われたりするからだと思う。
- ・エレベーターを利用する際どうしても遠回りをするが不便だなと感じています。そうでなくても単身より時間がかかる、エスカレーターより時間がかかるのに、エレベーターのある場所が遠い！という事多いです。そして満員で乗れない…そんな事も多くエスカレーターや、階段利用出来る方はそちらを利用してほしいなと思う事多いです。きっとお年寄りの方もそう思われる方多いと思います。
- ・自転車に乗っている人が多いが自転車を整備できる場所が少ない。区営でできないものが、修理に運びたくても運べない。③住環境を整えられないので、区外への転出を考えている。区営住宅がないことが残念。
- ・環境・教育上よくない。西池袋公園キャッチボール場でのバット・テニスラケットの使用。※本来禁止、駅・公園集団での無断駐輪。
- ・豊島区は教育環境は信頼できると感じますが、池袋駅周辺の環境などを見ると子どもより大人中心、時に子どもに有害ですらあるよう雰囲気も強いので、商業とのバランスが難しいと感じます。生活用品が入手しにくく、板橋区までわざわざ行くことも多いです。
- ・外からの池袋のイメージに比して、地域の見守り活動や公園整備など、育児に良い環境が整えられていると感じます。
- ・健康に産まれて、学校で勉強したり、友達と遊んだり、やりたい習い事をしたり出来ることは幸せなことなのだよと息子たちに日々話しています。ニュースで虐待とかいじめで自殺とか見るたびに、なんで気がついてあげられなかったのかと悲しくなります。困っている人が居たら誰もが手を差し伸べられる世の中になったらいいなと思います。
- ・公共の交通機関を使って通学をしているが、安心して通わせる事ができています。子育てをするにも、住みやすい街だと思っています。
- ・環境は良く、住み続けたいが家賃が高すぎる。空き家の整備を進めて欲しい。
- ・自然をもっと増してほしい。木や森(新宿御苑みたいな)。

- ・イクバスはもっと地域に根ざしたルートにしてほしい。
- ・西口から東口に行く、ビックリガードや、ウィーロード。ベビーカーや電動自転車の移動がとても困難。もう少し行き来しやすくしてほしい。
- ・マンションの供給が単身向けが多く、家族で住むにはとても高額で買えない、借りられない。子供が大きくなるにつれて郊外への転居も考える。
- ・自宅周辺にゴミ収集日になるとカラスがやってきます。放鳥ネットをしている所はわずかで、ゴミ袋をカラスがつついていいるそばを子どもは通って学校へ向かわねばなりません、対策をお願いします!!
- ・東口の駅前には、駐輪場があるが、サンシャイン方面にも、区の駐輪場があればありがたい。新しく出きる公園は、遊具がなかったりして本当につまらないです、(防災の面では、いいと思います)スキップ(学童)が密だと思ひます。
- ・イケサンパークが近所にありよく利用している。しかし今後の計画次第では、子供達が安心して遊べる環境が保たれるか不安がある。区外からの人と呼ばひこむためのイケサンパーク周辺の開発であるならば、別途本当に地域に住む私達のための環境整備も地道に進めてほしい。
- ・道路に犬のフンが残っている。飼主への注意喚起をお願いします。
- ・要町駅周辺の植え込み、歩道、ねずみをよく見ます。先日は、私の前を通りすぎ、びっくり。我が子は瀕死状態の子ねずみをひろってきて、雨水で洗ってあげている事がありました。汚いですし、万が一噛まれたらと思うとゾッとしました。駆除等、対処していただきたいです。とても増えた印象です。よろしくお祈ひします。
- ・ファミリータイプの住宅がありません。賃貸で町内会に入るのは、難しく感じました。若い人は入っていません。また町内会でやっている新聞や雑誌の回収が嫌です。時々、回収されない日があるので。忘れているようです。
- ・住宅の費用が大きな負担、支払いについても今後、都営に入れる保証がないことで、いつまで貸りられるか不安。
- ・近所にとっても感じのよい高齢の方がいます。地域のつながりがとても心強く思ひます。密ではありませんが、いつもの顔を知っている人だと安心です。
- ・池袋の治安や整備をして欲しい。汚すぎる。風紀やパトロールの強化を。美しい街づくりを目指して欲しい。看板だらけ道路が汚い。子供を連れて行きたくない。池袋=豊島区のイメージが強いのか他の人から”あんな所に住んでいるんだ…”という先入観で見られる。イコール住みたい街から対象

外になる、地価も下がる、転入者も減る。長く住めるか分からない。小児科が少ない。誘致しては?

- ・まだ子どもが幼児のころ、ベビーカーで交通機関を利用しづらく、子供乗せ自転車を利用することが多かったのですが、駐輪場が少ないと思っていました。現在、板橋区の駐輪場は、HP から空き状況がタイムリーに確認できるようになっているので、豊島区でもぜひやってほしいです。
- ・豊島区は子育て世帯には、とても住みやすい街づくりをしていただいていると思います、何もかもが値上りする昨今、給食費を無償にいただき、大変感謝しております。
- ・池袋周辺の文化振興施策などは大変素晴らしいと思う。
- ・道幅が狭いところがあるので、改善が可能ならばお願いしたい。
- ・池袋の駅前をもう少し綺麗に整備してほしい。

2-16 交通安全・防犯

- ・子ども4人連れて歩いていると(2列)自転車とすれちがう時びっくりそうでこわいです。(スピードも速いので)とくに要町~千川の道は車道と歩道の間に車止めのような道があるのでに自転車はそっちの道をつかってくれないので何か対策ないのかなと思っています。
- ・駅前(北口、西口の一部)が怖い(子ども一人で歩かせたくない)公園が充実していない。暗い雰囲気、公園がまだまだ残っている。給食費無償化は助かった。
- ・家の近くの道路がせまいが、車の通行量は多いので、交通事故が心配です。なるべく、ガードレールを設置してほしいです。
- ・子供と一緒に自転車に乗ると、路上駐車がとても多く、車道を走らないと通れない事があり、危ないと思う。夕方、暗くなっても公園等にいる子供も見かけるので、私自身も声がけする事があるが、パトロールなどの見回りをしてもらえると有難いです。
- ・車や自転車が多く、子どもだけで遊ばせることに不安な時があります。
- ・巣鴨駅前の白山通り(国道17号)の歩道を走る自転車が、スピードを出して危険な運転をしており、怖いです。特に子どもを乗せた自転車は車体が大きく、何度も危険な目に遭いました。最近では、小学生が自転車をすごいスピードで走らせている姿をよく見かけます。歩行者が安心して歩くことのできる環境を整えてほしいです。今のままでは子どもだけで歩かせるのが怖いです。
- ・防犯対策、子供が成長していくにつれ1人で行動する機会が増えていくが、豊島区の治安に、不安があり、心配。

- ・ 椎名町駅近辺は、よそ見やたばこを吸いながら自転車に乗っている人が多い。特にご年配の方に多い。スピードを出している自転車も多いので、あぶないなと感じています。細い道も多いし、商店街や公園のそばは気をつけてほしい。
- ・ 西池袋通りの夜が暗い。朝の登校時にシルバーセンターの方が見守ってくれるのは有難いです。
- ・ 通学路に防犯カメラが設置されていないため、不安で毎日登下校時におくりむかえをしている状況です。通学路へのカメラ設置をおねがいします。みまもりもありません。変な人たくさんいますよ。
- ・ 治安がもう少し良くなってほしいです。一時に比べて不審者情報は減りましたが、子供の不安はあります。駅前や大通りの街灯をもう少し増やしてほしいです。監視カメラや防犯パトロールの数が増えたらいいと思います。
- ・ 夜遅くまでさわがしいことが多く、治安が心配。しょっちゅう催物をやっているが、区外から人を招いてばかりに見える。我々に参加の打診があったことがなく、税金の浪費に感じる。
- ・ 古い民家、道、墓地などが多い地域ではありますが、そういった所への街灯や監視カメラなど、昔ながらの町並みの地域に対しての防犯が薄い気がします。
- ・ 池袋駅の北口が中国のようになっているように感じます。治安の悪化も気になります。
- ・ 池袋または新宿方面からの明治通りなど自転車や電動キックボードの走行マナーやスピードに不安があり、子供を一人で歩かせることに心配している。何か区でのアナウンスや表示するもので、使用者の安全意識を高めてほしい。
- ・ 海外から移住された方のマナーが悪く、治安が悪化。日本のマナーは細かく分かりにくいと思うのでその辺りを冊子にするなりしてもらいたいです。もしくは、手続きで区役所に来たときに説明するなど。
- ・ 治安が比較的良好な環境で子育てしやすいと感じますが、暴力団?風俗街など、子どもが健全に育っていくには不適切な雰囲気がなくなってほしい。道路も危ない。特に低学年は夜遅くまで外で遊ぶ姿を目にするが、心配ではなのか疑問に思う。
- ・ 池袋駅西口では日中早い時間からキャッチの女の子が何人も立っています。もう少し取り締まってほしいです。
- ・ 違法な改造によるスピードがでる自転車を取り止めてほしい。数回ひかれかけたことがあります。また外国人が乗車していることが多い為ケガをさせられて賠償の話になった時が不安です。とりしまる為の条例がなければ作ってほしいです。
- ・ 防犯上、道路の照明はたいへん重要と考えます。先日、その照明の柱から子供の頭の位置に針金が出ており、協和会の柱だったため、役所にお電話し、会長様への連絡方法を教えていただきすぐ対応いただけましたが、照明の整備への金銭的なもの(予算)など、区からの支援は是非お願いしたいと同時に、管理をそういった民間の会に転っていることで、大丈夫なのかと少し不安にもなりました。
- ・ 巣鴨駅周辺で、警察官や「としま安全・安心パトロール」の車が見回りをしてくれているのをよく見かけます。しかし、ただ見回るだけでなく、きちんとスピーカーなどで注意してほしいです。危険な自転車(スピードを出しすぎたり、イヤホンを使っているなど)が目の前を走っていても、注意をしていません。周りのお母さん達もみんな、そう言っています。安全面から、文京区に引っ越した友人もいます。できるだけ早く、危険な自転車に対するご対応を、よろしくお願いいたします。
- ・ 子どもが安全に通学できるよう、整備して欲しい。駒込地区ですが、通学路幅せまいのに車が進入してくる。ミラーつけて欲しい箇所あり。学童利用、朝 8:15~なのを改善して欲しい、8:00~にしないと通勤に間に合わず、転職しました。
- ・ 文京区から豊島区に入ったとたん道が悪くなり、自転車が通行しにくく、子どもたちにルールを教えるのが難しい。
- ・ 子供に知識なく、いつのまにか麻薬や犯罪に巻き込まれないか心配しています。繁華街含め、子供の立ち入り制限や犯罪防止強化を望みます。タブレット配布により、勉強と関係ない使用の依存傾向があるかもしれません。使用実態把握いただき、必要な対応を望みます。
- ・ 人通りが少ない、暗く細い道などがまだまだ危ないと感じるので街灯や監視カメラの設置を増やしてほしいです。後、明らかに車一台分の道端の道は一通にするなどしてもらおうと子供が安心して行動できると思います。
- ・ 池袋本町地区の街づくり。(道がせまい、踏切があかない、電柱が多い)
- ・ 子供への犯罪が多い様に地域的に思います。特に子の着替えをスマホで撮ろうとしている様な事、パンツを盗まれるなど、実際にあったことなので、本当に怖い事です。
- ・ 池袋本町小学校に通っていますが、登下校以外の時間帯に校門が施錠されていない時間帯があったり、守衛室に人がいなかったりと、セキュリティ上の不安を感じます。不審者進入の事件もありますので防犯強化を希望します。
- ・ 自転車やタバコのマナーについて、区から発信してほしい。道路への自転車の通行帯表示ができて逆走など減ったと思います。が、まだまだマナーが悪く、子供が一人で出かけると自動車のみならず、自転車にも気をつけるようになっています。自転車マナー向上の取り組みをお願いしたいです。

- ・ 様々な人が集まる街であり、繁華街もあるため、犯罪行為に巻き込まれないか心配です。また、街中で薬物の売買や悪質なセールスなども心配です。
- ・ とはいえ不審者情報は絶えないので、防犯カメラの設置をより多くして欲しい。防犯カメラは一切プライバシーの侵害とは思いませんし、社会で子どもや弱者を守るべきなので。
- ・ 習い事の帰り道(特に冬場)、夜、一人で帰っているお子さんもいらっしゃるの、もう少し街灯があれば良いと思う道があります。

2-1 7 路上喫煙対策

- ・ 公園での喫煙(大人、会社員日中のみ豊島区外から来ている)が多過ぎる。当然にタバコはポイ捨て。
- ・ 禁止のはずの喫煙をする大人も多く取り締まる機関の協力もない。
- ・ 路上喫煙、(禁止とポスターが貼られまくっているにも関わらず)公園での喫煙、歩きながらタバコの率が高いと思う。全体的に民度に高くないと感じる。
- ・ 北口や平和通りでは中国の方の違法駐車で道が通りにくい事も多々あります。ウーバーイーツ等のとても速いスピードで走り抜ける自転車も多いので、道路を子供たちが安全に歩ける様に取り締めてほしいです。
- ・ 公園でのボール遊びや喫煙、道路での歩きタバコを厳しくとりしましてほしい。
- ・ 路上喫煙が多くて、不安です。取締りを強化してほしい。
- ・ 歩きタバコが非常に多い。警察も見ても見ぬふりをしている。看板(公園に)はたくさんあるが、変わっていない。
- ・ 歩きタバコについて、条例はあるようですが、禁止の周知をお願いしたいです。

2-1 8 ワークライフバランス

- ・ 仕事と育事の両立は大変で、なかなか子どもと向き合えなかったり、話を聞けなかったりする事もあります。年々お金が色々とかかかってくとも感じています。
- ・ 私が、仕事で留守の時間も長く、子どもたちと十分に話しができているか不安になることがよくあります。そうこうしているうちに子どもたちもお年頃になり、余計に会話が減っている(話しかけてもあまり多く話してくれない、etc.)ように思い、心配です。
- ・ 仕事しながら子育てで忙しくて、ほとんど自分の時間がないです。子供も塾の勉強などで忙しくて、ゆったりにできないと思います。

- ・ また、夫は帰宅が遅かったり、夜勤だったり、帰宅後、夕飯や入浴、宿題の確認など、時間のゆとりがないのが現実です。
- ・ 働く親は大きな負担がかかる日々なので、子どものためにも働く親へのサポートをお願いしたいです。

2-1 9 豊島区の子育て環境の充実

- ・ 働きながら子育て、家事をしているので時間に余裕がない平日は部活動のよう。もう少し仕事からおむかえなどの間に時間があればいいと思います。区で色々対策というよりは、働いている企業にもよびかけ、協力してもらう事が大事かと思います。今のままだと変わらない。
- ・ 急用の時、周りに頼れる人がいないため。子どもを預けられるサービスを受けたいですが、予約は当日や前日では間に合わないの(しかも面倒)結局あきらめています。せっかく広くて新しい区役所があるんだから、一室そういう子どもを当日でも預かれるような部屋を作ってはどうか？
- ・ 夫も私もフルタイムの共働きのため、(かつ両親はどちらも遠方の為)平日も休日も休みがなく、子供は可愛いが毎日疲れ果てている、という状態です。「休みの日に子供を少し預かる」といったサービスがあると、息抜きになって良いな…と思います。(ぜいたくな悩みかもしれませんが…)
- ・ 豊島区は消滅都市とされてから、子どもにフォーカスをあてた政策がふえていると思います。これからもよろしくお願いします。
- ・ 次世代の保護者たちには更なる環境の変化に伴い、充実した支援を受けられ安心して子育てが出来ることを願うばかりです。
- ・ 豊島区は今後発展すると思いますが、子育てに関しては他の区に比べてしにくいかなと思いました。行政も頑張っていますが、生産年齢層はなかなか転入して来ないのではないのでしょうか。富裕外国人や若者たちにも納得できる区になっていたきたい。老人が多い豊島区で、今後様々な問題が浮上されると予想します。色々な民間人の意見を取り入れていただきたい。
- ・ 豊島区の子育て環境は格段に向上したと思います。下の子供が生まれた時、保育園の保留通知を10件以上もらい途方に暮れていた頃と比べると見違えるようです。豊島区役所の皆さんの日頃の努力や感謝すると共に、多くの子供が育ちやすい都市であって欲しいと思います。
- ・ 赤ちゃんの時は支援センターの赤ちゃんマッサージに行ったりママ友ができたり、区立の保育園でも温かい保育をして頂き、今通っている小学校もほど良い人数かつ児童も全然荒れていない。私は豊島区の子育て教育環境には大変満足しています。

- ・ 豊島区は高齢者に手厚く、子供達には暮らしにくい区、という印象があります。
- ・ 父親は基本リモートワーク推奨になったのだが、出張は国内海外を問わず多く、また、母親は仕事のほか、子の祖父母の通院付き添いや曾祖母の介護介助などもあるため、いつか急に子を見守ることができなくなる日が発生することになると思います。昨年ファミリーサポートに申請に行ったが、もうすぐ窓口申請から1年経つが、今日までいって連絡もなく紹介もなく、子育て世帯を支援する気があるのか、区の職員に聞きたい。いままで、保育料なども最高ランクで払ったり、さまざまな補助金からも対象を外され、積極的にPTA活動などにも従事してきたが、こういう世帯に対して何ができるのか、永続的に住んでほしいのならば、弱者サポートだけでなく、あらゆる人が住みやすい街でなければならないと思う。もう少し考えてほしい。

2-20 その他意見

- ・ 子どもに関する取り組みが区では進められていると感じます。
- ・ 区の対応もありますが地域住民のカラーが大切だと思っています。子どもを見守っていこうという気持ちのある方が多いエリアで安心しています。
- ・ 各種申請や学校&学童の書類の電子化がもっと進むとうれしい。
- ・ 豊島区はとてもがんばっていて、たくさん助けて頂いて感謝しています。子供が小さい頃、子ども家庭支援センターの一時保育に助けて頂きました。皆さん優しくて本当にありがたかったです。でも私は出来ればもっといなかで2階立ての家で自然に囲まれて子育てしたかったです。夫と意見が合わないので仕方無く、土地の高い豊島区(23区)に住んでいます…。
- ・ 私は頼れる家族がいないため、1人でシングルで生活はできているのですが、たまに“なぜ私だけ”という気持ちになることはあります。ぶつけても意味のない感情なので、仕方ない事と思っています。シングルマザーの友だちは、頼れる親が近くにいる人が多く、うらやましいと思ってしまいます。無責任な元だんなにも、腹立つことがよくあります…。
- ・ 子どもが一人の時間が増え自分の好きなことばかりしている(TV、ユーチューブ)。子どもと関わる時間が少なく、気持ちのすれ違いがある。
- ・ 一人の人間を育てることの難しさをいつも感じています。
- ・ 物価高を毎日感じています。
- ・ 少子化と言われる中で、地域では子どもが多いように感じて、とても良いなと思います。
- ・ 最近、骨密度の検査をうけると結果が良好で親に感謝するようにと主治医から言われ、子どもたちに肉や魚をもっと食べてもらおうと思いました。節約とは言っても食費はしっかり未来へ投資しないといけないなと思いました。
- ・ 子供と会話をする時間はとても大切だと思っています。
- ・ 光熱費や生活費の値上がりは顕著に感じています。
- ・ 様々な人々がいて、毎日大変だと思いますが、お体に気をつけて頑張ってください。こちら、子育て、仕事と頑張っています。
- ・ 女性区長になり、女性目線での優しさ、細やかさのある福祉、子育てがしやすい区への変化を願っています。安定した、何か困った時は横のつながりがある、育てやすい、生きやすい生活をしていきたいと感じています。
- ・ 子供が学校の取り組みで相談のお手紙を区に出したようです、手書きのとても丁寧なお返事をいただきました、ありがとうございます、この取り組みはぜひ継続してもらえればと思います。
- ・ 各地域でのお祭りみたいなイベントを夏以外も各イベント時にもあると嬉しい。
- ・ 他の区のように定期的 paypay ポイント還元、地域別ではなく豊島区商品券の販売をしてほしい。
- ・ コンビニのようにとはいかなくても、区が経営する、安い(食品や衣類)店を立ちあげて、ほしい。(会員制)会員の条件を決める。
- ・ 他区と比べて、住民への還元が少ない。特にいたばし区は、地域振興券の発行を定期的にしたたり、子供の為の文化施設が充実しているので、見習って欲しい。給食費の無償化は、大変ありがたかったです。
- ・ これからも区民が安心して幸せに生活できる様、よろしくお願いいたします。
- ・ 11/18に開催された講習会はとても有意義でした。今後も定期的に開催いただけると幸いです。
- ・ 議員さん、3分の1でいいですよね？
- ・ スポーツや芸術面で活躍している子どもたちに、サポート制度があるとありがたいです。(例えば日本代表として、国外の大会に出る時など)
- ・ 15年ほど前にも豊島区に住んでいました。まだ牧歌的であった当時と比べ、小さい子のいる家庭ほど肩身が狭く、ピリピリしているように感じます。子どもを複数持つことが特別なことになっているようです。子どもを持つことは道楽ではなく自然なことであると子育て世代以外がもっと理解すべきです。子育て経験があるはずの高齢者の無理解も相変わらずに感じます。放っておいても子どもが育つ時代はとっくに終わったと子育て世代は考えていると思います。また、結婚

しなかった、子を持たなかった方々へのアプローチがゼロであることは不自然なフェーズに入っているのではないのでしょうか。人生の選択は自由であるとはいえ、彼らが年老いた時にどうやって生きていくつもりなののでしょうか。

- ・ ネットでの各種申請の仕方がわかりづらい。
- ・ きちんと実際に支援を行えるよう、人員、お金を支援の実行に割くべき。窓口の先に本当に役に立つ支援はあるのか。
- ・ 区政、ビジョンが見えない。

2-2 1 本調査について

- ・ アンケートが役立つ事を願います。23 区中、子育てしやすい区 1 位と言われる位アピールしていただきたい。
- ・ この度は、アンケートの機会を頂きありがとうございました。
- ・ 子どもが小 6 になり私立に通っていて区の保育や教育の状況に接する機会がほとんどなく、あまり有益な解答ができず申し訳ありません。アンケートへの回答を通して、いろいろなことを改めて考えたり気づかされたこともあり、よかったです。
- ・ アンケートに答える特典があると子どもも参加しやすいかと…スマホ・パソコンからの解答がおわると、クーポン 500 円分プレゼント!とか…質問がむつかしくて、(小 6 には?うちの子だから?)やる気なくしてたので親が金券でつりました…(たまたま、もらったクオカード 500 円を子に与えた。)施策への参加を、モチベーションにするほど高質な家庭環境ではないので…
- ・ アンケートの数字のところを、もう少し、簡単にしたいです。
- ・ このようなアンケートの実施について問題点を検討して解決を図ろうとされていると思われますが、本当に生活に困り、金銭的にも時間的にも余裕が無い人は答えられないと思うので、そのようなことについても考慮していただけたらありがたいです。
- ・ 子供達の声をもっと聞いて欲しいです。今回のアンケートはとても良い取り組みだと思います。

2-2 2 保護者について

- ・ 年の離れた子供が二人います。下の子は幼稚園児で私立の補助金は出ますが、正直毎月赤字でギリギリの生活です。本当は子供たちをテーマパークや旅行に連れて行ったりしてあげたいのに、生活でいっぱいいっぱいです。申し訳なく思っています。
- ・ 親としての努力が足りていないと思う。
- ・ キャリアを考えるとどうしても子供との時間がなくなり、色々してあげたいと思うと制限により

子育てに関するサービスは受けられなくなる…という現実にもやもやとしています。

- ・ 子どもが父親に暴力をうけ、私の実家のある豊島区に転入しました。できる限りの対応、援助はしていただき大変感謝しています。DV・虐待対策について今後も力を入れてくださると安心します。よろしくおねがいします。
- ・ 子供を守るために様々な方法を模索していただき、感謝しています。学校入学の際の越境のおかげで、安心した友人関係の中で楽しい毎日を過ごせています。

2-2 3 希望・活力

- ・ 今は過不足なく生活できているが、将来への不安がある。

3 中高生保護者

3-1 不登校・ひきこもり支援

- ・ 子供が小中学生の時に起立性調節障害を発症し不登校を経験しました。起立性調節障害は思春期に発症することが多く不登校の原因の一つとなっています。周囲の理解も乏しいので、学校を通して理解を広げていただきたいと思います。
- ・ 不登校児の学校以外の居場所が少ない。適応指導教室以外にも、様々な体験や学習ができる居場所が欲しい。適応指導教室は楽しく通っていますが、人によって合わないがあるし、将来的にはいろんなタイプの学校が小中学にもできて、選択できるといいと思います。
- ・ 不登校支援をもっと拡充させて欲しい。西池袋中に不登校の学生の教室ができたが、区内全域に拡充または、誰でも利用できる体制にしてほしい。教育センターの柚子の木教室の活性化を希望。集団活動が苦手な子供も行きたくなくなるような体制にして欲しい。
- ・ 不登校児の学習機会の確保が大切と考えています。不登校特例校が区内に新設されることをぜひご検討頂きたいです。起立性調節障害などの体調不良で登校できない子供が増えています。また、オンライン授業での対応や、適応指導教室の増設も検討頂きたいです。

3-2 遊び場所・居場所

- ・ 子どもが中学生なのでだいぶ楽になりましたが、小学生低学年までは、とにかく、伸び伸びと体を動かして遊べる公園や室内施設(熱中症や雨の心配なく)が欲しかったです。ただ、地域のイベントなどもあり、楽しみながら育児できました。

- ・「子ども」でいられる時期は、ほんの一瞬です。全ての大人達が子どもであったように全員が通ってきた道です。公園で遊んでいたら(うるさいから)おまわりさんに通報された、中学生は危いから校庭で遊べない…わが家の実体験です。一方、高齢者は公園をのびのび使い、お風呂券を使いまくる…。そんな区に将来、今豊島区に住んでいる子ども達が住みたいと思えるのでしょうか??
- ・子供達があそぶ場で、喫煙をしたり飲酒したりするのはよくない。ただでさえ公園がせまいので、臭いを感じたりしてイヤな思いをしている子供達がたくさんいる。少しの声で大人達がうるさいと言ってくる。大人の方がよっぽどうるさいも守れていないのに…と思うことが多々ある。
- ・サッカー・野球などボールが使える広場を増やしてほしい。なかなか外遊びのできる広場がないです。広場があっても大人が多く、子供だけで遊びづらい。
- ・公園がイマイチだと感じます。古く地面が凸凹していたり遊具が少ない。
- ・公園の設備が古いと感じることが多いです
- ・学校の校庭利用について…子どもが小学生低学年頃の話なのでもう7年位前のことですが、サッカークラブで校庭を利用していた時、次に利用するテニスの大人(ほとんどが近所の高齢の方と思われる)たちが、子どもたちが利用するのを明らかに嫌そうな態度や言動で、毎回追い出されるように練習が終わるといようなことがあり、大変不快だったことを思い出しました。小学校の校庭を大人が我がもの顔で子どもを追い出して利用する感じに疑問です。子どもが優先されるべきです。子どもやその保護者が、肩身の狭い思いをして校庭を使うのはいかなものかと。数年経ちますが、きっとあの大人たちは今も変わらないのでは?と思います。
- ・豊島区は、子供が楽しく遊べる公園が少ない。①大塚台公園のじゃぶじゃぶ池等が無くなり、つまらなくなったと子供が。②自転車を練習する場所が無い。③中学生が友人同士で気軽に遊べる場所が無い。④事故をこわがってが、遊具がつまらない、他
- ・大人や中高生には便利な街で良い。小さい子連れ世帯への配慮もあるが、やはり都心のため幼児が思い切り遊べる場所が少ない。園庭がない保育園・幼稚園の子が、車が通る中教諭に連れられて公園に行く姿は、可愛らしいけれど子どもと教諭双方とも気の毒に思う。
- ・とにかく公園が少なく、遊び場に行くまでに遠路自転車をこぐ必要があり、外遊びの機会が少ないです。
- ・子供の遊び場が少ない。
- ・ボール遊びが、学校の校庭開放でしか出来ない。
- ・制約が多く子供が遊べる公園がない。
- ・自由にスポーツのできる広場や公園が少ない
- ・家から歩いて行けるところにボールが使える(壁当ても)公園があるといいと思います。
- ・球技ができる公園を増やしてほしい。(お年寄りが多いので)お年寄り子どもがふれあう機会が多くなるとよい。
- ・ボール遊びのできる場所がないと感じています。
- ・子供が安心して遊べる公園が少ないと感じています。
- ・子どもの遊び場(広場や公園)が少ない。だから小学校などの校庭開放を拡充して欲しい。
- ・子どもたちがボール遊びのできる公園がもっとあって欲しい。
- ・ボールやバドミントンなどができる場所が少ない。
- ・総合運動公園施設がない。
- ・中学高校生が小学校の校庭開放のようにサッカーやバスケなどボール遊びなどができる場が欲しい。
- ・子供が自由に遊べる場所が未だに十分とは思えません。
- ・子供が小さいとき感じたのは、体をたくさん動かして遊べる場所が少ない。公園は小さく、車道がすぐありのびのび遊ばせられなかった。
- ・地域での盆踊りやお祭りなど、他の地域より充実しているところもある。が、運営しているのが、ご高齢のボランティアの町会の方々だとわかっていてひとが少ない。
- ・中高生が自由に運動できる場所をもっと増やしていただきたいです。
- ・スポーツの出来る環境がない。バスケット等ボールを使い音のするスポーツが全くできない。
- ・ボールなどをつかえる公園の不足。
- ・どんどん公園でボール遊びができないので、サッカーのリフティングやボールさばき等の一人での練習ができないと困っています。毎日練習したいのにできる場所がないので、家の中でやって、ボールの弾む振動で下の階の天井が外れてしまう事件がありました。結局毎日練習するには、公園では怒られるので、こっそり家の前の道路でやって、サッカーの習い事を2つ掛け持ちしたりして、対処しています。小さな公園ではもちろん迷惑だともおもいますが、フラワー公園や千早公園などのグラウンドがあるところでは、できるようにしてほしいです。去年までは西部区民事務所のグラウンドでボール遊びができましたが、そこも自分のボールは持っていったはいけないそうで、そこに用意されているボールは空気が全部抜けていて、結局遊べないと言って使えなかったようです。

- ・公園などでもボールやバドミントンなど、小さい子には危なくなく自由に遊べる場所がもっとあるといいと感じる。
- ・「ふるさと千川」のような、サッカー等球技ができる公園が少ないので、練習したい子はお金を払ってクラブチームやスクールに通わざるをえない状況があります。ボール使用可の公園をもう少し増やしてもらえないか。子供が外に出ると親も外で運動する機会が増え、生活が健康的になると思います。
- ・遊ぶ場所がない。公園では不自由すぎる。ボール使えない等小学校の校庭が土でなくなったので行けなくなった
- ・子供がボール遊びなどを思いきり出来る公園があると良い。犬のお散歩に占領されたり、近所から苦情があるのか、すぐに禁止になる。ゲームばかりさせたくないが、外で思いきり遊べる場所がないので、どうすることも出来ない。
- ・公園の遊具の選定は、どのようになっているのか疑問に感じる。昔から今なお残る一般的な遊具が一番よい。ブランコと滑り台。形は、昔からある一般的な形のもの。色形に惑わされないでほしい。赤子と一緒に親も使います。
- ・豊島区は野球、テニス、サッカーなどのスポーツの場や自由に遊べる公園が本当に少ないです。テニスなどは団体申し込みしないと使えない公園のコートもあり、数も少なく本当に利用しづらいです。予約が取り辛く豊島区で水泳以外のスポーツができる機会を気軽に得ることができません。規約が多くキャッチボールなど自由に遊べる場もありなくて、文京区に遊びに行きキャッチボールなどしています。中高生が気軽に使えるコートや施設など公園の拡充を願います。ドッグランも作ってください。
- ・南池公園やイケサンパークなど、芝生の公園が増えてとても嬉しいのですが、子供達にとっては（特に小学中学年ぐらいから中学生）ボールを思い切り投げる蹴るできる場所が欲しいと他の親子さんからもよく聞きます。そういう場所を今後作っていただきたいと願っています。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。子供が通っていた小学校の学区内には小さな公園しかありません。そのため、遊んでいる子供を快く思わない大人の方に遭遇する事もあります。聞く限り、迷惑な遊び方をしていたと言うわけではありません。人口密度の高い地域なので仕方がないのかもしれませんが、子育てをする環境としては、窮屈に感じる時があります。また、豊島区内の公園では、老朽化が進んで使えない遊具や水道などを見かける事が多いように感じます。大人も子供も楽しめる公園づくりにぜひ力を入れていただきたいと思います。ご検討の程、よろしくお願いします。
- ・駒沢公園や砧公園のような広い公園がほしいです。
- ・高齢者のクレームに過度に迎合して公園から子どもたちを追い出さないで欲しい。
- ・ボールが使える場所を増やして欲しい。
- ・公園などが、大人使用になっているのでボール遊びやアスレチックなどと併設している図書館などあったら嬉しい。
- ・私どもは6年前に板橋区南町から引っ越しをしてきました。場所的には高松の隣だったので、生活圏は変わっていませんが、板橋区側には交通公園などもあり、子供達が遊べて、学べる公園があったので、『日頃感じていること』でも述べたように、サッカーの一人練習ができるぐらいの場所がないと、豊島区の子供の体力は確実に低下していくと思います。
- ・フェンスで囲まれなくてもボールが利用できる公園を作って欲しい。
- ・中高生でも子供たちが安心して遊べる場所を屋外にもあるといいと思う。
- ・貧困層へのこども食堂や寺小屋的な勉強サポート（無料）が地区ごとにあるといいと思う。家庭の貧困で子どもの夢をうばうことのないように、又、公園もちゃんとしたブランコ（大人がのれるような）ものやすべり台などで、中高生がいる場所や小学校高学年も居られる場があってもいいと思う（遊具が幼稚園児用すぎる）子どもの安全というより大人がケガへの不安を減少させたいだけの安全=公園になってないか）
- ・息子の周りやママ友の話から、学校に行きづらいなど不登校の話が多く挙がる。学校やクラス以外の居場所を選べるようもっと環境づくりをしてほしいと思う。
- ・子供無料の観劇や音楽鑑賞、イベントなど区内の施設で行ってほしい遠くに行かなくても豊島区内の施設で 区民無料等で楽しめるようになれば素晴らしいと思います。
- ・全体的に満足しております。我が家は音楽の集い、ソフトボール大会など有意義なイベントにも参加させていただき本人卒業、弟ももうすぐ卒業となります。日頃触れないような分野も体験でき、貴重な何よりよい成功体験となりました。本校ではどちらも年々参加者が少なくなっているように感じます。もう少し、保護者の方々が積極的に参加できるよう区でもオープンな声かけがあるとより PTA への参加がご理解いただけるのかなと思います。

- ・中学生の放課後の居場所としてジャンプがあってありがたく思っています。1箇所ではなくこういった居場所が増えて欲しいと思います。
- ・大きい子供(高校生・大学生)が遊べる広い場所がもっとほしい、バスケットボールパーク、キャッチボール他、小さい子供用はけっこうあるのに区内にはない。遊びに来る人で街も若返り、活性化もするのではないかと。駒澤公園とかのような、造幣局のような広い場所がある所に出来るウワサも聞いたのですが結局は小さい子供用。ジャンプ以外はないのでしょうか?街に行くしかないのでしょうか?選択肢がない。
- ・わが家の子ども達は生まれた時から、豊島区民です。保育園の先生、小学校の先生と大変お世話になりました。現場の先生方には感謝しかありません。高齢者が喜ぶ施策はもう充分だと思えます。未来ある子ども達を長い目で見据えた政策を重視する時期に来ていると思えます。わが家の長男は「将来外国に行く」と宣言しています。それほど(中3でもわかるほどに)日本の危機を感じているのだと思います。一自治体の力は小さくとも現場から変えていけることもたくさんあると思えます。職員の皆様、応援しています!これからもよろしくお願いします。
- ・友人の乳幼児育てているママから、子ども家庭支援センター(特に西部)、自転車置き場に屋根なく、夏は激熱になったチャイルドシートに児を乗せなければならず、危険(やけど、熱中症)でつらい。冬は手洗いの水が湯がでないため、冷めたい水で洗わなくてはならず、乳幼児妊婦には、過酷ときいたので、改善、工夫してあげてほしい。イケバスを東西の子どもセンターにも行けるようにしてほしい。今のバスだと、時間決まっていて、全く使えないので!
- ・としまの森観察やJrリーダーなど色々な講習があり何回も参加しています。子ども中心のイベントがもっと増えると嬉しいです。
- ・公園整備は大切なことで良いのですが、球技ができる場が少なくなします。特に中・高生や大人が使える所は、ほとんどありません。また、時間でロックされてしまうので、使用できる時間も少ないです。特におどろいたのは、年末年始に子供と出向いた際、ロックされているのには呆れました。お正月は、親子で遊べるチャンスなのに、遊び場を閉鎖するとは?年末年始は、開けておいてほしいです。あと、大塚台公園のジャブジャブ池を数年前に撤去してしまいましたが、その後、ただの広場?になっていますが、非常にムダなスペースだと思います。あそこそ球技ができるようにしてもらいたいですね。
- ・プレーパークをもっと充実させたら、子育てに生かせると思います。
- ・図書館のような静かな自習室が「ジャンプ」にあると良い。検討よろしくお願いします。
- ・フラワー公園の真ん中の山の下に多く置かれている乗用玩具、三輪車のようなものは区で管理していますか? 小さな子どもが乗って山を下っているのを見たことありますが、危険はないでしょうか。
- ・問い合わせに対し大変丁寧で、住み始めてから今までの間でも対応が良くなってきていると感じます。さらに、制度や施設の人の対応が良くなることを期待します。
- ・体育館などの区の施設が近くにあっても、基本はプログラム予約制または、団体登録必要なものばかりで、いつでも気軽にちょっと利用できるような施設がなく、なんの恩恵もないまま幼少期の子育ては終わってしまった。税金は払っているのに、いったい誰のための施設なのか?と、いつも疑問に感じていました。
- ・中高生が通えるジャンプを巣鴨にも作って欲しい。
- ・人口密度が高い為 他の区のようにはいかないのでしょうが公園やスポーツ施設の多くある他区をみると羨ましく思います
- ・以前文京区に住んでいた際、児童館が充実しており、乳幼児のプログラムが毎日充実していた。2歳以上の幼児クラブもプレ幼稚園の様に内容が充実していた(保護者同伴で遠足や運動会あり)が、10年ほど前に豊島区に引っ越して来て区民ひろばの乳幼児プログラムが月1くらいしかなく愕然としました。区が違うだけでここまで幼児教育に差がある事がわかり豊島区は幼児教育に予算を割いていない事にビックリしました。

3-3 学校・教育

- ・学校に行っていないが、インターネットで知合った友達との交流はあり全くの独りではない。本来の性格は強く全面に出せばきっと上手いかわないのが分かっているので学校に魅力を感じないのだと思う。学校では上手いかわなくても世の中に出た時にはどんな事があっても生き抜く力はあると思っている。
- ・不登校生徒へ心ない言葉を投げかける私立中学教師に対し、厳しい行政指導(懲罰も含め)を是非お願いしたい。
- ・高校受験できる学校が減ってきていて(特に女子)、皆が中学受験やお金のかかる塾への必要性が出ていることの不安。子供達の教育制度を見直して欲しい。
- ・お受験や、中学受験する人が多くて、子供たちも大変だろうなと正直思っています。

- ・ 小学校の給食無償化給付金は、ありがたいが、それよりも学童や小学校のスタッフ、教員、支援員を増やしてほしい。学級にいろいろな個性の子どもがおり、多様性を認める世の中になってきているものの、個に対応できるだけの学童、学校のスタッフ、教員の人数が確保されていない。
- ・ 昔と今の教育の考え方が違ってきていることで良いのか悪いのかわからないことがある。何が1番大切なのか人それぞれ感じ方が違ってしまい、子育ても、伝えていくことが難しく感じる。
- ・ 中学校の先生はあまりたよりにならないと感じた。
- ・ スマートフォンやタブレットの時代の子育てに日々苦勞があります。家庭でルール作りをしたり、子どもとの約束で守らせるように頑張りはしていますが、学校や自治体でも使いすぎは自分の大切な時間をうばわれていることも啓発活動といいますが、呼びかけポスターなど作成して、スマホから離れるメリットなど、子どもに教えて欲しいです。
- ・ 小学校、中学校の先生方の意識の低さが気になります。子どもが小学生の時のコロナが流行り始めの頃、授業中もマスクをさせていたら音楽の授業で外すように言われて外した途端に体調を崩して（当時）原因不明の高熱と咳で入院し、髄液まで採る事態になりました。当時は学校中で咳や高熱の症状で休んでいる子どもがいたのにも関わらず学校で対策を取らず、親がマスクで対策をしているのにマスクを子どもに外させるという意識の低さ。また中学生になってからは熱中症対策として塩飴を舐めさせて登下校させていたら、先生から注意を受けて熱中症対策もさせてもらえず。熱中症で中学生の死者が出てから日傘など持参が許可されるなど。何か大きな事件や事故がないと対策されない、保護者監督の元にしている対策を全て否定する学校に疑問を感じています。
- ・ 公立中学校に進学したいと思う様な魅力ある教育の実施をお願いしたいです。
- ・ 中学受験を経て区外の中高一貫校に通わせているが、自身の若い頃と比較すると公立中学から高校に進む際の選択肢が狭まっているように思える。
- ・ 失礼な言い方ですが、公立小中学校の先生(教頭、校長含む)の質に差がある。子どもにとって貴重な一年がそれによって大きく左右されてしまうことを何度か経験しているので、問題が起きたら、いちばんは子どものために対応してほしい。隠す(公表しない、おくれる)など言語道断。
- ・ 部活動への力の入れ方が学校や競技によってかなりばらつきがあると感じている。学校の先生が不足している。
- ・ 教育格差がすごいと思います。お金や時間をかけて勉強や習い事をたくさんさせている家庭とそうでない家庭。
- ・ 豊島区だけのことではないですが、高校受験のための内申制度が子どもの主体性を減じていると思います。1年生から内申点の評価方法を説明され、子ども同士でもそのような話題が多く、内申に反映されるものだけがんばる、反映されるからやる、という意識になっていることに疑問を感じます。
- ・ 学校の先生方に負担になることは望みません。ただ学校教育の更なる充実を期待しています。
- ・ 学校教育が過去の踏襲でなされ、全て前例有り無しで動いている。これからの未来に羽ばたく子どもの育成の場で、未来を見ずに顔を見てアプローチされているところに未来を感じないなあと。
- ・ コロナを境に学校での行事の制限がなかなか元に戻らず、以前に比べると消極的になっている印象を受ける。
- ・ 中学校の部活が縮小している。
- ・ 勉強についていくことができず、学校以外での学習・教育費用が嵩み家計を圧迫している。ギリギリ助成が受けられる所得ではないため、高校の授業料負担も大きい。
- ・ 小さい頃から通院することが多かったため、18歳まで医療費無償化になったことが大変有難い。心から感謝している。
- ・ 発達障害の有無に関わらず、小学生のうちに身近な具体例から、社会にはどのような福祉制度があり、どのように申請するのか、税金はどう納めるか等、お金に関する常識を教える機会を断続的に設けてほしい。
- ・ 学校教育の充実を望みます。望に通わなければ進学できない現在の状況を改めて欲しいです。
- ・ 小学校の給食が登校日のほとんどにあるのは本当に助かります。給食費等の問題もあるかと思いますが色々なメニューがあり子どもも楽しみにしています。中学生の学費がとにかくかかります。発達障害があり、個別指導の塾や家庭教師など集団では配慮の届かない子どももいますので何らかの助成があると助かります。タブレット配布が早かったこともあり子どもが活用できていると感じます。教職員の方々の負担が大きくないかも不安ですが…。
- ・ 不登校の国の支援の仕方が間違っていると思います。不登校の講演をされている先生方も話をしていました。不登校の子の居場所づくり…不登校の子供が最もいたい場所。それは、単なる場所の確保ではありません。本当に居たい場所は、お父さん(片親の方はとなりです)、お母さんの間です。そこが安心の場所があり、そこから生きる力が湧いてくるのです。日本も早く義務教育で心理学を教えて下さい。日本だけだそうですね。心理学を教えないのは。だから、こんなにも、人の気持ちのわからない人間が増えて、相手の気持ちを理解しようと

しないから、いじめや残虐な事件が増えるのでしょう。もっと、お金の支援をしたりするのではなく、人間1人1人が変わっていけば、おのずとよい街に変わって行くと思います。これを聞いて、それなのに無理と思ったのだとしたら、よい街なんてつくれないと思います。出来ない事を出来るにしないと、物事に変わりません。豊島区が国に、かけあって下さい。1人1人が心理学を学ばば、人に優しい人間が増えていきます。(かんちがいされたくないの、一言宗教ではありません。)心理学を義務教育に入れると、政治に支障が出ると聞きました。人をコントロールできなくなるから。不登校が増加しつづけ、国も区もいろいろな対策を考え、相談窓口をつくりますが、相談したところで、不登校の子は学校には行きません。そして、不登校の親が、ネットサーフィンをしたどりつくのは、同じ境遇の方の話を読んだりして学ぶこと。そして、そこで、不登校の子のかかわりで一番大事なことに気づくのです。心理学です。何年も苦しみのどん底にいる親が気づくのです。そして、親が変わり→子供も変わり、不登校から脱出して行くのです。今考えるとそうですね、心が病気になる、不登校になっているのですから、心(心理学を)を学ばなければ解決法などみつけられなかったのです。だから1日も早く、義務教育で心理学を学ばせて下さい。そうすれば、自分がつまづいた時、どうするかが、1人1人が分かっているの、自殺なんてしないと思います。よろしくお願い致します。

- ・ 学校閉鎖のような事態には区も対応して欲しい。
- ・ 公立中学校の制服、夏、冬のスカート必要ですか？制服は高いのでオールシーズン使えるものでお願いしたい。
- ・ 区はまず、25人学級の実現を目指したらどうだろうか？そして、小学校1年生から、5時間授業があるが、まったく子どもの個性を無視している。本当に集中して学力をつけるのなら、高学年でも、6時間は、ムリだと思う。午前中に4教科+道徳を学習し、午後は、学童に依託する、そして、学童で、ピアノ、英語、スポーツ、美術など個に合ったものを学習する。その間、学校の教員は翌日の授業の準備をする、そのようにすれば、個に合った、質の高い教育ができ、子どもの居場所もできるのではないか。あと、土曜授業はやめるべき、子どもに、これ以上、詰めこむのは無理。保母者、教員、負担も大きい、第一、教員は、自分の子育てと両立できない。
- ・ これは区だけではなく自分が中高年になり、眼が本当に疲れる、スマートフォンでなんでも出来る、というスタイルはやめて欲しい。なので子どもにも、タブレットとかをやめて欲しい。自分は会社員時代、PCでずっと仕事をしていて今とても後悔している(眼が疲れて)子どもないて取り上げてもスマホをいじるのだからタブレットなんて、与える必要もないしそもそもスマホによる思考力の低下、紙の辞典と、スマホでも調べものでは脳の働きがまったく違う、(スピードではスマホだが、脳は働いていない)とか、研究されているのだから、これ以上、子どもをスマホにしないで欲しい大人も。

- ・ 貧乏なのは子ども時代の怠慢なせいだと思う。勉強して将来困らないように教育するべき。もっとレベルの高い学校を作って欲しい。
- ・ 日本の教育が遅れていると感じていました。英検2級以上の生徒でも0からスタートしないといけないこと。選択の授業がない。学校生活などをもっとおもしろくすることができのでしょうか？
- ・ 中学校ら豊島区のチャレンジだと思います。自宅近くの区立中は、設備は整っていますが、ここに通わせた場合、塾に通う受験対策だらけの三年間になることが明らかであったため、それを避けるために中受をさせて区外の公立校に通わせることにしました。この選択はうちの子供には適していたと思います。区立中学の指導力が素晴らしいければ、地元に通わせたと思います。
- ・ 生徒の人数の少ない学校は統合した方がよいと思う。その分、施設を綺麗にしたり教育を充実させたりした方がよい。
- ・ 民間の学習塾に通う補助などでもいいので、中高生の学習をサポートしてもらえるような、サービスが欲しい。
- ・ インクルーシブ教育を取り入れて、分ける教育をなくしてほしい。
- ・ 中学校を増やしてほしい。
- ・ 今現在、高校生の子でもでなく、中学生の子供が部活の先生から、暴言を吐かれたり、ムシされたりしている。校長先生から注意を受けたにもかかわらず全くかわらない。どうにかして欲しい。
- ・ 他の区でもあるが、中学生を海外に派遣する制度を作って欲しい。
- ・ 教育に関して色々取り組んでいただいていると思います。
- ・ とにかく公立校の質が悪く驚いている。親も小中学と豊島区立校出身であるが、私の時では考えられないような教師ばかり。自分の機嫌でキレる教師(叱るのではなく理由をこじつけたストレスをぶつけている)、好き嫌いで差別する教師、そしてなにより勉強の教え方が下手すぎて信じられない。豊島区内にある学習塾の豊島区公立校への評判や授業の仕方への考えなどを一度調査した方がいいと思う。また学童の質も最低で他の23区や東京都以外に住んでいる知人に話をすると驚かれる。子供への言葉遣い、態度、子供を教育する立場にある大人とは思えない。自分の言うことを聞かない子供へのあたりは強く、自分たちの言葉遣いや態度を棚に上げ、大人の真似をしている子供たちにキレ散らかす。

- ・教育や子育てについて、これといった特色もなく、とくに注力しているとも思えない。
- ・PTAの代表者が保護者の代表だとも思わないで欲しい。当事者の声を聞ける仕組みが必要だと思います。
- ・中学の部活が充実して、行えるように学校に援助して頂けるとありがたいです。
- ・学校の仕組みに合わない子供たちへの支援を区が率先して行なって欲しい。

3-4 放課後対策(学童・スキップ)

- ・子どもスキップは日曜日が休みです。ひろばへ行くと小学生の扱いが邪険にされていると感じます。小さい子もいると思いますが改善して欲しいです。中高生センタージャンプにはお世話になっております。子どもにもよるとは思いますが息子(中2)は楽しくすごしているようです。
- ・放課後安心して子供達同士で交流出来る場所の充実。
- ・保育園では大変お世話になりました。先生方もすばらしく助かりました。小学校の放課後の学童については、もう少し長い時間いさせられたら、仕事との両立がしやすく経済的にも(民間の学童等に頼らず)頑張れたのという思いがあります。子供たちが大人になった時のためにも考えて頂きたいです。

3-5 保育園

- ・区立の保育園に通わせていました。素晴らしい園で子供もとても楽しく通っていたのですが、先生がとてもとても丁寧に対応してくださるので、負担が大きいのではと、少し心配でした。
- ・保育園がありすぎて、0歳児クラスが埋まらない為、困っている。
- ・16才になる子どもを育てていますが、この子が産まれた時期は豊島区の認可保育園にはなかなか入園できない状況でした。認証保育園に入園させる事ができましたので仕事は続けられましたが最近では豊島区の待機児童数は非常に減っていると伺いました。とても喜ばしいことだと感じています。子育てしやすい区であれば若年層の居住率も向上すると思います。よろしく願いいたします。

3-6 幼稚園

- ・豊島区では、保育園はありますが、幼稚園がなくバスで違う区の幼稚園に通わせていたので、豊島区にも幼稚園ができたなら近くて、近場のお友達もできて、そのまま同じ小学校へとお付き合いも広がっていくと思ったので、ぜひできたらいいなと思いました。

3-7 子育て支援サービスの充実

- ・高収入対象外ではなく、とも働き家庭の子育て支援事業を拡大しないと、細やかな子育てはムリだと思います。昭和の時代と比較して、親は多忙でつがれています。
- ・子どもは世界の宝です。いろいろな制度があることにとても感謝しております。ですが残念なことにまだまだ認知は少なく、時間もなく、係によっては心をきずつけられ泣いて帰ってくることも多く遠のいてしまいました。
- ・豊島区の端に住んでおり、近くの新宿区の施設をよく訪れます。子供の数が多ければ、サービスが充実するのかわかれます。
- ・私が第一子の子育てしていた時と第二子の子育てしていた時と今では、明らかに時代が違っているように感じます。0~7才のニーズを汲み取ってあげてほしいです。
- ・親はバブルの恩恵を受けた最後の世代であり、故に最も重い社会保障等を科せられ、子育て支援からも漏れた世代。現在高2の末子でギリギリ支援が届いてきている。上の世代から見ると、今の子育て世代は幸せ。しかし、このままでは子の年齢上がるにつれ辛くなるだろう。
- ・シングルの家庭や、収入の不安定なご家庭の子供達の支援を積極的にやってあげてほしいです。学習支援も含めて。教育しか、豊かになる方法や危険な環境から回避する方法はないので。
- ・子育て支援、高校生まで医療費を伸ばして欲しい

3-8 病児・病後児

- ・小児がんサバイバーなど見た目はわからない内部疾患を抱えた病児療養児に対する支援が手薄だと感じています。

3-9 障害児への支援

- ・収入は、会社役員として働いている為、それなりに頂いていますが、3人子供がいてその内2人が病気があります。2人とも保険適用されない治療が必要でとても大変な思いをしています。経済的にも心理的にも。その相談を区に対してした事もありますが、なんの援助ももらえませんでした。相談すると「確認して後日書面が何かで連絡頂ける」といわれ数ヵ月後に残念ながら…や何の連絡がない時もありました、今回の様なアンケートを行っていて建設的に進めて頂けるならもっと当事者の意見を知ってほしいと思います。区立の小中学校で教室で学習出来ないのに、その為の体制がなかったり、先生に知識(子供の学習障害やディスレクシア)がなかったりして、義務教育を受けられない子も多くいます。病気で相談窓口に行っても話を聞いた

後、「かかりつけの先生に相談して下さい」と言われただけの時に仕事しているふりだけならやめろと本気で思いました。相談しても判断出来ないのの後日連絡ばかりで助けられたと感じた事は1度です。その時の方には大変感謝をしています。多くの人が同じで相談しても…と考えてしまうと思います。どうか相談→結果の過程を見直してもっと当事者に情報共有してどういった理由で協力頂けないのか頂けるのか、何が必要なのか具体的に話を出来る様にしてもらえればと思います、病気に関しての相談のレスポンスは全国的にあまりにも不透明で病院と役所の間を病人が何十回と行き来しているのがとても大変です。

- ・ 障害児の居場所などが少なく、仕事を続けながら障害児の子育てをするのには相当な努力が必要だと感じています。
- ・ 息子が将来自立出来るか心配です。小学生低学年のとき「自閉スペクトラム症」との診断が出ています。
- ・ 児童相談所ができたが、障害児への支援は不十分と感じる。移動支援も、放課後デイサービスも入らず大変困っているが、学校を含め相談する場所がなく、非常に困っている。
- ・ 障害の手当てをいただくなどの手続きで半年に一度くらい毎回ほぼ同じ内容の書類を記入して提出することを求められます。デジタル化して、本人であることを前提に、変更部分のみの更新を行うなど申請を容易にしてほしい。
- ・ 発達に問題があるお子さんには、ただ立って見ているだけの名ばかりサポーターではなく、きちんとしたサポートをしてくれる方をつけて(卒業するまで)、真面目に頑張っている子供たちが、楽しく安全(物を投げられたり、突然暴力をふるわれたり、暴言をはかれたり、暴れて巻き込まれたりしない環境)に学校生活を送れるようにしてほしいと切に思います。普通学級で、問題ばかり起こすのなら、保護者の方を説得して、通級などに行ってもらいたいです。
- ・ いつもありがとうございます。障害児や親が、差別や排除などされずに暮らせる地域となることを願っております。
- ・ 障害児の学校を増やしてほしい。障害児の学校が終わってからの受け入れ先を増やしてほしい。
- ・ 障害児がいます。デイサービスなど希望日数を利用できないので増やしてほしい。卒業後の進路についても近くでグループホームb型など増やしてほしいです。
- ・ 児童相談所ができたが、障害児への支援が不十分と感じる。移動支援も、放課後デイサービスも入れられず、大変困っているが、学校を含め相談する場所がなく、非常に困っている。私立や東京都の支援学校に通っており、区のサポートを受けた

ことがない。相談しても対応できないと言われた。また、過去に障害児の親は仕事を辞めて家庭に入るのが普通と言われたこともある。不満しかない。

3-10 医療・健康

- ・ 薬剤師です、高校生まで医療費無料はありがたいのですが持続可能な政策をしてほしいのでせめて先発薬代なら差額を払いたい。(払ってほしい)。子供達が親の立場になった時の財源を少しでも残してほしい。子供が無料の時のみ先発で有料になったらジェネリックにする人がほとんど。せめてプラスアルファを払ってほしい。老人の窓口負担も高くなるのに、続けることができるように、そして不必要な医療が増えないように。かかるだけかかって薬をすてている人もとても多い…(子どもにかぎらず負担金が少ない老人の方もですが)。のんでないとDrにおこられるから副作用がこわいから、etc。現金は子供につかわれないのをよくみる、これ以上増やすのは現金じゃない方がいい。現金より給食費、教材費無料の方が全ての人に、めんどろな手続きなく負担がへる。また単身赴任で世帯分離すると収入減とみなされてたくさん無料になってラッキーという人もまわりでよく聞く、もっときびしそうな人はたくさんいるのにでもどういう判定するのかわからないのでモヤモヤのみです。
- ・ 地域に子供と大人が通える信頼できるかかりつけ医(小児科と内科が同じ医院の中にある)があることは、共働きの子育ての中で大変助けになった。
- ・ 医療費助成がありがたいです。
- ・ 医療費無理は高校卒業までであると、助かります。
- ・ 区内に大きな病院がない
- ・ 年末で地域医療が閉院します。小さい頃から安心して行って日常生活を過ごしていたのに不安です。地域病院の継続を出来るようにしてほしい。かかりつけ医があるからこそ日々生活が安心して過ごせます。本当にショックで困っています。
- ・ 男子へのHPVワクチン接種も助成していただきたい。
- ・ 東池袋に、公園や、新しく開発されるものが多いように感じます。西池袋方面にも、もっと、緑化・公園など、建物よりも、防災も視野に入れた、広いスペースを拡充してほしいです。駐車場完備の総合病院も、考えてほしいです。小さいクリニックばかりで、同じ科だらけです。
- ・ 子供に限らず、夜間、休日診療に関して手簿。おとなりの文京区によくお世話になっています。
- ・ 男子の子宮頸がんワクチンの助成を検討してほしいです。

- ・土日診療を増やしてほしい。
- ・高校生までの子どものインフルエンザワクチンの無償化をお願いしたいです。

3-1 1 ひとり親家庭への支援

- ・ひとり親のため年子男子の子育てが難しい事がある。成長期のため良く食べるし洋服のサイズアウトも早い。2人共中高一貫校へ行っているため学費もかかる。
- ・夫のDVモラハラで別居中。夫の収入が1300万のため、何の補助の対象にもならず、子ども3人かかえて私は派遣社員。ひとり親になりたいくても、夫が離婚に承諾しないので苦しい生活。子どもに申し訳ない。
- ・豊島区が行うフードバンクを利用させてもらっていて、とても助かっています。離婚により、ひとり親となりとにかく大変な時に、いろいろと助けて頂きましたことを感謝しています。
- ・ひとり親への支援、子どもが大学まで勉強できる環境をサポートしてほしい。

3-1 2 経済的支援

- ・貧富の差が激しい。
- ・子供達が平和に楽しく過ごせれば、親としてはホッとできると思います。給付金とかは本当にありがたいです。生活苦の時は助けてもらいました。それでもコロナで仕事がなくなったり、自分の母親の介護なりがあり、仕事もしずらかったり悩みは、つきませんが、豊島区は、生まれて育った所で良い町だと思っています。ずーと地元で生活していきたいのが本音です。
- ・児童手当が、高校になっても金額を減らさないで欲しい。高校へ進学する子供は多いと思うから。医療費も20歳まで、かからないと大変助かります。
- ・支援がさまざまあり大変感謝しています。給付金はもちろんのこと、お米券はとてもありがたかったです。学校行事のひとつである移動教室もコロナ明けの翌年から1泊で短期でしたが充実した支援に子供達は大変うれしそうでした。給食費無料化もありがとうございます。
- ・定時制高校に通っているので通常より卒業が1~2年先になってしまう、その間は、高校生であっても援助が受けられなくなり不安です。
- ・子育ての給付金等、子育て家庭には大変助かる事ですが、年収制限が低くすぎると思う。東京で暮らすのに必要な生活費・住居などが多額な上、中・高生ともなれば、学校外での学習の費用、又、私学に入った場合もそうとうお金がかかります。未習学児には手厚いようですがもっと成長してからの方

が費用負担が多いということを考えてほしいです。

- ・少子化がすすむ理由としての1番は経済的な事だと思います。収入の金額にかかわらず、手当を厚くして頂けると助ります。子供にかかる金額は贅沢をしなければ一定です。高校生まで医療証を出して頂いて本当に感謝しています。
- ・子どもが3人います。高校、大学まで進学させようとする塾代もかかり、まったく余力が経済的にありません。
- ・だんだんと子育てによる援助が進んでいて、私もギリギリ少しのところでひっかかって手当てをいただいたりしているが、(給食員補助など)、子どもがまだ小さい子育て真只中の時にはなかったので、不満、不公平感が残る。第3子手当てについても同様。自分の時には3人いても、何もしてもらえず不満のみが残る。今までもらっていない人、さかのぼって積金調整してもらいたい。
- ・小学校から千代田区にある私立に通っておりま。千代田区は収入に関係なく平等だと強く感じます。予防接種(インフル等)等は無料にして欲しい。貧乏人ばかり庇護するのはやめて欲しい。単身で働いている主人が家族にも会えず働いているから収入があるだけでさほど働かない人に援助するのはいかがかなと思う。
- ・高校生、大学生へのサポートも充実させてほしい。教育費が高額で大変です。双子家庭のサポートがされていないのが残念。
- ・子育て支援に関しては、所得制限をなくしてほしい。
- ・年収による、子供への手当は差別せずに、全ての子供を平等にしてほしい。年収で手当などがもらえず、生活が苦しい時がある。
- ・中学生までは児童手当など補助金があるが、一番お金のかかる高校から大学までの補助金制度がより充実されれば親として大変助かります。娘3人が全員大学まで無事に進めるには、本人の勉強の努力と親のサポートすなわち経済面での協力が絶対になるので、そこでいくらかの助成金等受けられたらとても安心して子育てに専念できます。
- ・児童扶養手当の資格要件で、食料品などの物価が高騰しているにもかかわらず、手取りの収入の上限金額が192万円のままでは、家賃の支払いや光熱費を差し引くと、とても生活ができない。特に介護離職者にとっては、国民年金や健康保険の支払いも辛く、豊島区に住み続けるのは厳しい。
- ・高校は授業料補助があるため頑張れば私学も選択肢に入れられましたが、大学はかなり厳しいです。お金がないから大学を諦めなくてはならない状況は優秀な人材を見捨てることになると思います。大学授業料無償化や返金しない奨学金制度の拡充してほしいです。あと、新築住宅は単身者用

ばかりで家族用がほとんどないので、子育て中でも住み続けられる住宅の用意と家賃補助制度があるといいと思います。

- ・ 豊島区は子育て世代の居住を歓迎するとしているが経済的余裕のある子育て世代、家庭の受け入れを歓迎しているだけ。ファミリー世代向けの家はタワーマンションばかりであとは税金を多く取れる単身者向けの住居ばかり。ひとり親や経済的余裕がない家庭が住めるようなマンションアパートはほぼない。
- ・ 子供がいることでの経済的負担が大きすぎるため、二人目はあきらめました。払うだけで、手当から除外されている世帯は、同じ気持ちだと思います。早く仕事を辞めて、手当をもらう立場になりたい。
- ・ 生活がきびしいのは成人している子供2人が無職になった為。春から秋まで一時的なものだが、税金等支払いより子供達への援助を優先した為。今月の中旬から仕事が決まったので来年からは夫婦2人の収入でやっていけると思っている。そういう時に一時的に支払いを延ばしてもらえるととても助かる。
- ・ 出産お祝いなどの充実望みます。
- ・ 0～15才までの児童手当を貯蓄しても正直高校から大学への進学には大した足しにはなりません。高校からの方が色々な意味でお金がかかる、規定よりも年収が少しでも多ければ手当でももらえず頑張って働いても底辺の生活となります。時に正社員として働いている事が馬鹿らしくなります。
- ・ また、年収制限の計り方が、世帯主の年収で決めています。世帯年収で父700万円・母500万円の世帯などは計1200万円ですが、給付金もらえるのは、ちょっと変ではないでしょうか？実際我家は、父が少し制限をこえてしまっているのが対象になりませんでした。世帯年収で考えたら、我家の方がもらえないとおかしいと思いました。この矛盾を是正していただきたいです。
- ・ 最低賃金のお給料で頑張って子育てし生活している家庭があるのに、生活保護なのに、何故か裕福な生活をしている家庭があります。生活保護の受給金額について、見直されるべきではないでしょうか。
- ・ 国も子育て異次元緩和をようやく開始しようとしています。高校、大学まで無償化又は経済的に過度に負担にならない仕組みにすることが、出生率を上げる課題の主要因だと考えられます。
- ・ 高校生医療無料はギリギリひっかったが、上の子は卒業してしまったし、給食費も今まで支払っていた。不満と不公平感はある。年収もギリギリのところが無償化もつけられない。今まで子育てではなく仕事優先で生活してきて、時間をぎせいに

してきた人もいる。ギリギリ手当でなどもらえるライン。今まで払ってきた人は、本当納得いかないと思う。子育て本当にお金がかかるのは、高校生～大学生の間その間に手当がないのはつらいです。910万以下(私立無料などで)わざと働かず、世帯年収を調整したほうが、本当の豊かさを手に入れることができると思う。その分、自分の時間や、自分の子どもに使うじかんをつくることのできると思うので。そのように調整している人が、一番得をして、働いてしまうと、税金は増える、手当はなくなる、自分の時間がないの悪循環である。その為、妻の年収を下げる働き方にするか、検討する必要があると思う。日本はここがダメ。努力した人もきちんと公平にしてほしい。私は3人いたけど、年がはなれていたし、手当で全くナシ(豊島区)3人いたら、手当で厚くするとか。もう子育て終わってしまうから、今更ムリだし、今後そうしたら不公平感しか残りませんが…。3人いても得すること、なかった子育てでした。ザンネン

- ・ 年収で切って子育て支援がもらえないのはおかしい。子育ては平等なはず。
- ・ 都営住宅の拡充低所得者への家賃補助豊島区で2人世帯の家賃は高いです。現在、生活保護受給中、子供は知的障がい、私も障がい手帳を受給しております。就労は考えていますが、家賃の心配・不安があります、せめて安心して暮らせて場所がほしいです。
- ・ 土地が高すぎる。家が建てられない。豊島区に住み続けたくても住めない。
- ・ 幼少期の教育費よりも、大学や専門学校、塾などの費用の方が多額です。子供たちが自分の夢を叶えられるように、18歳以上の子にも支援をしてあげてほしいです。
- ・ 子ども支援に収入制限がかけられていた際には、不公平感(高収入だと税金も高く、苦しかった)を感じました。非課税世帯＝低所得世帯ではなく、かなりの割合で、節税世帯が含まれていることを区別して補助金を配分してほしいです。
- ・ 所得で児童手当を制限しないで欲しい。
- ・ 子育て支援に係る経済的助成に所得制限を設けることは辞めてほしい。
- ・ 高校の私立無償化の対象者を増やしてほしいです。
- ・ 区独自の奨学金制度の充実を図る。
- ・ 就学援助などの制度の基準がギリギリのところ、なかなか審査に通らない。自分達で自立したくても出来ず、親に頼る一方。
- ・ 高校進学時の費用支援。
- ・ どうか親の年収での児童手当制限をかけたりしないでください。子供全てに平等に手当が渡るよう

にしてほしい。子供の当然の権利です。流石に不平等すぎます。

3-1 3 情報提供・相談支援

- ・我が子には、発達障害があります。気軽に相談できる窓口、同様な悩みを持った親同士の交流の場などを今より多く利用できる環境があるとありがたいです。
- ・高学年になったり、区以外へ進学するとどうしても子育て情報が入って来ないので、駅等(スーパーetc)で支援について発信していただけると幸いです。
- ・誰でもすぐに相談できるネットワークが身近に感じられると嬉しい。匿名でささいな事でもアドバイスを受けることが出来たら利用したいと思う。
- ・区内の小学校に通っているときは学校を通して、豊島区との接点を感じられるが、私立の中学校に通い始めてから子供の教育などに関するほとんど情報が入ってこない。子供たちも地域から離れてしまうように感じる。
- ・教育センターにお世話になっているので、相談出来る場を作ってくれて感謝している。なるべく担当の先生が変わらないで欲しいと思っている。
- ・子供の成長途中から豊島区に引っ越ししてきたが、私立学校に通っているため同年代の方との地域の繋がりがなく、買い物や生活するのに不便に感じるがあった。
- ・小学校のとき、我が子が学校の特別支援教室に通っている子と仲良くしていたら、別の同級生の保護者から、あの子は特別支援教室に行っている子だよ。仲良くするのは控えた方がいいと言われた。あけすけな差別発言に驚いた。全員一律一緒になければならぬ意識を持つ親がとて多く、平均より劣る様な感覚を持たせる名称はやめたほうがいいし、理解を深める活動をもっとしなければ子どもが多く心の無い大人に傷つけられダメになってしまう。
- ・豊島区で子育て政策をいくらかさん用意しても、その周知が広報だけなど、十分でなければ知らないことが多く利用するには至らないと思います。大事な予算を使って、せっかく良い人材を用意していても、利用者が知らなければ何の意味もありません。お金の使い方として勿体無いと感じます。また、施策を用意していますから利用したいならどうぞ連絡してください、という利用者任せのスタンスより、もっと利用してもらおう！というプッシュ形式の区民への周知が何か必要だと思います。
- ・子育ての支援は充実していると思いますが、自ら調べて手続きをする事に時間と労力がかかると感じています。普段仕事をしていると平日の日中に

時間が取れず、すぐに利用したいサービスもなかなか利用できず、相談や手続きのため該当の部門に電話したり足を運んでもそこから返答やサービス利用までも時間がかかり、救済までは時間がかかる印象です。仕事をしている親でも負担なく素早く利用できる支援の体制を望みます。

- ・子どもがいる家庭に様々な支援、カウンセリング等、情報を簡単に手に入れる事がわかると良い。
- ・区の相談窓口が何があるのか、知らない人が多いので、もっと広告などで知らせるべき。困った人がすぐに相談できる体制を作るべき。
- ・また接種できる病院のリストも欲しいです。男性が婦人科にかかれるのか等、情報がないので。
- ・色々やってそうだけど、もう少し発信してほしい。区役所がきれいなので訪れるのにためらいがないのが有り難いです。
- ・イベントやボランティアなど、知りたい情報などなかなか知れない気がします。豊島区のHP以外にもアプリやLINEなどで見られると便利だと思います。
- ・給料が低くても手当がもらえず、他にどんな支援があるかもよくわかりません。自分で調べるにも限界があり、せっかく手当や支援があっても見逃してしまっているように思います。個別に対象とされる支援を連絡してもらえる体制があると大変な作業かと思いますが、豊島区に住んでいて良かったと思えると思います。

3-1 4 住環境・まちづくり

- ・新しく出来る道路の近くのため毎年毎年近所が工事していて静かに過ごせない。工事の終る頃には(全体)自宅が弱くなって少しの地震や他でこわれるのではないと思う。その業者の路上駐車何とかしてほしい、狭い道で通行のこと気にしていない。高いマンションが建って圧迫感がありストレスになる、外的要因で具合悪い。
- ・豊島区は、新しい公園などが増えていて、子育てをしやすい環境になってきているので、良いと思います。公園のトイレがとても汚くて子供達のがまんしてしまったり、入りがらないので(女子トイレ)もう少しきれいに保てたら良いなと感じました。
- ・池袋地域の小・中学校は、新しくなっている学校が多いが、豊島区内で、古いままの学校が多い地域があり、差が大きいと感じます。
- ・夜間、戸外で騒ぐ声がする。救急車、消防車のサイレン音が大きい。
- ・静かな住宅街で住みやすく、治安も良い、子供を見るとすぐに怒鳴る高齢者も最近は見かけない。ご近所も顔見知りが多く、あいさつを交わすこともある。最近では単身用のマンションなどが増えてい

るので、色々な人が住むことで少し不安も感じる。特に外国人労働者をよく見かけようになった。

- ・住宅問題(都営住宅入居出来ない)。障がい者が安心して暮らせていける、場所、仕事。安定した収入。
- ・昔よりは池袋も綺麗になってきて整備されていると思いますが、まだまだ道が汚かったり、ゴミのポイ捨てなど気になる点がある。
- ・現在住んでいる巣鴨駅周辺は、学校や塾、商店街、医療機関など、子育てしやすい環境だと思う。
- ・池袋などの繁華街は子供達に環境に良いとは思わないので、治安の良い地域になると良いと思う。
- ・子供、高齢者、地域との関わり合いの機会がよりいっそう広がれば良いと思う。
- ・街が汚れている(ゴミのポイ捨て、雑草)移動式ホームレスが歩道に寝ていてこわい。
- ・未来型思考で繁栄発展する豊島区に向けて居住者の安定の環境づくりが必要だと思います。
- ・飲食店が少なすぎる。スーパーが少ないので生活がしにくいので、他の区に買い物に行っている。
- ・池袋方面に、行政事業所が集中しており巣鴨や駒込地域に出張所がなく不便だ。(地域包括センター、休日診療、等)
- ・活気ある、皆が住みたいと思えるような豊島区を希望します。
- ・家がせまいためゴミの分別が大変。おき場がないのでこまります。
- ・犬を飼っている人が多く、一部マナーの悪い飼い主がフンの始末をしないため、西池袋通りは必ずフンがあります。フンを片づける呼びかけポスターなど作成していただき、掲示板に貼るなど対策をご検討して頂きたいです。(放置自転車はすごく厳しく、街がきれいでおかっています。ありがとうございます。)
- ・長生きするのもいいが、その人たちの世話をする若者たちの生活や人生が犠牲になっている。公園でのボールあそび禁止とか、公園に喫煙所があるとかありえない。コミュニティバスも充実させてほしい。大通りにしかバス停がなく。もっと住宅街を走るバスがあればいいのと思う。
- ・南大塚に住んでいるが、コロナ中、コロナ後、飲食店が乱立し、飲食店(特に、中華)から、発する、騒音、悪臭等がひどくなり、道路に看板を放置する等住環境が悪化している。子供を育てるのに不安を感じる。取り締まりを強化してほしい。
- ・大塚駅から自宅まで治安が悪すぎる。送迎が必須。なんとかして欲しい。西巣鴨橋はいついつ完成するのか遅すぎる。池袋と大塚の間に駅をつくらせて欲しい。バスを充実させて欲しい。スーパーが

充実していない池袋西武や東武まで食料をかいにいくのは不便なので。

- ・車椅子使用者としては道の舗装で、細かい段差、エレベーターの少なさに苦労しています。これはベビーカー使用者も同じく感じています。実際に自分が使用してみて必要性を実感してほしいし、子どもがいない人、健常者と障害者の溝を無くす為にも、「自分ごと」と体感できるイベントが頻繁に有れば良いです。池袋西口地区は東口側に比べると寂れているように感じます。治安面でも北口あたりから池袋駅付近、グローバルリンクは夜になると未だに怪しげな大人が多く危なく感じる。新しい映画館も無い古いビルは多くて、道も狭くて汚い。危なく汚く怪しげな池袋が完全に残っているから若い家族や住み続ける人も少ないのではないかと防災施設は整備されていても(イケサンパークみたいな)芝生や緑が多い憩いの公園が無いので、西池袋公園や椎名町公園やフラワー公園を芝生化、禁煙徹底して、おしゃれカフェを作りたい。特に要町は池袋から徒歩圏内だから治安や公園、舗道を整備し空き家を安く使えるようにして、おしゃれカフェや古着屋や雑貨屋系、リフォームしたい若者や家族、老若男女問わずのシェアハウス、を作るとか…チャンスがあれば豊島区の為にやってみたいです。
- ・池袋周辺の開発が次々と進んでいるようですが、東部地域の開発が置き去りにされているように思います。(公園が狭い、古い、治安が悪い。学校の老朽化が目立っている。)区役所周辺や観光客に対しての局所的な開発ではなく、住民が長く住み続けたいと思えるように区内全域を開発してほしいです。
- ・豊島区は暮らしやすいです。ありがとうございます。
- ・子ども達が安心して暮らせる様、治安面等強化して欲しい。特定の地区だけは、整備され綺麗になっていくが…そうでない地区も多く、その様な地区はやはり外国の方が住んでいる事が多いです。そのような地域では、ゴミ出し問題や、傷害事件等発生していたりして安全とは程遠いです。豊島区全体が、住みたい街になって欲しいです。
- ・池バスの路線改革。文京区のbぐるのような路線を考えてほしい。
- ・イケバスのエリア拡大していただくと豊島区内の移動に便利です。
- ・先日 祭日の大塚駅前イベントで公務されている高際区長を拝見しました。にこやかにイベントを楽しむ方々とお写真を撮られていました。区民商店企業が向上し楽しめるイベントを今後もどうぞよろしくお願いいたします。

- ・ アニメカルチャーを強みにして東口が再開発され明るくなったのを感じています。風俗店や周辺エリアをクリーンにしてほしいと思います。
- ・ 子供達に優しく、子育てしやすい(子育て世帯に優しく)薬物などが身近にならない様に取り締まって安心な地域にして欲しいです。
- ・ 池袋駅北口の環境が悪くなっていると感じます。
- ・ 格差のない社会にしてもらいたいです
- ・ 安心して住める街作りをこれからもお願いします
- ・ 空き家の活用と倒壊しそうな空き家の解体推進を図って欲しい。
- ・ 古い家が多い。道路に木が飛び出している家も多く、危ない。道幅も狭く、自転車がスピードを出していて、危うく事故になる所をみた事もある。環境整備に力を入れて欲しい。

3-15 交通安全・防犯

- ・ 公立中学校の近くに住んでいます。中学生の登下校の際に道路幅いっぱい広がって歩いている姿を少し前までよく見かけました。最近そのような状況を見なくなってきたので、学校側のご指導が進んだのかなと思っております。最近歩道を猛スピードで走っていく自転車が多くなりましたので、中学生とぶつくと危ないと不安に思っていました。引き続き、通行マナーを守って欲しいと思います。
- ・ 夕方のチャイム春～夏 18:00、秋～冬 17:00 は遅い。子どもたちは、このチャイムを目処に帰宅します。暗くなってからは、遅い。せめて春～夏 17:30、秋～冬 16:30 にしてほしい。
- ・ 区の(幼児)スクールの時間が保育園児を考慮していない。公園での自由が制限されている。児童館的な施設が少ない。
- ・ 自転車が歩道(スクーター(キックボード))をいき、子供・親・障害者がぶつけれ大変危険。自転車を車道へいってもらうことにする。海外に比べてひどい。外国人欧米人もびっくりするモラルのなさ。罪金をとってほしい
- ・ 公共の場(駅前)でガールズバーやキャバクラの勧誘の女性が立っており、子供がいる身としては大変不快です。区の警備の方が呼びかけて下さっていてありがたいですが、向こうも商売なのか引き下がる様子もありません。規制する方法があれば良いと日々思っています。
- ・ 西池袋は住宅が密集しているので、道が狭いです。夜、ばかりでなく、日中は、人通りもないところが多いので、子供が、一人で帰る、歩くには、心配な、場所もあります。防犯カメラの設置が増えたら良いのにと、常日頃思っています。(抑止力になります)
- ・ 放置自転車の回収は、塾通いの子供や幼児用の自転車は対象外にして欲しい。歩道を歩く人と自転車の人とわけて欲しい。夜 21 時すぎに塾から帰宅中に何度も自転車同士の接触事故を見たことがあるので、ルールやマナーを周知して欲しい。
- ・ 自転車の運転が酷くて危ない。信号無視や自転車道でのスピード、無法地帯です。自転車購入時に必ず安全講習を受けさせて、簡易的で良いから『免許性』にして欲しいと強く感じています。
- ・ 高校生になると行動範囲もかわってくるので、豊島区だけでなく他の区の繁華街と連携して見守り活動を行う事で、犯罪に合う確率を軽減減少するのにと感じます
- ・ 理由があって大塚駅付近に住んでいますが、風俗店やホテルが多く、治安が悪く、子供の教育にも良くありません。
- ・ 地区により、環境の差が顕著。治安面では、実際歩いてみると色々目につく事が多々あります。自分の住んでいた地域を外れて引っ越してみると、同じ豊島区とは思えなかったりします。
- ・ ガードレールなどない細い道が多く、歩行者が危ない。池袋など治安が悪い街がある。風俗店が学校のそばにある。西武が縮小されて電気街のようなので、池袋に買い物では行かなくなった。
- ・ 治安が心配。外国人が増えてきた。
- ・ 外国人の留学生が多くなり治安が心配です。
- ・ オタク文化の取り入れやイベントで盛り上がるのはよいが、治安に不安がある。
- ・ 繁華街が近いので、子供が犯罪などに巻き込まれないか心配な時がある。
- ・ 子供、大人にかかわらず自転車のマナーが悪いです。車両の交通ルールを理解していないので危ない場面を毎日のように経験します。自転車の乗り方について、どの学年、年代でも毎年確認する機会を設ける必要性を感じます。
- ・ 公立小学校、中学校の児童・生徒が在校中に外部者が容易に出入りできる学校があることへのセキュリティへの疑問。
- ・ 公園などの喫煙・飲酒はもっときびしくすると思う。昼間から若い女の子達が路上で客引きをしているが、子供達の環境にいいとは思えない。路上での立ちんぼはもう少し規制すべき。池袋は塾なども繁華街にあるので…せめて夜間のみにするべき。特に西口方面。
- ・ キックボード・電動自転車のスピード規制。
- ・ 先進国(欧米)に比較して日本は発展途上国のように自転車が歩道をいき、特に豊島区、新宿区とても危ない。これまでに 5 回ぶつけられた。歩行人が骨折しても、自転車が「バカヤロー」と叫んで去る。条例又は、法律できせいしてほしい。ひどいモラルなき日本改善を求む。

- ・外国人の多さで、マナーや、生活環境が悪く感じる。以前より住みにくく感じる。
- ・子供たちが危なくない道路にしてほしい。
- ・都会とはいえ街灯がまだまだ足りてない危険な地域があるとおもう、塾から遅く帰る子供達もいるので防犯対策をしてほしい。
- ・豊島区の限定的な地域、池袋駅周辺の治安を不安視しています。改善していただきたいと思えます。
- ・公立学校の不審者侵入を念頭においた、施錠の徹底などのセキュリティ強化。

3-16 路上喫煙対策

- ・池袋駅周辺路上喫煙が多い。西口、芸術劇場と東武デパートの間の路地はどの時間帯に通っても喫煙者だらけ。駅周辺にしっかりと 喫煙スペースを設けるべき。

3-17 地域の子育て支援

- ・今まで住んでいたさいたま市と比較して、飲食店に子連れで入りにくいと感じています。一旦入店してから追い出されたり、明らかに今一つな席に案内されたりしています…。
- ・駅前などで、中高生に声をかけたりして誘いだす者を何度も見ている。子どもを育てやすいような環境を住民が作っていくべきだと思う。
- ・バスでの態度など、高齢者が、子育て世代にやや冷たいと感じる時があります。

3-18 ワークライフバランス

- ・現在子育てでの待機児童問題を失くす為にも親と同居が条件として 5LDK 程の高層ビル型住居で安心して子育てと仕事を両立出来る環境を収入による適正価格で提供できたら良いと思います。

3-19 豊島区の子育て環境の充実

- ・全体的に豊島区はよくやっているといます。
- ・同情ではなく、「支え」が欲しく「助け」を求めています。親と子どももどちらも寄りそうことが大切でバランスです。どうか今後活かしていただけますと幸いです。
- ・住みやすい街、子育て支援。
- ・明石市の市政を参考に、子育てのしやすい区になって欲しい。子育て世帯が増えれば必ず消滅可能性都市などとは言われないはずである。
- ・私は未婚で子供を産んだ時、豊島区役所の窓口で『1人なのに勝手に子供を産んだのはあなたでしょう』と保育園課の職員に言われたことを今も忘れていないし、他の地域の人たちにもこの話と共

に豊島区に住むことは絶対にやめるように言っている。実際に同じ頃に子供を産み知り合った人たちは 10 世帯以上豊島区で子育てはしたくないと引越された。未婚の寡婦控除適用にしても豊島区は何もかもの対応が遅く、対応しない理由を聞きに行った時もきちんと回答は行われず未婚であることを子供もいない職員に否定された。子供の友人関係のために引っ越しをせずいるがいずれは絶対に豊島区から出て行きたい。

3-20 その他意見

- ・子は全て「等しく」に同意ですが、親世代もがんばって今の生活があり、自分の子にはやってあげたい事をやらせるためにがんばっているの、何でもかんでも平等に与えられると少し、キャットとする事はあります。親に恵まれない子に同情もしますが。
- ・制服や学用品などリサイクル、メルカリに回せない指定のものなど、その学校内でおさがりなどできたらよい(うわばき、体育着、リコーダー、校帽など制服)と思っている。SDGS にもつながるし、成長期で短期しか着用、使用しなくても、買いかえたり、我慢して、着用させたりしないとならないことあり、不便、成長に合わせたものを適切に着用(全ての子どもに)させたい経済的事情で、きつく、短くなった制服体育着水着を着ている子を見るのは、切ない。(性差もでてある成長期はかわいそう)教材が多く、日々の持ち運びが大変、首、肩、腰、を痛めたり、姿勢が猫背になる、成長期には過酷と思う、改善してほしい
- ・スマホやパソコンに触れる時間が多すぎる。SNS やアプリ・ゲーム…誘惑が多く自制しづらい。スマホやゲーム本体の制限ではなく、SNS、アプリ自体が未成年には使えないようにするなど、対策してほしい。これからの日本がダメになるように気がします。
- ・子供が忙しそうで少し心配(委員会・宿題・部活・塾)。
- ・子育て世帯ですが、我が家には要介護、要支援の義両親がいて、そちらの世話に時間がとられ、子供や自分のために充実した生活を送ることができていない。子供や若者の教育を向上させたい区の考えはわかるが、実際問題、老人の対策も考えてほしい。
- ・地価が高くて、家がかえない。でも他の地域へ行きたくない。今いる所はとても便利なので。
- ・東京は私学も多いので、公立に限らず私立の学校とももっと連携なり介入なりするべきと思う。税金を払っているのは同じなのに、義務教育を私立にするだけでかなり対象外になることが多いと思われる。特に教育委員会。

- ・ しいの実保育園や要小をはじめ子どもを大切にしてくれる施設が充実していた。ただ先生たちの待遇が充分だったのか分からない。保育園の先生や学校、スキップの先生の待遇や負荷を適正にして欲しい。
- ・ このところの物価高で更に生活費が値上がりしているのを感じます。また、子育ては塾、習い事などとてもお金がかかると常々感じます。社会貢献できる人間を育て上げるため必死に育てているといったところでしょうか。
- ・ 中国人が増えて環境悪化が進んでいる。多様性、国際化は日本のアイデンティティをしっかりと持つ事、守ることが大前提だと思います。日本人の為に区政をお願いします。
- ・ 勉強よりスマホ。
- ・ 自主自律が難しい。口は達者になっても、とっさの判断や自分に厳しくできずだらけてしまう。
- ・ 家賃が高く、ファミリー向けの住宅が少ない。
- ・ 行政が主導すれば、多様性は守られると思います。
- ・ とても子育てしやすい区と感じます。もう子供は中学生ですが、小学生のときは、スキップや学校の校庭開放等、放課後に親がついていなくても安心して楽しく過ごせていると感じました。また地域の皆様との繋がりもいつも有り難いです。
- ・ 夏に引っ越してきたばかりで、中学も区外なので豊島区についてはわかりません。
- ・ 楽しい。今後の成長も楽しみ。
- ・ スマホばかり見ている。
- ・ 以前に保育園の対応がおかしい(不適切)であると区に相談したところものすごく不誠実な対応をされた。東京都に相談して解決してもらった。正直、豊島区には期待していない。
- ・ 小学校から遠い私立に子供達を通わせているので、地区とのつながりは全感じないですし、そういう家庭への配慮を行政がしてくれた事がないので期待していない。困っていない豊かな子供も豊島区には暮らしているので、全員にとりより快適や得となる事も考えて欲しい。
- ・ 練馬区に住んでいた時の方が、よかった。
- ・ 子どもが中学生になってから越して来たため小学生・乳幼児への施策はよくわからない。ただ区として子育て支援に積極的に取り組んでいる姿勢が見えるので良いと思う。これからもそうして欲しい。
- ・ 大変満足しています。
- ・ 中国語の通訳者は中国大陆から来た人をもっと雇ってほしいです。
- ・ 子供の医療費の負担がないのは嬉しい。
- ・ 子供が区外の私立なので地元と交流が全くなくなってしまった。地元でボランティア活動などをさせたいのでキッカケを作って欲しい。
- ・ 外国人が合法的に滞在して自力で生活して税金を納めているように取り締まってほしい。
- ・ 引き続きどうぞよろしくお願いします。
- ・ 豊島区が消滅都市にランクインしないよう、女性や子どもの人口が増えるような政策を推し進めていって欲しいです。
- ・ 豊島区をよろしくお願いします
- ・ 豊島区は子育て充実していると思います。
- ・ ひとり親家庭ですが、特に子どもが小さいとき、保育園やスキップ、ファミサポ、経済的な助成金制度等を利用させて頂き、助けて頂きました。最近では子宮頸がんワクチン接種の申請書を取り寄せるのに個別対応して下さったりと、お世話になっています。いつもありがとうございます。
- ・ 区役所に行った時に役所の方達がとても親切で感じが良かったです。
- ・ 今は高校生でもちょっと友達と過ごすだけでもお金がかかる。お小遣いだけでは到底足りない。PayPay ポイント還元キャンペーン、豊島区は回数も 期間も少ないので増やしてほしい。還元ポイント分だけでもせめてお小遣い 代わりに使わせてあげられるので。ご検討よろしくお願いします

3-2 1 本調査について

- ・ このような長々とした調査への記入はやめてもらいたい。
- ・ 豊島区の小、中学校に通っている人にアンケートをわたすべき、むさくいはどうなのか?豊島区の教育について全く知らない。通ったことがないので。主人は単身赴任で豊島区に住んでないし、アンケートを依頼する人は選ぶべきでは?豊島区をもっと知っている人がよいのでは?
- ・ 引越してきたばかりで、回答しづらいところがありました。
- ・ この長い質問なんとかした方がよい。最後まで回答してもらいたいとはおもっていないのではない。意図的に応えてくれる人に良い回答をもらうことを期待しているのではないかと感じてしまう
- ・ 〈感謝の気持ち〉子育て支援が充実していると感じております。特に 18 歳までの医療費無償化、公立学校の給食費無償化については、心より感謝申し上げます。その気持ちを少しでも表すため我が家は「ふるさと納税」はせず、必ず豊島区に支払うようにしております。〈このアンケートの選択肢について〉区の子供支援施設・サービスへの「利用したことがない」場合の理由選択に困りま

した。「存在を知らなかったから、利用したことがない」という理由に該当する選択肢が無かったためです。どのような支援制度が知らないため、回答時点では利用したいと思うことができず、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」を選びませんでした。

3-2 2 保護者について

- ・ 大人が細かい、悪い事している子供に注意しない大人が多い

3-2 3 希望・活力

- ・ 共働きで子供は1人ですが、子供のやりたいことをやらせてあげたい、将来の夢を叶えさせてあげたいと思うと、ギリギリの生活です。外食はせず、車も持たず、年1回の家族旅行だけが楽しみです。自分たちの両親や自分の老後のことを考えると不安しかありません。
- ・ 昔と違って池袋は特に若者で賑わっていると感じます。
- ・ 最近、年収での差別、控除の撤廃など子育て世代が1番損をする情報ばかりで、子供のための明るい未来を思い描けません。
- ・ 子育て支援に力が入っていることは将来的にもとても良いことだと思います。高齢者の見守り生活支援にも期待します。

4 小中学生

4-1 子どもの権利

- ・ わくにはめないで欲しい。
- ・ 男はくるな、女は入るななどといわれたことがある。学芸会やうんどう会に子どものいけんをとりいれてほしい。
- ・ 先生の差別。先生に怒鳴り散らされる。三年生が悪くてイライラしていた先生が突然関係ない1年生にキレた。学校が汚い。先生の機嫌で関係ないのに当たり散らされる。それを態度に出してくる。そしたら機嫌を取らなければいけない。暴言がすごい。クラスによってやっていいことやらないことが違う。担任の先生の気分で決まる。区立の学校なのに校則が意味がわからない。寒い時はブレザーの下にセーターを着ていいが、その時その時の温度調整のためにブレザーを脱いでセーターになるのはだめ。なんで生徒は動きづらいブレザーをずっと着なきゃいけないのか。だったら先生たちもスーツのジャケットをずっと着るべきだと思う。セーターは黒紺白茶グレーがいいのに、ベストは紺白しかだめな意味がわ

からない。校則に生徒の要望が反映されない。それでよく子供の意見を大人は聞いてくれますか？なんてアンケートを取れるなど思う。

- ・ 子供の権利に関する条例のことについて学校を通して教えてほしい。

4-2 いじめ

- ・ 1人をおおぜいでいじめたり、仲間はずれにしている。
- ・ 学校の先生がいじめについて、しっかりしてほしい。（いじめられている・いじめられていた人にやさしくしてほしい） 徒人全員平等にしてほしい。（クラスでふざけている人をのぞく）
- ・ いじめがなくなってほしい 見ていてもとてもつらくなります…
- ・ 先生がけんかやいじめにきがつかない。
- ・ イジメがあります。やめてほしいです。そのために教育をしっかりしてほしいです。例えば〇〇といっしょにいたらキンがうつるとか(実際にあります)
- ・ いじめ。まわりに差別されるのをとめたい

4-3 遊び場所・居場所

- ・ 友達と、野球をもっとやりたいので、球技遊びができる場所をもっとふやしてほしいと思っています。友達との話などでもでています。
- ・ 豊島区にはサッカーグラウンドが少なく、車で他の区にいったってサッカーをすることが多いので、豊島区にももっとサッカーグラウンドがあればいいと思います。
- ・ ボールの使える公園があればいいと思う。
- ・ もっとバドミントンがしたい。
- ・ 公園がせまくて、球技ができない(ドッチボールなど) 卓球場がない(あってもおいしい) スポーツにもっと力を入れてほしい
- ・ もう少しお金が使えるようになったらいいな。公園がきれいになったら、もっとつかうと思います。
- ・ あそべるグラウンド(サッカー、野球など。)がほしい。
- ・ みんながあそべる場所をもっと増やしてほしい。
- ・ 広い公園がほしい。
- ・ 近所の公園などを整備してバスケットコートを作りたいです。みんなが通いやすく練習しやすいようにしたい。豊島区立朝日公園のバスケットコートをコンクリートにして地域みんなが楽しく使えて競技人口が増えて、バスケットボールを盛り上げたい。
- ・ 公園でボール使えるようにしたい。

- ・野球など、もっとボールを使って遊べる公園がほしい。
- ・豊島区の公園は1つずつが小さく、新しい遊具はプラスチック製の先が2つ、3つに分かれている滑り台がとても多いです。私の近所の公園では、昔からあった滑り台とブランコが撤去され、そこから2回プラスチック製の滑り台に変わりました。他の区ではブランコが沢山あり、とても羨ましいです。小さい子は滑り台も好きですが、ブランコを漕いでいる子の方がとても多いです。なので、次、新しい公園を作ったり新しい遊具に変える際には、ブランコを作って増やして欲しいと思います。また、公園の利用者数も増えると思います。よろしくお願いします。
- ・公園を増やす(広くする)。
- ・広い公園をもっと作ってください。
- ・公園で球技がしたい。
- ・グラウンド広場が一個なくなったから、また作って欲しい。
- ・バスケットゴールを公園に追加して欲しい。
- ・もっと公園で遊びやすくなって欲しい。
- ・野球の出来る公園がない。だから豊島区は少年野球が弱小チーム
- ・公園でボールを使えるようにして欲しい区民広場が赤ちゃん優先になっている気がする。
- ・球技禁止がなくなったらいいな。それだけ！
- ・球技ができるような大きな公園をもう少し増やしてほしい
- ・バドミントンができる場所を増やしてほしい。または、そういった場所を知りたい。
- ・池袋に、もっと楽しい公園とか、アスレチックをふやしてほしい!子供だけが出来る遊び場みたいなのをたくさん作ってほしい!
- ・野球やサッカーなどのできるスポーツの場所がほしい。ボールを使える公園やスペースが少いです。
- ・球技がつかえる場所を増してほしい。
- ・さっきも述べたんですけど子供のためっていう政策が少し足りないよなと思っています。昔の豊島区より全然治安とか街の綺麗さとか雰囲気とか非常に住みやすくなっているのは子供ながらに感じてはいます。でもどこかで少し子供に対することが足りないような気がします。どこの公園に行ってもうるさいから騒ぐなとか危ないから球技はだめだとか子供が満足に遊べる状況ではないのかなと感じています。また、スポーツ施設の少なさも目立っており、それに伴って豊島区には東京都で絶対的位置を君臨するようなスポーツ強豪校もないような気がします。豊島区のブランディングのためにもそこら辺もっと良くして欲しいなと思います。豊島区のために毎日一生懸命働いて豊

- 島区を良くしてもらってほんとうに感謝しています。これからも豊島区をよろしくお願いします。
- ・子供が快適に遊べる施設(公園や体育館など)を増やせば、もっと豊島区で遊ぶ子が増えると思いますし、少子化対策にもなるのではないのでしょうか。また、そのような施設で遊ぶ年頃の子の意見を積極的に取り入れて欲しいなと思います。
- ・公園でボール遊び等々が禁止されていて、小学生の頃悲しかったので小さな公園でもボール遊び解禁してくれたらなあと思います。
- ・図書館の蔵書をもっとふやしてほしい。
- ・雨の日も友だちといっしょにあそべる場所がほしい
- ・みんなでひみつきち(1から)づくり。
- ・豊島区で子ども祭りをやる。大人もたのしめる仲良し祭りをやる。町会の子供がすくないから、少ない町会どうしちかいところと一緒に子どもみこしをかついでみたい。
- ・区のしせつの中に勉強会など、勉強に追いつけない人のためにしせつをつくったらいいなと思いました。
- ・豊島区でも動物とふれあえるところがほしい。
- ・中学生が静かに勉強できる場所、自然が楽しめる場所が少し欲しい。
- ・中・高生があそべる施設が少ないので、もっと作ってほしい。(サンシャインのような…)
- ・無料で使えるテニスコートやスポーツセンターが近所にあるといいと思う。
- ・弓道場があったら弓道やりたいと思う
- ・よく小さい頃に無料で物づくりができるイベントなどがあったので、中高生向けの物づくりのイベントを開いて、友達と気軽に行きたいなと思いました。なので、中高生向けのイベントを開いて、学校などに教えてほしいです。
- ・もっと地域で交流できる場を作ること。
- ・区立図書館を充実させてください。中学生のお姉ちゃんが勉強しに区立図書館にいつているけど年や空席状況的にいつも使えないので、もっと席を増やしてほしいです。あと、家で勉強していると途中から飽きてきて集中出来なくなってくるから、区民広場に自習室を地域ごとに作ってほしいです。
- ・ボールが使用可能な公園、体育館などの設備が欲しい。
- ・区民ひろばで静かにしなければならないのがつまらない。

4-4 学校・教育

- ・エアコン全完備(学校)。ランドセルまたは、タブレットが重いからリュックがいい

- ・ 男女かんけいなくドッジボールであそびたい。学芸会やうんどう会ど、自分たちがやりたいげき、パフォーマンスをやらせてほしい。
- ・ ランドセル(中み)の軽量化
- ・ 英検や、テスト勉強できるしせつをふやしてほしい
- ・ 学校でシャーペンありにしてほしい
- ・ もっと学校で法律の勉強がしたい。
- ・ 小学校にも制服があるとうれしいです。
- ・ シャーペンや、ボールペン、マーカーをつかいたい。
- ・ 駒込中学校の部活をふやしたい
- ・ 学校で、男女の壁がなく、みんなが仲良く過ごしたい。肩に髪がつくと結ばなくてはならない校則がなくなればいいなと思う。
- ・ 校内においてのスマホの使用許可バイトの許可
- ・ 男の子が、うるさくて勉強に集中できない。
- ・ じゅぎょうつまらん、頭おかしい。
- ・ 中学校に入ってはいふされたタブレットがはそんしていたりひどくきずついたりしたのもう少しきれいにしたじょうたいでほしいです。
- ・ 食べるのが遅いので、給食の時間を長くしてほしい。
- ・ 大学まで義務教育になってほしい。
- ・ 学校の校庭を広くする。
- ・ 教育をしっかりする。
- ・ ペットをかいたい。動物カフェに行きたい。勉強する時間を減らして遊びたい。疲れない日がほしい
- ・ 休み時間は強制的に外！！じゃなくて教室や図書室に残っても良いようにしてほしいです…
- ・ 宿題がめんどくさい。5分 休みが短い。給食が少ない。食べられる人と食べられない人がいるのにその量を統一してしまったら困ると思う。帰る時間を過ぎることがとても多い。
- ・ 大学でスポーツを学んでみたい
- ・ いろんなマンガをおいてほしい。本のぞうしょうが少ない。そうじをしてもほこりとかいっぱいこっているからやっても意味がない、アレルギーとかもあるから。プールがまわりの家から見えそう、(特に女子が)。
- ・ 学校の他の生徒が、先生が何か言うたびにしゃべりだすので静かにしてもらいたいと思う。
- ・ 学校でクラスにいつもしゃべって授業中たちあがったりさけんだりする子がいてめいわく。
- ・ ランドセル(中み)が重い。
- ・ とんりのクラスがこっちのクラスに入るのはダメなのに、給食などの時間にドアをバンバンとたたいたりして先生もおこっているのに、注意しているのにしつこく入ってくる。
- ・ 5年生があぶないあそびをしていたり態度が悪かったりすること。
- ・ 学校かこうきょうしせつでそういうポスターでもはりましょう！
- ・ 先生の授業。
- ・ もう少し他学年・他の学校と交流してみたい。図書室に文庫本がほしい。40人クラスだと教室がせまく、ケガがしやすい。教科書(算数、国など)りはパソコンで見られるようにしてほしい(毎日もっていくのが重く、予習・復習がしやすい)。
- ・ 学校で仲間外れにされている。自分だけだめと言われたり、友達に嫌なことを言われることが多いように感じる。リーダー格の子の意見ばかりとおるように感じる。仲間に入りたい。担任に相談したが、話し合おうと言われたまま、実行されていない。休み時間がつらいと感じる時がある。
- ・ もっと、イベントとかを増したい！ 学校の給食になんでトマトがでないの?でほしい。
- ・ シャーペンの方が続けてつかえるからシャーペンを、かいたい(学校で)体育のじゅぎょうで卓球をしない(小学校) けしゴムの色やふでばこのがらはかんけいがないと思う。
- ・ なぜ秋やすみががないの。
- ・ 先生が子どものことをよく聞いて、めんどくさがらないでほしい。悪い事をした時には、厳しく注意してほしいです。
- ・ 「死ぬ」「消えろ」などというのをやめてもらいたい(クラスメート) もっと活発な運動をしたい。
- ・ 先生のたいど、あそぶじかんをなくさないでほしい。
- ・ 先生がたいへんそうです 学校の楽しい業事をSDGsとかんれんさせて楽しい業事をうばわないでください SDGsをやるならば学校のプリントを紙でよこさないでください。
- ・ 学校のルールで髪型の問題 あみ込むのがダメな理由は分かるが、なぜお団子がダメなのかが分からない。
- ・ 学校の設備を新しくしてほしい。ナイターのライト等。
- ・ 1年半以内に校庭を広く、きれいにしてほしい。
- ・ 美術の授業は必要ない。技術か美術どちらか1つでいいだろ!!クラス替えが不満でしかない。駅と学校が遠い。通学路によくハチがいて毎日命の危険を感じている。
- ・ ろうかが寒い(暑い)。給食の牛乳をビンにもどしてほしい。
- ・ 40人クラスで教室がギューギュー、ロッカーに入っている教材が取りにくい。体育で、10分間走で

ノルマもなく寒い中走り続けるのがキツイ(半そで半ズボンで寒い)。

- ・千登世橋中学校の生徒です。学校ごとに評判のしかたが違おうらしく、困っています。塾などでも「千登中は内申がとりにくい」というのが有名で、転入してきた友達も「千登中に来たら成績がすごく下がった」と言っていました。受験に影響しそうです。
- ・宿題を減らして下さい。
- ・先生がたまにうざったい。
- ・クラスの人数を、一年生のときくらいに少なくしてほしい。インフルエンザとかがうつりやすくなっていると思う。
- ・先生の授業が雑過ぎて理解しづらい。
- ・学校でうざい人がいます。小学校の道德の教育をしてください。
- ・小学校の先生が夜遅くに帰っているのを見たことがあります。また、先生たちが学校行事の準備に追われて疲れている姿も印象に残っています。もう少し、先生の残業を減らしてあげられる政策を作って欲しいです。
- ・部活の時間をもう少し増やしたい。
- ・土曜授業がない方がいい。
- ・学校の冷房を涼しくしてほしい。
- ・2 あだ名 3 友達関係 4 先生との相性
- ・成績が下がってしまっているから次の期末テストで一位とりたい。
- ・校舎をきれいにしてほしい。
- ・体育の授業で「レスリング」がやりたい。
- ・授業がもっと楽しかったらいい。アニメのキャラに例えた問題とか、あったら楽しいのに。
- ・今の先生は話を聞いてくれない。
- ・休み時間、皆外に出て～、じゃなくて(強制的に)教室や図書室に残っても良いようにしてほしい!
- ・あと給食の時間は班にして食べてもいいことにしてほしいし、給食は少なめにしても怒らないで、できるだけ自由にしてほしい!
- ・漢字 50 問テストで 90 点以下を取ると中休みや昼休みを削りさいテストをしなければならない。先生が強くおこっている。土曜参観がとても面倒くさい。
- ・コロナを理由に行事がなくなったり、今までのやってきたことが戻らない普通の運動会、学芸会、普通の給食など。
- ・先生たちが休みがち、図工の先生が長いこといない。
- ・学校へ行きたくない自分のペースで過ごせず疲れる

- ・としょかんの本ももっと知っているようなものにしてほしい。中央ととしょかんのように、沢山のファッションざっしをおいてほしい。
- ・ランドセル(中み)を軽くしてほしい
- ・図書館の本をふやしてほしい。小・中学生だけのスペースをふやしてほしい。
- ・担任の先生にもっと親身になって欲しい。リーダー格の子の話だけが正しいわけではない。このままではいじめにつながる危険性を感じ心配している。リーダー格の子たちが仲間になって、自分たちの良いように言っている時もあると思う。傷ついている子の意見も大切にもらいたい。我が子が友達から言われている内容と、相談した先生から、言われる内容が違うことにも不信感を感じる。
- ・学費を無料にしてほしい。
- ・校舎など教育環境を整えてほしい!
- ・小学一年生のときに、先生に犯人だと言わされました。その先生が副校長先生になったのはおかしいと思う。
- ・どんな子供も楽しく学校に行ける環境を作って欲しい。相談室など、相談できる場所に行きたくない子供のために、教師や学校側から寄り添ってあげる面談などを増やせば、もっと相談しやすくなると思う。
- ・教育しっかりしてほしいです。
- ・中学校の学校図書館の貸し出し用パソコンの起動が遅くて1年生の解放の日に結局貸し出しが出来ませんでした。せっかく学校図書館があるのにこれでは意味がないです。これは図書委員会の人も困っています。パソコンが高いのは知っていますが検討してください。学校給食のお金の負担が無くなるのは嬉しいですが教育のためにも、生徒たちの自由な読書のためにも予算の検討をお願いします。無理なお願いではありますがパソコンを買ってください。どうかこの意見を無視しないでください。
- ・先生が一回教科書を投げたり とても大きな声でおこったりいろいろなことをしてきたので とても気分が悪くなるのがとても多かった。
- ・いっぱい区の教育講座をやしてほしい。

4-5 放課後対策(学童・スキップ)

- ・放課後、補講して、わからないところを教えてもらえる場を…。

4-6 医療・健康

- ・びょういんがない。
- ・友達関係が困っている。

4-7 経済的支援

- ・子ども手当を増やしてほしい。
- ・消費税0にしてください。お金がいくらあっても足りません。もっと安くして…
- ・給食費無償化。

4-8 情報提供・相談支援

- ・区のイベントを学校でチラシを配ってほしいです。

4-9 住環境・まちづくり

- ・せいぶいけぶくろのホームゼンぶにエレベーターがほしいです。りゅう弟がしょうがい者で、1ばんホームまでいくのがたいへんだからです。
- ・100 きんが少ない(文ぼう具がほしいのにいちいちとおくにいく)
- ・池袋のビルや電車がすごくきれいで好きです!
- ・大きい図書館とカフェと雑貨店がくっついているしせつがあると良いと思います!
- ・ポイすてがなくなるといいなと思いました。
- ・豊島区(池袋)は都会だから、騒音やタバコなどのゴミができるだけなくなってほしいと思う。
- ・区民プールを大きくしてほしい。コンビニをもっと作ってほしい。
- ・西武を電気屋にしないでほしかった。安くてきれいな(休日)カラオケを作してほしい。南池袋に家しかなくて悲しい。(池袋まで歩けるからいいけど)。池袋から東池袋まで地下道を作してほしい。
- ・家の近くに駅がある。
- ・もっとサブカルチャーを推し進めてほしい。できるなら秋葉原を追い抜くサブカル都市に。車椅子ユーザーですが、スロープの傾斜が急すぎるから使いづらいです。もっと緩やかにしてほしいです。
- ・ゴミ箱が増えたらいいな、と思っています。
- ・もっとスポーツに力を入れてほしいと感じています。今自分は豊島区に住む中学3年なんです、ここで自分のやりたいスポーツができていない感じがせず、環境も整っていないように感じます。スポーツがしたいなら他の区に行くしかなくその分コストがかかったり時間がよりかかったりしてすごく負担がかかるよなと思います。スポーツができる環境は子育てや青少年の家教育や発育にも良いと思うし、豊島区に入居したい!という人も増えると思います。もっと陸上競技場やサッカー場など子供がスポーツしやすい環境が整えられていくとすごい嬉しいと普段から強く感じています。予算とか場所とか色々考えることとか大変

なこととかあると思うけどぜひ頑張ってほしいなと思います。

- ・木をたくさん はやして、緑が多い空気がきれいな豊島区だとおもってほしい。
- ・自然を増やす。東京をきれいにする。
- ・木をいっぱいはやしてもらいたい。
- ・豊島区ゴミ。
- ・夜、近くのコンビニなどから、笑い声や、声がするので、あまり、音をたてないようにしてほしいです。
- ・犬のふんが多いのでなんとかしてください。カラスが多いのでなんとかしてください。
- ・よく道端にゴミや犬のフンなどが落ちているので、町の清掃やゴミや犬のフンなどの対処についてもっと考えてほしいです。
- ・巣鴨や駒込の整備もお願いします。

4-10 交通安全・防犯

- ・夜、暗すぎる。
- ・とてもくらいところがあるので、明るくしてほしい(明るさ)。
- ・治安を良くしてほしいです。

4-11 路上喫煙対策

- ・路上でたばこを吸う人をなくしてほしい。
- ・タバコの匂いをくさいから何とかしてほしい。あと明るくてまぶしいから何とかしてほしい。
- ・駒込駅から臭うたばこの吸殻や匂いをなくして欲しい。
- ・タバコのポイ捨てを取り締まってほしいです。
- ・タバコに臭くならない場所で吸え!!
- ・巣鴨駅の駅前が煙草を吸っている人が多くて臭いので、駅前で吸わないように言ったり、決まりを作してほしいです。

4-12 豊島区の子育て環境の充実

- ・もっとデンタル化を止めるべきだ。しせつを一箇所にまとめてほしい。

4-13 その他意見

- ・色々な物価をやすくなったらいいなと思う。
- ・大きい家に住みたい。
- ・食後に全員にハーゲンダッツを配ってください。まじでおねがいします。
- ・老人が多すぎる。
- ・港区に住みたい。
- ・男がけんかしてうるさい。
- ・姉が死んだらいいな。

- ・西武百貨店が今のままで変わらないでいてほしいです。
- ・近所に友達がいる。
- ・うるさい。
- ・よくなってほしいことは、地球温暖化がおこらないでほしい。
- ・友達に、人の気持ちが考えられるようになってほしい
- ・お昼早くしてください。まじでお腹すきすぎます。
- ・スマホが使えないこと。
- ・日本人だけど外国にずっと住んでいたから、日本の勉強に追いつかないことがあったり、日本の文化に慣れないこと。例えば、料理や何かの活動。
- ・学校が遠い。
- ・少しわかりづらくて間違えました。
- ・豊島区の取り組みの内容が、ほとんど分からないので、もっとひろめて欲しい。
- ・誰かが困っている時、素通りではなく何か声をかけてあげて欲しい（駒込駅近くで食料を求めている人がおりその人の周りを大人全員が素通りしていたため。）
- ・よくする、よくするとって結局なにもしない。

4-1 4 本調査について

- ・このアンケートは何人分集めるのですか?アンケート送付先はどうやって決めたのですか。そういう説明が全くないのは変だと思います。

4-1 5 希望・活力

- ・テレビにでて、有名人になってみたい!!パン屋さんでみんなを幸せにさせてみたい!!トマトをそだててみたい。「なんで戦そうはつづくのかな??」「なんでトマトは給食ででないのかな?」
- ・僕のやってみたいことは死後の世界について知ってみたいです。
- ・なりたい職業に就く。
- ・もっと沢山、イベントをやってほしい!リップスティックを塗っても、危なくない場所を作してほしい。駄菓子屋のように、安くて子供向けのお店を出してほしい。
- ・休み時間が長くなったらいい。
- ・友達がすぐ怒るところ、困るからやめてほしい。友達は悪気が無いと思うけど、ランドセルを引っ張ったり頭を叩かないでほしい。
- ・学園祭「いけほんまつり」をふつつさせてほしい。

- ・…1人だけなかまはずれやいじめ、などがあり心がいたいおもいになったので…それをやめてほしいです
- ・人間関係? もう少し頭が良くなれるようなかんきょうがほしい。
- ・制服をなくしてほしい。
- ・将来の夢が声優なので声優に関連したことや芸術にふれるきかいをもっと増やしてほしいです。また、アニメやまんが、バスケにかんれんしているしせつをもっと増やしてほしいです。
- ・ルールをちゃんと守ってほしい。
- ・千早小は、買い食いが禁止なのに一部の豊島区内の小学校は、買い食いが禁止されてないところがあるから買い食いを禁止してほしいです。
- ・子供の意見をもっと聞いてほしい
- ・ポイ捨てとかをやめてほしい。自然が少ない。バリアフリーが少ない(学校も)
- ・もうちょっとこうきょうしせつか水族館などをつくりたい。
- ・殺人等怖いです。。。しまむらが欲しい!
- ・目白に、文房具屋ができたらいいなと思います。友達と会話をしながら勉強できる施設があったらいいなと思います。
- ・西巣鴨橋を早く完成させて欲しい。本来なら来年完成するはずだったが延期→延期で、東池袋まで遠回りする生活が長く続いている。
- ・たまに尿が漏れそうなきがあります。トイレを増やしてください。
- ・児童館増やしてください!!漫画沢山読める!!工作できたり、ご飯食べたり、ゲームが出来たり、スマホ見られたり、小学生でも自由にできる施設が欲しいです!無料で…(´・ω・`) (中高生ジャンプだと小学生が利用しにくい)
- ・もっと色々支援して欲しい
- ・もっと子供の意見を聞いて欲しい。どうやって言えばいいのかわからない。
- ・自然をもう少し増やしたり、虫や動物と関われる場所を増やしてほしい
- ・子供の意見をもっと聞いてほしい

5 高校生

5-1 遊び場所・居場所

- ・公園で球技をしたい!
- ・大きな公園を作って欲しい。お年寄りの人にうるさいと言われない学校や公園が欲しい。
- ・公園増やして。
- ・公園でボール使えるようにしてほしい。
- ・運動ができる公園、野球、サッカー等、球技

- ・スポーツが自由にできるパーク、場所が必要です。あったらゲームの時間が減ると思います。
- ・自習ができるような空間がほしいです。(1人で、集中して勉強できるスペース)図書館にもありますが少ないなと感じます。
- ・図書館の蔵書を増やしてほしい。図書館の自習スペースを増やしてほしい。本屋をもっと増やしてほしい。地域の本屋さんがほしい。

5-2 学校・教育

- ・ムダな教材が多い、結局捨てる、処分になるのは、もったいない教科書や教材が多い、ランドセルや指定バックでは、持ちきれず、肩や首が辛い。
- ・豊島区の学校じゃないので書いてもあれですが、先生たちによって校則のはあく範囲がちがうのはどうかと思います。
- ・高校一年生にも宿泊行事があればいいなと思った。
- ・遅刻指導が緩く、いつまで経っても遅刻する生徒が多いことがストレスなので、改善されればいいなと思った。
- ・生徒会に校則を変えて欲しいと意見を出しても実現されないこと
- ・学校は新宿区にあるが上履きが欲しい、靴は自由がいい、体育館も欲しい、なんなら今言ったことは義務化したい
- ・勉強だけしていたい、週に4日くらいでいい
- ・校舎が広くなってほしい。
- ・都立の高校でも部活動の先生をちゃんと用意して欲しい(1人じゃなくて複数人にしてほしい)。

5-3 情報提供・相談支援

- ・今後自分の性について迷う人がたくさん出てくると思う。それこそ、一時の迷いで、周りの大人が必死になって理解しようとする、その子は、本当の自分(性)がわからなくなってしまう。「聞く力」や「待つ力」が増えたらと思う。
- ・お金についての資料を欲しい人は自由にもらえるなど、大学へのお金について、話をするだけでなく実際に自分で調べられる事。
- ・高校生でもできるボランティアをもう少しわかりやすく提示してほしい。高校生でもやりたくなるような魅力的なボランティア内容や、魅力的な広告がもっと増えるといいと思う。
- ・一応もうすぐ成人なので、選挙がもうすこし分かりやすいとありがたいです。

5-4 住環境・まちづくり

- ・トイレきれいにしてください。
- ・新しい商業施設を作してほしい。他の副都心に負けずと頑張って発展させてほしい。
- ・公共施設を増やして欲しい。

5-5 交通安全・防犯

- ・事故が多かったり、バイクがうるさくても、けいさつ署の人はいつも「パトロール中」で心配。もう少し静かな街になると助かる!!小学校しか豊島区じゃないので、記憶もうすいですが、色々あって住みやすいと思います!
- ・道路に、自転車専用レーンができたのに、歩道(狭い所)を自転車が、道路側を走らないので、とてもこわい。歩道を歩くのにも注意しなければいけない。
- ・高校生でも地域の安全のために警察と協力して何かあれば駆けつけたいかなあ

5-6 路上喫煙対策

- ・歩きたばこをやめてほしい。においが嫌い。

5-7 その他意見

- ・最近池袋がアニメの街になっていっているのでも嬉しいです!
- ・海外交流。
- ・こういうアンケートはすごく助かる。ただ、年々学生の迷惑行為がすごく目立つ気がする。もっと学生に周りへのひがいを考えてほしい。
- ・カードショップ増やしてほしい

5-8 本調査について

- ・自分を知らない人に自分の考えを伝えるために頭の中に散らかっているものを推敲して簡潔なものにする機会が受験生になってから減っていたので、このアンケートに回答してよかったと思いました。

6 若者

6-1 遊び場所・居場所

- ・球技禁止の公園が多く、バスケットコートがある公園などがあるとより子供達が外で遊ぶ機会が増えるのではないかと思います。
- ・球技のできる公園を増やしてほしい
- ・子供達がもっと外で遊べる空間(公園など)。
- ・大人向けにも区営ジムなどの規模を大きく。

- ・ボールで遊べる公園がない。
- ・障害の有無などに関わらず誰もが安心して不自由なく暮らせる社会。ヘルプマークをしていても見た目の障害がなかったり、若かったりすると電車での優先席を譲ってもらえなかったり、座っていても周囲の目が気になってしまう人がいます。妊婦マークなど有名なマークの認知度は高いですが、ヘルプマークはまだ認知度が低く、周囲の配慮を促す広告がまだまだ必要なのではないかと思います。また、現代は精神疾患を抱える学生が多く、その場合学校を途中で辞めてしまったり、卒業の資格を取ったとしても働くのは難しく収入に困る人もいます。そのような方達が相談できる場所や収入・補助金を得られるような制度があって欲しいです。”
- ・もっと同世代が繋がる仕組みがあったら良いと思います。
- ・スポーツの場を設けてほしい。
- ・地域での交流が成人した今なくなっています。気軽に参加できる場を紹介していただければ嬉しいです。
- ・区にある大学などの教育機関の図書館に自由に出入りできるようにしてほしい。青少年向けの児童館のようなものがほしい。(特に目的もなく出入りできる屋内施設。)日時指定、予約制ではハードルが高い。
- ・池袋はイベントが多いイメージですが、板橋中央図書館のように綺麗で静かだけどオープンな施設は無いように思います。立地的に難しいですが、地域施設がもっと知られるように広報がんばっていただきたいです。(みらい館大明のことは今回のアンケートで知りました。)例えば池ハロは1番注目されるイベントなので、Xでハッシュタグを使うなど多くの人にアカウントの存在を知ってもらうなど。
- ・少子化に伴い地域のお祭りの人が集まらなくなっているため、少しでも活性化できるよう宣伝して欲しいです。コロナも収まりつつあるため、以前のように多くの人と盛り上げられるお祭りをしたいです。
- ・ジュニア・アーツ・アカデミーを復活させて欲しい
- ・自習室を推進整備してほしい少ない気がする。
- ・1つ目は小学校時代 あおぞら教室という目白小学校にある施設に通っていました。現在あおぞら教室はみんなでプレイワークをしたり1日一緒に活動する事がないと聞いていて、私が当時通っていたような形に戻すべきだと思います。当時の活動 年下の子と関わることや年上の人との交流や同じような精神疾患を持った子供達と関わる事が私の勉強になりました。絶対あの活動はあるべきです。2つ目、現在区長が変わりましたが私が

中学生の時とせばし中学校にいた時に集団行動が出来ず、本当に思い悩んでいましたが 当時何とか学校での旅行に参加できるようにと 校長先生が区長の方に取り合ってくれて私に毎年3年間、支援員の先生をつけて下さいました。本当に今でも頭が上がらない位感謝をしているのですが現在区内で同じような待遇にあっている子供達が居るかもしれませんが 前区長と同じ様に対応してあげて欲しいです。私は当時の経験を活かして現在は集団行動はもちろん高校時代からアルバイト等も通常でこなし 大学に進学し 大学進学時から航空会社のプレミアムラウンジで勤務したり等のしっかりとした社会生活を送れる様になりました。(現在は色々あり鬱病になってしまい休業中ですが) 大学を卒業後は就職するつもりなので今は勉強中です。本当に豊島区のそういった支えがあったからこそ成人するまで成長が出来ました。私は小さい頃から集団行動が送れず不登校になったり色々ありましたがアスペルガー症候群で悩んでいましたが豊島区の支えがあったからこそ普通の人間らしく普通の生活が出来る立派な大人になったと自分でも胸がはれます。今後も私と同じ様に困っている子供達に対して、同じ様な待遇の子供達に、しっかりと向き合って頂きたいです。お願い致します。3つ目、私のお隣さんがファミリーサポートをしていて元々小さい時からそちらを利用しており、今は20歳になりましたが家族の様な存在で本当に助けられました。そんなファミリーサポートで少しいつも疑問だなと思うのが賃金が最低賃金を下回っている事です。私のお隣さんはもうかなりの高齢でそんな中1日何件もこなして本当に凄いなと思うのですが それだけ頑張っているのに賃金が最低賃金以下なのがどうしても不思議だなと感じています。ただでさえ人材不足なので さすがに利用者の料金を増やすのは可哀想だなと思うし利用できない人が増えてしまいそうなので 区からせめて最低賃金以上の額を支給してあげて欲しいです。お願いします。

- ・ 違う区の図書館から借りている本を豊島区の図書館に持ち込むとゲートがなるため、改善してほしい。
- ・ こんにちは。意見を聞いてくださりありがとうございます。変えていただきたいことがあって書かせていただきます。私は4人兄弟なのですが、下に現在高1の妹と小6弟がいます。数年前から2人とも精神的な問題を抱えて学校に通うことが難しいです。妹は鬱病で小学生の頃から学校に通えず、不登校は中学校まで続きました。姉の私から見ても多くの先生方はすごく協力的で素敵の方が多かったのですが、結果から申し上げますと中学校に在学中に不登校から抜けることはできませんでした。たくさんいる生徒の中の1人に多くの時間を割くことは難しいと思います。しかしなが

ら、私の妹も環境に馴染めないだけで頑張る意志はあったと思います。妹のような心に病気や不安を抱えた子たちのためのクラスや学校を作っていただけたら、楽しく学校に通える子どもが増えると思います。また、私の弟もそういった支援のある学校探している1人なのですが、定員数が限られており長年の不登校で学力が不十分な事もあって、学校探しが難航しています。1人でも多くの子どもが自分の可能性を伸ばせるように居場所や学習の機会を作っていただけたら幸いです。長文でのご意見失礼しました。全国的に見てもこう言った支援は充実していないので、もし豊島区が力を入れて下されば他の区からの移住者も増えますし、何より子どもたちが喜ぶと思います。お力添えのほどよろしく願いいたします。ありがとうございました。

6-2 学校・教育

- ・ 何かが起きた時に有効な保障や申請方法条件等を全員が持つ当たり前の知識となるくらい発信してほしいです。
- ・ 子供の予算を増やす、教育、ケアの環境をととのえる。
- ・ 子供たちみんなが満足できる学校を作る。

6-3 子育て支援サービスの充実

- ・ 子育て支援の充実。
- ・ 将来的には子どもがほしいが、お金の問題で断念してしまいそう。
- ・ 公立の学費は完全免除や、住宅購入の補助、子育て手当の充実があれば前向きになれる。
- ・ 子育て世代への圧倒的な支援。
- ・ 子育て支援、結婚後の支援。
- ・ 若者、子育て世代への支援の充実 老人への優遇にはもううんざりです。
- ・ 若者、子育て世代の負担を減らしてほしい。
- ・ 産科を増やして欲しい。
- ・ 育児、教育が支援される地域であってほしい。
- ・ 子育て支援、結婚後支援をもう少し手厚くしていけば金銭的に結婚や出産が厳しくても安心できるかと思います。

6-4 医療・健康

- ・ 子宮けいガンワクチンの予診票をもらいたいが、平日のみなので行けず、他の方法があるとうれしいです。
- ・ 子どものインフルエンザ予防接種を助成していただきたいです。
- ・ 大きい病院があったら良いと思います

6-5 経済的支援

- ・ 今の高校生は部活をやらずにバイトをやっている人が増えています。手助けはできないんですか？
- ・ 給食費無償化。
- ・ 金銭面で不安です。

6-6 情報提供・相談支援

- ・ 区でしている取り組みや、お得なことなどあればチラシ等ポスティングしてもらえると嬉しいです。区のHPもなかなか開く機会もない為、区のことをいろいろ知る良い機会になると思います。
- ・ 子供がもっと気軽に悩みを相談できる環境があればいいと思います。
- ・ インターネットに触れられない歳の子供でも匿名で第三者に悩みを相談できる仕組みがあればいいなと思います。
- ・ 若者のために何かして下さっているのは分かるのですが、具体的に何をしているのか逐一情報を手に入れられる場所がありません。(私の目にするところにはありません)
- ・ 情報誌をいただくこともありますが、興味を持って読まない、必要な情報まで辿り着けない人がいると思います。
- ・ 当事者まで情報が届くようになるといいなと思います。
- ・ 情報発信の手段をもう少し工夫すべき。
- ・ 公約が果たされている気がしない。

6-7 住環境・まちづくり

- ・ 子供は国の宝であり、すべての子供が安心して暮らすことができ、学ぶことができる環境整備がされていること。
- ・ 少子高齢化が進み、また対面で会わなくてもコミュニケーションがとれるようになった便利な社会だからこそ、様々な世代があえて対面でコミュニケーションをとる機会を増やし、年代、性別を超えて互いが理解し合えるような国家の制度設計、街づくりが必要だと考えています。多様化した社会の中で様々な価値観を認め合い、尊重でき、さらに一歩踏み込んで共助、共生できる社会が作られるような教育や仕組みを作ることも必要だと考えています。
- ・ 落書きを通報するだけですぐに消してくれる仕組みを作してほしい。また、落書きが多発する所には(偽の)→必ずしも本物でなくとも良いので防犯カメラを設置するなどの対策をしてほしい。
- ・ 池袋駅周辺、ネズミが多く非常に不潔なので駆除して頂きたい。

- ・ 子供が暮らしやすい街づくりにする必要があると思います。21年間豊島区で生きていて、子供の時はボールが使える公園や、室内運動場がなくてとても困っていました。遊んでいても老人に文句を言われたり近隣に苦情を言われたりしていたので、ボールが使える広々とした公園や遊び場が必要だと思います。消滅可能性都市として、区を存続させるには子供が住みやすい街にするしかないと思います。大胆に子供にお金をかけて東京23区をリードして欲しいです。西武にヨドバシカメラを入れるとかいうアホなことしてないでもっと他のことにお金と時間を使って欲しいですね。ただ、池袋のハロウィン会場をしっかりと設けて、活性化に成功していると思うのでいいと思います。
- ・ 自宅が住宅街に位置しているため、震災・火災の発生等に不安があります。
- ・ 近年は街の美観化に取り組んでいただいており、幼少期の頃よりもエンターテインメント性に溢れる街になった気がします。イベントなども行われていて、街全体が活性化している印象を受けています。
- ・ ただ、臭気がひどい場所や、ごみが散乱している場所があるので、よりクリーンにしていだけたらなと。綺麗なままの状態にしておこうという気持ちになるような工夫が施されていると嬉しいです。
- ・ 無理せず、楽しく、自分も気持ちいいけど、結果的に街のためになっているという気持ちになれるような工夫があれば最高です！！
- ・ これからも老若男女・来日客に愛され続ける区であることを願っています！”
- ・ 実は新しくプラスチックの分別が増えて、汚れているものも洗って捨てるのが面倒だったりします。変わらず燃えるゴミで捨てても大丈夫ですか……？
- ・ 再開発には引き続き期待しています。
- ・ 豊島区立でキレイな女性用トイレを整備したと聞きました。とても素晴らしい取り組みだと思います。他の区のように、女性トイレを減らしてジェンダーレストイレとするのは止めてください。新たに整備してくださることを期待しています。
- ・ アニメの街にするなど、区の財政に力を入れる姿勢はとても良いと思います。
- ・ 既存の施設が無くなったり、西武池袋のストライキなど不安要素も多いため、大変だとは思いますが、既存の施設を大切に作る姿勢も持ち合わせてください。”
- ・ 池袋近くの橋の完成まっています！
- ・ 10年くらい住んでいます。住み始めた時より建物、施設が綺麗になったと感じました。
- ・ プラゴミを分けるのは別に構わないんですが、わりと急だなと思いました。それなりに前からお知らせがあったのかもしれませんが、地域の掲示板でポスターでも貼ってもらえたらよかったかなと思いました。
- ・ 回収日を木曜日にしてもらえるとペットボトル等資源ゴミのついでにプラごみ回収を思い出せるので、そうしていただけると嬉しいです。
- ・ 都電や御会式など、古き良きものを変えないでほしい。あとから移住してきた人の苦情を優先するのではなく、地元の人を優先してほしい。地元からすれば都電の音も御会式の音も全く騒音ではなくむしろ地元らしいもので落ち着くものなので。移住する人にはそれを理解した上で移住するように規制してほしい。その地域の良さを理解せずに移住した人のマイナス意見を鵜呑みにするのは元から住んでいる人を大事にしていらないと思う。都電に壁を作ると書きましたが、車掌さんと手をふる機会を子供から奪うと思うし、風情も無くなってしまう。地元の古くからある良さを壊すことは豊島区への愛が無くなって不満しか残らなくなる。苦情がきたら何でも無くせばいいものではないです。
- ・ 池袋西口周辺のネズミの駆除を一刻も早くお願いします。

6-8 交通安全・防犯

- ・ 外国人の税金を上げる必要がある。マナーが悪い。
- ・ 立教通り、一方通行化について。一月を通して、立教小、中、高、大生が幅を取り歩行しています。車道を一通にし、歩道を広げたところで何も解決しないのでしょうか。
- ・ 広げたら広がった分だけ幅を取り歩行すると思うのですが、そこに関してはどのようにお考えでしょうか。特に朝や夕方、一般の歩行者が車道を歩かなければならないほどだということをご存じでしょうか。
- ・ 客引き対策として各場所でスピーカーでアナウンスしたり警備の方を配備したりされているのはとても効果的だったと思います。ありがとうございます。
- ・ 池袋の治安が悪い。特に路上喫煙や政治的活動が迷惑。
- ・ 治安が悪い。
- ・ 地域の治安はよろしくないが、23区の中で1番安心出来る区だと思います。

6-9 路上喫煙対策

- ・ 路上喫煙の取り締まりを強化してほしい、路上喫煙者が多く、外に出る度に喘息持ちの友達が死にかけている。
- ・ 受動喫煙対策を強力に推進してほしい。
- ・ 池袋駅西口近辺での路上喫煙が目立って迷惑です。

6-10 地域の子育て支援

- ・ 子育てへの理解。子連れを見ると嫌な顔をするような大人たちが減ること。

6-11 ワークライフバランス

- ・ 産休、育休制度をもっと見直してほしい。仕事をしなкゃ子供は育てられないけど産休に入るまでの期間が長すぎる。こんな中途半端で子供を産みたいと思うか?と問われればそう思わない。
- ・ 公務員の副業開始。
- ・ 女性の社会進出は進んできたが、男性の育児参加が増えないと、女性はキャリアを捨てざるをえない。男性に優しい会社になってほしい、と女性として思う。
- ・ 保育士として働いています。労働条件の改善、給料の見直しをしていただきたいです。職員不足、長時間労働、どの仕事也大変かと思いますが、働きやすい環境、見合った給料の検討をお願いしたいです。
- ・ 今後結婚し子供を持ちたいと思っていたが、仕事との両立や金銭面の不安が大きく、最近家庭を持ちたいとは思わなくなった。
- ・ 老後 2000 万円問題もあるため、特に金銭面の負担を減らしてほしい。(消費税の減税、社会保険料を安く等)
- ・ 子育て世代の支援はわかるが、子育て前の若者の負担を減らしてほしい。子を産む気にならない。
- ・ 若いうちから安定した雇用と収入が得られること

6-12 豊島区の子育て環境の充実

- ・ 子どもが遊ぶ公園が少ないと思う。千川駅周辺だとふるさと千川ひろばがあるが、休日は人が溢れており、様々な球技をやっている人がいるので、思い切り遊べていないように見受けられる。南池袋公園も人が溢れ過ぎており、コスプレイヤーの撮影が目立っている。以前は北区に住んでいたが、清水坂公園や中央公園など広々と遊べる場所が多く、とても良かった。また、高齢者や子どもといったワードが目立ち、これから社会を支える若者世代への配慮が感じられない。その辺りが改

善されない以上は、他地域の移住をすることになると思う。

- ・ 少子化対策に力を入れるべきだと思います

6-13 その他意見

- ・ 分っている、ルールだけど、しょうがいねんさんとかをもらったあとにその他に役にたてる事が出来るせいがほしいです。私は、もらっても余りつかうこと出来ないのて。
- ・ 税抜き表示を完全に禁止してしかるべき。
- ・ 個性が尊重される社会。個性を出せと言うわけではなく、他の人と違う能力や個性があっても良いと思われるような環境が常にある社会。
- ・ 子供の頃に経てきた辛い経験が今も人生に悪い影響を及ぼしていると思うことがあります。
- ・ 健全な心身を持つ市民を育むには、子供の心を深く守っていく仕組みが必要不可欠だと思います。
- ・ 給与上昇。
- ・ 消費税減税または、廃止。
- ・ NHK のスクランブル化。
- ・ 全ての仕事に厚生年金の義務化。
- ・ 特に首都圏では一人暮らし用の支援が少なくて、あるとしても分かりづらい状況を少しでも変えてほしい。
- ・ 様々なバックグラウンドが受け入れられ秩序が保たれる空気感(豊島区はその色が強いと思っているので好きです)。
- ・ 治安の維持・改善。児童及び女性の権利と立場の向上。物価上昇に伴う賃上げ。政治に対する市民意識・当事者意識。必要なところに必要な資金が投入されること。問題の当事者の意見を聞き入れ、解決策に取り入れられること。
- ・ 人に優しくすること。
- ・ 財政や福祉など、子どもにフォーカスした政策。高齢者のケアなどは勿論、若者が住みやすい環境や障害の有無問わず就労サービスの拡充が必要だと感じる。
- ・ 減税。
- ・ まともな政治家を選べる民。
- ・ 人が人を思いやること。
- ・ もっと若者に選挙に足を運ばせる。
- ・ 相手の理解ではなく、受容の心が必要だ。相手の理解は難しく、理解をしようとしても無理なことはどうしてもある。相手を受容する(受け入れる)心があれば、自然と精神的な余裕・ゆとりが生まれてコミュニケーションも円滑になるはずだ。
- ・ 政治、経済界での利権や腐敗の排除。それに付随する国民からの信頼の獲得。

- ・ お金ない。マジ無理。金ない。税金高すぎます。金がない。圧倒的金欠
- ・ 豊島区役所の3階の税務課の男性の方の態度(口調)が悪い。
- ・ その金は、もともと皆様のお金からきているので、その金リターンのせいどがほしいです。(いくらかのリターン)次の子どもたちと皆様を守るためとして、つくってほしいです。
- ・ 都市開発等、一部の企業と行っているのは、いかななものか…イベント事業に対する助成が多すぎる。
- ・ 家賃高い。
- ・ マイナンバーカード受取・住民票取得等、日曜もできてスムーズな運営なのが、いつも助かります。ありがとうございます。
- ・ 若者と子供が生きやすくなるよう、お願い致します。
- ・ 駅前にスターバックスがあると便利だなと思います。
- ・ もうすぐ豊島区に引っ越すぞという段階で近くのごみ収集場所の恐らくゴミの日を間違えたゴミ袋に「ベトナムに帰れ！」と書いてあり治安の悪いところに引っ越すことになったかもしれないと不安になりました。わたしの住む大塚近辺には外国の方が多くいるようなので外国の方への差別意識を減らす何かがあったらいいと思いますし、ゴミの日を間違えないよう外国語での案内を充実出来たら誹りも減るのではないかなと思いました。
- ・ 豊島区に住んで8年になります。住みやすいと思います(家賃は高いけど)私は豊島区が好きです。職場が変わっても豊島区に住めたらと思っています。ただ、一つ豊島区に住んでいて思うことは人との繋がりが希薄だなと感じます。外国人や若者など、いろんな文化がありすごく刺激になると思いますがその点一人一人の関係性が薄いように思います。もっと豊島区内でいろんな関わりがあったり、地域の人がお互い気かけられるような関係性だったらなあと思います。豊島区は好きなのでこれからも発展していったほしいです。
- ・ 今回りにいるおじさんお婆さんの評価じゃなくて未来のことを考えて仕事をしてほしい。
- ・ 子どものいる家庭に対して手厚く補助するのは理解できるが、独身の若者がみな裕福に暮らせているわけではないので、その点を考慮してほしい。なんとなく生きづらさを感じる。
- ・ 豊島区は素晴らしいと思います。
- ・ 扶養に入っている入っていない関わらず住民税非課税世帯等には給付金を与えるべきだ。
- ・ 住民税が高い
- ・ 生活を豊かにする為、もう少し 収入が増えたらいいな。

- ・ 子どもがいない家庭にも支援がほしいです

6-14 本調査について

- ・ 特にないです。強いて挙げれば豊島区に引っ越して2年目の自分には分からない質問がありました。
- ・ 問いの21が問いになっていません。子どもの権利の重要度を問う設問は優先順位を1~7まで問えばよかったのでは？お題目としておいている以上すべて大切なことは明確なので、若者がどれに理解を示しているかはその問い方をすれば数値にできたはず。公金を使うにあたって、しっかり目的/意図を持って調査を行なってください。
- ・ 高齢者層にばかり手厚い政治のニュースが多く見受けられ、子育て世代の肩身が狭くなり希望を失っていく中、このような形で子育て世代、子供に向き合っていただけの活動をしていただけていることにはとても安心を覚えます。今後とも応援しておりますので、何卒よろしく願いいたします。
- ・ この調査の年齢記入欄が今年度の4月1日時点というのがわかりにくく間違えやすいと思う。
- ・ アンケートを通して理由を聞かれる場面が多々あるが、全ての行動や結果に理由があるとは思わないと思う。そこに違和感を感じた。理由たりえない感情や些細なきっかけがそこにあること、それを見過ごさずに汲みとることも大事なのではないかな。

6-15 支援者について

- ・ 自分の意見は発信して伝えた方がいい、伝えるべき、尊重されるべき、それなら伝えやすい環境・施設を作ろう。というそもそも意見を発する前提な考えをなくすこと。過度な善意、寄り添いは無関心より傷付く。

6-16 希望・活力

- ・ 明るい未来を感じられる雰囲気が必要日本に活力がない。
- ・ 日本人を優先した政治を行うこと、移民や外国人参政権は反対(賛成すると日本が外国にのっとられるため)。
- ・ 誰もが平等であってほしい。
- ・ 今の生活水準を維持し、将来子どもに自分と同程度の教育の機会を与えることができるだけの賃金が支払われること。若者が何十年も先の老後のために自分らしさを捨てて節約する必要がないくらい福祉の充実。
- ・ 若者が夢をみる事が出来、選択肢が増えれば心に余裕出来るのでそういった社会。隠蔽とか汚職し

ないで真っ当に政治してくれるトップのいる社会。

- ・選挙に行ったとしても、高齢者との人数比から、若者の1票の力はかなり小さく無力に感じられる。今の若者が社会に抱く感情は「怒り」です。それをぶつけても「選挙に来てください」では埒があかないと思う。働いたら損、税金納めたら損の社会を変えることが必要だと思う。自分に子どもが生まれたら、いつでも日本を離れ、海外で働けるように教育すると思う。
- ・価値観や可能性を広げ、一人ひとりが輝ける場所を見つけられること。
- ・若者向けの政策、若者に興味を持たせられるような政治的活動。これからの未来を作るのは若者だから若者はその当事者意識をもつべき、そのためにはまず政治への関心が必要日本の未来のためにお願いします。
- ・お金に困らず希望を持って生きていけること
- ・同世代は口を揃えて「不景気が加速し、所得は増えず、税金や物価は上がっていく中で、将来への期待が持てない」や「かといって海外に行く、もしくは転職などのキャリアアップを目指そうにも、現時点での仕事生活で精一杯で、追加で何かをすることができない(選挙にも行く気力がない方も見受けられます)」や「それを政治行政頼りで変えるために選挙に行こうが行くまいが、少子高齢化が加速していく現代社会ではどのみち得票数の期待値が高い高齢者層の意見が尊重され、若年層の意見は尊重されない」などの意見を口にし、様々な理由で「諦めている」状態となっている印象です。
- ・子育てに関しても、公園の遊具がどんどん撤廃されていくニュースや、そもそも公共の場で子供が遊んでいること自体に高齢者層がクレームを入れているニュースがよく目に入り、のびのびと子育てができる環境ではなくなっていることを感じるうえ、経済的余裕を体感できないことも相まって同世代では子供を産まないことを決めている夫婦も多くいます。
- ・30年程度のスパンで、短期的な社会の活性化、税収の増加を考えるのであれば、人口ピラミッドの中でも多くを占めている高齢者層への待遇を手厚くし、意見を尊重することは有効であると考えますがその後、一気に人口が減ることにより国だけでなく区単位での税収も著しく下がり間違いなく今とは比べ物にもならないほどに困窮したものになると想定されるため母数が多く、自由時間も多いためクレームやデモなどにも時間を割ける高齢者層からの声を気にしてしまう状態はよくわかりますが、その勢いに抗ってでも若年層・特に子育て世代の願いを積極的に聞き入れ、実現できる社会であること。またこれから子育て世代とな

る若者が「この社会なら安心して子供を産もうと思える」状態にしていくことが大切であると考えます。

- ・もっとフリーに自由に生きていけるくらいの国にしていきたい。
- ・まともに働いても対価が見合っていない。自分1人が生きていくので精一杯な世の中を変えて欲しい。今後家庭を築いていきたいと思うが今の世の中だと不安しかない。子供を育てやすい環境(地域)が整っても今の世の中では子育てをしたいと思えない。まずできない。今頑張っている子育て世帯が可哀想。子は国の宝、ただ謳い文句にすぎない。このままだと少子高齢化はますます加速し国を支える若者はいなくなると思います。国民の声はしっかり届いているはずなのに、全く前に進まず不安しかない。検討ばかりでなくもっと早く前に進めて欲しい。
- ・子供を欲しいと思える環境がほしい。

7 地域団体等

7-1 子どもの権利

- ・大人、又は行政が”子供の世界”に余り深入りしないこと。そっと“見守る”ことが大事と考えます。
- ・近年子どもの人権を、強く守り過ぎている気がする、善・悪の判断が今の子どもには、欠けている小学校低学年から、道徳教育を、見直して頂きたい
- ・子どもの人権を守ることはとても大切なこと。少子化が進む日本で、子ども達を地域で見守り、子育ての環境を良くすることが重要だと思います。

7-2 遊び場所・居場所

- ・子供の遊び場がほとんどない 公園ではしてはいけないことが多い為、自然があまりに少なく生き物と接することも自然の中でのいることを体験してほしい。
- ・公園で遊んでいる子供の数が増えて来ている感じがする。
- ・子供の遊び場が不足していること、公園でも制限があり、伸び々と遊べないと感じています。家の外で道路に座ってゲーム機で数人で暗くなるまでやっている様子を見ていると不健康的だなと感じ、本来の子供らしさが失われているようです。
- ・公園の整備は良く出来ていると思う。(数量的な面)
- ・公園や区民ひろばなど、子どもの遊ぶ場所が増えて、子どもが明るく楽しく過ごす姿が多く見られています。私も青少年育成委員会として、学校や

関係機関と連携をとりながら、子どもたちの健全な育成のため、貢献していきたいと思います。

- ・子どもが自由に遊べる公園が少なすぎる ボール遊びはだめとか規制が多く ひっそりとつかわれていない公園が多すぎる もっと活用できる公園設置を!!安心して遊べる場所を作ってください
- ・子供が成長して行く時、おもいきり遊べるのが大事と思う、→おなかのすく→よく食べる→丈夫な体が出来ると→ストレスがたまらない→遊びの中で成長して行く、小さい頃から体験していくことが大事。
- ・公園でのボール禁止、学校行事や校庭でのイベント時の遊具使用禁止等々、リスク回避を優先した制限が多いように感じる。
- ・イベントを開催すると、その子の家庭環境が見えてきます。子どもの参加できるイベントを沢山開催する事も大切に思っています。
- ・コロナで地域の行事がなくなったことで人と人の関わりが希薄になってしまったと思います。以前の関わりにもどることが出来る様に行事を再開してほしいと思います。
- ・PTAの前会長です。放課後の子どもの居場所的なものが少ない感じです。特に学童、スキップはギュウギュウなイメージです。
- ・自分の職場に近い「トー横」に集まっている子ども達を見ると、家庭や地域に居場所がないのだろうな…と感じます。経済的な貧困もさることながら心の貧困が広がらないような社会が必要と思っています。
- ・親へのアプローチが困難になっている。一方的に考えを押しつけ変わらない親に専門の対応係がいるとよいのと思う。豊島区は児相を作ったが、その先の受け入れる施設がない。スキップは学校毎にあるが、放課後デイは少なすぎる。民生、育成、学校域がバラバラで混乱する。

7-3 学校・教育

- ・教職員の適性を欠いた性的興味の強い人間が先生になったり子供達に被害を与えている。
- ・1 小中学校、スキップ関係職員の尽力に感謝 PTAや地域社会等外部の連携協力。 2 開かれた学校運営への努力には敬意を表しています 3 PTA、地域の協力とりわけ保護者の PTA 活動参加が重要だと思います。
- ・小学校から、やる事、が多すぎる。
- ・子供達の為と言いながら体裁を整えることに重点を置いている気がしている。学校に年寄りを利用して学ばせることをする、道徳教育に重点をおいた指導が少ない。
- ・今の子供たちは、恵まれていると感じます。校舎はきれいで、冷暖房完備の教室・体育館、1人1台

の PC を与えてもらい。自宅でも学習できます。その中で、我慢強さや諦めない心や自分の夢や目標に向かってコツコツ努力する力を回りの大人たちが邪魔することなく、見守り、適度に手助けすることだと思う。

- ・特に小学校の教員を増やして欲しいと思います。児童によりそった指導を実施するには、たくさんの教員が必要だと思います。
- ・学校の教育が、20 年後 30 年後に役立つものなのかと疑問があります。
- ・特にコロナ後、子どもたちは、いろいろな制限を強いられてきたと思う。ひとりひとりの生命がどれだけ大切であるか、そして回りの人たちも大切であるか、生命を大切にすることをしっかりと育てる教育を伸ばしていける社会にしたい。あと、個性を大切にすることも大切であると思う。

7-4 子育て支援サービスの充実

- ・行事に参加する親子の様子から、親も子も「スマホ」頼みの育児になっている姿が見られ、コミュニケーションの低下を感じます。一方で習い事で忙しく余裕のない親子もいるようです。子育て支援には効率よりゆとり、特に人的な、時間的なゆとりが必要と思いますが、ボランティアの人員、メンバーにも余裕がなくなっています。
- ・ボランティアに頼っていることを事業として出来れば海外からの転入、通訳ボランティア、通級への送迎各学校に日本語教室。
- ・乳幼児から成人へとたくさんのお子さまの成長に携わせていただきました。子どもというよりも親への支援がほとんどで、養育不足愛情不足愛情過多様々です。特に心の病に関しては壁も高くくり返しくり返し門をたたいての活動です。加えて外国籍の御家庭への支援はなかなかむずかしくうまく介入出来ないことも多いです。
- ・外国籍家族への支援に苦労しています。(日本語の理解が不十分な大人の各種手続きの手伝い、子どもたちの学習支援等)
- ・ヒトの子育ては母親ひとりではできないということが周知されていません。子育てをファミリーでサポートする施策を充実することが必要です。

7-5 経済的支援

- ・子どもの貧困が多いのはおどろかされる。

7-6 情報提供・相談支援

- ・区では、様々な、サービスや、サポートを用意してくれているが、そこにたどり着けない子どもや、保護者が多いと感じる。日常の生活の中で、そんな、人々に、よりそえる場が必要だと思う。

- ・生きづらさをかかえた子どもたちには、今ある環境が全てと思わないでほしい。様々なジャンルや境遇にある人々に会わせてあげたい。
- ・育成委員会として、保護者の方や、子どもたちと直接意見を交換する場をつくっていききたい
- ・発達障害や、問題行動の有無等の理由により、イベント等への参加受け入れを躊躇してしまうといったケースも散見される。養護教員等による対応のノウハウを共有できる機会が定期的に持てるとうい。
- ・共働きが当たり前になり、親に時間や気持ちの余裕がなくなっているように思います。何か協力出来ることがあればと思っている人も多いはず。そういう人と人がうまくつながる場があればと思います。
- ・大人が孤立することで、子どもも孤立してしまうことが多いと思います。生活格差や、一人親、外国籍など、孤立しやすい立場の親が心身共に安定し、生活できるようにする(相談できる場がある)ことから、優しい気持ちで、子どもの成長を楽しむにしたいと思う。
- ・子供達は自分の考えをうまく伝える事が出来ない。周囲に気を使かってきゅうくつに生活していると感じる。
- ・子供たちのおかれている環境が地域でもわがやにくくなっている現状がある。学校と地域との連携や困ったときにすぐきがるに相談できる場が、様々な形であると良いと思う。

7-7 住環境・まちづくり

- ・おひとりの高齢者が多く気にかけています。その方々のご親戚など、何かあった時に連絡先も知らず、町会、民生委員の役割が大切だと思えます。
- ・図書館をもっと充実してほしい。放課後よく母親の帰宅するまで過ごしている小学校低学年の子はマンガを読んでいる。日中なのに図書館に来ている中学生(?)。塾がはじまるまでよく勉強している中学生(宿題の課題を調べている)。高齢の私は毎日のように図書館で本びたり図書館は地域の文化水準だと思う。

7-8 地域の子育て支援

- ・老人・高齢者の集る所へ、ベビーカーで参加はいいかなものかと思う。コンサート、報告会等での子供が理解できない所での参加中の大声での会話や泣き声はいいかなものかと考えます。
- ・民生、育成の限界(高齢者が多すぎる)町会の限界(高齢化)。
- ・地域活動に参加する生徒が多くなってきた。小学校での方針が理解されてきたと思っている。中学

生にもう少し地域参加を呼びかけたい。特に、防災活動では機会を作りたい。

- ・地域への関心がうすい。
- ・町会行事や活動を民間サービスと同様に思っている保護者が非常に多い。
- ・住んでいる地域では問題がある様には感じないが住民どうしでコミュニケーションを取りプライバシーに配慮し情報を交換し、問題が起きない様対応したいと思う。
- ・今の時代は、二人親・一人親 共に、働き、保育園から学校に上がっても親が迎えにくるまで預けられている子どもたち、親も子も毎日がいっぱいいっぱい大変だと思います。私個人としては自分の孫たちにできる限りサポートはしたいと思うし、同じ気持ちでご近所の子ども、親たちにも接していきたい。
- ・子供が少ない。年が違うので一緒に遊ぶことがない。子供が外(道)で出合ない。
- ・地域のおばさんとして、地域の子どもたちを見守ることが、私の第一歩だと思い、それが自身の幸せにつながっています。
- ・イベントの時は子どもとふれあう時間等は、あるが子供と接する時間が少ないように思います。(児童委員の方は子供と接する時間があるのではないのでしょうか?)
- ・地域に子供はいるのですが、あまりかかわることがない。
- ・育成委員会で企画する行事によっては、安心安全に参加する子どもたちを見守るためにも、委員の人数から考慮して参加する子どもの人数を決めています。よって、せっかく子どもたちが申し込んでも抽選で落とさなくてはならないこともあるので残念に思います。いわゆる健常児と言われる子どもたちだけに目を向ける育成委員会ではなく、どのような子も(支援を必要とされる子など)気軽に育成委員会の企画する行事に参加できる育成委員会でありたいと思っています。
- ・ひろばに遊びに来る親子は少ない、イベントがどんなに工夫されていても保育園に行っている参加不可。忙しい親が努力して子育てをしている姿に(それも最近は年齢も高いので)つい健康を心配してしまう。
- ・昔は地域の子供をしかる大人がたくさんいました。あの頃はあれで良かったと思います。今はしかるより1つでも良い所をしっかりと見てあげて、それをほめてあげる大人でいたいと思います。
- ・子どもがいることは、大人にとって未来への希望を与えてくれる。社会の活力というより、本当に宝だと感じます。親子が孤立することなく、地域

の人たちが気軽に手をさしのべられる社会にしたいものと思います。

- ・子どもに関係した問題は、地域にはあまりでてこない。お年寄り(ひとり住んでいる高齢者)地域でみていこうということができるが、子どもの問題はおもてには出にくい。子どもに関しても児童委員としてできることをしていきたい。(子どもだけではなく、家族をふくめて見守ったり関係機関につなげるなど)

7-9 ワークライフバランス

- ・少子化ということもあり、子育てはしやすい環境になっている。少子化対策として、まずは、「若者達が結婚する」というムーブメントをおこしてほしい。

7-10 豊島区の子育て環境の充実

- ・周囲に子どもが増えてきている感じはします。(ここ20年間で)結構なことで、区の取り組みも一因と思っています。
- ・現在子育てをしながら、民生委員をさせてもらう中で豊島区の環境はとても充実していると感じています。
- ・結婚を機に豊島区に在住し、子供を妊娠してから区の施設を利用するようになりました。母親学級に始まり、子育て中は区民ひろばに大変お世話になりました。豊島区は子育てしやすい場所だと思います。都会のわりには公園もあり、とても助かっています。
- ・子育て支援の為、当番で、区民ひろばに出向いていますが、豊島区は、待機児童がいなくなり、来られる親子は、幼児で、親は産休で来られ、親同志の意見交換も見られず、遊ぶというよりか、あやすという感じで、これでいいのかなと思うことがある

7-11 その他意見

- ・私のまわりでは子供をあまりみかけない。学校の登下校で見かける程度で、子供の数も少なく、外で遊んでいる子は見当らない。
- ・子供を見かけることが少ない。
- ・この地域がそうなのかわかりませんが、子供達が外で遊ぶ声をあまり耳にしません。家の中でのゲームが主流なのか、習い事なのか、学童で帰宅していないのか…子供らしくが欠けている気がします。
- ・今の親は、上手にいろんな所を利用したり 友達とのれんけいが上手なので感心している
- ・中学生、高等学生さん方達私の知る限りでは、とても素直で良い子と思う。最近千歳橋中学の14

才の子が夜9時頃に出かけて化粧などし、爪を伸ばしてこの子が気になります。

- ・あいさつもろくに出来ない子供が多い。表情が暗い。うつむいて歩いている。体力が無い。運動会でも走り方は悪いし足の悪い子が息子の時代(現在20代)より少ない。メンタル・体力面共にどんどん弱くなっている気がします。
- ・日本の経済力衰退している中、大人も親も将来の不安や悩みをかかえていると思う。その状況の中で子育ても、昔にくらべると大変だと思う。個々の家庭の考え方に違いがあり、そして、プライバシーなどの問題もあり、他人が深くその状況を知ることがむずかしい。声かけをしてもなかなか、心の内を話してくれる人は、少ない、若い親はほとんどの人がSNSなどで解決しようとしているのでは。
- ・問7-1の回答の続きとなりますが、まずは、ご家族や、回りの大人達が、安心できる「言葉」をチョイスしたいです。せめて、心だけは、豊かで、健やかでありたいと思います。夫婦げんかや、意見の相違でバトルとかクレームとかetc…大人達がお手本を示していけないものかと、考えております。
- ・あいさつをする子供が多くなりました。
- ・なんでもコンプライアンスなんでも権利という中で、ボランティア活動をする事は本当にむずかしいと思います。子供との距離感私も男なので、女の方々よりもむずかしいです。正直言って何もボランティアしない方がストレスはないと思います。
- ・学童補助教員のパートをしているので、小学校低学年に接していますが、目の離せない子(問題のある子)が多いです。特に気になるのが相手によって態度の違う子です。
- ・常識がわかっていない挨拶ができない、見上の人に対しての言葉使いが悪い(親も子も)子供をみてくれている人に対しての態度が悪い(親)協力する気持ちが無くやってもらってあたりまえだと思っている。
- ・今の子供達は習い事のせいで孫達を見ていても忙しそうです。私達はのんびり育ったのですね。
- ・まだ経験が浅いためよく分かりません。
- ・自分から、子どもに係わっていかないと、状況もわからないので、声を掛けていきたいと思います。
- ・今は、随分優遇されていると思います。私の息子(現在31才、29才)その当時、医療費等あまり援助なり、優遇されていなかった。(学校給食にしても)
- ・自分の子供が小学生だった10~15年前と比較して、子どもをとりまく環境も大きく変わりました

(より低年齢のスマホの普及、コロナ禍、1人1台タブレット、先生方の働き方改革(まだ道半ばですが)共働き家庭増加に伴うPTAのあり様etc)ネット環境もあって情報過多になりがちですが、親御さんを追いつめることなくまわりの大人も心にゆとりをもって子育てを見守って如果能たら…と感じています。

- ・ 民生児童委員として活動する中では、主に高齢者へのアプローチは多いが、地域の子どもの知る機会にはほとんどない。主任児童委員などは案件を持っているかもしれないが、一般の民生委員には情報が少ない。地域性にもよる。又地域の学校からの情報もほぼない。学校との交流が課題。

7-1 2 保護者について

- ・ 親御さんなどが充分見守りが出来るとよいと感じます。
- ・ 親としての自覚が欠如し子供に対して暴力をふるったりする事
- ・ 親が子どもに関心を持っている目が少ない親が多い。ことは使いが荒すぎる、自分を大切に思える子どもに育てて欲しいと思えるような場作りはないのか、コミュニケーション不足(親子の)
- ・ こどもに対しては学校を中心としてそれなりに指導されていると思う。ただし保護者はいそがしすぎて学ぶ機会が少ない。
- ・ 小学生のお子さんのいらっしゃる知人、数人、普段は学童を利用し帰りも遅いの、休日は子どもデイサービスを利用し、しかも宿泊することもあるというご家庭があります。子どもと親がゆっくり話したり行動を共にする機会があまりないことにギモンを持ったり心配したりしています。余計な口出しもできず、昔に比べて子どもを預けてみていただく所。
- ・ 泣いている子に声をかけたりすると親がとてもいやな顔をしたり無視することもあり、ちょっとした声がけもしなくなる傾向がある、子育て中の親は、泣かせていると虐待していると思われるので、子どもを泣かせない様にしていると聞いたことがある。
- ・ 若いうちに複数の子供を持ち、安易に離婚をし、生活のために1日中働かなければならず。したがって貧困は増え、育児もままならない、その時の気持ちのままに生きている大人が増えてはいないか。
- ・ 親のしつけが悪い、イベント等でも上から目線でマウントを取っている。
- ・ 子どもに対する親の接し方に問題があると感じることがある。子どもがのびのびと成長できるような励ましや、頑張ろうと思えるような接し方でなく、親の意見や思いを子どもに押しつける様子が

うかがえ子どもがかわいそうにと思ったことがあった。

- ・ しつけ的な事項や、社会の中でのルール(特に交通規則、自転車の乗り方等)に関して注意がややおろそか。親が上記のような事項の指導について不十分。→親が守れていない。
- ・ 親世代が忙しくて子どもの話を聞く余裕がないように感じる。中学受験が当たり前になり、塾通いをしていて十分に遊ぶことがない子が多いのが気かり。ベビーカーを引いていてもスマホを見ているパパママを見るときと子どもと目を合わせて話しかけてあげてほしいと思う。
- ・ 子どもの教育より保護者の教育をしたほうが良い。

7-1 3 希望・活力

- ・ 豊島の子供達は皆すくすく育っている、大丈夫。
- ・ 私の地域の子供達は元気に通学している様に見える。
- ・ 小学校の登校時は、大変元気で、活動的に感じる。特に問題行動等を感じることは無い。
- ・ もっとのびのびと子どもらしく子ども時代を過ごさせてあげたい。
- ・ 子供達が元気に登校する姿を見ること。

8 区施設職員

8-1 子どもの権利

- ・ 子どもの権利を守ることを常に心がけなければいけない。
- ・ 子どもの権利を尊重しながら”子どものため”の保育を毎日試考錯誤しながら行っている。子どもの命を最優先に守りながらに仕事はとても大変だが、1人1人の成長が見られるためやりがいを感じる。
- ・ 子どもの権利条約等は、1回講演会や研修を受けただけではなかなか身に付かないため、数年ごとに何回かは受けた方が良い(子どもに関わる職員全員が)実際に受けなくても、資料を見るだけでもちがうため冊子を職場に置き自由に閲覧できるようにしていきたい。
- ・ 子どもの権利における子どもの意見をききとれる職員が少ないように思う。
- ・ 子どもの権利を守るために様々な機関がさらに連携しやすくなるといいと思います。

8-2 不登校・ひきこもり支援

- ・子どもたちが安心して毎日学校に来てくれている様子を見ていると、各家庭できちんと子どもを育てようという意識が高いし、愛されて育っていると考えています。一方、不登校等であまり学校に来られない子どもゆずの木でお世話になったり、他の機関とつながりをもてるのは、ありがたいことだと思います。
- ・なやミミ、すいトリの名前を子どもたちからきめてもらうことや、区への質問・意見レターが学校にも設置されていて、子どもを大切にしている区だなあ、と日々感じております。上にも書きましたが、学校に来られない子どものサポートを学校以外でも広げていただけると助かります。予算がつかましたら、ぜひ駒込中も新しくして下さい…。

8-3 遊び場所・居場所

- ・子どもたちが伸び伸びと過ごせる、公園が多く、良いと思います。ボール遊びができる場所があると、さらに良いと思います。
- ・豊島区の公園はボールで思いきりあそべる所が少なすぎる。その活動を求め、小学校の校庭開放に子どもがあつまるが、それぞれのあそびに、ルールがありすぎて、自由に思いきりあそべていない。満足感が得られなければ「ゆずりあって」と言っても気持ちが育たない。
- ・豊島区は、スキップ、校庭開放と子どもの遊ぶ場があり恵まれているが、区民ひろばをどこまで活用するか。
- ・子供たちがボールを使って遊ぶ場所が少ないように感じる。ボール使用可能な公園や広場を増やしてほしい。
- ・公園が少なすぎる→拡充してしましい公園でのボールの使用禁止表示→子どもの遊ぶ選択肢をうばっている、何のための広場なのか教えてほしい。
- ・大きい公園の整備も進められているが、小さい公園では遊びが限られてしまったり、見通しが悪くて危険だったりしている。学校等の現場に負担になり過ぎない各家庭への支援、はたらきかけを検討していただけるとありがたい。
- ・学校の校庭が狭く、毎日外で遊べない子供たちがいる現状がどうしてもできず辛いです。学校の現場の話や本当の子供の実態から目をそらさずに見ていただき、今、本当に必要なこと、物を吟味いただきたいです。いつもありがとうございます。
- ・たかが校庭でのあそびと思わず、子どもの権利をうたうなら、自由にあそべる施設、公園をつくってほしい。子どもは、あそびながら育つもの。きれいな公園より、広い公園を。

- ・子どもたちが主体的に活動できるような保育・環境を考えて日々、保育をしている。又、働きやすい職場づくり、保護者が安心して預けられる施設運営を心がけている。地域とのつながりも、子どもを育てていくには不可欠である。関係づくりを大切にしたいと思っている。
- ・区内の施設を校外学習で利用させていただけるのが大変ありがたい。区民ひろばや中高生センター等子ども達が安全に過ごせる居場所が提供されていて安心できる。
- ・児童館が過去に22館ありましたが、そこが数館でも残っていれば、乳幼児から高校生まで異年齢が交流し、子どもたちが好きな居場所を選択できたのではないかと思う。小学校高学年の居場所が足りないと感じている。
- ・庁舎の中に親子のあそびスペースがあると良いなと思います。
- ・中高生センターは区内に2館しかないので、カバーできない地域もある。他区のような大きな機能を持つセンター館が必要なのではないかと強く感じる。小学生→スキップ、乳幼児→ひろば、中高生→ジャンプという当初のカテゴリー分けは現実的ではない。学童クラブのスキップに小学生を押し込みすぎ。
- ・広く、自然やアートにあふれた公共施設がたくさんあるとよい。

8-4 学校・教育

- ・ヤングケアラーの学習機会が大きく奪われていること。
- ・以前よりも児童や保護者が発達や悩みについて相談できる場所は整っていると感じるが、必要な人がうまくその場所を見つけられていない可能性はある。学校は子どもの困り感を見つけやすい大事なポジションにあるため、教員と福祉関係者との協力は重要である。しかし、教員はあまり動けない。外へ出ていく時間がなく、ケース会議を開く時間も放課後くらいしかなく限られている。ぜひ、外部の方から積極的に学校へ働きかけてほしい。
- ・自分勝手な考えや行動の児童が増えている。高学年になるとエスカレートしてくる上、集団化して規律が乱れる。担任や学年、ひいては学校全体がそういった児童に寄り添う名目で迎合していくようになり、さらに保護者も学校の責任だと転嫁してくる方が多く、ますます弱腰な対応になっていると思う。
- ・塾に通い、受験する子供が多く、子供たちの生活に余裕がないように感じる。その余裕のなさが、友達との関わり方にも影響しているのではないか。

- ・子育ては1人ではできない家庭学校地域みなであたたかい子供にとって大事な支援(甘やかすことではない)大人になるために必要な教育をしたいです。
- ・学級全体の人数が多い。また、教員が少なく、負担が大きい。子どもも、落ち着きがない子が増えてきたように思う。
- ・受験ストレスで学校生活に影響がある子どもが多い。
- ・教育センターとの連携に、かなり助けられています。今後も、連絡、連携を密にさせていただきたいと思っています。
- ・個人の尊重に傾きすぎていて、集団生活に困難を抱える生徒の増加。保護者も同様、(夜遅くに対応を求められたりすることや、受験期に学校を欠席することなど。)
- ・特別な支援を必要とする生徒(発達障がい、不登校 etc...)が毎年増えているように思う。個別に対応が求められるが、学校の教員だけでは到底解決できる状況にない。もっと教育(日本の未来のために)に投資して頂きたい。
- ・こなすべき仕事が多く、もっと子供とゆっくり向き合ったり授業準備をしたりする時間をとりたいと感じる。また、特別支援教室担当の教員の人数が少なく、本来、児童の在籍学級に行動観察をしにいきそれを元に指導・支援を行っていくべきところを、観察の機会をとることが難しくなっている。(ほとんどできない)
- ・親、子どもともに余裕がなく、朝から疲れがみえる。とくに土曜授業や、明けた月曜日は、集中力が弱く落ちつかない。また、以前持っていたクラスでは土曜授業にクラスの1/3が休むなどし新しいところを進めることができなかった。
- ・子供たちを取り巻く環境が大きく変化してきている。子供たちが学校という一つの社会の中で互いを思いやり、認め合い、受け入れ安心して生活できるよう担任として環境調整し、よい学び合いができるよう努めている。この経験が積み重なり、より広い社会の中で生きていく力を育くんでいきたいと思っている。
- ・習い事が多く、自由な時間が少ない様子の子がいる。SNSでのトラブル増化。
- ・区内小学校において、人が足りていない、よりよい教育、児童の安全のために人を配置してほしい。
- ・学校が子育てにどこまで介入していいか悩む時がある。
- ・この学校は、子ども達のために本当によく働いている先生方が多い。そのため、子ども達は落ち着いて取り組んでいる。他の学校は落ち着かない6年生が多いと聞く。働き方改革という名のもとの教員の怠慢は、学校の価値を上げてしまう事が多い。子ども達が安心して過ごしていけるためにがんばっている先生方を。
- ・外国籍の転入が増え、学校生活に多々苦勞している生徒がいます、指導も困難を感じる。
- ・特別支援学級について、講師時数など確保していただき、通常の生徒たちと同じように専門性の高い教育を受けられるようにしていただきたい。インクルージブ教育というが、不登校生徒を抱える固定級の実態をしっかり把握していただきたい。
- ・教員数が増えると良い。35人学級が実現すると良い配慮が必要な生徒の支援員がつくと良い、都 S-room の教員数が利用希望者、利用検討中の子どもの数に対して少ない。どの子どもも安心して学校生活を送れるようにしてあげたい。SC や、ICT 支援員は常駐してもらい、子どもの心の安心や ICT 環境の充実を実現してほしい。
- ・教育への予算をもう少しさいてほしい。デジタル教科書が入っていない学校があり。他区から異動してきて驚いた。
- ・学校の管理職や教員、特に養護教諭や特別支援教育コーディネーターは子どもの情報をたくさんもっている。ぜひこれらの人材を活用して子供達が自立した社会人と成長できるようサポートしてほしい。
- ・支援が必要な生徒は通常級での授業がむずかしいことがあります、教員1人で対応がしきれません。
- ・7頁にも記載したが、個性的な親子どもが通常の学校内(もちろんスキップ内)で、叱られたり、注意をうけたり。学校に通えない児童を学校に戻す努力をしたり。現存の学校教育では合わない児童、家庭が増えてきているので、長野県にあるような、公立私立小学校のような特認校ができると幸せになれる児童が増えるのではないと思っています。
- ・様々なクレームが教育委員会に連絡されていると思いますが、実態を公平にとらえ、特に学校現場については指導主事の方にきちんと見ていただき、上からの指導ではなく共に解決に向けて悩みや苦勞を共有していただきたいと切に願います。現場だけの対応では教員も管理職も病んでしまいますので。
- ・教師や子どもが使いやすい ICT 機器の整備をお願いしたいです。
- ・外国籍の生徒への対応は、特に言葉が通じないだけではなく、公共のルール、マナーを守れず余りの子たちが大きな被害を受けケースに直面しています。正直手に余ります。今後、このような生徒が増加する傾向にあると思いますので、日本語教育や、学校生活習慣を、本気で、徹底的に身につけさせるという気概をもって、人員の配置や、予

算の編成などを行っていただきたく思います。よろしくお願いします。

- ・いつもありがとうございます。上記の質問については、どうしたらよいかわかりません。現場としては、よりよい教育活動を行おうと努力しております。そのため、より平易な備品の購入や、私物PC等の活用を認めてくださると助かります。
- ・土曜公開授業は、大人も子供も負担感が強く、回数を減らした方が良いのではないかと私自身感じているし、保護者からもそういった声を聞く。
- ・問9 ク 子供が基本的な生活習慣を身につけていないことについて、メディアについてのルールを決める サ 虐待・ネグレクトの疑いのあるケースが増えていることについて、チームで早期発見に努め、情報共有、対応にあたる。
- ・土曜授業、公開回数を減らしてほしい。または、月曜を振休にして、2日休みをとれるようにしてあげたい。空き教室(多目的室)がほしい。昔はあったので、クラスや学年で色々と活用できていたが、今は1つもないので、クラス人数が多いクラスは、活動の際に制限がかかる。子どもの主体性をのばすためにもぜひ。
- ・教育現場はとにかく人が足りません。配慮を要する児童も増えてきているのに、担任一人では目がいきとどかなかったり、手助けが必要な時にできなかつたりします。1学級の人数を減らすか、補助の方をぜひ増やしていただきたいです。よろしくお願いします。
- ・教育・保育には人の力が重要だと思う。そこにしっかり人をつけ、早めに対応していくことが大事なのではないか。
- ・インクルージブとはいうけれど、就学相談に関して、もっと親身になって学校を助けてほしい。様々な条件の子をうけ入れるなら、親への理解、適切な子への対応について親も含めて相談にのったり、つきそったりしてくれる人材はもっとたくさん必要になる。ひいらぎ学級の充実、1年で退級の原則を変更し、必要に講じて入級できるようにしてほしい書類等担任への負担が減るようにしてほしい。1クラスに5人以上の発達障害をかかえる時もある。「あとは現場で」と言わず積極的に助けてほしい。
- ・平日に忙しくしている子が多いので、土曜日の学校公開があると、翌週月～金まで、体調不良を訴える子が多く感じる。日頃忙しくしている子どもたちなので、土日は、ゆっくりしたり、余暇を楽しむ時間にあててほしいと思います。保護者からも「毎月が多い」という意見をもらいます。
- ・福祉の現場と教育の現場が、もっと密接に関わって協力していけたらよいと思う。福祉の中の教育、環境、学校現場に近づけていけたら嬉しいです。よろしくお願いします。

- ・区の自己満のために、学校の子どもを使わないでほしい。(ISS、SDGS フェスライバル、何かのイベントへの急性参加要請)子どもが学ぶ権利の時間をうばいますけど、ありえないと思いませんが子どもの権利ですよね?就学時健診を区教委でやること。(授業カットしている)
- ・豊島区の教育の特徴をもっと出して良いと思う。現場に伝わっていない。特別支援を要する児童について。特別支援学級へ、学校適の子が多く、在籍している。子供についても、教員にとっても、無理が生じている。きちんとその子に、適した就学をさせるべきであると考え。その子のためにならない。
- ・グレーゾーンの子たちが学べる場や行けるところをふやしてほしいです。たとえば「ユズの木」は自分のペースで…といいますが、勉強をゆっくりと教えてくれるわけではないので、1人1人のペースに合ったはやさで学べる場所があるといいです。
- ・日本語指導の機関を充実させてほしい。

8-5 放課後対策(学童・スキップ)

- ・子どもスキップは待機児童なく受け入れ可能な枠が設けられているが環境、職員配置が人数に見合ったものではなく子どもの収集、見守りが主となり子どもへのシワ寄せが大きい、各施設の定員縮小の検討をしていただきたい。
- ・以前働いていた子どもスキップの学童クラブは、仕事の環境がとても悪く、毎日ストレスを感じていました。子どもたちにとって学童指導員は、学校の先生でもなく、親でもない大人。何を言っても良いと思っているのか、毎日暴言をあげせられつらかったです。いつも学童指導員を募集していますが、今のスキップでは、やめていく人が止まらないと思います。
- ・豊島区で子育て(小学生、幼稚園児)をしています。学童や放課後保育(幼)に希望すれば入れる体制にあることが大変ありがたいです。幼稚園の保育は17時までなので、学童と同じように延長をやめて18時まで預けられると助かります。
- ・私は隣区に住んでいるが、学童保育がNPO法人や民間業者で、非常に良い。豊島区のスキップ(区運営)は一見安心に見えるが、熱量やスキルが足りていない印象である。区立保育園も、学童保育も、区ではなく、もっと民間委託にした方が良い。(区立保育園は本当に区でしか運営できないような手のかかる子ばかりの障害児のみで、OK。)
- ・スキップの人員不足(補助指導員ではなく、指導員や主査級の正規職員の配置)の改善が必要だと思います。

- ・以上のことで…スキップで働いていますが、この子どもたちを安全安心させ預り、見守っていくために、職員不足です、よろしくお願い致します。
- ・学童の話を聞くと多勢の子どもたちが過ごすことが多くひとりひとりに目を向けていくことは難しいという。子どもたちが安くしてすごせる場所、またそばにいる大人を増やしてほしい。
- ・児童館の中に学童クラブがあった頃は、広さもあり、子どもたちが自由に遊べました。クラブの職員にも余裕があり、子どもの様子もしっかり見られたと思います。今は、子どもの数が多すぎて、ひとりひとりにしっかりかわかれません。スキップの職員補充も大切ですが施設環境を考えていただけたらと思います。
- ・少人数保育を行うにあたっての十分な保育士の人数がいない。
- ・PCを使い環境が整っていない。(電波が届かない部屋が多い)環境を整えてほしい。
- ・1クラス、1部屋に対する子どもの人数が多すぎる。
- ・保育の考え方や方法は就労時(30年前)より大きく変化しています。子どもにベストな事は何かの変化です。その中で1人でできない保育を保育士同士個々の保育観特性を上手く組み合わせています。考えの方向や話し合いは大切です、事務含め、その時間確保の難しさを感じています。又話し合いや保育が上手くいかずハラスメントを受ける事も有り悩む事も有ります。

8-6 保育園

- ・子どもの気持ちによりそう保育は大切だと思うがそれには人も時間も必要になってくると思う。
- ・年々、支援が必要なお子さんや保護者が増えていると感じます。そのような家庭ひとりひとりに寄り添い保育していくには、職員の質の向上も重要になってくると痛感しております。
- ・保育園(幼稚園)のころは、何だかんだ言ってもかわいかった子たちが小学校に入ったとたんに、こうも変っていくのかと思った。大体が家庭背景、保護者がきちんと子どもを見ているかが、すごく大きいと思った、親育てをしていかないと、危機感を持ちます。
- ・近くに気軽に相談できる場所はあるが、個人個人でハードルが違うため、開かれているものの、自分で行動しづらいのかもしれない。保育園職場なのでマイはいくえん登録で家庭とのつながりをもつ手段はあるが、広く知ってもらい、気軽に利用してもらえると良いと思う。
- ・保育所はたくさんの子どものいるが、スペース狭く、おもちゃは古く少ない、絵本はボロボロ…子どもに関わる(発達)ものにお金をかけてない。親の楽になることばかりに使っている。子ども自身が使ったり、過ごすものにお金をかけて下さい。
- ・保育園では、情報面や社会性等の発達に凹凸のある子どもが増えている、クラス内に数名いると一人ひとりへの対応が必要となり対応スキルも求められ担任は精神的肉体的に疲労している保護者も育児や友達関係で悩んでいる西部子センでは予約がとりづらいので民間の療養に通う子どもが多い。
- ・保育所で勤務しているが、保護者の要望や時代の背景(着替えの時はプライバシーに配慮等)で求められることが増えている。職員が安全に保育をしながらそれらに答えられるよう、人員をさらに増やして欲しい。
- ・関わる大人が一人ひとりの子どもに丁寧にかかわり、子どもたちが主体的に過ごす保育を実践するには、正規保育士の人数がもっと必要である。
- ・特別配慮が必要なお子さんの保育や様々なニーズに対応していくためには、より丁寧な保育や保護者対応が求められる。その中で、子どもを第一に考えていきたいが、事務仕事が多く時間内で終わらせることを考えると、時間も気持ちも余裕が持てないのが現状。
- ・保育園給食の定量化にご疑問。子どもの人権を考えるのならば、自分の食べられる量を選べるべき。献立を考えている栄養士は、現場の状況もわかっていない、食育の研修を受講していない。不安しかない。職員が楽しく仕事をしているのかなと思う。なんとなくつまらない。
- ・配の保育士は付かないが、実際は大人1対1の対応が必要な子、望ましい子がいる。しかし、そこに保育士が1人付くと他の子の対応ができないという悪循環。即戦力になる保育士の配置をしてほしいです。あと、他区が行っているから豊島区も。ということはやめてほしい。保育サービスは充実すると思いますが、そこに対応する現場はいっぱいいっぱいです。事業や園運営に見合った職員の配置、場所、子どもの定員を考慮する必要があります。そうしないと安心・安全に保育できません子どもを守り切れません。
- ・安心して子どもを見守れるよう保育士の数を増やしてもらいたいです。
- ・スクールカウンセラーのような職種の職員を保育園にも配置してほしい、巡回相談員(東部子家セン)の方の負担がかなり大きくなっていると思う。
- ・他の区の施設(区民ひろば)等とくらべると、設備や環境が整っていないと感じる。もう少し予算を計上し、子どもがすごしやすい保育園になるとよいと思う。
- ・入区した頃、延長保育はなく、保護者も5時頃には迎えにきてという時代でした。子どもが少しず

つ少なくなることで、保護者と沢山話をする事ができました。その後、保育需要が増え、区からの事業も数々おりてきて、人は増えないままで保育をしています。親と話す余裕もないこの現状は、子どもにも保護者にも、働く職員にもよくないです。皆が幸せに子育てできる環境をおねがいしたいです。

- ・各保育園に、1人ずつ、職員をプラスで配置してほしい。
- ・保育士(正規)を増やしてほしい。保育士も充実したワークライフバランスを送れる生活を!!それが保育にもつながると思います!
- ・1日生活をする子どもたちの保育室の環境が悪い(狭い)その狭い空間で工夫してもどうしても全員で、いなければならない状況もあり(時間)ケガが発生したり、トラブルの原因となっている。人員(職員)も足りていないが1クラスの人数(子ども)も考えてほしい。
- ・保育園や保育課、様々な機関が今後も連携をとりながら子育て、保育を行っていきたいです。
- ・保護者の利便性も重要とは思いますが、保育者等の労働についても考えてほしい。保育者もゆとりを持って楽しくゆったりと保育できることが、1番大切である。子どもの育ちに直結。
- ・おかわりできるようにしてほしいです。(保育園)保育者(大人)も一緒に食べることができると、とてもいい食育の場になると思います。保育士の人数配置をもっとふやしてほしいです。配慮が必要なお子さんがあるクラスもあるため、増やしてほしいです。(保育者と子どもの関わりが必要)

8-7 子育て支援サービスの充実

- ・いろいろな子どもがおり、その1人1人に愛情を持って接していく上で、職員の手も必要で、仕事に余裕を持ち続けられる環境を整えて欲しいです。
- ・区民ひろばや保育園・子家センなどつながっている親子よりどこにもつながらない、気づかれない親子が心配。どんな親子も、孤立しない対策が必要。
- ・もっと各家庭にいてねいに関わるには人員が必要。
- ・「子育て支援」という親に向けてのサービスと、「子ども自身の育ち」の為のサービスは根本的に異なる。親が「楽になる」⇒「余裕が持てる」ことは必要。でも、親を支えることだけに主眼が置かれると、子どもは置き去りになってしまう。キチントした線引きが必要な時代だと思う。
- ・子育て支援が必要な家庭が増えてきて、支援の方法(それぞれに合った)が難しいなと日々感じています。
- ・核家族化が進んでおり、保護者へのサポートが必要な場面が多様化していると感じる。
- ・子育てに手厚い豊島区でとてもよいのだが、種類が多く、事業名が同じようだったり、名前だけではどんなサービスがわからないようである。保育園の施設見学の時に1つ1つの事業について具体的なことも含め説明することで「ようやくわかった」「聞いてはじめてわかった」と言われたことがあり、整理した方が。
- ・子育てに不安をもつ親が増えている。不安を相談できる友人がいれば良いが、SNSでの情報過多もあり、子どもと共に家庭ごとふりまわされている。誰かに頼れる安心感はないに大切なが、子育てを誰かがしてくれる、あるいは、親の思うように育てたい、という両極端な思いが、どんどん強くなっているように思う。前者は無責任に、後者は他人の考え、外からのアドバイスには見向きもしない。学校という場で対応しきれない案件はふえる一方だ。
- ・子育てをできる能力(責任能力も含む)が低い家庭が多く、教員の勤務内容を超えた家庭の問題を扱うことも多々あるのが現状だと感じている。
- ・豊島区は行政だけではなく民間のサポート(子育て)も充実していると思うが、あまり知られていない実態がある。子ども食堂等の情報も、もっと周知されると良いと感じる(ワクワクネットワークや)子ども若者課がどのような支援、サポートに強いのかを明確にうちだし周知してほしい。
- ・母と子の愛着関係が十分にできていない子どももいるように感じます。保育園でも子どもにとって大切なことは伝えていくように努力していますが、出産前等から子育ての知識、大切なこと等を学べる機会があれば良いなと思いました。
- ・今後も子ども支援に関する取り組みを進めてください。
- ・子どもを、ほったらかしにしていないだろうか。子どもを、車に置きざりにする事件はあとをたない。本当に子どものためにつかうお金とは何か?このアンケートにも多くかかっているが大人がゆったりと子どもの声を聞いたり、子どもの気持ちにくみとるには。子どもと接する人がいなくてはならない。人材不足。子どもが育つ環境、保育園、幼稚園、学校、学童にもっともっと人材を増やし、ゆったり過ごせる環境にお金を使ってほしいです。
- ・私が親だったら、無料で利用できる育児支援を充実させてほしい。1時間700円や900円も高いと感じる。民間のサービスと比較することなく、大きく進んだ子育て支援を考えるべきだと思う、できなくても最初～時間、～回無料のようにサービスとつながりやすい工夫も必要。窓口も1つにして、利用する側の利便性を高めてほしい。

8-8 障害児への支援

- ・ 自分自身の子育てについて、発達障害がある子どもがいる場合の働き方について、より多くの支援をして頂けたらと思います。特別支援学級に通わせる場合、小学校では3年生頃まで大人の送迎が必要なのですが、共働きだと難しく、仕事を辞めてしまった方もいます。ぜひ、特別支援級に通学する子のいる親が、柔軟な働き方ができるようにして頂きたいと思います。(勤務時間の柔軟な対応や、休暇の増設、等。)
- ・ 保育士数が圧倒的に足りない。子どもの話を聞きたくてもその子だけにかかりきりになるわけにはいかない。他でトラブルが起きれば、その子のもとを離れることだってある。権利があるのは十分理解しているが、現実に対応できるときとできないときがある。
- ・ 発達障害と思われる子が増えており、その子どもたちの理解と支援が必要であると感じる、(障がいと認定されていないが、困っている子どもたち)

8-9 医療・健康

- ・ ①セーフコミュニティが行き過ぎている。危機察知能力は己の失敗(小さなケガ)の積み重ねで芽生えていくが、その失敗が許されない環境(守られすぎの環境)に、メンタルも体も弱り切った子どもたちが増えていて、とても恐い。②外国籍の子が図太い。日本人ががんばれ…。
- ・ 最近の子供は弱くなったと感じます。自分の考えや意見や質問が言えず、親が代弁することが多いです。
- ・ 自分で解決する力が弱いです。何かあるとすぐに逃げてしまう、かくれてしまうので、自分がどうしたいか、どう行動すべきかが「わからない」と言います。

8-10 経済的支援

- ・ 配慮が必要な子どもの割合が増えている。グレーゾーン・経済的に苦しい家庭が増えている。経済格差が、教育格差(経験、進路選択)につながっている。
- ・ 根本的に子どものいる家庭への10万円などの援助は本当に子どものためになっているのか?どれだけ子どものために使われているのかそろそろ国も考え直す必要を感じる。もちろん子どものために使っている方も多くいると思うが、そうでない1部の人がお金をもらうことによって。
- ・ ご家庭によって貧富の差がとてもはげしい地域だと思います。一人親世帯や支援が必要な家庭につ

いて、現金給付等の支援がもとめられていると思います。

- ・ 区も都も子育て支援として給付金を支給していますが、子育てしていて本当にお金がかかると感じるのは中学<高校<大学です。高校の授業料の無償化等ありますが収入で制限があることで結局補助がない状況の人も多くいます、かかる費用に見合った補助になっていないと日々感じます。
- ・ 人やお金がしっかりついてはじめて子どもや保護者の支援ができていると感じています。
- ・ 人に対してのお金をつかった方が良いと思う。
- ・ もっと教員の給料を上げる、残業代を出すなど対策をしてほしい、現場は疲弊している。
- ・ シッター利用の補助金を増やす(保護者向け)。民間の子育て支援関係の施設に補助金を増やす。
- ・ 共働きがふえていて、子どもたちがさびしい思いをしている。発達にも大きな影響がでる。少しでも子どもたちと親の時間がとれるように、経済的負担を全ての家庭に対して減らしてあげてほしい。

8-11 情報提供・相談支援

- ・ 気軽に相談できる場、親御さんたちにもっと知ってもらえたらと思います。
- ・ 職場では、解決策を求めているだけでなく、自分の困り感を聞いてほしい、誰かと共有したいと考える保護者や生徒が増えていると感じる。是非、SCなどの相談窓口や、気軽に話せる機会(チャットやライン)があると良いと思います。
- ・ 現在、配慮が必要なお子さんや支援が必要な保護者がとても増えていると思います、そのため、保育士も今までのような対応では対応しきれず、日々悩んでいる状態です、以前に比べ、連携機関や相談窓口は増えていても難しいことが多いと感じています。
- ・ たくさんの研修等勉強の機会を頂きありがとうございます。
- ・ 子育てに対する親の悩み、不安は共感しながら安心して子育てできる環境が必要反面、何でも手助けを必要とする親が増えると親としての成長の心配も感じることもある、いつでも相談できる場所があることに對しての安心は、持ってもらいたい
- ・ 研修の機会が充実しています。
- ・ 親御さんが気軽に相談できる場があまりなく、親同士も保育園の送迎じかんも異なりゆっくり話す場がない為一方通行なネット情報を頼りがちなのは気になる。
- ・ 相談先、発信先が増えたことは良かったと思います。これからはその相談を受ける側の質の向上に目を向けて人材育成等、検討して欲しいです。

- ・区が子育てに関して取り組んでいる事は、多くあると思うが情報を調べないとわからない知ることができないと思う。SNS や TV など誰もが知り得ることのできるサービスがあっても良いと思う。

8-1 2 住環境・まちづくり

- ・豊島区で働けてよかったと感じたことはない。これといってみ力的なことがない。
- ・最近、子どもを虐待したり、殺してしまったりと、悲しいニュースを見たり聞いたりする度、もっと早くなんとかならなかったのだろうか…と、胸が痛みます。隣の家、家庭、両親、誰でも良いから、話を聞いたり、手を差し伸べることが出来る環境があることが、子育てには、とても、大事なのだと思います、そんな環境づくりを是非作って
- ・体全体で自然とかかわる体験を、どのような環境に生まれた子どもでも享受できる機会が充実するとよい。パブリックアートなど、どのような環境の子どもでも芸術的・文化的なものにたくさんアクセスできる、本物を見ることが出来る機会が充実するとよい。
- ・区の東側に住んでいる方にとって、西部センターは遠く、フットワークバスも利用しづらいので、イケバスをもっと活用してほしい。又は、運賃も安くしてほしい。
- ・生活科の秋さがしでドングリ拾いをしようと思うと光が丘公園まで行かないと難しい、区内の公園でドングリの植栽を増やしてほしい。
- ・3年社会の副読本「はばたけ豊島」の冊子版を復活させてほしい。

8-1 3 地域の子育て支援

- ・子育ては日々変化する(成長する)子どもに合わせて、様々なことを教えたり、聞いたり、と対応することが楽しさであり、大変さだと思う。子育てをしていくうえで、家族や職場、地域の支援がとてもありがたい。
- ・私の勤めている地域は、大人が子どもたちを、見守り、とても、落ち着いたよい地域である。これからも、地域の大人が子供たちを、あたたかく、見守っていただきたい。

8-1 4 ワークライフバランス

- ・職場で人員配置が満たされていても、業務が時間内に終わらないことや病欠などで人手が不足した場合に、すぐに補充できない状況が続く場合、辛い。
- ・優しくない、いそがしそう、つかれている。日々このような思いで仕事をしている。今の時代はラ

イフワークバランスが、大事だと言われているが、賃金が低かったり有給が取得しづらい現実がある。改善を求めたい。

8-1 5 豊島区の子育て環境の充実

- ・子育てに余裕がない(両親の疲弊や母親のワンオペなど)ために、子どもに対して、きつく当たってしまったり。行政に対して不満がある家庭があります。(保育料が高いなど)
- ・豊島区子育て環境やひとり親支援サービスの充実検討してもらいたい。
- ・どうしても大人都合で子どもに働きかけてしまうことが多いので、子どもを真ん中に、いろいろなことを考えたり話し合ったりすることができればいいなと思います。未来を担う子どもたちが豊島区で安心してすごせるように、自分に自信を持って生きられるように、豊島区の職員として協力していきたい。
- ・同じ豊島区の子どもとして、受けられるもの環境ができるだけ同じとなるとよいと感じている。
- ・豊島区在住で、0歳と2歳の子どもがおります。平日、休日問わず、豊島区で行われるイベントや、その対象年齢がまとまったHPなどがあれば、各家庭充実した休日になるのではないかと思います。
- ・保育園のニーズが高まると同時に学童保育のニーズも高まるのは必然的。豊島区は、ニーズに合わせて定員数を増やしていることで、学童入室に待機児は無しという状況、他自治体では、入室できず、困る家庭がいる中すばらしい施策をしていると思う。さらにそこに、質的な向上も考えてもらえると、豊島区の子ども若者施策の発展につながると思います。
- ・区では「ゆりかごから墓場まで」と様々な支援が充実していると思うので、今後も取り組んでいって欲しい。
- ・子どものため、保護者のためにやってあげたいことは沢山あるのですが、現場の負担になるだけだと、その気持ちもなかなか続きません。人や予算などはしっかりつけてから様々な事業をスタートさせてほしいと思います。
- ・区がいろいろなシステムで、児童をサポートしようとするのは、伝わってきます。家庭と関連諸機関がうまく連携できると良いと思います。
- ・見てくれだけ整えて中身スカスカの行政、中で働く人間が苦しんでいます。見てくれだけに魅力感じて集ってくる人間もお察しです。中身の充実を図るべきでは?人も行政も。

8-16 その他意見

- ・ 子どものゆとりがなくなっているように感じる、タブレットですぐに、正解をみつけようとしたり情報をうのみにしてしまうところもみられる。直に見たり触れたりして実感する機会や自分なりの答えを導くためにじっくりと考えるなどの時間が必要、大人も子どもも。
- ・ 夜ふかしをしている子どもが多い気がします。
- ・ 子ども…学校以外に習い事をたくさんしているので、毎日、忙しくしている。そして、日中の学校で、疲労を訴えることがある、もう少し、友だちと遊ぶことのできる時間を持たせてあげたい
- ・ 自分を見てほしい、認めてほしいと感じている子どもが多い。失敗を受けとめられずに、人のせいになしたり逃げようとする子どもが多い。基本的には、素直な明るい子たちだと思うので、間違いは素直に受けとめ、改善して成長していける人になってほしい。
- ・ 小学生は親の期待に応えようと頑張る姿がある。疲れても休み方を知らない子がいる。失敗をおそれて挑戦したらない子がいる。
- ・ 住民だけでなく、職員の声もしっかり聞いて意見を取り入れてほしい。(上層部でなく若者の)
- ・ よりよい保育を行っていくには、人員、環境が大切です。十分な配置や整備をお願いしたい。
- ・ 年休が毎年消化できずにいるが、役所の方々には余らせず取れていると聞くと差があるな～と感じる。
- ・ 子育てには人の手が必要、そのために福祉にはお金をかけて頂きたい。私たちも頑張ります。上の方にはぜひ現場を見にくる機会をたくさん作って頂きたいと思います。
- ・ 子どもの見本となり、子どもが安心して健やかに成長できる社会になって欲しいです。その為の人的環境や時間確保方法を考えて頂きたい。コミュニケーションの大切さを知り、自身も含め皆、学んでいかねばと思います。
- ・ 良いのではないかと思うことが、今年度は特に多かった。外国人の方はサービスを受けたいけれど難しくてあきらめてしまう人が多いのではないか。
- ・ SDGs、ISS と流行に流されやすい区なのかと感じている。新しく始めることが多い、何がなくなったのかよくわからない。
- ・ 働き方改革などで、事務的作業の軽減してほしいです、特に、アンケートが多いです。それに当てる時間が多すぎる。
- ・ 意見を強く言える大人の言葉が区民のニーズと思うことに疑問を感じている。サービスニーズにかたよらず、子どもまんなかにして、何が必要なのかを考えて欲しい

- ・ 子どもも大人も余暇/ゆとり/余裕が必要だと感じています。内容の厳選をして頂きたいです。
- ・ いつもありがとうございます。
- ・ 児童支援の研修はいくつかあるが、職員の勤務に余裕がなく研修を受けるタイミングがない、無利矢理つくれば受ける機会を見出せるだろうが、しわ寄せがくるだけ、適切な人員配置を求む。子ども若者支援に力を入れたいのであれば現場に即した人手を増やして欲しい。形だけのアンケートは要りません。正直期待感はありませんが、求められたので書いています。
- ・ 給食費の無償化など、ありがとうございます。これまで、未納者への催促の tel など、教員が行っていました。(その際に暴言を投げられることも)よく「これは教員の仕事?家庭の仕事?」と線引きがあやふやなものもあります、ただ積上げるのではなく、必要なものを精査し、ふり分けて頂けたら助かります。
- ・ 子ども、若者に携わる職員が欠員の常態化というのはどういうことでしょうか。子どもを育てるには人の手間ひまがかかります。また、かけるべきです。そこを、充実させることによって区の豊かさにつながるとは思いますが、どうお考えですか?そして、待遇の改善も望みます。個々の善意、貢献心やる気などにまかせては職員は疲弊する一方です。
- ・ 調理の民営化も進み、食事は安全に提供すれば良いという事なのか。生きていく中で、食べること、それを誰が作ってくれていること、誰と食べたいかということ、その事を軽くみていると思う。
- ・ 医ケア事業も上から言われたからと取ってつけた様な感じ。たった1名の為に何人もの職員が関わるならば、専門的な施設を作り、長期的に支援が受けられる様にすべき。
- ・ 子どもを支配する大人ではなく支える大人が増えるとよいと考えています。

8-17 本調査について

- ・ この様なアンケートはできれば電子にしてほしいです。(時間がとにかくない為)
- ・ 忙しいのにこういったアンケート送らないでほしい。子ども若者課の業務はアシスとお話フォームも含めて、業務、負荷を増すようなことしかしていないように感じている。(当課のという意味)子ども若者課はリファーが多い割に別課からはリファーをあまり受けてくれない印象。どうにかして頂きたい。

8-18 保護者について

- ・ 援助が必要な子や、保護者の増加が著しい為、通常の保育が立ちゆかない時もある。資格をもった大人の増員が義務であると思っている。(丁寧に対応したいがしきれない)
- ・ 教員だけでなく、様々な大人が愛情をもって、子どもに接していくことが普遍的に重要であると感じる。
- ・ 失礼ですが、年々、保護者の教育に関する意識常識が低下している。そんなことまで伝えなければならぬのかと思ってしまう。小学生にスマホを持たせるとはどういうことなのか。ルールを守ることは…など、欠けている。
- ・ ネグレクトの親が増えている気がします。
- ・ 特に義務教育の中にある年令の児童、生徒には、親の影響が強いように思います。仕事のため、子どもの登校時間、下校時間の把握や、朝食や学校へ送り出すなどの時間を持っている保護者の子どもは安定しているように思います。保護者の子育ての関心が高まると良いのにと日頃感じています。
- ・ 習い事に行きたくなって、身体症状に出ているが親に話しても状況変わらず、また、以前に比べて、親が子育てについて、自分たちで工夫をしなくなってきたと感じている。子どもにちが、遊ぶ時間よりも習い事の時間が多くなっていたり、親も子どもの成長にあわせたチャレンジをしていないため、子どもの成長のしかたに不安を感じている。
- ・ 子どもの権利は大切にしなければならないが、大人が道徳として正しい事、まちがえている事をきちんと伝えられなくなってきたと感じる。言い方、やり方は、時代に則していかななくてはならないが、子どもは正しい事を知らされる権利もあると思う何が正しいのか、大人も道徳をもたないといっていない。
- ・ 子どもの立場ではなく、親が便利なサービスになっていると感じる。大人側にとってではなく、子ども側の立場から、子どもにとって何が必要か、子どもの気持ちを尊重した保育になるとよいと思う(区への意見になるか?)
- ・ 親の育てる力が弱くなってきている。
- ・ 素直な子も多いが、塾や習い事のプレッシャーで苦しんでいる子も多い印象。いつの時代もそうなのかもしれないが「子供を自分の所有物」と勘違いしている大人が多いのかもしれない。
- ・ 子どもに接する大人自身も認められ安心して生活できる中で子どもたちも大切にされていくのではと感じる。(大人も受けとめてほしいのだと)
- ・ 乳幼児期、また学童期に適切な関わり・サポートが必要である。

- ・ 豊かな人間性をもった人間を育てるには逆行する現状です。大人も子どもも時間的・精神的、経済的余裕が必要です。今の子どもは動物的生命維持感覚すらもちあわせてません、のどがかわく、おなかすいたを感じません。感情と言葉が結びついていません。人間としての土台がグラグラです。土地柄が経年変化か、劣化が顕著です。
- ・ 外国籍の保護者、生徒への支援を強化してほしい。彼らも安心して希望をもって学べる環境が大切だと思います。

8-19 支援者について

- ・ 支援員など、たくさんの人員を増やしてほしい
- ・ 多様性を大切にしている時代にもかかわらずそれを見守る大人の数が足りていない。現場の努力だけではむりが生じる。
- ・ 保護者が子育てに対して、様々な思い、方針、やり方がある中、集団として、過ごすことに難しさを感じる人が多い、大人の目は、多いことで、発見、気づきにつながる。どの職場でも人員の増員は大きな課題であると考えます。
- ・ 虐待、発達障害、ヤングケアラー等、子どもを取りまく課題が増えたというよりも、その状況を理解する人が増え、認知件数が増えたと感じています。過去、そのような課題にさらされつつも、当時はみつけてもらえなかった大人への支援も今後考えていけると良いと思います。
- ・ 小さいうちに対応できれば子どもも保護者も長く辛い思いや悩みを控えてよくなる。乳幼児期がいかに大事かを知らせていただき保育士の増員を求めたい。
- ・ 児相が区に移管されたが、児童福祉のわかる、実践できる職員がいるのか疑問。区として責任を持って採用し、育成しなければならないと考える。

8-20 希望・活力

- ・ いってほしい事、またそのような人材を、育て、あたたかい地域の中で、子育てが、出来るようにして欲しいと強く思いました。
- ・ どの子もあたたかく見守られながら子どもたちの成長を願う社会でありますように。

8-21 人間とのかかわり

- ・ 世の中の子育てにおける環境が大きく変わり、子育てがしにくくなっている様に思います。合わせて子どもたちの育ちもコロナから経験が大きく減り人との関わりが特に少なくなっている事が今後どの育ちに影響があるかは心配なところです。
- ・ 子どもの理解、保護者の理解、子どもの権利。どれも本当に大切なことなのに、忙しすぎてじっく

り話す機会がもてないことに、日々悩んでいます。話すことで、職場での理解がすすむと思うので。

- ・ 家庭の横のむすびつき、地域とのむすびつきが弱くなっている。行政としての手だてを行い、共助的な関係を作れたらよいですね。「子どもまんなか社会」と、子どもを大切に思うならばそれだけの人材の確保は必要。
- ・ コロナが明けて、保育所、小学校、子どもスキップ、子育てひろば、東西の子家センとの交流、連携を積極的に行い、親子が豊島区で安心して成長できるよう支援したい。

豊島区子ども・若者の実態・意識に関する調査

作成日：令和6年3月

委 託：豊島区 子ども家庭部子ども若者課

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1

TEL 03-4566-2471

受 託：株式会社 地域総合計画研究所
